

令和 5 年度

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

〔18 歳以上の区民の方が対象〕

〔未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象〕

【報告書】

令和 6 年 2 月

大 田 区

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	3
2	調査の内容	3
3	調査の設計	4
4	報告書の見方について	5
5	標本誤差について	5
II	18歳以上の区民の方が対象 ～ 暮らし・保健・環境の分野など ～	7
1	回答者の属性について	9
2	各種認知度について	16
	(1)「大田区DV相談ダイヤル」の認知度	16
	(2)「ワーク・ライフ・バランス」の認知度	18
	(3)「エセナおおた」の認知度	20
	(4)「女性のためのたんぼぼ相談」の認知度	22
	(5)「大田区立消費者生活センター」の認知度	24
	(6)「ゆいっつ（大田区青少年交流センター）」の認知度	26
3	生涯学習について	28
	(1)最近1年間の生涯学習の有無	28
	(2)最近1年間で行った生涯学習	30
	(3)生涯学習の活動場所	32
	(4)オンラインによる生涯学習の有無	34
	(5)生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること	36
	(6)今後行いたい生涯学習	38
	(7)生涯学習の満足度	40
4	スポーツ・運動について	46
	(1)この1年間に実施したスポーツ・運動	46
	(2)この1年間のスポーツ・運動の活動頻度	48
	(3)運動を始める（再開する）ために必要なこと	50
5	文化・芸術について	52
	(1)文化芸術活動の有無	52
	(2)区の文化・芸術事業に必要なもの	54
	(3)文化活動の効果で期待すること	56
6	地域活動について	58
	(1)近所の方への手助けとしてできること	58
7	バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	60
	(1)「社会的包摂」の認知度	60
	(2)「成年後見制度」の認知度	62
	(3)「障害者差別解消法」の認知度	64
	(4)「ヘルプカード（たすけてねカード）」の認知度	66

8	喫煙について	68
	(1) 喫煙状況	68
	(2) 大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組	70
9	健康づくりについて	72
	(1) 「はねびよん健康ポイント」の認知度	72
10	医療について	74
	(1) かかりつけの医療機関	74
11	食品ロス・フードドライブについて	76
	(1) 食品ロスを減らすための取り組み	76
	(2) 食品ロスとなった食品は何が多かったか	78
	(3) 「大田区食べきり応援団」の認知度	80
	(4) 食品ロス削減への取り組み	82
12	地球環境について	84
	(1) 地球温暖化防止のために、関心のある実践行動や学んでみたいこと	84
	(2) どのようなメッセージで行動変容につながるか	86
Ⅲ	18歳以上の区民の方が対象 ～ 買い物・まちづくり・住まいの分野など ～	89
1	回答者の属性について	91
2	安全・安心について	98
	(1) 防災への取組情報を取得したい場所	98
	(2) 「マイ・タイムライン」の認知度	100
	(3) 「マイ・タイムライン」の作成方法	102
	(4) 災害から身を守るための取り組み	103
	(5) 水害リスクの認知度	105
	(6) 参加したいと思う防災訓練の形式	107
	(7) 「自動通話録音機」の認知度	109
3	商店街について	111
	(1) 今後も残ってほしい商店	111
	(2) 今後も残ってほしい理由	113
	(3) 商店街に必要な施設	115
	(4) 商店街の情報を見聞きする場所	117
4	キャッシュレスについて	119
	(1) キャッシュレスでの支払いの有無	119
	(2) キャッシュレスの支払いで利用している手段	121
	(3) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払い手段	123
	(4) キャッシュレスで支払いをしない理由	125
5	羽田空港跡地について	127
	(1) 「羽田イノベーションシティ」の認知度	127
	(2) 「羽田イノベーションシティ」に期待すること	129
6	バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	131
	(1) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度	131
	(2) 各区立施設内のバリアフリー配慮	134

7	まちづくりについて	136
	(1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況	136
	(2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況	138
	(3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況	140
	(4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況	142
8	公共交通機関について	144
	(1) 公共交通機関の利用環境	144
	(2) 公共交通網の満足度	146
	(3) 公共交通対策で実現してほしいこと	148
9	耐震改修について	150
	(1) 建物の耐震改修の有無	150
	(2) 耐震改修を行っていない理由	152
10	空港臨海部について	154
	(1) 空港臨海部の魅力度	154
11	鉄道駅周辺のまちづくりについて	156
	(1) 駅周辺のまちづくり方針の要望	156
	(2) 蒲田駅周辺のまちづくりによる期待度	158
	(3) 蒲田駅の駅前広場やその周辺に求める機能	160
12	羽田空港跡地について	162
	(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法	162
	(2) 「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」の認知度	164
	(3) 整備される公園でしてみたいこと	166
	(4) 「ソラムナード羽田緑地」の利用有無	168
	(5) 「ソラムナード羽田緑地」でしてみたいこと	170
13	図書館について	172
	(1) 図書館等の利用頻度	172
	(2) 図書館で主に利用する機能・サービス	174
	(3) 図書館の満足度	176
	(4) 図書館を利用しない理由	182
	(5) 図書館に期待する機能・サービス	184
14	公園について	186
	(1) 公園の利用頻度	186
	(2) 公園を利用していない理由	188
	(3) 公園情報を取得する媒体	190
	(4) 公園でしてみたいこと	192
IV	未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象 ～ 家庭生活・自転車の利用についてなど ～	195
1	回答者の属性について	197
2	災害時の避難等について	203
	(1) 「マイ・タイムライン」の認知度	203
	(2) 「マイ・タイムライン」の作成方法	205
	(3) 災害から身を守るための取り組み	206

(4) 防災に関する情報の収集方法.....	208
(5) 参加したいと思う防災訓練の形式.....	210
3 家庭生活について.....	212
(1) コロナ後の家事や育児の負担感.....	212
(2) 子育てに関する相談先の有無.....	214
(3) 「子ども家庭支援センター」の認知度.....	216
(4) 「子ども家庭支援センター」の事業の利用状況について.....	218
(5) 「子ども家庭支援センター」でのこどもからの相談受付の認知度.....	220
(6) 「子ども家庭支援センター」への相談について①.....	222
(7) 「子ども家庭支援センター」への相談について②.....	224
(8) 子育て家庭や親子に対する支援の意向.....	226
4 公園について.....	228
(1) 公園のルールについて賛同できるもの.....	228
5 自転車の利用について.....	230
(1) 「ヘルメット着用の努力義務化」の認知度.....	230
(2) 自転車の利用状況.....	232
(3) ヘルメットの着用頻度.....	234
(4) ヘルメットをしない（持っていない）理由.....	236
(5) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況.....	238
(6) 守れていないと思う交通ルール.....	240
(7) 自転車の施錠状況.....	242
(8) 損害賠償保険への加入状況.....	244
(9) 損害賠償保険に加入していない理由.....	246
(10) 「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度.....	248
(11) 区営駐輪場で不便に感じていること.....	250
(12) 「コミュニティサイクル」の認知度.....	252
(13) 自転車の運転マナーを知る機会.....	254
V 資料編 ～ 使用した調査票 ～.....	257

I 調査の概要

1 調査の目的

各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な政策立案に資することを目的とし、区内在住の区民を対象とした意識調査を実施する。

2 調査の内容

18歳以上の区民の方が対象 ～暮らし・保健・環境の分野など～	
(1) 回答者の属性について	(7) バリアフリー・ユニバーサルデザインについて
(2) 各種認知度について	(8) 喫煙について
(3) 生涯学習について	(9) 健康づくりについて
(4) スポーツ・運動について	(10) 医療について
(5) 文化・芸術について	(11) 食品ロス・フードドライブについて
(6) 地域活動について	(12) 地球環境について
18歳以上の区民の方が対象 ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～	
(1) 回答者の属性について	(8) 公共交通機関について
(2) 安全・安心について	(9) 耐震改修について
(3) 商店街について	(10) 空港臨海部について
(4) キャッシュレスについて	(11) 鉄道駅周辺のまちづくりについて
(5) 羽田空港跡地について	(12) 羽田空港跡地について
(6) バリアフリー・ユニバーサルデザインについて	(13) 図書館について
(7) まちづくりについて	(14) 公園について
未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象 ～家庭生活・自転車の利用についてなど～	
(1) 回答者の属性について	(4) 公園について
(2) 災害時の避難等について	(5) 自転車の利用について
(3) 家庭生活について	

3 調査の設計

調査地域	大田区全域
調査対象	[18歳以上の区民の方が対象] 大田区内に居住する満18歳以上の男女個人（外国人を含む） [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] 大田区内に居住する満12歳以上の男女個人（外国人を含む） 大田区内に居住する満12歳以下の方の保護者の方（外国人を含む）
標本数	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：2,000人 [18歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：2,000人 [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～家庭生活・自転車の利用についてなど～：2,000人
抽出方法	層化無作為抽出法
調査方法	配布は郵送方式、回答収集は郵送又は電子申請方式
調査期間	令和5年11月17日～令和5年12月8日
有効回収数	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：644件 (郵送443件+電子申請201件) [18歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：601件 (郵送404件+電子申請197件) [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～家庭生活・自転車の利用についてなど～：674件 (郵送351件+電子申請323件)
有効回収率	[18歳以上の区民の方が対象] ～暮らし・保健・環境の分野など～：32.2% [18歳以上の区民の方が対象] ～買い物・まちづくり・住まいの分野など～：30.1% [未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象] ～家庭生活・自転車の利用についてなど～：33.7%

4 報告書の見方について

- (1) 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表している。
- (2) 調査結果の比率は、その設問の回答者数を母数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問は、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- (4) 属性別クロス集計等は、無回答を除いているため、回答者の合計が全体と一致しない場合がある。
- (5) 年代別は、18歳以上の区民の方が対象では男女ともに「18～19歳」の回答者数が少数であるため、「10・20代」とまとめて集計及び掲載している。未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象では男女ともに「19～20歳」の回答者数が少数であるため、「19～29歳」とまとめて集計及び掲載している。
- (6) n=30未満は、比率が動きやすく分析には適さないため、参考として示すにとどめる。
- (7) 図表及び文章中では、選択肢を一部省略している場合がある。

5 標本誤差について

今回のような調査対象（母集団）の中から一部を抽出して行う標本調査では、全数調査（全ての人を調査）と比べ、調査結果に差が生じることがある。その誤差を標本誤差という。

標本誤差は、95%の信頼度で以下の式から得られる数値であり、真の値（全数調査をした場合に得られる数値）は標本調査で得られた結果に、この標本誤差を引いた値と加えた値の範囲内にあることとなる。

$$\text{標準誤差} = \pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N：母集団の大きさ
n：回答者数
p：回答の比率（%）

【各調査回答率における標本誤差早見表（信頼度95%で算出している）】

回答の比率 回答者数(n)	90%または 10%前後	80%または 20%前後	70%または 30%前後	60%または 40%前後	50%前後
1,000	± 1.9%	± 2.5%	± 2.8%	± 3.0%	± 3.1%
792	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
780	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.4%	± 3.5%
772	± 2.1%	± 2.8%	± 3.2%	± 3.5%	± 3.5%
500	± 2.6%	± 3.5%	± 4.0%	± 4.3%	± 4.4%

早見表の見方

たとえば、今回の「18歳以上の区民の方が対象～暮らし・保健・環境の分野など～」の回答者数（780人）を100%とする比率で、ある質問の回答が50%であった場合、大田区民（区内在住の18歳以上の方）のこの質問に対する回答は、46.5%～53.5%の間にあると考えられる。

Ⅱ 18 歳以上の区民の方が対象

～ 暮らし・保健・環境の分野など ～

1 回答者の属性について

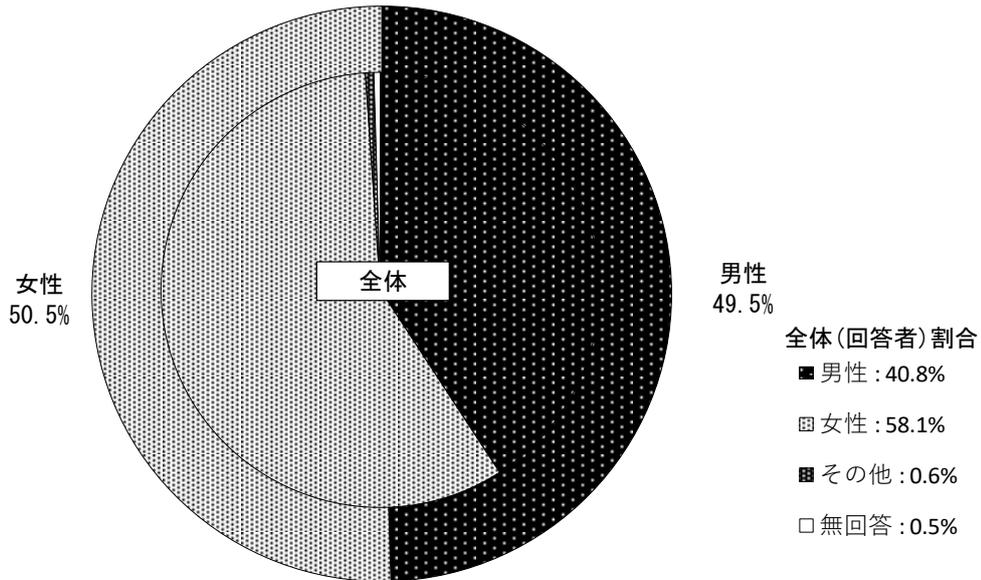
(1) 性別

母集団：大田区18歳以上の人口 (n=642,559) 令和6年1月1日現在

全体：有効回収数 (n=644)

全体 n=644

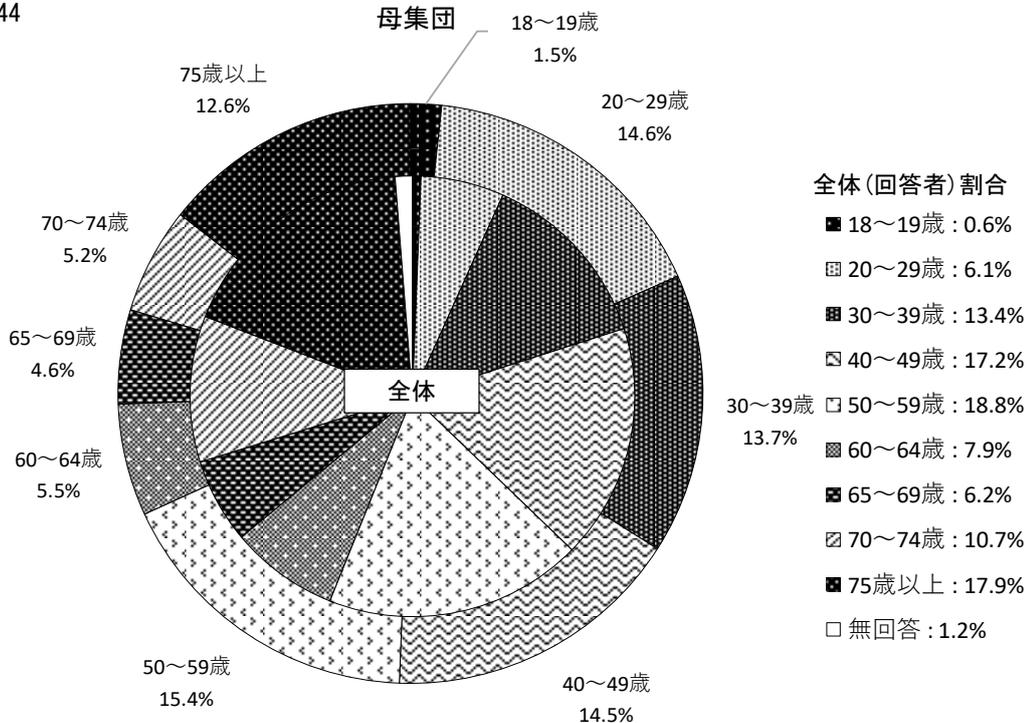
母集団



(2) 年齢

全体 n=644

母集団

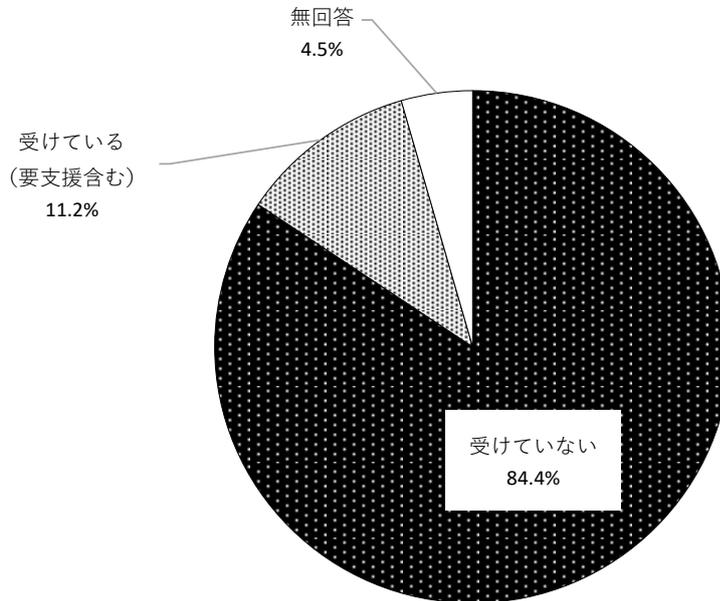


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人＋外国人）令和6年1月1日現在

(3) 要介護認定の状況

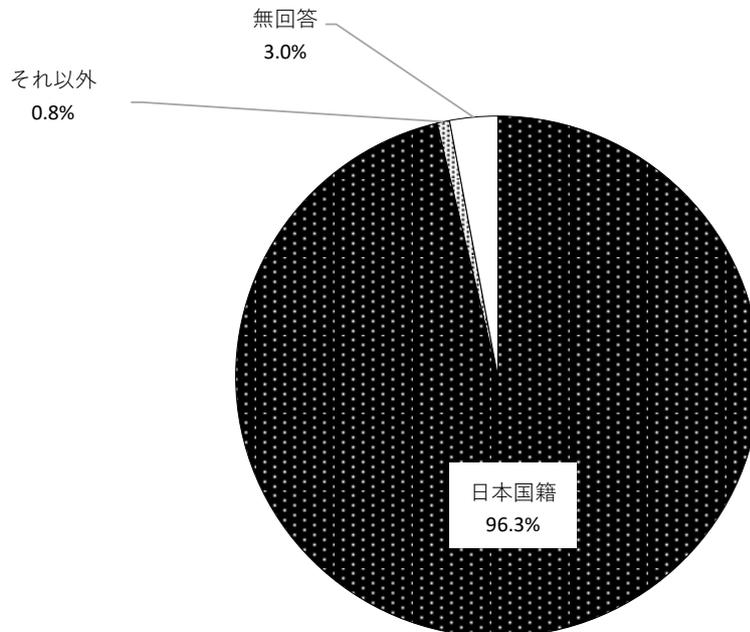
【65歳以上の方】

全体 n=224



(4) 国籍

全体 n=644

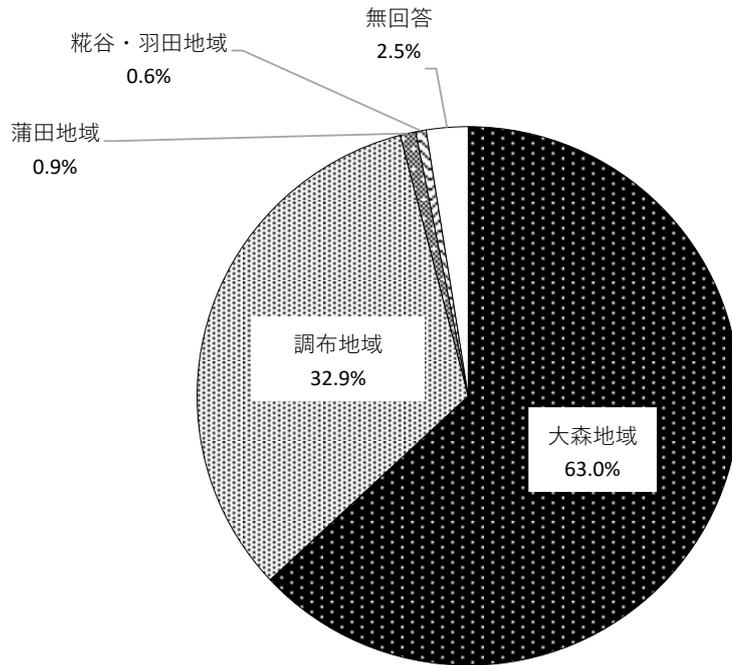


■ 日本国籍以外

	韓国	ポルトガル	ニュージーランド	スリランカ	無回答
人数	1	1	1	1	1

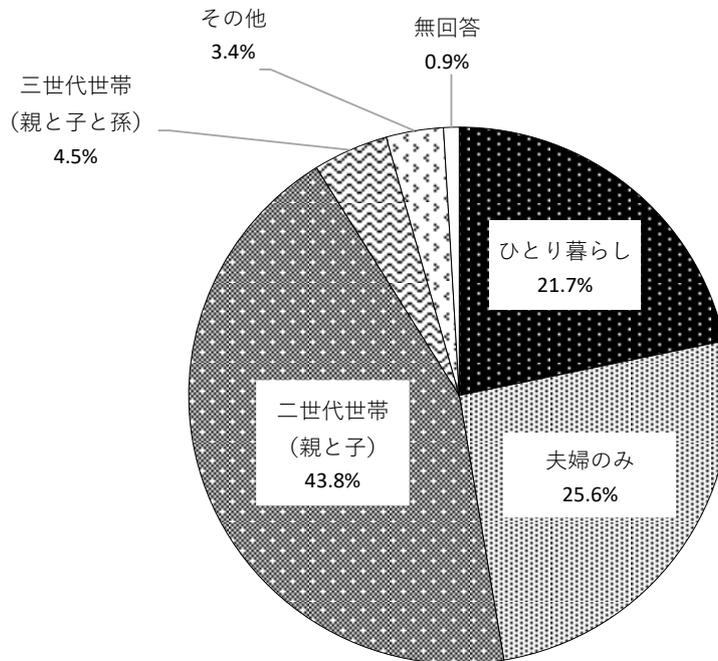
(5) 居住地域

全体 n=644

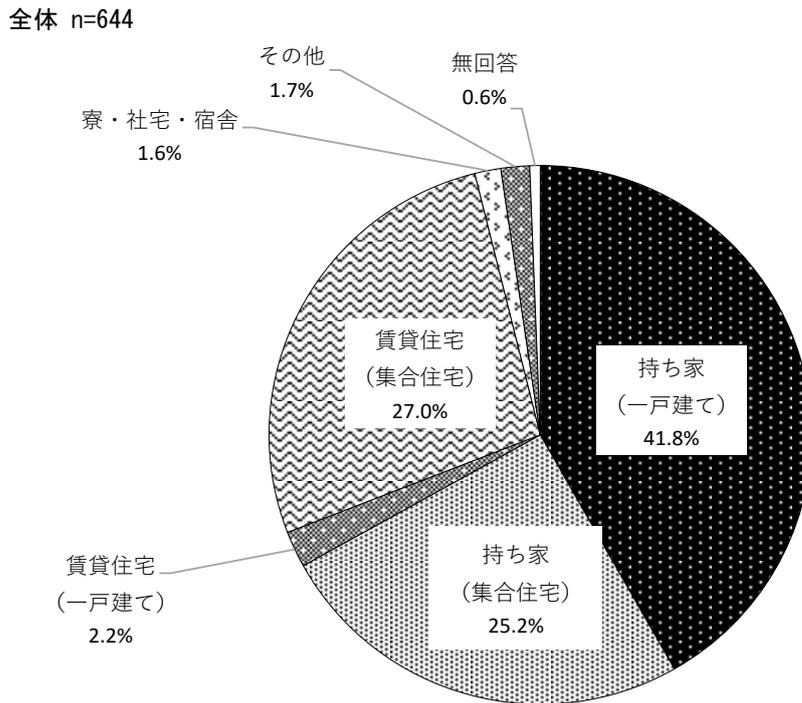


(6) 家族構成

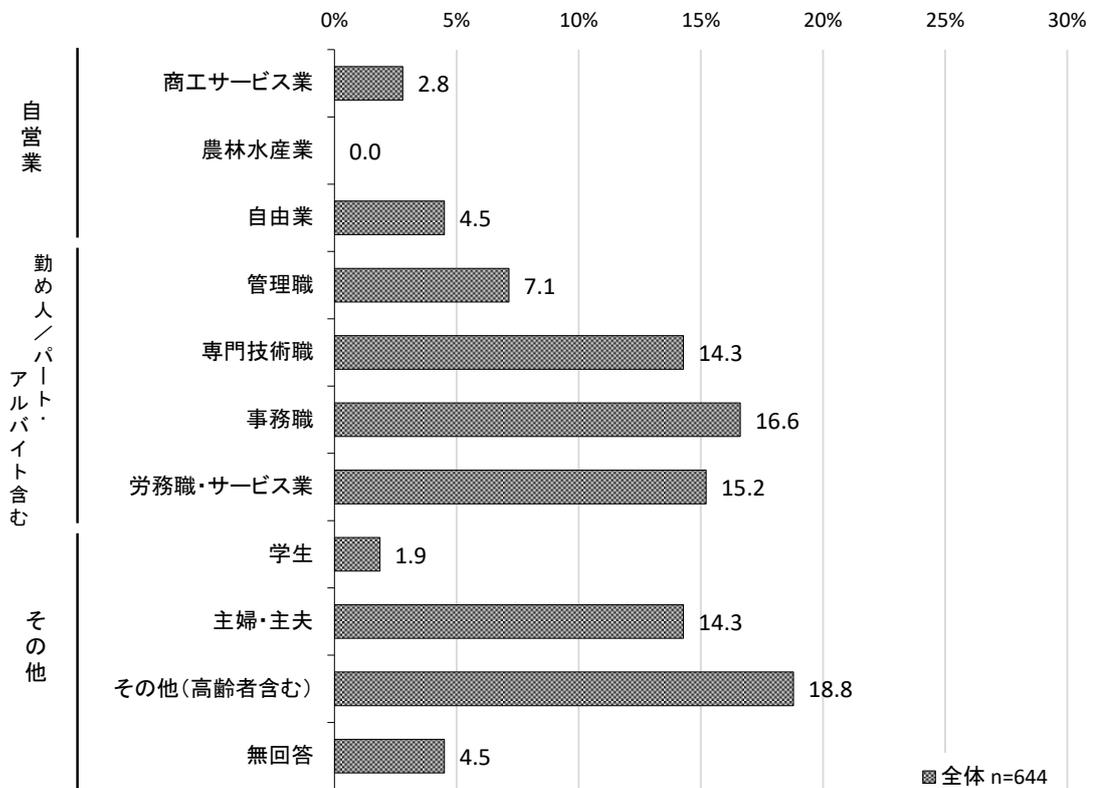
全体 n=644



(7) 住まいの種類

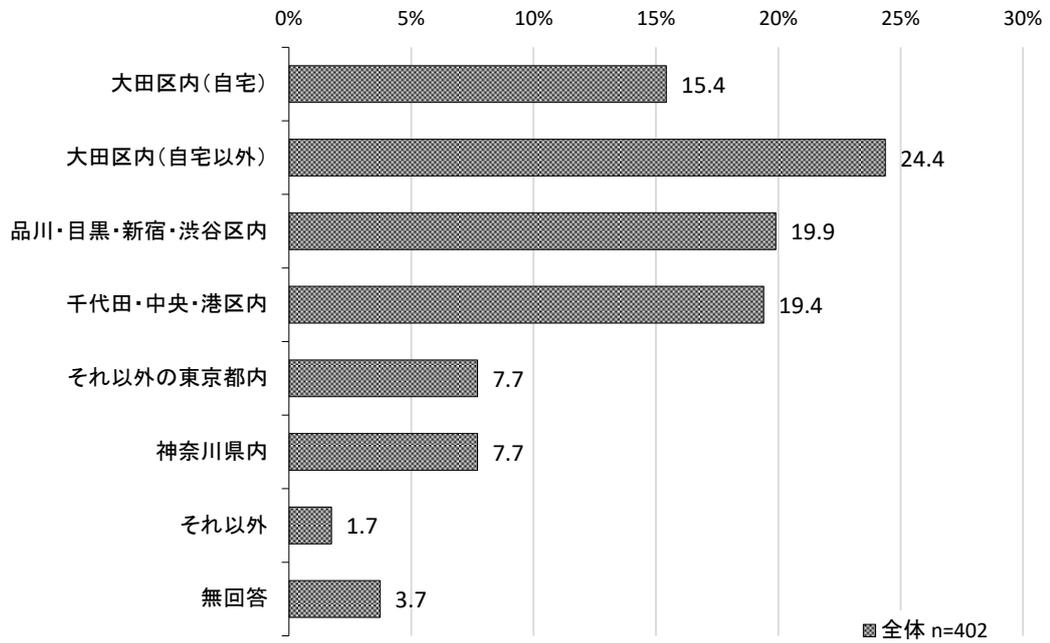


(8) 職業

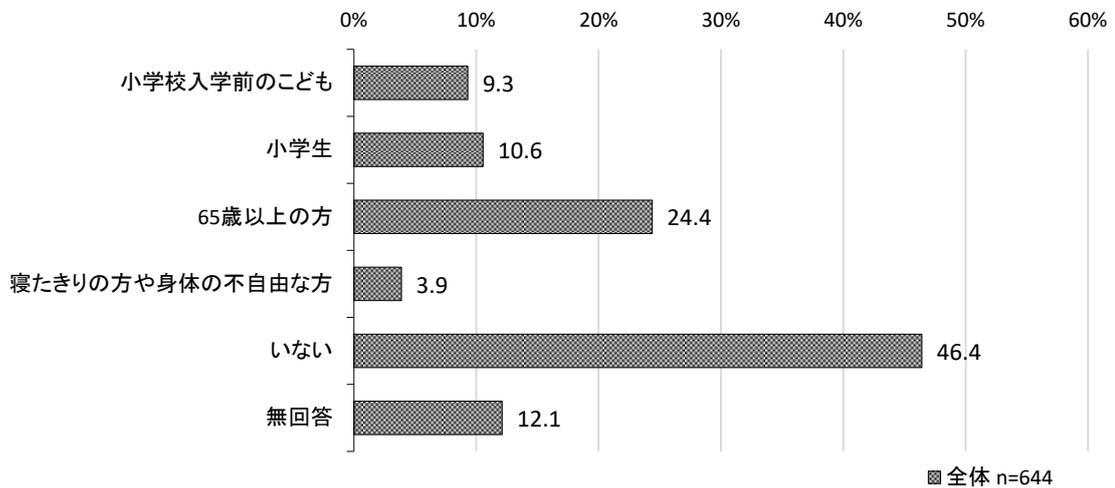


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

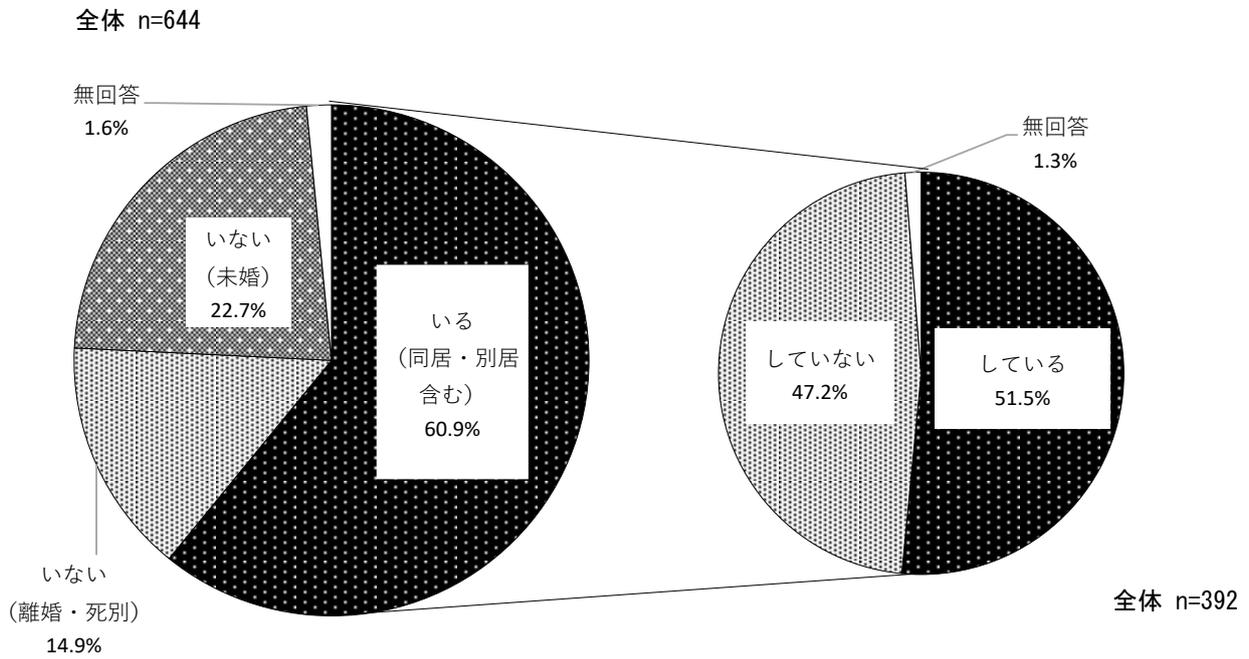


(10) 同居家族

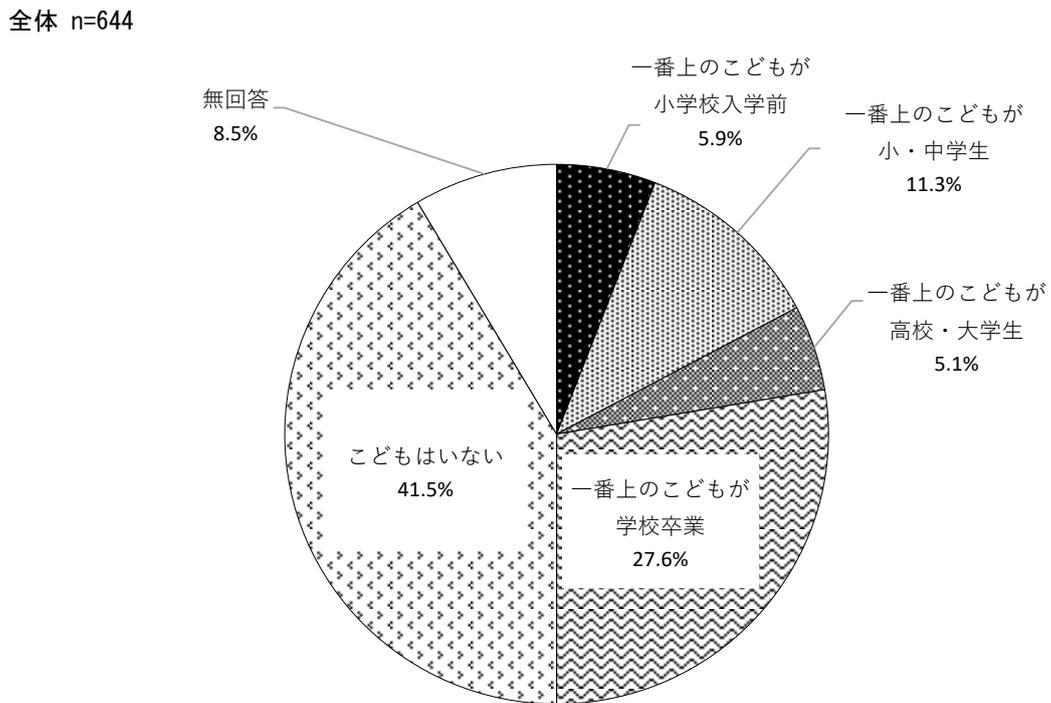


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

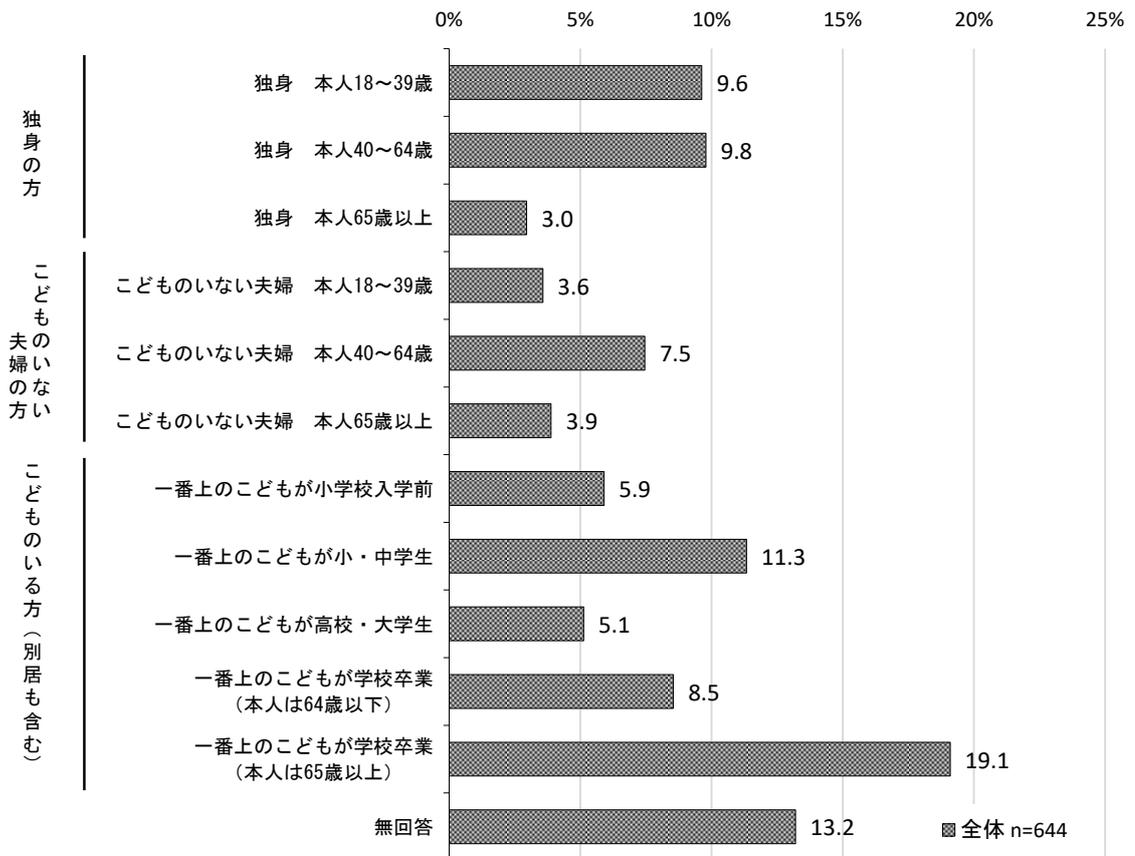
【(11) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



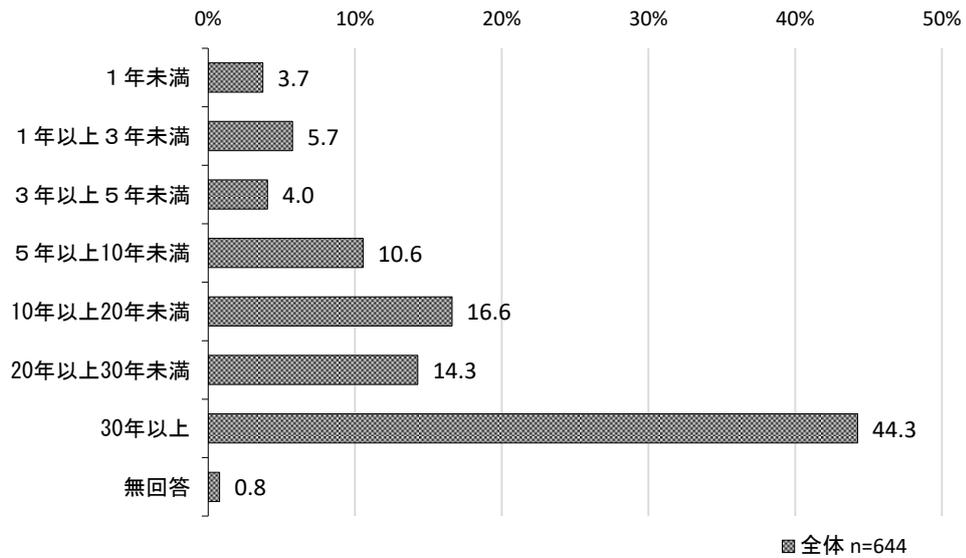
(13) こどもの有無



(14) 自身のステージ



(15) 居住年数



2 各種認知度について

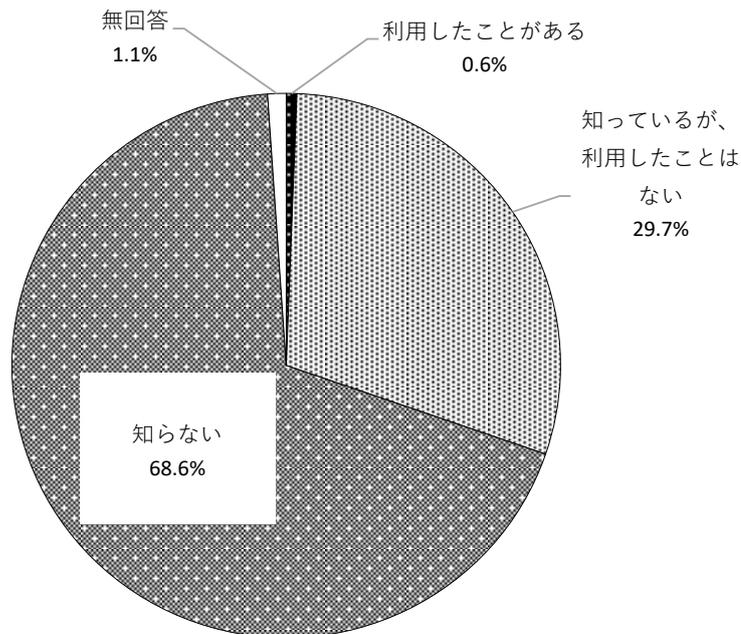
(1) 「大田区DV相談ダイヤル」の認知度

◇《知っている》(「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値)は約3割となっている

問1 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力(ドメスティック・バイオレンス=DV)に関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

“大田区DV相談ダイヤル”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が30.3%である一方で、「知らない」が68.6%と、「知らない」が38.3ポイント上回っている。

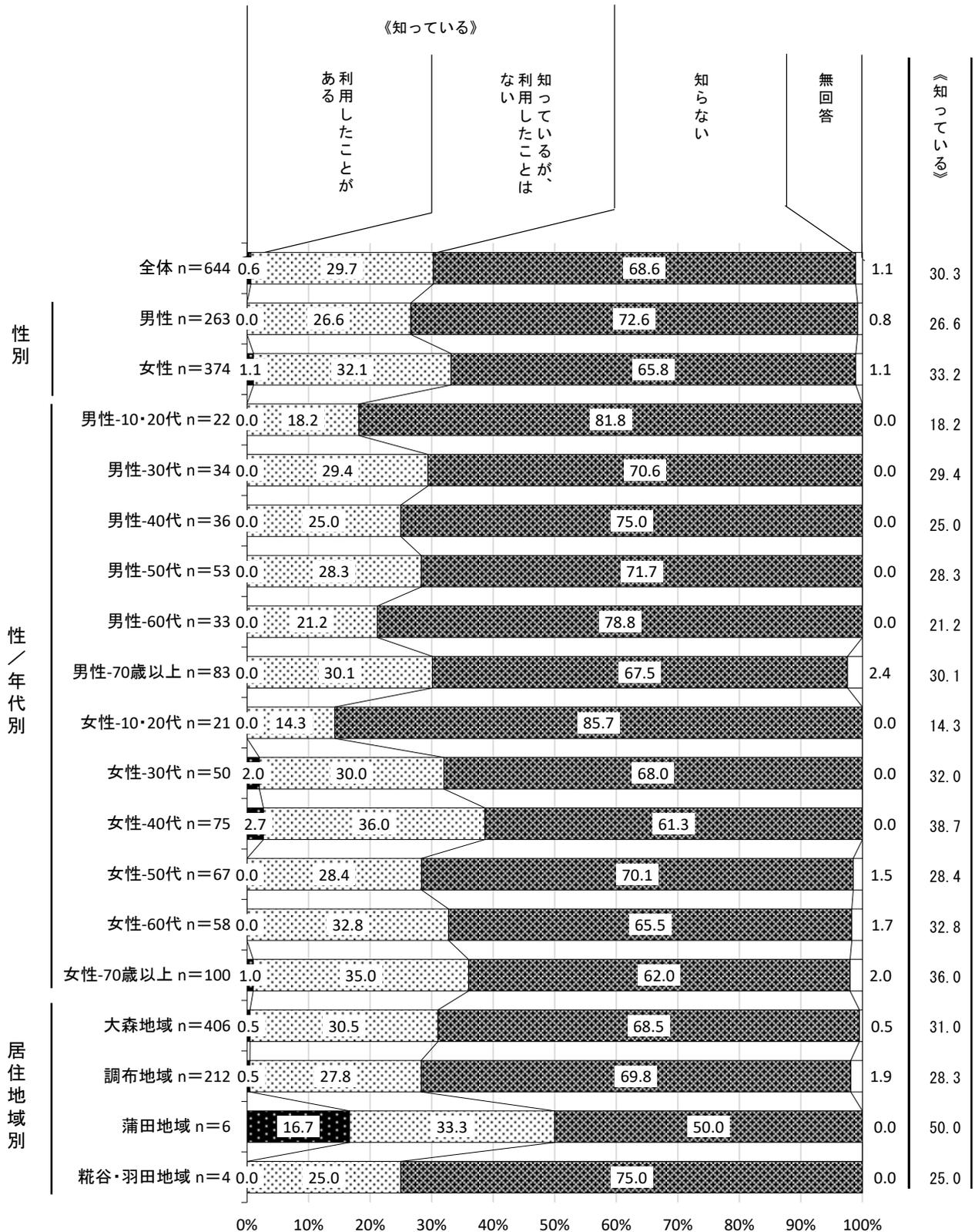
全体 n=644



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が26.6%、女性が33.2%と、女性が6.6ポイント上回っている。
 性/年代別でみると、《知っている》は男性では70歳以上で約3割、女性では40代で3割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は大森地域で3割前半と高くなっている。



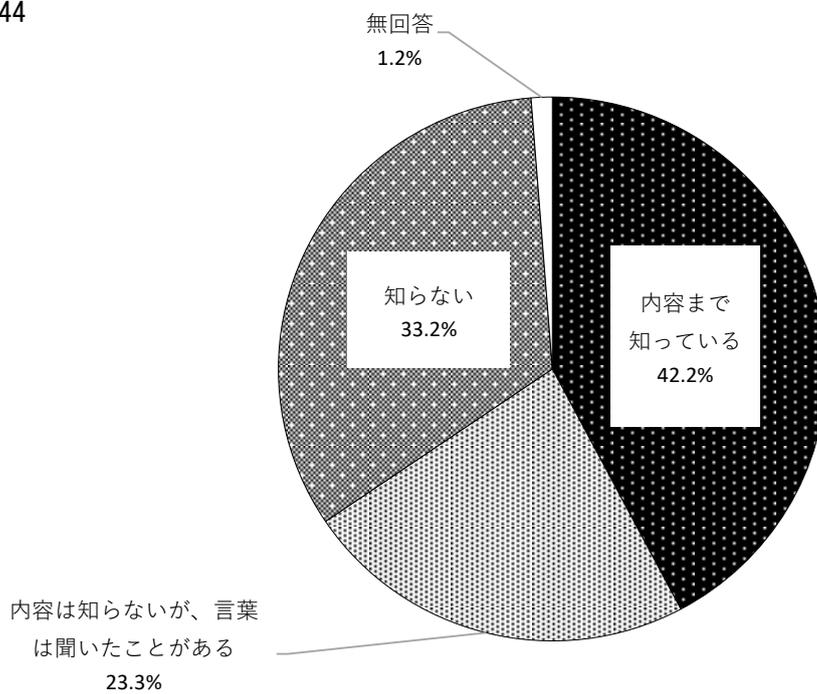
(2) 「ワーク・ライフ・バランス」の認知度

◇「内容まで知っている」は4割前半となっている

問2 「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉ですが、この言葉を知っていましたか。(1つのみ)

“ワーク・ライフ・バランス”の認知度については、「内容まで知っている」が42.2%で最も高く、次いで「内容は知らないが、言葉は聞いたことがある」が23.3%、「知らない」が33.2%となっている。

全体 n=644

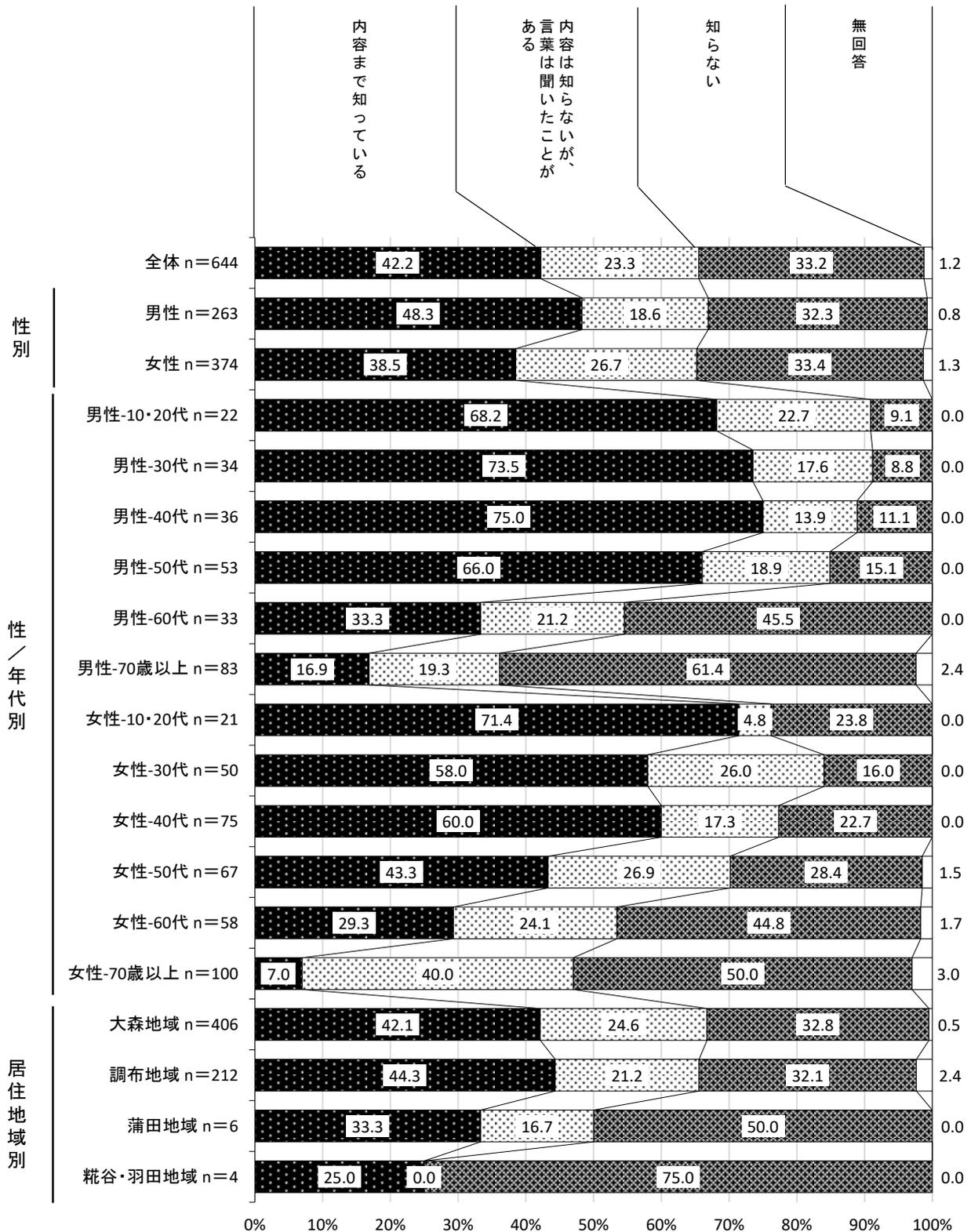


■性別・性/年代別・居住地域別

性別で見ると、「内容まで知っている」は男性が48.3%、女性が38.5%と、男性が9.8ポイント上回っている。

性/年代別で見ると、「内容まで知っている」は男性では40代が7割半ば、女性では40代が6割と高くなっている。

居住地域別で見ると、大森地域、調布地域で4割前半と高くなっている。



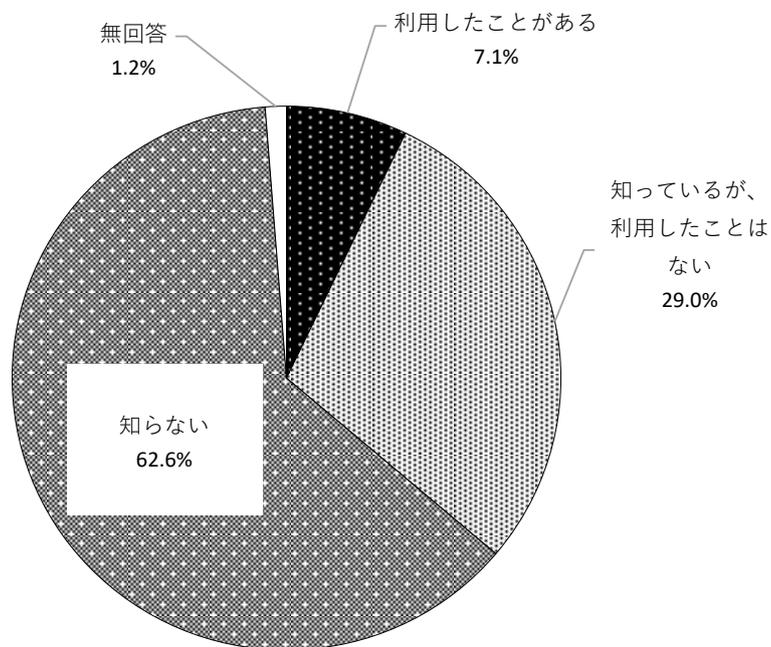
(3) 「エセナおおた」の認知度

◇《知っている》(「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値)は3割後半となっている

問3 区では、男女共同参画社会の実現に向けた取組として様々な講座や展示などの事業を実施しています。これらを主に実施している施設である、男女平等推進センター「エセナおおた」を知っていますか。(1つのみ)

“エセナおおた”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が36.1%である一方で、「知らない」が62.6%と、「知らない」が26.5ポイント上回っている。

全体 n=644

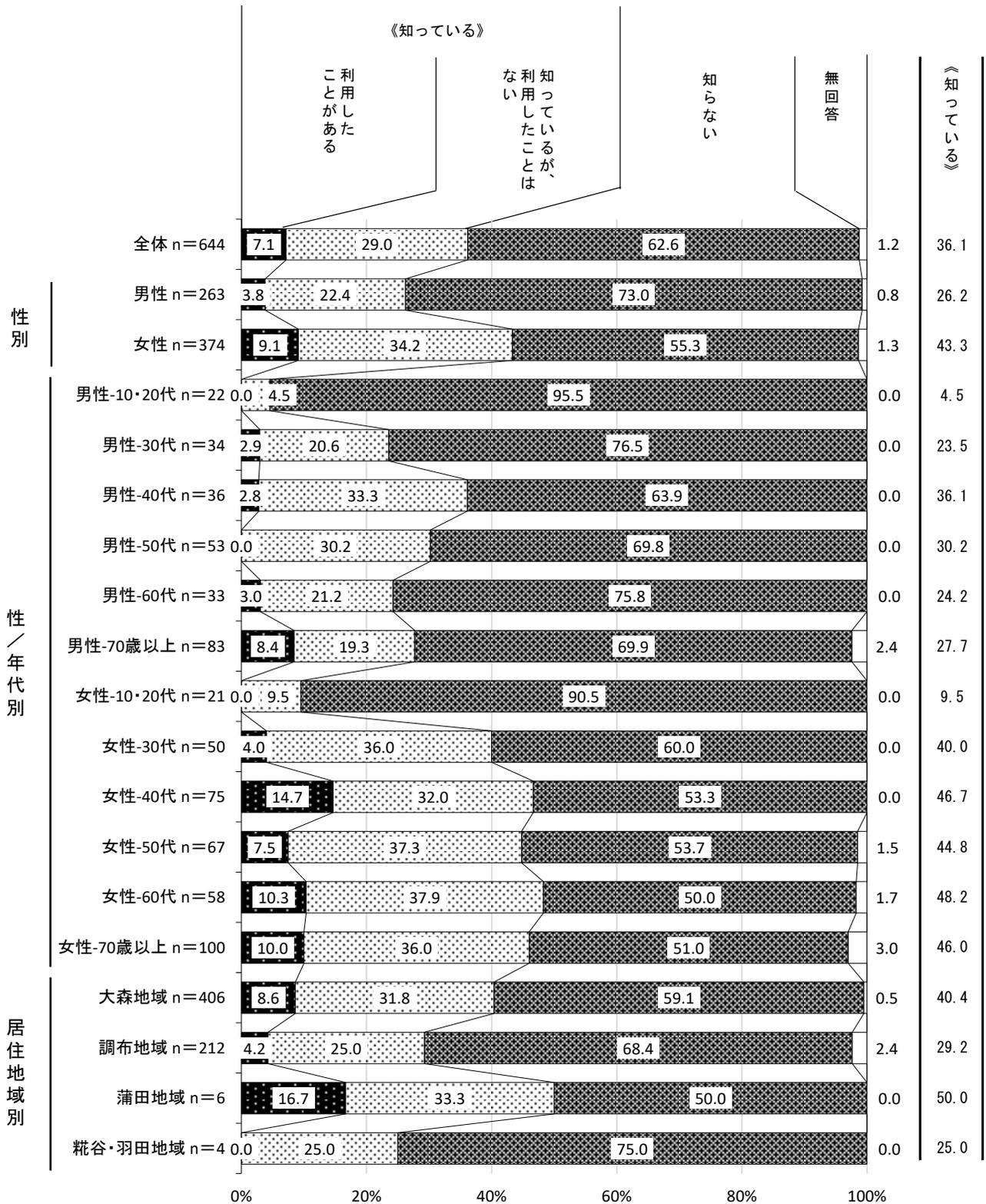


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が26.2%、女性43.3%と、女性が17.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性では40代で3割後半、女性では40代、60代、70歳以上で4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は大森地域で約4割と高くなっている。



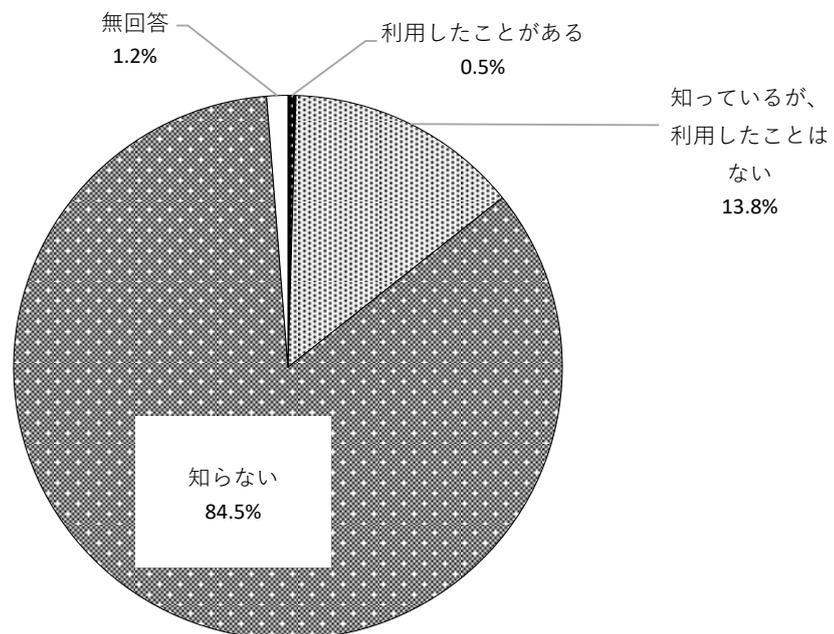
(4) 「女性のためのたんぽぽ相談」の認知度

◇《知っている》(「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値)は1割前半となっている

問4 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。(1つのみ)

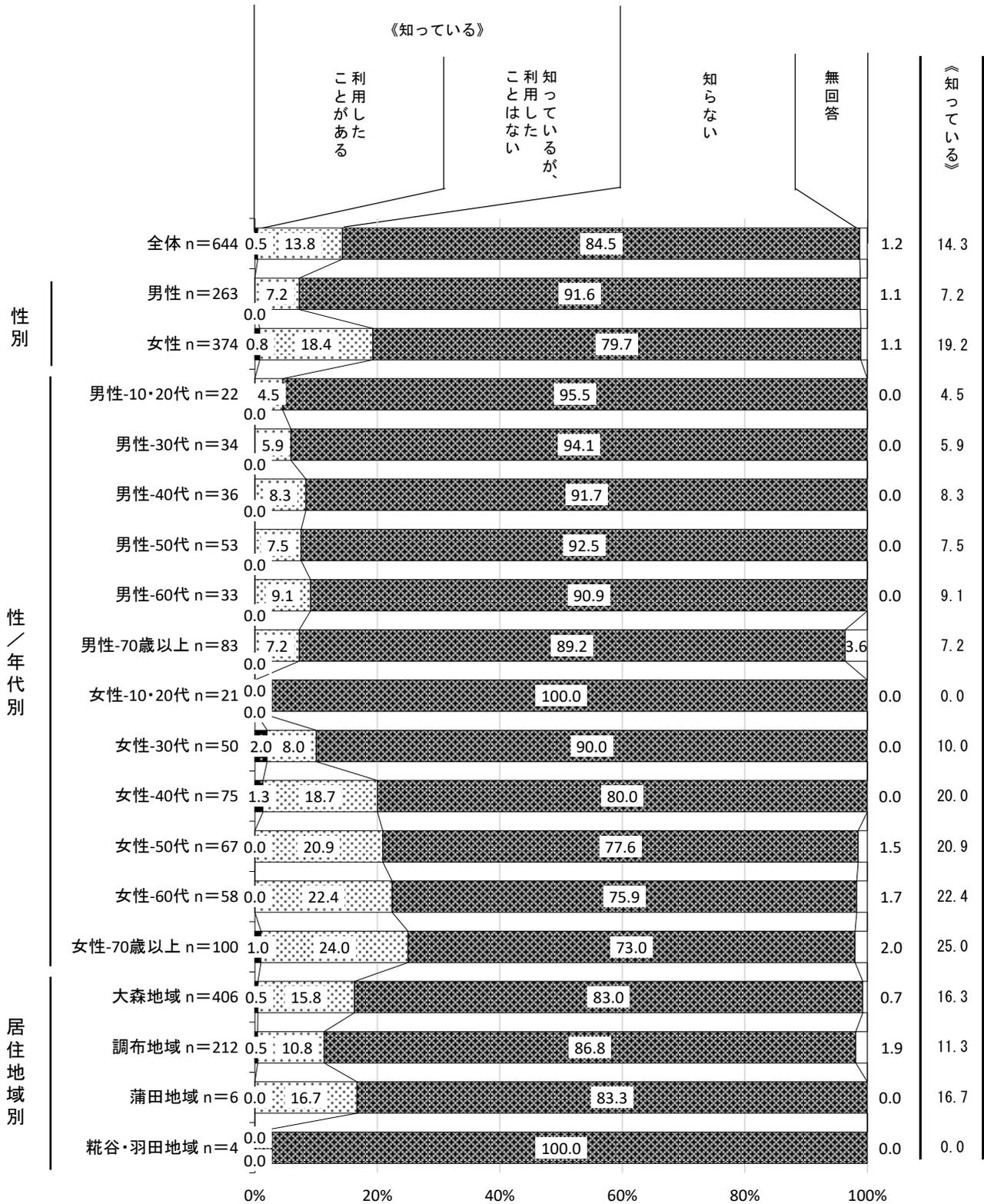
“女性のためのたんぽぽ相談”の認知度については、「利用したことがある」、「知っているが、利用したことはない」の合計値《知っている》が14.3%である一方で、「知らない」が84.5%と、「知らない」が70.2ポイント上回っている。

全体 n=644



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が7.2%、女性が19.2%と、女性が12ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、《知っている》は女性70歳以上で2割半ばと高くなっている。
 居住地域別でみると、《知っている》は大森地域で1割後半と高くなっている。



(5)「大田区立消費者生活センター」の認知度

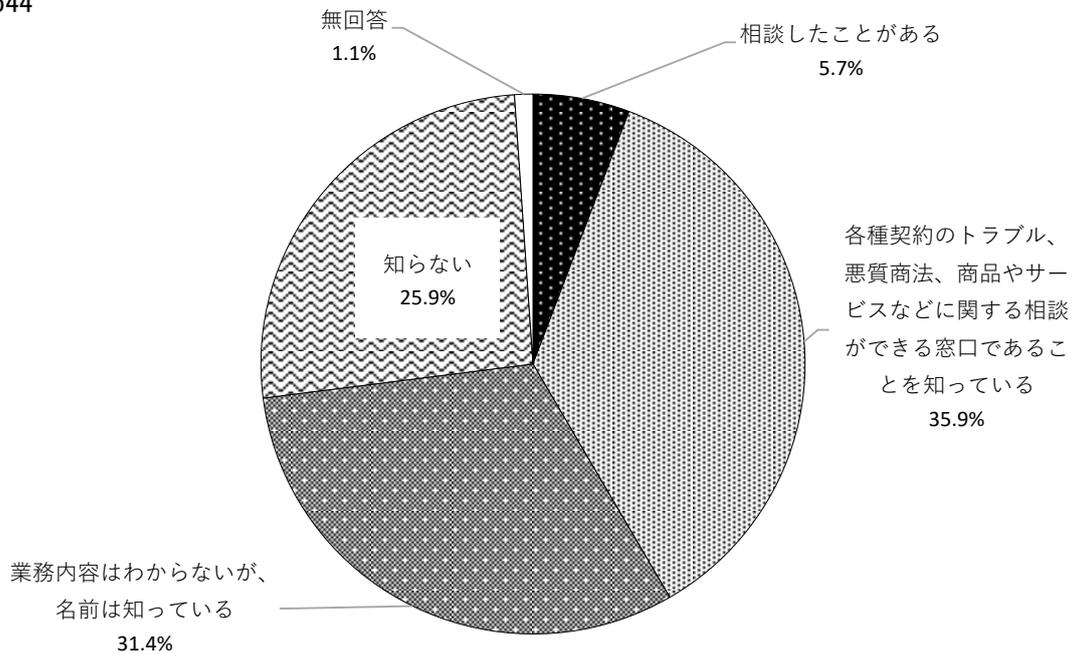
◇「相談したことがある」は1割未満となっている

問5 「大田区立消費者生活センター」を知っていますか。(1つのみ)

“大田区立消費者生活センター”の認知度については、「各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている」が35.9%で最も高く、「業務内容はわからないが、名前は知っている」が31.4%、「知らない」が25.9%となっている。

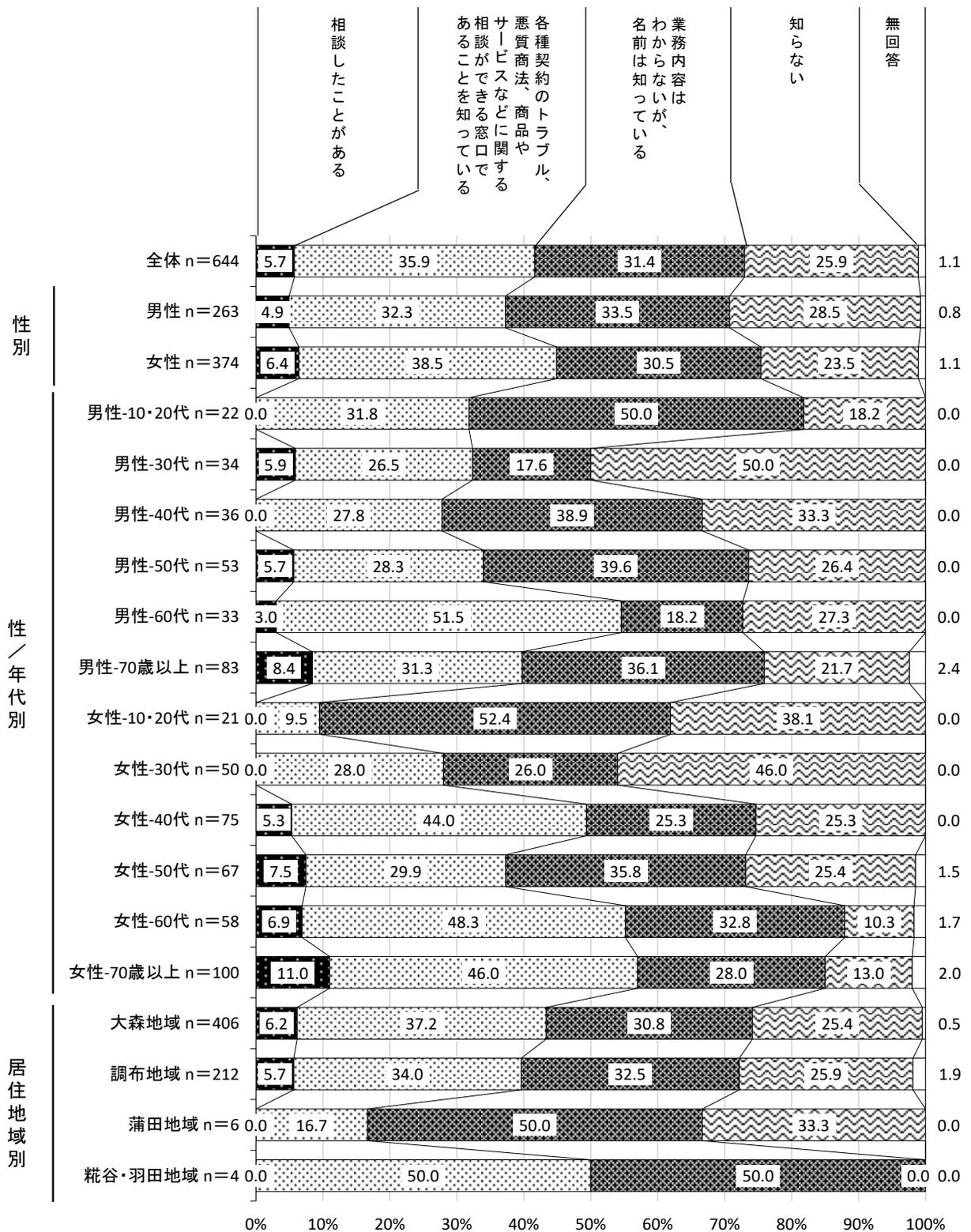
なお、「相談したことがある」は5.7%となっている。

全体 n=644



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「相談したことがある」は男性が4.9%、女性が6.4%と、大きな差はみられなかった。
 性／年代別でみると、「相談したことがある」は女性70歳以上で1割前半と高くなっている。
 居住地域別でみると、大きな差はみられない。

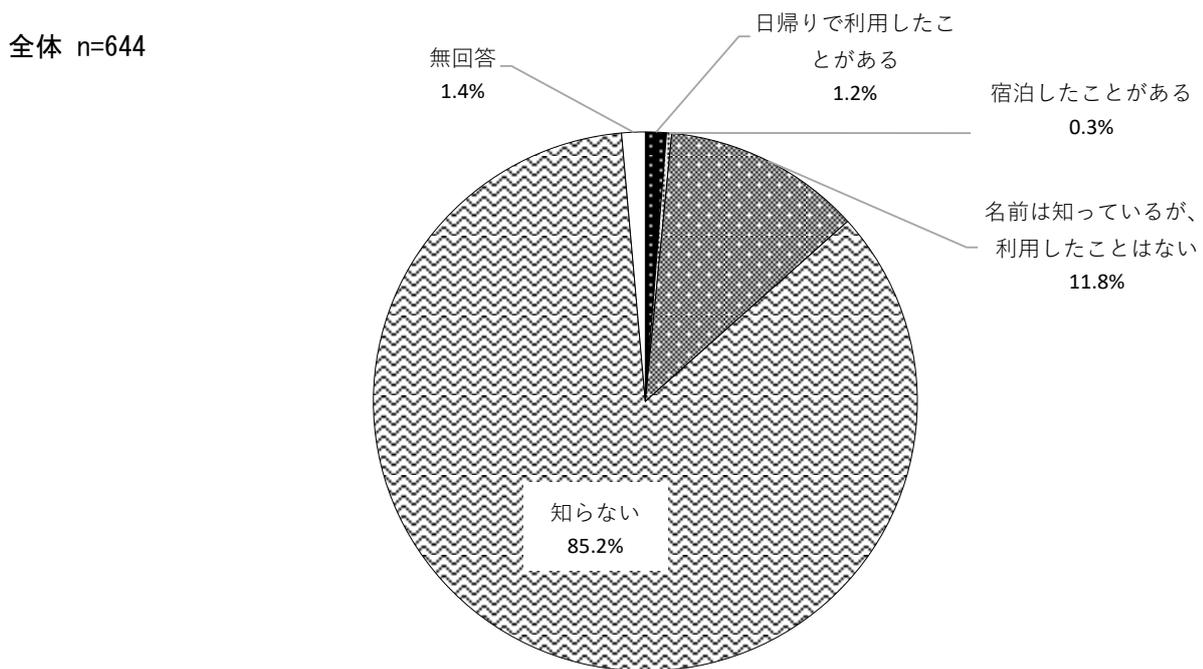


(6)「ゆいっつ(大田区青少年交流センター)」の認知度

◇「日帰りで利用したことがある」、「宿泊したことがある」は1割未満となっている

問6 大田区青少年交流センター「ゆいっつ」を知っていますか。(1つのみ)

“ゆいっつ(大田区青少年交流センター)”の認知度については、「知らない」が85.2%で最も高く、次いで、「名前は知っているが、利用したことはない」が11.8%となっている。
なお、「日帰りで利用したことがある」は1.2%、「宿泊したことがある」は0.3%となっている。

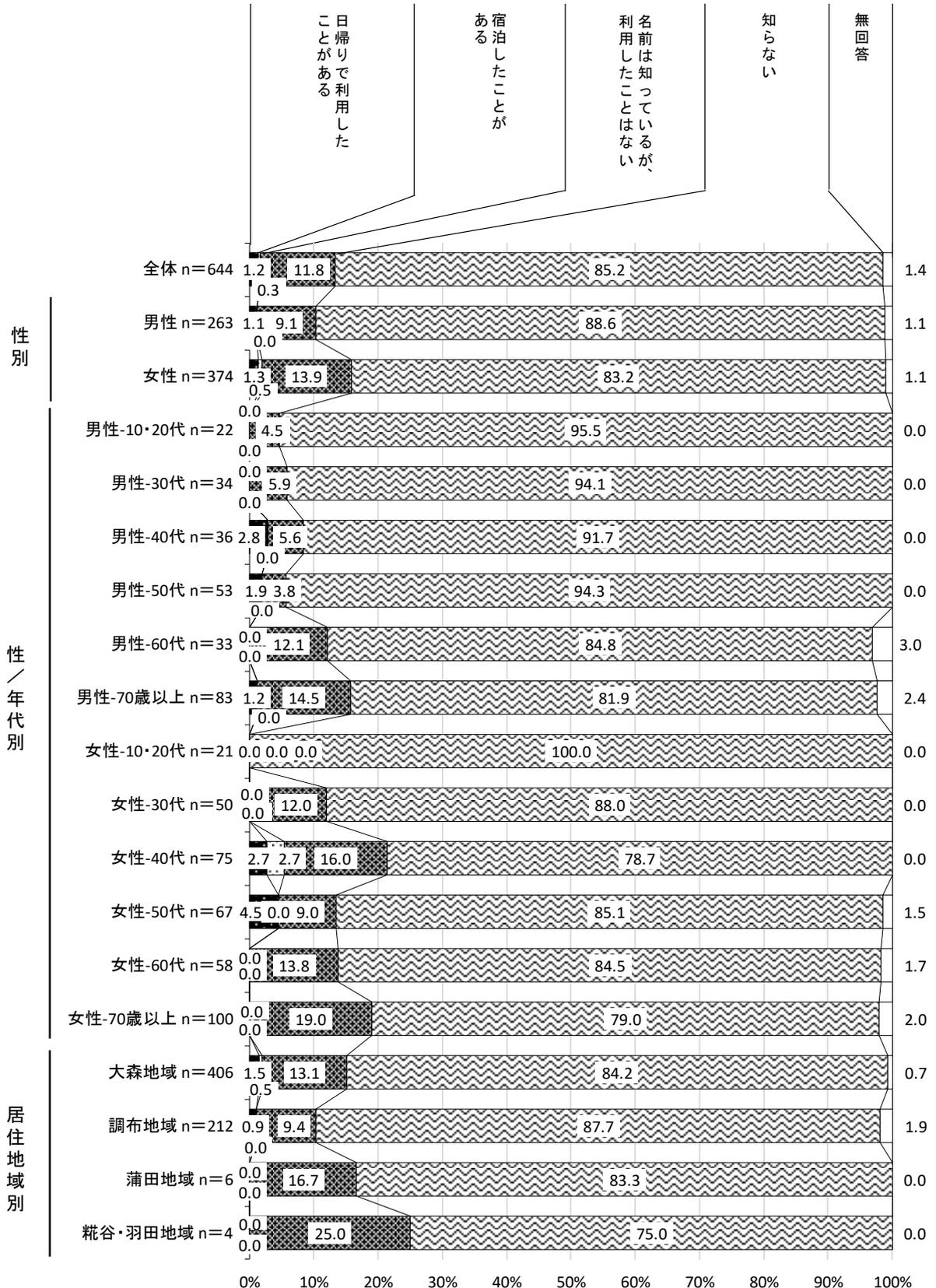


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「日帰りで利用したことがある」、「宿泊したことがある」は男性が1.1%、女性が1.8%と、大きな差はみられなかった。

性/年代別でみると、「日帰りで利用したことがある」、「宿泊したことがある」は男性では40代、50代、70歳以上、女性では40代、50代で、いずれも1割未満だが利用されている。

居住地域別でみると、「日帰りで利用したことがある」、「宿泊したことがある」は大森地域、調布地域で、いずれも1割未満だが利用されている。



3 生涯学習について

(1) 最近1年間の生涯学習の有無

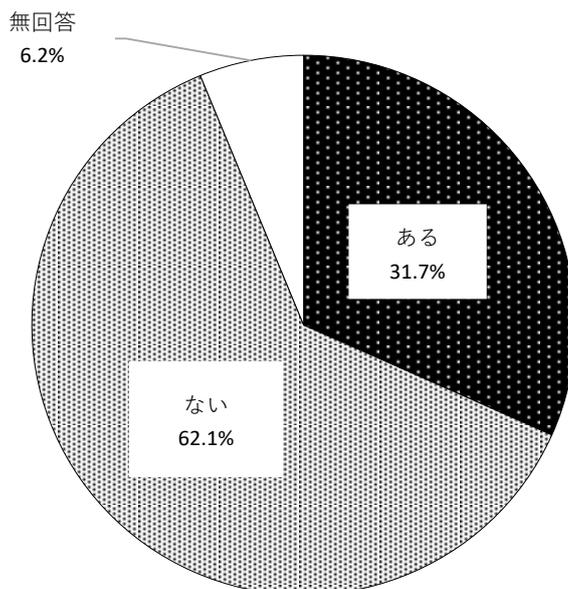
◇「ある」は3割前半となっている

問7 最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

※生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、子ども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

最近1年間の生涯学習の有無については、「ある」が31.7%、「ない」が62.1%と、「ない」が30.4ポイント上回っている。

全体 n=644

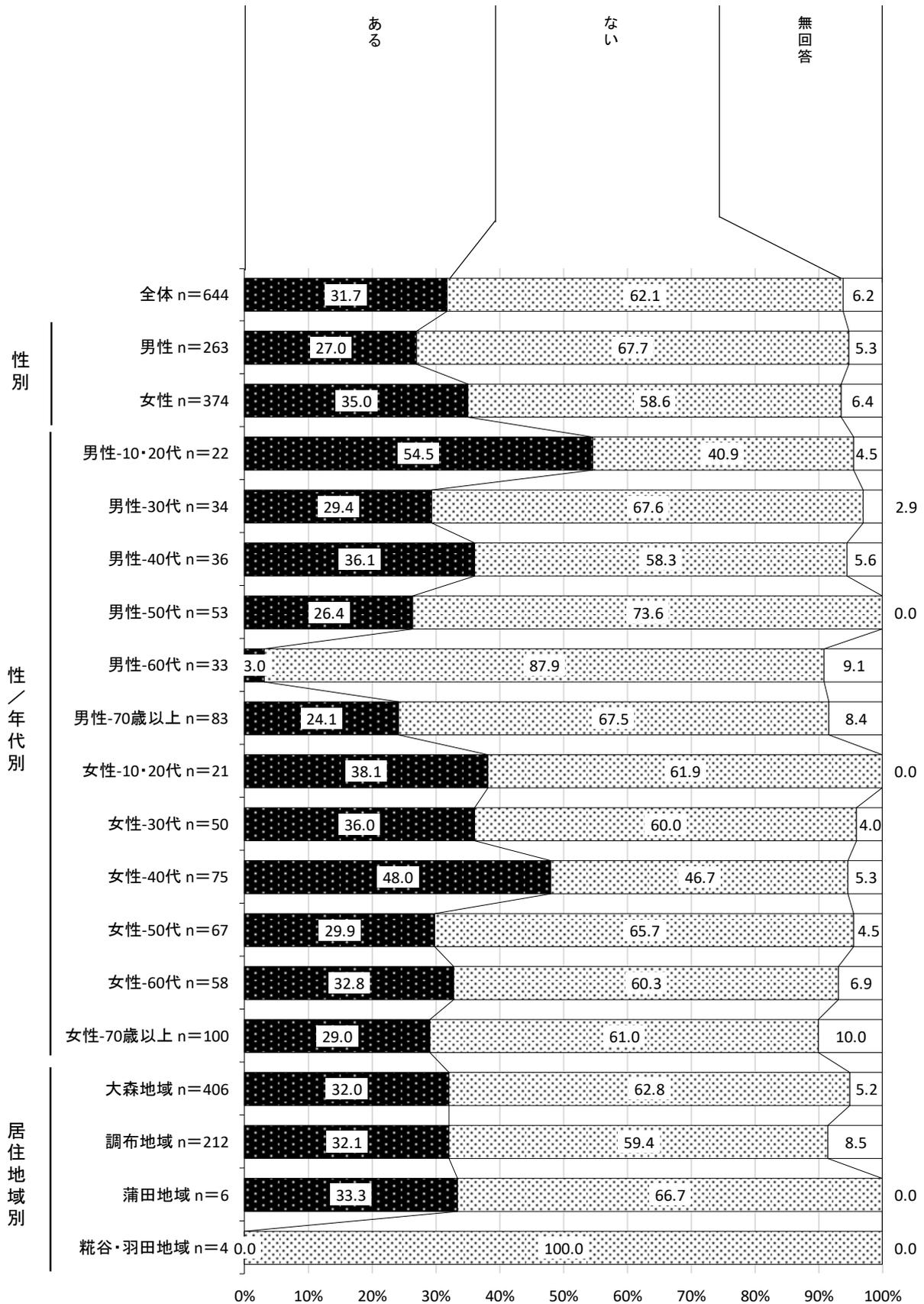


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「ある」は男性が27.0%、女性が35.0%と、女性が8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「ある」は男性では40代で3割後半、女性では40代で4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



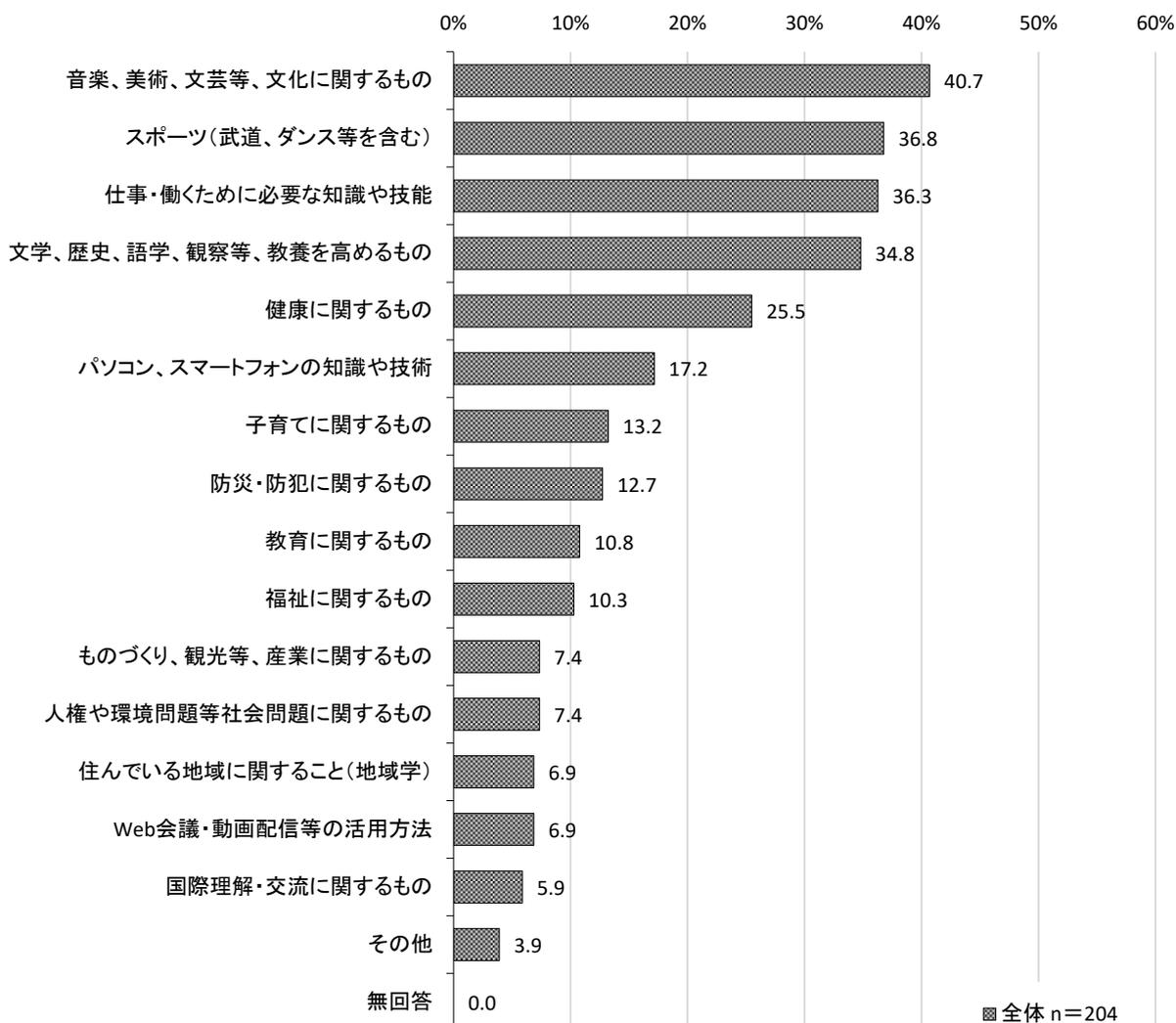
(2) 最近1年間で行った生涯学習

◇「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が4割前半で最も高くなっている

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-1 最近1年間にどのような生涯学習を行いましたか。(複数回答可)

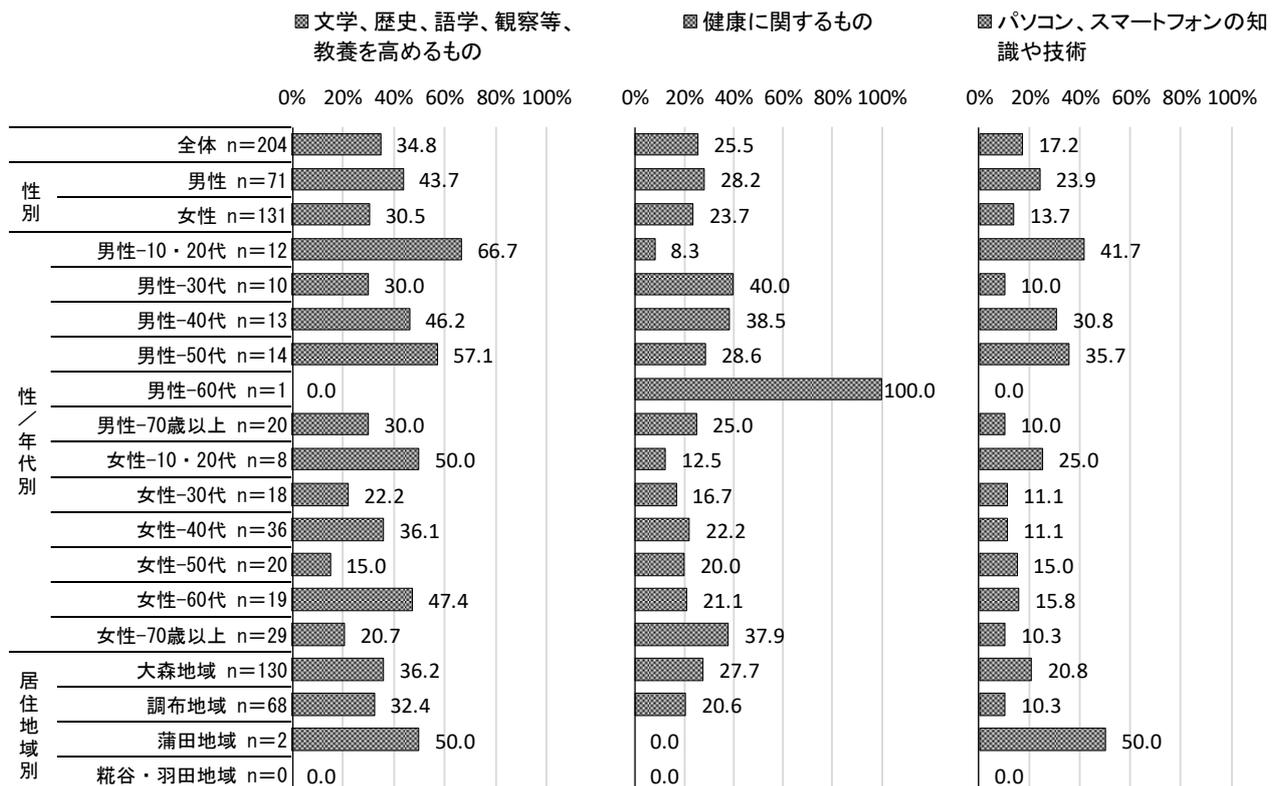
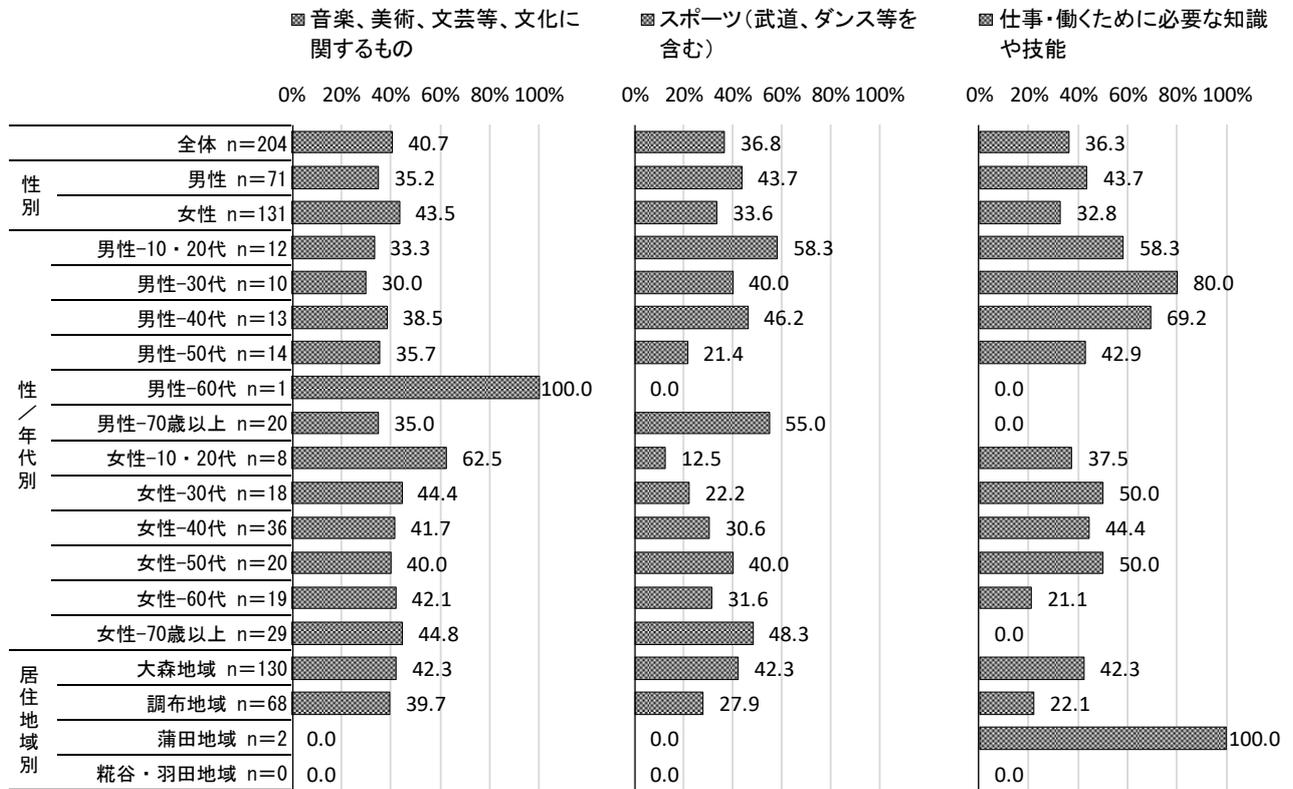
最近1年間で行った生涯学習については、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が40.7%で最も高く、次いで「スポーツ(武道、ダンス等を含む)」が36.8%、「仕事・働くために必要な知識や技能」が36.3%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性では「スポーツ（武道、ダンス等を含む）」、「仕事・働くために必要な知識や技能」、「文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの」が、女性では「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が最も高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域では「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」、「スポーツ（武道、ダンス等を含む）」、「仕事・働くために必要な知識や技能」が最も高くなっている。



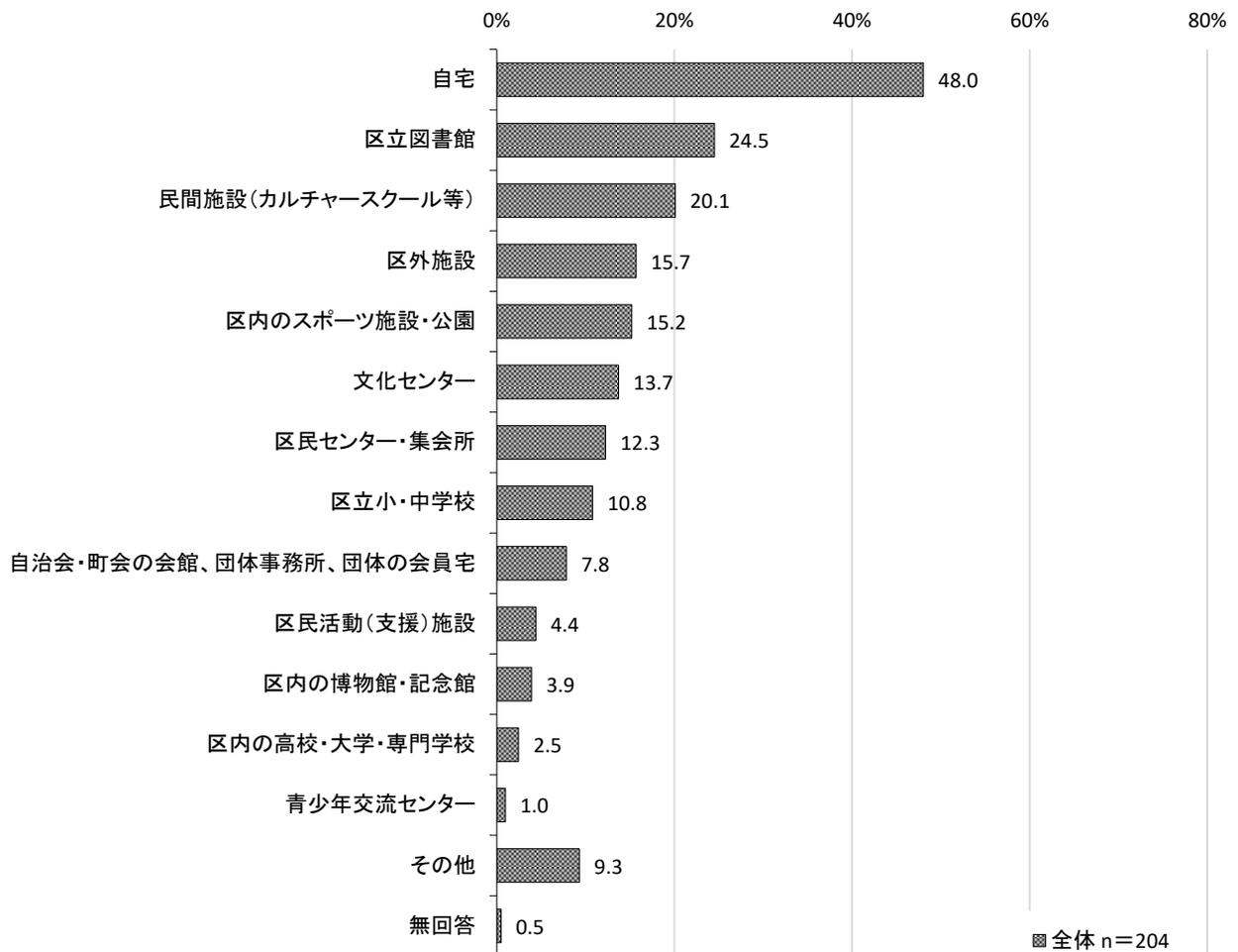
(3) 生涯学習の活動場所

◇「自宅」が4割後半で最も高くなっている

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-2 生涯学習を行っている場所はどこですか。(複数回答可)

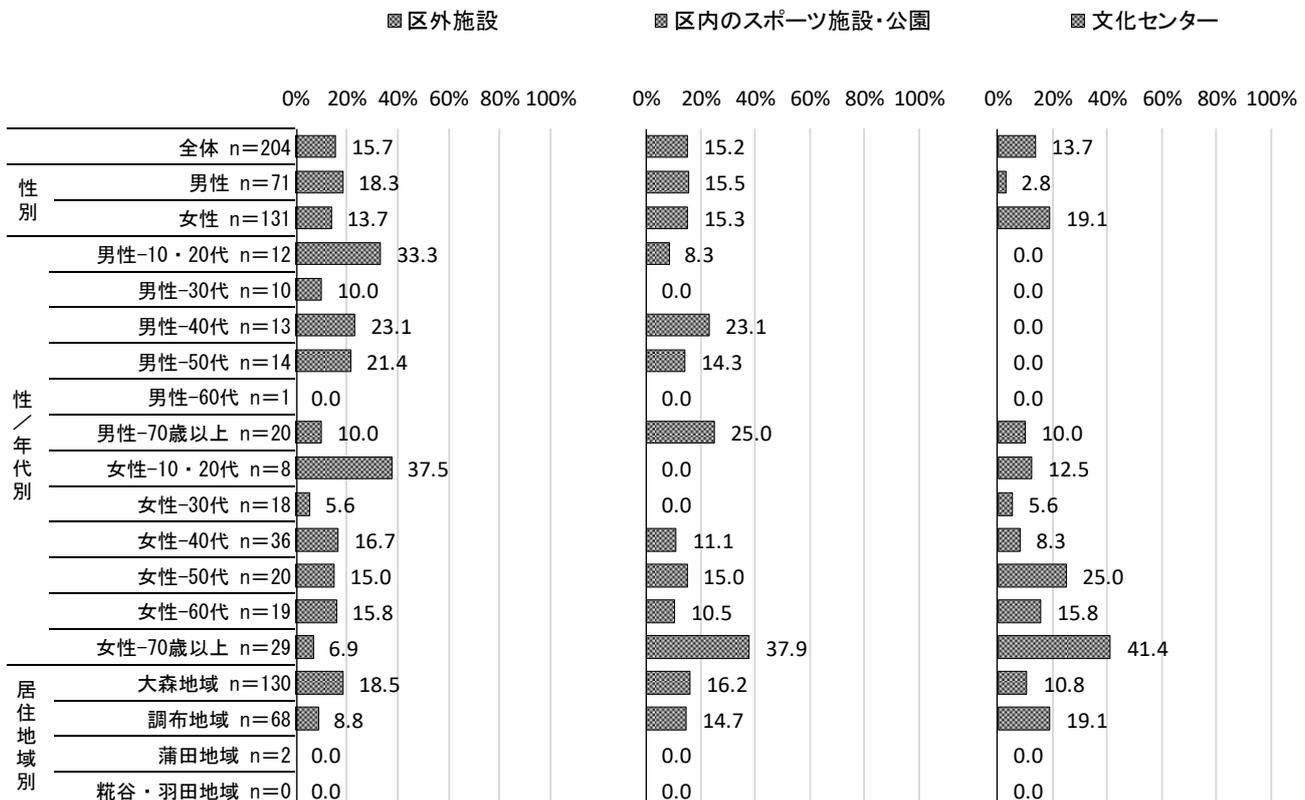
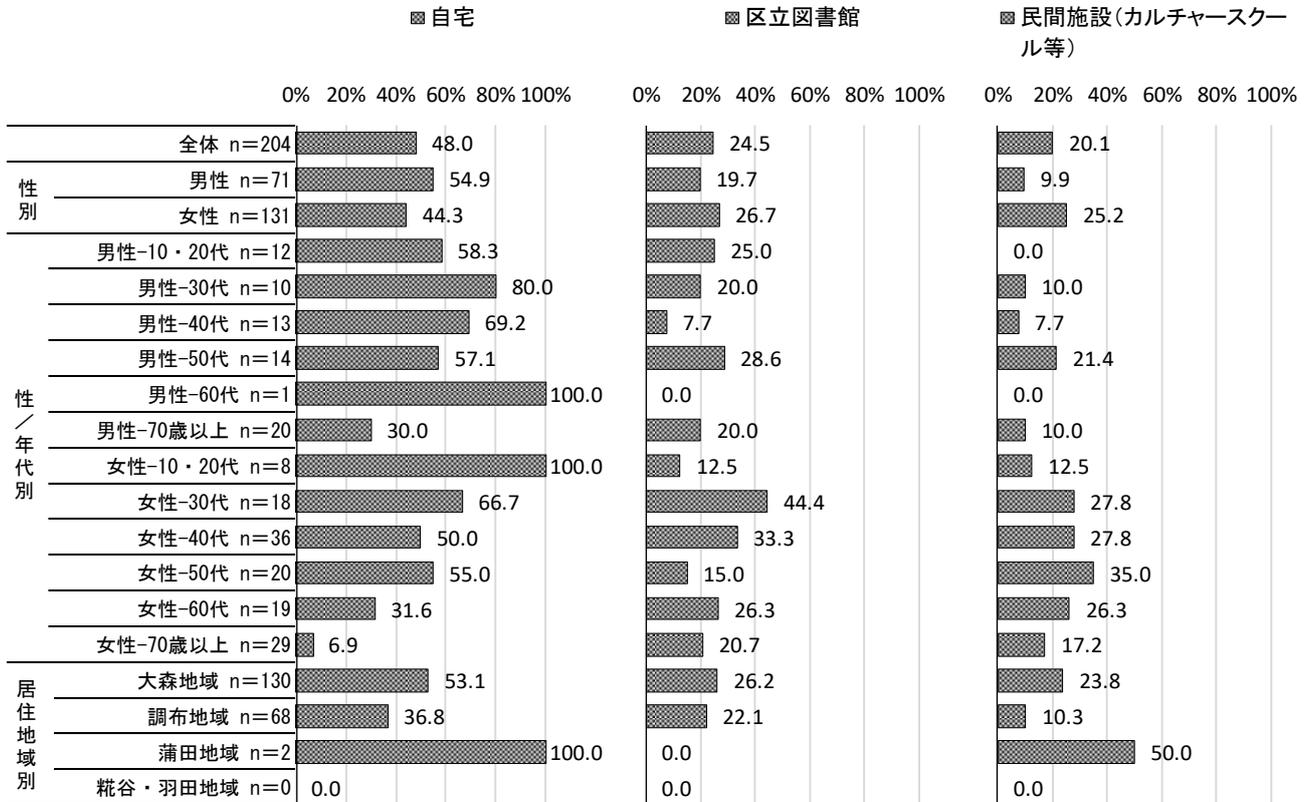
生涯学習の活動場所については、「自宅」が48.0%で最も高く、次いで「区立図書館」が24.5%、「民間施設(カルチャースクール等)」が20.1%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「自宅」が最も高く、男性が54.9%、女性が44.3%と、男性が10.6ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「自宅」は大森地域で5割前半と高くなっている。



(4) オンラインによる生涯学習の有無

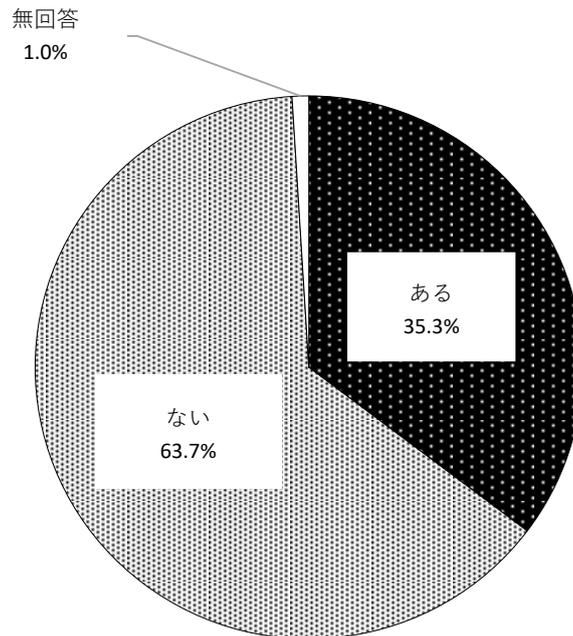
◇「ある」は3割半ばとなっている

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-3 オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

オンラインによる生涯学習の有無については、「ある」が35.3%、「ない」が63.7%と、「ない」が28.4ポイント上回っている。

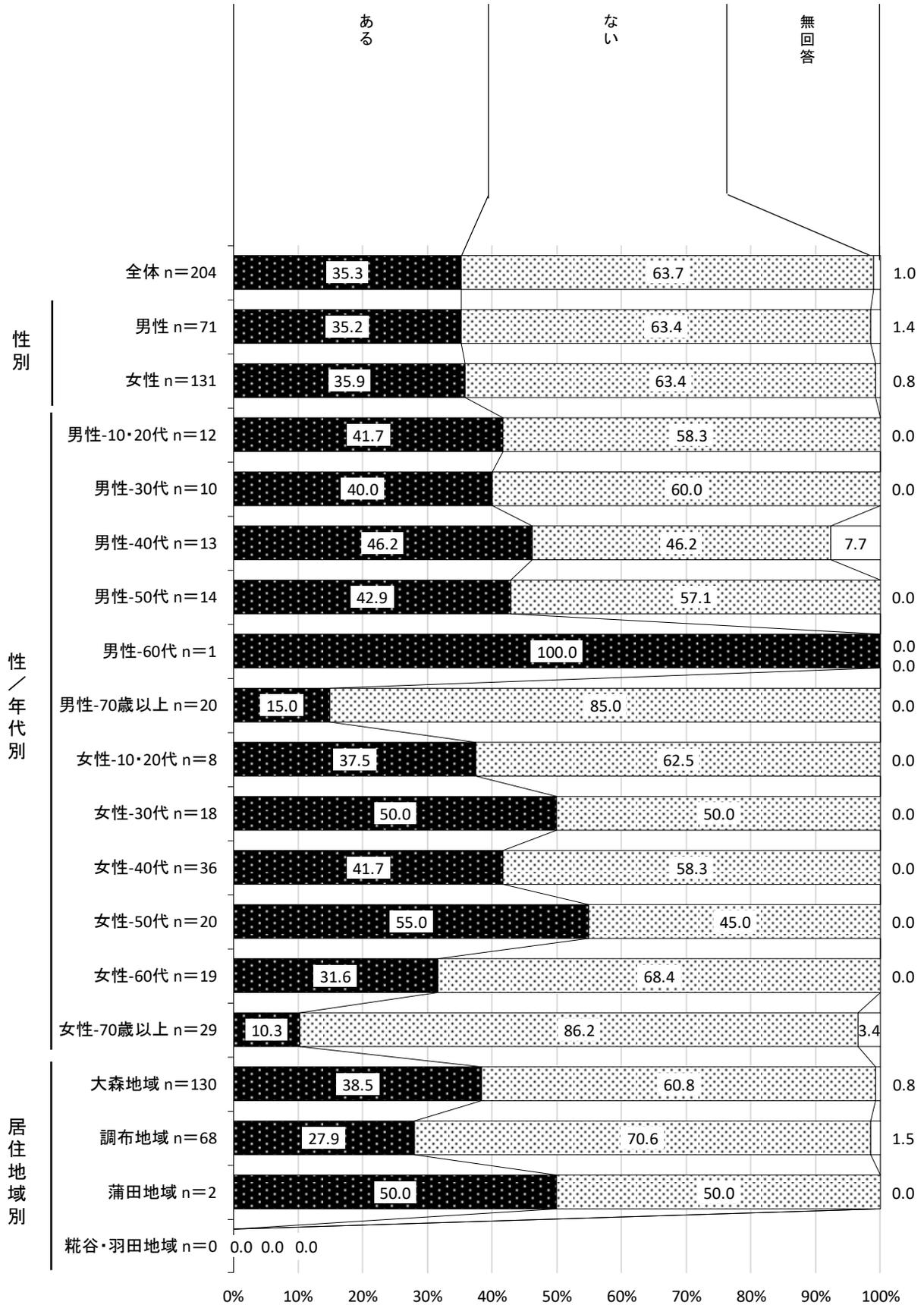
全体 n=204



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

居住地域別でみると、「ある」は大森地域で3割後半と高くなっている。



(5) 生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていること

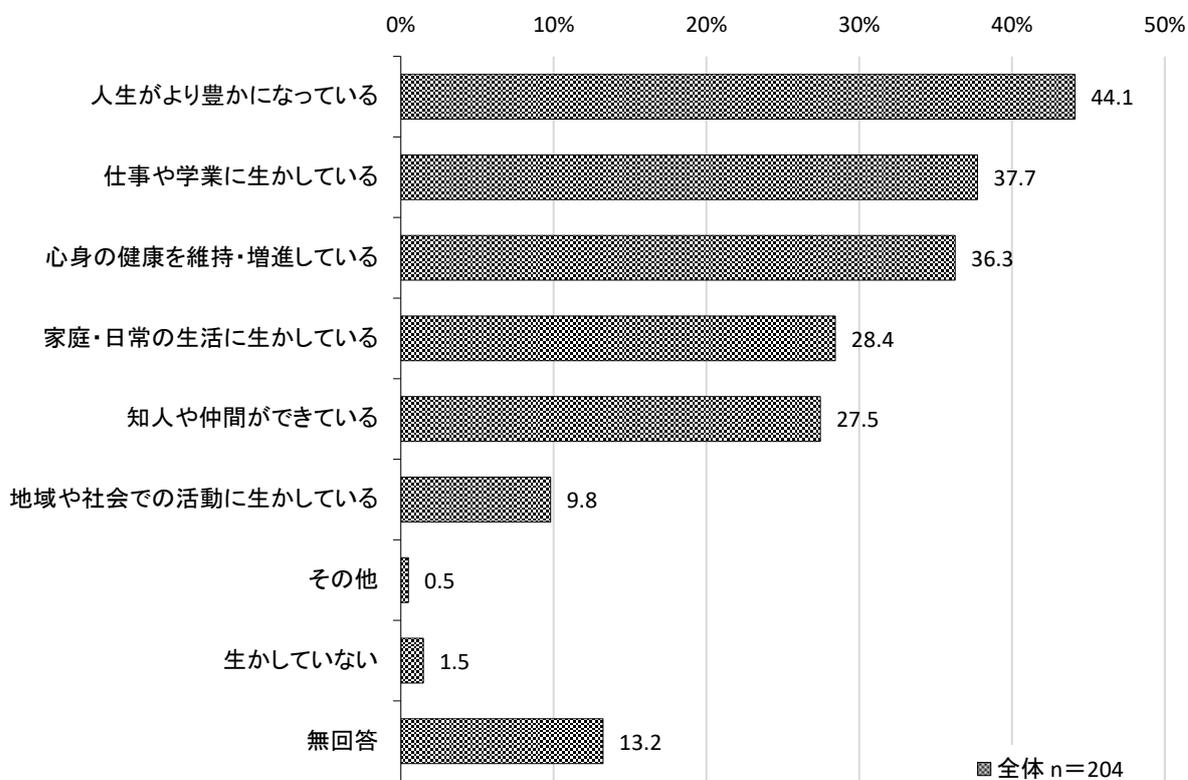
◇「人生がより豊かになっている」が4割前半で最も高くなっている

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-4 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。
(複数回答可)

生涯学習で身に付けた知識・技能・経験を生かしていることについては、「人生がより豊かになっている」が44.1%で最も高く、次いで「仕事や学業に生かしている」が37.7%、「心身の健康を維持・増進している」が36.3%となっている。

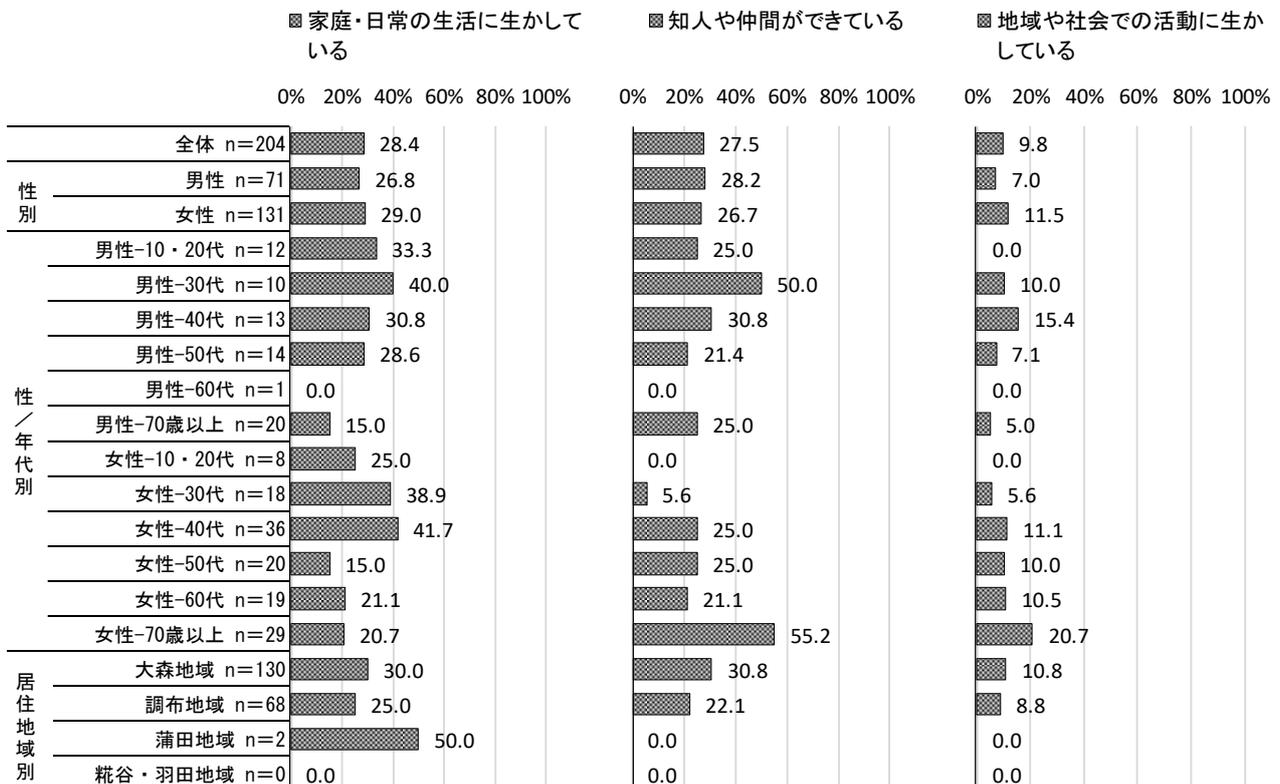
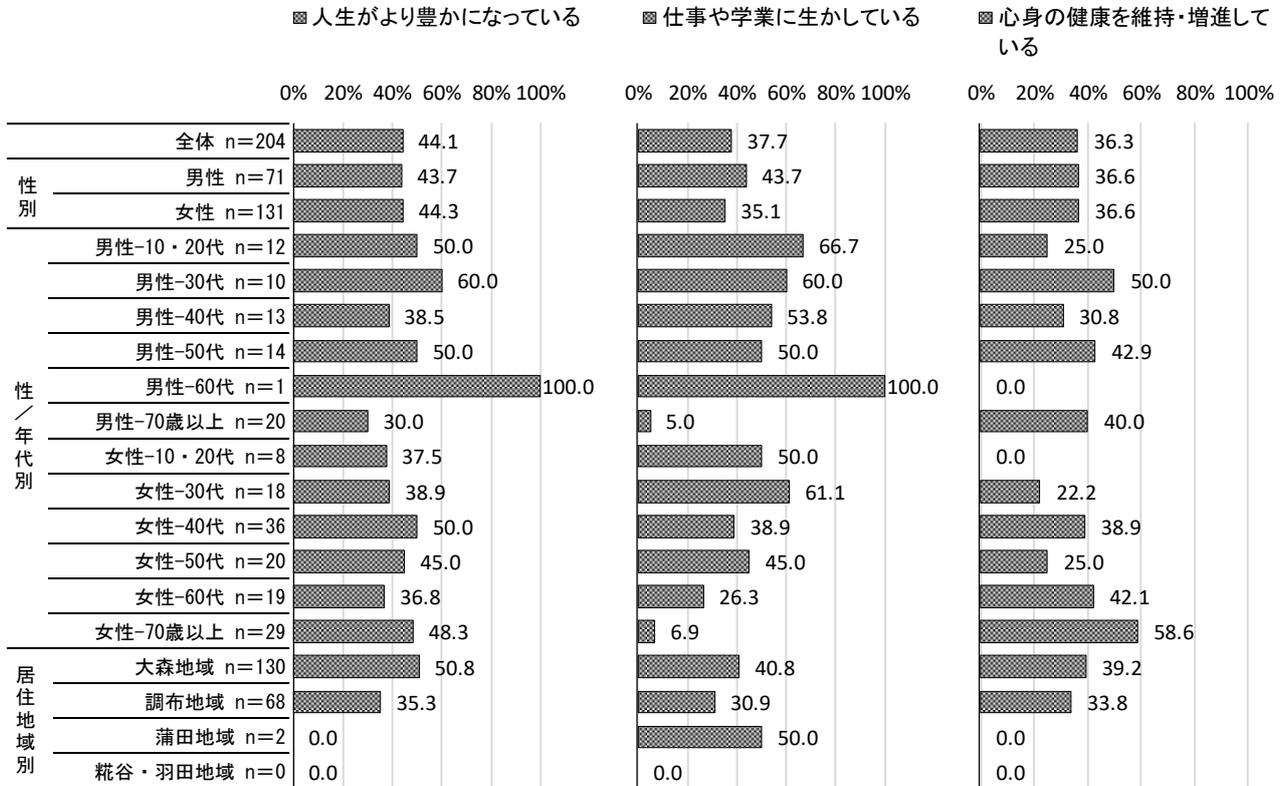
なお、「生かしていない」は1.5%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、男性では「人生がより豊かになっている」、「仕事や学業に生かしている」が43.7%、女性では「人生がより豊かになっている」が44.3%で最も高くなっている。「仕事や学業に生かしている」は男性が43.7%、女性が35.1%と、男性が8.6ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「人生がより豊かになっている」は大森地域で5割前半と高くなっている。

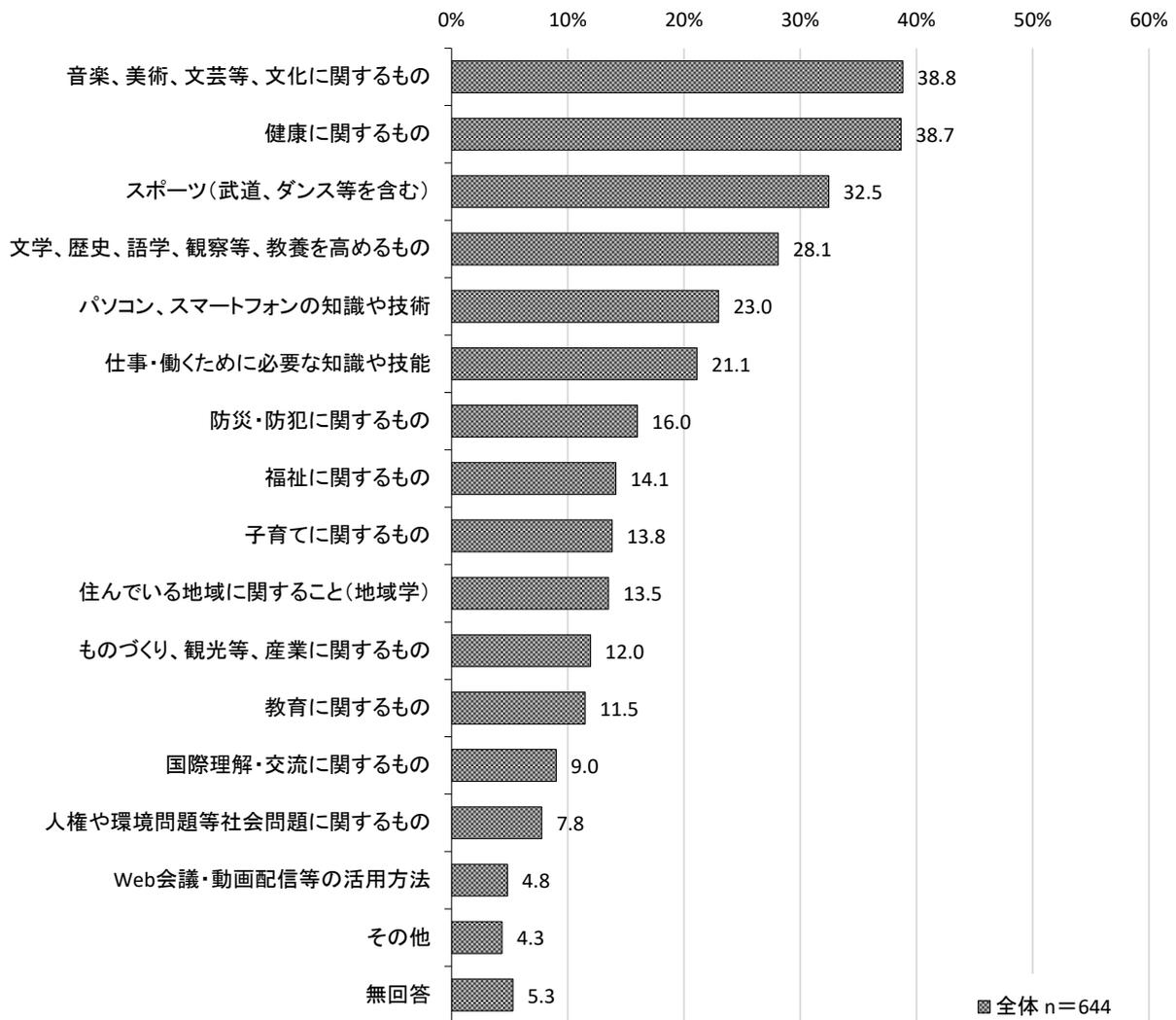


(6) 今後行いたい生涯学習

◇「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」、「健康に関するもの」が3割後半で最も高くなっている

問8 今後行いたい生涯学習の内容をお答えください。(複数回答可)

今後行いたい生涯学習については、「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が38.8%で最も高く、次いで「健康に関するもの」が38.7%、「スポーツ(武道、ダンス等を含む)」が32.5%となっている。

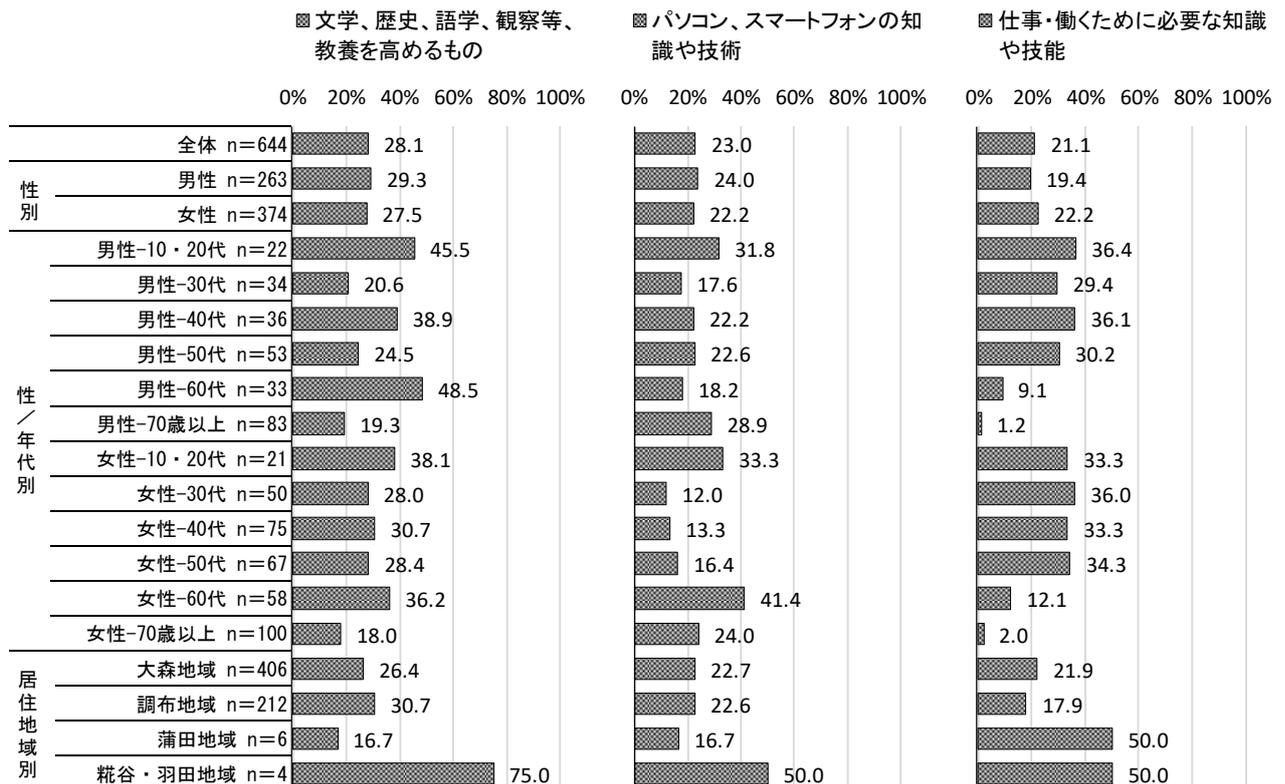
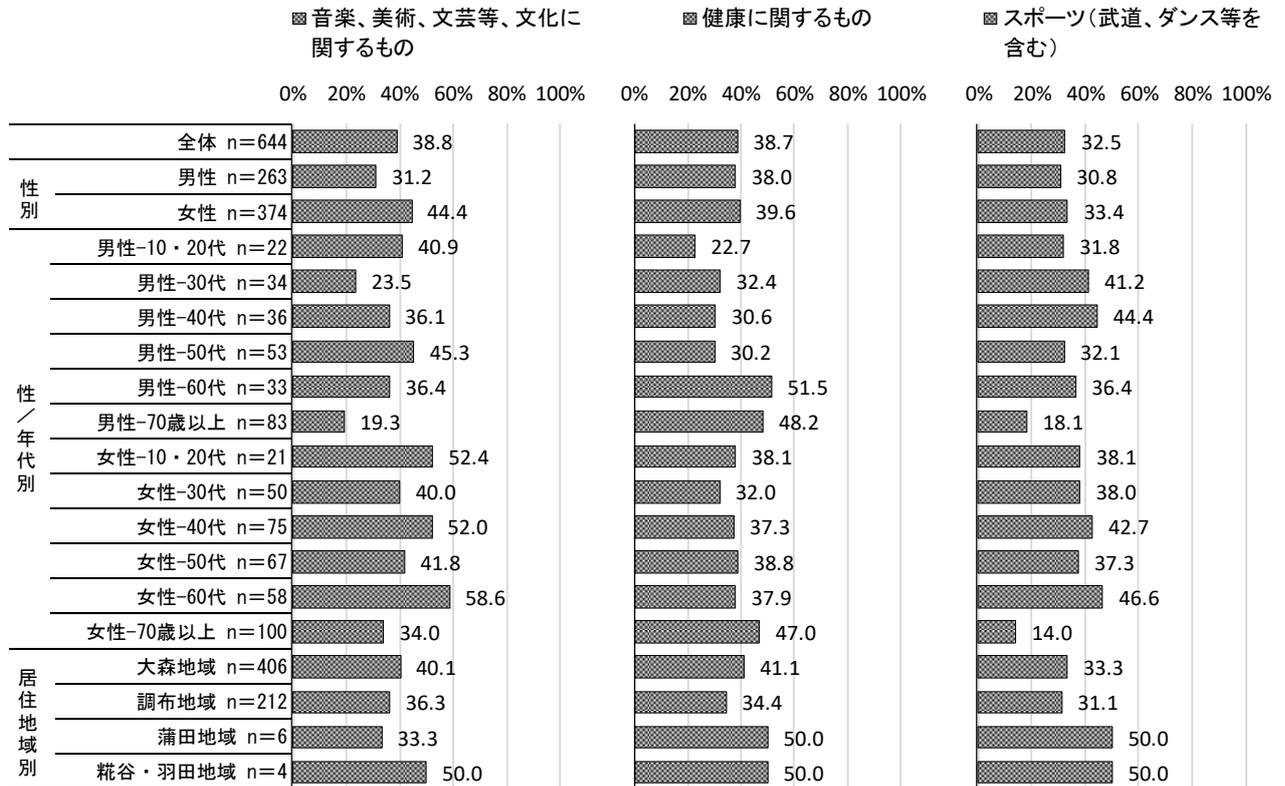


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性は「健康に関するもの」が、女性は「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、男性60代では「健康に関するもの」が5割前半、「文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの」が4割後半と高くなっている。女性60代では「音楽、美術、文芸等、文化に関するもの」が5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

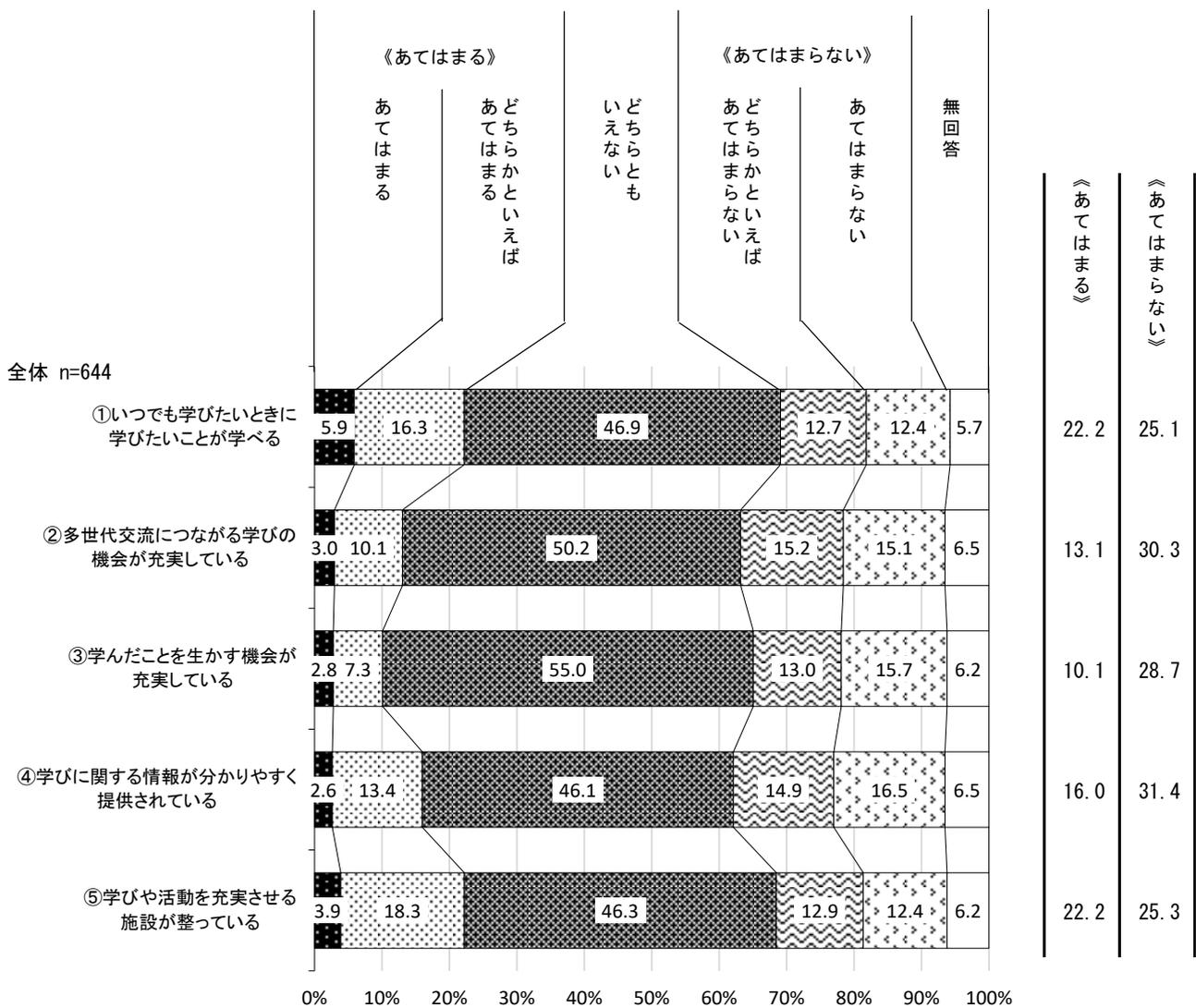


(7) 生涯学習の満足度

◇《あてはまる》(「あてはまる」、「どちらかといえばあてはまる」の合計値)は「①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる」、「⑤学びや活動を充実させる施設が整っている」が2割前半で高くなっている

問9 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

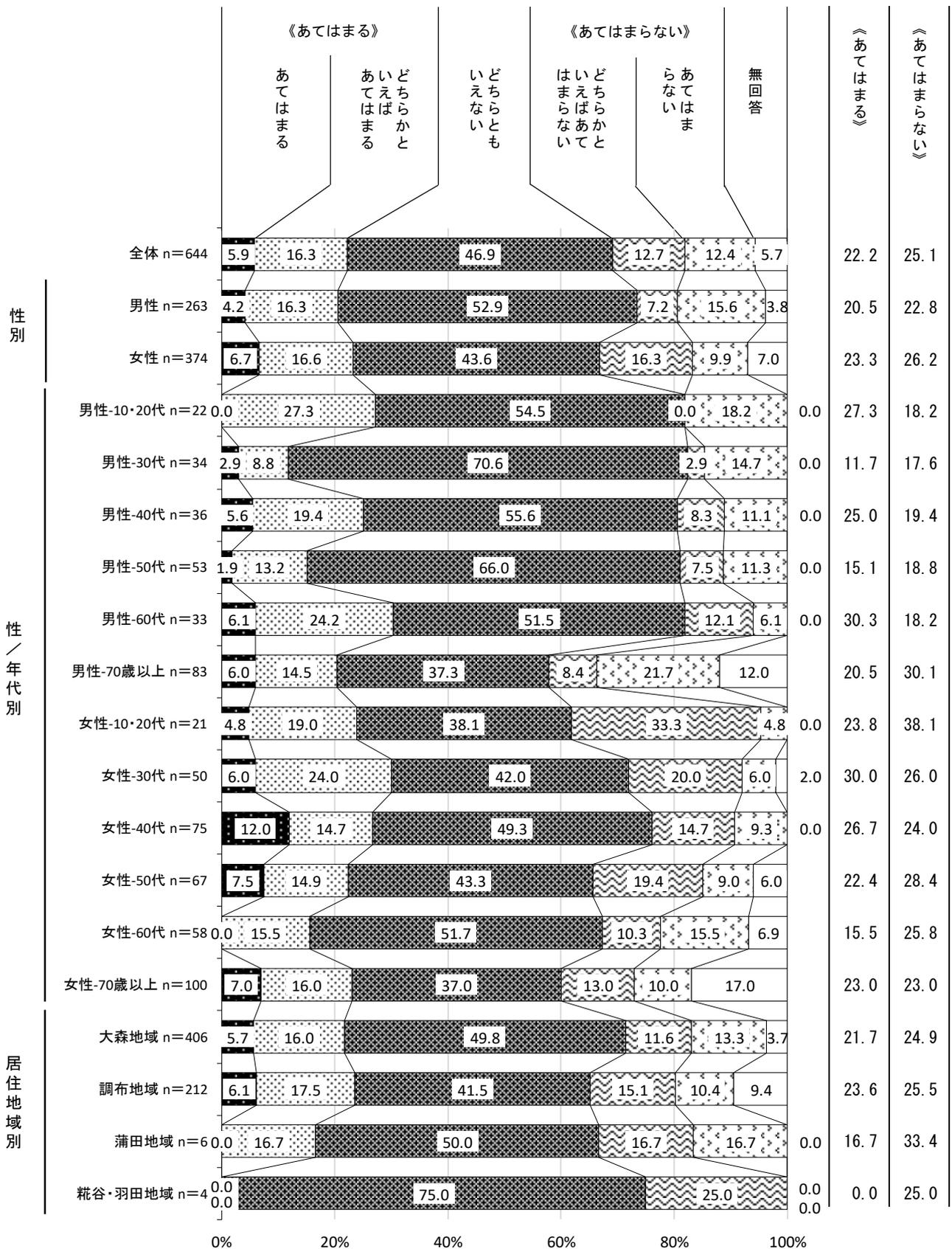
現在の大田区の生涯学習については、「①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる」、「⑤学びや活動を充実させる施設が整っている」が22.2%で最も高く、次いで「④学びに関する情報が分かりやすく提供されている」が16.0%、「②多世代交流につながる学びの機会が充実している」が13.1%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_①いつでも学びたいときに学びたいことが学べる

性別でみると、《あてはまる》は男性が20.5%、女性が23.3%と、大きな差はみられない。

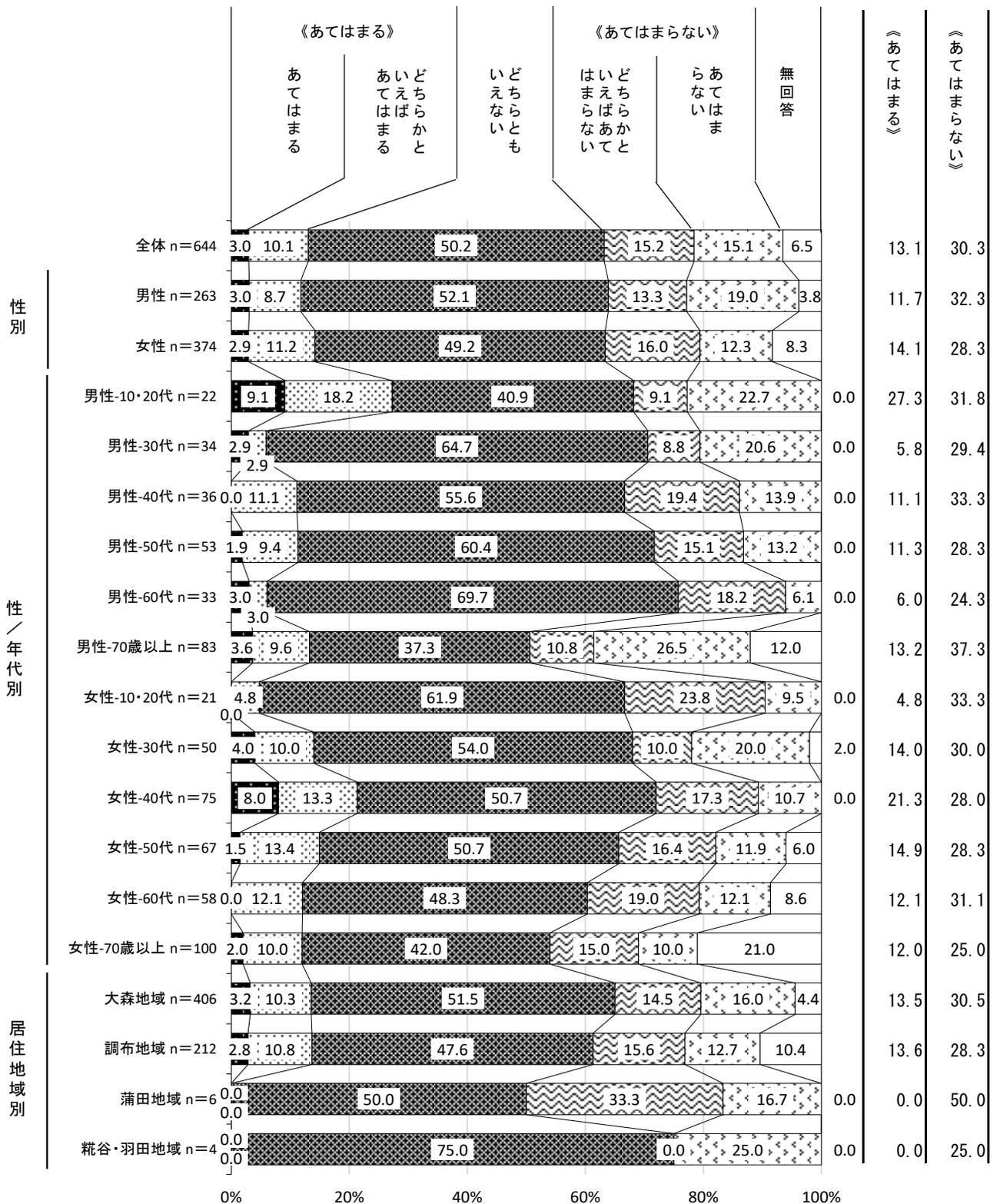
性/年代別でみると、《あてはまる》は男性では60代で約3割、女性では30代で3割と高くなっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_②多世代交流につながる学びの機会が充実している

性別で見ると、《あてはまる》は男性が11.7%、女性が14.1%と、大きな差はみられない。

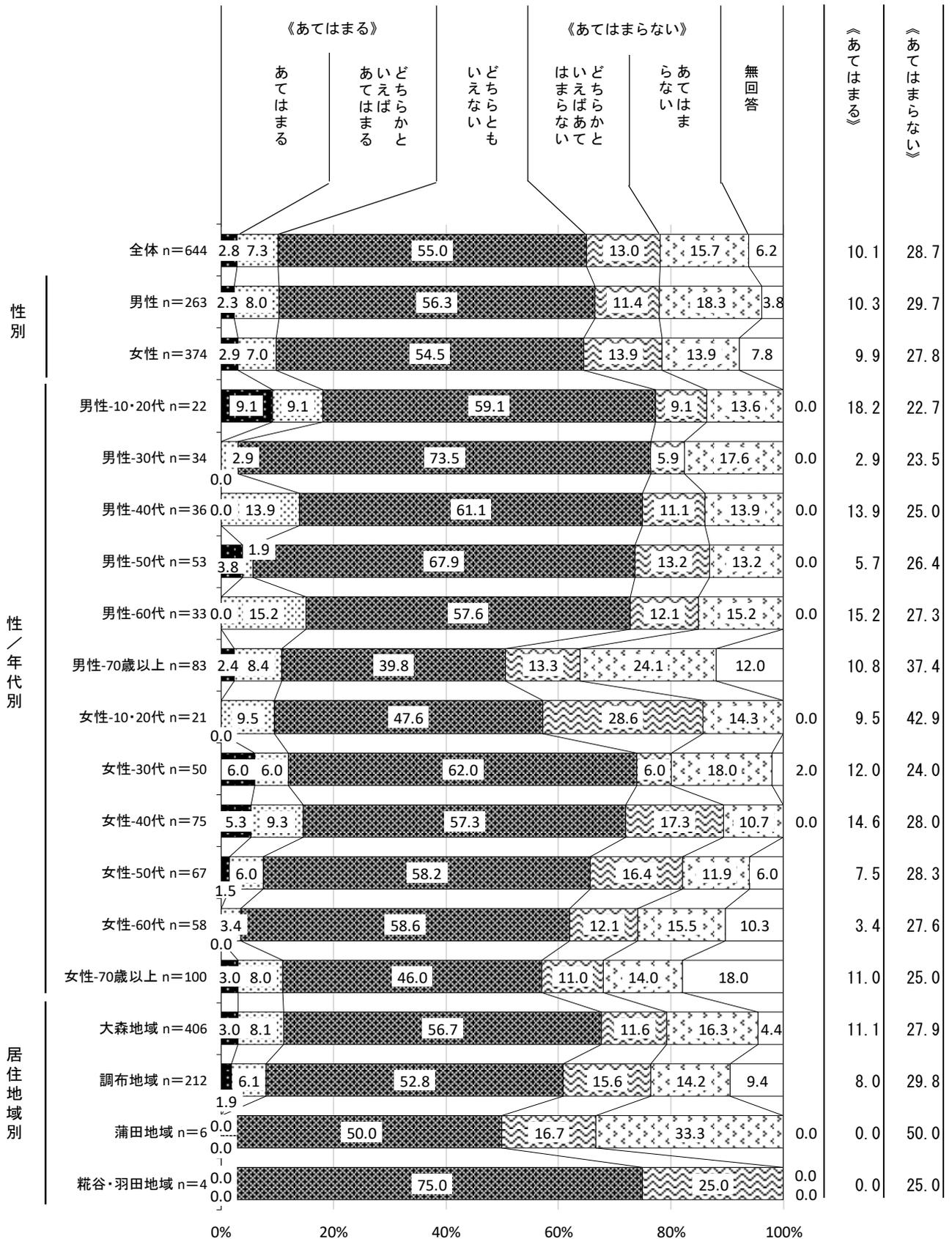
性/年代別で見ると、《あてはまる》は男性では70歳以上で1割前半、女性では40代で2割前半と高くなっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_③学んだことを生かす機会が充実している

性別でみると、《あてはまる》は男性が10.3%、女性が9.9%と、大きな差はみられない。

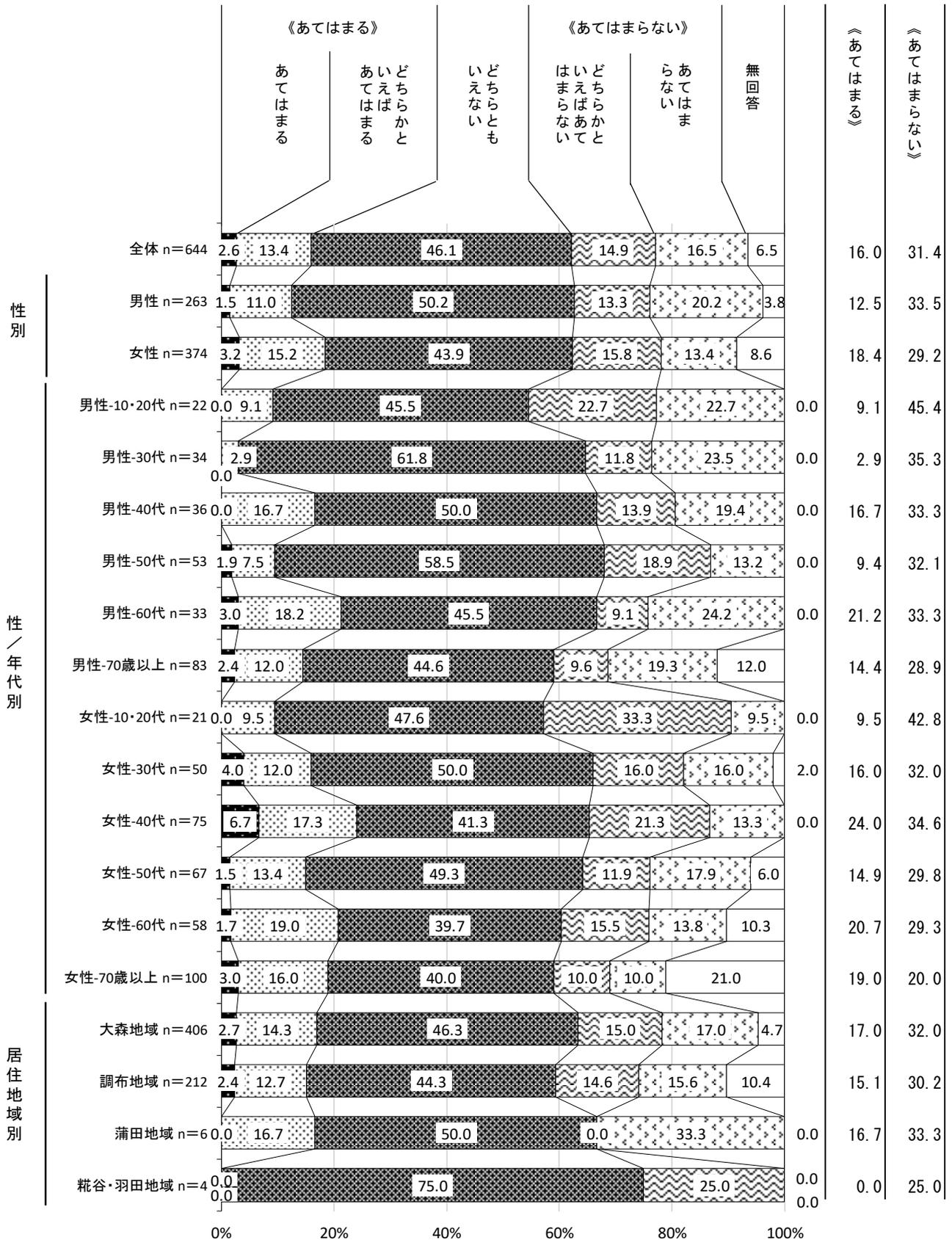
性/年代別でみると、《あてはまる》は男性では60代が1割半ば、女性では40代が1割前半と高くなっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_④学びに関する情報が分かりやすく提供されている

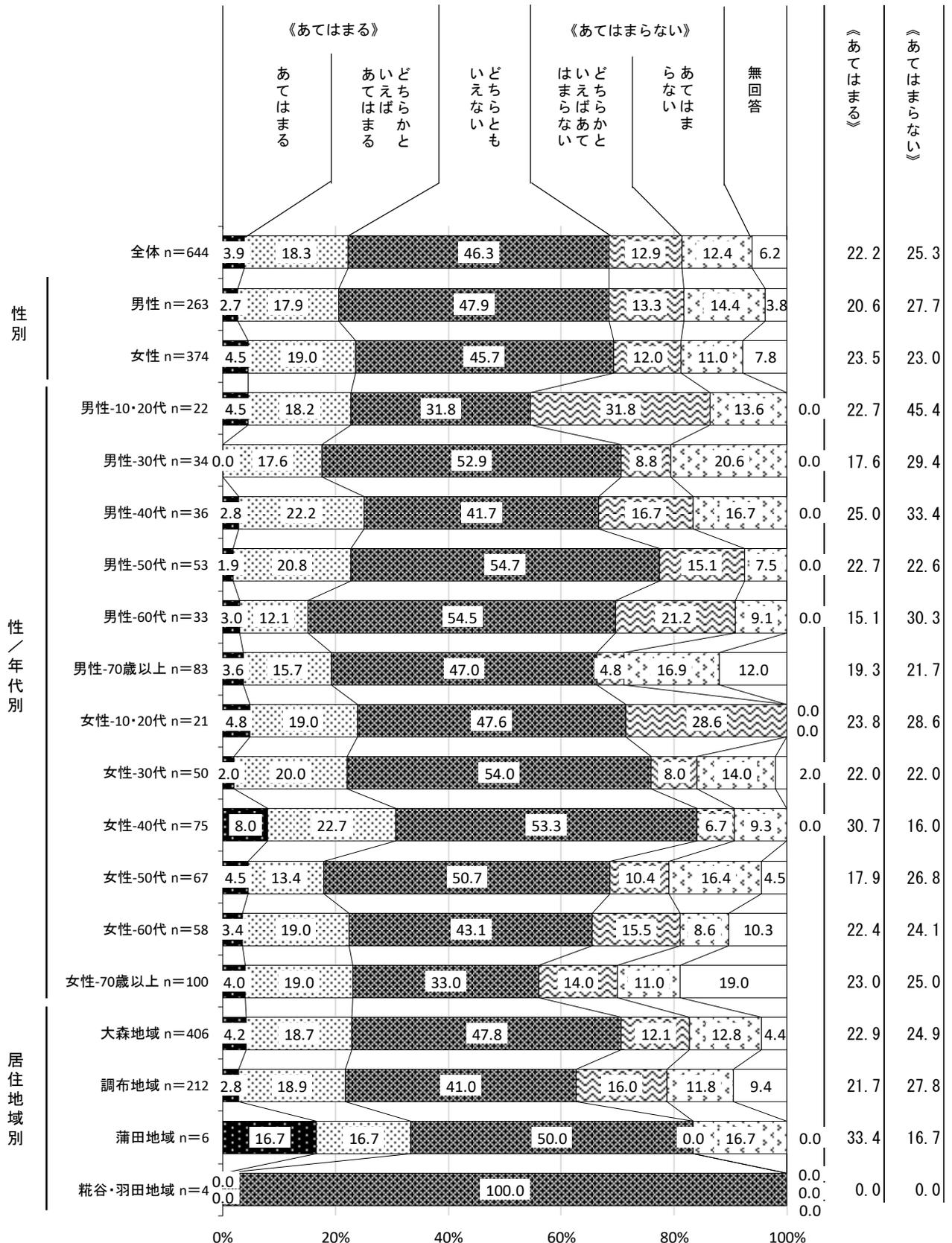
性別でみると、《あてはまる》は男性が12.5%、女性が18.4%と、女性が5.9ポイント上回っている。

性/年代別でみると、《あてはまる》は男性では60代で2割前半、女性では40代で2割前半と高くなっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_⑤学びや活動を充実させる施設が整っている

性別でみると、《あてはまる》は男性が20.6%、女性が23.5%と女性が2.9ポイント上回っている。
 性/年代別でみると、《あてはまる》は男性では40代で2割半ば、女性では40代で3割前半と高くなっている。



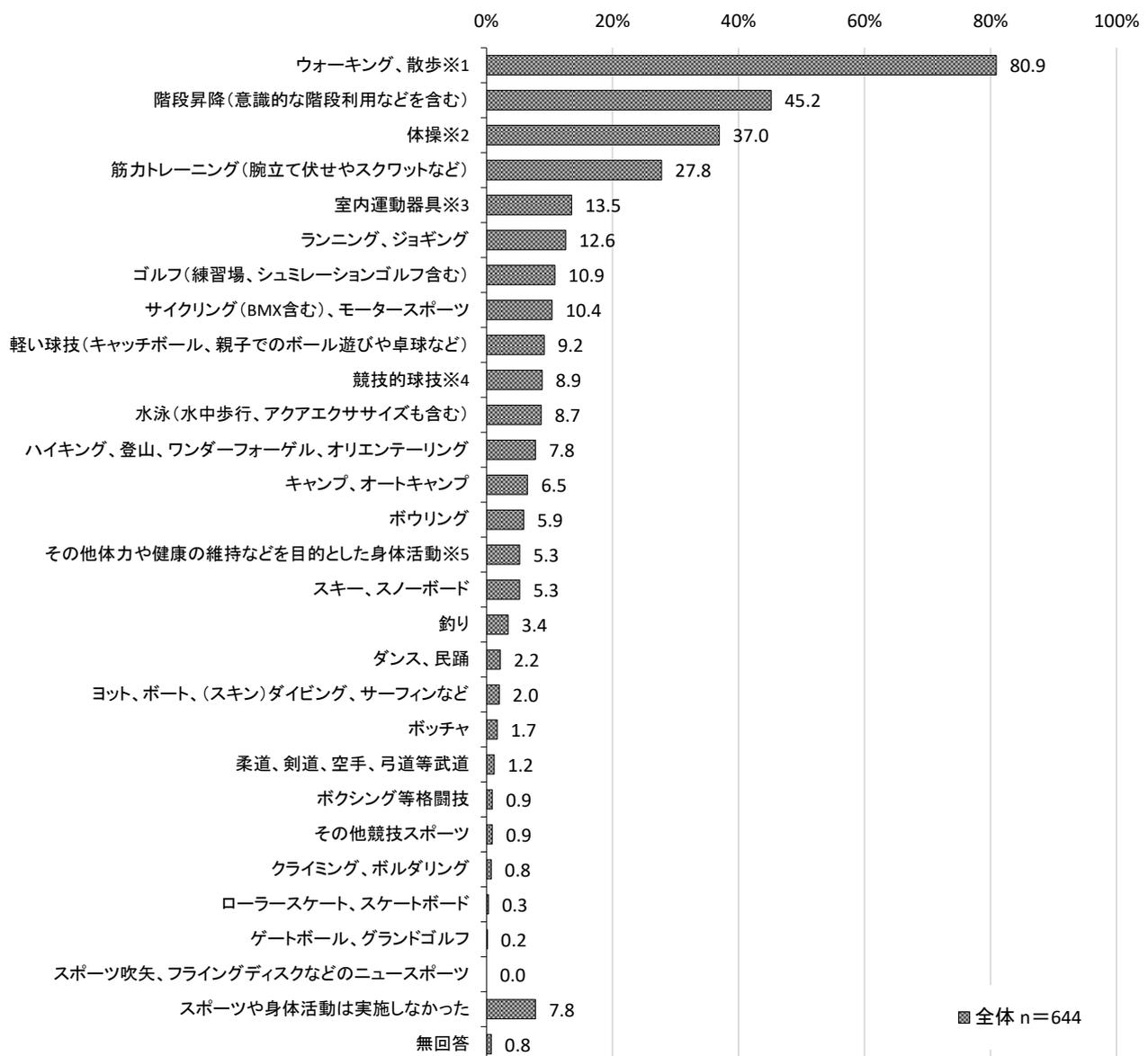
4 スポーツ・運動について

(1) この1年間に実施したスポーツ・運動

◇「ウォーキング、散歩」が8割前半で最も高くなっている

問 10 この1年間に実施したスポーツや運動をすべて選択してください。(複数選択可)

この1年間に実施したスポーツ・運動については、「ウォーキング、散歩」が80.9%で最も高く、次いで「階段昇降（意識的な階段利用などを含む）」が45.2%、「体操」が37.0%となっている。
 なお、「スポーツや身体活動は実施しなかった」は7.8%となっている。

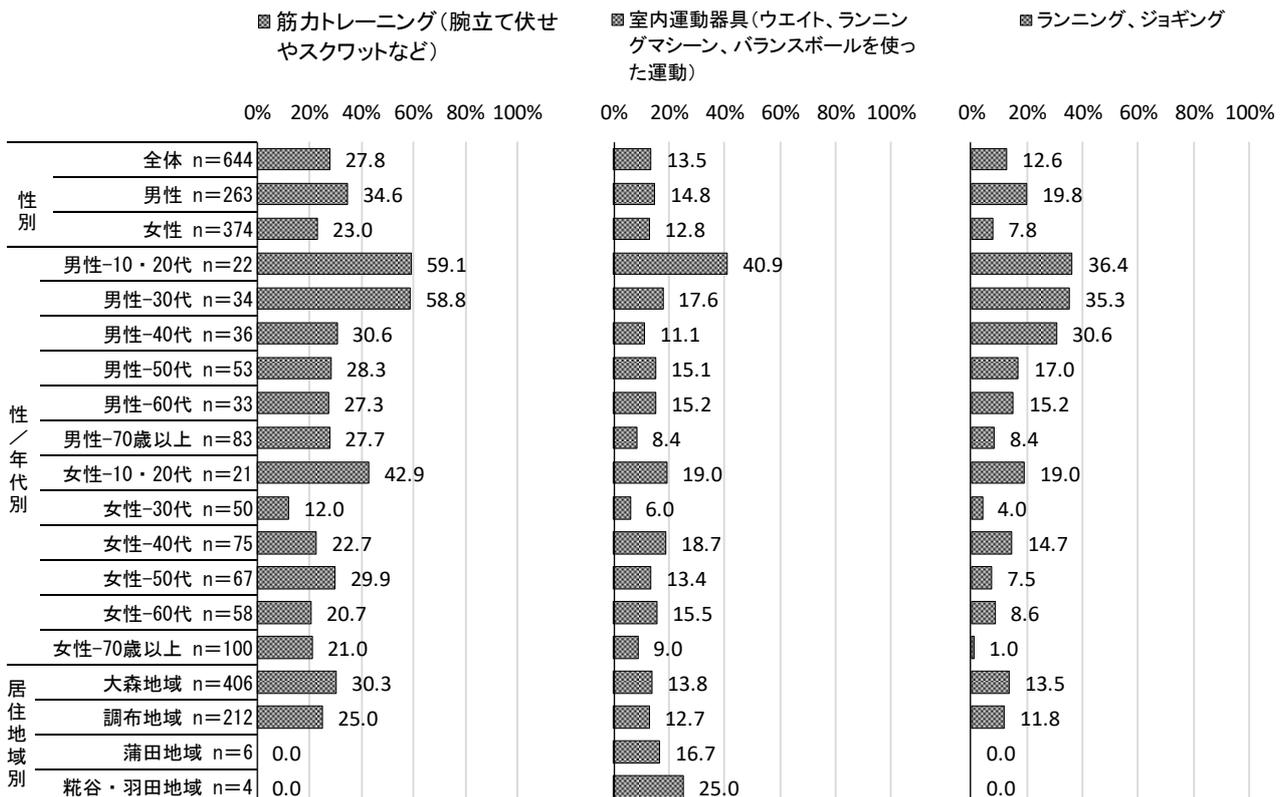
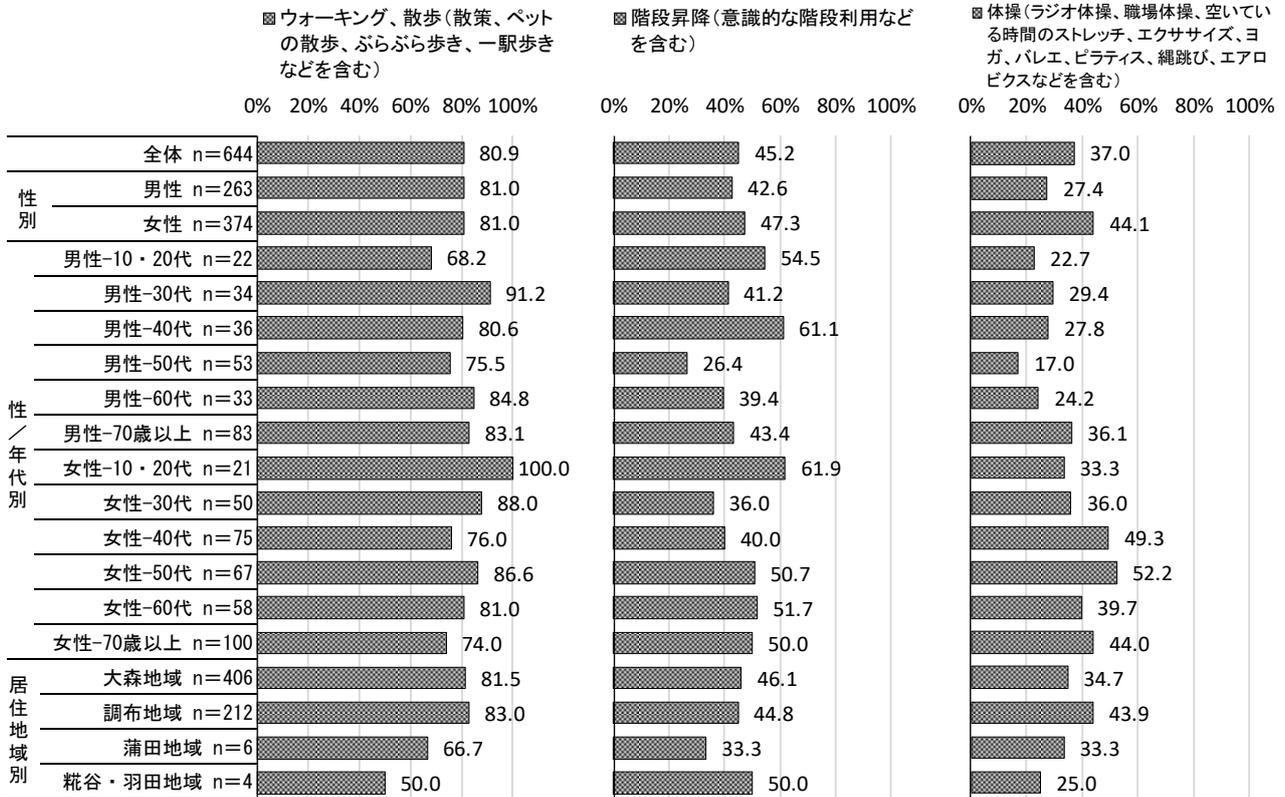


※1 ウォーキング、散歩（散歩、ペットの散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）
 ※2 体操（ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、エクササイズ、ヨガ、バレエ、ピラティス、縄跳び、エアロビクスなどを含む）
 ※3 室内運動器具（ウエイト、ランニングマシン、バランスボールを使った運動）
 ※4 競技的球技（野球、サッカー、卓球、テニス、バレーボール、バドミントンなど）
 ※5 その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動

■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「ウォーキング、散歩」が最も高くなっている。「体操」は男性が27.4%、女性が44.1%と、女性が16.7ポイント上回っている。

性/年代別でみると、すべての年代で「ウォーキング、散歩」が最も高く、男性では30代で9割前半、女性では30代、50代で8割後半と高くなっている。「階段昇降」は男性40代が6割前半、「体操」は女性50代が5割前半と高くなっている。



(2) この1年間のスポーツ・運動の活動頻度

◇「週に3日以上（年151日以上）」が3割後半で最も高くなっている

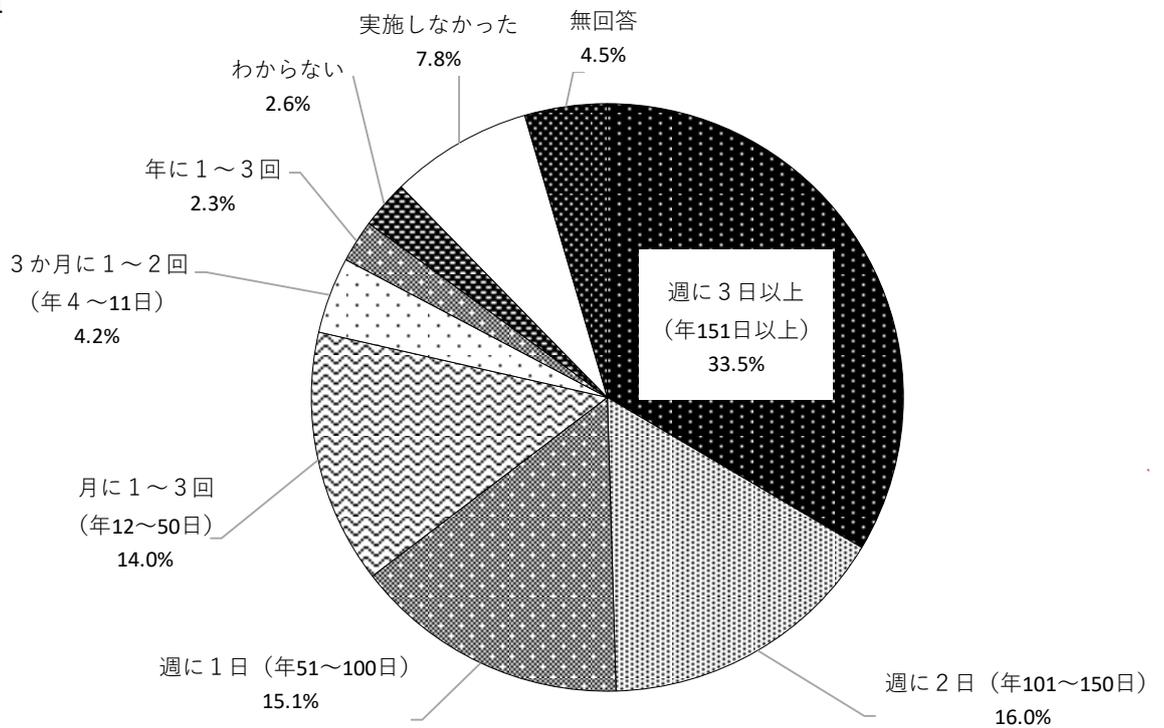
【問10で「28 スポーツや身体活動は実施しなかった」「以外」を回答した方に伺います。】

問10-1 そのスポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか。（1つのみ）

※年間合計日数でも可

この1年間のスポーツ・運動の活動頻度については、「週に3日以上（年151日以上）」が33.5%で最も高く、次いで「週に2日（年101～150日）」が16.0%、「週に1日（年51～100日）」が15.1%となっている。

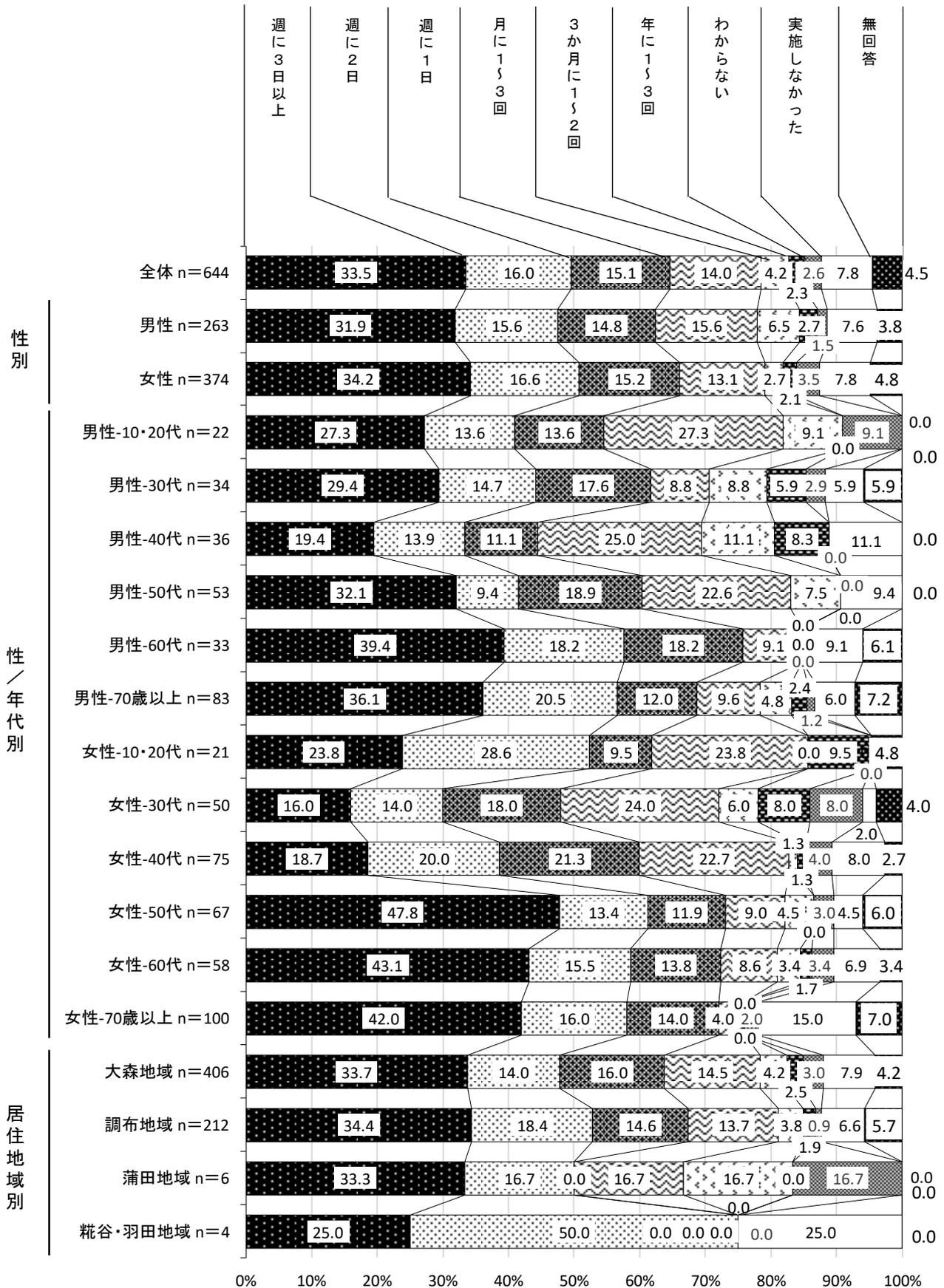
全体 n=644



■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、「週に3日以上（年151日以上）」は男性では60代で3割後半、女性では50代で4割後半と高くなっている。



(3) 運動を始める(再開する)ために必要なこと

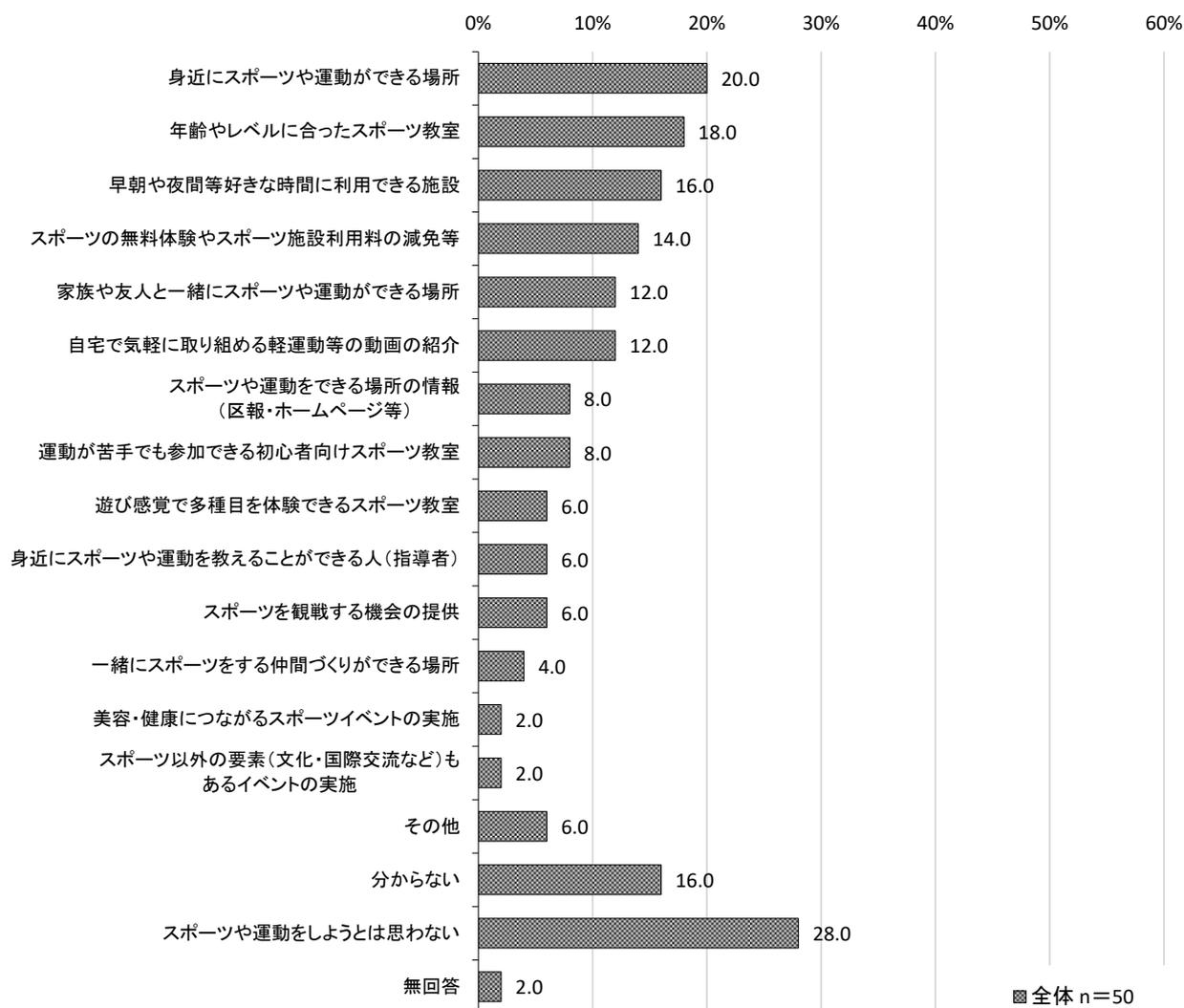
◇「身近にスポーツや運動ができる場所」が2割で最も高くなっている

【問10で「28 スポーツや身体活動は実施しなかった」と回答した方に伺います

問10-2 スポーツや運動を始める(再開する)ためには何が必要だと思いますか。(複数選択可)

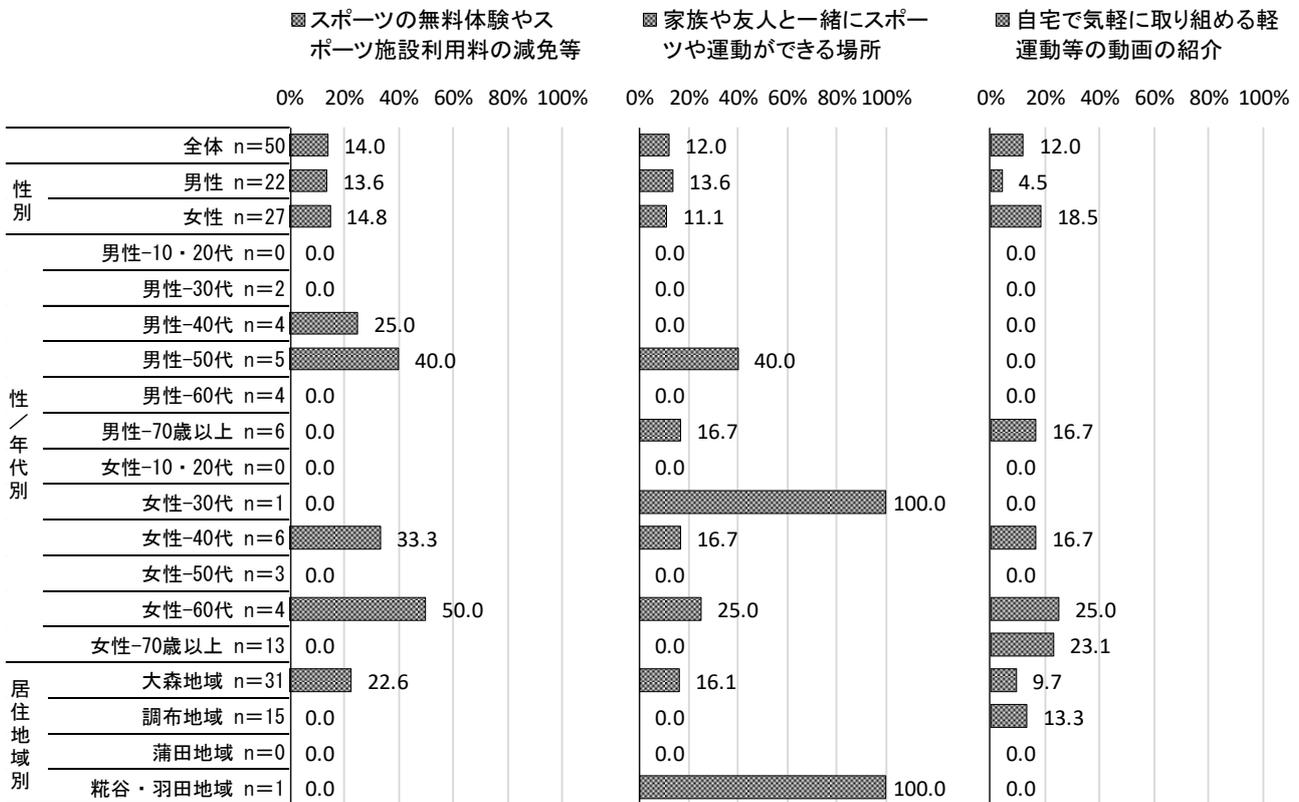
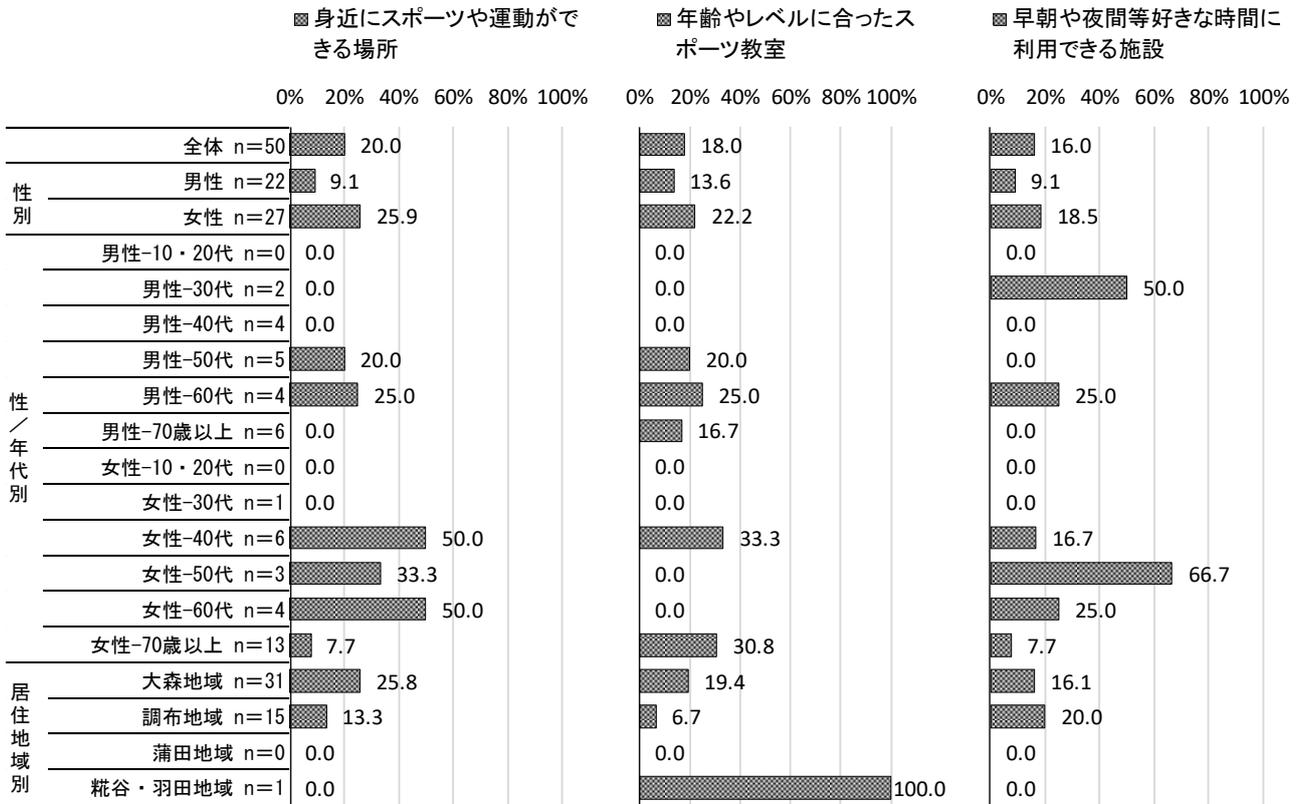
スポーツや運動を始める(再開する)ために必要なことについては、「身近にスポーツや運動ができる場所」が20.0%で最も高く、次いで「年齢やレベルに合ったスポーツ教室」が18.0%、「早朝や夜間等好きな時間に利用できる施設」が16.0%となっている。

なお、「スポーツや運動をしようとは思わない」は28.0%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、「身近にスポーツや運動ができる場所」は男性では9.1%、女性では25.9%と女性が16.8ポイント上回っている。



5 文化・芸術について

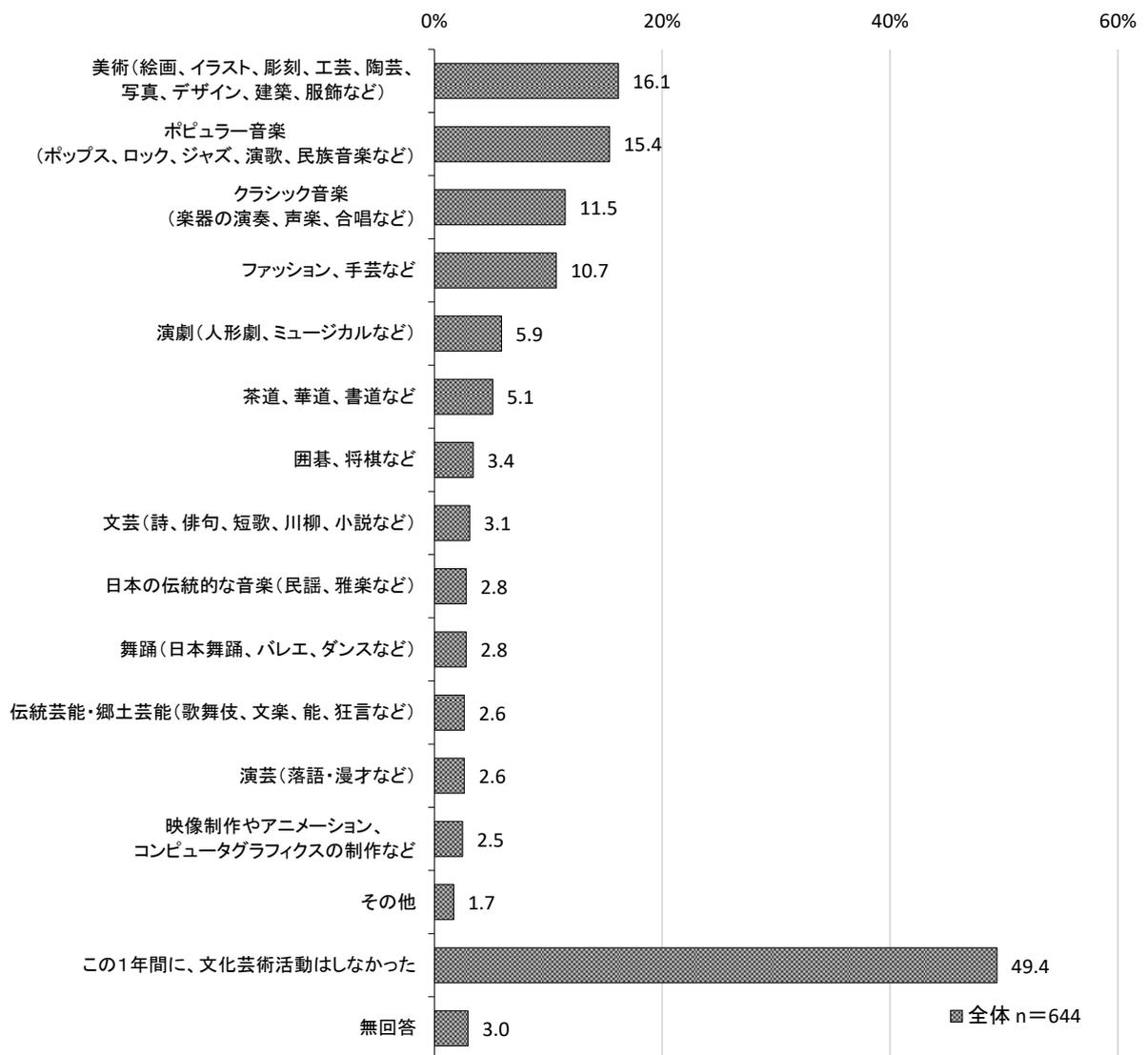
(1) 文化芸術活動の有無

◇美術（絵画、イラスト、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）が1割後半で最も高くなっている

問 11 この1年間に、次のような文化芸術活動を行いましたか。（複数選択可）

文化芸術活動については、「美術（絵画、イラスト、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」が16.1%で最も高く、次いで「ポピュラー音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、民族音楽など）」15.4%、「クラシック音楽（楽器の演奏、声楽、合唱など）」11.5%となっている。

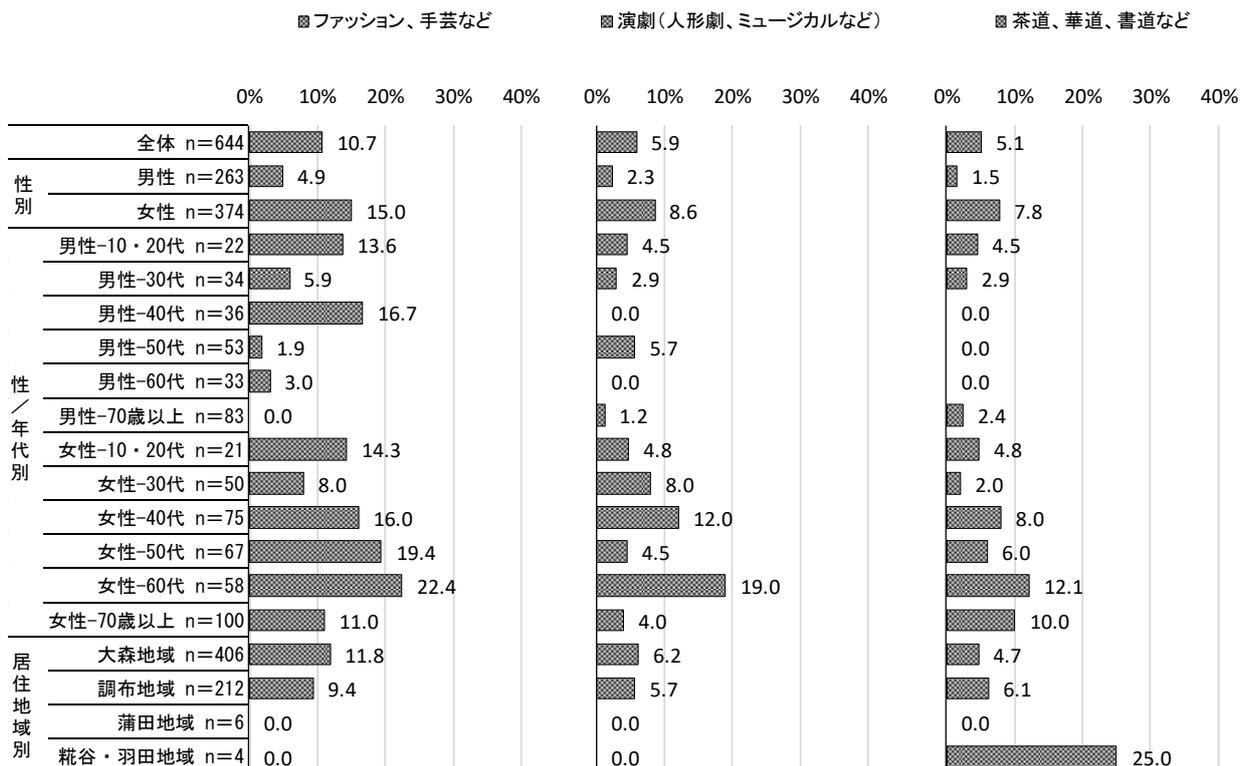
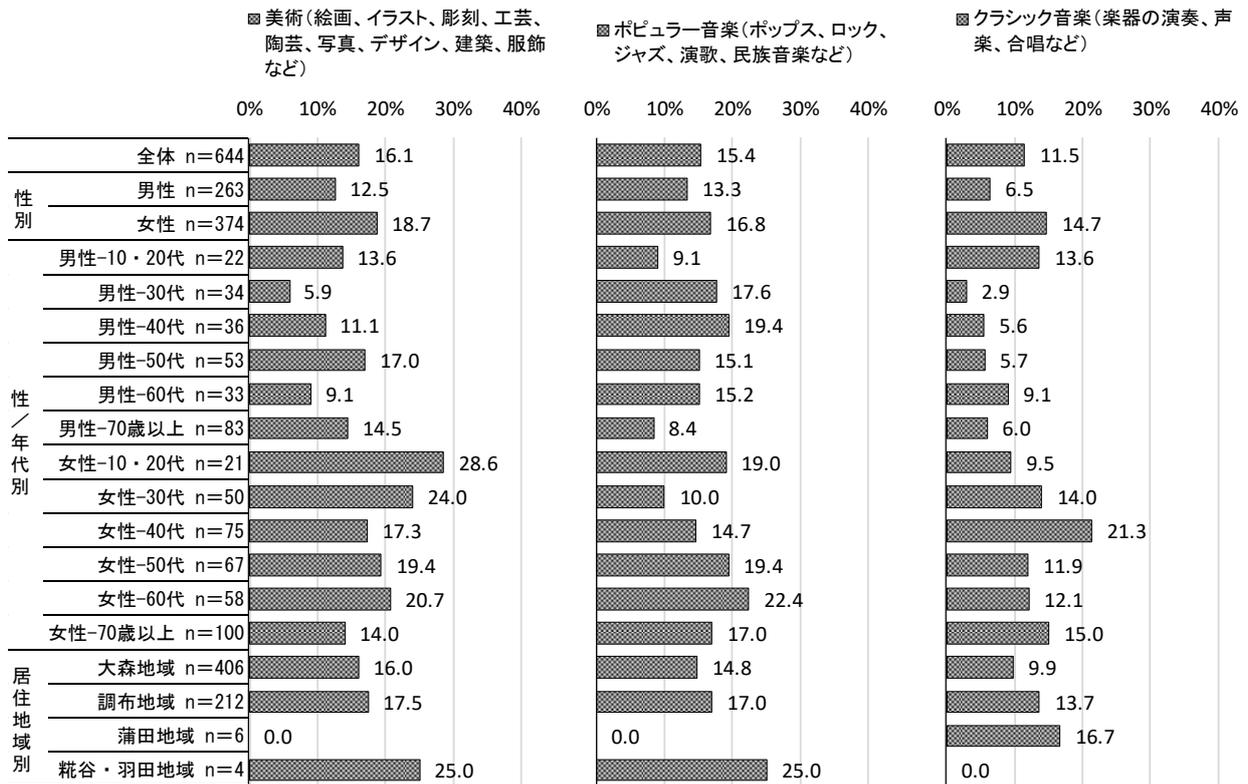
なお、「この1年間に、文化芸術活動はしなかった」は49.4%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性では「ポピュラー音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、民族音楽など）」、女性では「美術（絵画、イラスト、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」が最も高くなっている。

性/年代別でみると、「美術（絵画、イラスト、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）」は男性では50代で1割後半、女性では30代、60代で2割前半と高くなっている。「ポピュラー音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、民族音楽など）」は男性では30代、40代で1割後半、女性では60代で2割前半と高くなっている。

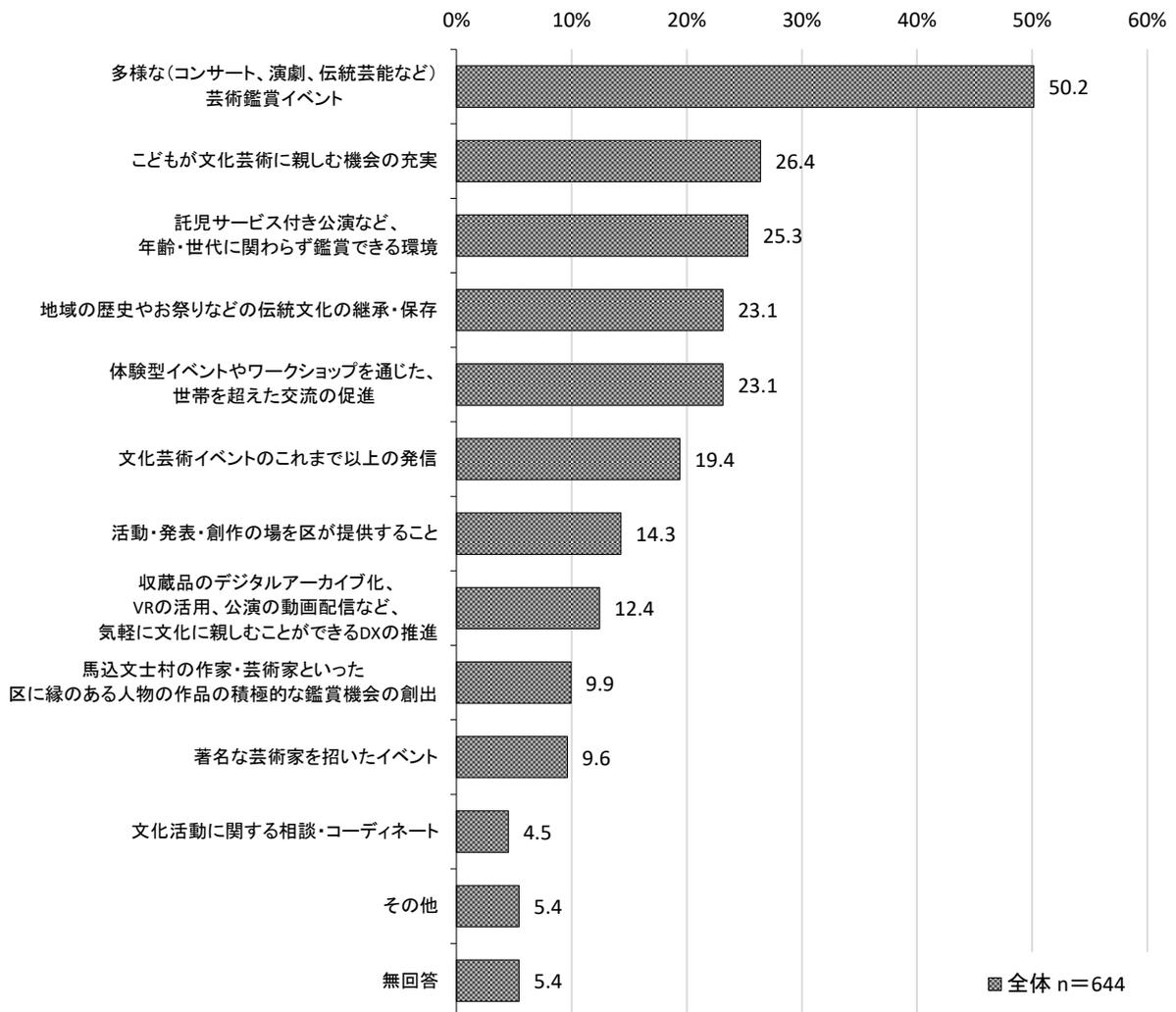


(2) 区の文化・芸術事業に必要なもの

◇「多様な（コンサート、演劇、伝統芸能など）芸術鑑賞イベント」が約5割で最も高くなっている

問 12 区の文化・芸術事業には、何が必要だと思いますか。（複数選択可）

区の文化・芸術事業に必要なものについては、「多様な（コンサート、演劇、伝統芸能など）芸術鑑賞イベント」が50.2%で最も高く、次いで「こどもが文化芸術に親しむ機会の充実」が26.4%、「託児サービス付き公演など、年齢・世代に関わらず鑑賞できる環境」が25.3%となっている。

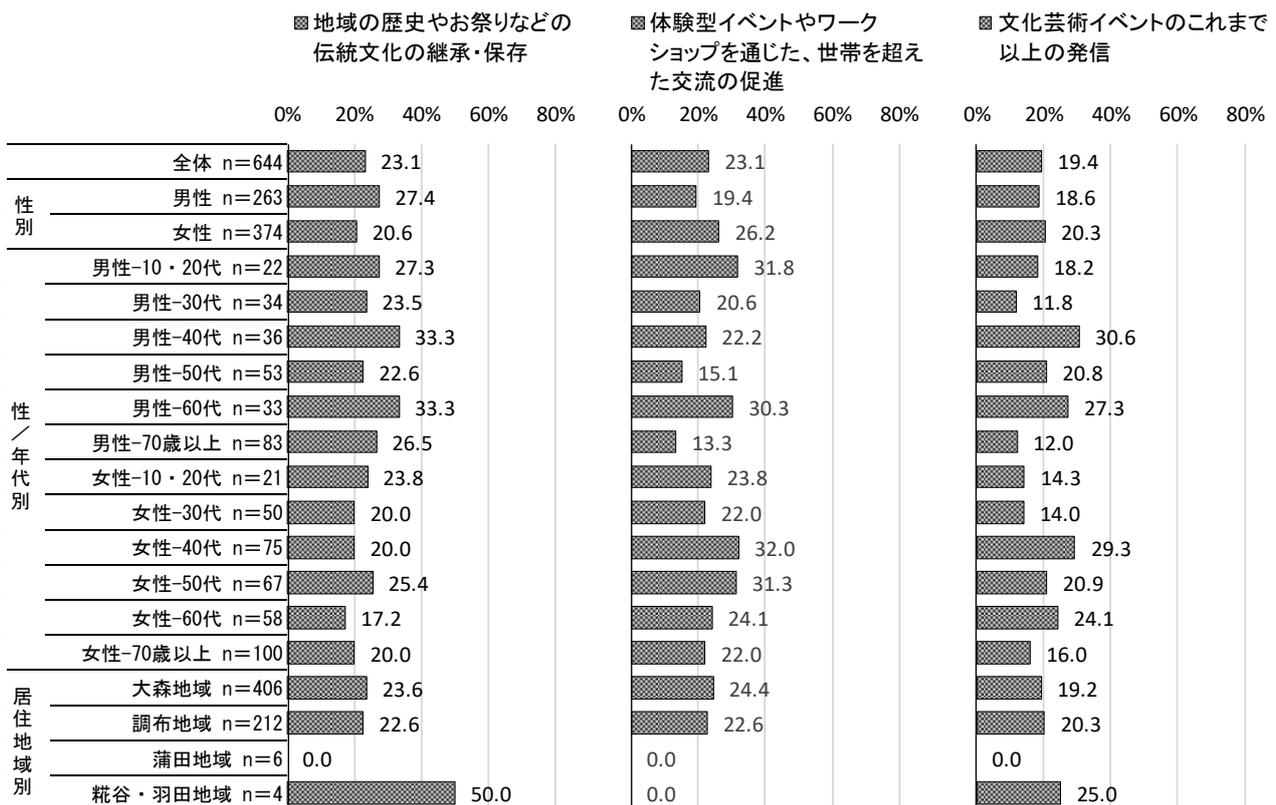
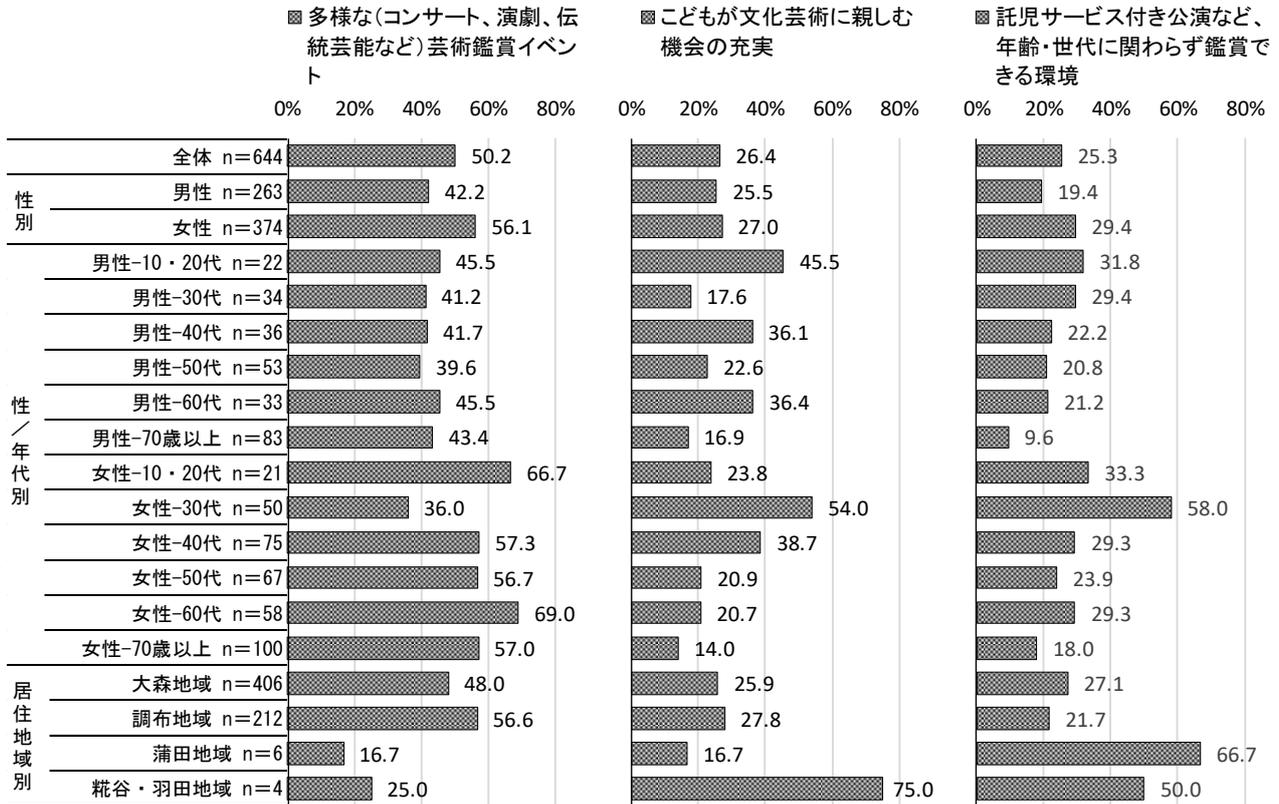


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「多様な（コンサート、演劇、伝統芸能など）芸術鑑賞イベント」が最も高く、男性が42.2%、女性が56.1%と、女性が13.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「多様な（コンサート、演劇、伝統芸能など）芸術鑑賞イベント」は男性では60代で4割半ば、女性では60代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「多様な（コンサート、演劇、伝統芸能など）芸術鑑賞イベント」は調布地域で5割後半と高くなっている。

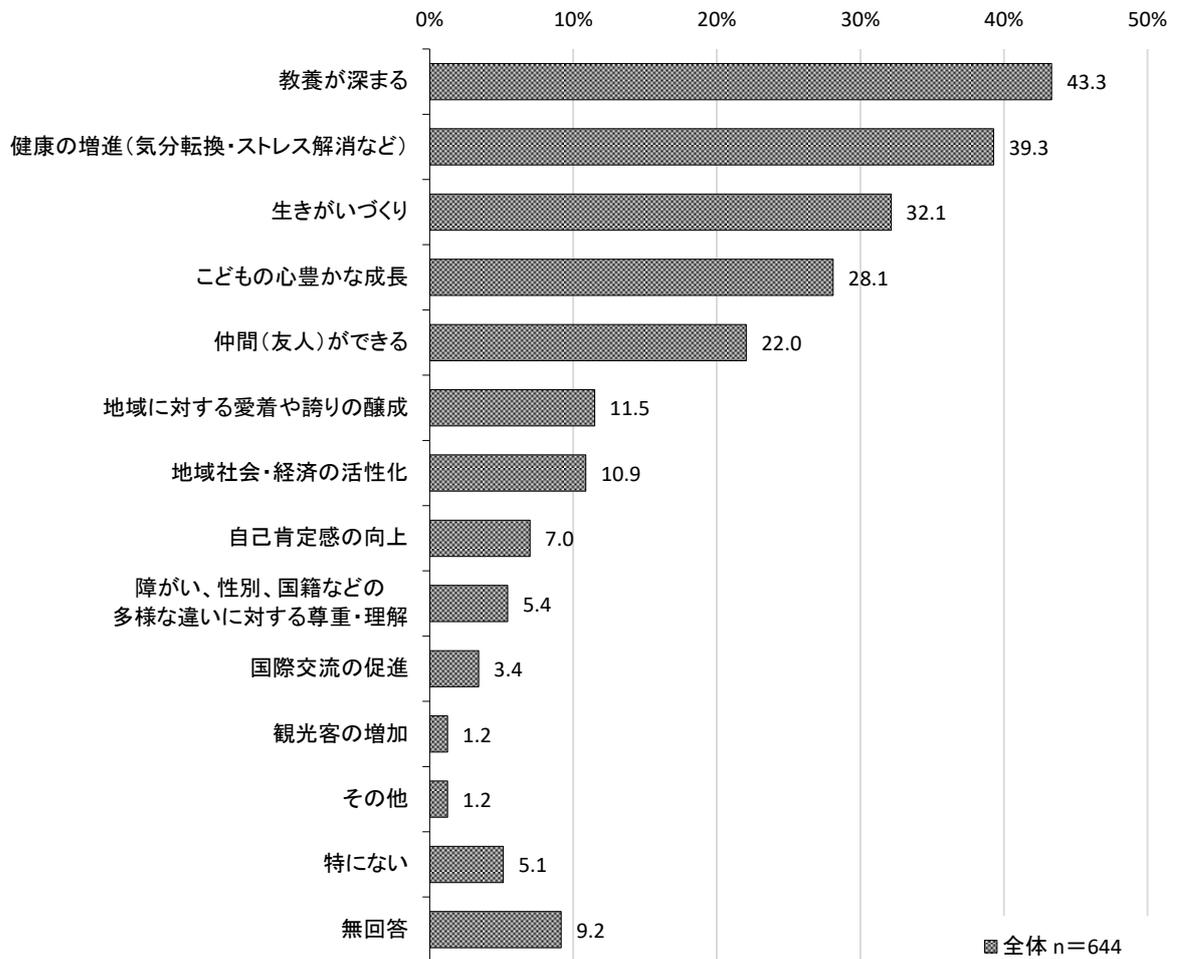


(3) 文化活動の効果で期待すること

◇「教養が深まる」が4割前半で最も高くなっている

問 13 文化活動（鑑賞のみも含む）を行うことで、どういった効果を期待しますか。この中から3つ以内でお答えください。（3つまで）

文化活動（鑑賞のみも含む）の効果については、「教養が深まる」が43.3%で最も高く、次いで「健康の増進（気分転換・ストレス解消など）」が39.3%、「生きがいがづくり」が32.1%となっている。
 なお、「特にない」は5.1%となっている。

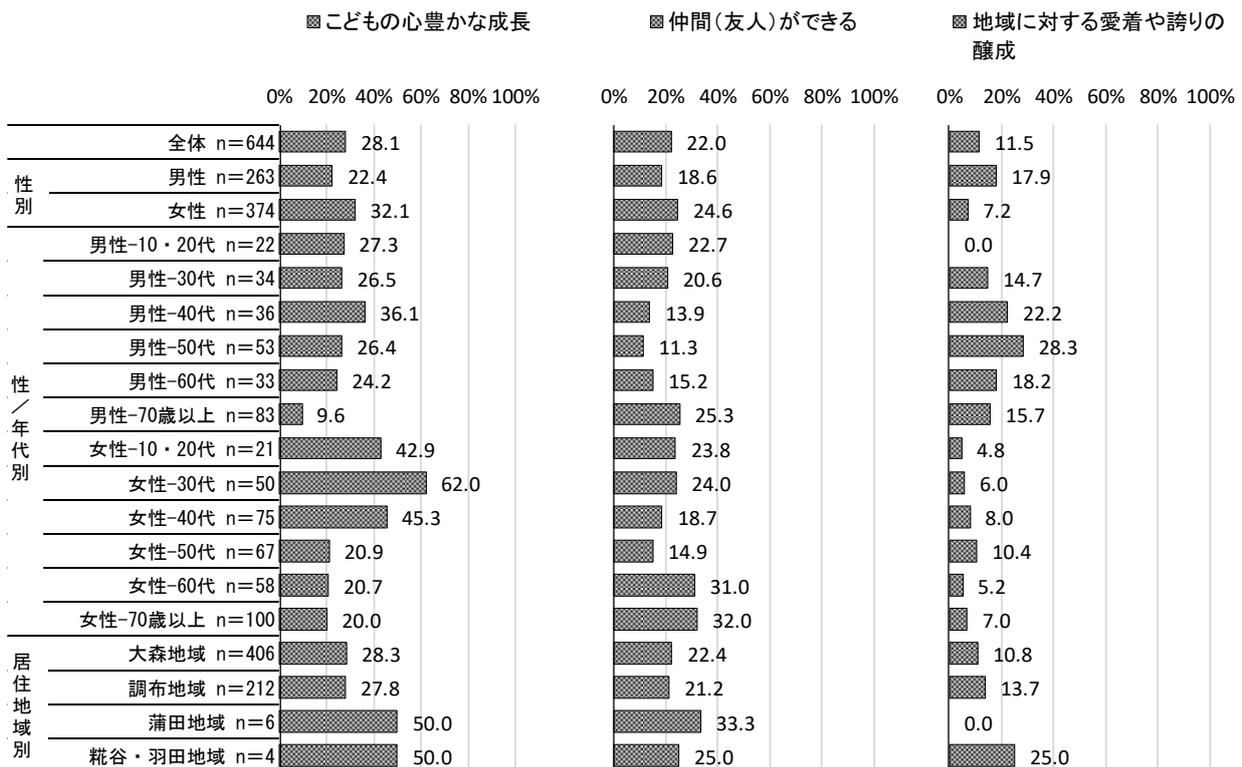
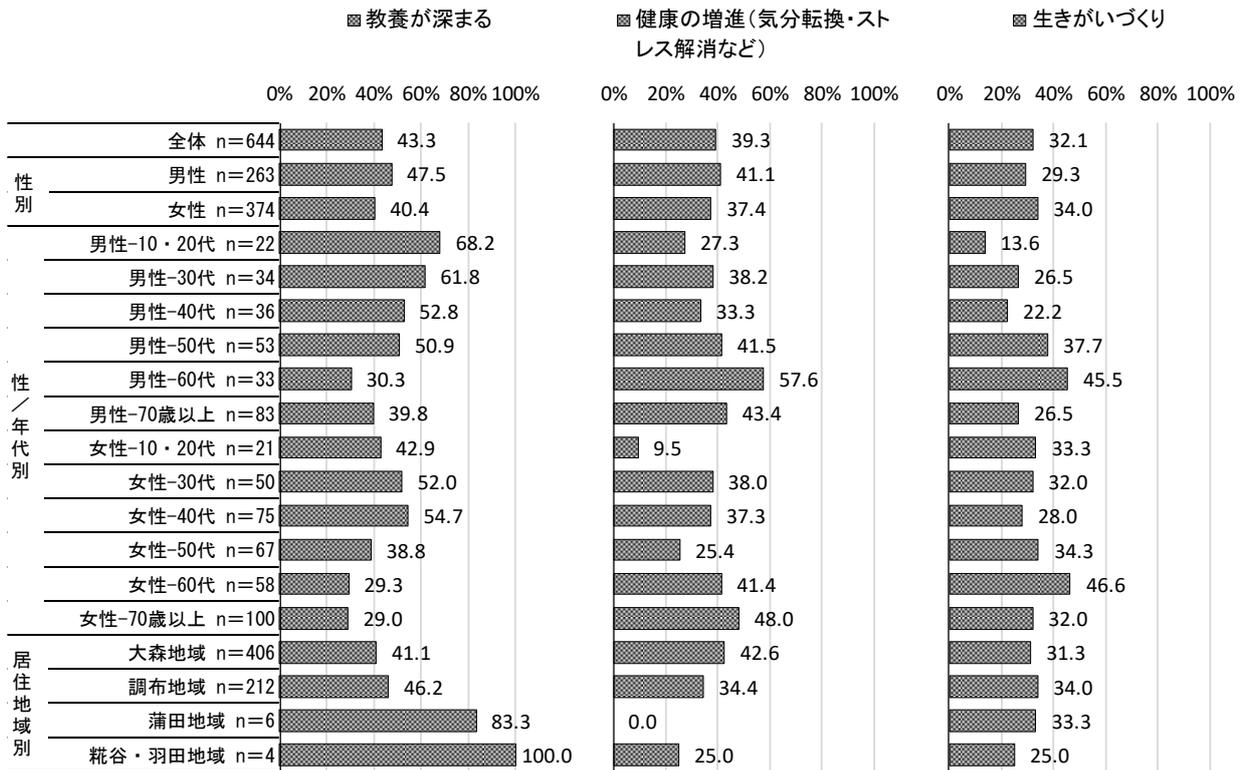


■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「教養が深まる」が最も高く、男性が47.5%、女性が40.4%と、男性が7.1ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「教養が深まる」は男性では30代で6割前半、女性では40代で5割前半と高くなっている。「健康の増進（気分転換・ストレス解消など）」は男性60代で5割後半、「こどもの心豊かな成長」は女性30代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大森地域では「健康の増進（気分転換・ストレス解消など）」が4割前半で最も高く、調布地域では「教養が深まる」が4割後半と高くなっている。



6 地域活動について

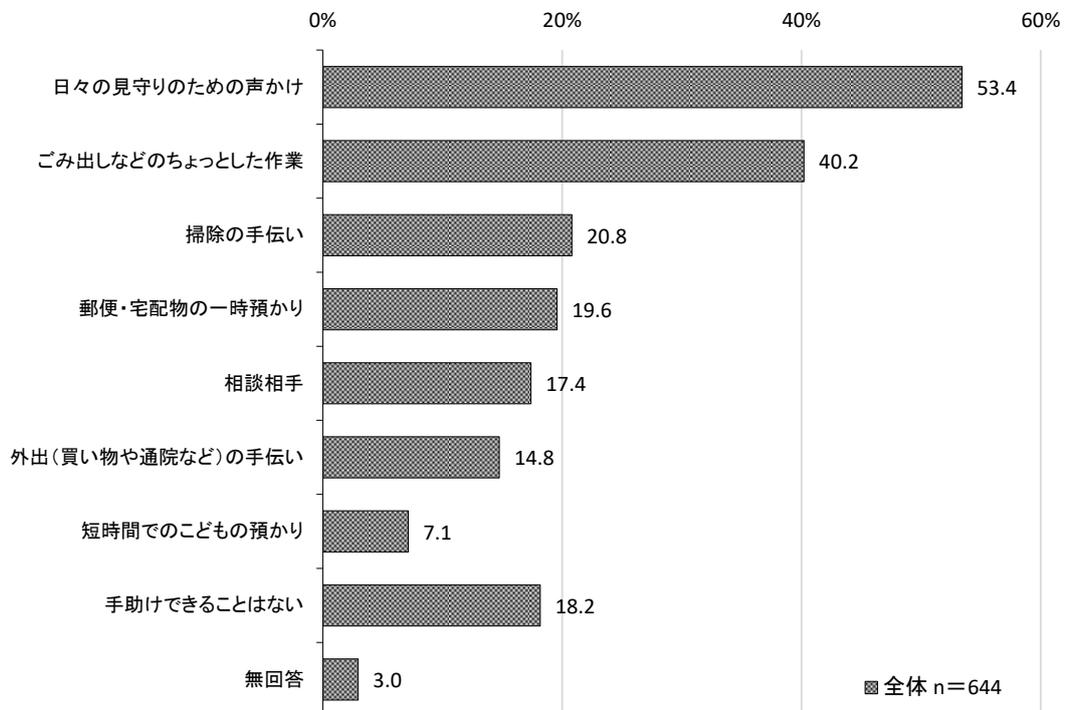
(1) 近所の方への手助けとしてできること

◇「日々の見守りのための声かけ」が5割前半で最も高くなっている

問 14 近所の方への手助けとして、できると思うことを教えてください。(複数回答可)

近所の方への手助けとしてできることについては、「日々の見守りのための声かけ」が53.4%で最も高く、次いで「ごみ出しなどのちょっとした作業」が40.2%、「掃除の手伝い」が20.8%となっている。

なお、「手助けできることはない」は18.2%となっている。

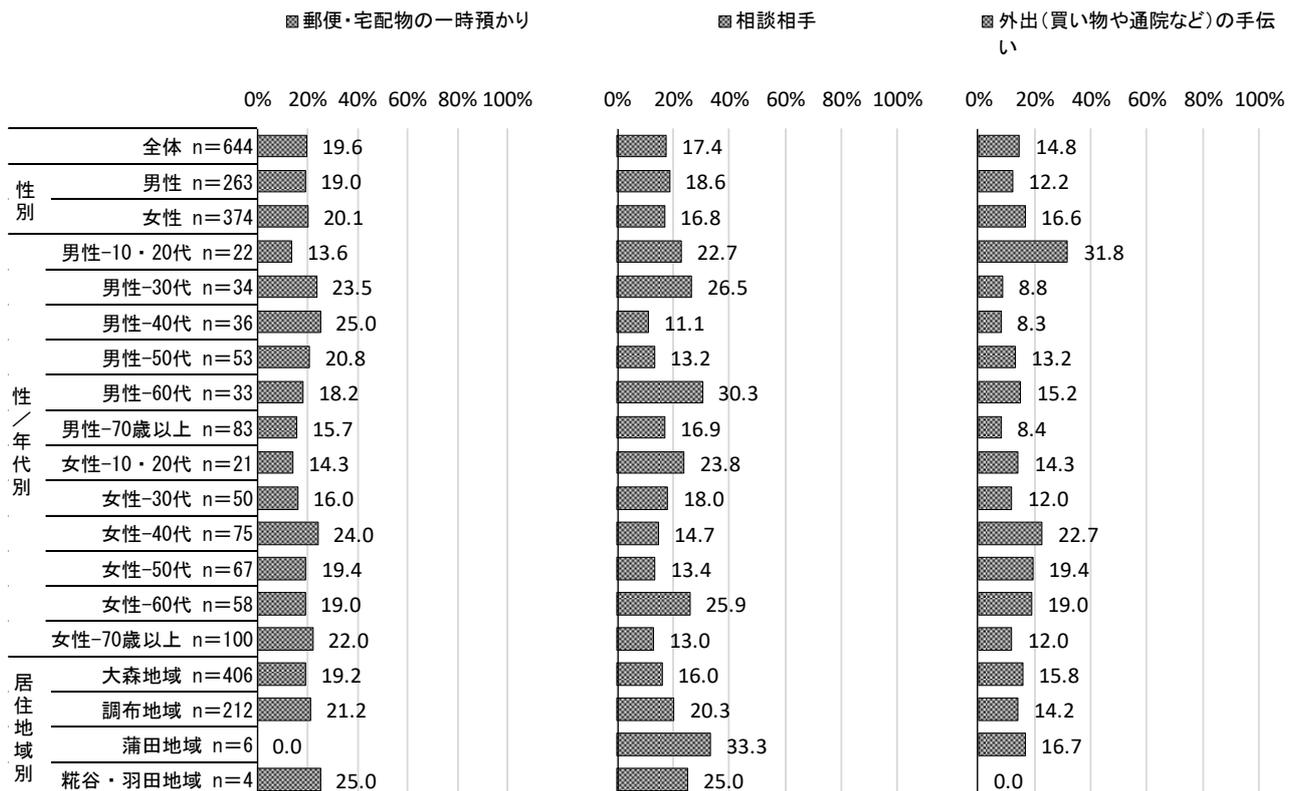
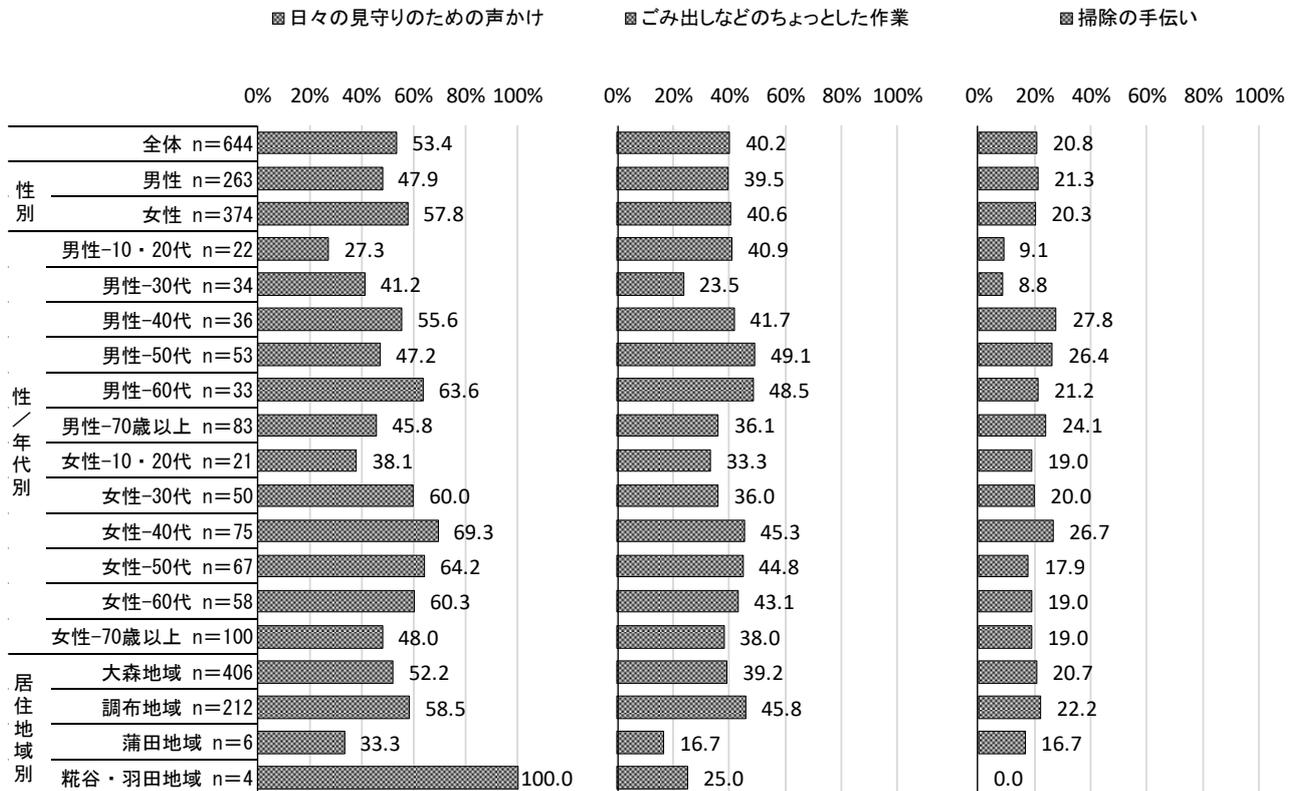


■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「日々の見守りのための声かけ」が最も高く、男性が47.9%、女性が57.8%と、女性が9.9ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「日々の見守りのための声かけ」は男性60代で6割前半、女性40代で6割後半と高くなっている。「ごみ出しなどのちょっとした作業」は男性50代、60代で4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「日々の見守りのための声かけ」が最も高くなっている。



7 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

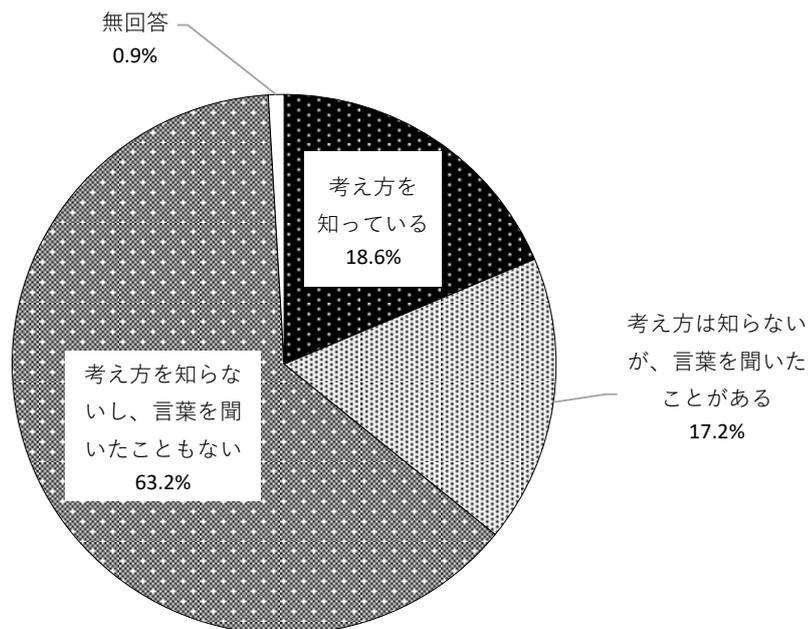
(1) 「社会的包摂」の認知度

◇「考え方を知っている」は1割後半となっている

問 15 大田区では、子どもたちを誰一人取り残さないよう、子どもや保護者が抱える問題を地域共通の課題として捉え、地域においてすべての子どもを温かく包み込む支援「社会的包摂」の考えを広めています。「社会的包摂」という考え方を知っていますか。(1つのみ)

“社会的包摂”の認知度については、「考え方を知らないし、言葉を聞いたこともない」が63.2%で最も高く、次いで「考え方を知っている」が18.6%、「考え方は知らないが、言葉を聞いたことがある」が17.2%となっている。

全体 n=644

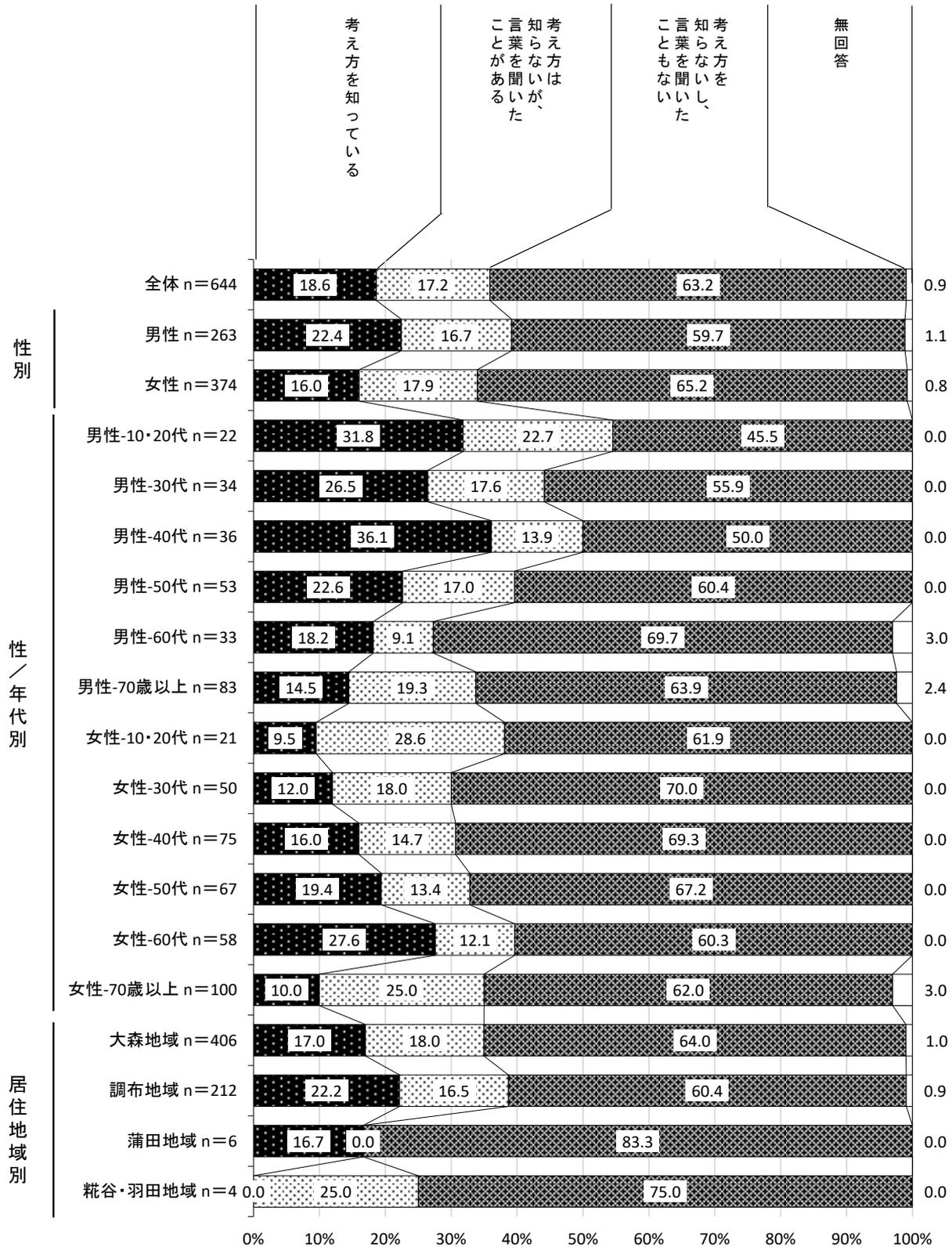


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「考え方を知っている」は男性が22.4%、女性が16.0%と、男性が6.4ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「考え方を知っている」は男性では40代で3割後半、女性では60代で2割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「考え方を知っている」は調布地域で2割前半と高くなっている。



(2) 「成年後見制度」の認知度

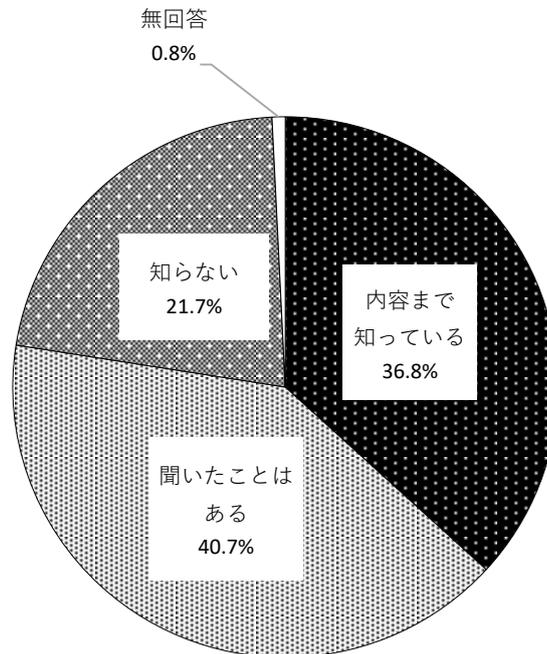
◇「内容まで知っている」は3割後半となっている

問 16 「成年後見制度」を知っていますか。(1つのみ)

※認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、法律的に支援する制度。

“成年後見制度”の認知度については、「聞いたことはある」が40.7%で最も高く、次いで「内容まで知っている」が36.8%、「知らない」が21.7%となっている。

全体 n=644

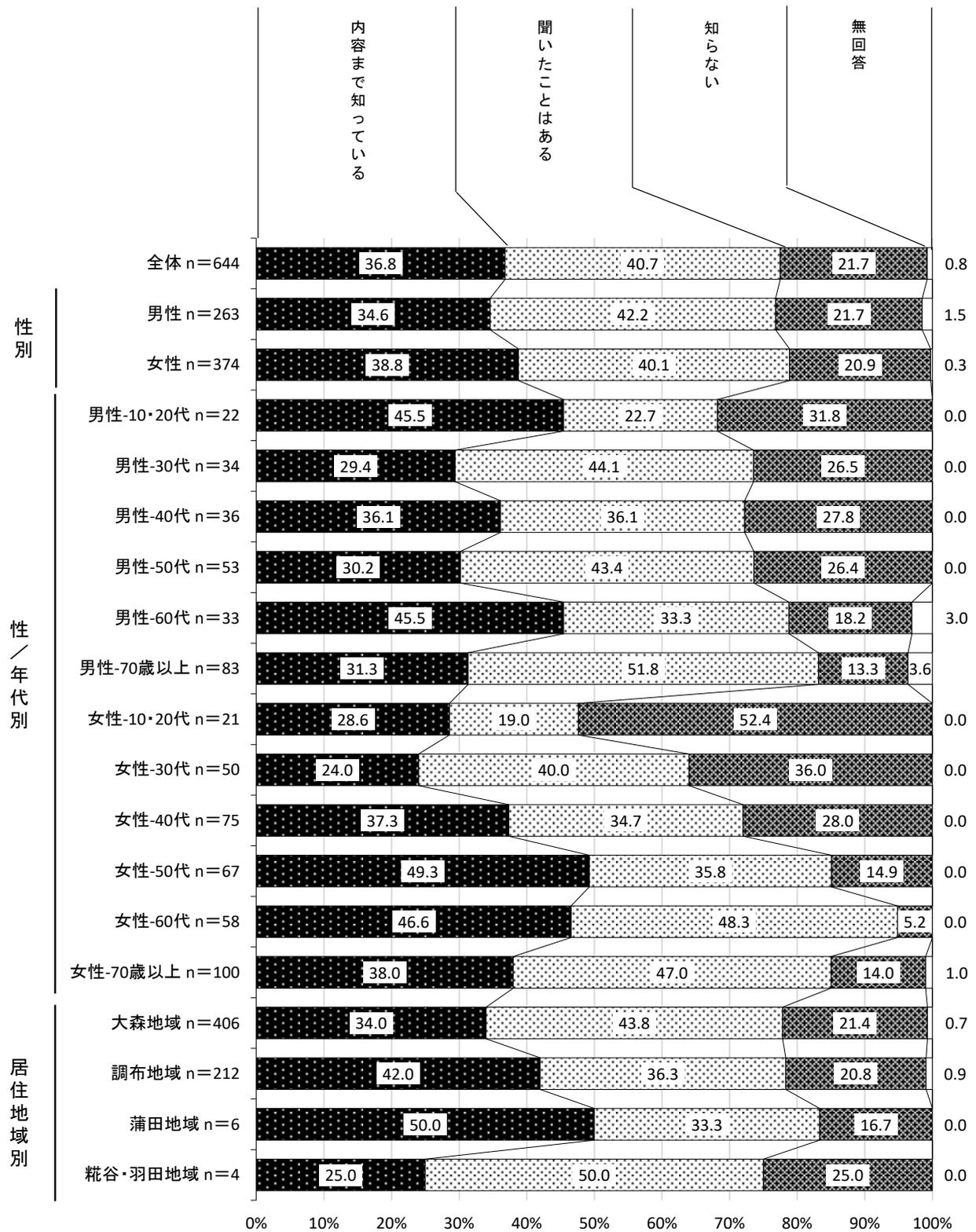


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、「内容まで知っている」は男性が34.6%、女性が38.8%と、女性が4.2ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「内容まで知っている」は男性では60代で4割半ば、女性では50代で4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「内容まで知っている」は調布地域で4割前半と高くなっている。



(3) 「障害者差別解消法」の認知度

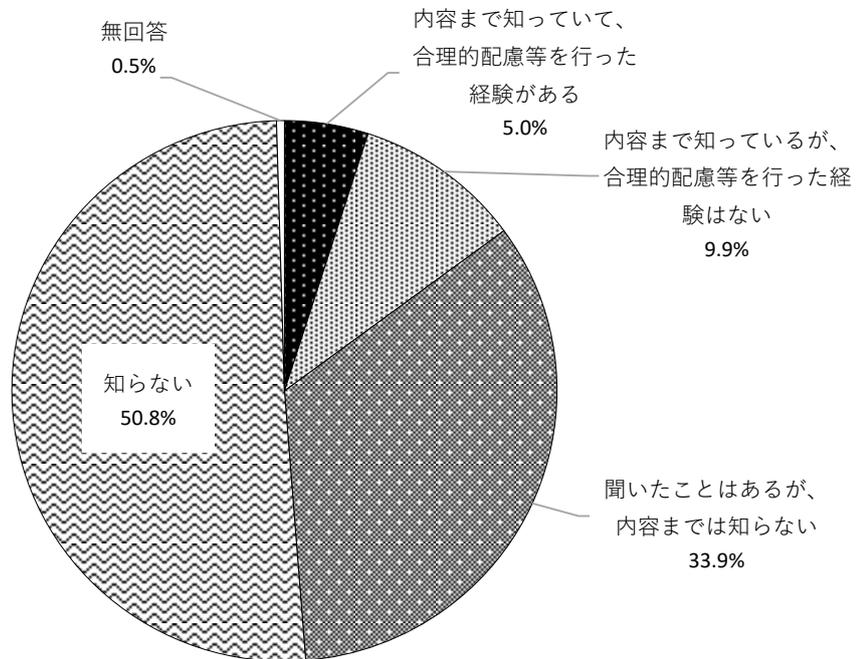
◇「内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある」は1割未満となっている

問 17 障がいのある人もない人も、お互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成28年4月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和6年4月に改正法が施行されます。この法律を知っていますか。(1つのみ)

“障害者差別解消法”の認知度については、「知らない」が50.8%で最も高く、次いで「聞いたことはあるが、内容までは知らない」が33.9%、「内容まで知っているが、合理的配慮等を行った経験はない」が9.9%となっている。

なお、「内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある」は5.0%となっている。

全体 n=644

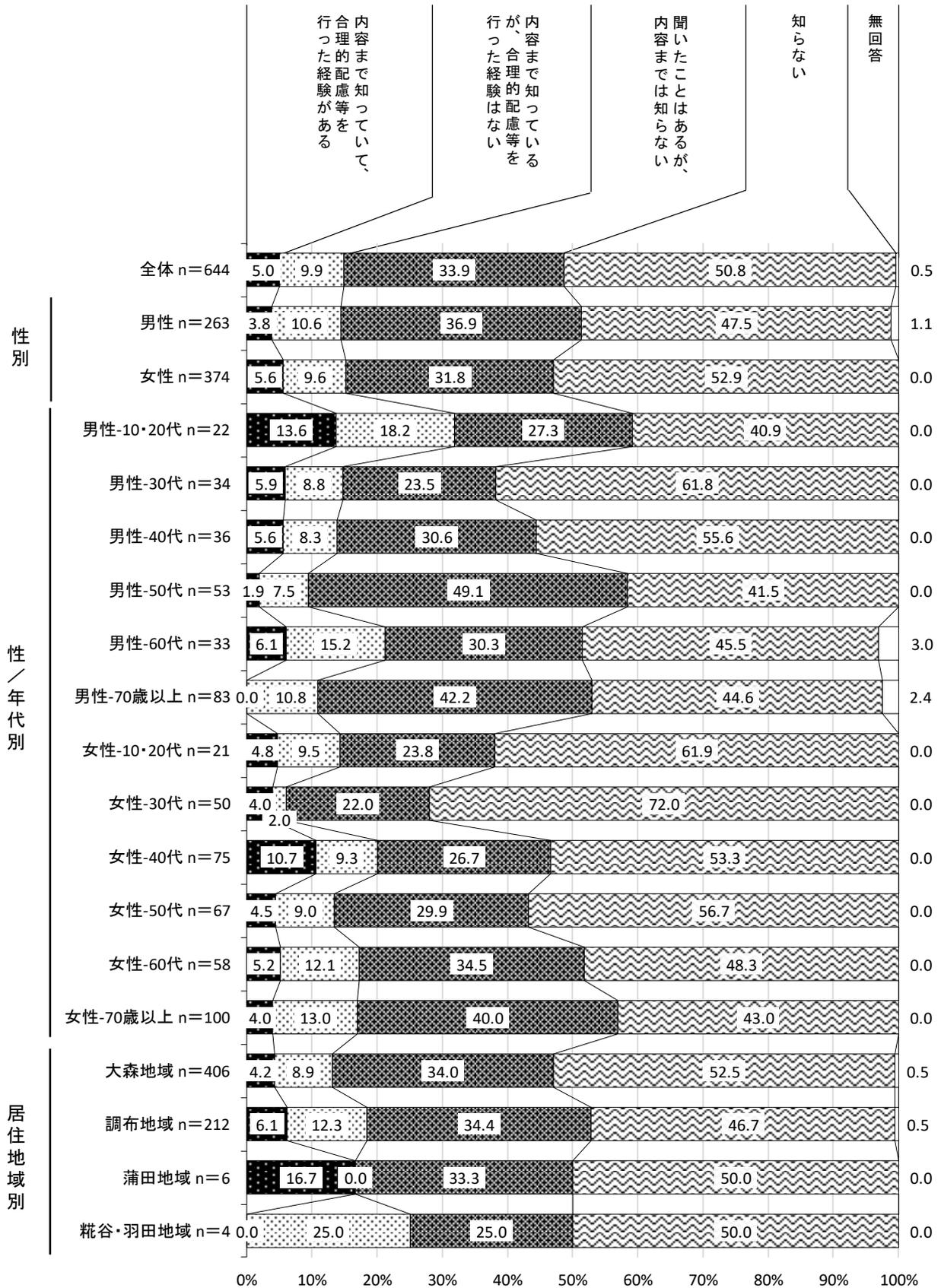


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性／年代別でみると、「内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある」は女性40代で1割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



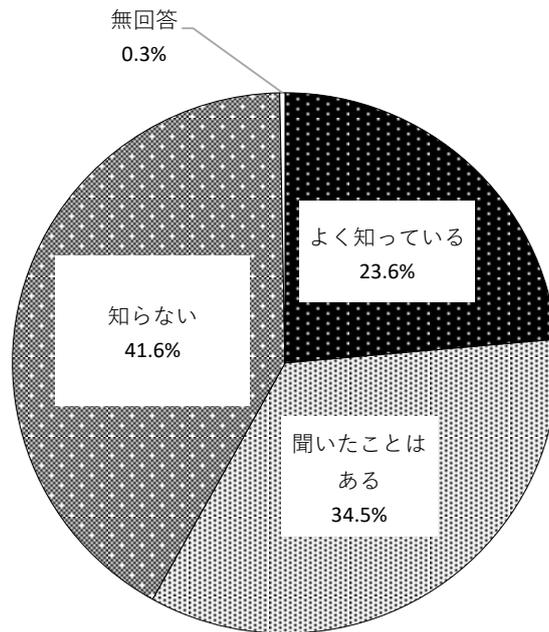
(4)「ヘルプカード(たすけてねカード)」の認知度

◇「よく知っている」は2割前半となっている

問 18 「ヘルプカード(たすけてねカード)」を知っていますか。(1つのみ)
※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード。(大田区が作成)

“ヘルプカード”の認知度については、「知らない」が41.6%で最も高く、次いで「聞いたことはある」が34.5%、「よく知っている」が23.6%となっている。

全体 n=644

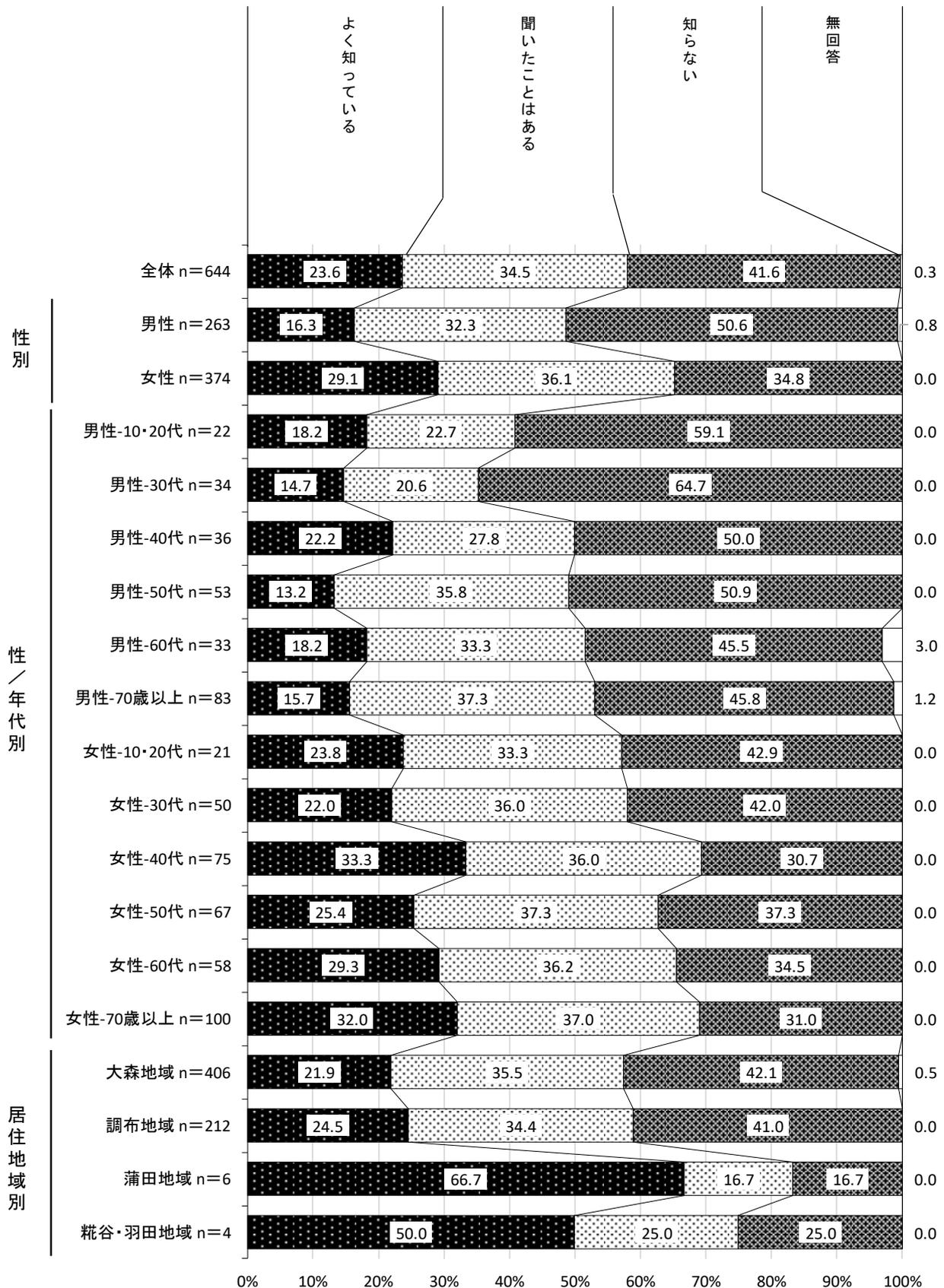


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「よく知っている」は男性が16.3%、女性が29.1%と、女性が12.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「よく知っている」は男性では40代で2割前半、女性では40代、70歳以上で3割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



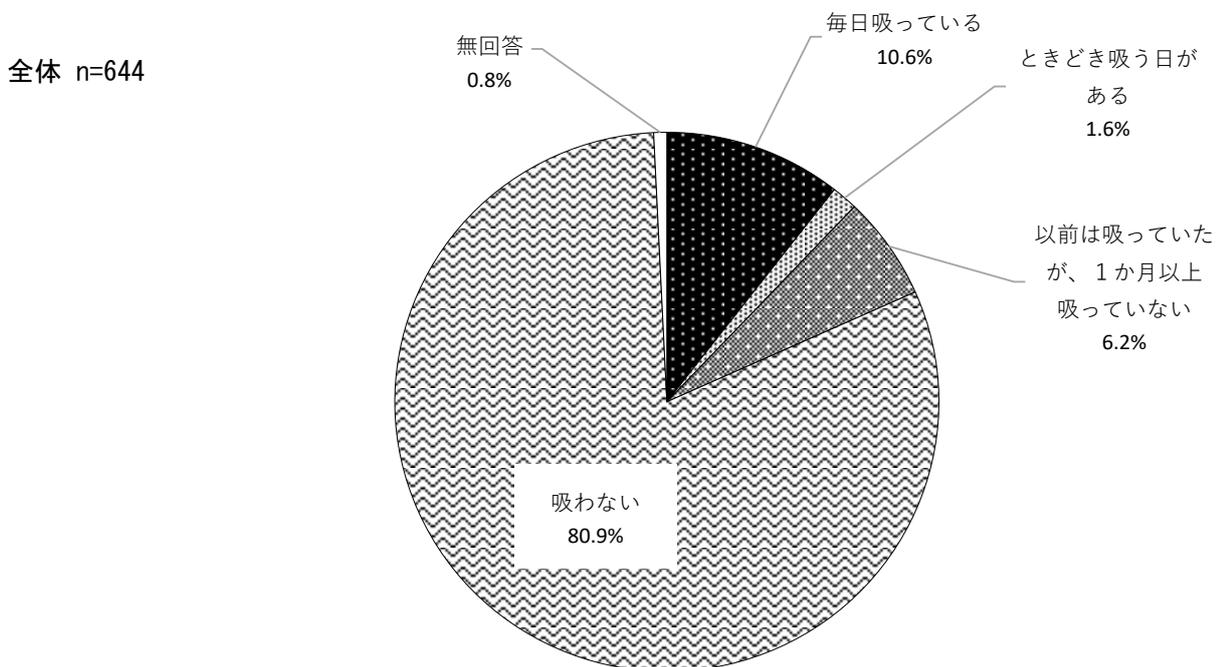
8 喫煙について

(1) 喫煙状況

◇「毎日吸っている」は1割前半となっている

問 19 あなたは、たばこを吸いますか。(1つのみ)

喫煙状況については、「吸わない」が80.9%で最も高く、次いで「毎日吸っている」が10.6%、「以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない」が6.2%となっている。

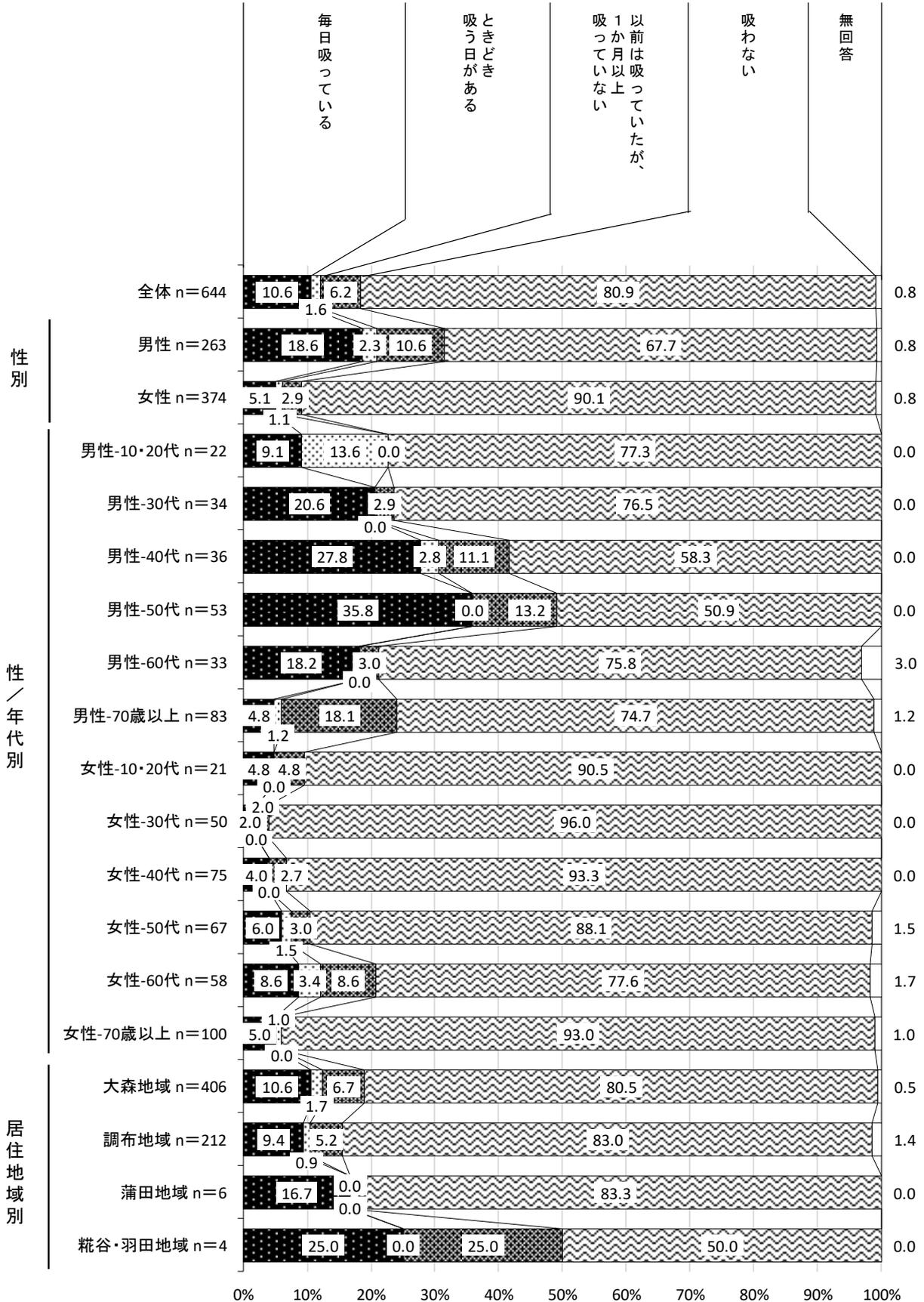


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「毎日吸っている」は男性が18.6%、女性が5.1%と、男性が13.5ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「毎日吸っている」は男性50代で3割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「毎日吸っている」は大森地域で1割後半と高くなっている。

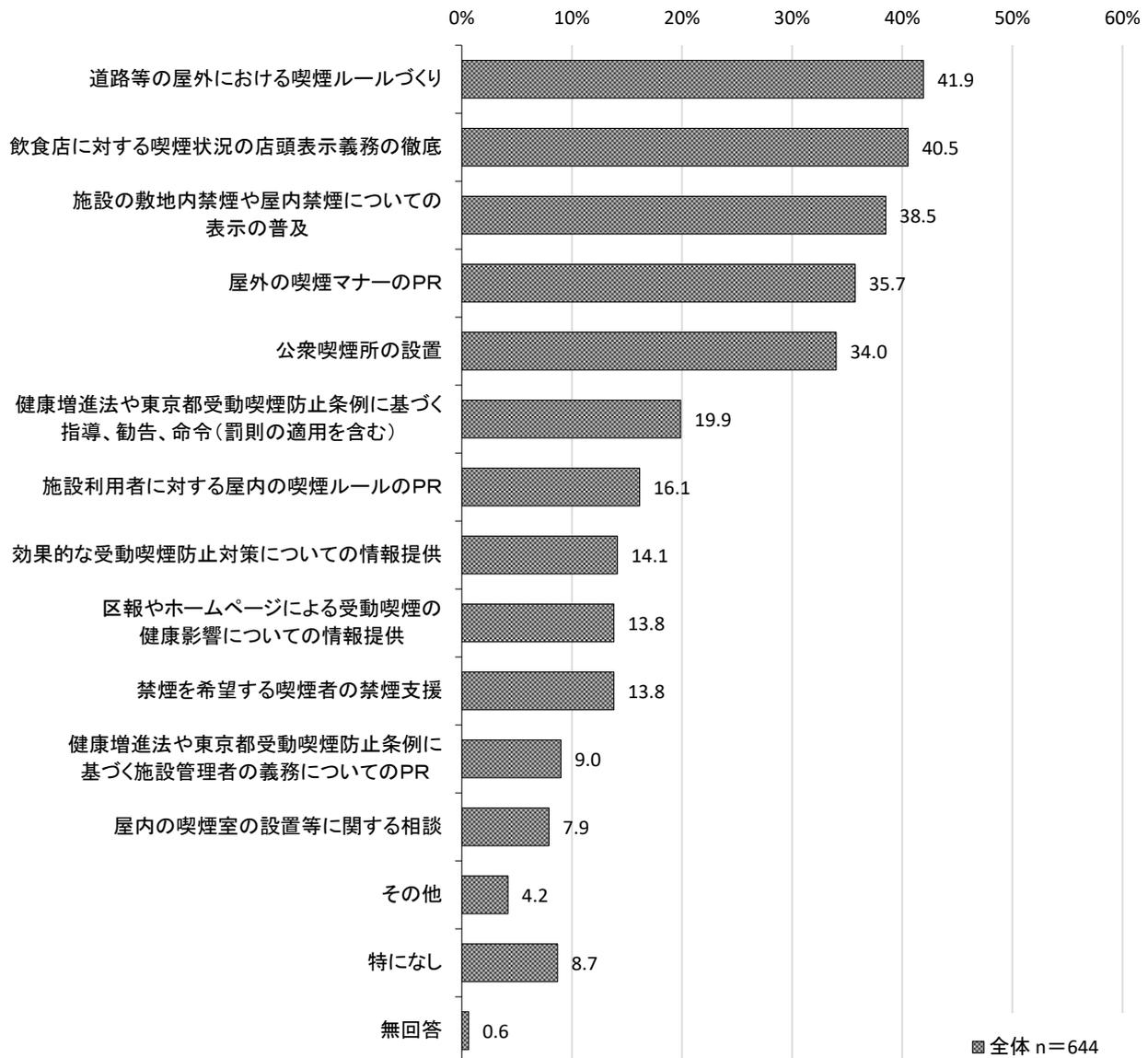


(2) 大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組

◇「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が4割前半で最も高くなっている

問 20 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(複数回答可)

大田区が推進すべき、受動喫煙防止に向けた取組については、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が41.9%で最も高く、次いで「飲食店に対する喫煙状況の店頭表示義務の徹底」が40.5%、「施設の敷地内禁煙や屋内禁煙についての表示の普及」が38.5%となっている。
 なお、「特になし」は8.7%となっている。

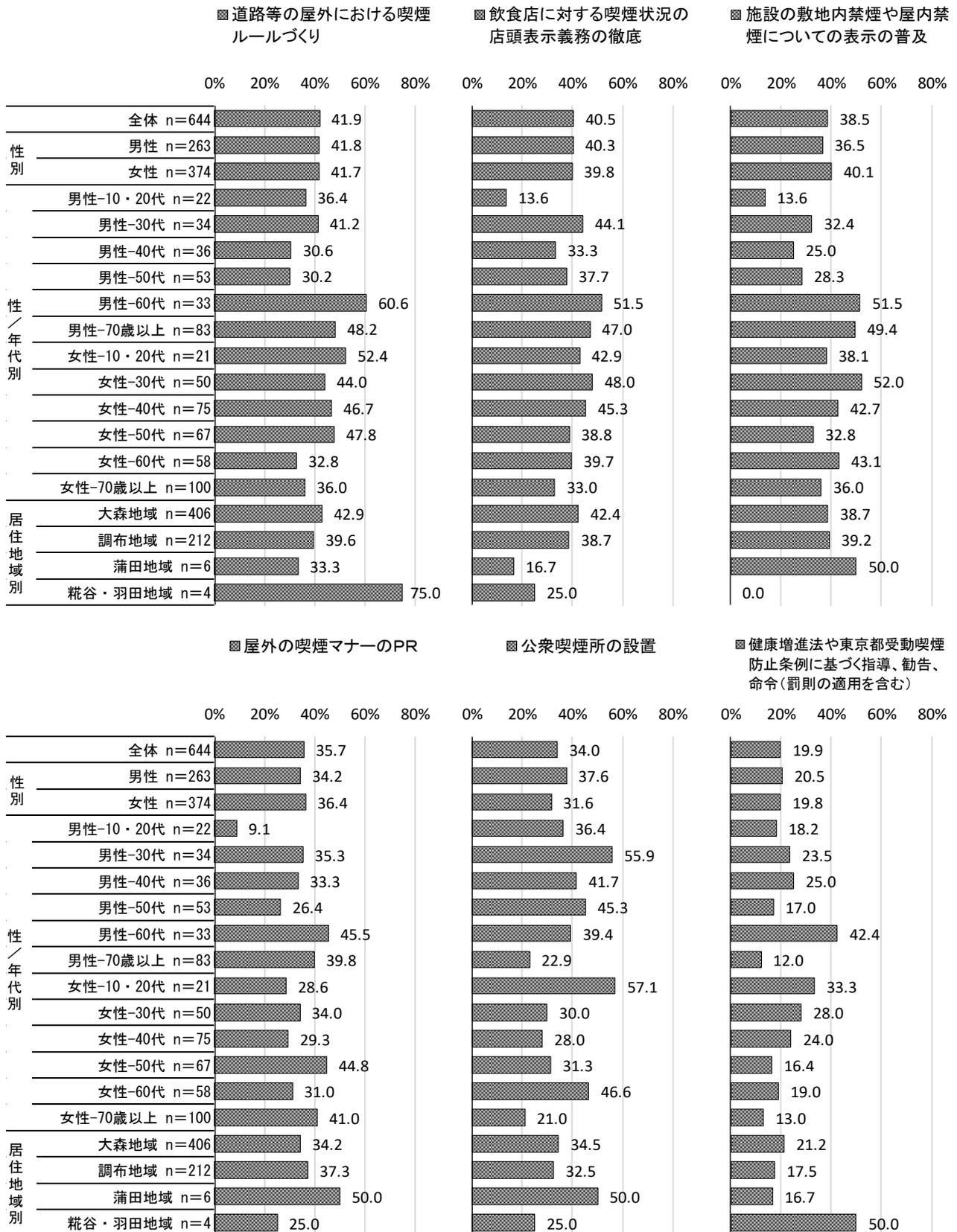


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「道路等の屋外における喫煙ルールづくり」は男性では60代で6割前半、女性では40代、50代で4割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



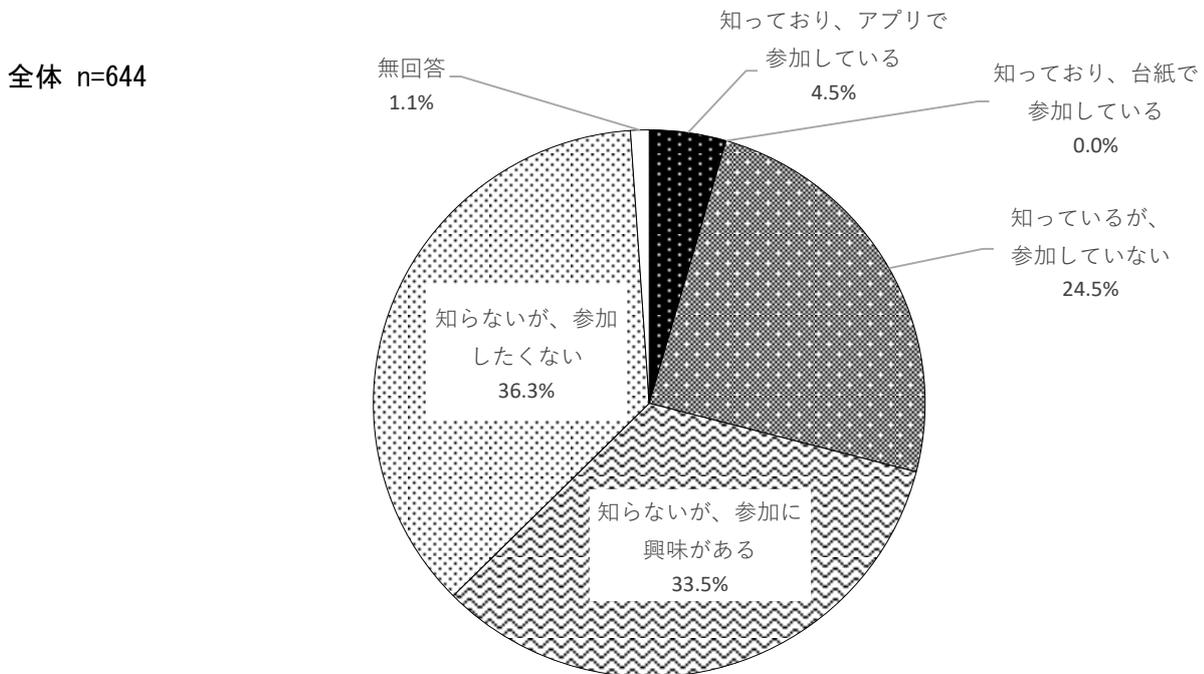
9 健康づくりについて

(1) 「はねびょん健康ポイント」の認知度

◇《知っている》(「知っており、アプリで参加している」、「知っており、台紙で参加している」、「知っているが、参加していない」の合計値)は2割後半となっている

問 21 大田区の「はねびょん健康ポイント」を知っていますか。(1つのみ)

“はねびょん健康ポイント”の認知度については、「知っており、アプリで参加している」、「知っており、台紙で参加している」、「知っているが、参加していない」の合計値《知っている》が29.0%で、「知らないが、参加に興味がある」、「知らないが、参加したくない」の合計値《知らない》は69.8%となっている。

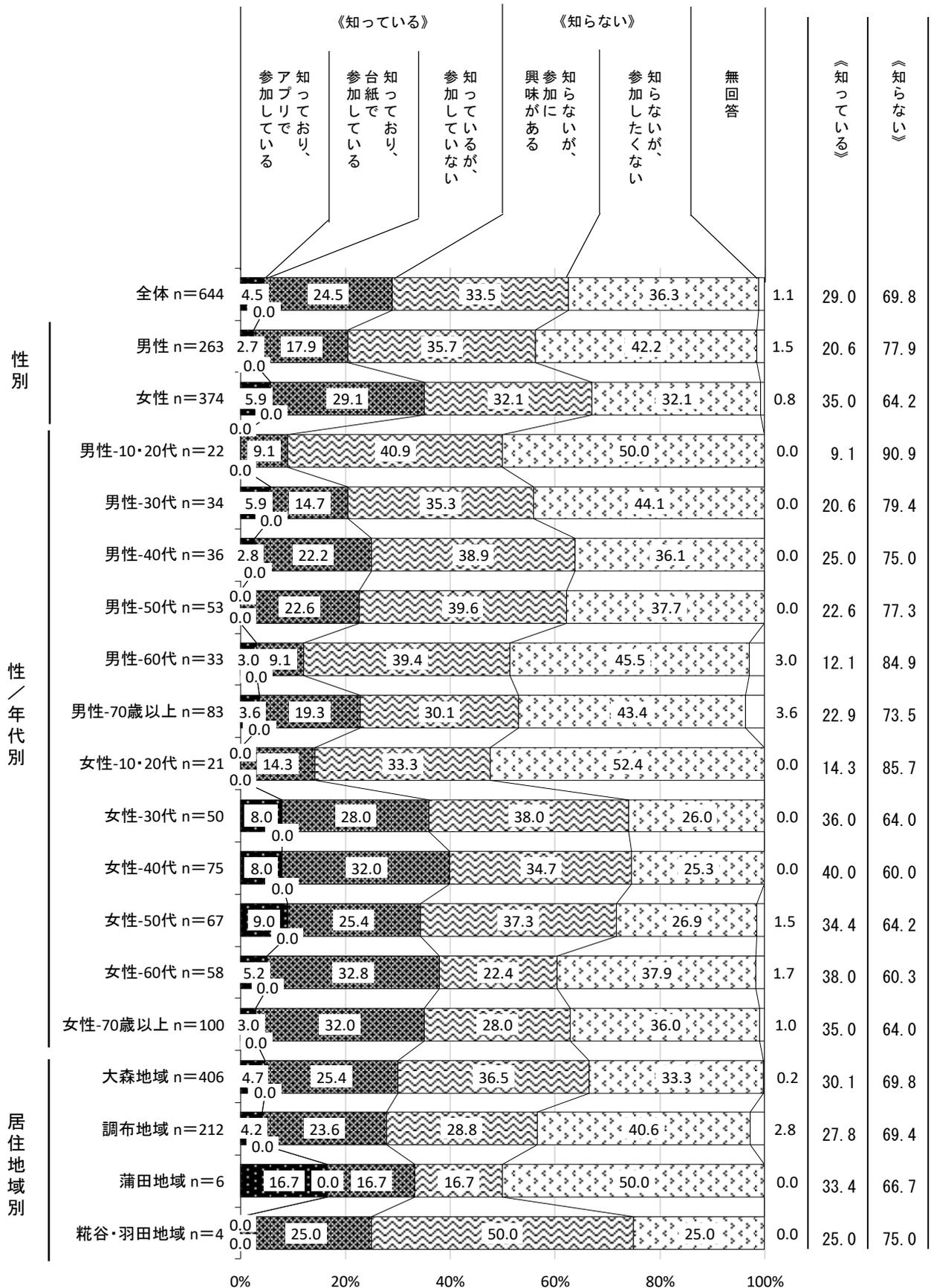


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性20.6%、女性35.0%と、女性が14.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性では40代で2割半ば、女性では40代で4割と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



10 医療について

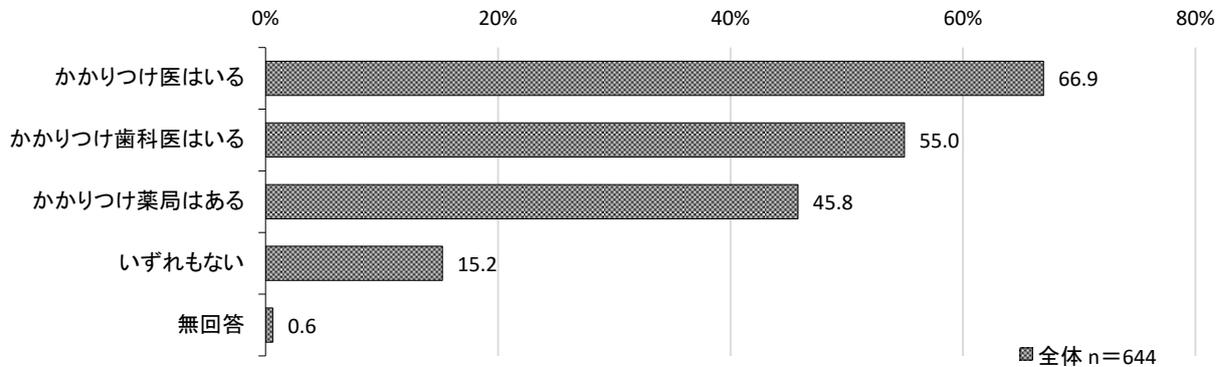
(1) かかりつけの医療機関

◇「かかりつけ医はいる」は6割後半となっている

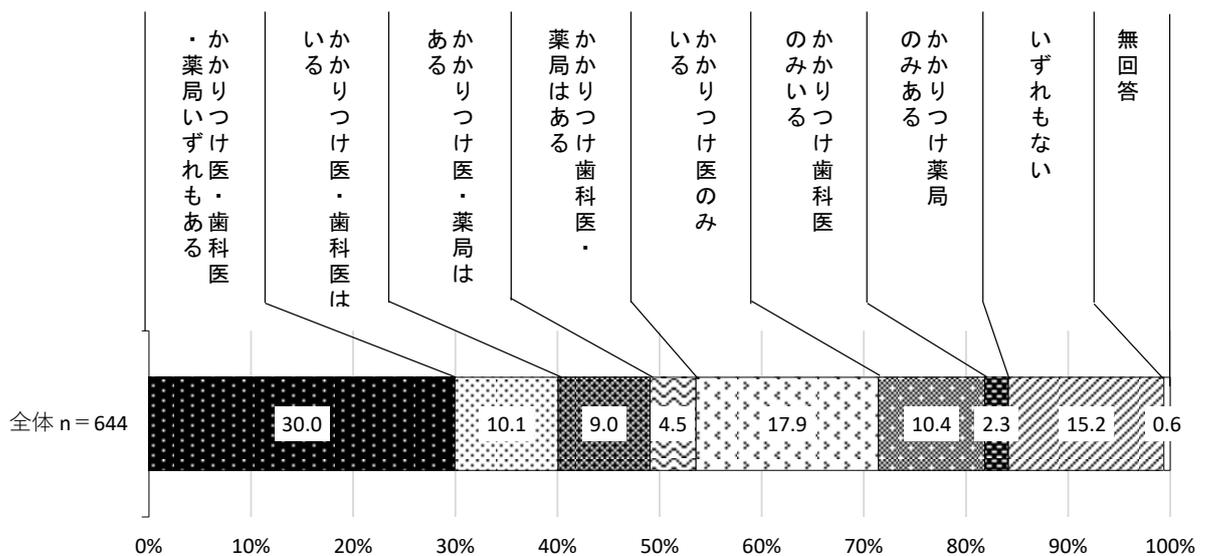
問 22 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(複数回答可)

かかりつけの医療機関については、「かかりつけ医はいる」が66.9%で最も高く、次いで「かかりつけ歯科医はいる」が55.0%、「かかりつけ薬局はある」が45.8%となっている。

なお、「いずれもない」は15.2%となっている。



■ かかりつけの医療機関の状況

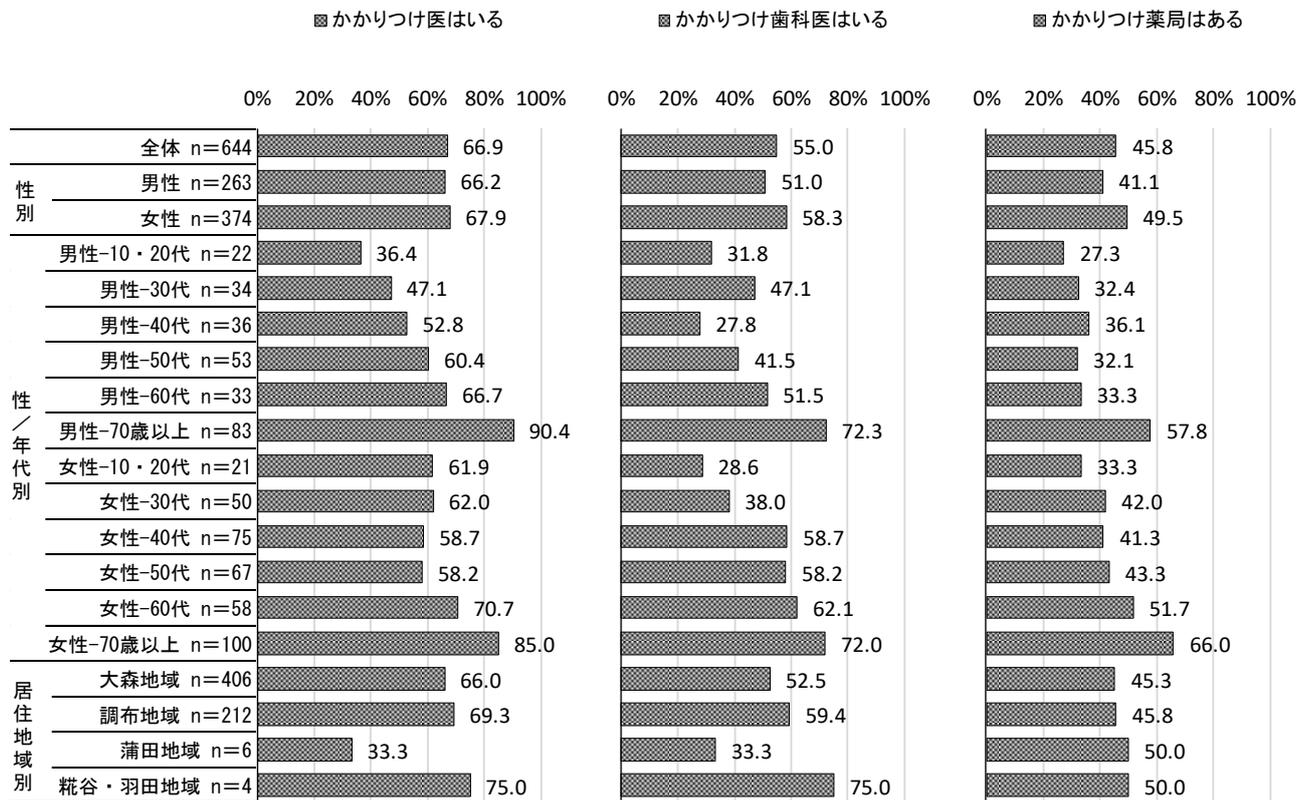


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「かかりつけ医はいる」は男性が66.2%、女性が67.9%と、大きな差はみられない。「かかりつけ歯科医はいる」は男性が51.0%、女性が58.3%と、女性が7.3ポイント上回っている。「かかりつけ薬局はある」は男性が41.1%、女性が49.5%と、女性が8.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「かかりつけ医はいる」、「かかりつけ歯科医はいる」、「かかりつけ薬局はある」のすべてで、男性、女性ともに70歳以上が最も高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



11 食品ロス・フードドライブについて

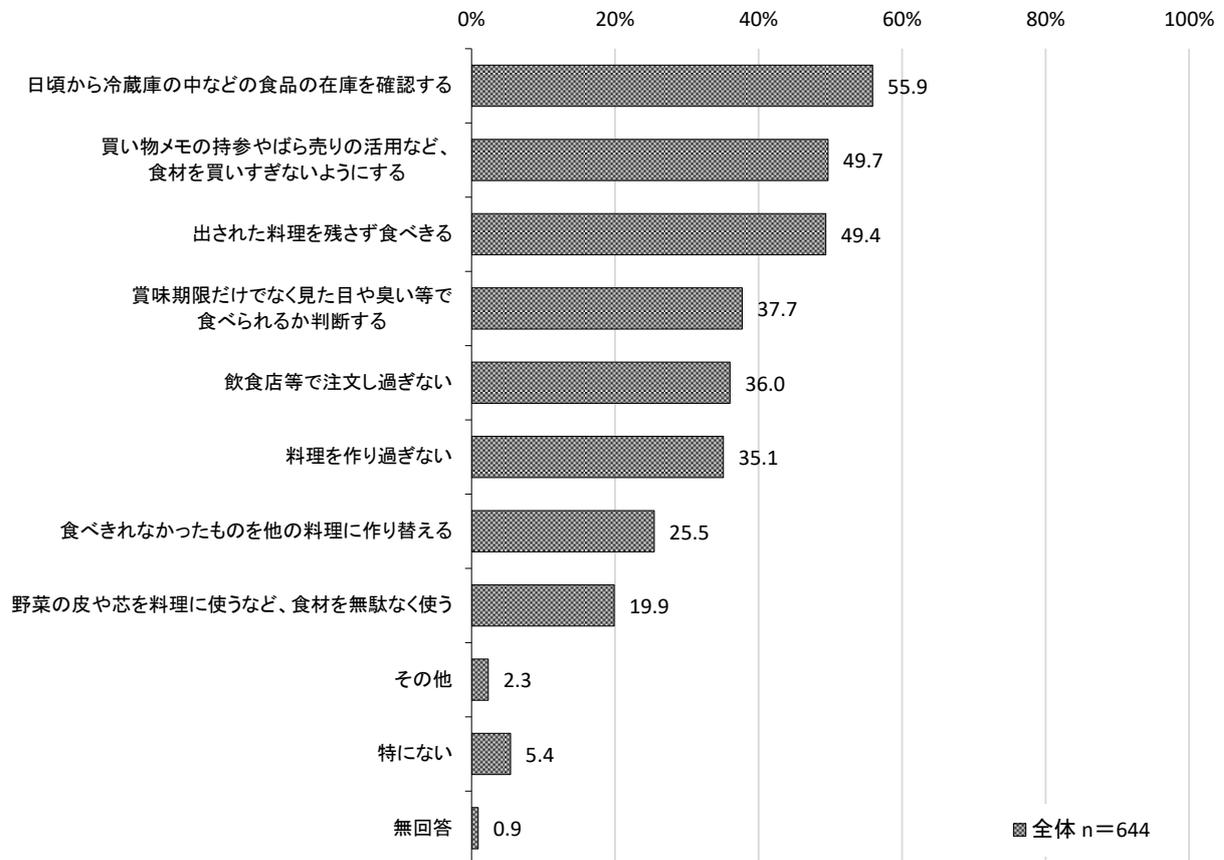
(1) 食品ロスを減らすための取り組み

◇「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が5割半ばで最も高くなっている

問 23 生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。(複数回答可)

食品ロスを減らすための取り組みについては、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が55.9%で最も高く、次いで「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」が49.7%、「出された料理を残さず食べきる」が49.4%となっている。

なお、「特にない」は5.4%となっている。

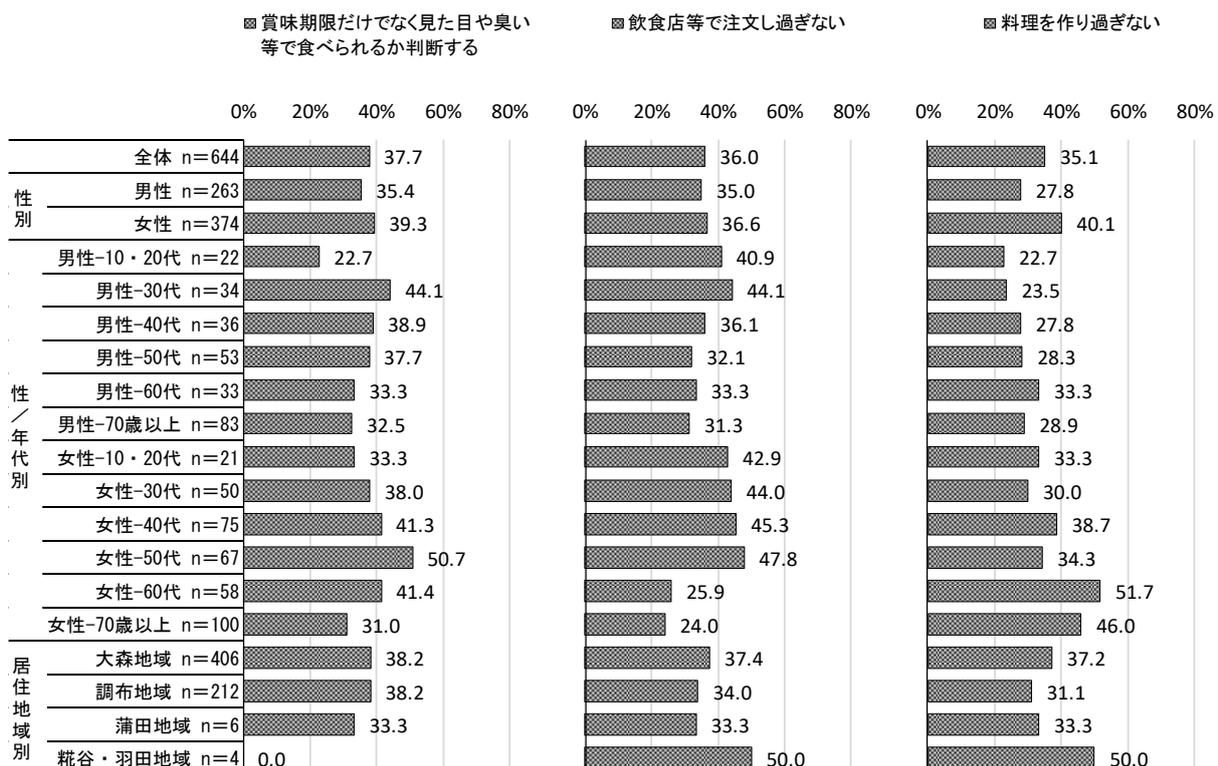
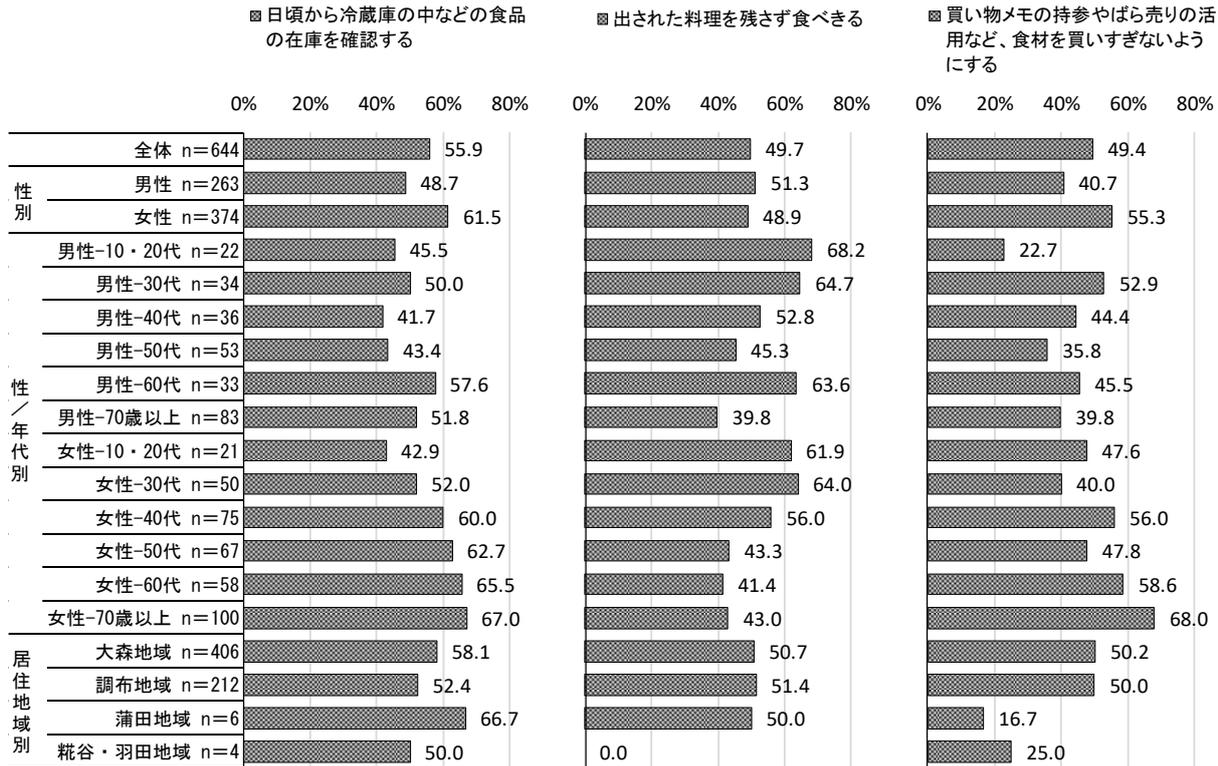


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性では「出された料理を残さず食べきる」、女性では「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」が最も高くなっている。「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は男性が48.7%、女性が61.5%と、女性が12.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、女性70代では「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」、「買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする」がともに6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する」は大森地域で5割後半と高くなっている。

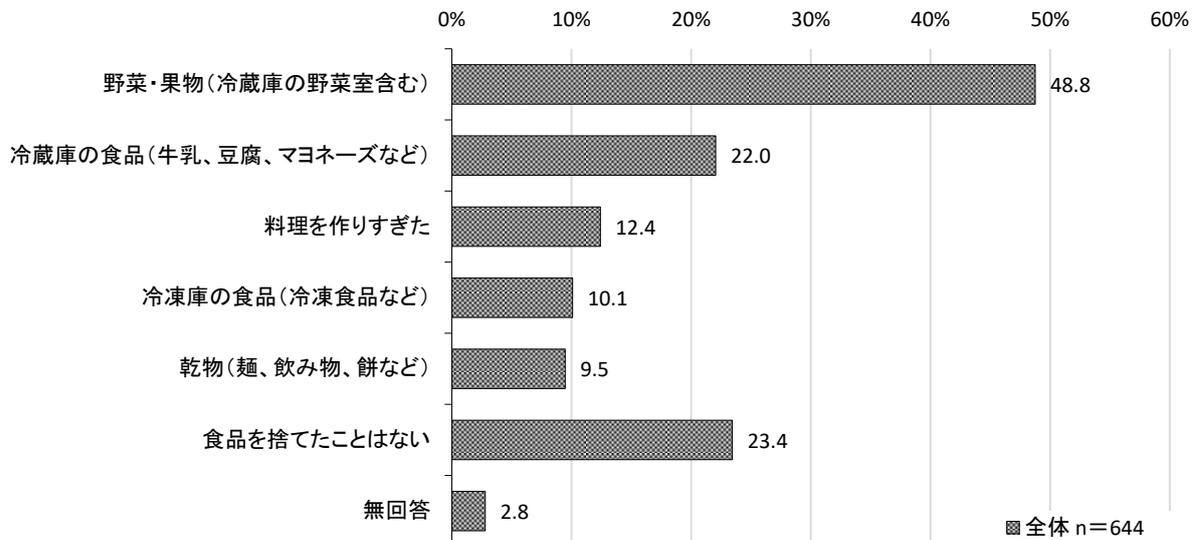


(2) 食品ロスとなった食品は何が多かったか

◇「野菜・果物（冷蔵庫の野菜室含む）」が4割後半で最も高くなっている

問 24 食品ロスとなった食品は何が多かったですか。（複数回答可）

食品ロスとなった食品については、「野菜・果物（冷蔵庫の野菜室含む）」が48.8%、次いで「冷蔵庫の食品（牛乳、豆腐、マヨネーズなど）」が22.0%、「料理を作りすぎた」が12.4%となっている。なお、「食品を捨てたことはない」は23.4%となっている。

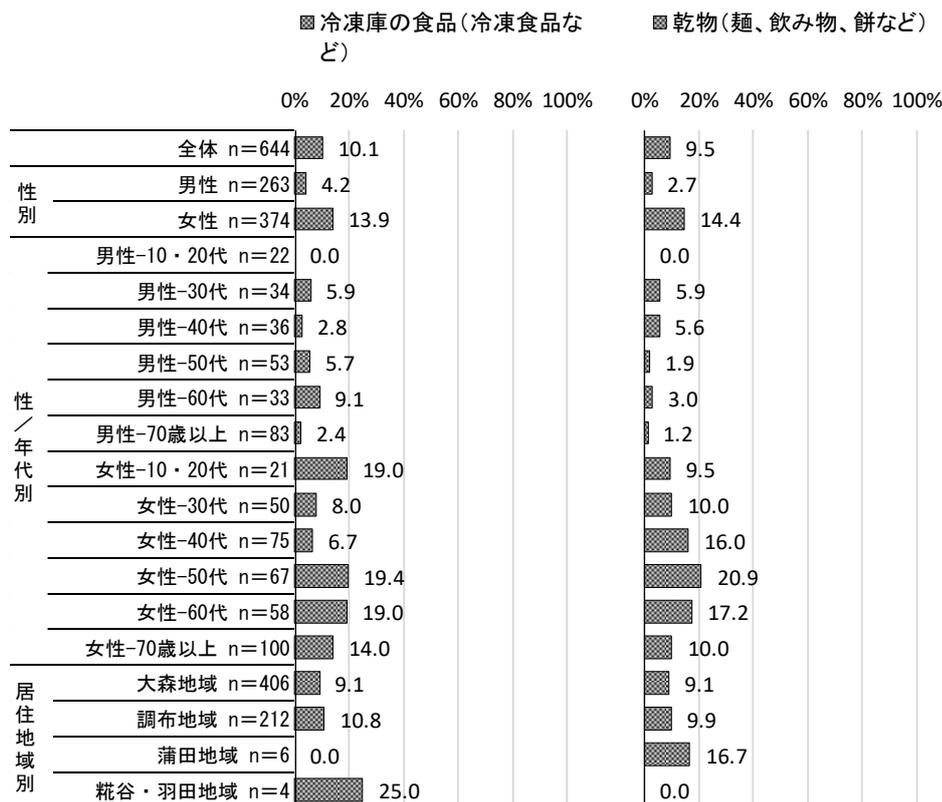
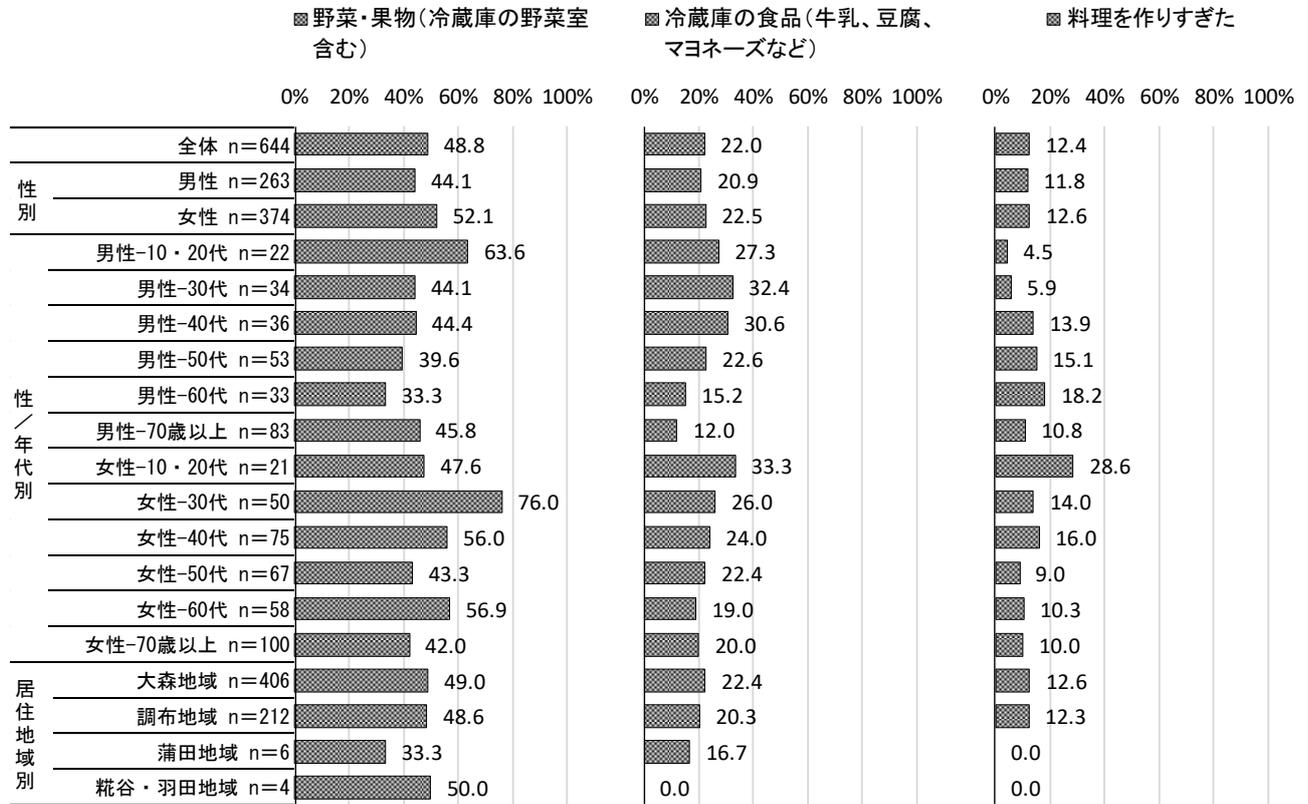


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「野菜・果物（冷蔵庫の野菜室含む）」が最も高く、男性が44.1%、女性が52.1%と、女性が8ポイント上回っている。

性/年代別でみると、「野菜・果物（冷蔵庫の野菜室含む）」は女性30代で約7割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



(3)「大田区食べきり応援団」の認知度

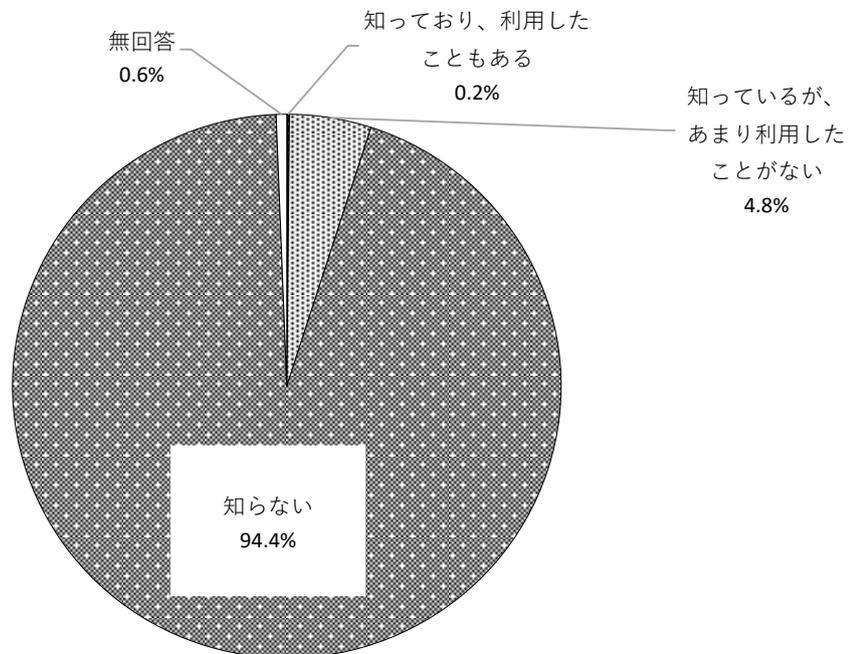
◇《知っている》(「知っており、利用したこともある」、「知っているが、あまり利用したことがない」の合計値)は1割未満となっている

問 25 大田区食べきり応援団を知っていますか。(1つのみ)

※「大田区食べきり応援団」とは、大田区に登録された、食品ロス削減に取り組む事業者の事です。

“大田区食べきり応援団”の認知度については、「知っており、利用したこともある」、「知っているが、あまり利用したことがない」の合計値《知っている》が5.0%で、「知らない」が、94.4%となっている。

全体 n=644

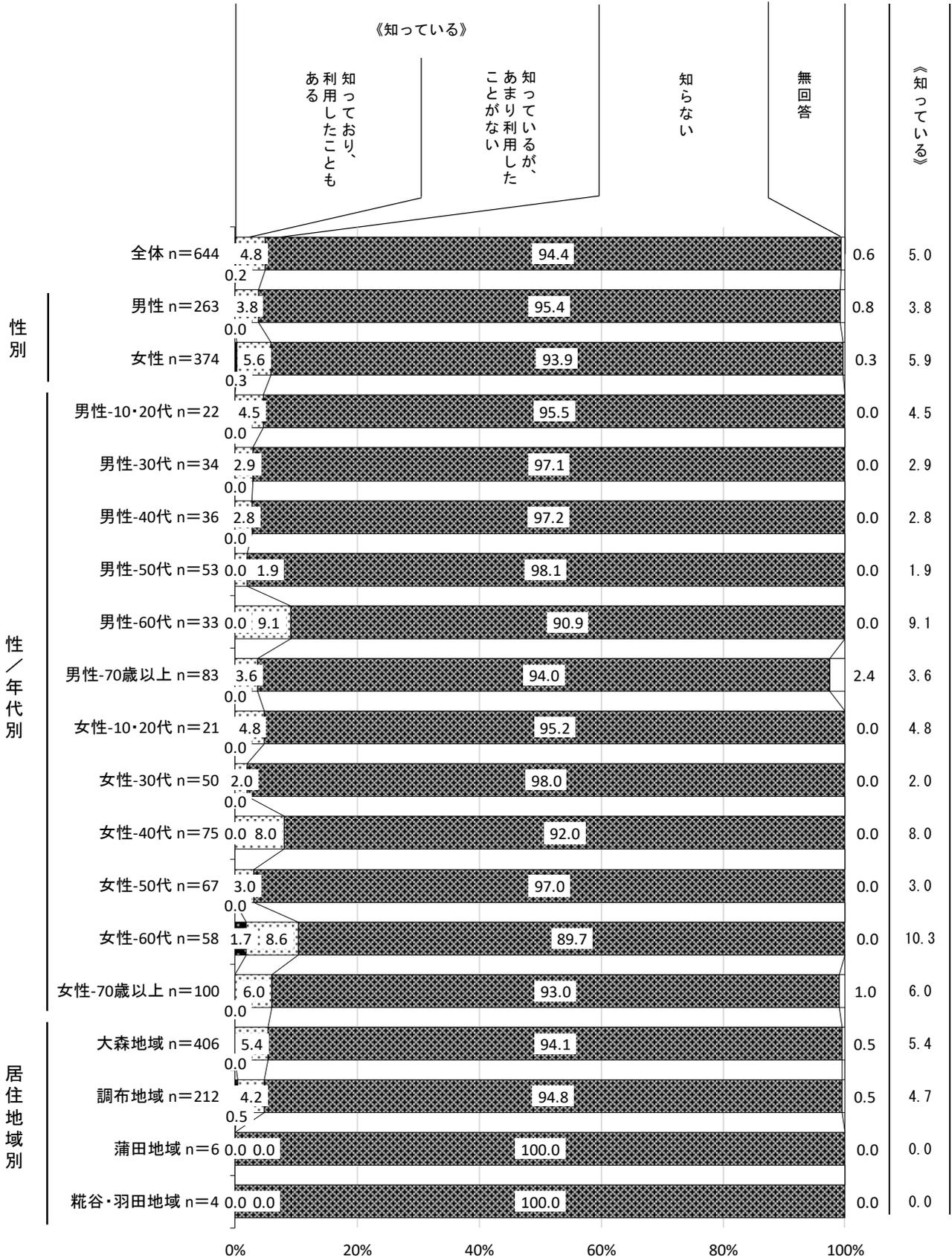


■性別・性/年代別・居住地域別

性別でみると、大きな差はみられない。

性/年代別でみると、《知っている》はほぼ全ての年代で1割未満となっており、女性60代が約1割と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

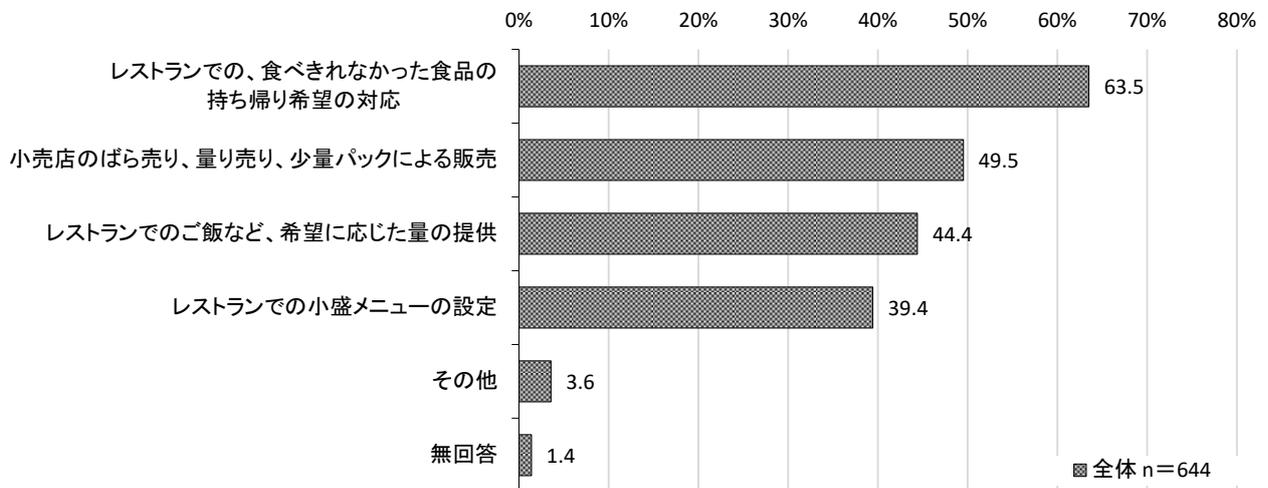


(4) 食品ロス削減への取り組み

◇「レストランでの、食べきれなかった食品の持ち帰り希望の対応」が6割前半で最も高くなっている

**問 26 食品ロスを削減するためには、店舗がどのような取組みをしていけば良いと思いますか。
(複数回答可)**

食品ロス削減への取り組みについては、「レストランでの、食べきれなかった食品の持ち帰り希望の対応」が63.5%で最も高く、次いで「小売店のばら売り、量り売り、少量パックによる販売」が49.5%、「レストランでのご飯など、希望に応じた量の提供」が44.4%となっている。

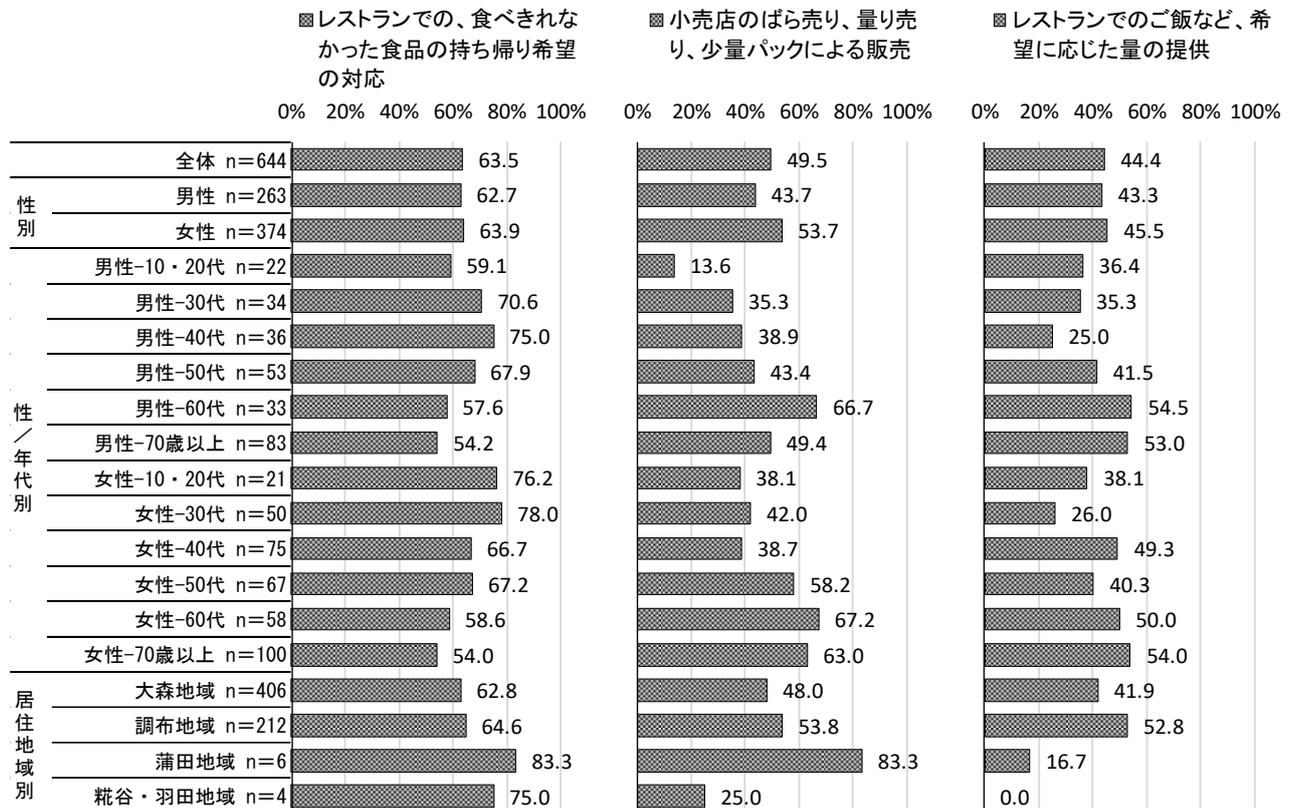


■性別・性/年代別・居住地域別

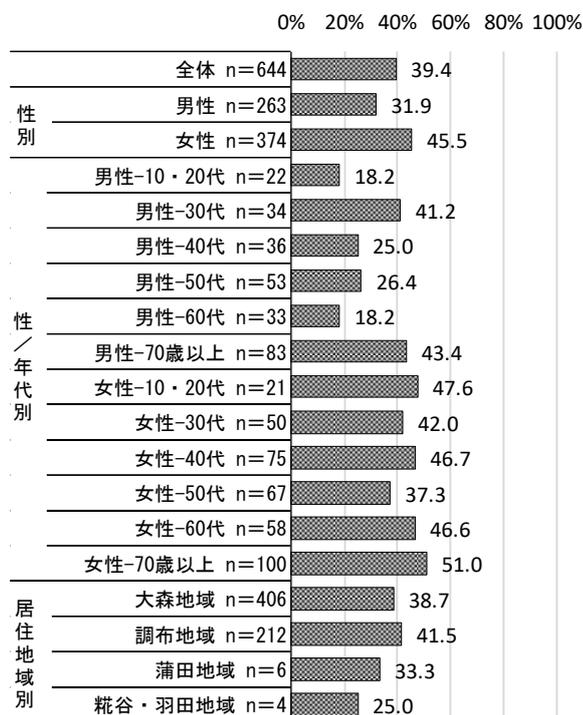
性別でみると、男性、女性ともに「レストランでの、食べきれなかった食品の持ち帰り希望の対応」が最も高くなっている。

性/年代別でみると、「レストランでの、食べきれなかった食品の持ち帰り希望の対応」は男性では40代で7割半ば、女性では30代で7割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「レストランでの、食べきれなかった食品の持ち帰り希望の対応」が最も高くなっている。



■ レストランでの小盛メニューの設定



12 地球環境について

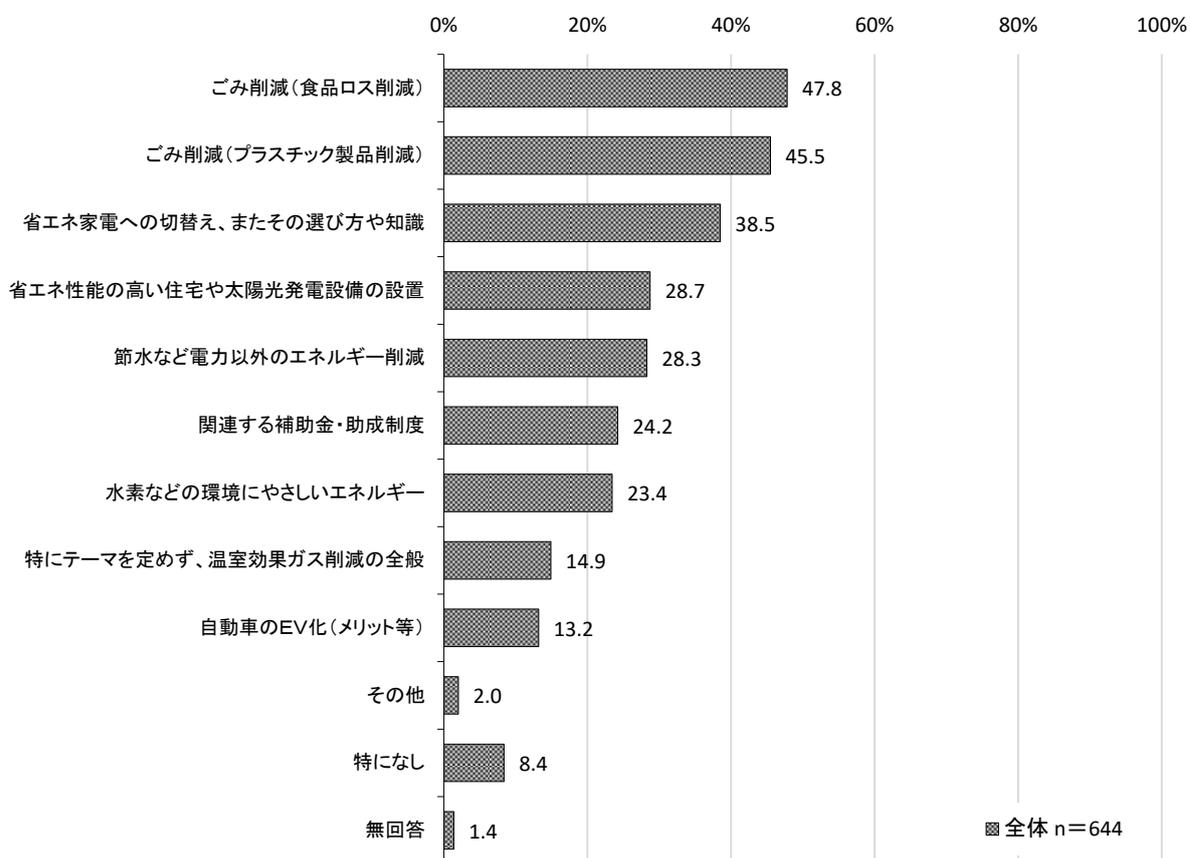
(1) 地球温暖化防止のために、関心のある実践行動や学んでみたいこと

◇「ごみ削減（食品ロス削減）」が4割後半で最も高くなっている

問 27 地球温暖化防止のためには、温室効果ガス削減が有効となります。関心のある実践行動や、学んでみたいと思われる内容を教えてください。（複数選択可）

地球温暖化防止のために、関心のある実践行動や学んでみたいことについては、「ごみ削減（食品ロス削減）」が47.8%で最も高く、次いで「ごみ削減（プラスチック製品削減）」が45.5%、「省エネ家電への切替え、またその選び方や知識」が38.5%となっている。

なお、「特になし」は8.4%となっている。

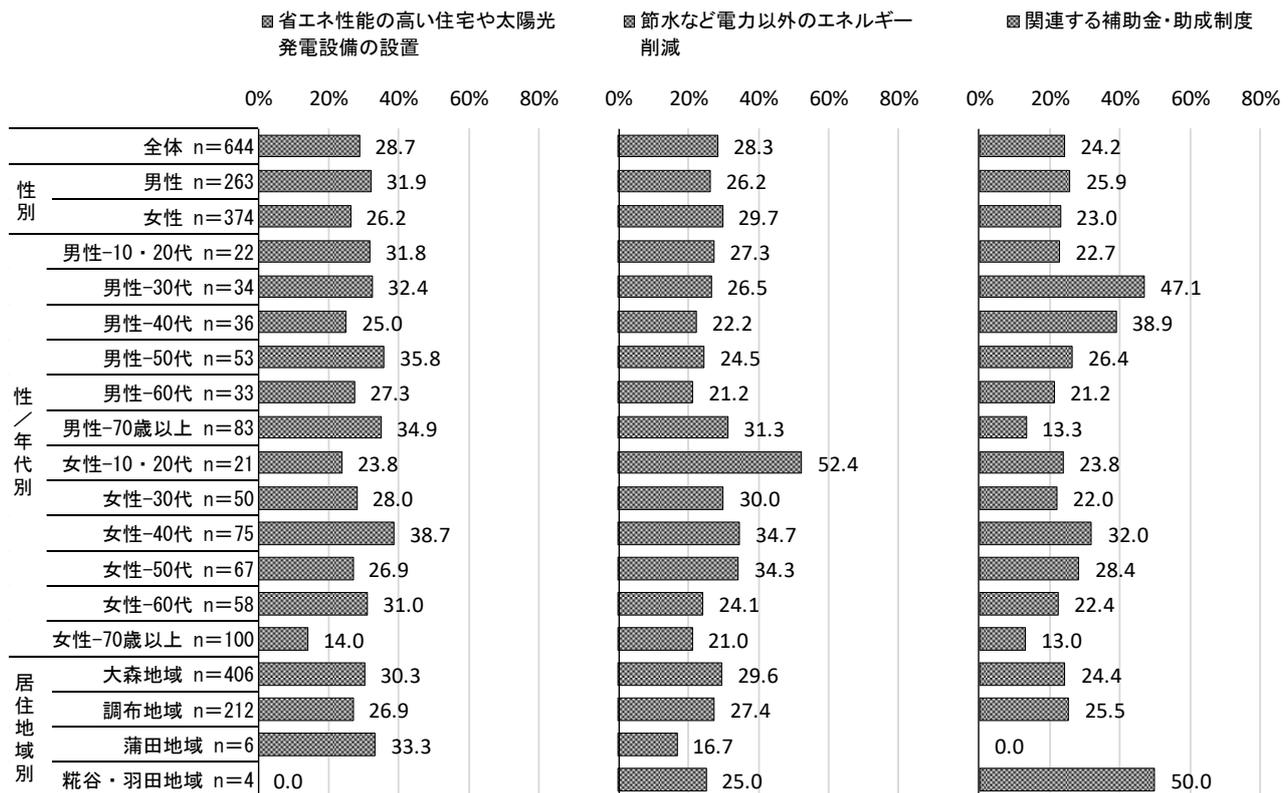
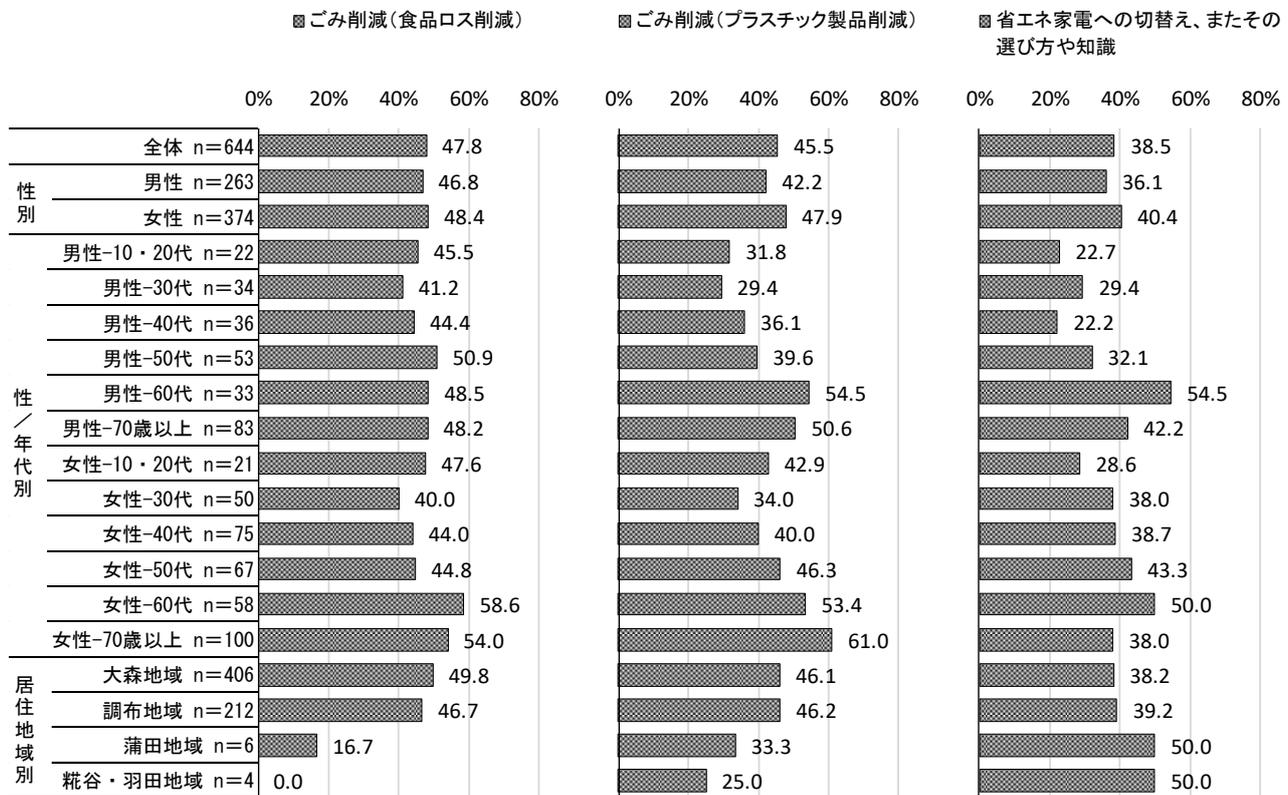


■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「ごみ削減（食品ロス削減）」が最も高くなっている。

性/年代別でみると、男性60代では「ごみ削減（プラスチック製品削減）」、「省エネ家電への切替え、またその選び方や知識」が5割前半で高くなっている。「ごみ削減（食品ロス削減）」は女性60代で5割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

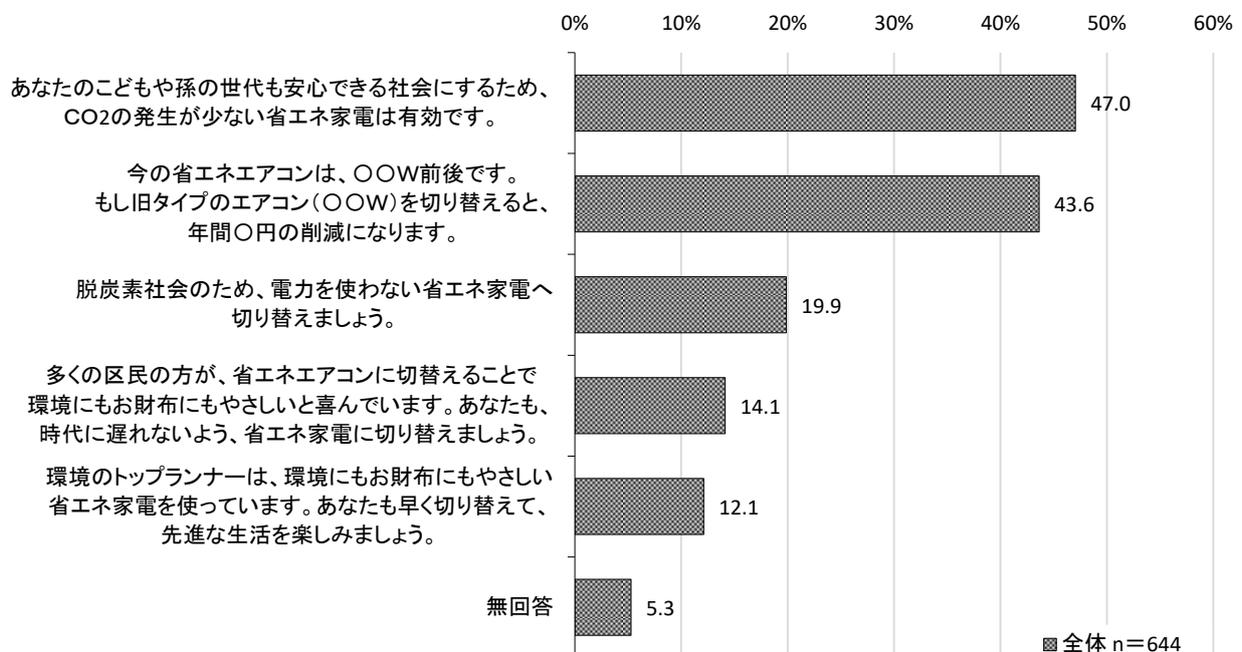


(2) どのようなメッセージで行動変容につながるか

◇「あなたの子どもや孫の世代も安心できる社会にするため、CO2の発生が少ない省エネ家電は有効です。」が4割後半で最も高くなっている

問 28 大田区は 2050 年に向けて脱炭素社会、電力の省エネを進めていく必要があります。その際、どのようなメッセージだと、行動変容につながりますか。(複数選択可)

どのようなメッセージで行動変容につながるかについては、「あなたの子どもや孫の世代も安心できる社会にするため、CO2の発生が少ない省エネ家電は有効です。」が47.0%で最も高く、次いで「今の省エネエアコンは、〇〇W前後です。もし旧タイプのエアコン(〇〇W)を切り替えると、年間〇円の削減になります。」が43.6%、「脱炭素社会のため、電力を使わない省エネ家電へ切り替えましょう。」が19.9%となっている。

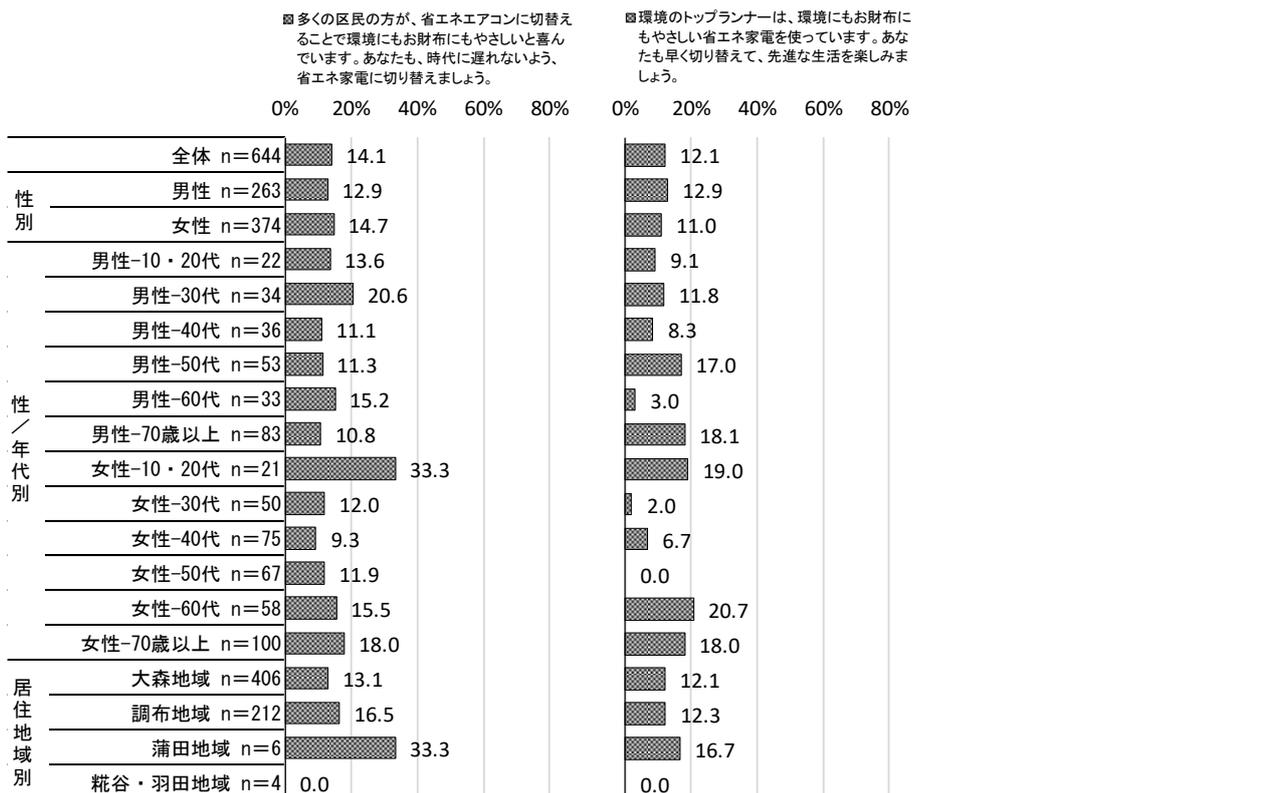
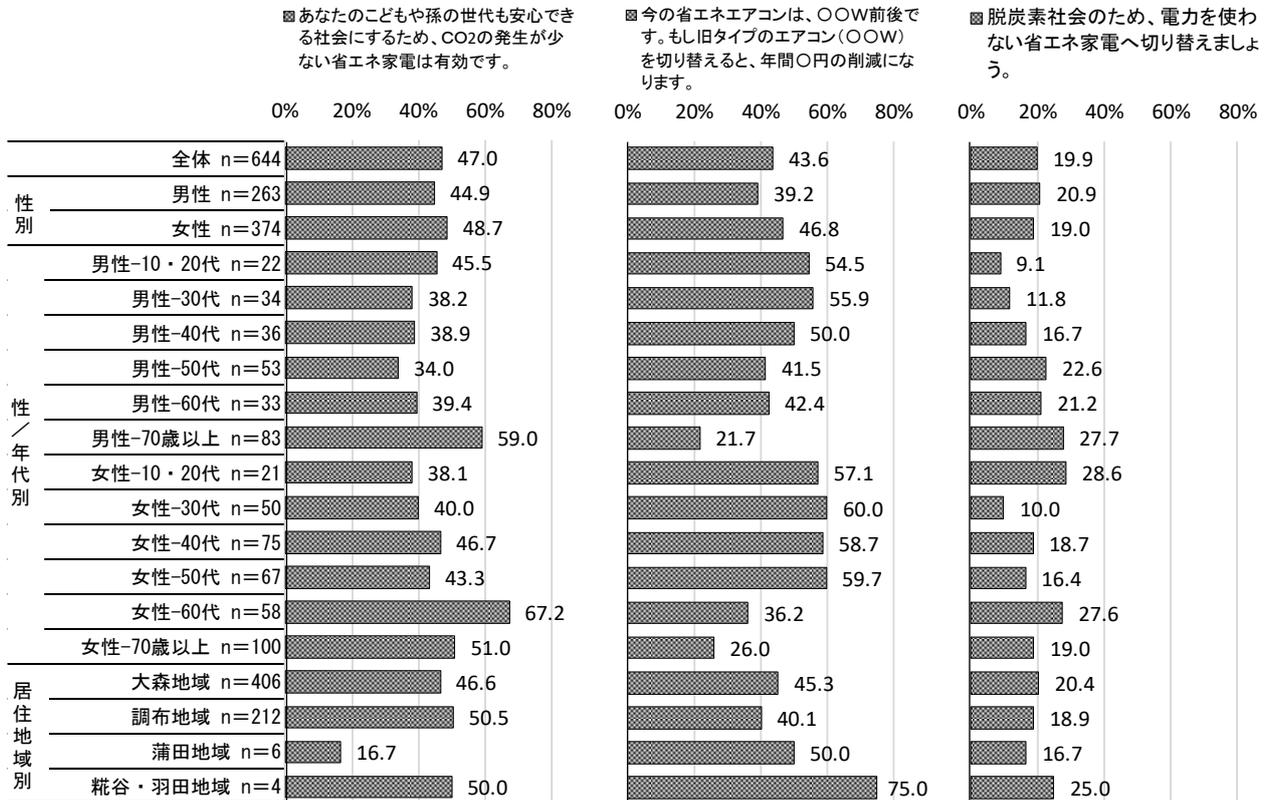


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「あなたの子どもや孫の世代も安心できる社会にするため、CO₂の発生が少ない省エネ家電は有効です。」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「あなたの子どもや孫の世代も安心できる社会にするため、CO₂の発生が少ない省エネ家電は有効です。」は男性では70歳以上で約5割後半、女性では60代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



Ⅲ 18歳以上の区民の方が対象

～ 買い物・まちづくり・住まいの分野など ～

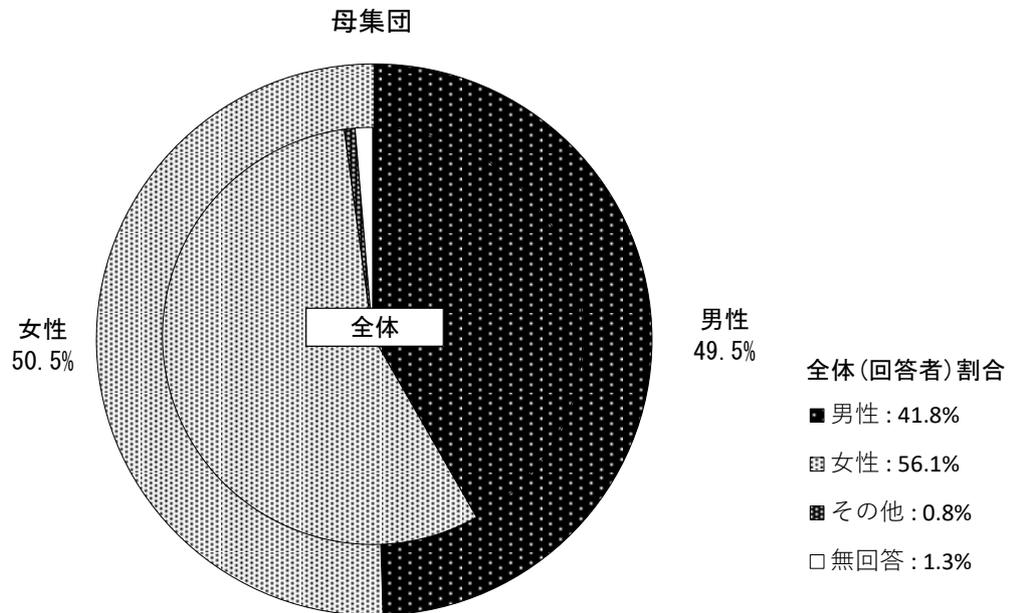
1 回答者の属性について

(1) 性別

母集団：大田区 18 歳以上の人口 (n=642, 559) 令和 6 年 1 月 1 日現在

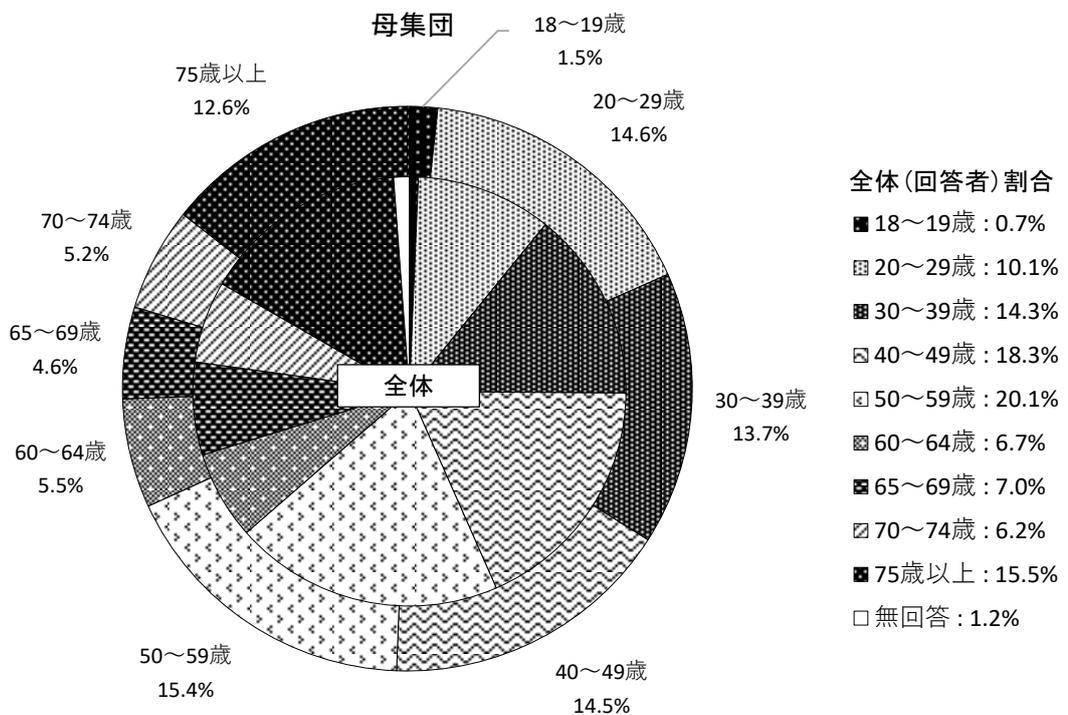
全体：有効回収数 (n=601)

全体 n=601



(2) 年齢

全体 n=601

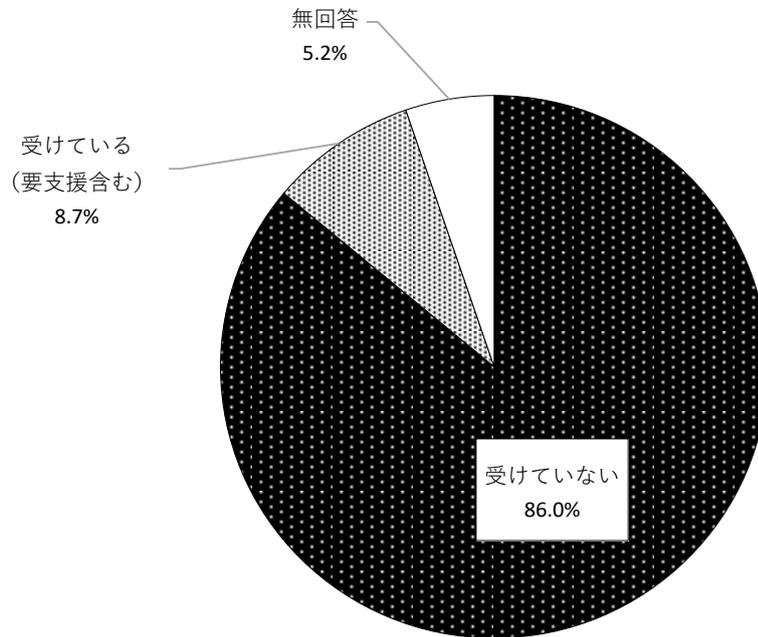


【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 6 年 1 月 1 日現在

(3) 要介護認定の状況

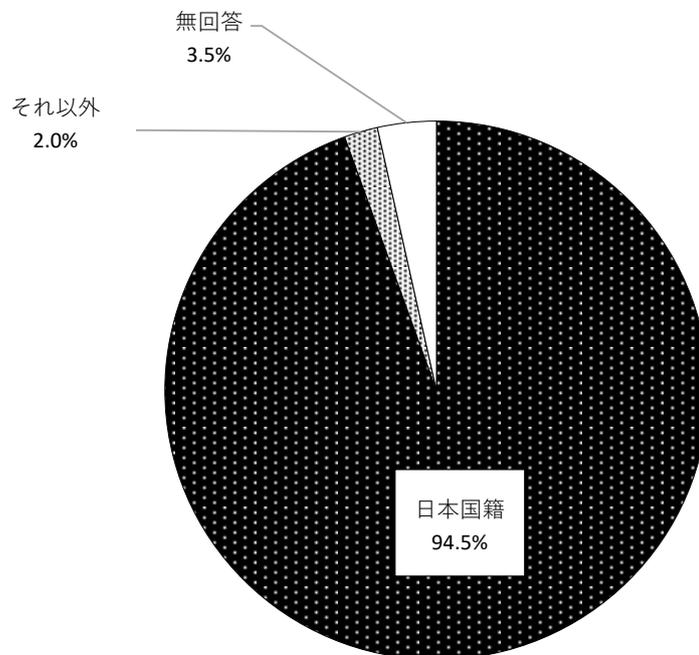
【65歳以上の方】

全体 n=172



(4) 国籍

全体 n=601

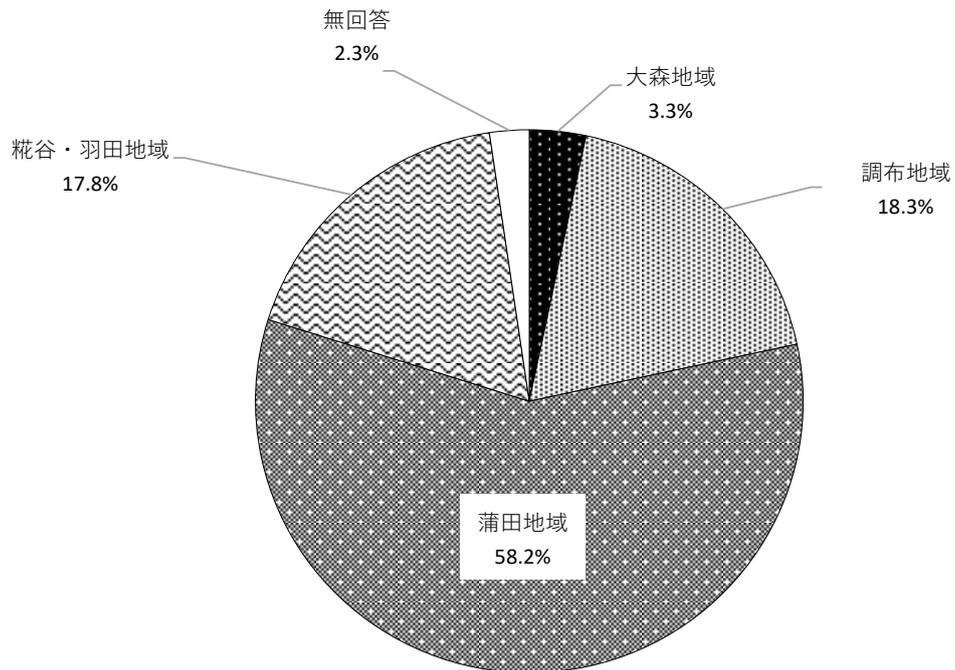


■ 日本国籍以外

	中国	韓国	フィリピン	ベトナム	台湾	アメリカ	イタリア	無回答
人数	4	2	2	1	1	1	1	0

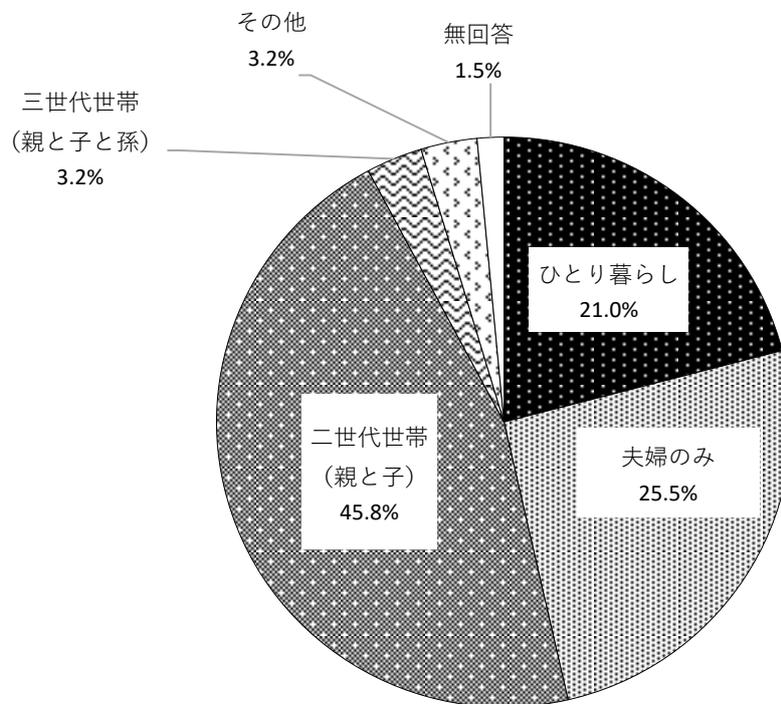
(5) 居住地域

全体 n=601



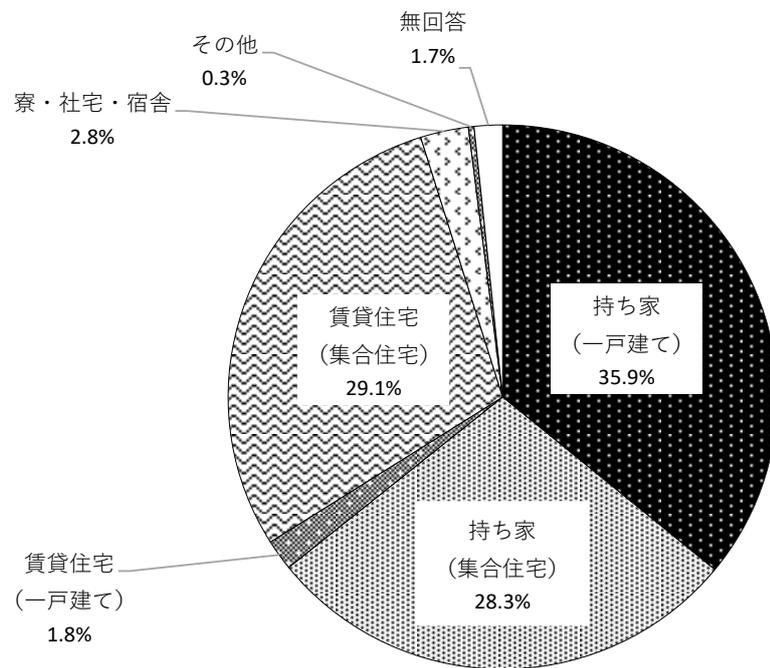
(6) 家族構成

全体 n=601

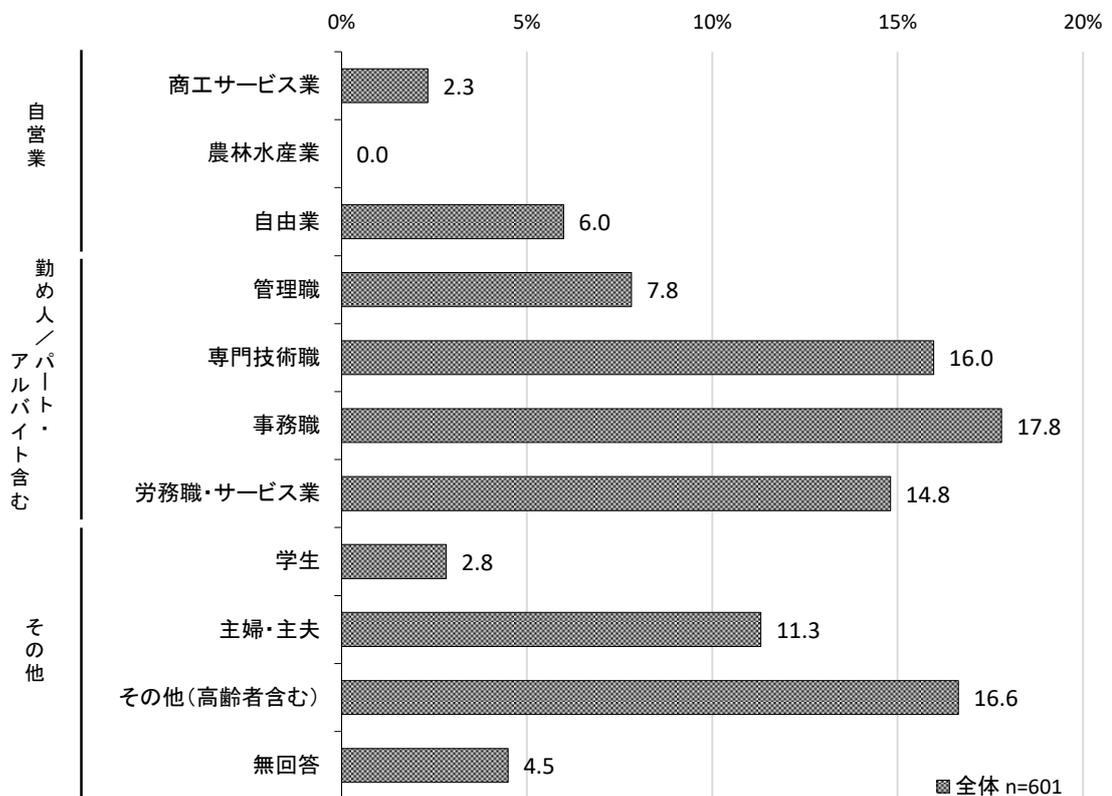


(7) 住まいの種類

全体 n=601

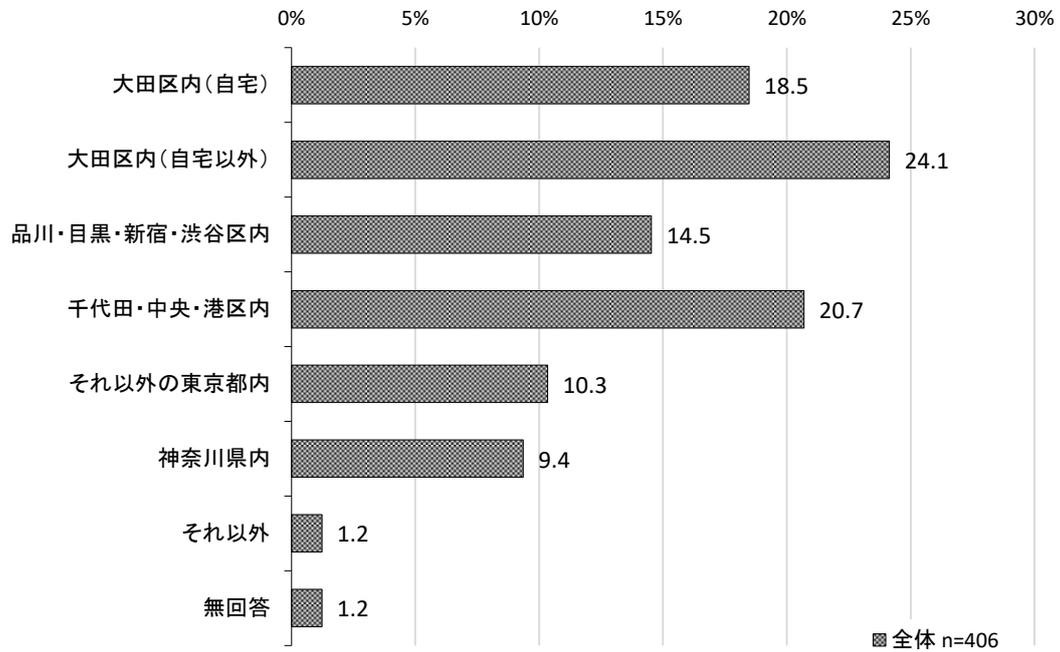


(8) 職業

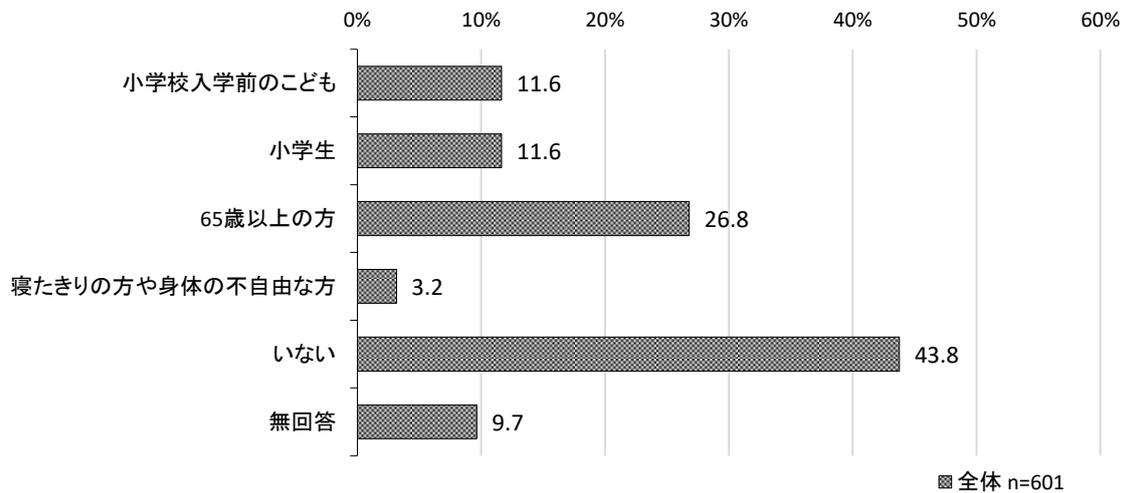


(9) 主な通勤・通学先

【(8) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

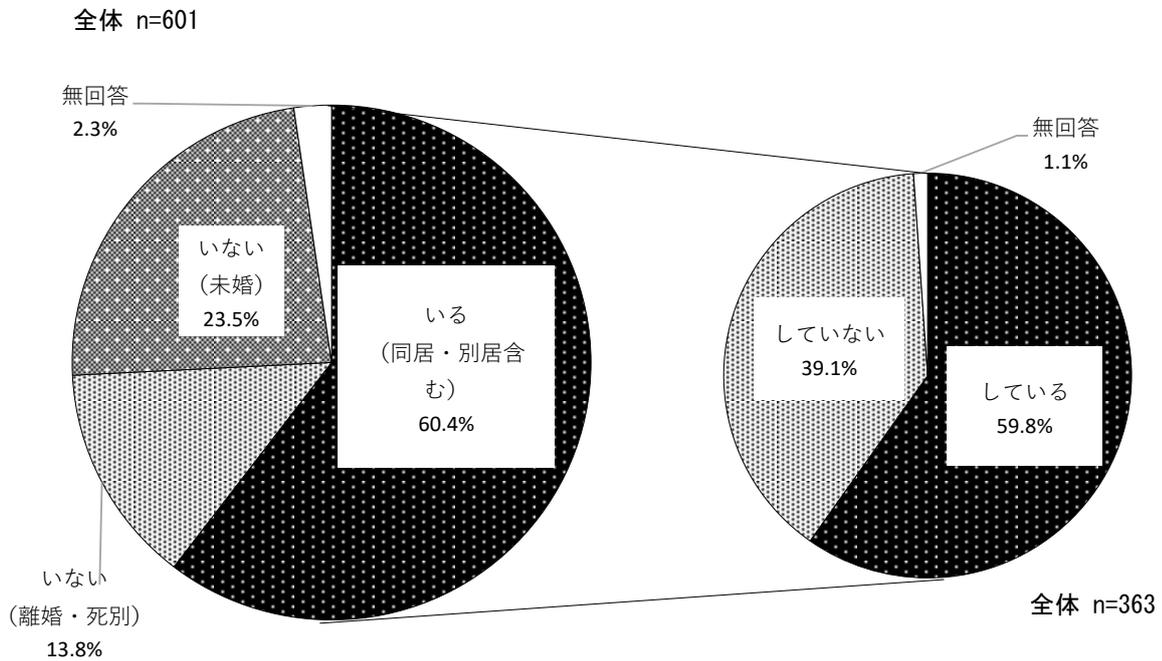


(10) 同居家族

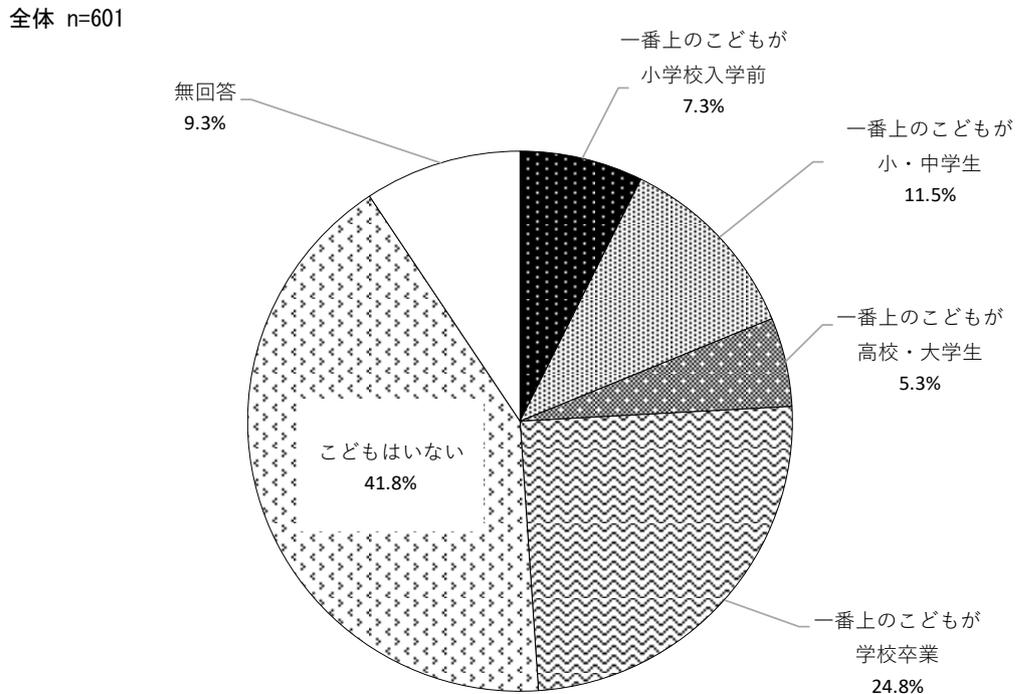


(11) 配偶者の有無及び (12) 共働きの状況

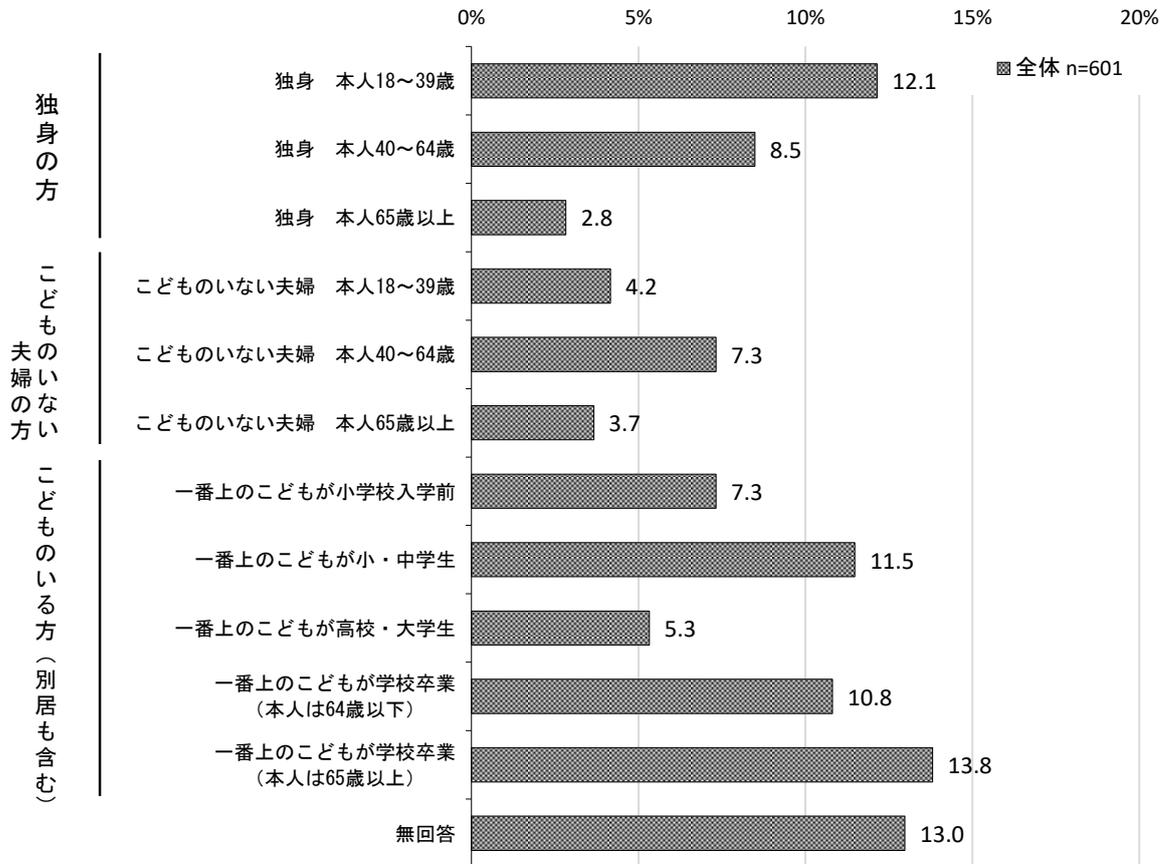
【(11) 配偶者の有無で「いる（同居・別居含む）」と回答した方】



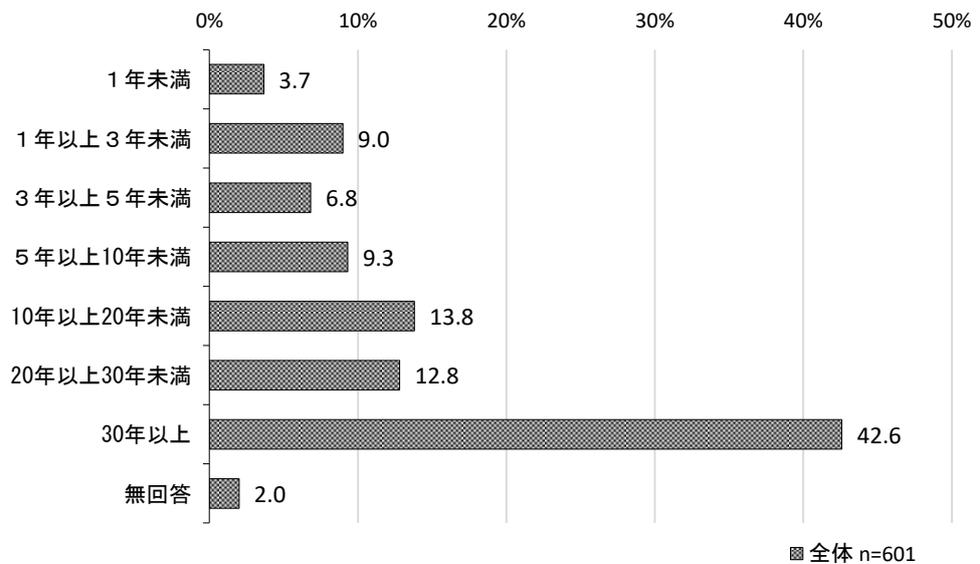
(13) こどもの有無



(14) 自身のステージ



(15) 居住年数



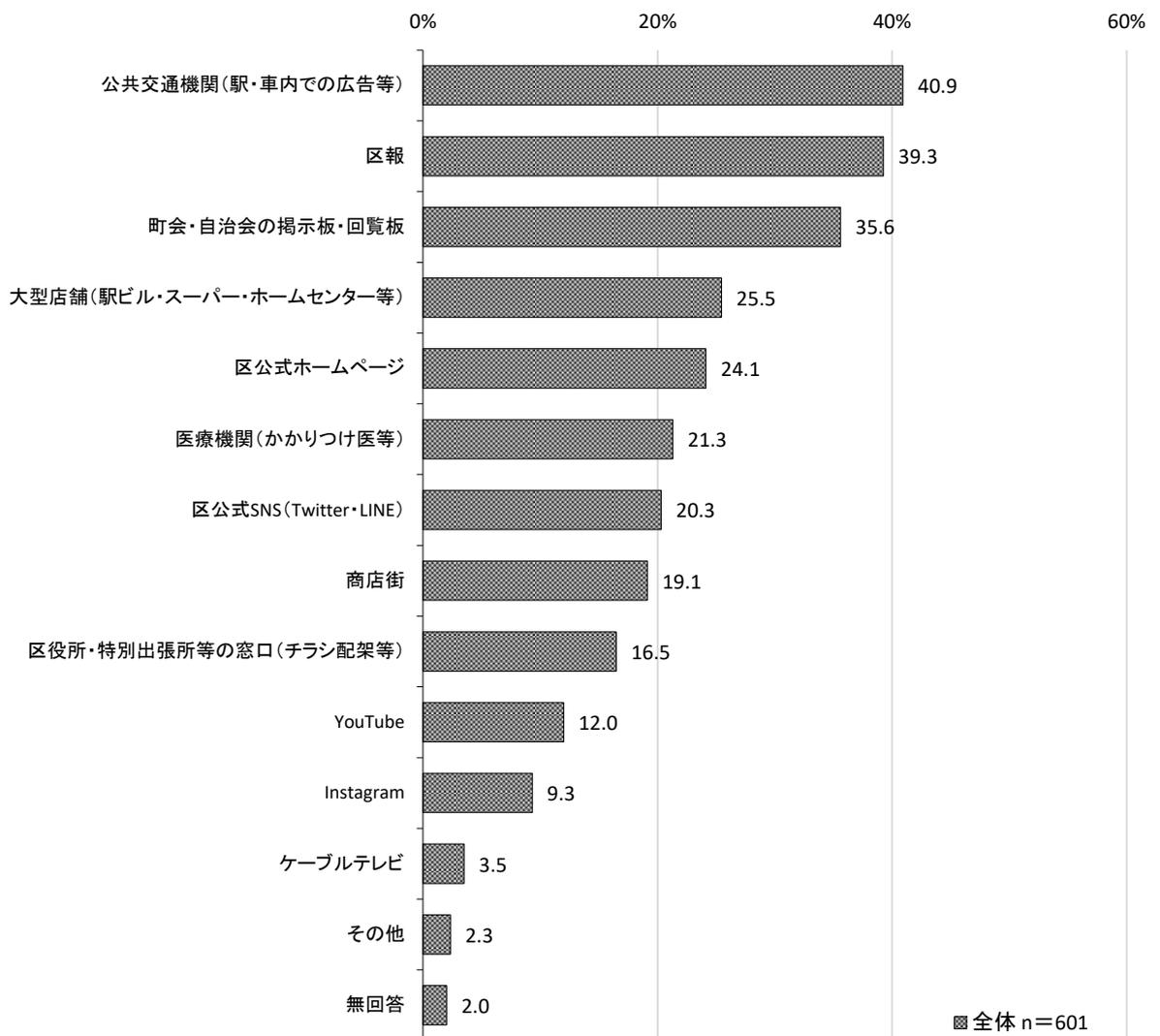
2 安全・安心について

(1) 防災への取組情報を取得したい場所

◇「公共交通機関（駅・車内での広告等）」が4割前半で最も高くなっている

問1 「大田区防災アプリ」をはじめとする区の防災への取組に関する情報は、普段どのような場所で目にできると、より万が一の際の備えを進めたくなく感じますか。（複数選択可）

防災への取組情報を取得したい場所については、「公共交通機関（駅・車内での広告等）」が40.9%で最も高く、次いで「区報」が39.3%、「町会・自治会の掲示板・回覧板」が35.6%となっている。

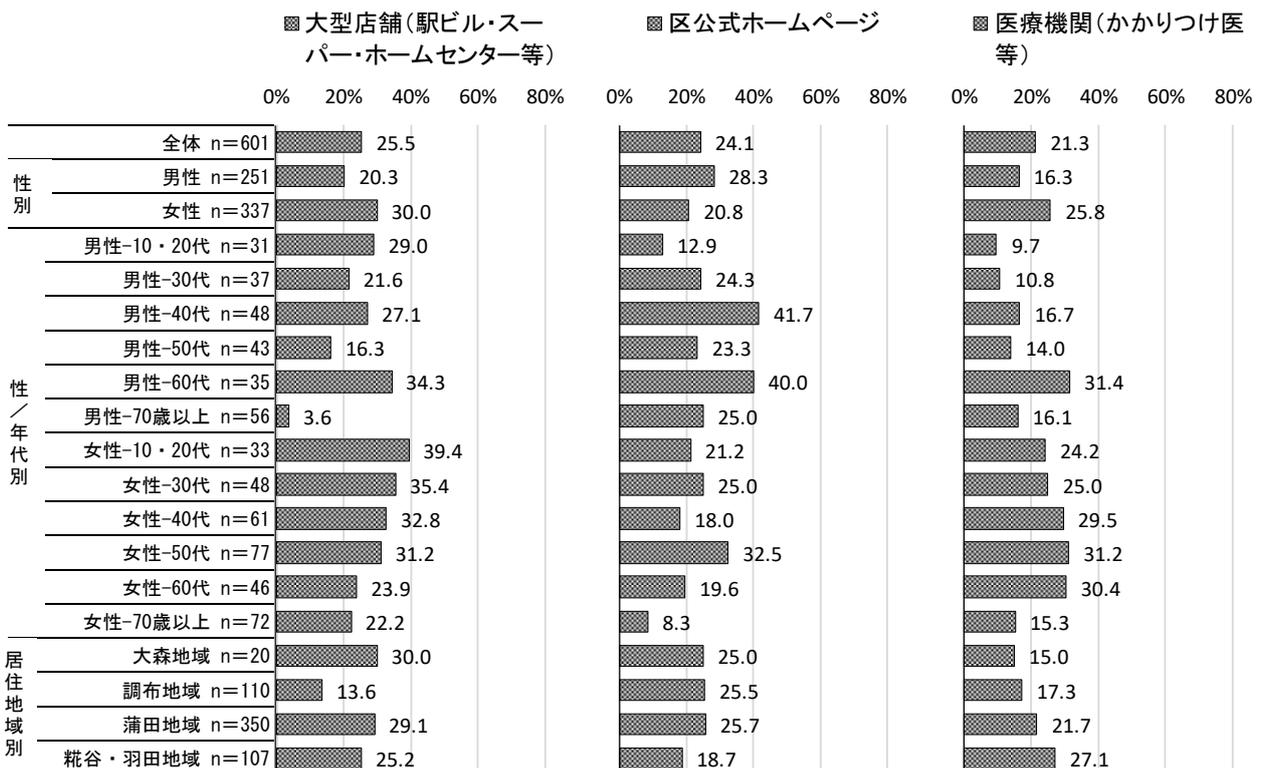
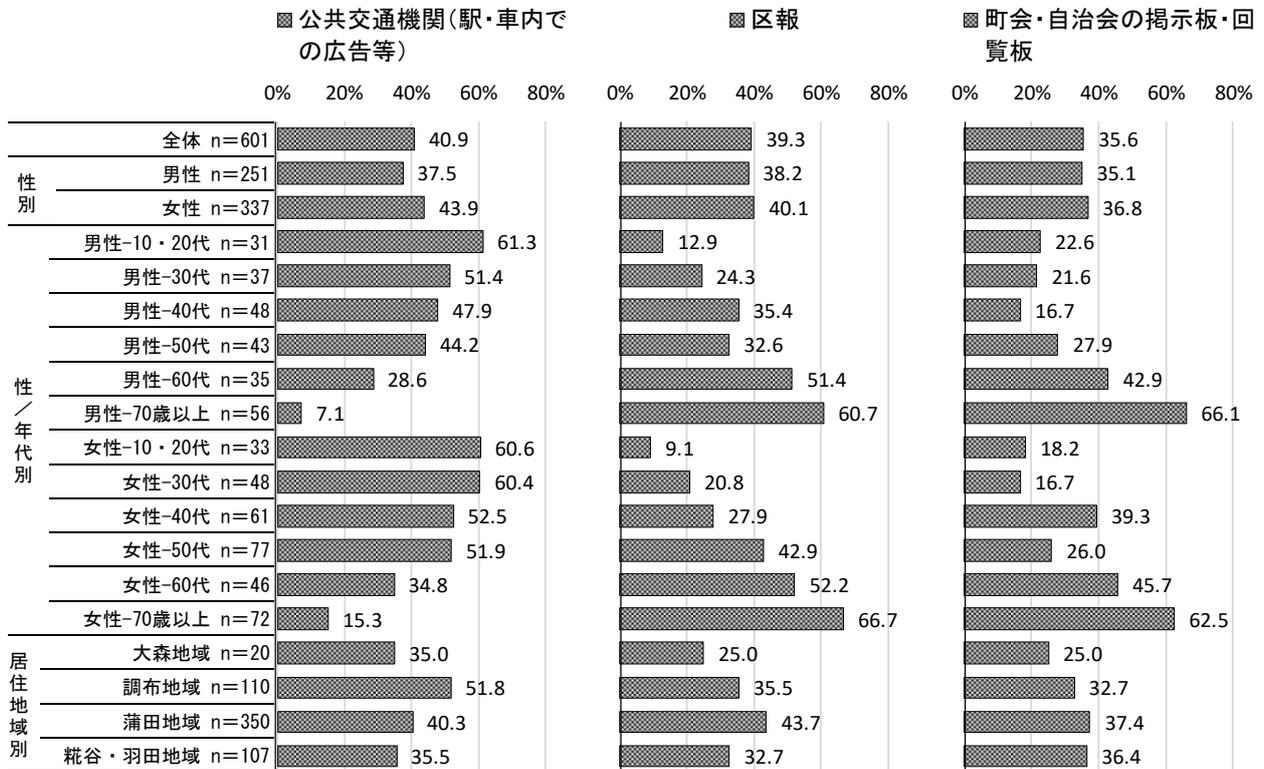


■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性では「区報」が、女性では「公共交通機関（駅・車内での広告等）」が最も高くなっている。

性/年代別で見ると、男性、女性ともに「区報」、「町会・自治会の掲示板・回覧板」が70歳以上で6割以上と高くなっている。

居住地域別で見ると、「公共交通機関（駅・車内での広告等）」は調布地域で5割前半と高くなっている。



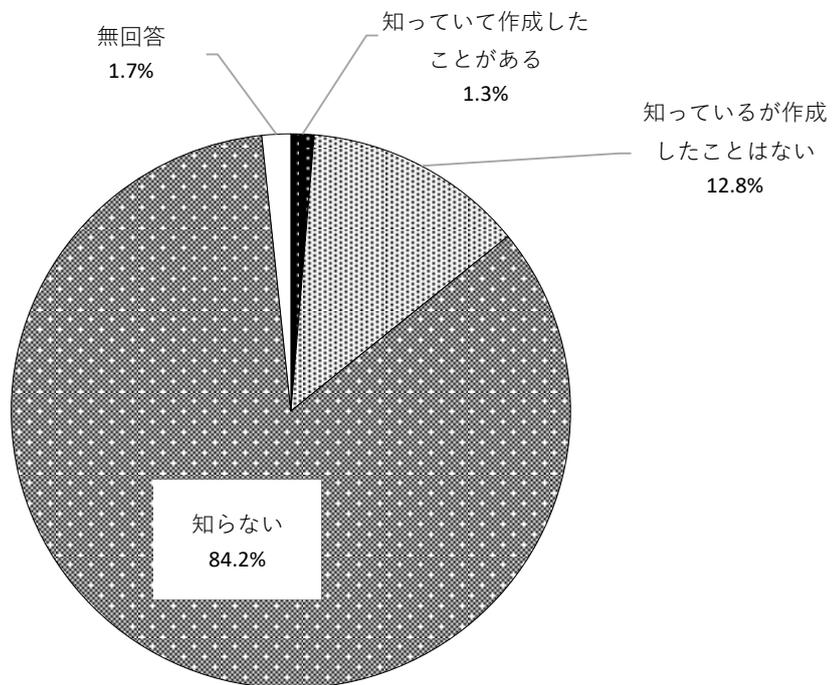
(2) 「マイ・タイムライン」の認知度

◇ 《知っている》（「知っていて作成したことがある」、「知っているが作成したことはない」の合計値）は1割前半となっている

問2 マイ・タイムラインを知っていますか。（1つのみ）

“マイ・タイムライン”の認知度については、「知っていて作成したことがある」、「知っているが作成したことはない」の合計値《知っている》が14.1%である一方で、「知らない」が84.2%と、「知らない」が70.1ポイント上回っている。

全体 n=601

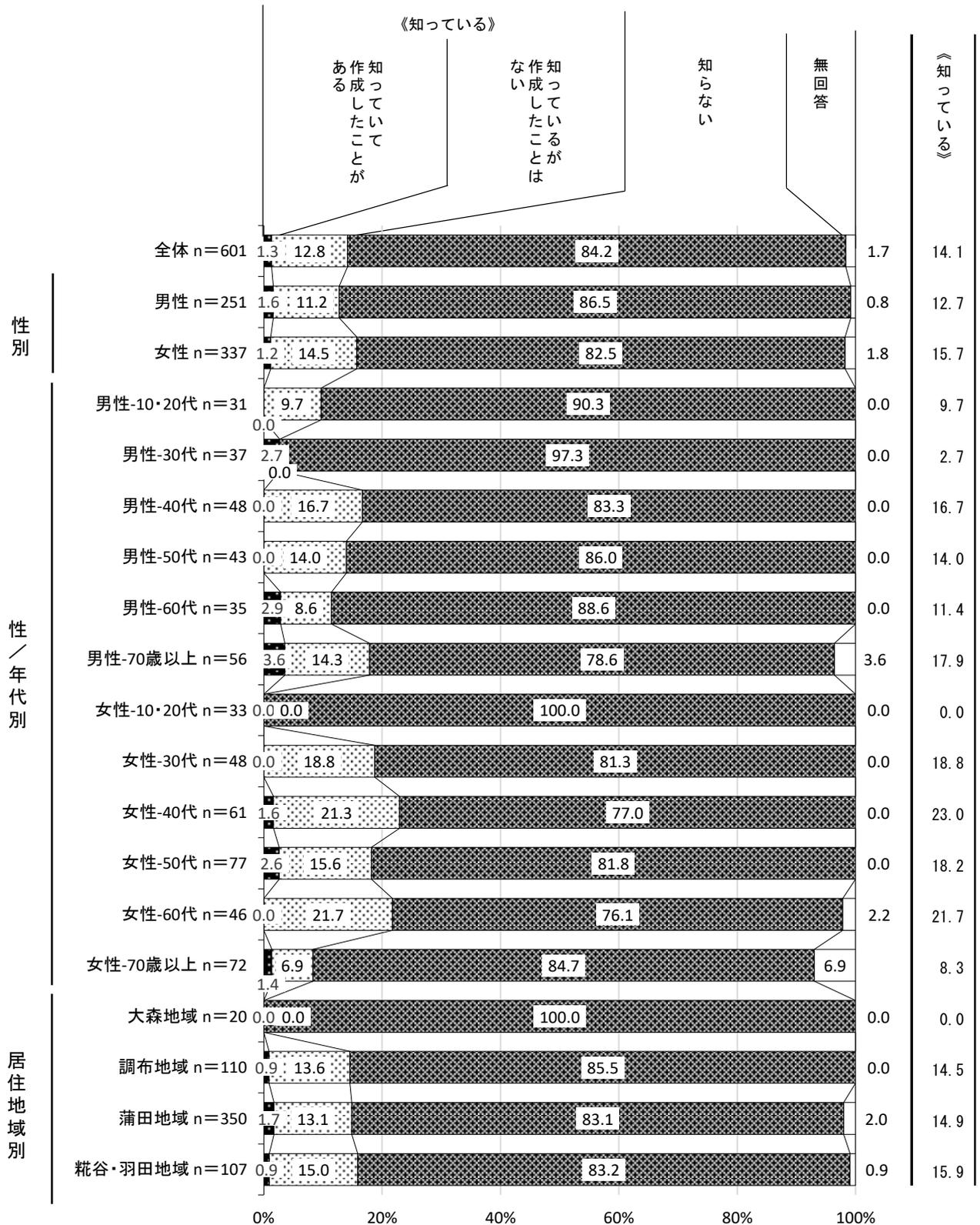


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《知っている》は男性 12.7%、女性 15.7%と女性が3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《知っている》は男性では40代、70歳以上で1割後半、女性では40代、60代で2割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、大きな差はみられない。



(3) 「マイ・タイムライン」の作成方法

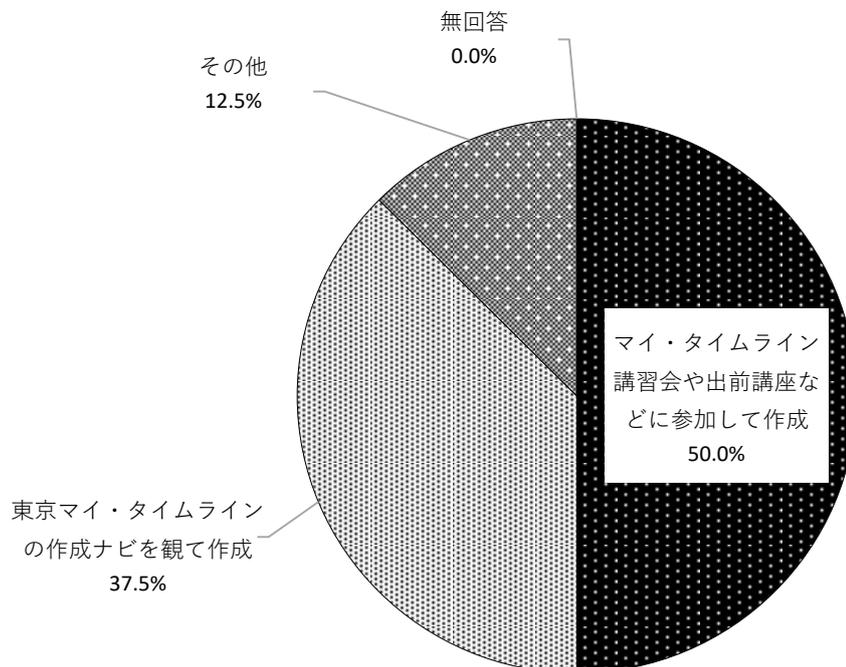
◇「マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成」が5割となっている

【問2で「1 知っていて作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問2-1 どのように作成しましたか。(複数選択可)

“マイ・タイムライン”の作成方法については、「マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成」が50.0%で最も高く、次いで「東京マイ・タイムラインの作成ナビを観て作成」が37.5%、「その他」が12.5%となっている。

全体 n=8



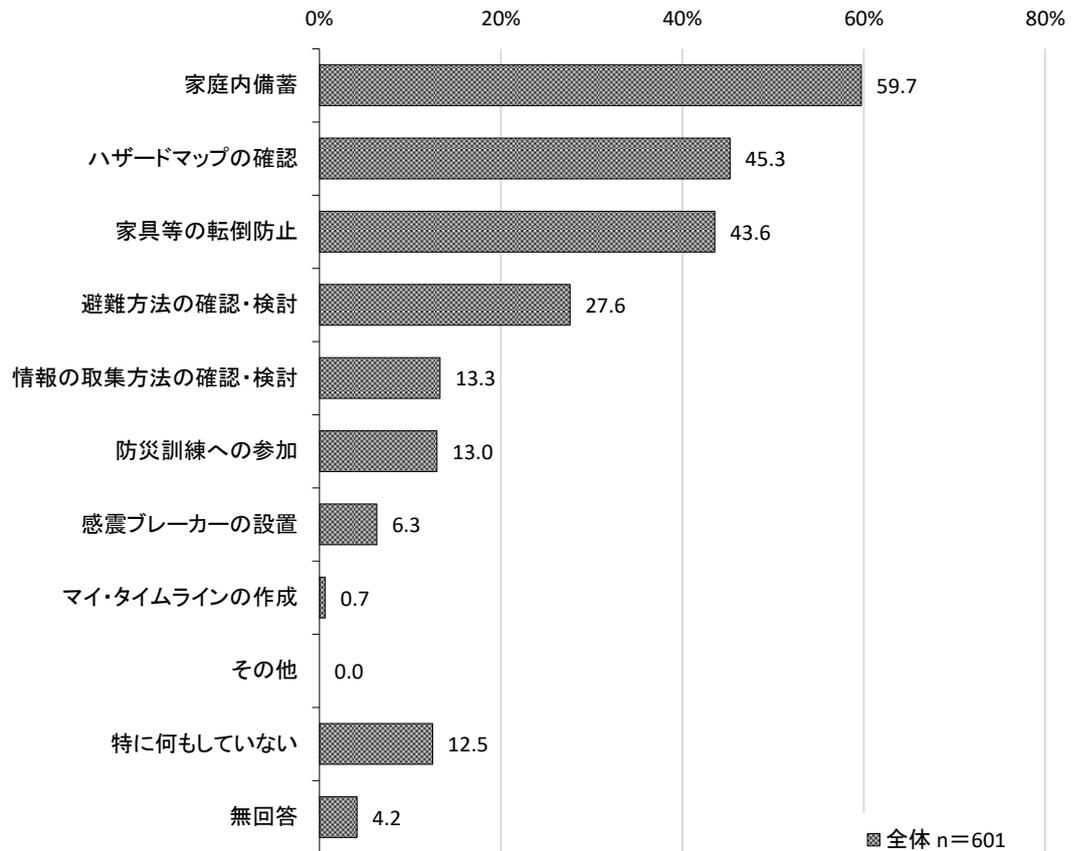
(4) 災害から身を守るための取り組み

◇「家庭内備蓄」が約6割で最も高くなっている

問3 災害から身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(複数選択可)

災害から身を守るための取り組みについては、「家庭内備蓄」が59.7%で最も高く、次いで「ハザードマップの確認」が45.3%、「家具等の転倒防止」が43.6%となっている。

なお、「特に何もしていない」は12.5%となっている。

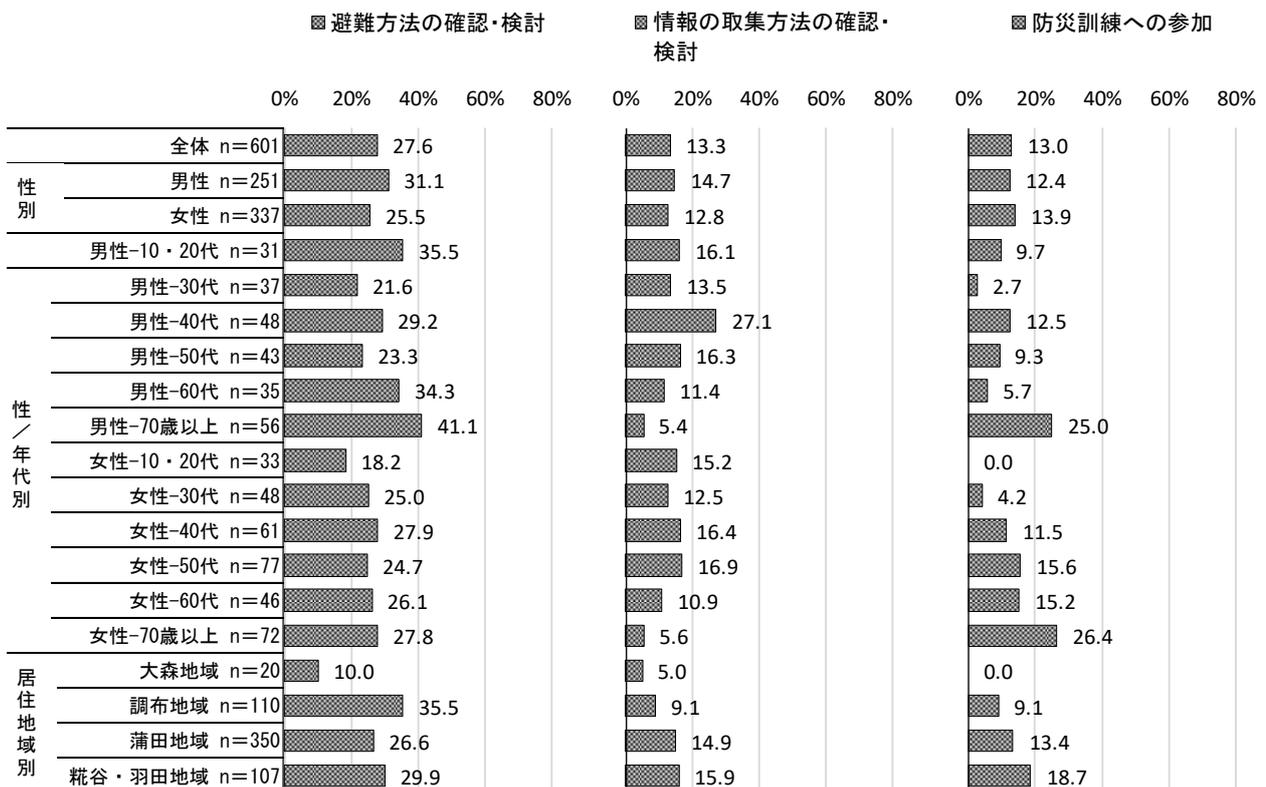
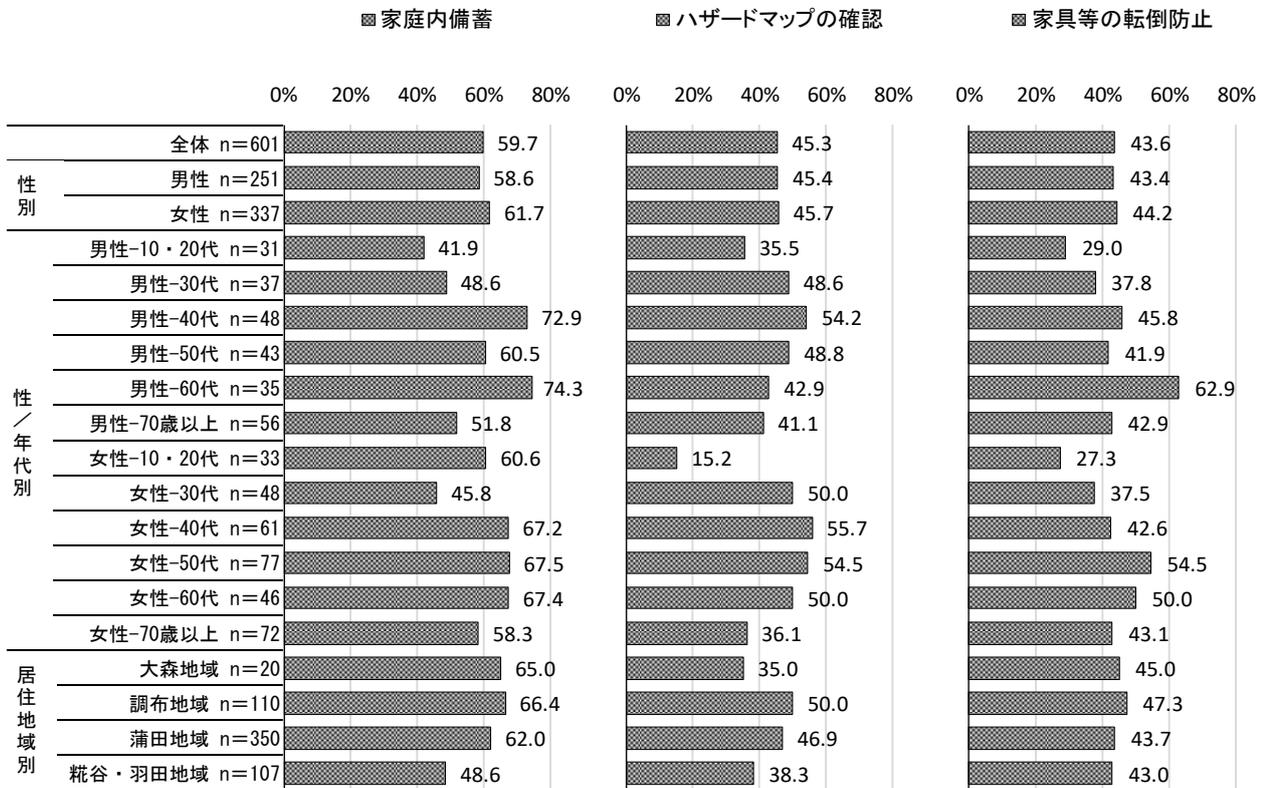


■性別・性/年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「家庭内備蓄」が最も高くなっている。

性/年代別で見ると、「家庭内備蓄」は男性では40代、60代で7割前半、女性では40代～60代で6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「家庭内備蓄」は調布地域で6割後半と高くなっている。



(5) 水害リスクの認知度

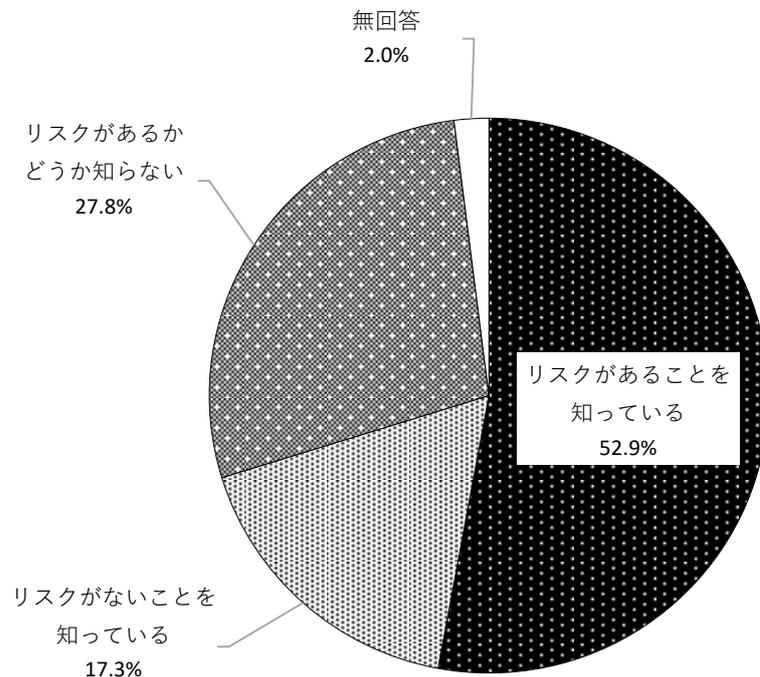
◇《知っている》(「リスクがあることを知っている」、「リスクがないことを知っている」)の合計値は約7割となっている

問4 ご自宅の水害リスクを知っていますか。(1つのみ)

水害リスクの認知度については、「リスクがあることを知っている」、「リスクがないことを知っている」の合計値《知っている》が70.2%となっている。

なお「リスクがあるかどうか知らない」が27.8%となっている。

全体 n=601

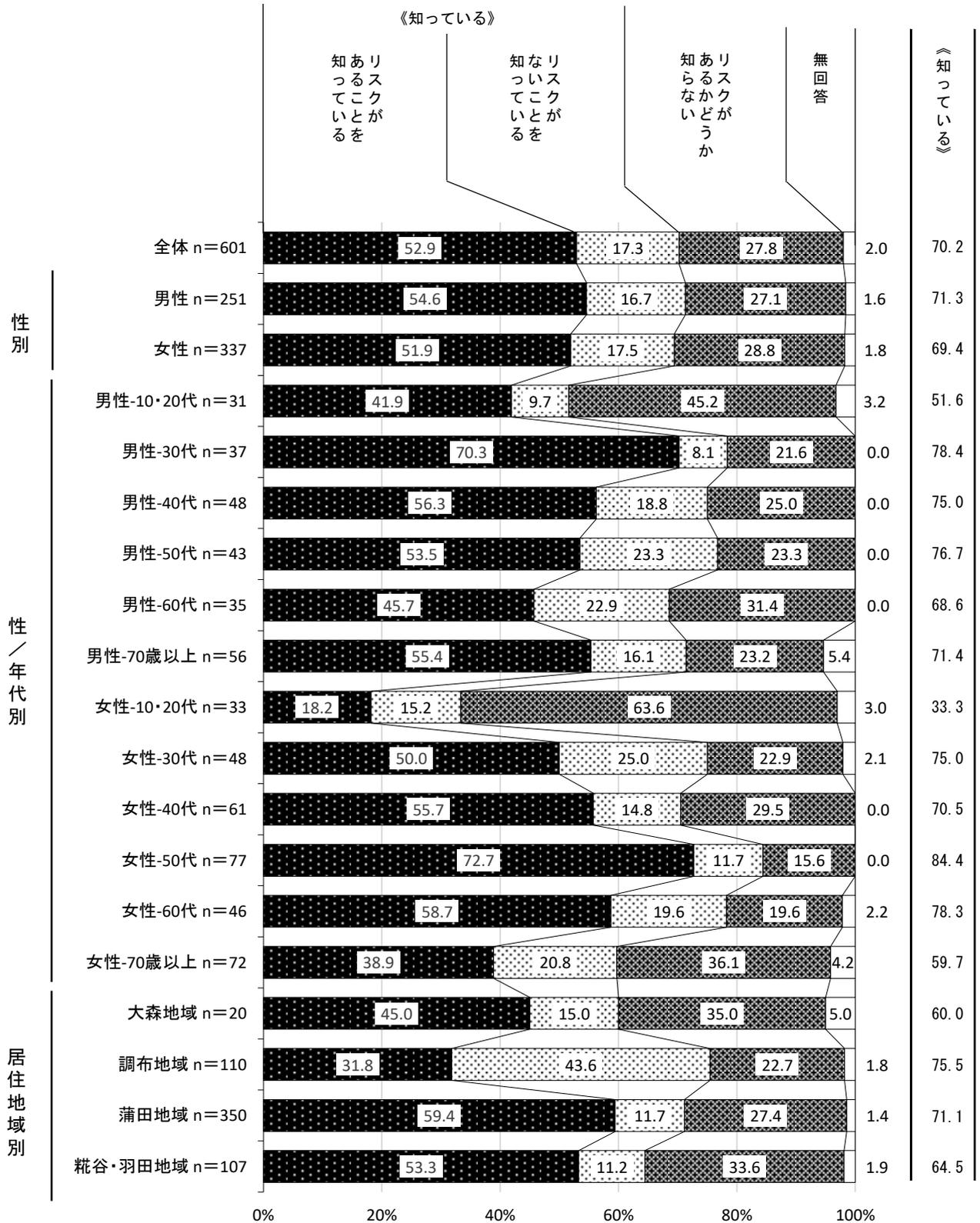


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《知っている》は男性では30代、50代で7割後半、女性では50代で8割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《知っている》は調布地域で7割半ばと高くなっている。

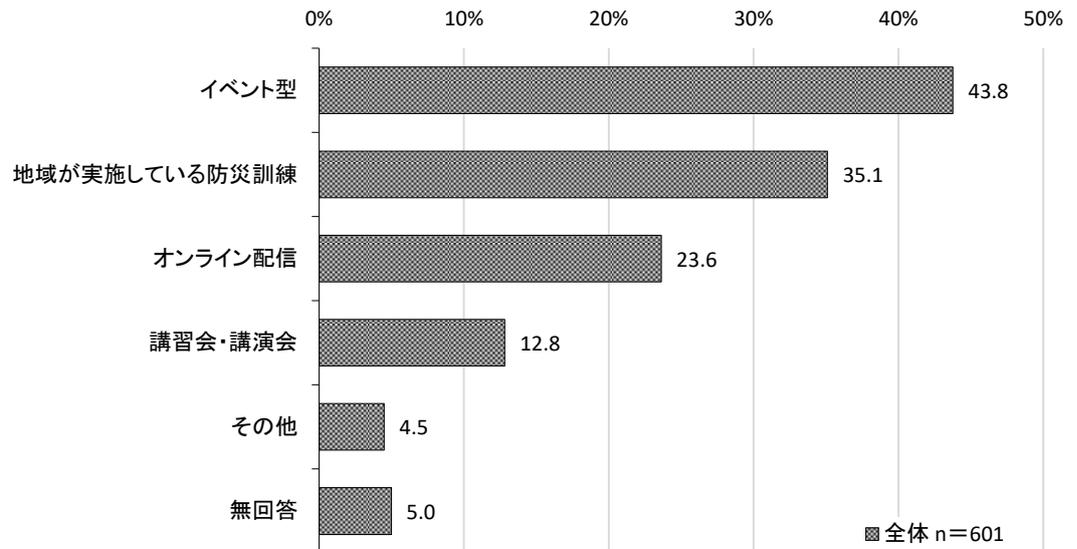


(6) 参加したいと思う防災訓練の形式

◇「イベント型」が4割前半で最も高くなっている

問5 どのような防災訓練等に参加したいですか。(複数選択可)

参加したいと思う防災訓練の形式については、「イベント型」が43.8%で最も高く、次いで「地域が実施している防災訓練」が35.1%、「オンライン配信」が23.6%となっている。

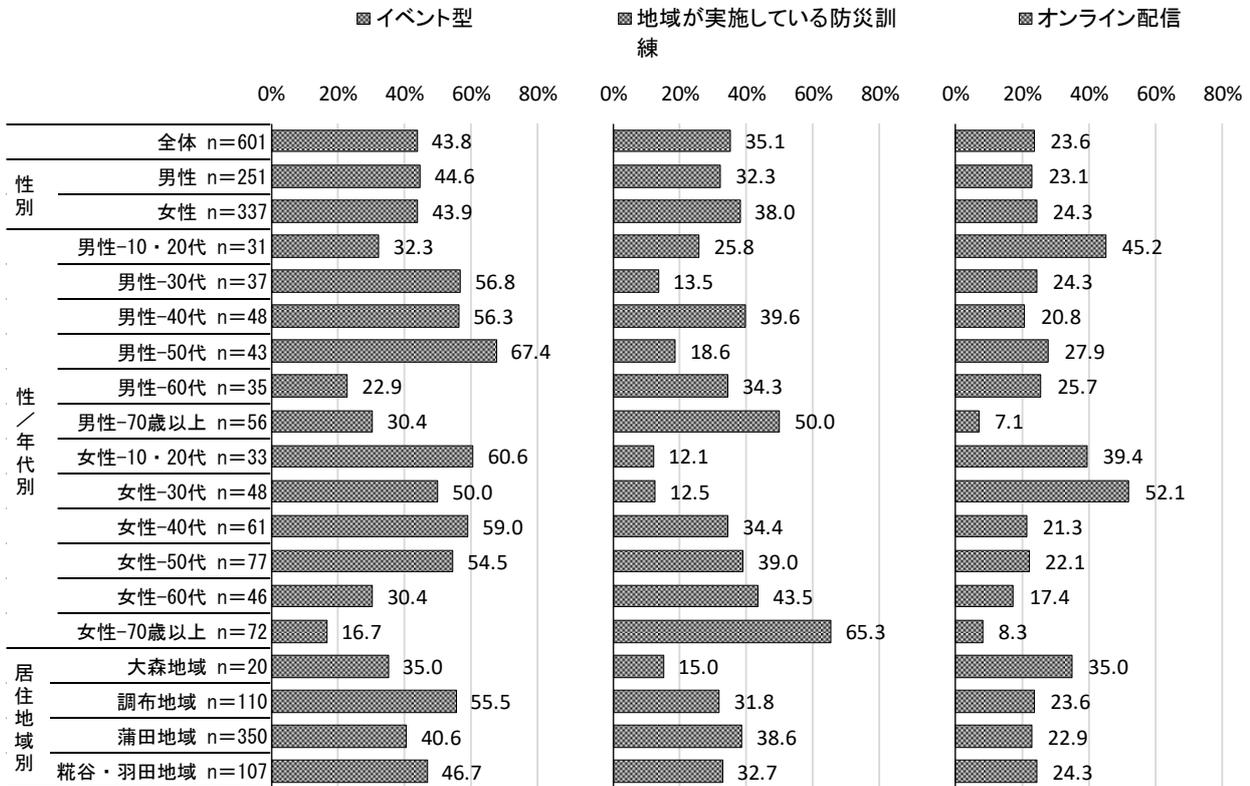


■性別・性／年代別・居住地域別

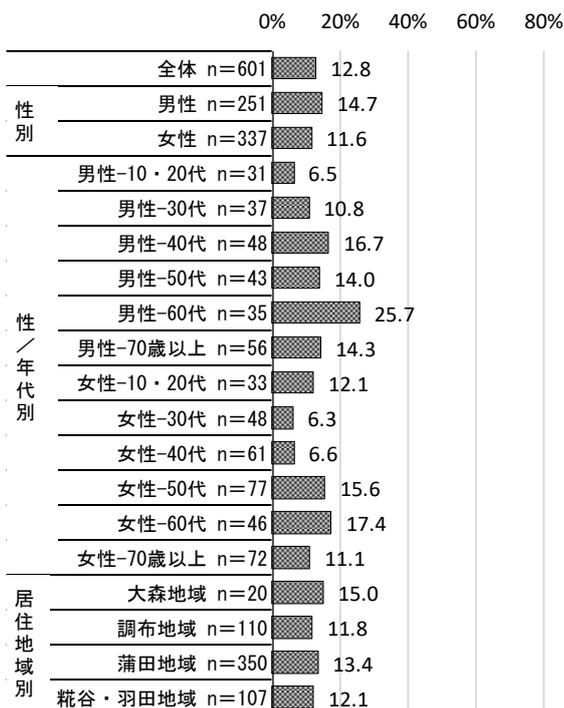
性別で見ると、男性、女性ともに「イベント型」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「イベント型」は男性では50代で6割後半、女性では10・20代で6割前半と高くなっている。「地域が実施している防災訓練」は男性70歳以上で5割、女性70歳以上で6割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「イベント型」は調布地域で5割半ばと高くなっている。



■講習会・講演会



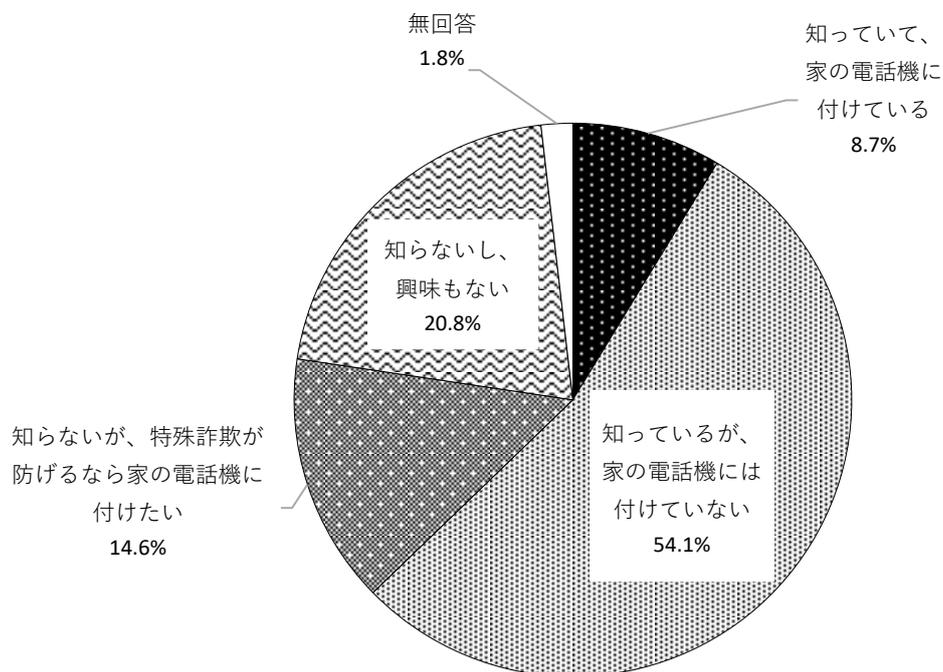
(7) 「自動通話録音機」の認知度

◇《知っている》(「知っている、家の電話機に付けている」、「知っているが、家の電話機には付けていない」の合計値)は6割前半となっている

問6 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」を知っていますか。(1つのみ)

“自動通話録音機”の認知度については、「知っている、家の電話機に付けている」、「知っているが、家の電話機には付けていない」の合計値《知っている》は62.7%で、「知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に付けたい」、「知らないし、興味もない」の合計値《知らない》は35.4%となっている。

全体 n=601

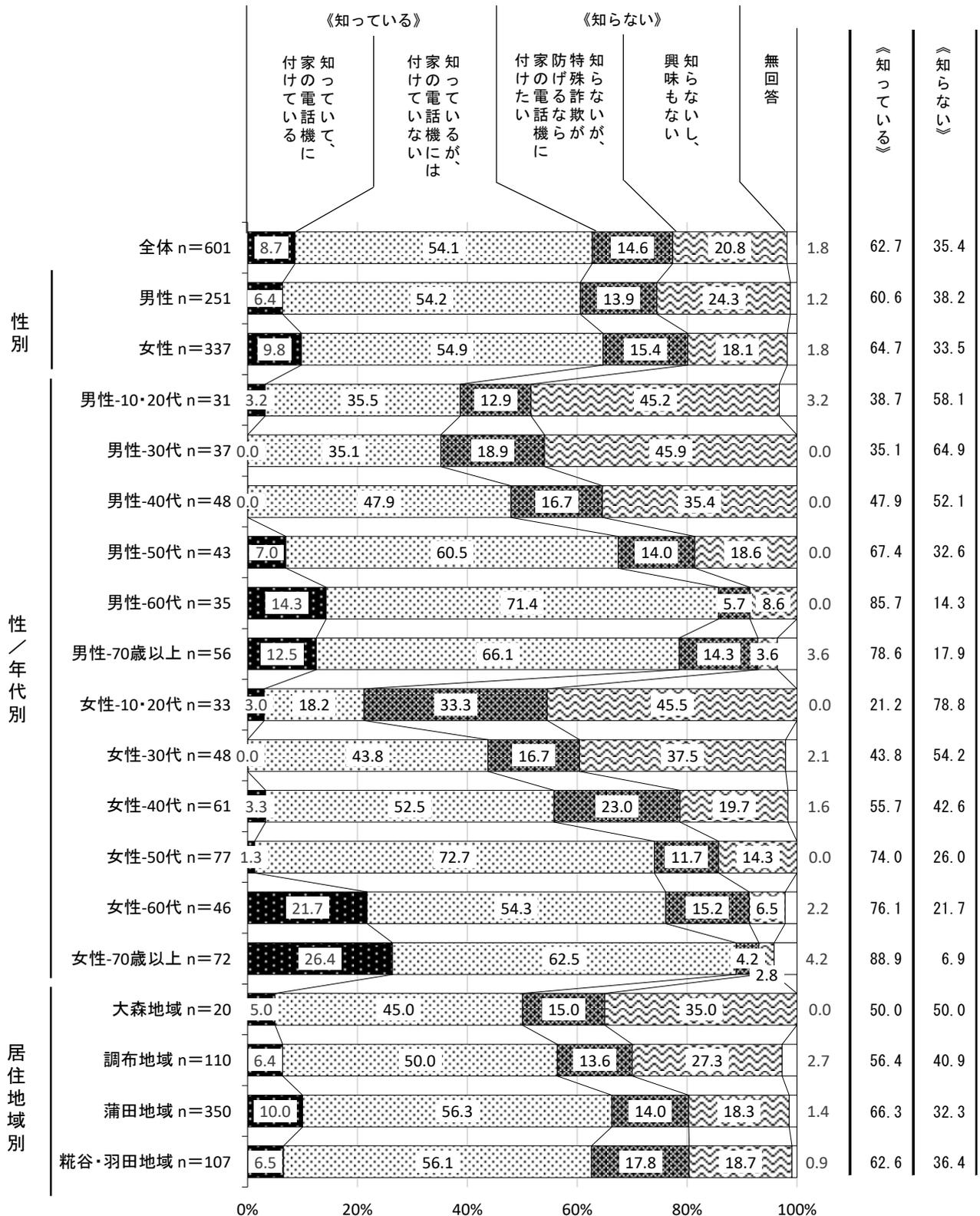


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性 60.6%、女性 64.7%と女性が 4.1 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性 60代で 8割半ば、女性 70歳以上で 8割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は蒲田地域で 6割後半と高くなっている。



3 商店街について

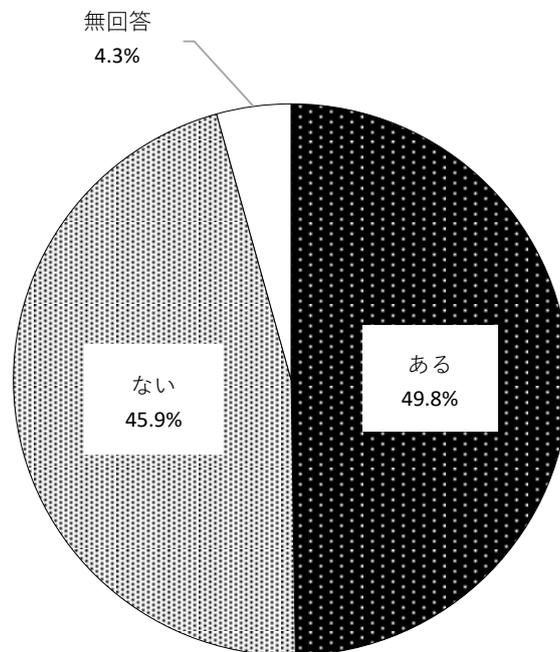
(1) 今後も残ってほしい商店

◇「ある」は約5割となっている

**問7 お住まいの近くにある個店で、「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。
(1つのみ)**

今後もずっと残ってほしいと思う個人商店の有無については、「ある」が49.8%、「ない」が45.9%と、「ある」が3.9ポイント上回っている。

全体 n=601

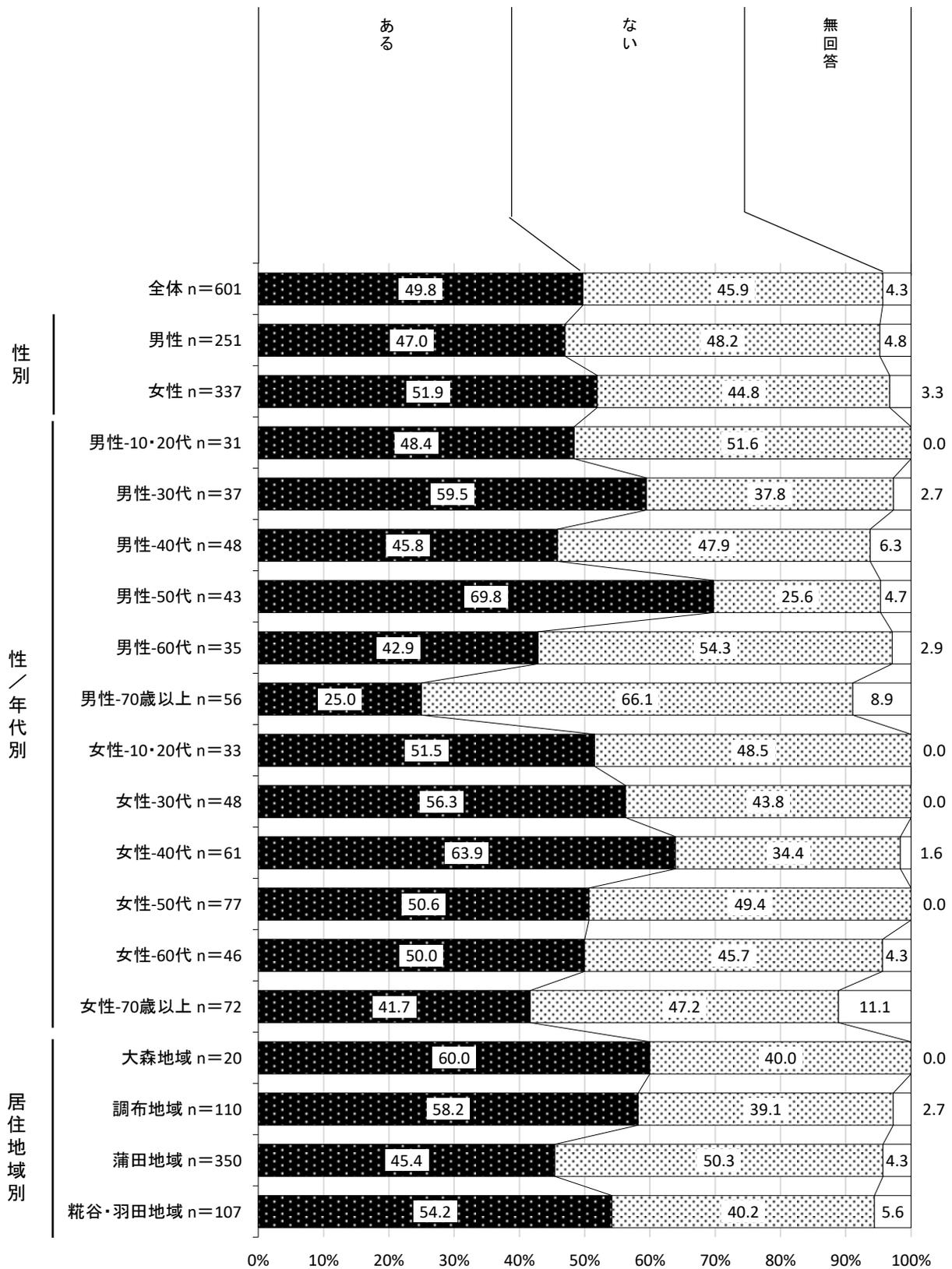


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「ある」は男性が47.0%、女性が51.9%と、女性が4.9ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「ある」は男性では50代で約7割、女性では40代で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「ある」は調布地域で5割後半と高くなっている。



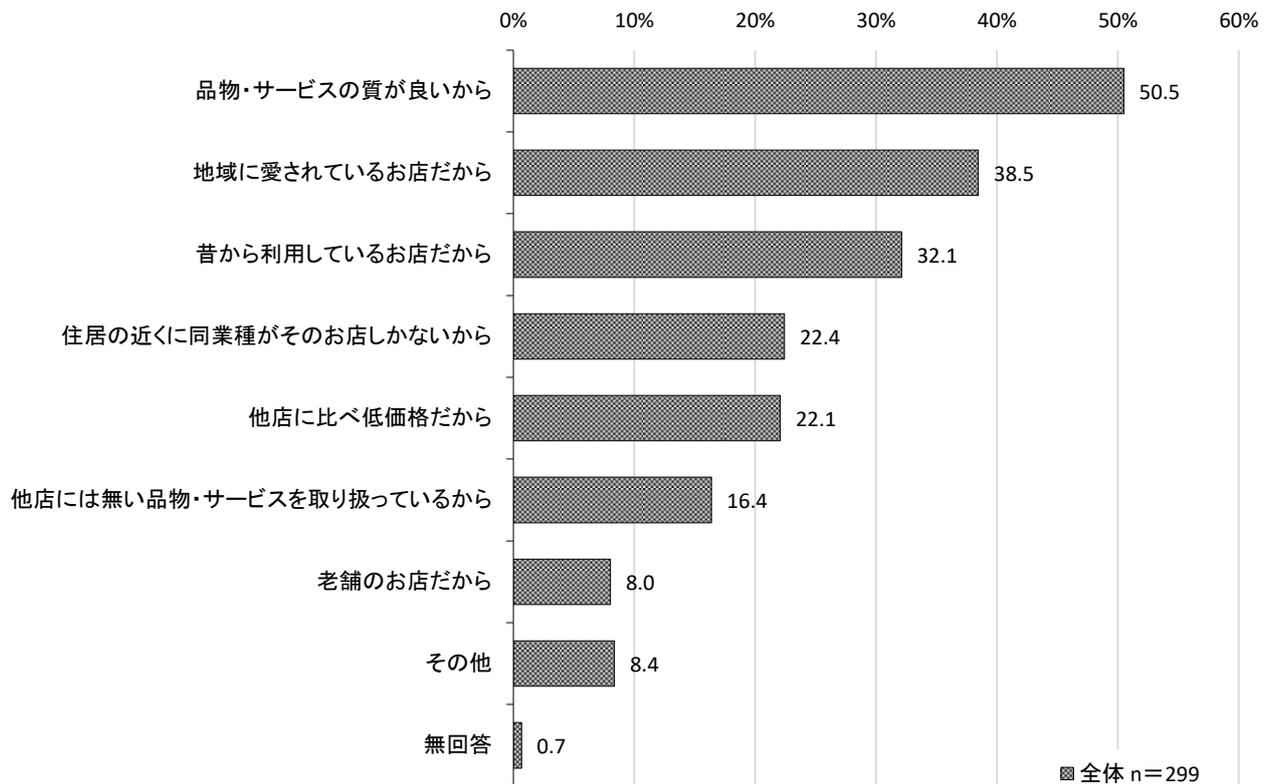
2) 今後も残ってほしい理由

◇「品物・サービスの質が良いから」が約5割で最も高くなっている

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-1 「今後もずっと残ってほしい」と思う理由を選んでください。(複数選択可)

今後もずっと残ってほしいと思う理由については、「品物・サービスの質が良いから」が50.5%で最も高く、次いで「地域に愛されているお店だから」が38.5%、「昔から利用しているお店だから」が32.1%となっている。

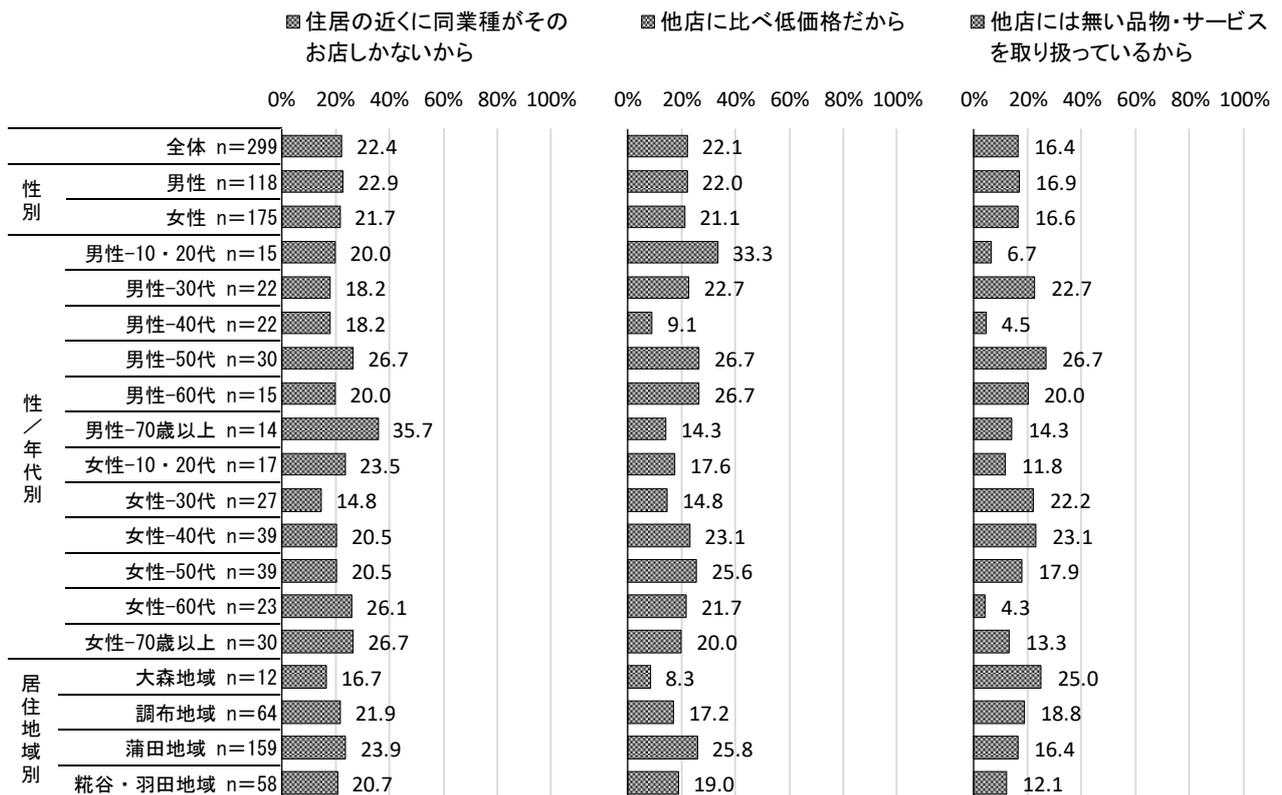
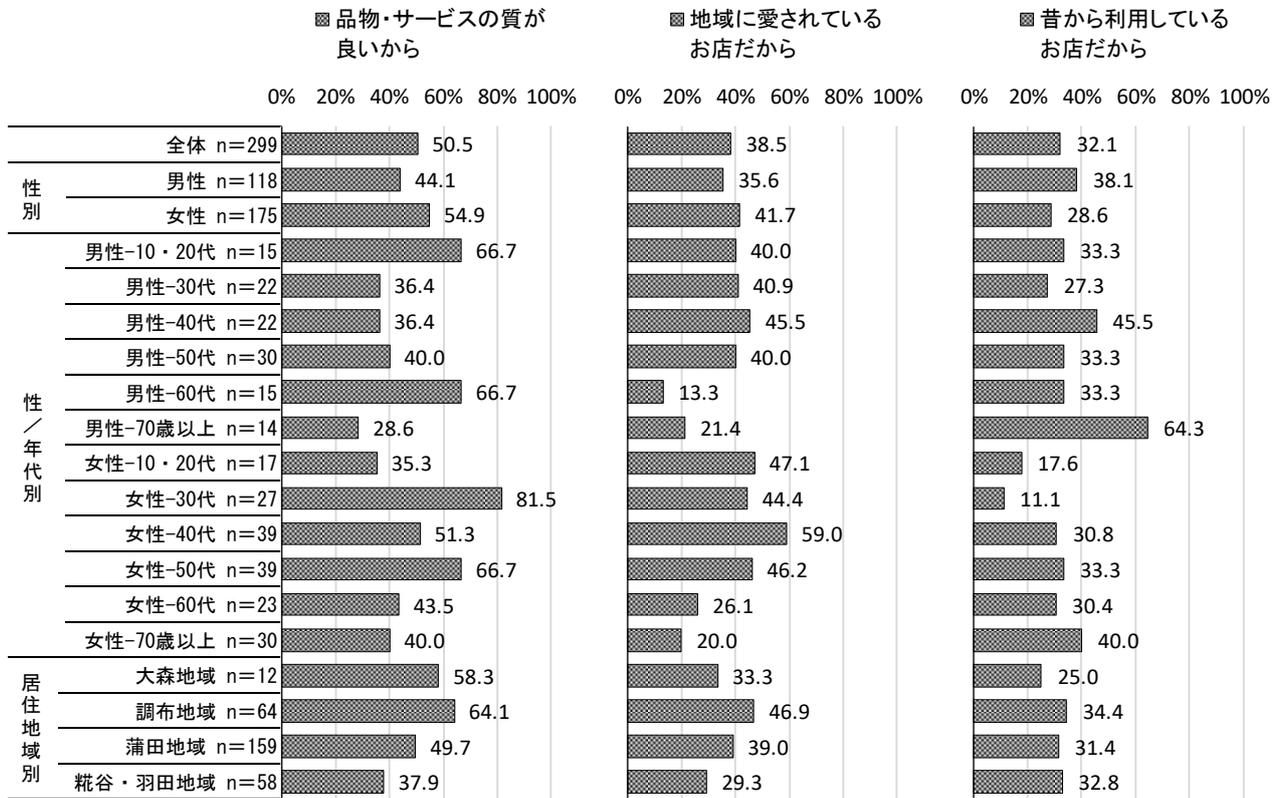


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「品物・サービスの質が良いから」が最も高く、男性は44.1%、女性は54.9%と、女性が10.8ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「品物・サービスの質が良いから」は女性50代、「地域に愛されているお店だから」は女性40代で高くなっている。

居住地域別でみると、「品物・サービスの質が良いから」は調布地域で6割前半と高くなっている。



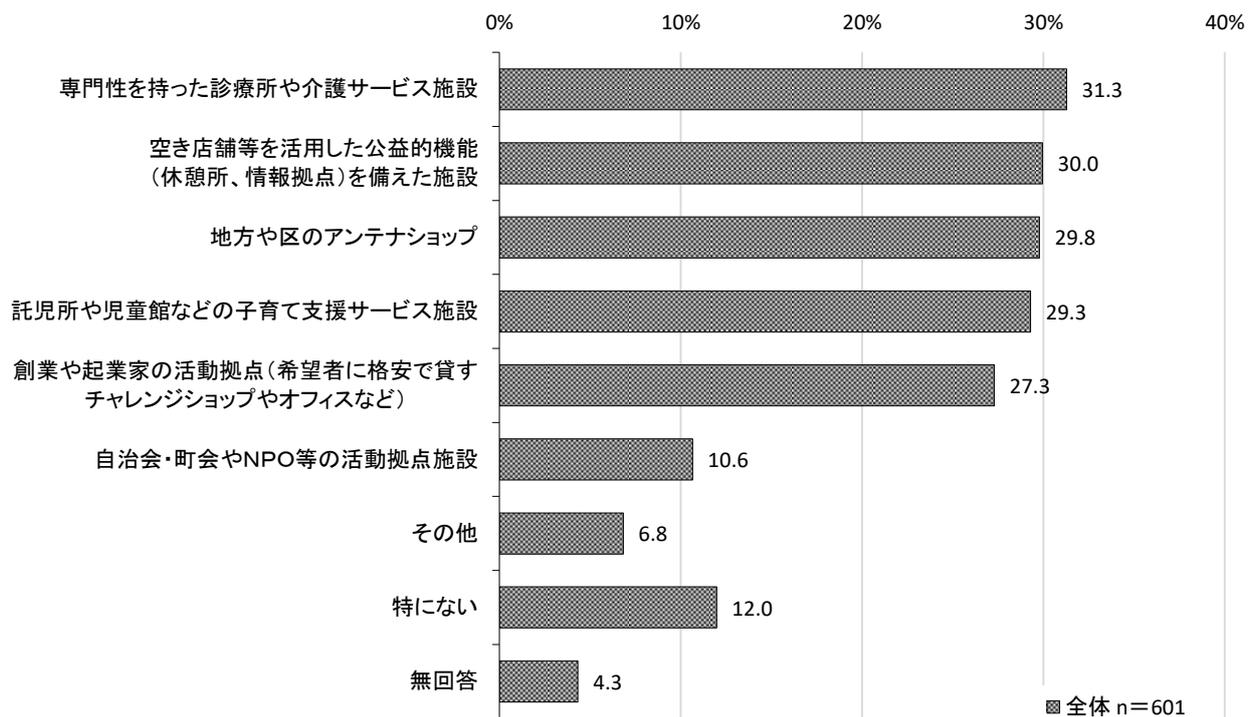
(3) 商店街に必要な施設

◇「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が3割前半で最も高くなっている

問8 商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(複数選択可)

商店街に必要なと思う施設等については、「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が31.3%で最も高く、次いで「空き店舗等を活用した公益的機能（休憩所、情報拠点）を備えた施設」が30.0%、「地方や区のアンテナショップ」が29.8%となっている。

なお、「特にない」は12.0%となっている。

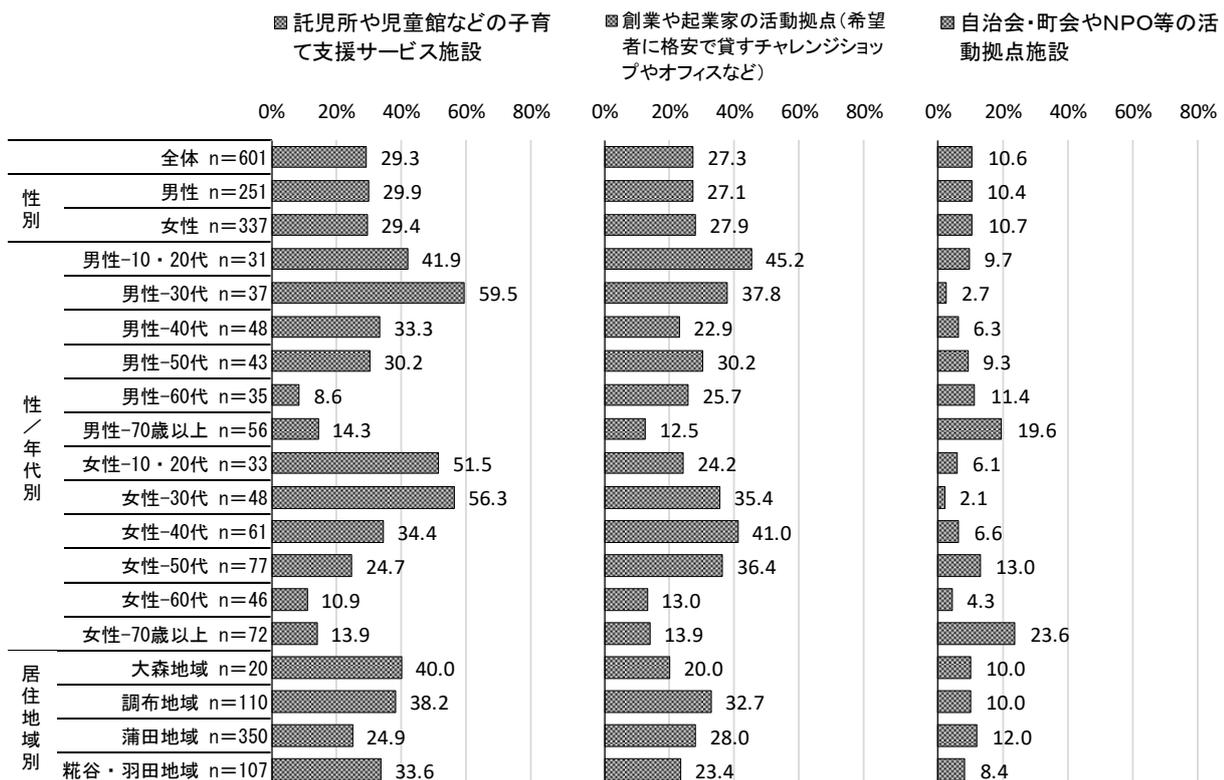
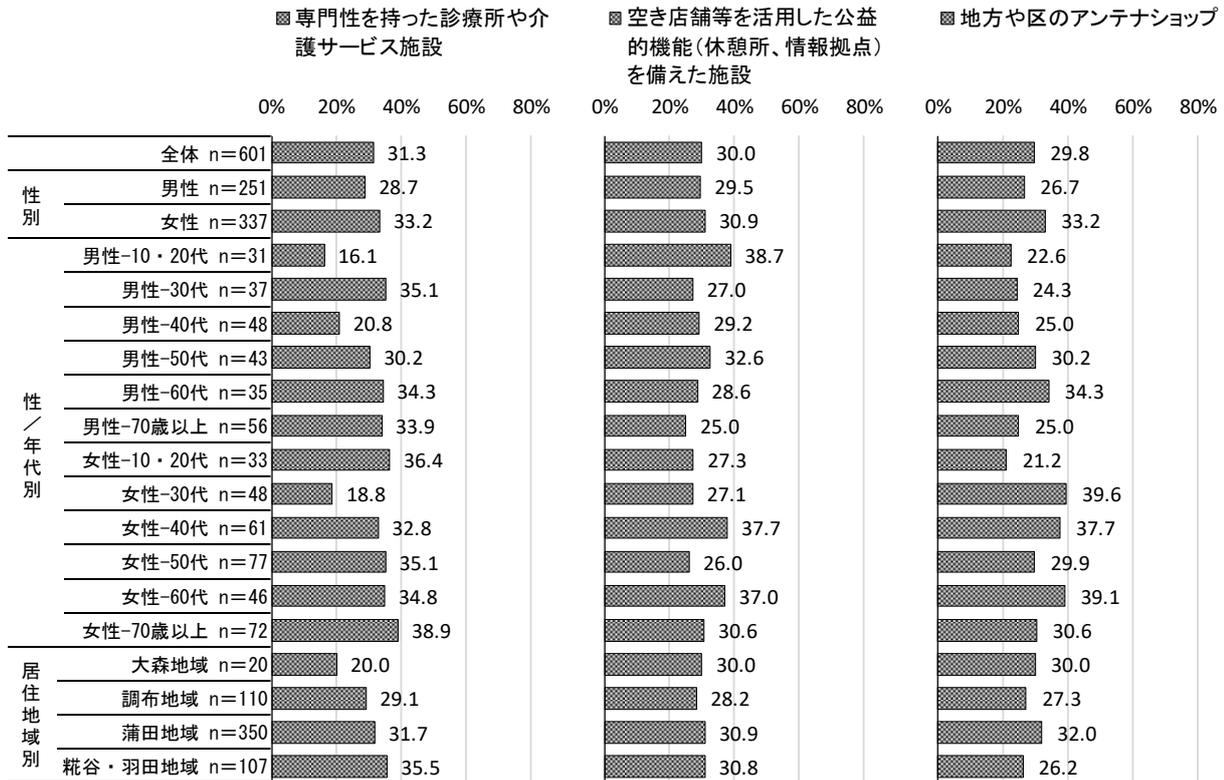


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性では「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」が、女性では「専門性を持った診療所や介護サービス施設」、「地方や区のアンテナショップ」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」は男性では30代で約6割、女性では30代で5割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、調布地域では「託児所や児童館などの子育て支援サービス施設」、蒲田地域では「地方や区のアンテナショップ」、糞谷・羽田地域では「専門性を持った診療所や介護サービス施設」が最も高くなっている。



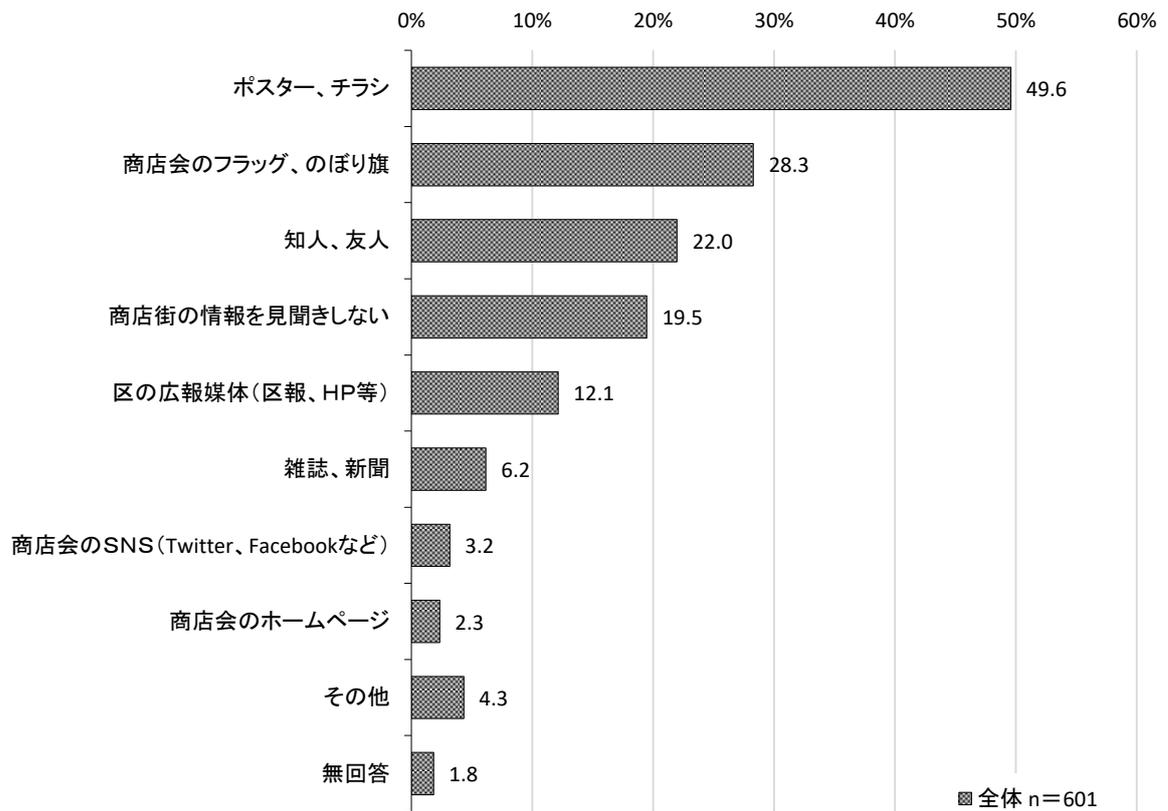
(4) 商店街の情報を見聞きする場所

◇「ポスター、チラシ」が約5割で最も高くなっている

問9 商店街の情報をどこで見聞きしますか。(複数選択可)

商店街の情報を見聞きする場所については、「ポスター、チラシ」が49.6%で最も高く、次いで「商店会のフラッグ、のぼり旗」が28.3%、「知人、友人」が22.0%となっている。

なお、「商店街の情報を見聞きしない」は19.5%となっている。

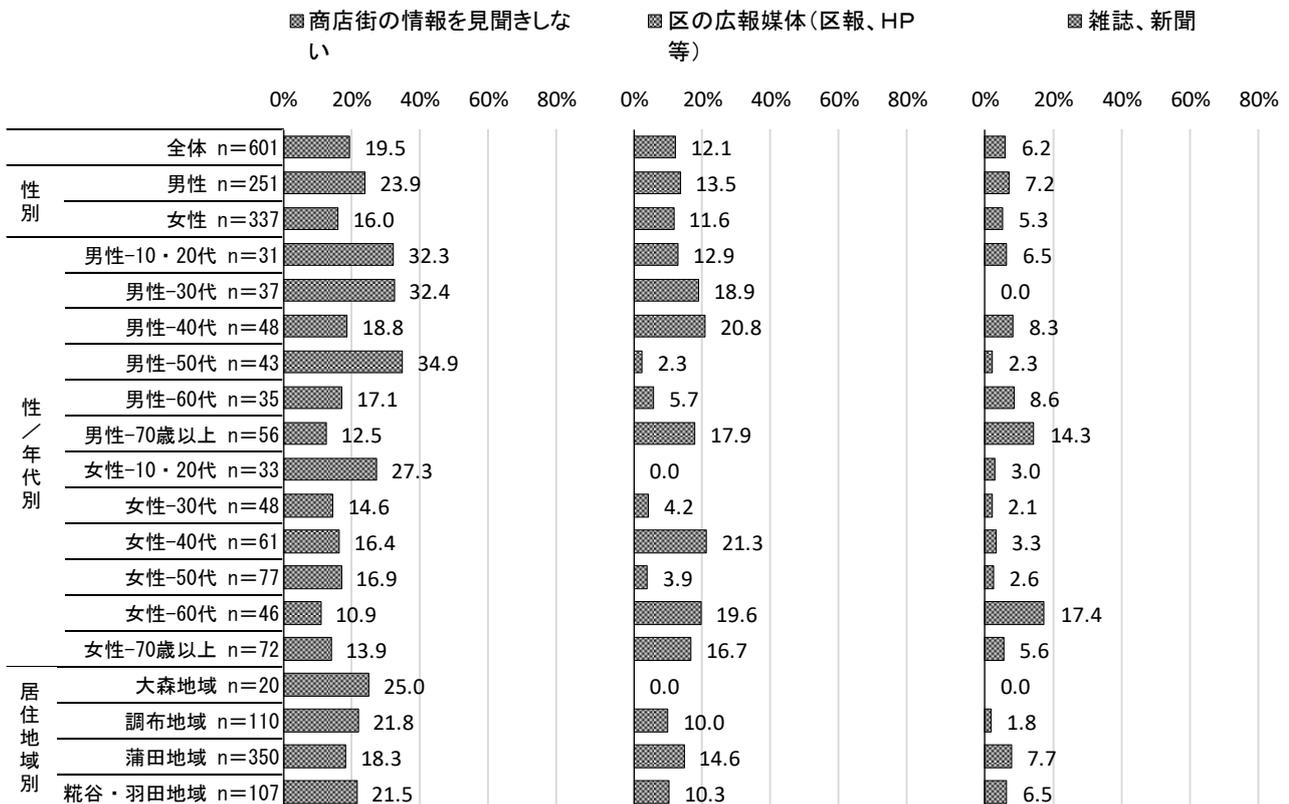
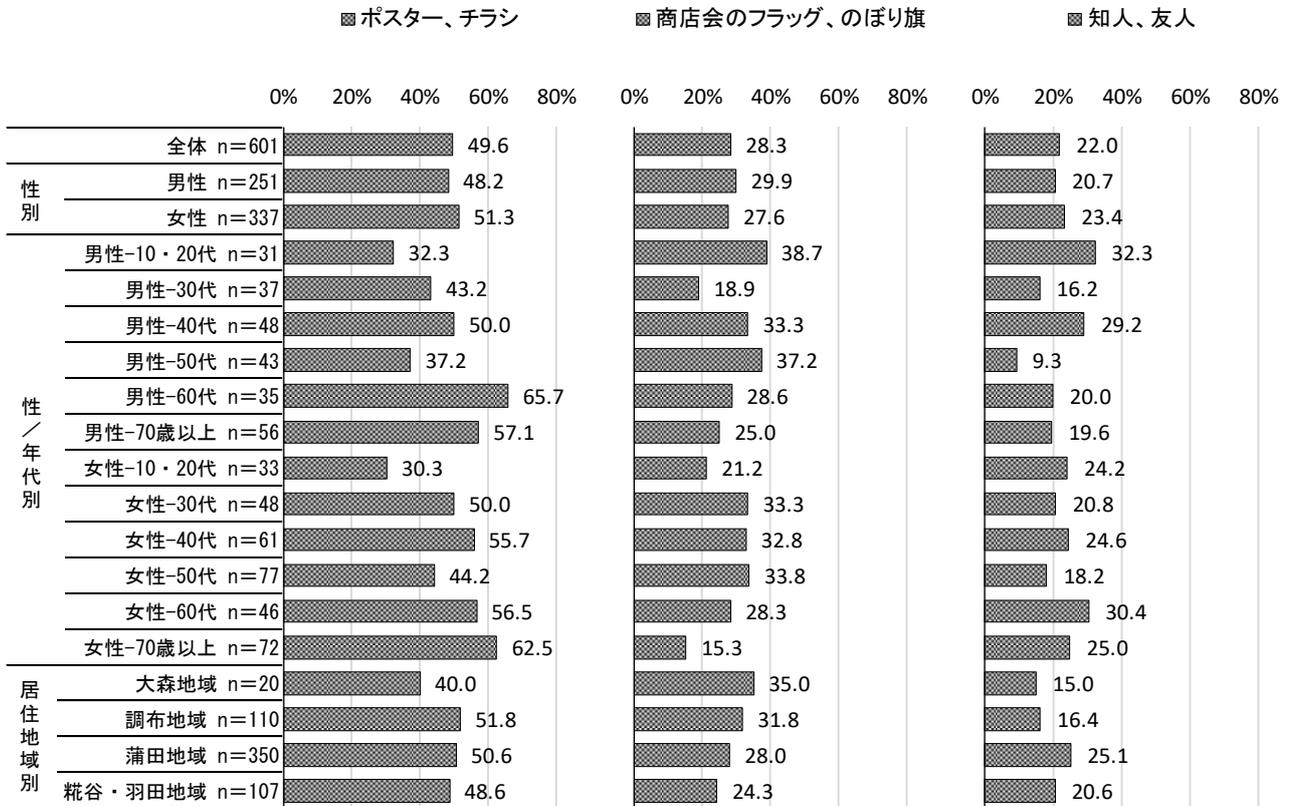


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「ポスター、チラシ」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「ポスター、チラシ」は男性では60代で6割半ば、女性では70歳以上で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「ポスター、チラシ」はすべての地域で最も高くなっている。



4 キャッシュレスについて

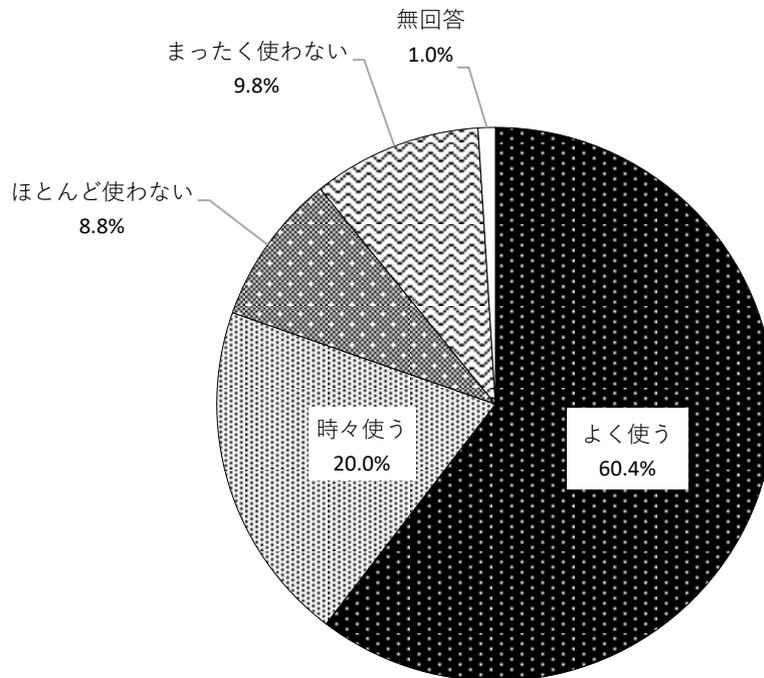
(1) キャッシュレスでの支払いの有無

◇ 《使う》（「よく使う」、「時々使う」の合計値）は約8割となっている

問 10 普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払い方法を使っていますか。（1つのみ）

キャッシュレスでの支払いについては、「よく使う」、「時々使う」の合計値《使う》が80.4%、「ほとんど使わない」、「まったく使わない」の合計値《使わない》が18.6%と、《使う》が61.8ポイント高くなっている。

全体 n=601

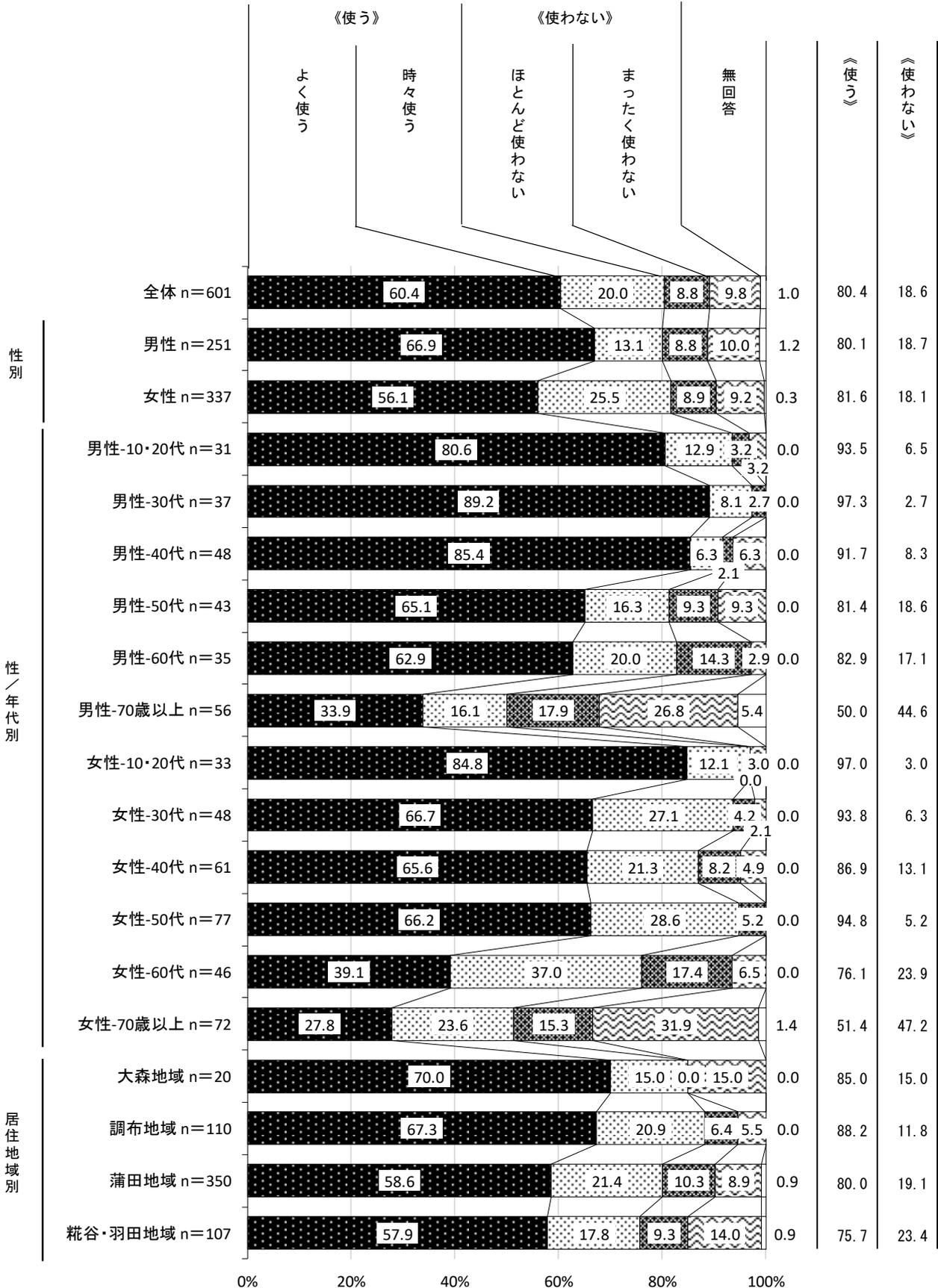


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《使う》は男性が80.1%、女性が81.6%と、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《使う》は男性、女性ともに70歳以上を除く全ての年代で7割以上となっている。

居住地域別で見ると、《使う》は調布地域で8割後半と高くなっている。



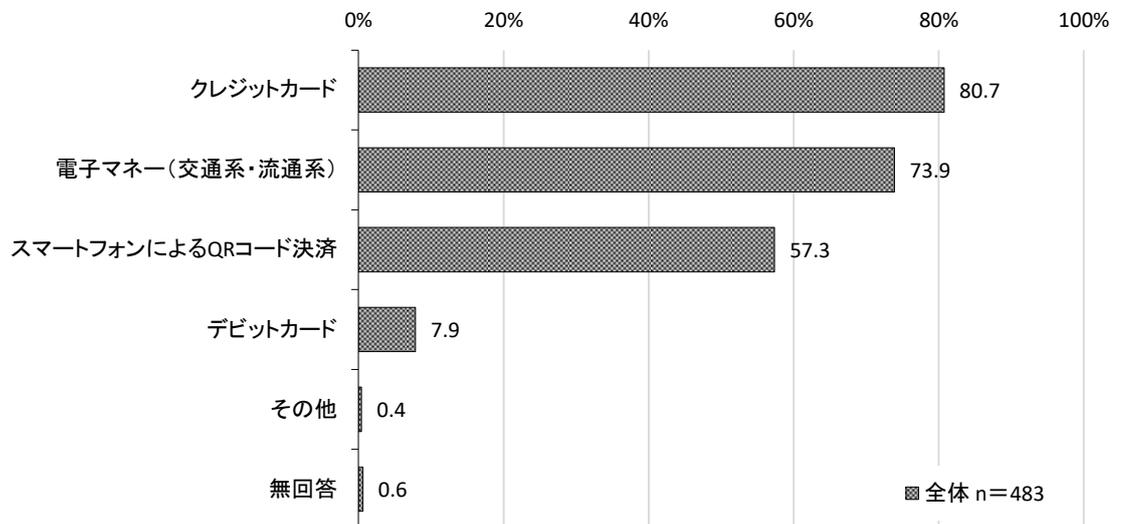
(2) キャッシュレスの支払いで利用している手段

◇「クレジットカード」が8割前半で最も高くなっている

【問 10で「1 よく使う」「2 時々使う」と回答された方】

問 10-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

キャッシュレスの支払いで利用している手段については、「クレジットカード」が80.7%で最も高く、次いで「電子マネー（交通系・流通系）」が73.9%、「スマートフォンによるQRコード決済」が57.3%となっている。

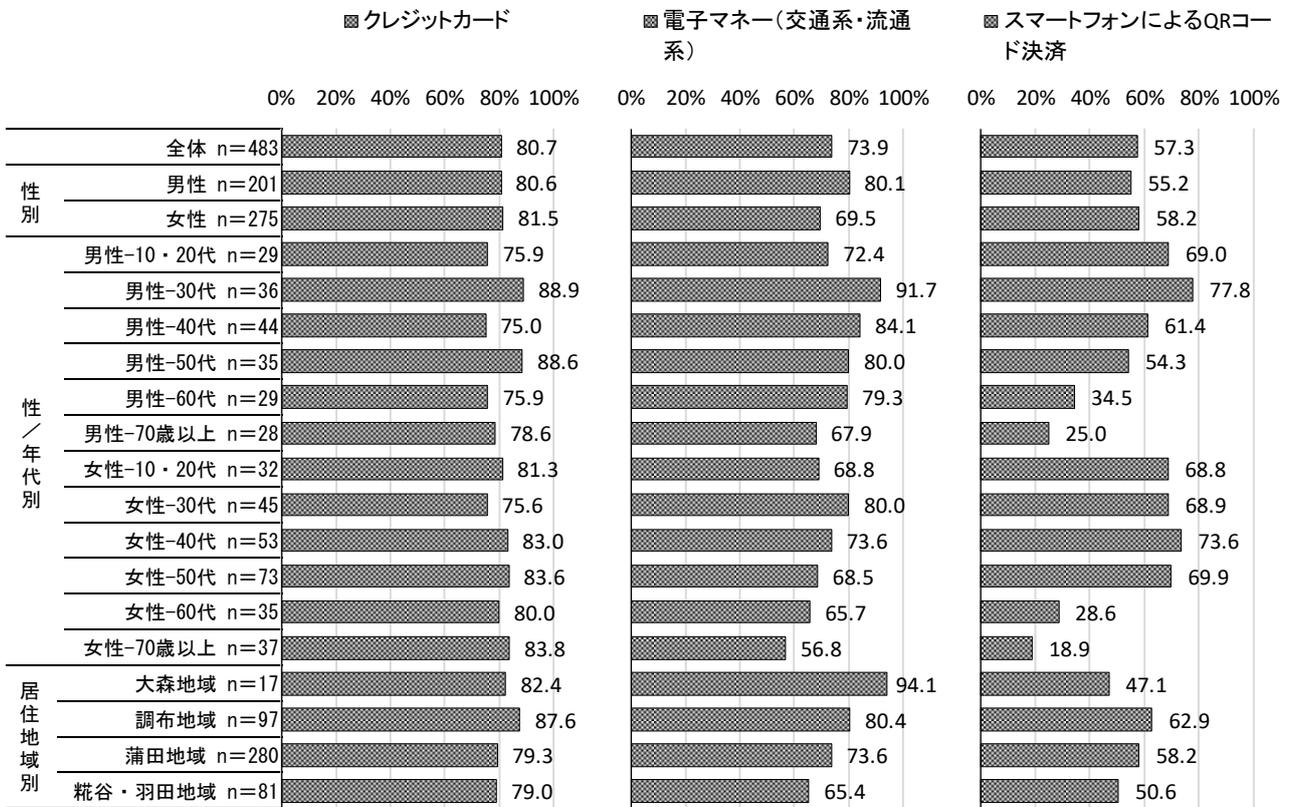


■性別・性／年代別・居住地域別

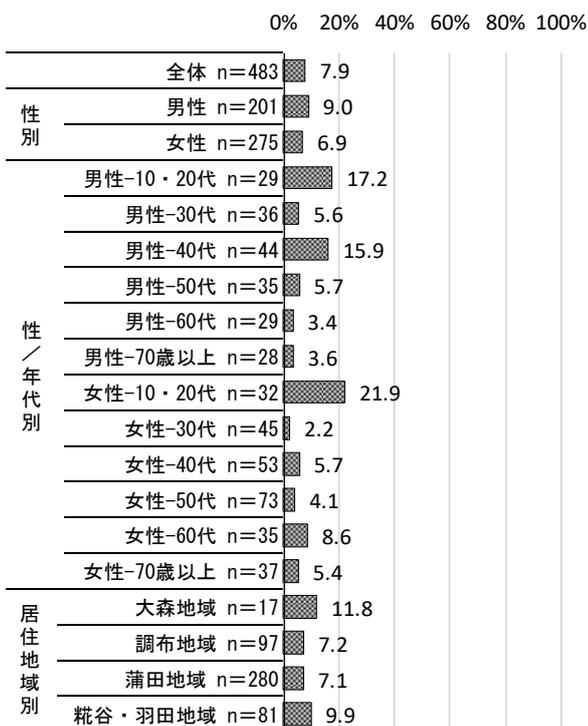
性別で見ると、男性、女性ともに「クレジットカード」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、男性30代では「電子マネー（交通系・流通系）」が9割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「クレジットカード」は調布地域で8割後半と高くなっている。



■デビットカード



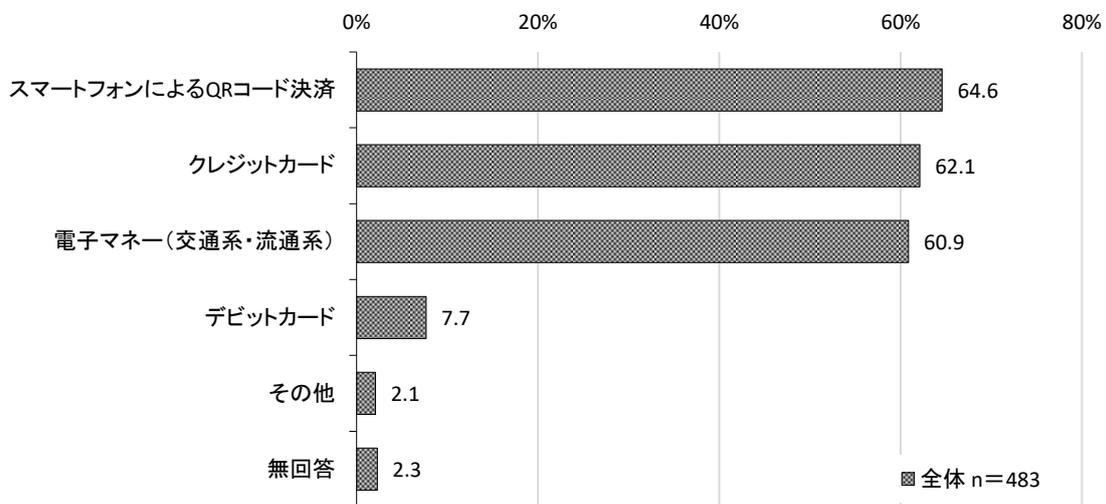
(3) 今後、活用したいキャッシュレスでの支払い手段

◇「スマートフォンによるQRコード決済」が6割前半で最も高くなっている

【問10で「1 よく使う」「2 時々使う」と回答された方】

問10-2 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

今後活用したいキャッシュレスでの支払い手段については、「スマートフォンによるQRコード決済」が64.6%で最も高く、次いで「クレジットカード」が62.1%、「電子マネー(交通系・流通系)」が60.9%となっている。

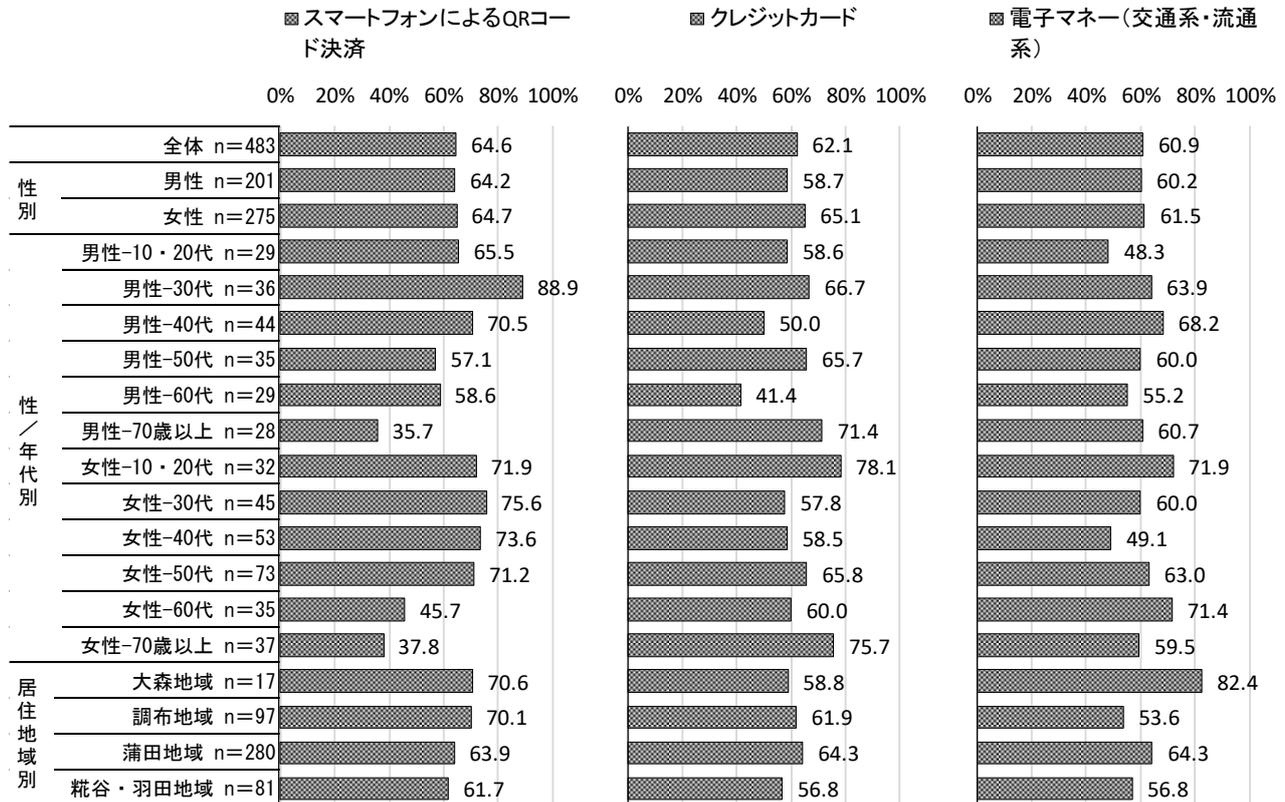


■性別・性／年代別・居住地域別

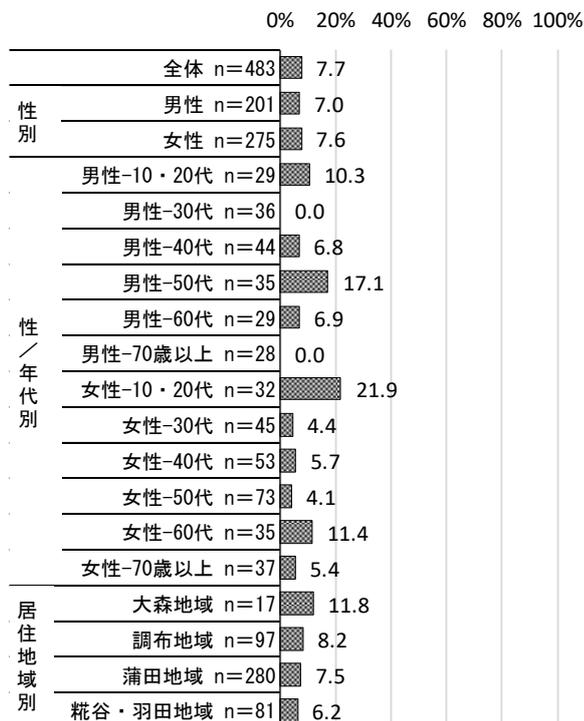
性別で見ると、男性では「スマートフォンによるQRコード決済」が、女性では「クレジットカード」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「スマートフォンによるQRコード決済」は男性では30代で8割後半、女性では30代で7割半ばと高くなっている。「クレジットカード」は男性では30代、50代、女性では10・20代、70歳以上で高くなっている。女性60代では「電子マネー（交通系・流通系）」が最も高くなっている。

居住地域別で見ると、「スマートフォンによるQRコード決済」は調布地域で約7割と高くなっている。



■デビットカード



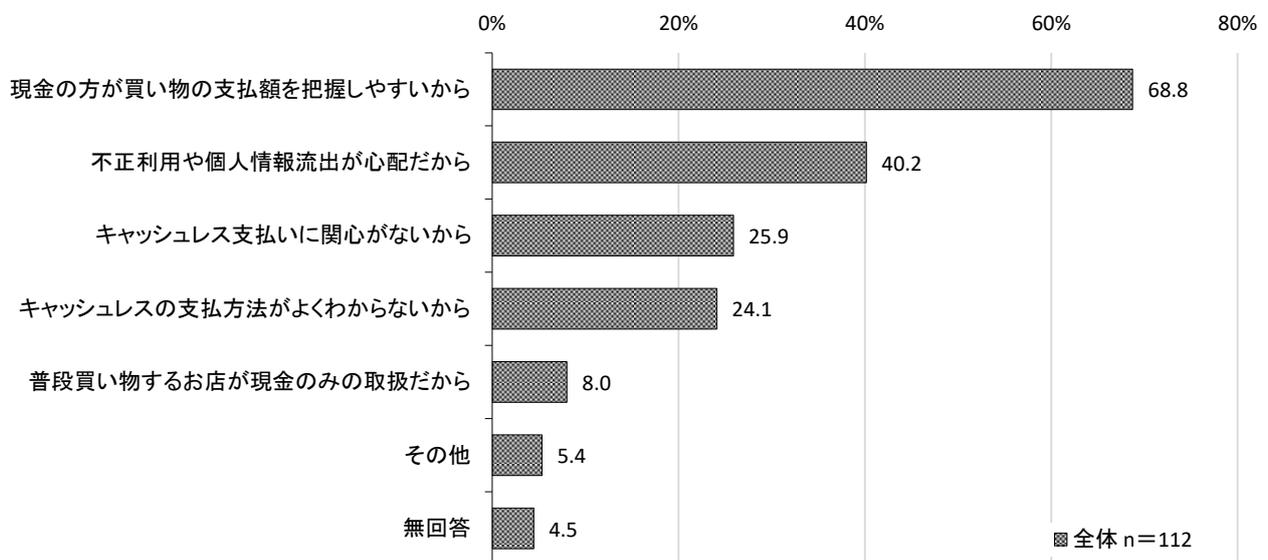
(4) キャッシュレスで支払いをしない理由

◇「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が6割後半で最も高くなっている

【問 10で「3 ほとんど使わない」「4 まったく使わない」と回答された方】

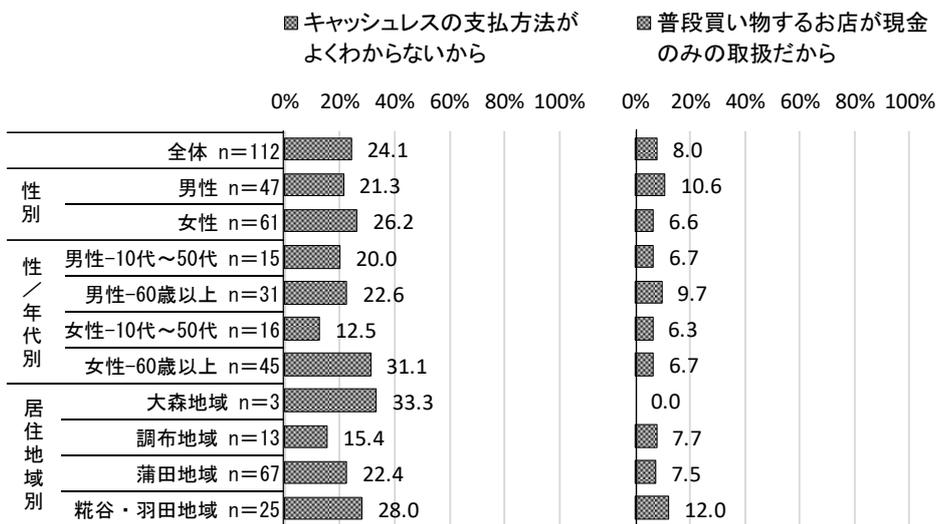
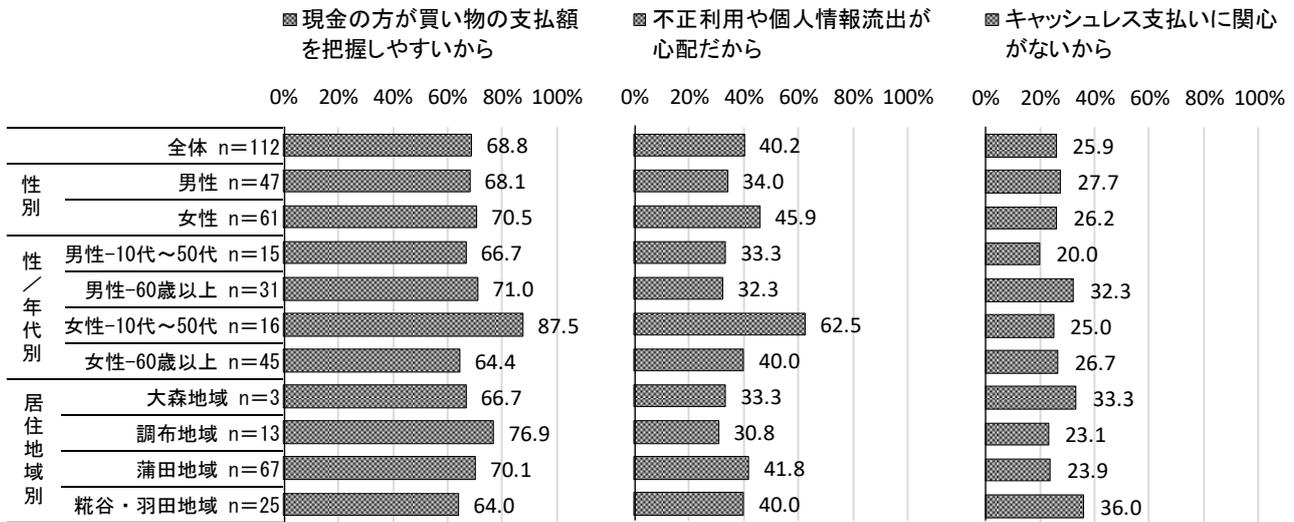
問 10-3 キャッシュレスを使わない（あまり使わない）理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。（複数選択可）

キャッシュレスで支払いをしない理由については、「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が68.8%で最も高く、次いで「不正利用や個人情報流出が心配だから」が40.2%、「キャッシュレス支払いに関心がないから」が25.9%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから」が最も高くなっている。



5 羽田空港跡地について

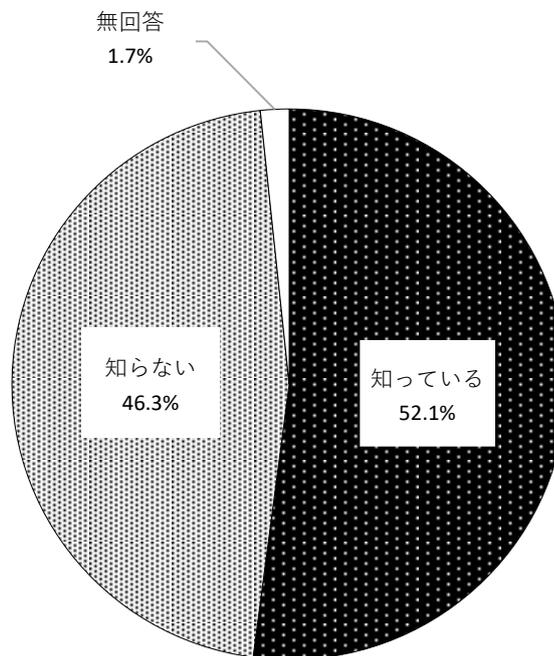
(1) 「羽田イノベーションシティ」の認知度

◇「知っている」が5割前半となっている

**問 11 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。
(1つのみ)**

“羽田イノベーションシティ”の認知度については、「知っている」が52.1%、「知らない」が46.3%となっている。

全体 n=601

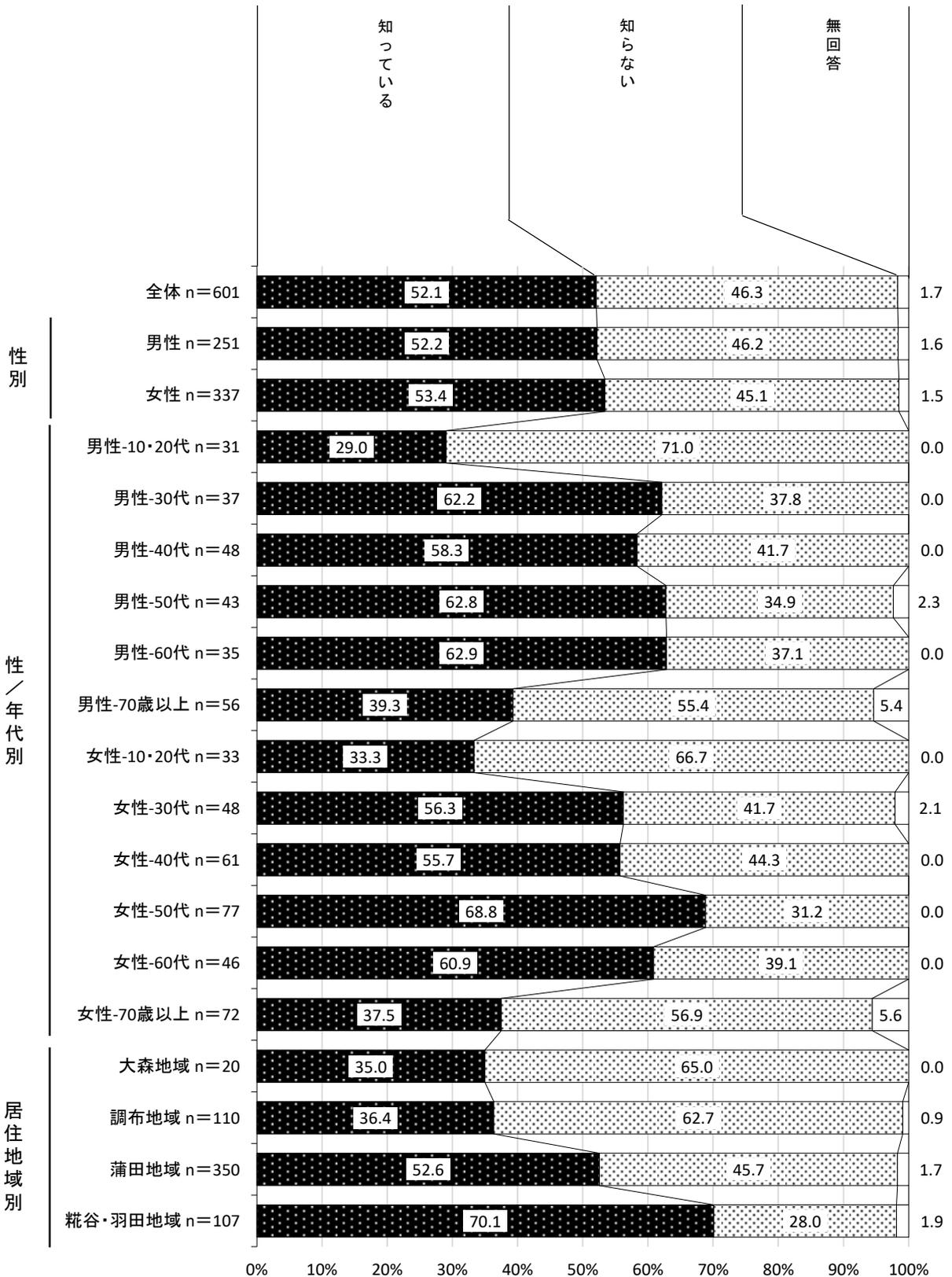


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「知っている」は男性では30代、50代、60代が6割前半、女性では50代が6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「知っている」は糀谷・羽田地域で約7割と高くなっている。

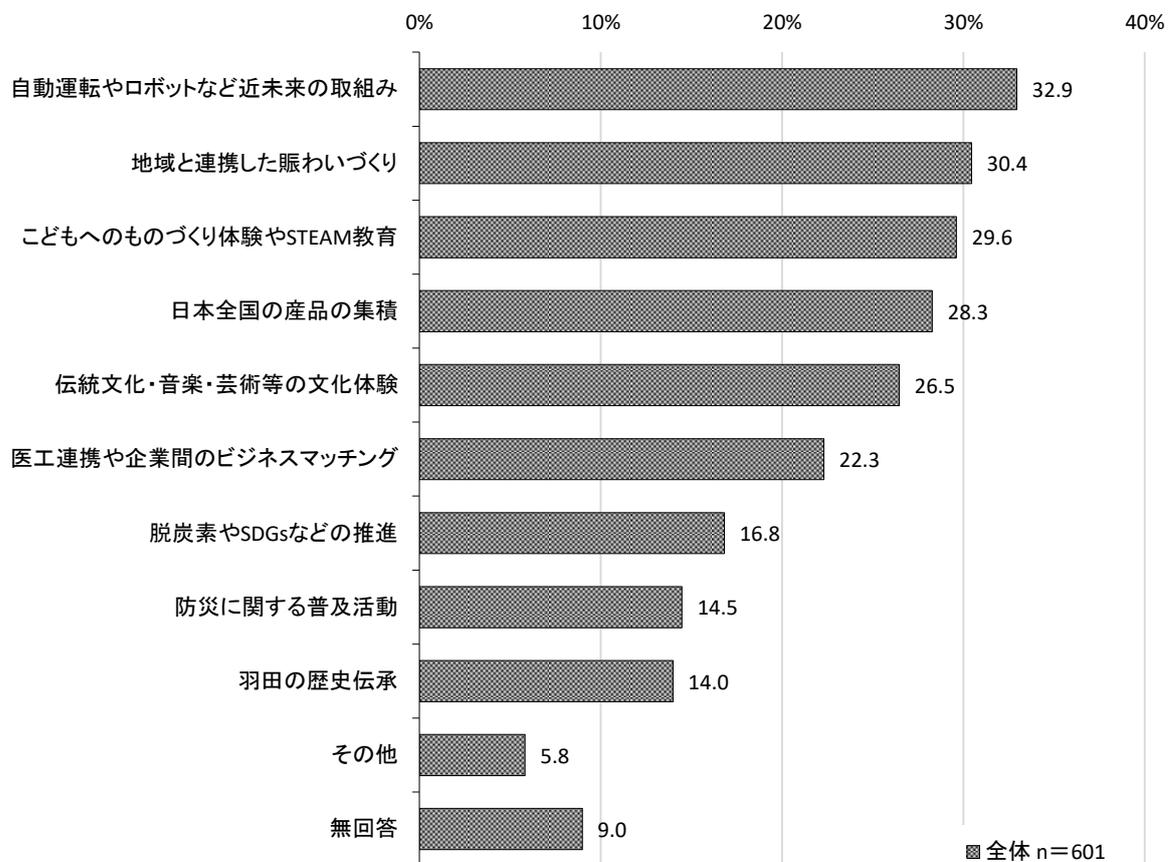


(2) 「羽田イノベーションシティ」に期待すること

◇「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が3割前半で最も高くなっている

問 12 羽田イノベーションシティ・HICityの取組みのうち、期待するものはありますか。
(複数選択可)

“羽田イノベーションシティに期待すること”については、「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が32.9%で最も高く、次いで「地域と連携した賑わいづくり」が30.4%、「こどもへのものづくり体験やSTEAM教育」が29.6%となっている。

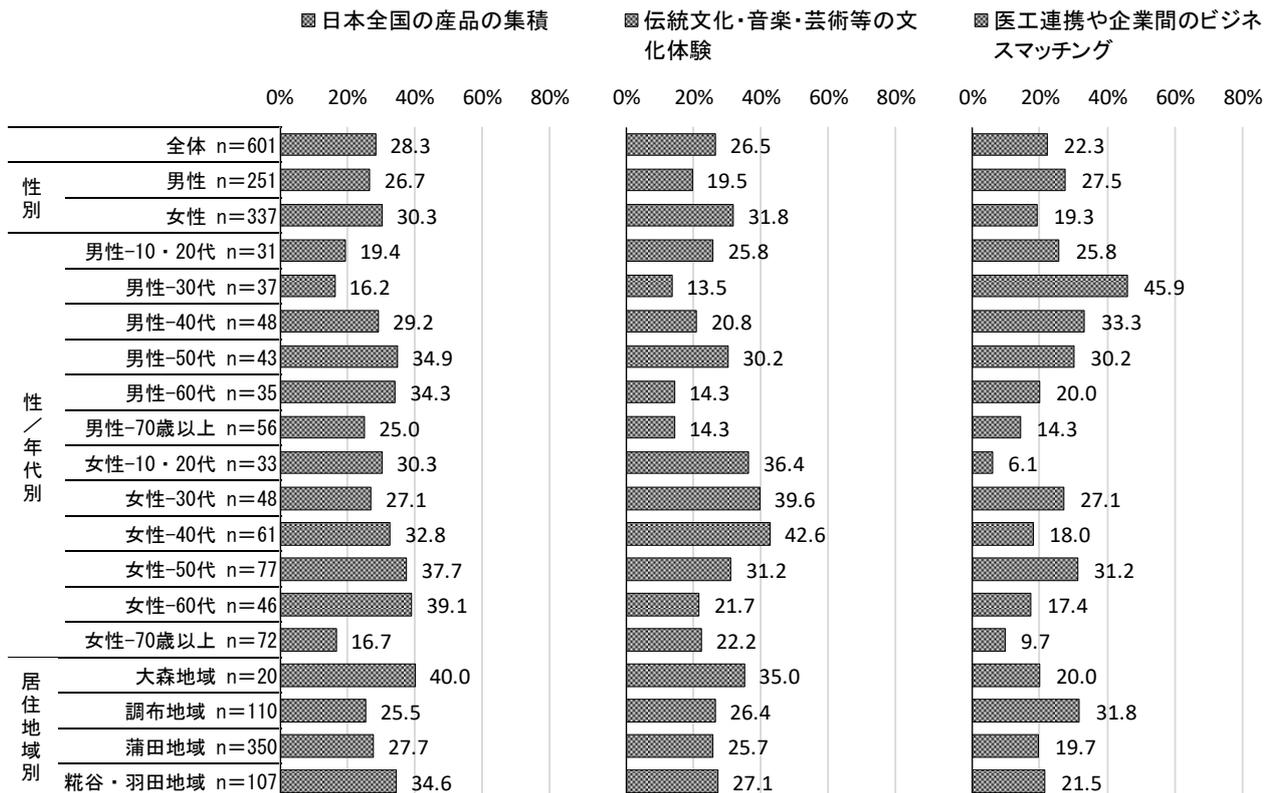
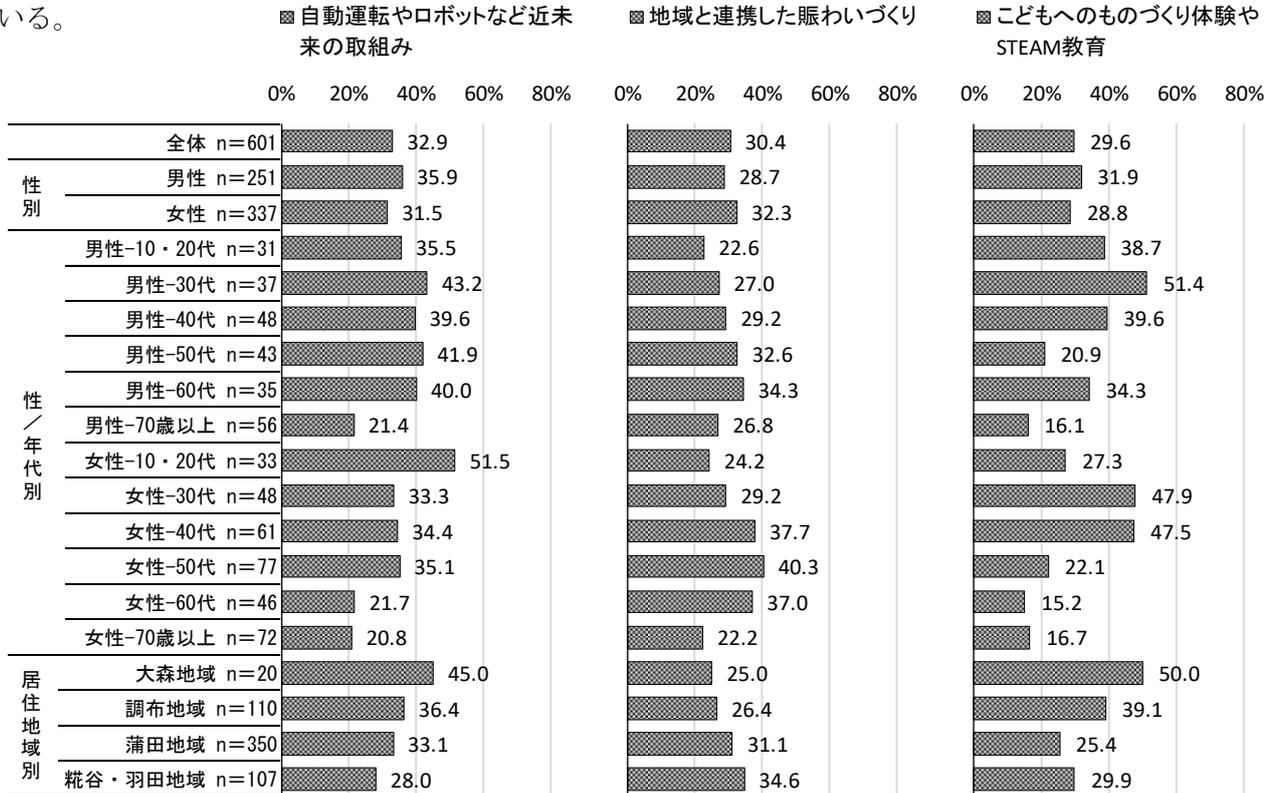


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性では「自動運転やロボットなど近未来の取組み」が、女性では「地域と連携した賑わいづくり」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「自動運転やロボットなど近未来の取組み」は男性では30代、50代、60代で4割前半、女性では10・20代で5割前半と高くなっている。「こどもへのものづくり体験やSTEAM教育」は男性30代で5割前半、女性30代、40代で4割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「こどもへのものづくり体験やSTEAM教育」は調布地域で3割後半と高くなっている。



6 バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

(1) 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」の認知度

◇バリアフリーの《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は8割後半となっている
 ユニバーサルデザインの《理解している》（「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値）は5割後半となっている

問 13 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。（1つのみ）

(1) 「バリアフリー」

高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁（バリア）を取り除く考え方

(2) 「ユニバーサルデザイン」

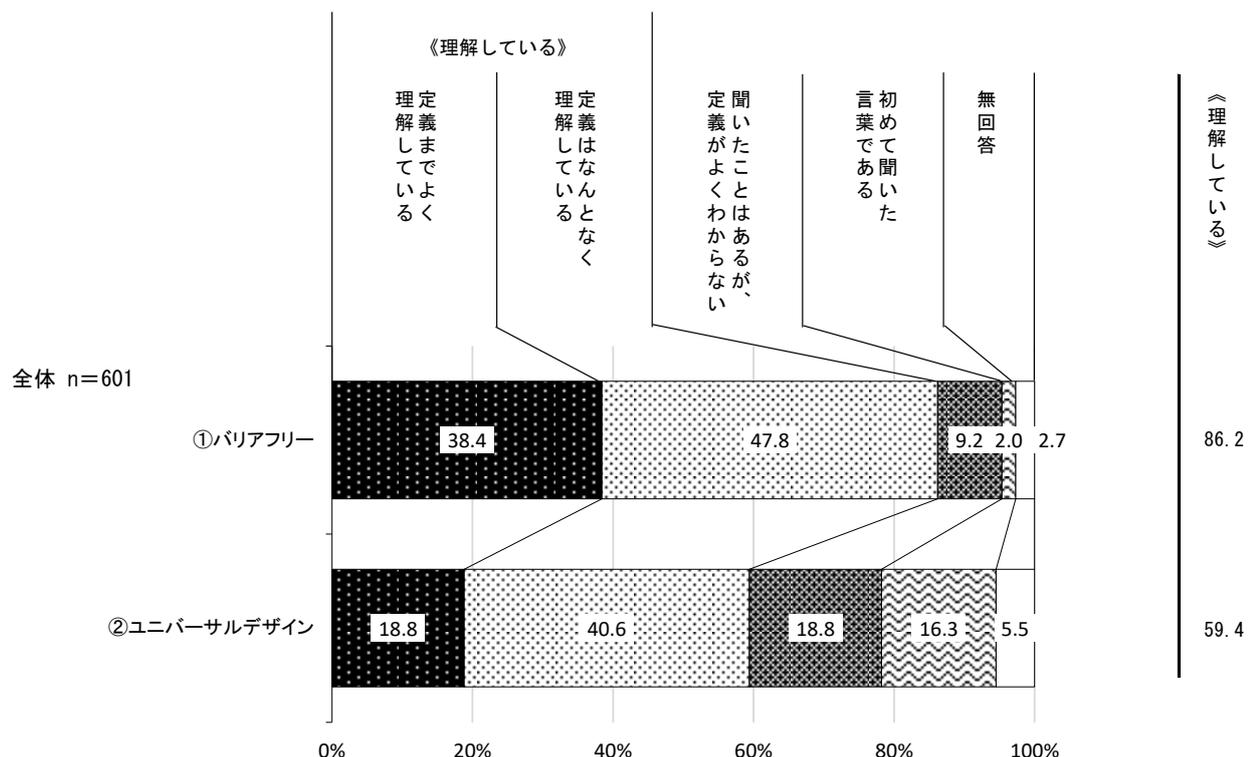
バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍（言語）、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方

①バリアフリー

“バリアフリー”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が86.2%で、そのうち、「定義までよく理解している」は38.4%となっている。

②ユニバーサルデザイン

“ユニバーサルデザイン”の認知度については、「定義までよく理解している」、「定義はなんとなく理解している」の合計値《理解している》が59.4%で、そのうち、「定義までよく理解している」は18.8%となっている。

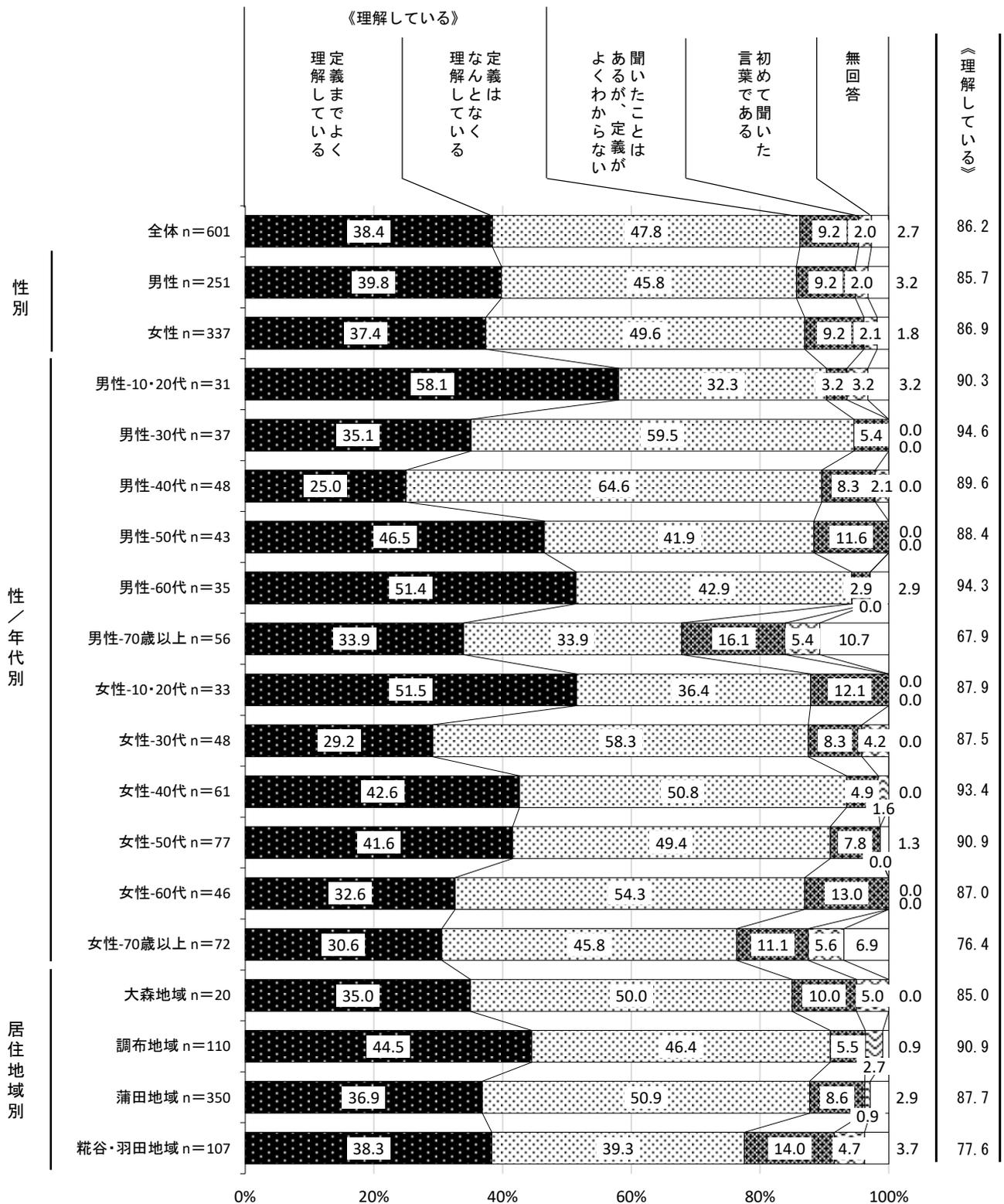


■性別・性／年代別・居住地域別_①バリアフリー

性別でみると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性39.8%、女性37.4%と、男性が2.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《理解している》は男性では10・20代、30代、60代、女性では40代、50代で9割台と高くなっている。そのうち、「定義までよく理解している」は男性10・20代、60代、女性10・20代で5割以上と高くなっている。

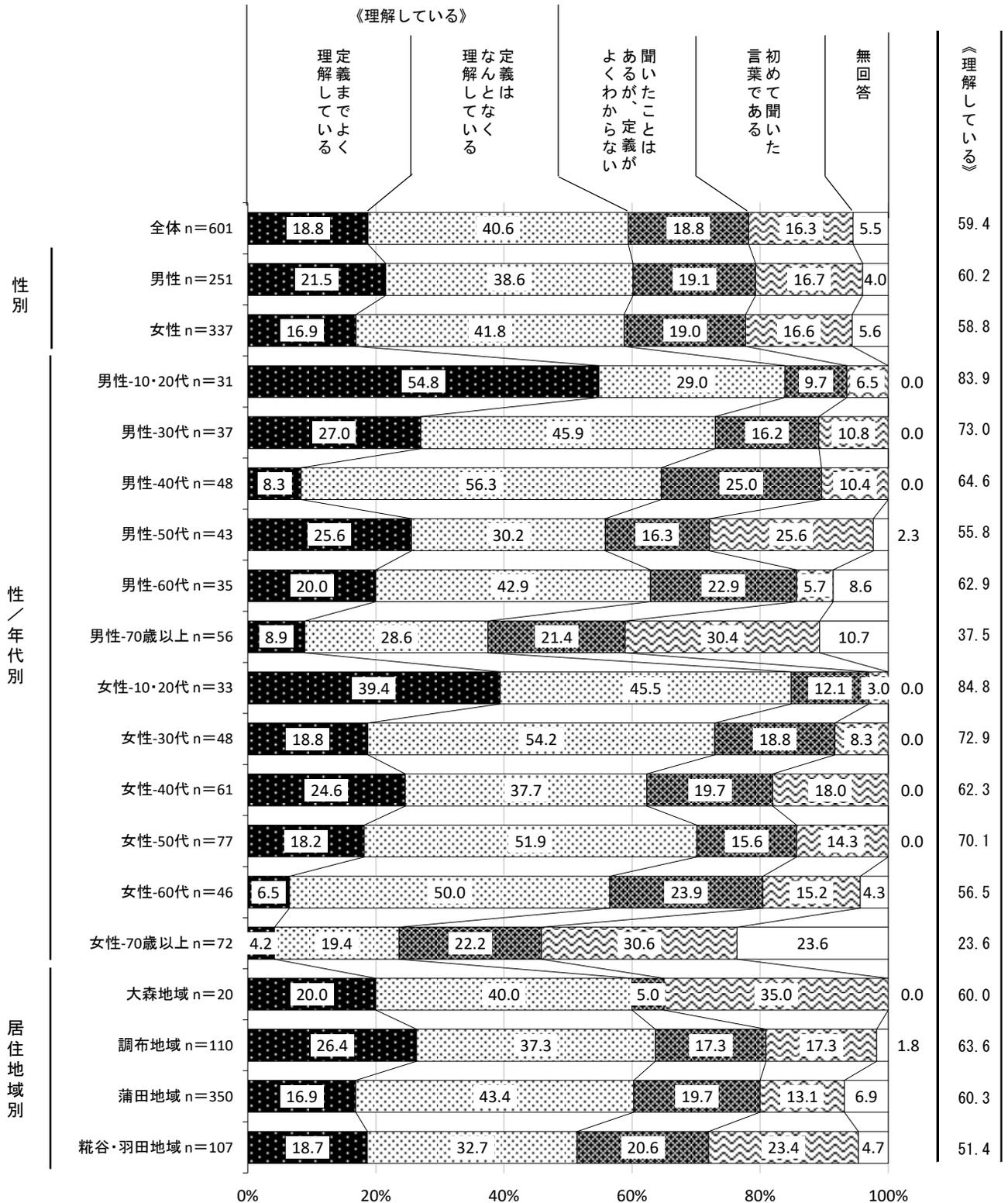
居住地域別でみると、《理解している》は調布地域で9割前半と高くなっている。



■性別・性／年代別・居住地域別_②ユニバーサルデザイン

性別で見ると、《理解している》に大きな差はみられないものの、「定義までよく理解している」では男性21.5%、女性16.9%と、男性が4.6ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《理解している》は男性、女性ともに10・20代で8割前半と高くなっている。また「定義までよく理解している」でも男性10・20代で5割前半、女性10・20代で3割後半と高くなっている。



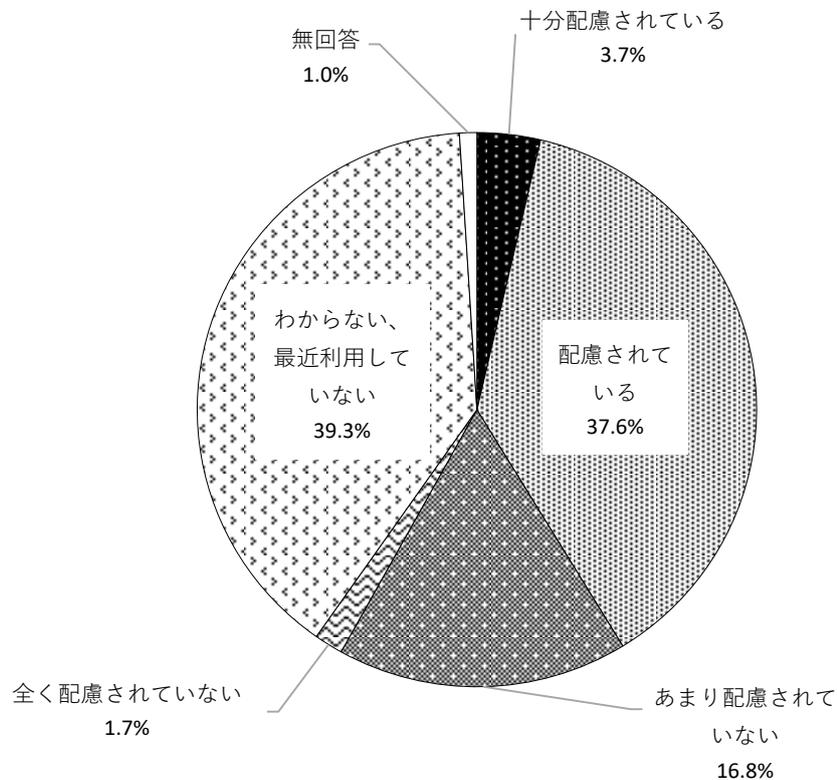
(2) 各区立施設内のバリアフリー配慮

◇《配慮されている》(「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値)は4割前半となっている

問 14 大田区役所(本庁舎、地域庁舎、特別出張所など)をはじめとした区立施設(公園含む)について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障害者、外国人などに配慮されていると思いますか。(1つのみ)

各区立施設のバリアフリーの配慮状況については、「十分配慮されている」、「配慮されている」の合計値《配慮されている》が41.3%である一方で、「あまり配慮されていない」、「全く配慮されていない」の合計値《配慮されていない》が18.5%と、《配慮されている》が22.8ポイント上回っている。

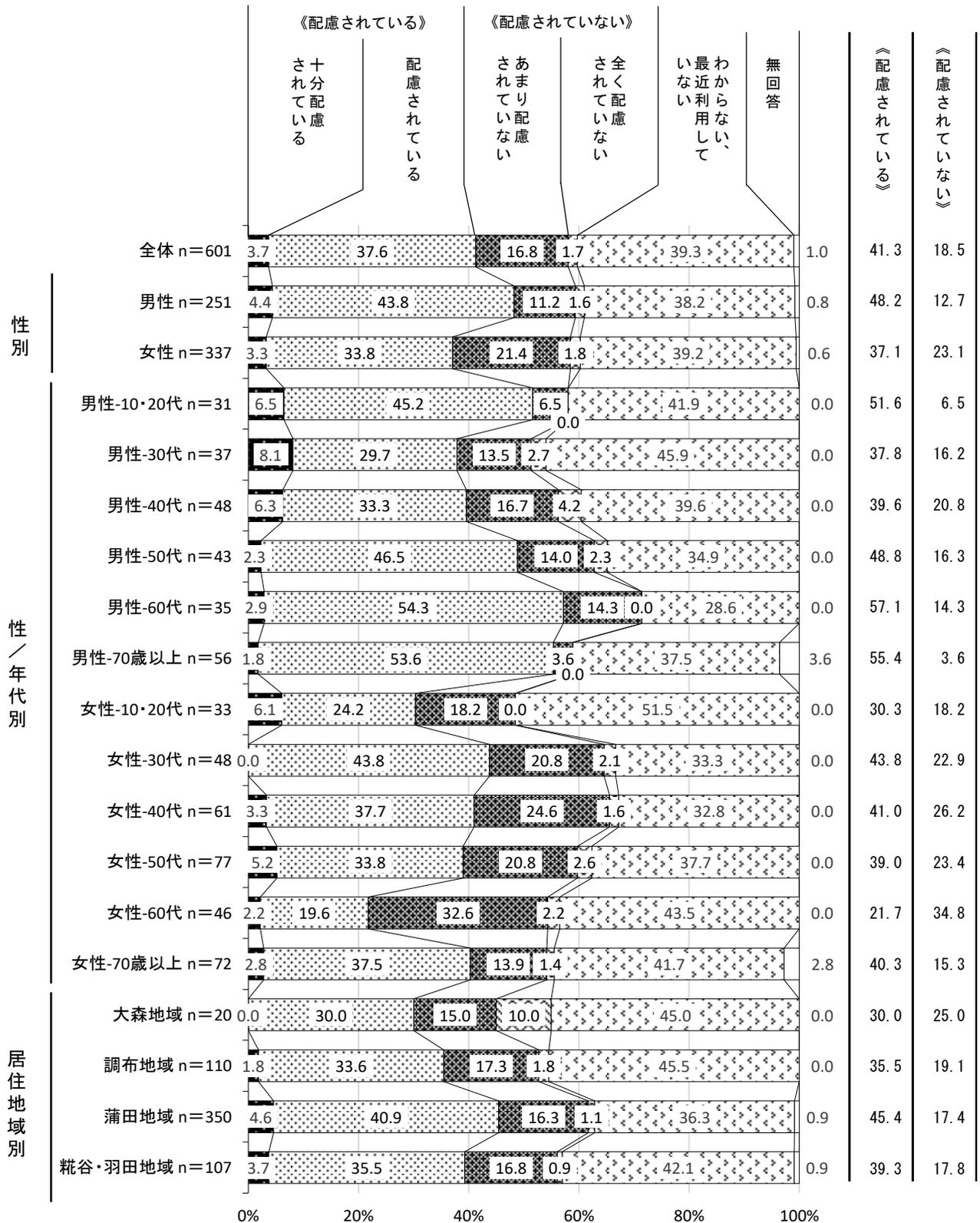
全体 n=601



■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《配慮されている》は男性 48.2%、女性 37.1%と、男性が 11.1 ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《配慮されている》は男性では 60 代で 5 割後半、女性では 30 代、40 代、70 歳以上で 4 割前半と高くなっている。また《配慮されている》のうち、「十分に配慮されている」は男性 30 代、女性 10・20 代で比較的高くなっている。



7 まちづくりについて

(1) 活力・国際性のある都市づくりの進捗状況

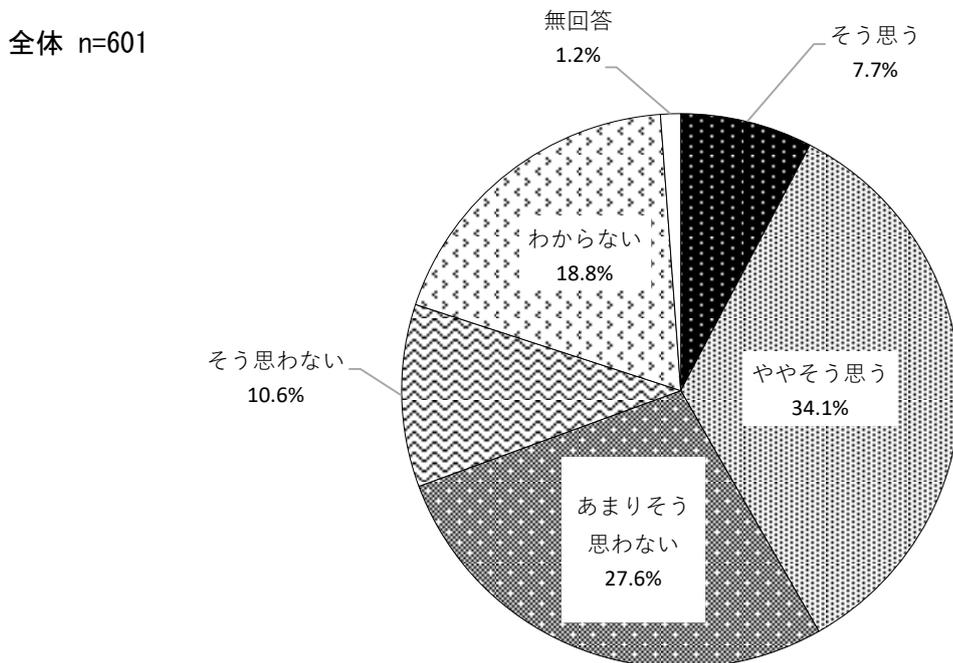
◇ 《思う》（「そう思う」、「ややそう思う」の合計値）は4割前半となっている

問 15 活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。（1つのみ）

<活力・国際性のある都市づくりの例>

- ・ 来街者が大田区内を巡って魅力を楽しめている
- ・ 日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できている
- ・ 国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している
- ・ 人が集まる交流・滞在空間が充実している
- ・ 区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している
- ・ 大田区内外への移動が便利である など

活力・国際性のある都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が41.8%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が38.3%と、《思う》が3.5ポイント上回っている。

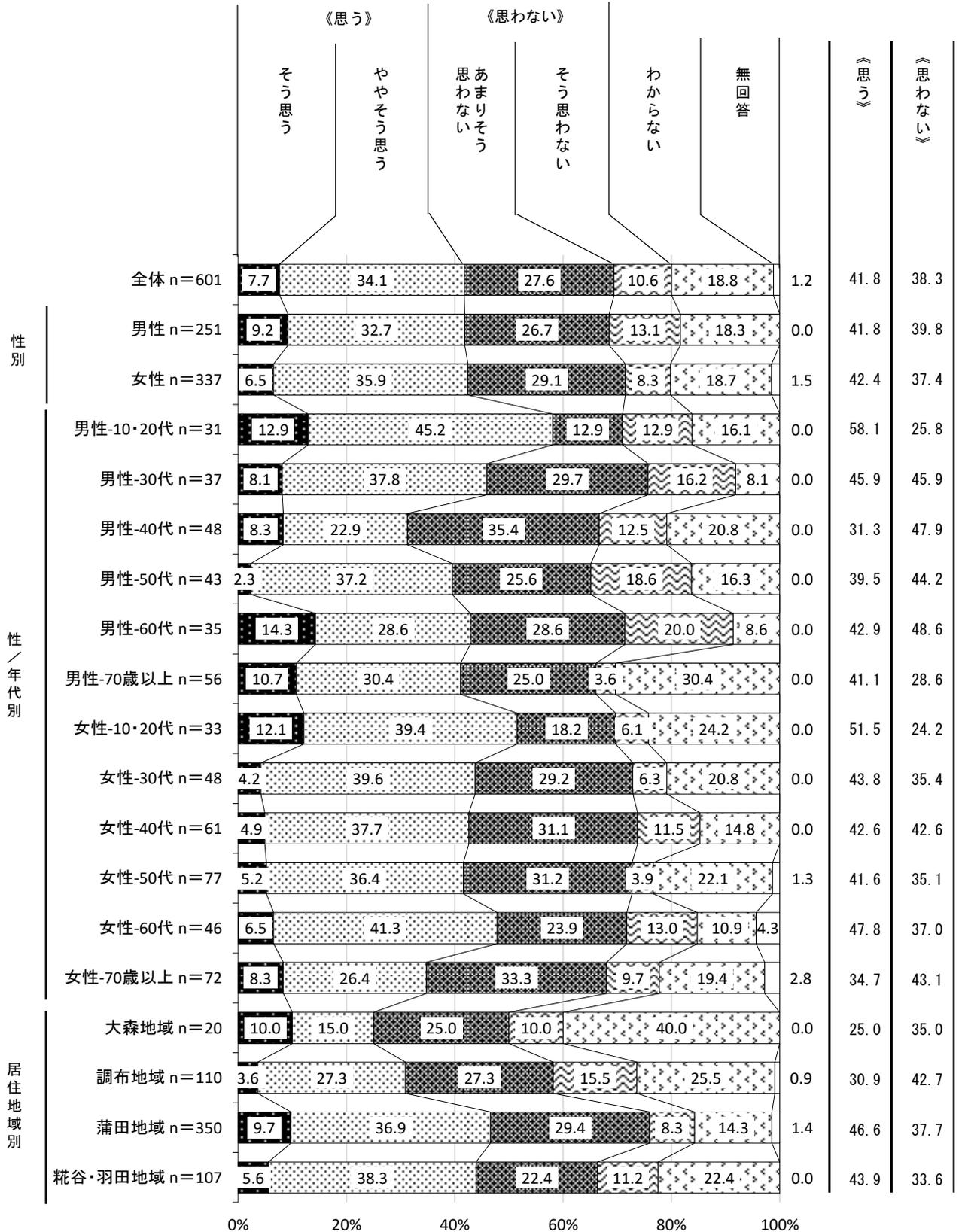


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《思う》は男性では10・20代で5割後半、女性では10・20代で5割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《思う》は蒲田地域で4割後半と高くなっている。



(2) 暮らしやすい都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は5割後半となっている

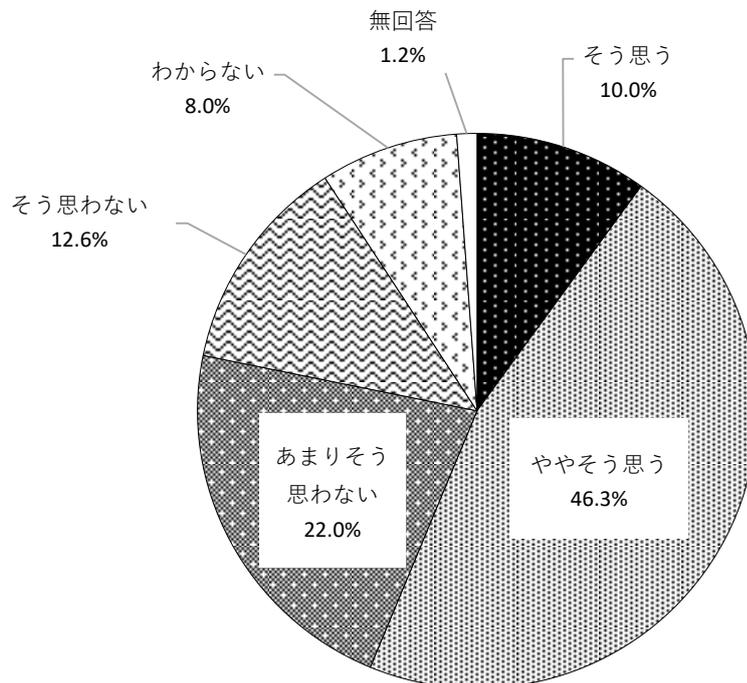
問 16 暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

<暮らしやすい都市づくりの例>

- ・生活に必要な施設があり、幅広い年代の人が暮らしやすい
- ・良好なまちなみ・景色が整っている
- ・商店街に人が集まりにぎわっている
- ・住む場所と働く場所がバランス良くある
- ・区内を移動するための公共交通が充実している
- ・快適で歩きたくなる空間がある
- ・住民主体の都市づくりが進んでいる など

暮らしやすい都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が56.2%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が34.6%と、《思う》が21.6ポイント上回っている。

全体 n=601

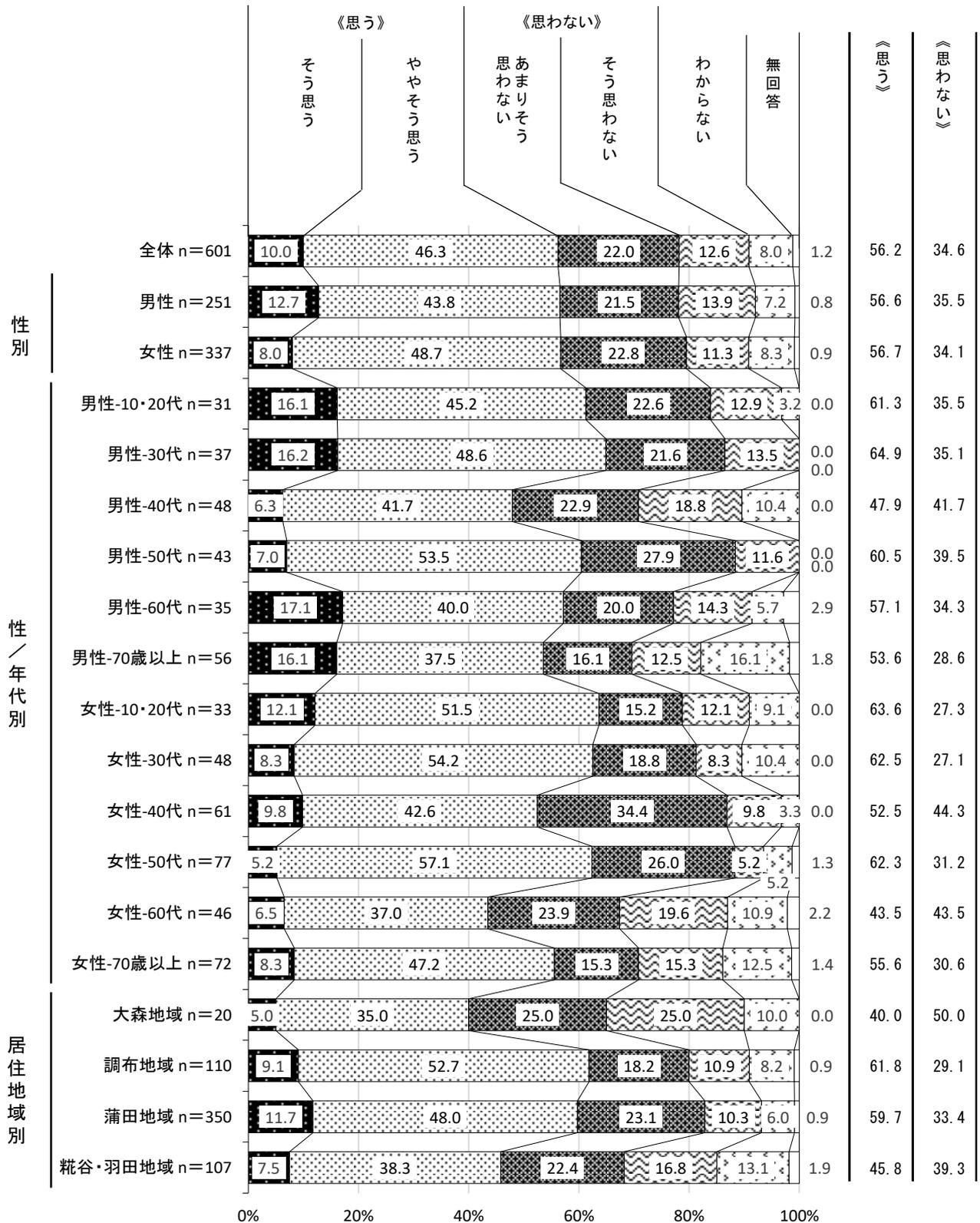


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《思う》は男性では10・20代、30代50代で6割前半、女性では10・20代、30代、50代で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《思う》は調布地域で6割前半と高くなっている。



(3) 安全・安心な都市づくりの進捗状況

◇《思う》(「そう思う」、「ややそう思う」の合計値)は4割前半となっている

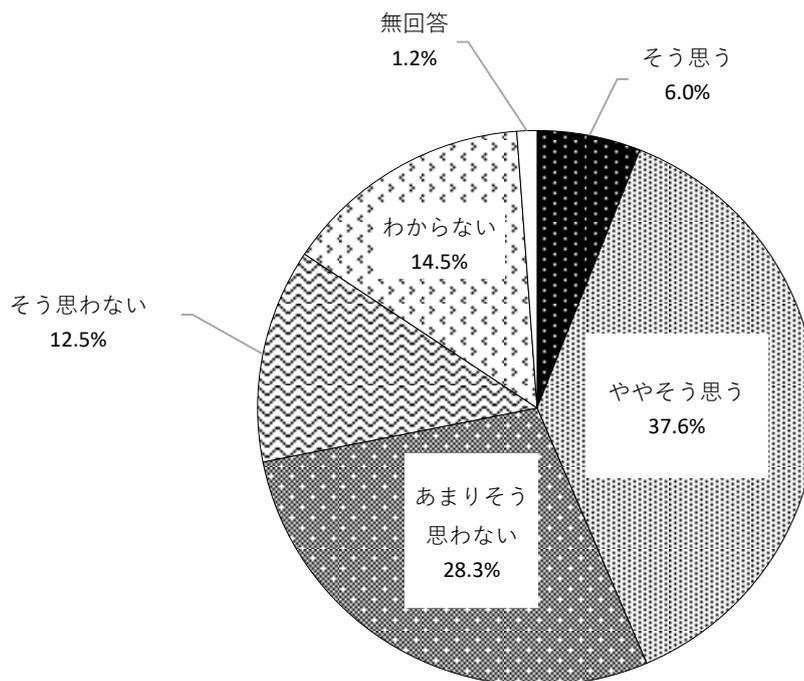
問 17 安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

<安全・安心な都市づくりの例>

- ・災害時に危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている
- ・災害時に救助や避難に役立つ道路や施設が整備されている
- ・風水害や土砂災害の対策がしっかりしている
- ・地域の防災・防犯活動が充実している
- ・災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている など

安全・安心な都市づくりの進捗状況については、「そう思う」、「ややそう思う」の合計値《思う》が43.6%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.8%と、《思う》が2.8ポイント上回っている。

全体 n=601

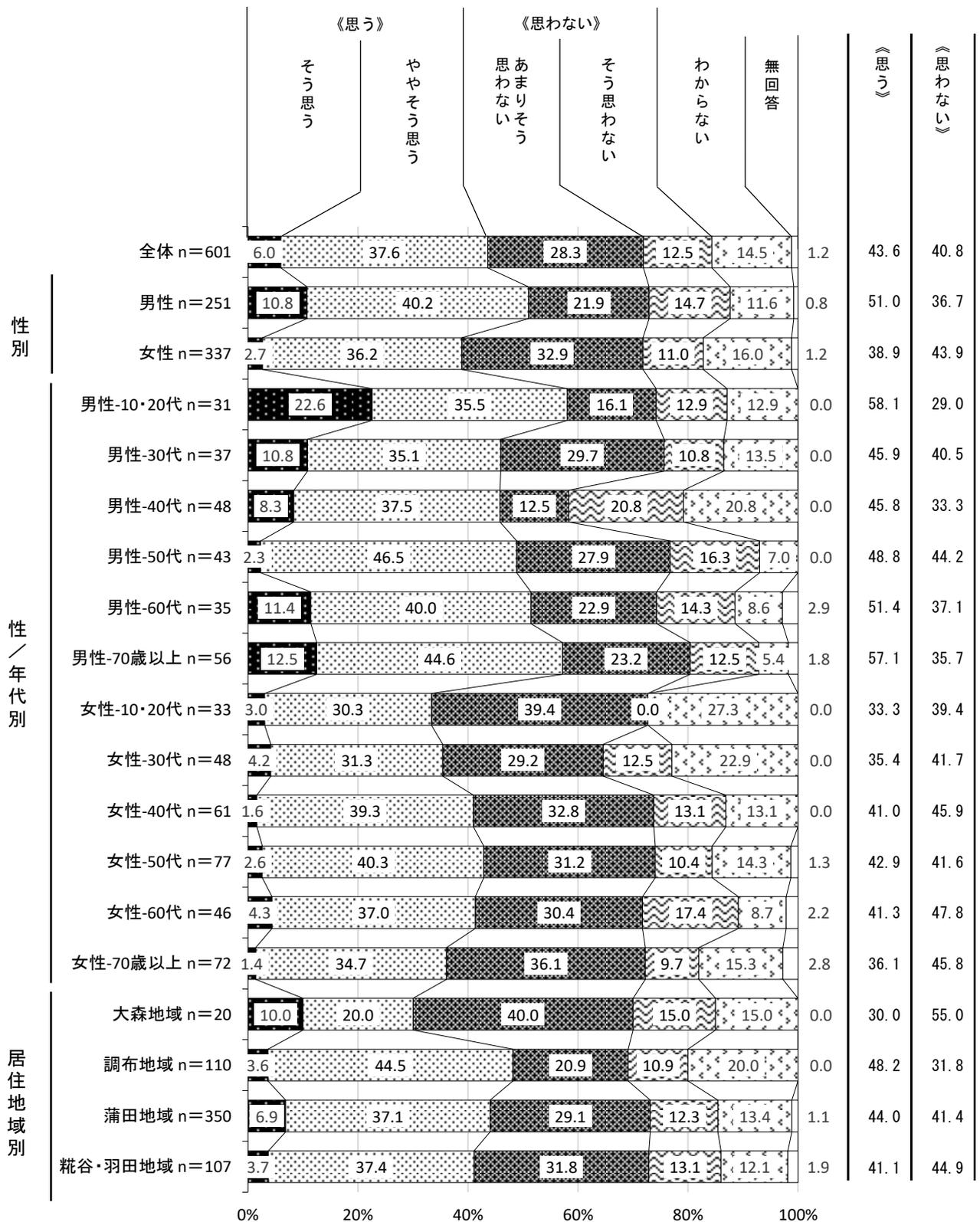


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、《思う》は男性が51.0%、女性が38.9%と、男性が12.1ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、《思う》は男性では10・20代、70歳以上で5割後半、女性では40代～60代で4割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《思う》は調布地域で4割後半と高くなっている。



(4) 環境に配慮した都市づくりの進捗状況

◇ 《思う》(「思う」、「やや思う」の合計値)は4割半ばとなっている

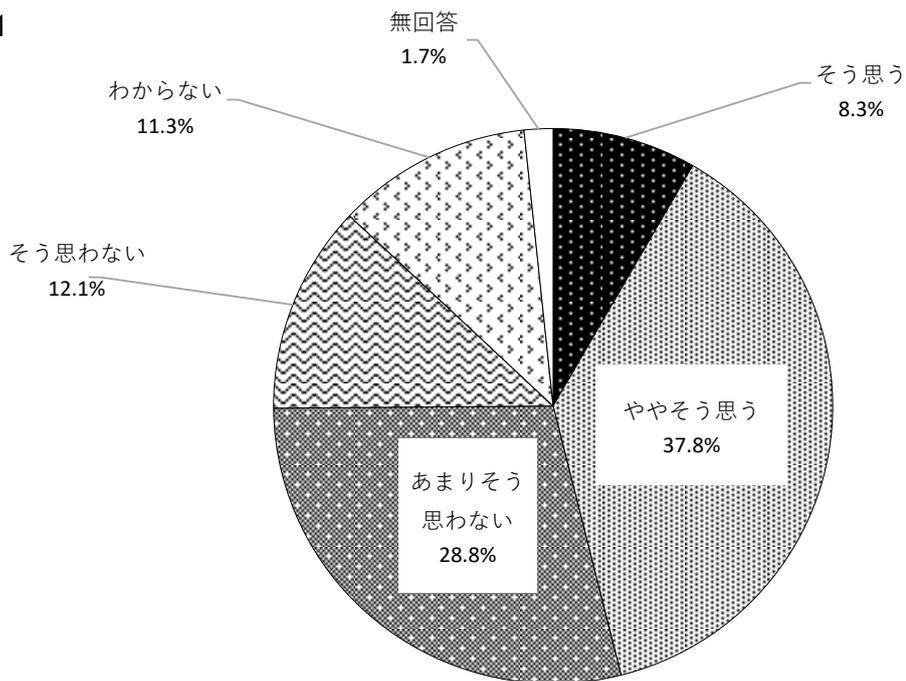
問 18 環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

<環境に配慮した都市づくりの例>

- ・豊かな水と緑が守られている
- ・公園や緑地など緑のオープンスペースが充実している
- ・身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる
- ・自転車などによる有害廃棄ガスを出さない移動環境が整っている
- ・省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている など

環境に配慮した都市づくりの進捗状況については、「思う」、「やや思う」の合計値《思う》が46.1%である一方で、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計値《思わない》が40.9%と、《思う》が5.2ポイント上回っている。

全体 n=601

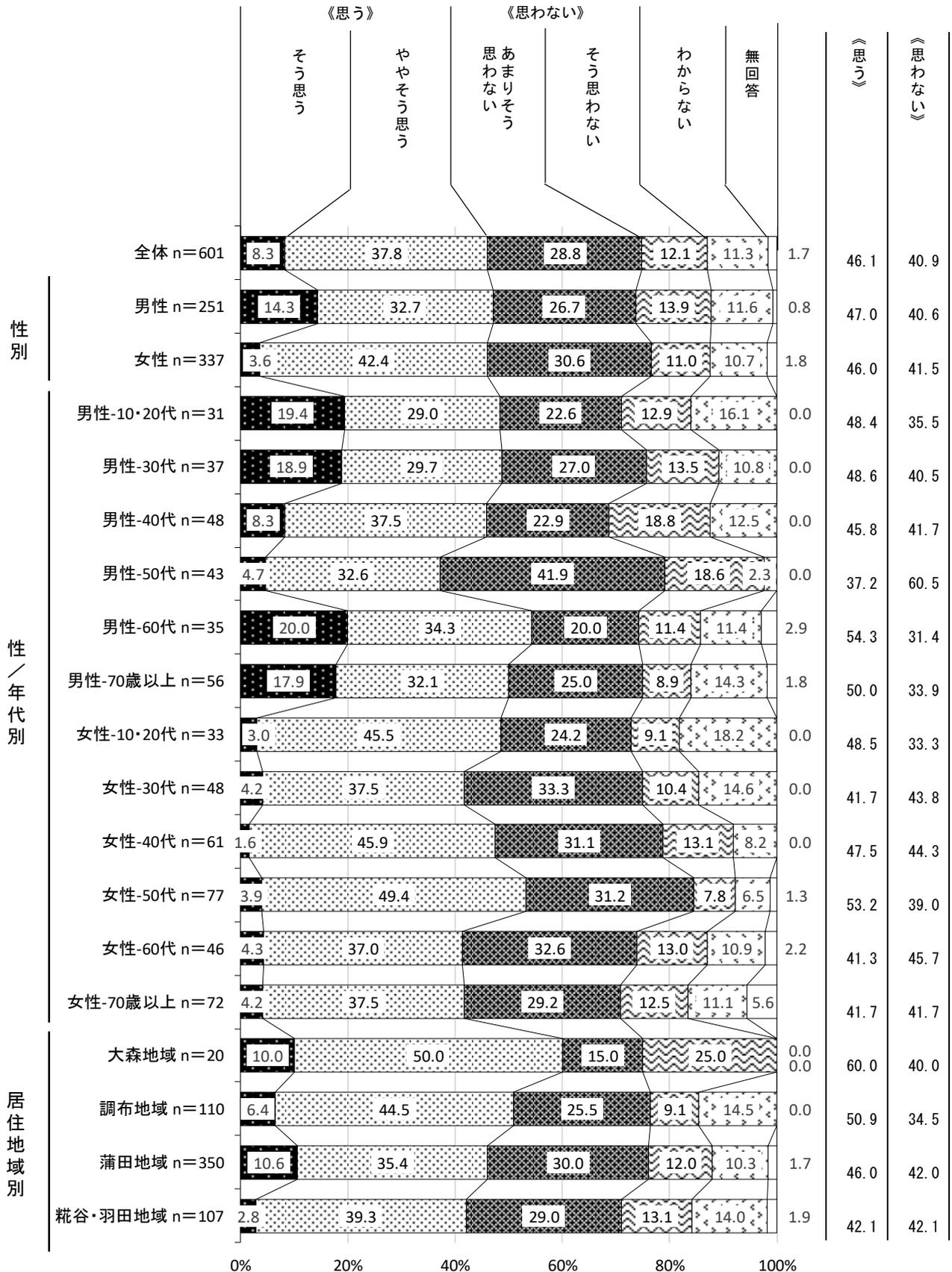


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《思う》に大きな差はみられないものの、「そう思う」では男性が14.3%、女性が3.6%と、男性が10.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《思う》は男性60代、女性50代で5割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《思う》は調布地域で5割前半と高くなっている。



8 公共交通機関について

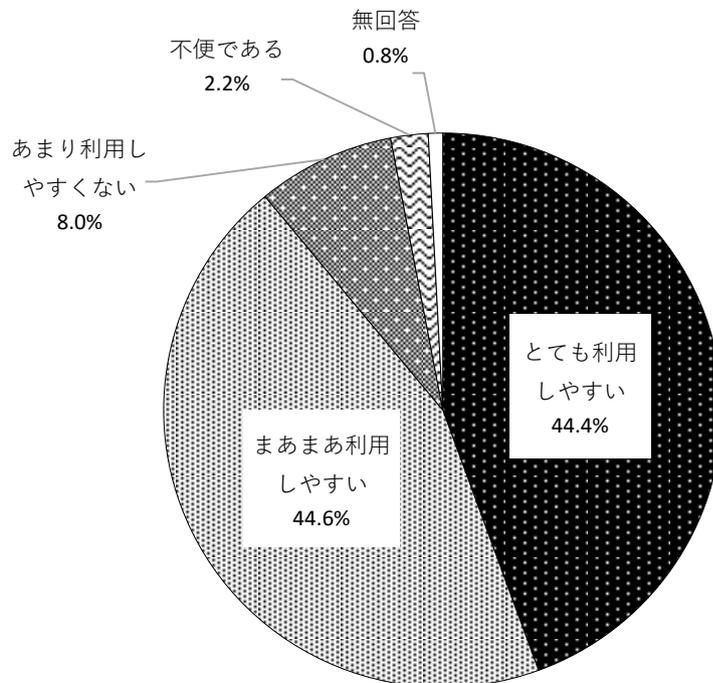
(1) 公共交通機関の利用環境

◇ 《利用しやすい》(「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」)の合計値は8割後半となっている

**問 19 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。
(1つのみ)**

公共交通機関の環境については、「とても利用しやすい」、「まあまあ利用しやすい」の合計値《利用しやすい》が89.0%である一方で、「あまり利用しやすすくない」、「不便である」の合計値《利用しやすすくない》が10.1%と、《利用しやすい》が78.9ポイント上回っている。

全体 n=601

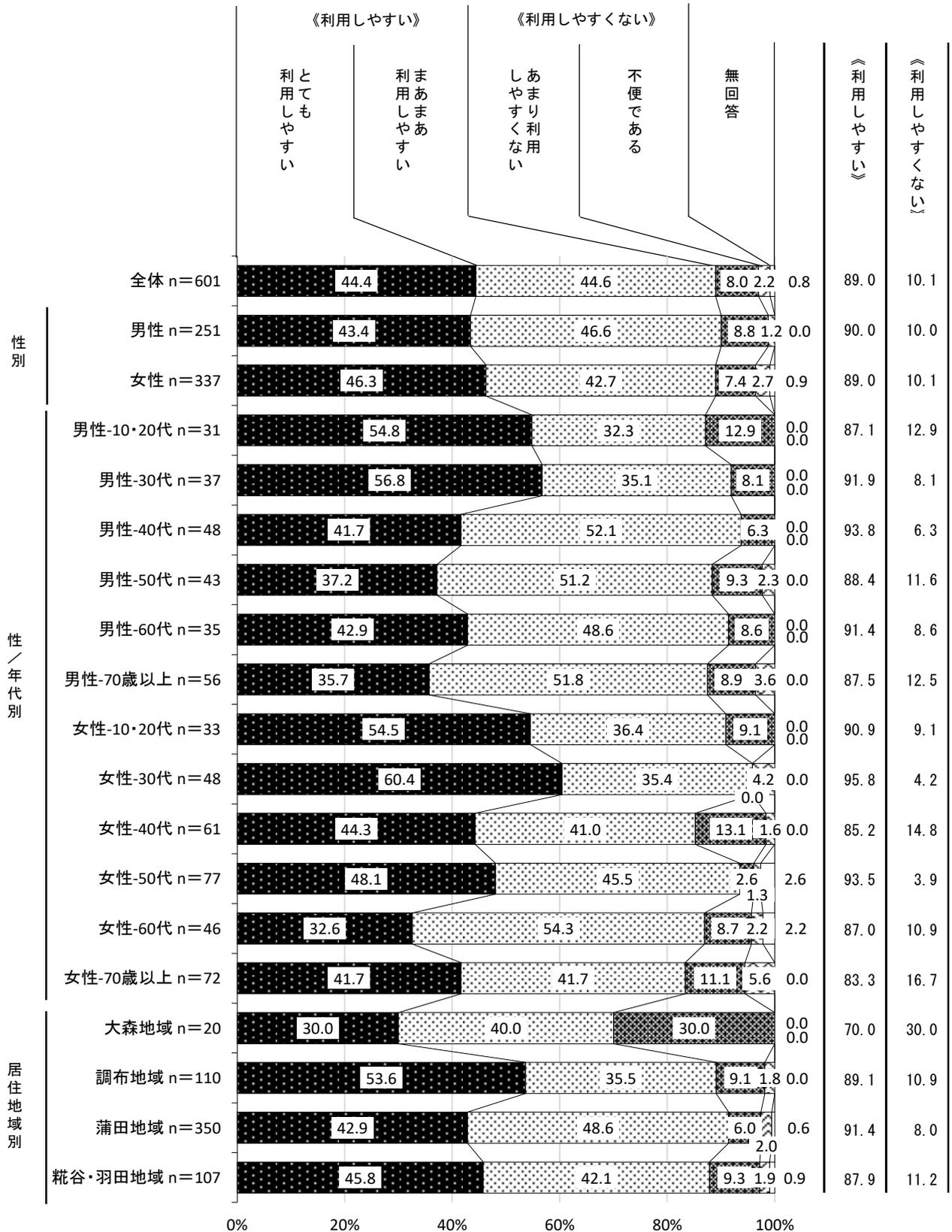


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《利用しやすい》は男性では30代、40代、60代で9割前半、女性では30代で9割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「とても利用しやすい」は調布地域で5割前半と高くなっている。



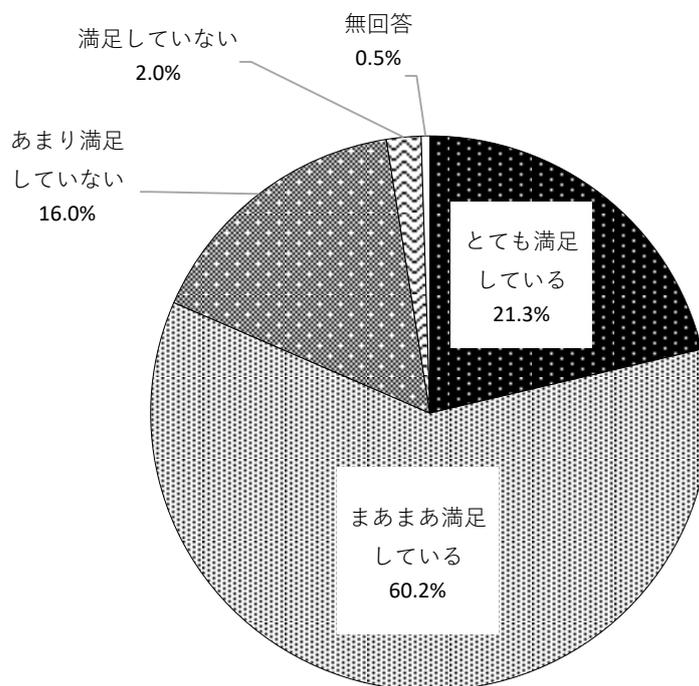
(2) 公共交通網の満足度

◇《満足している》(「とても満足している」、「まあまあ満足している」)の合計値は8割前半となっている

問 20 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

大田区内の公共交通網への満足度については、「とても満足している」、「まあまあ満足している」の合計値《満足している》が81.5%である一方で、「あまり満足していない」、「満足していない」の合計値《満足していない》が18.0%と、《満足している》が63.5ポイント上回っている。

全体 n=601

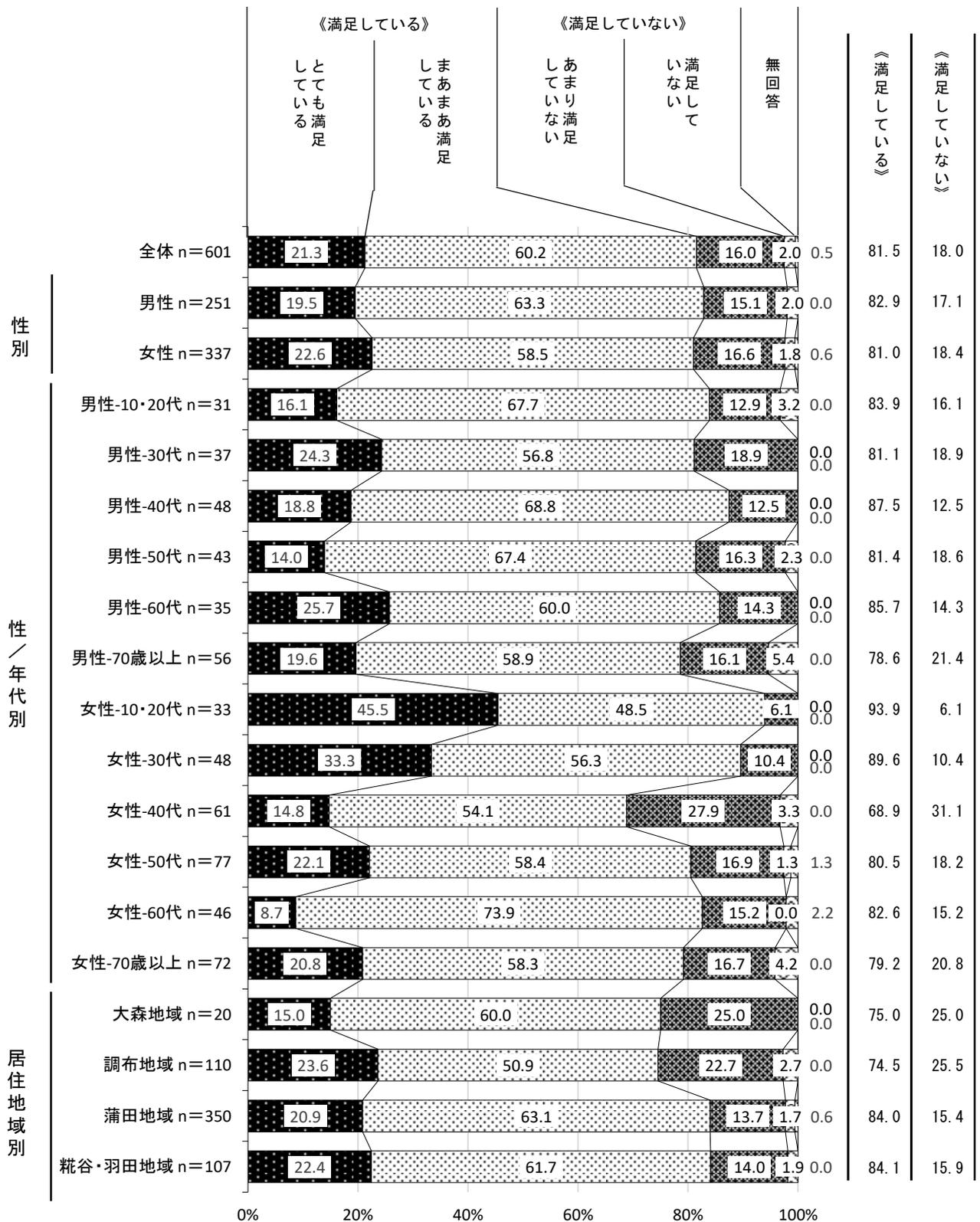


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《満足している》では男性40代で8割後半、女性では10・20代で9割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《満足している》は蒲田地域、糀谷・羽田地域で8割前半と高くなっている。



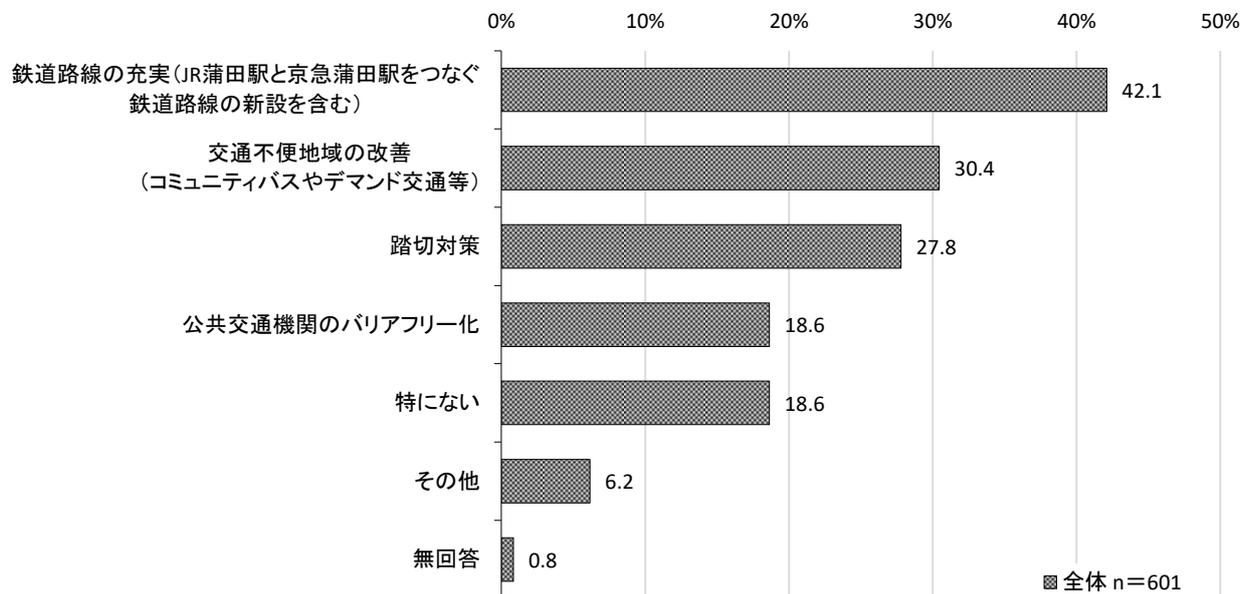
(3) 公共交通対策で実現してほしいこと

◇「鉄道路線の充実（JR蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が4割前半で最も高くなっている

問 21 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(複数選択可)

早期に実現してほしい大田区内の公共交通対策については、「鉄道路線の充実（JR蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む）」が42.1%で最も高く、次いで「交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等）」が30.4%、「踏切対策」が27.8%となっている。

なお、「特にない」は18.6%となっている。

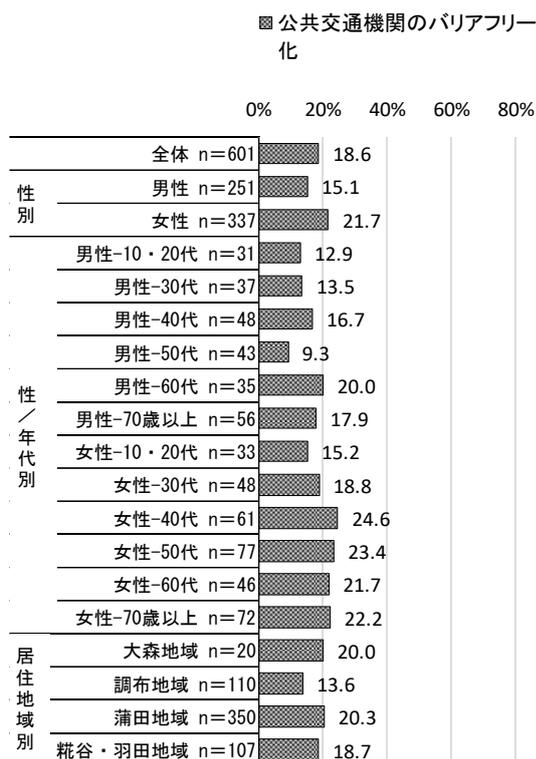
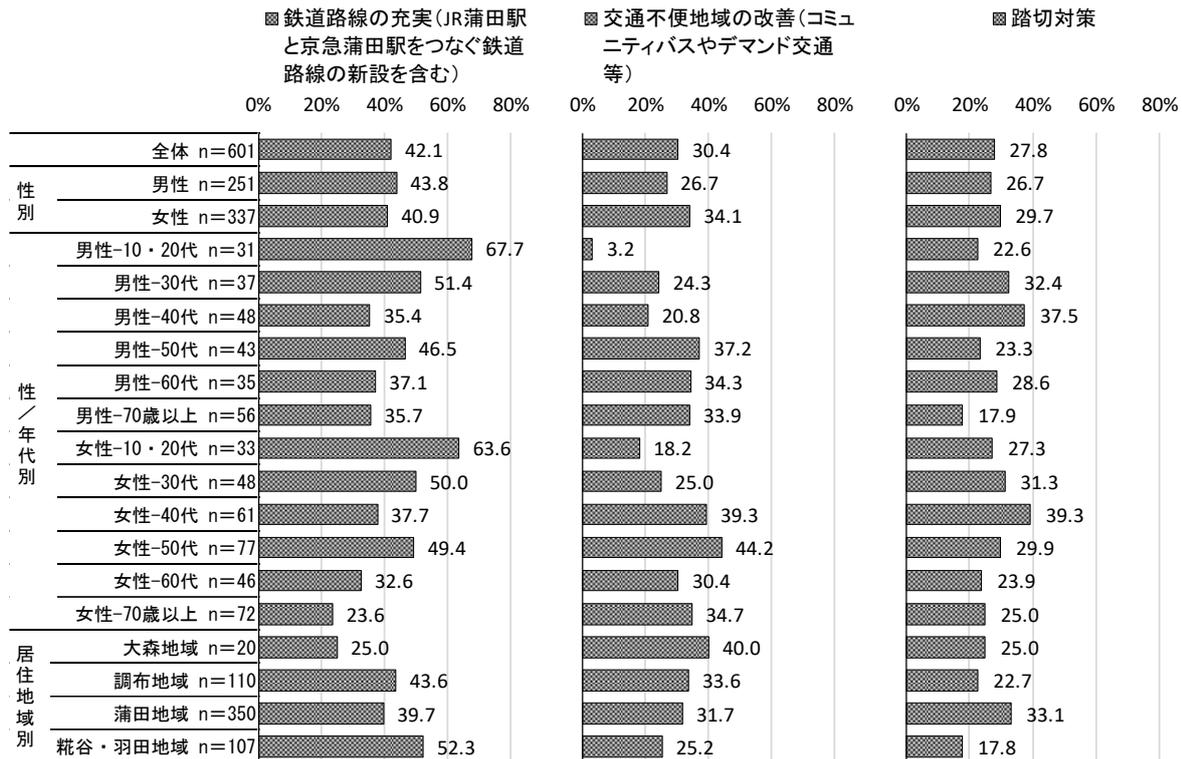


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」が最も高く、男性が43.8%、女性が40.9%と、男性が2.9ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「鉄道路線の充実（蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」は男性、女性ともに10・20代で6割台と高くなっている。「交通不便地域の改善（コミュニティバスやデマンド交通等）」は女性50代で4割前半、「踏切対策」は男性、女性ともに40代で3割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「鉄道路線の充実（JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の 신설を含む）」は糀谷・羽田地域で5割前半と高くなっている。



9 耐震改修について

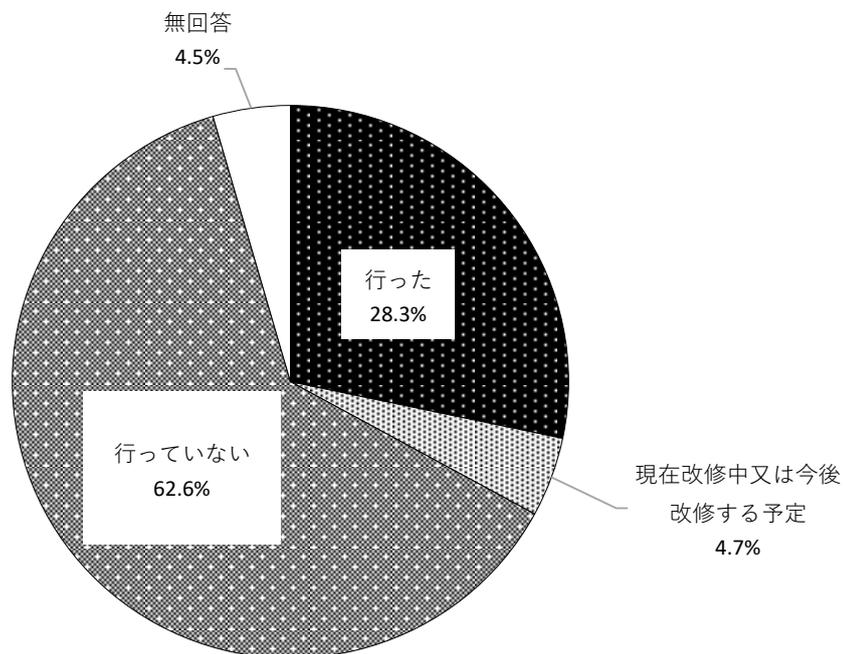
(1) 建物の耐震改修の有無

◇「行った」が2割後半となっている

問 22 現在のお住まいや所有している建物の耐震改修を行いましたか。(1つのみ)

住まいや所有建築物の耐震改修の状況については、「行っていない」が62.6%で最も高く、次いで「行った」が28.3%、「現在改装中又は今後改修する予定」が4.7%となっている。

全体 n=601

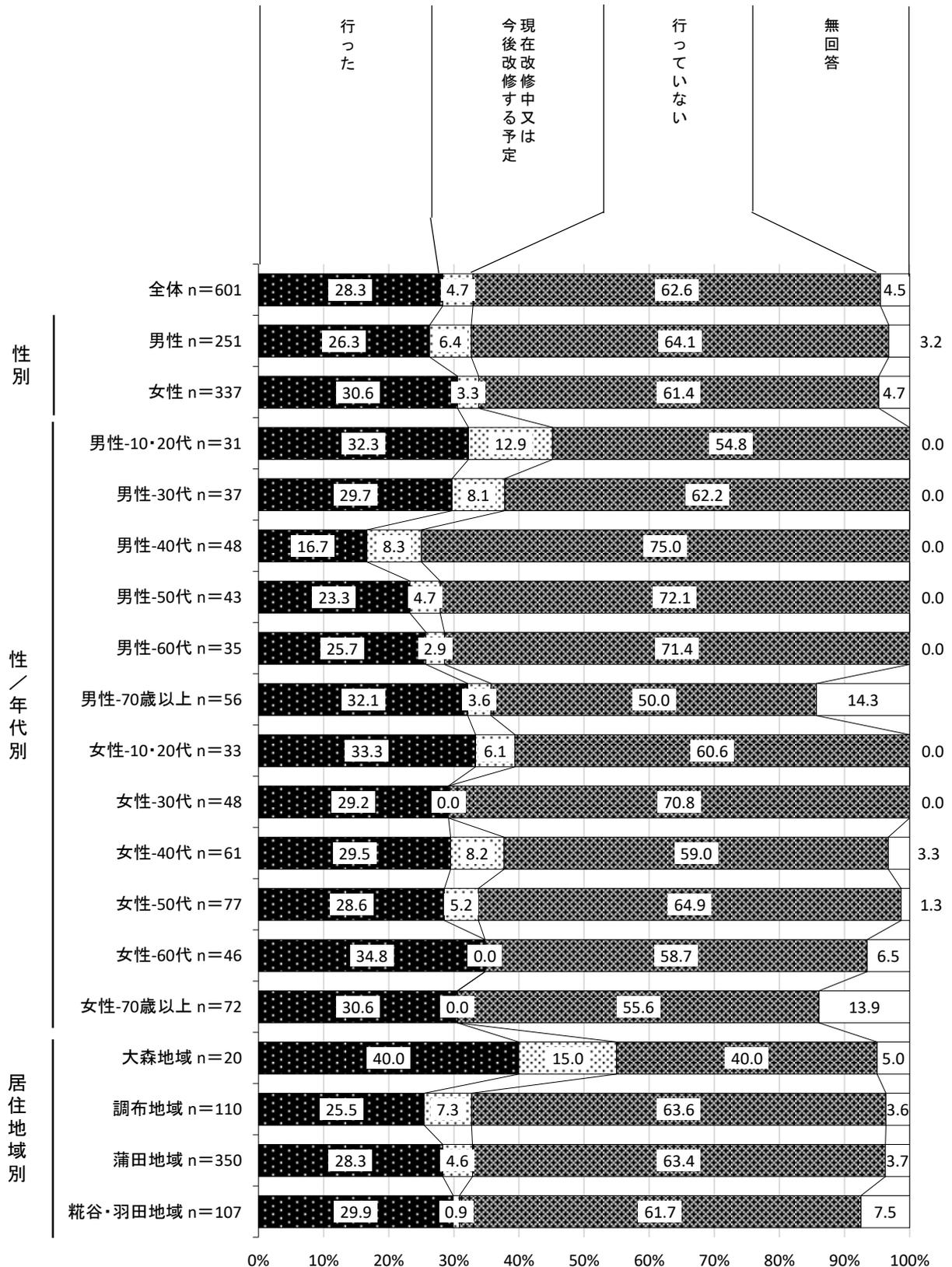


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「行った」は男性が26.3%、女性が30.6%と、女性が4.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「行った」は男性では10・20代、70歳以上で3割前半、女性では10・20代、60代で3割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「行った」は糞谷・羽田地域で約3割と高くなっている。



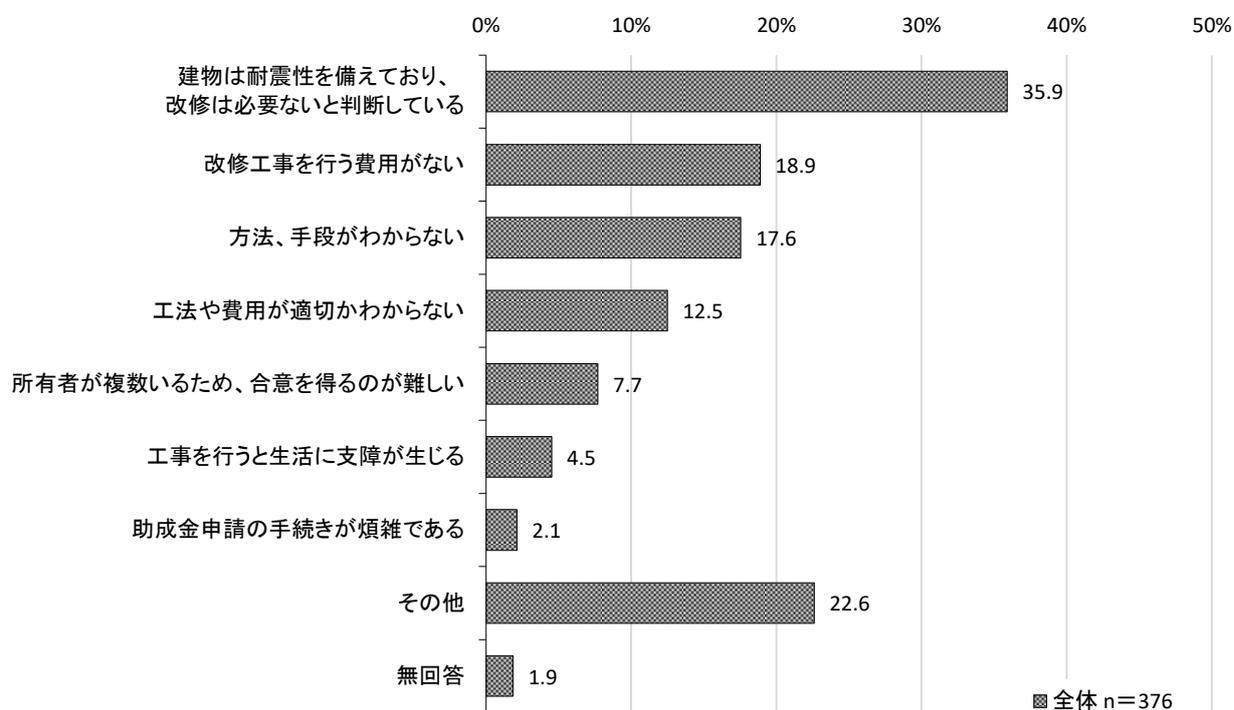
(2) 耐震改修を行っていない理由

◇「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が3割半ばで最も高くなっている

【問 22 で「3 行っていない」と回答した方に伺います。】

問 22-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(複数選択可)

耐震改修を行っていない理由については、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が35.9%、次いで「改修工事を行う費用がない」が18.9%、「方法、手段がわからない」が17.6ポイントとなっている。

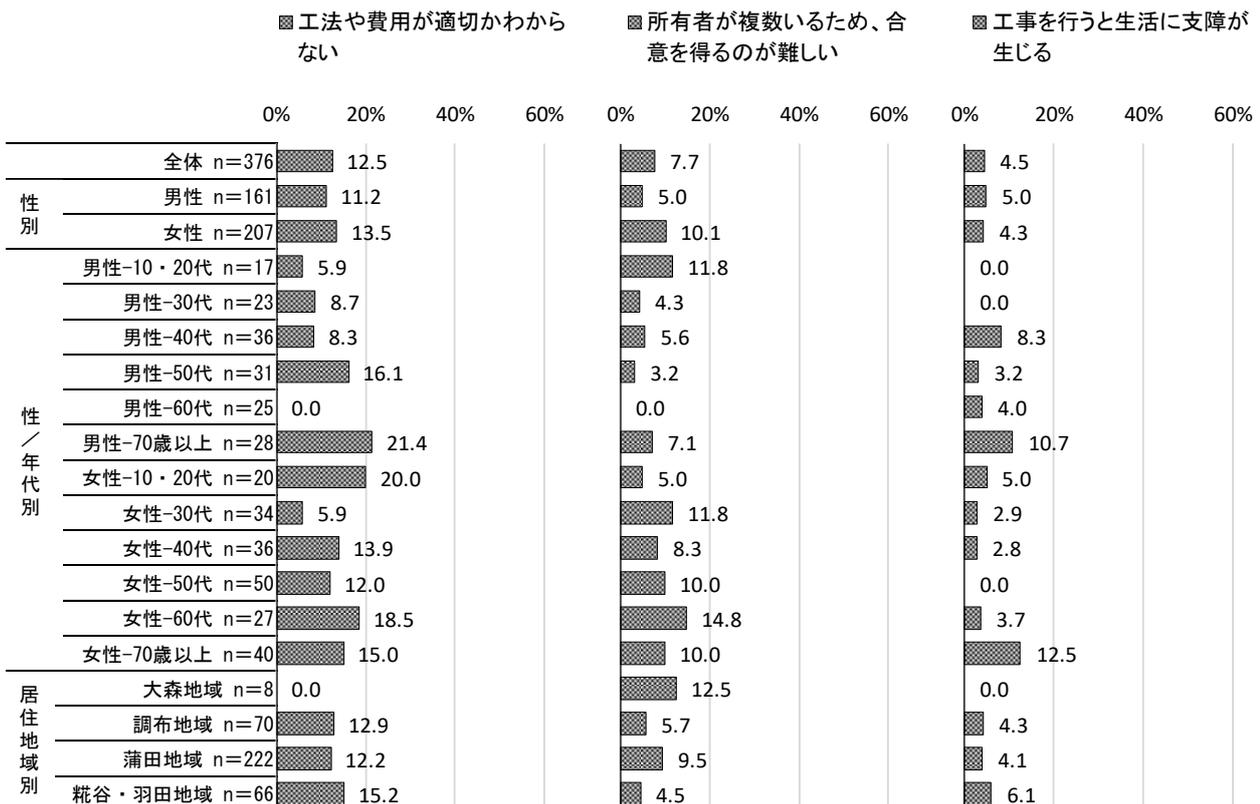
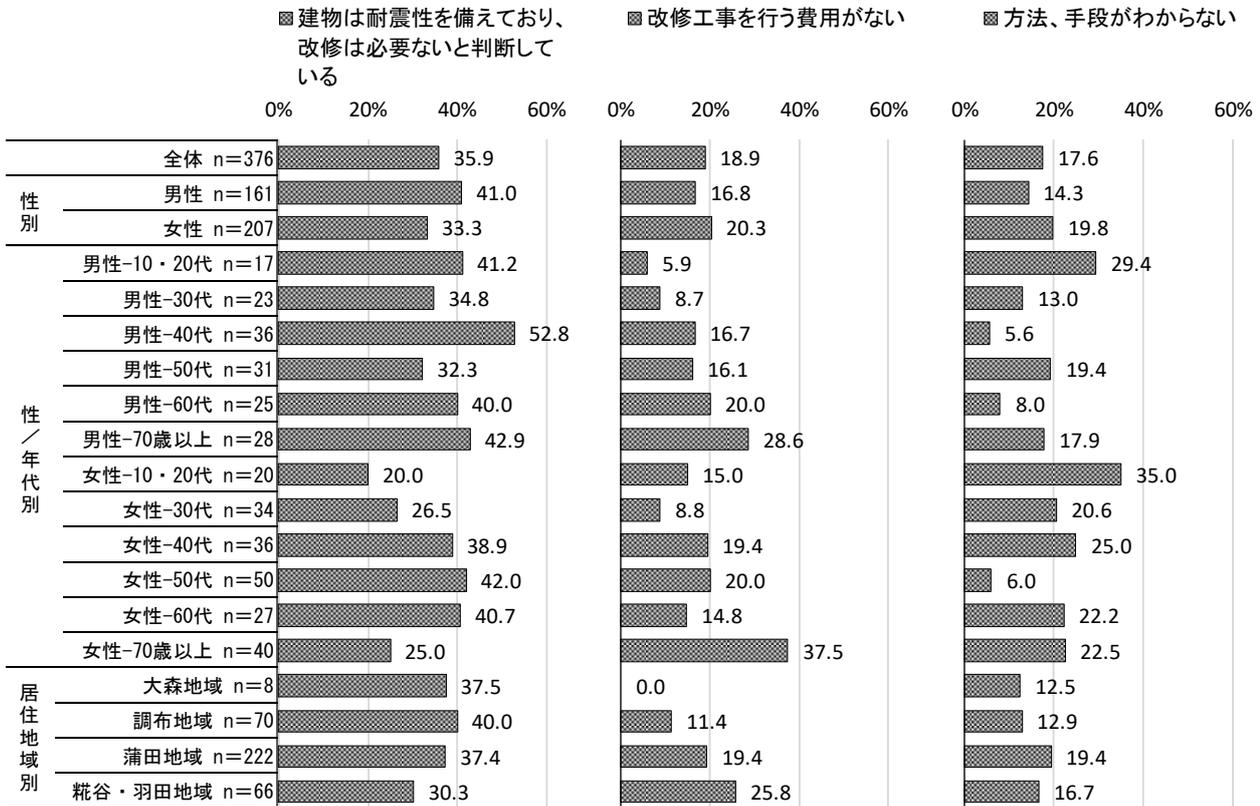


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」が最も高く、男性が41.0%、女性が33.3%と、男性が7.7ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」は男性では40代で5割前半、女性では50代で4割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、「建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している」は調布地域で4割と高くなっている。



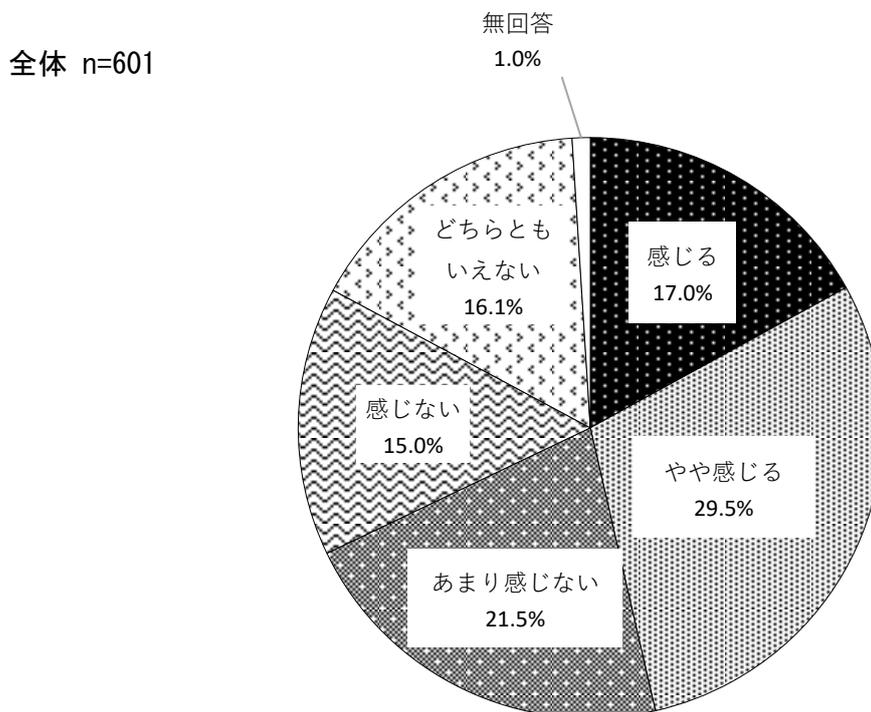
10 空港臨海部について

(1) 空港臨海部の魅力度

◇ 《感じる》(「感じる」、「やや感じる」の合計値)は4割後半となっている

問 23 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

空港臨海部に魅力を感じるかについては、「感じる」、「やや感じる」の合計値《感じる》が46.4%である一方で、「あまり感じない」、「感じない」の合計値《感じない》が36.4%と、10ポイント上回っている。

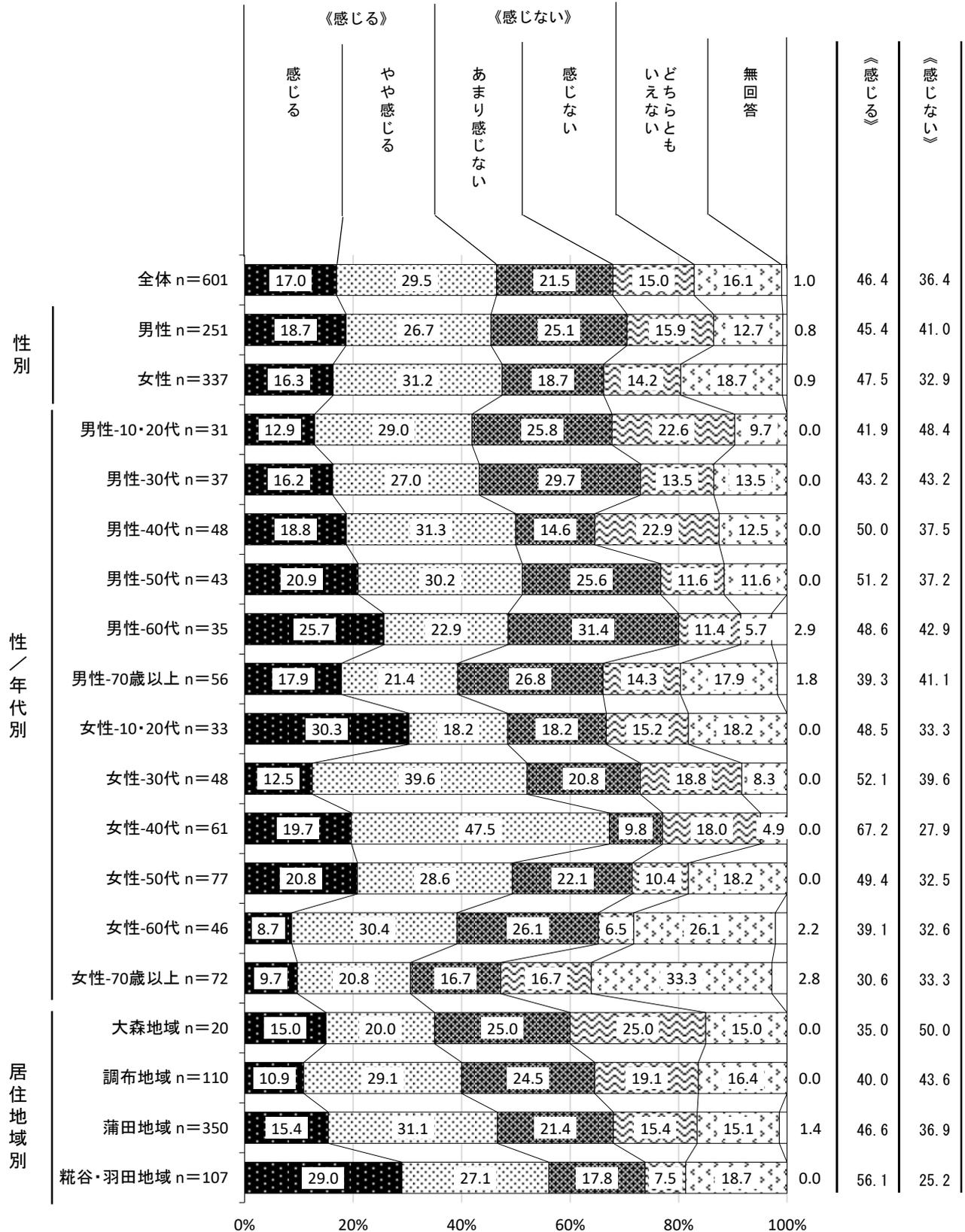


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《感じる》に大きな差はみられないものの、《感じない》では男性が41.0%、女性が32.9%と、男性が8.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《感じる》は男性50代で5割前半、女性40代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、《感じる》は糀谷・羽田地域で5割後半と高くなっている。



11 鉄道駅周辺のまちづくりについて

(1) 駅周辺のまちづくり方針の要望

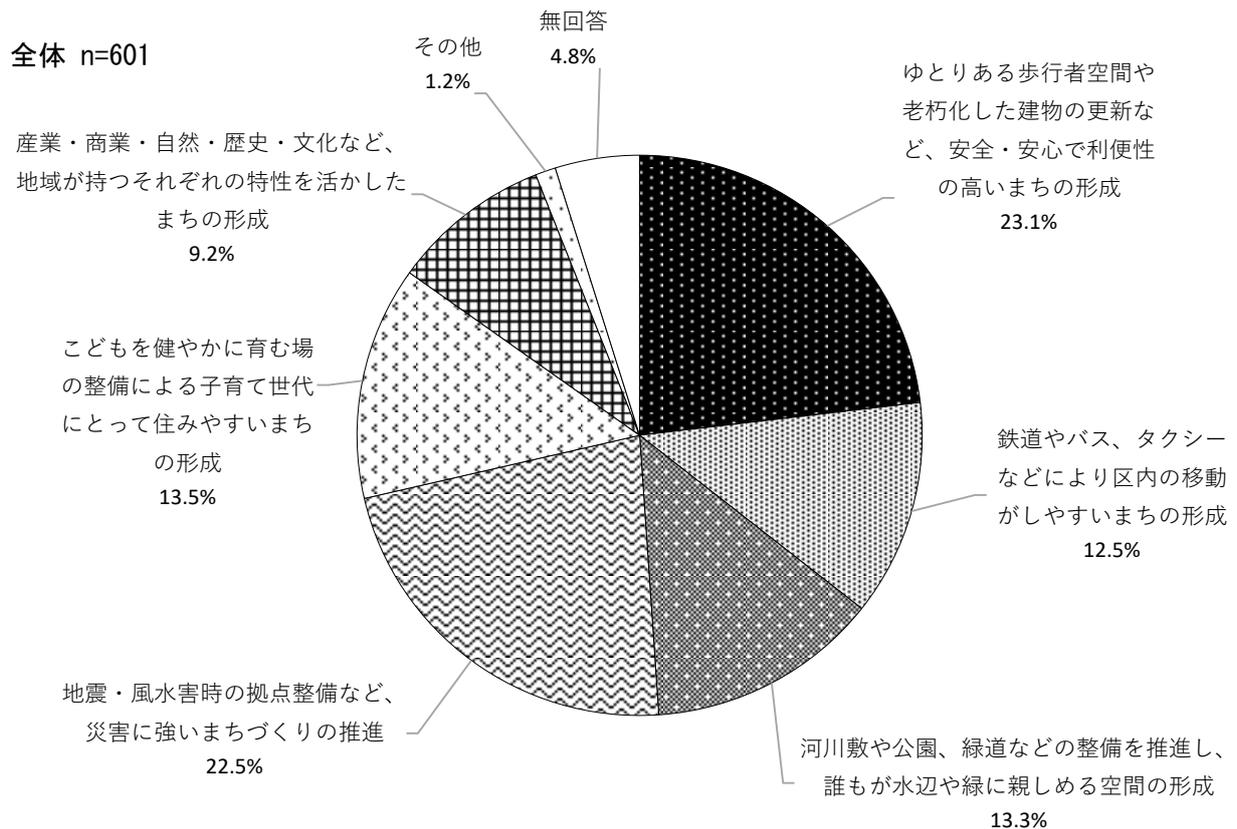
◇「ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成」が2割前半で最も高くなっている

問 24 区は「鉄道と魅力的なまちづくり宣言」に基づき、鉄道の整備と合わせて、それぞれの地域の特徴を活かした駅周辺のまちづくりを進めていく予定です。

地域の魅力向上や活性化のため、どのような取組の方針を望みますか。

※最も望む回答を1つ選択してください。(1つのみ)

駅周辺のまちづくり方針の要望については、「ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成」が23.1%、次いで「地震・風水害時の拠点整備など、災害に強いまちづくりの推進」が22.5%、「こどもを健やかに育む場の整備による子育て世代にとって住みやすいまちの形成」が13.5%となっている。

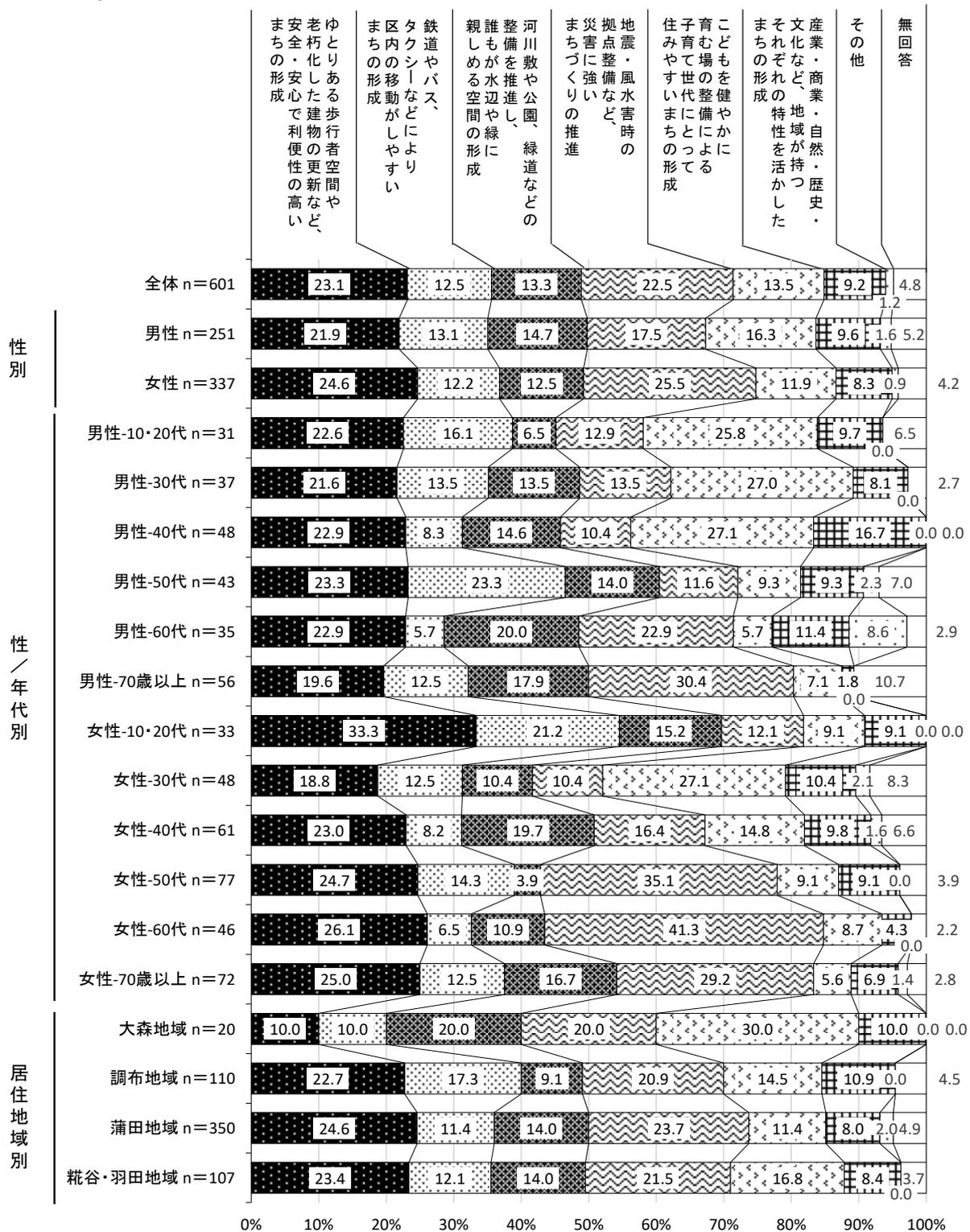


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性では「ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成」が21.9%、女性では「地震・風水害時の拠点整備など、災害に強いまちづくりの推進」が25.5%と高くなっている。

性／年代別で見ると、「ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成」は女性10・20代で3割前半、「地震・風水害時の拠点整備など、災害に強いまちづくりの推進」は女性60代で4割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域でも「ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成」、「地震・風水害時の拠点整備など、災害に強いまちづくりの推進」が高くなっている。



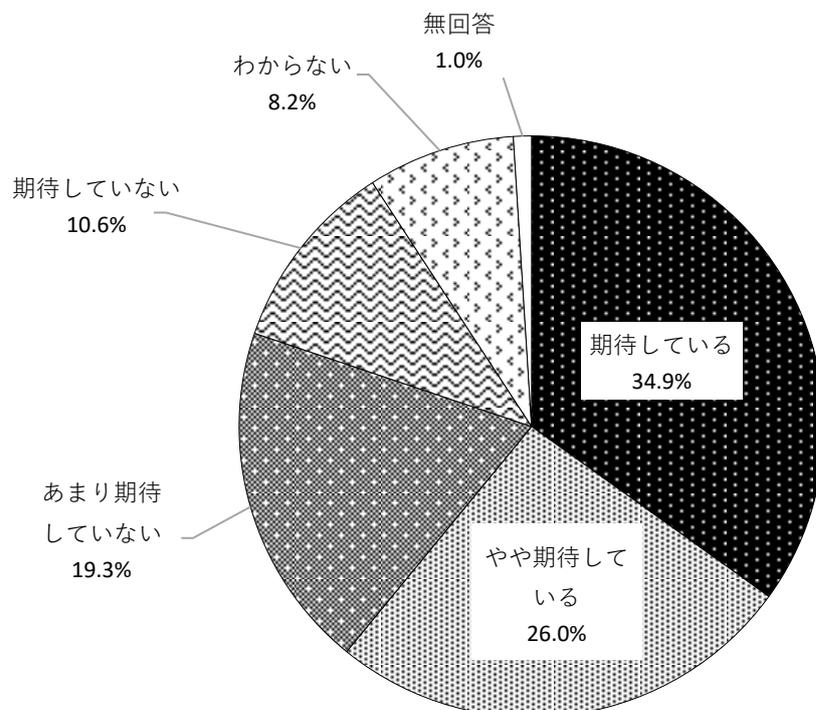
(2) 蒲田駅周辺のまちづくりによる期待度

◇《期待している》(「期待している」、「やや期待している」の合計値)は6割前半となっている

問 25 区では、新空港線の整備を好機と捉え、魅力あふれる蒲田駅周辺のまちづくりを進めています。蒲田駅周辺では、蒲田駅周辺地区ランドデザインに基づき、駅前広場に、にぎわいの拠点となるイベントスペースを確保することで、人的交流を活発化することを検討しております。この取組みによる、「地域の価値を高める空間の充実」や「文化・交流・にぎわいを生み出す活動の創出」に期待していますか。(1つのみ)

蒲田駅周辺のまちづくりによる期待度については、「期待している」、「やや期待している」の合計値《期待している》が60.9%で、「あまり期待していない」、「期待していない」の合計値《期待していない》は30.0%と、《期待している》が30.9ポイント上回っている。

全体 n=601

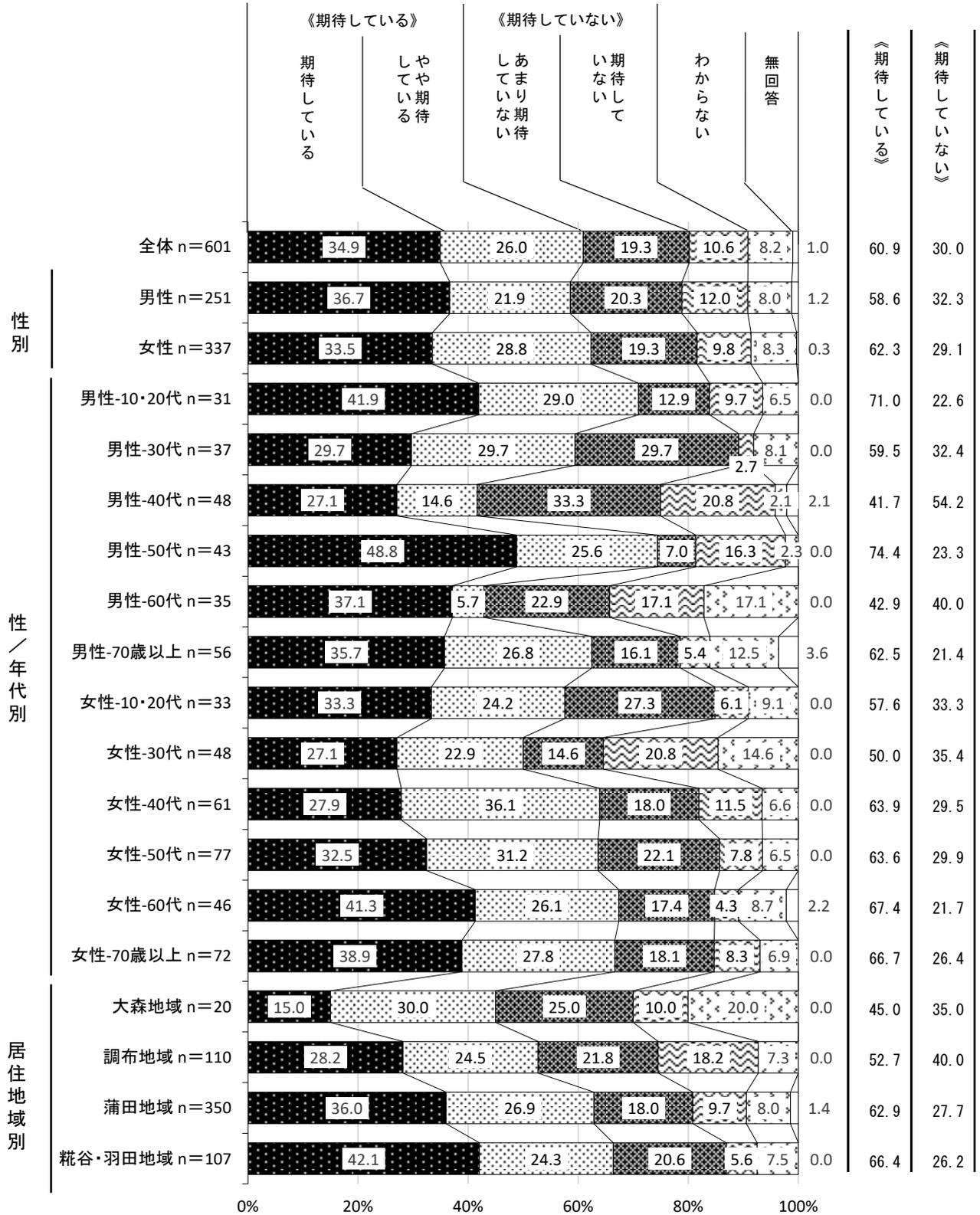


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《期待している》は男性では10・20代、50代で7割前半、女性では60代、70歳以上で6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《期待している》は糶谷・羽田地域で6割後半と高くなっている。

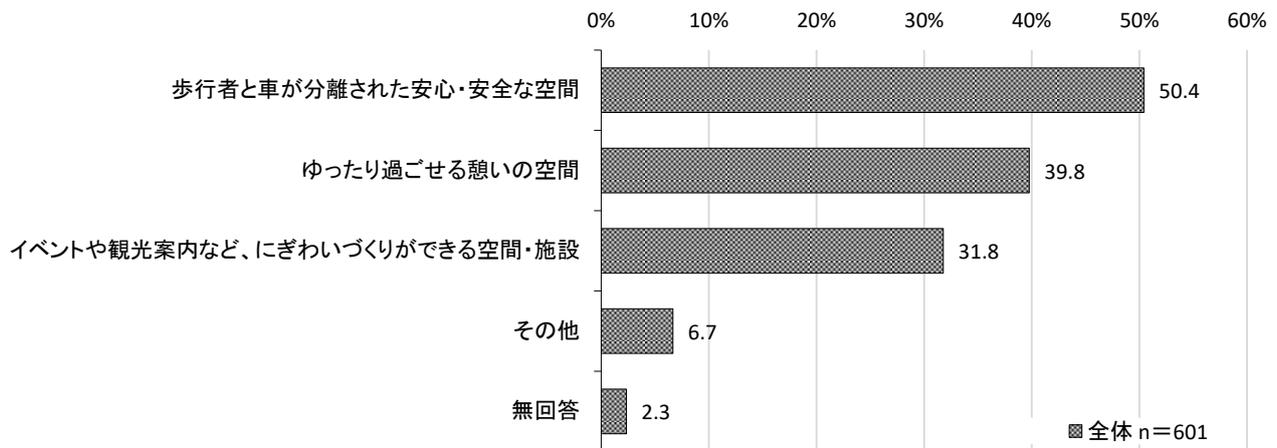


(3) 蒲田駅の駅前広場やその周辺に求める機能

◇「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が約5割で最も高くなっている

問 26 蒲田駅の駅前広場やその周辺の、にぎわい拠点に求める機能はありますか。(複数選択可)

蒲田駅の駅前広場やその周辺に求める機能については、「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が50.4%、次いで「ゆったり過ごせる憩いの空間」が39.8%と、「イベントや観光案内など、にぎわいづくりができる空間・施設」が31.8%となっている。

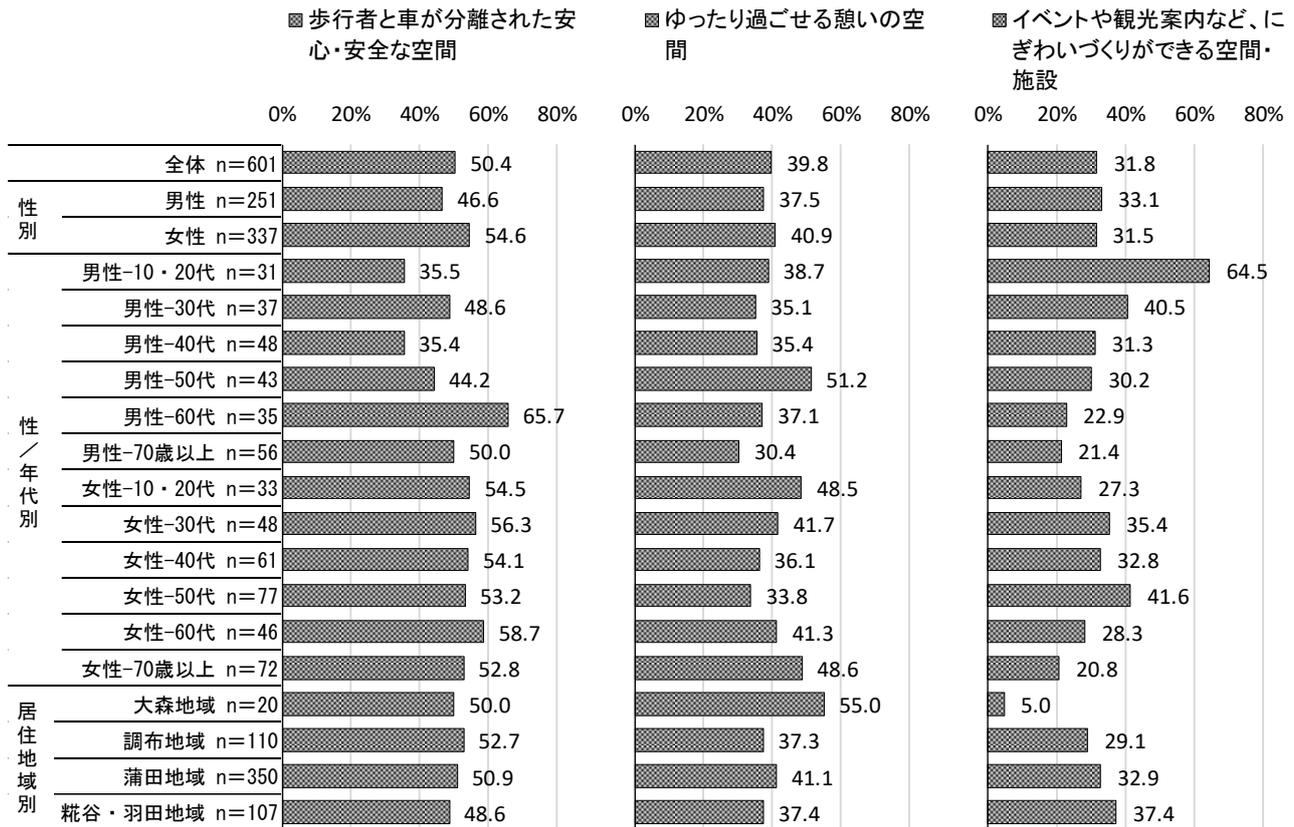


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が最も高く、男性が46.6%、女性が54.6%と、女性が8ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」は男性では60代で6割半ば、女性では30代、60代で5割後半と高くなっている。「ゆったり過ごせる憩いの空間」は男性50代で5割前半、女性10・20代、70歳以上で4割後半と高くなっている。「イベントや観光案内など、にぎわいづくりができる空間・施設」は男性10・20代で6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、いずれの地域でも「歩行者と車が分離された安心・安全な空間」が最も高くなっている。



12 羽田空港跡地について

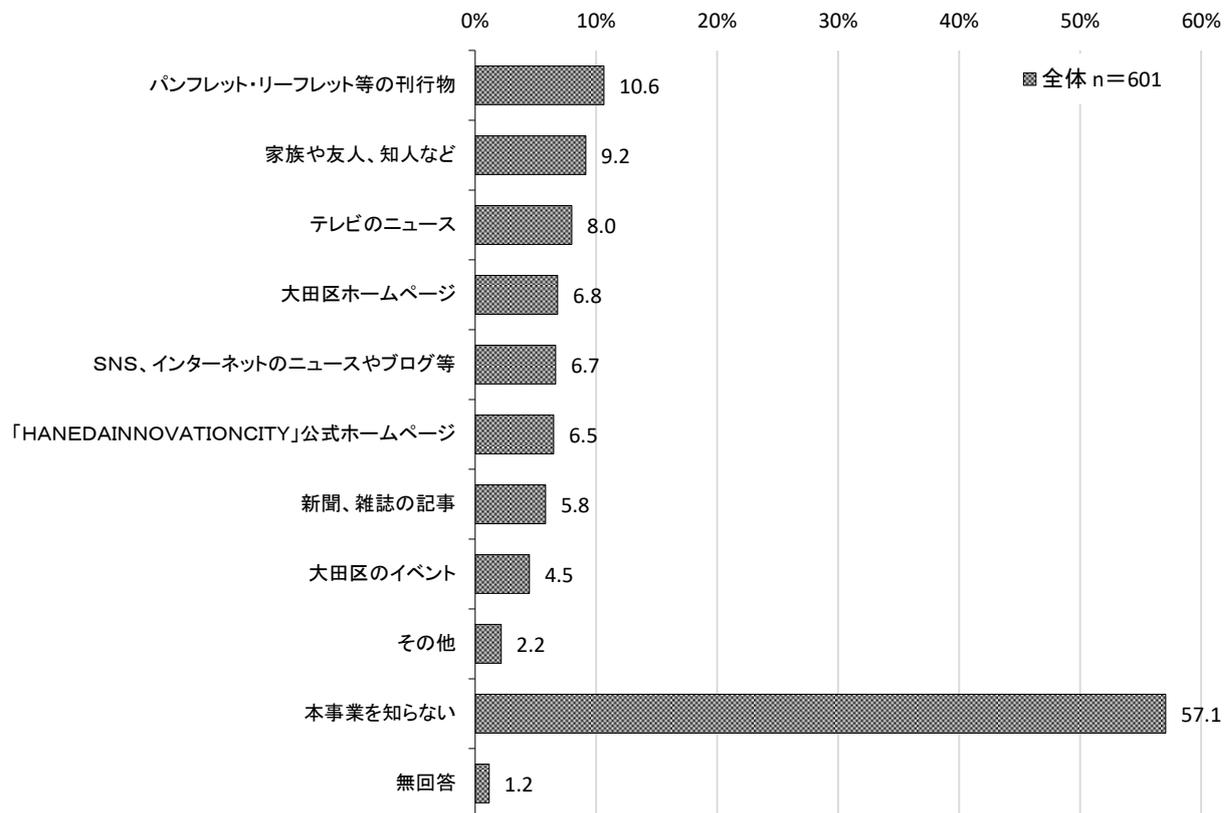
(1) 「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」の認知方法

◇ 「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が1割前半で最も高くなっている

問 27 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。(複数選択可)

“羽田空港跡地第1ゾーン整備事業”を認知したきっかけについては、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が10.6%で最も高く、次いで「家族や友人、知人など」が9.2%、「テレビのニュース」が8.0%となっている。

なお、「本事業を知らない」は57.1%となっている。

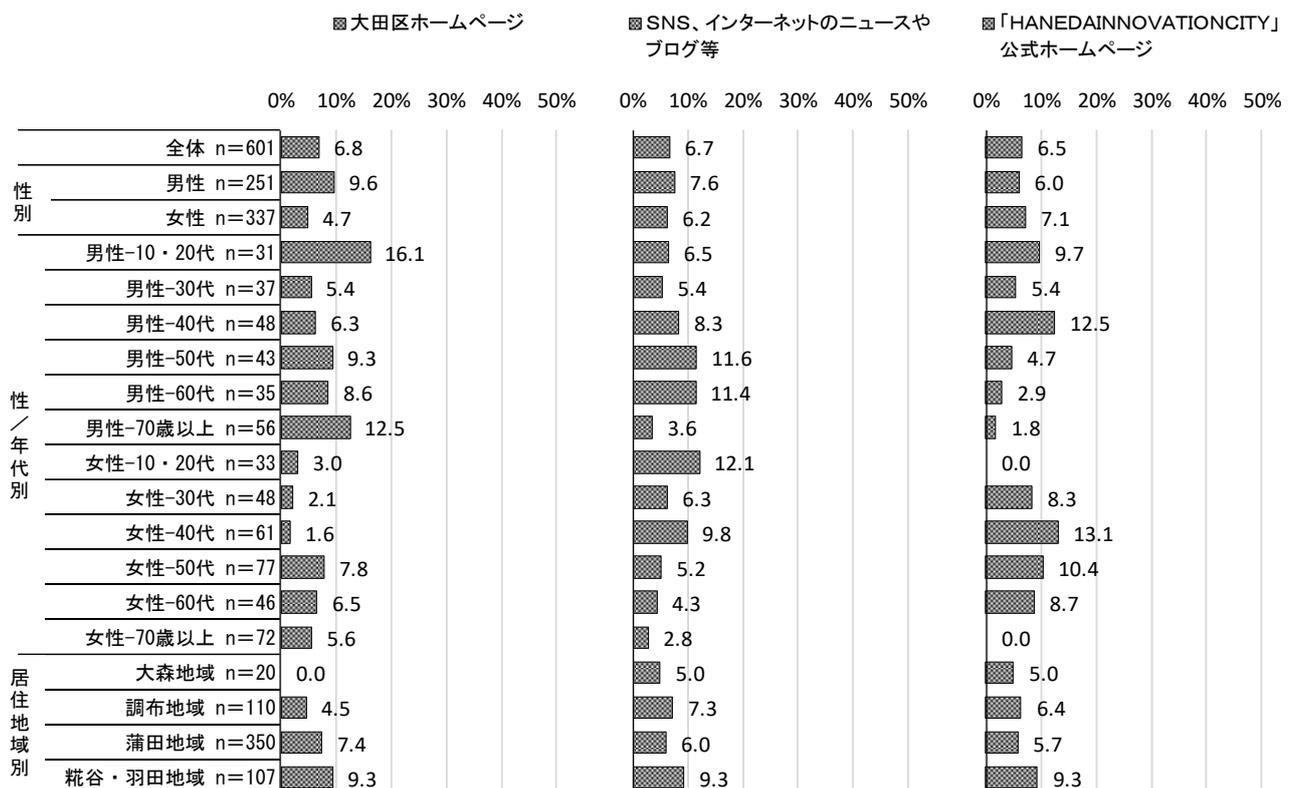
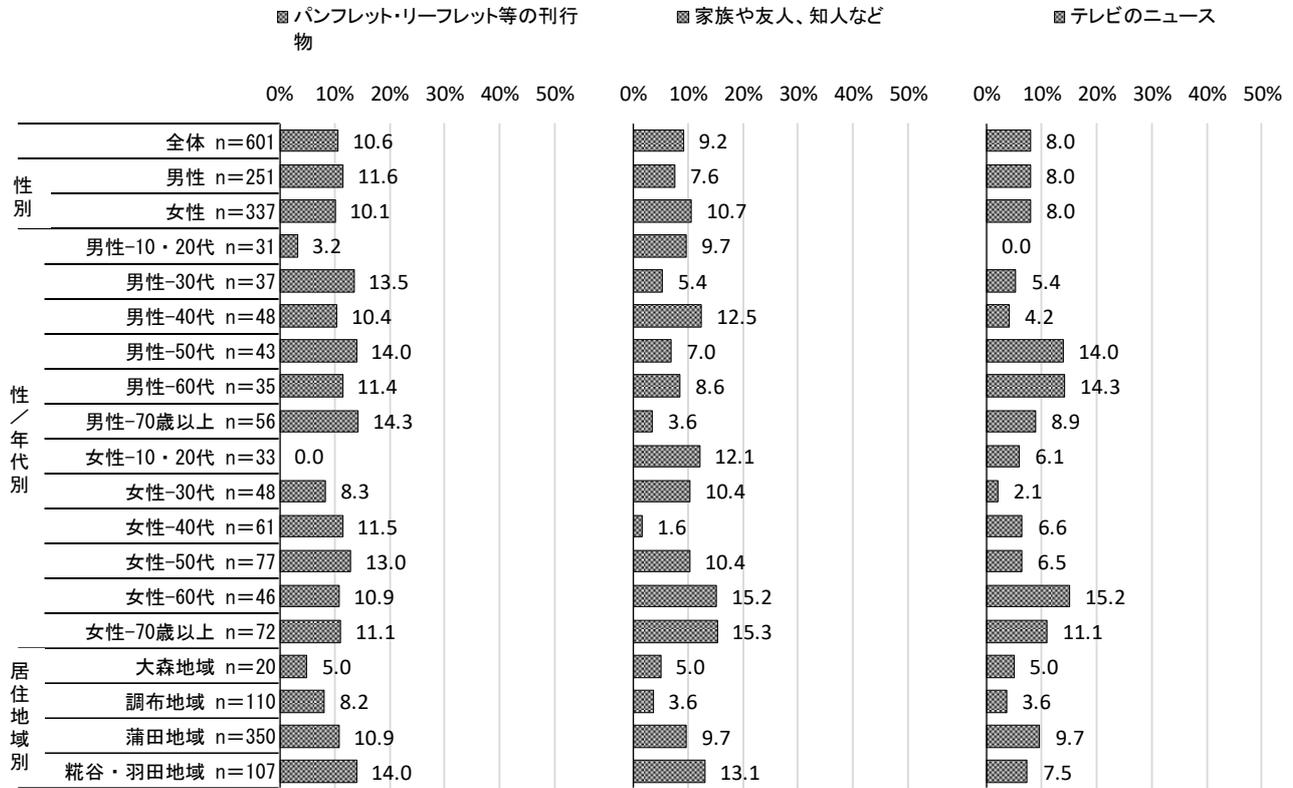


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性では「パンフレット・リーフレット等の刊行物」が、女性では「家族や友人、知人など」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「大田区のホームページ」は男性10・20代で1割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「パンフレット・リーフレット等の刊行物」は糞谷・羽田地域で1割前半と高くなっている。



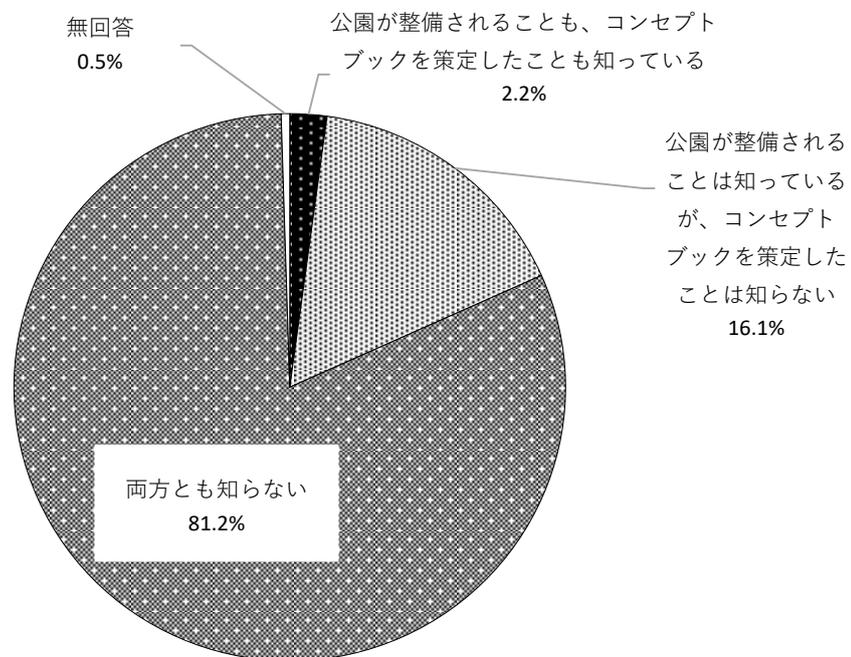
(2) 「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」の認知度

◇「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」は1割未満となっている

問 28 羽田空港跡地第1ゾーンに公園が整備される予定があります。その整備・運営について「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」を策定しました。これらのことを知っていますか。(1つのみ)

“羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック”の認知度については、「両方とも知らない」が81.2%で最も高く、次いで「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」が16.1%、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」が2.2%となっている。

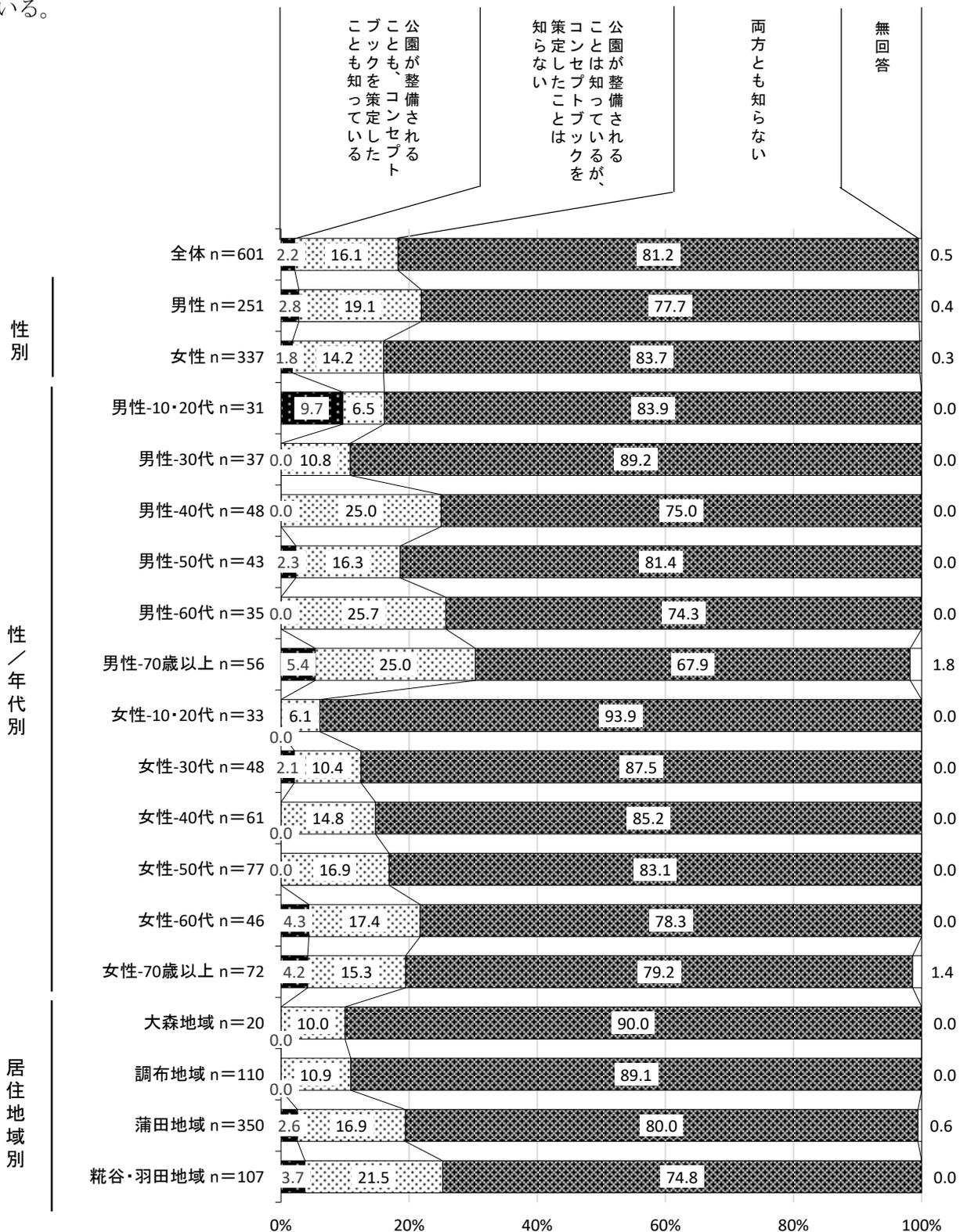
全体 n=601



■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」は男性2.8%、女性1.8%と、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」は男性10・20代で約1割と高くなっている。「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」は男性40代、60代、70歳以上で2割半ばと高くなっている。居住地域別で見ると、「公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている」、「公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない」は糞谷・羽田地域で最も高くなっている。

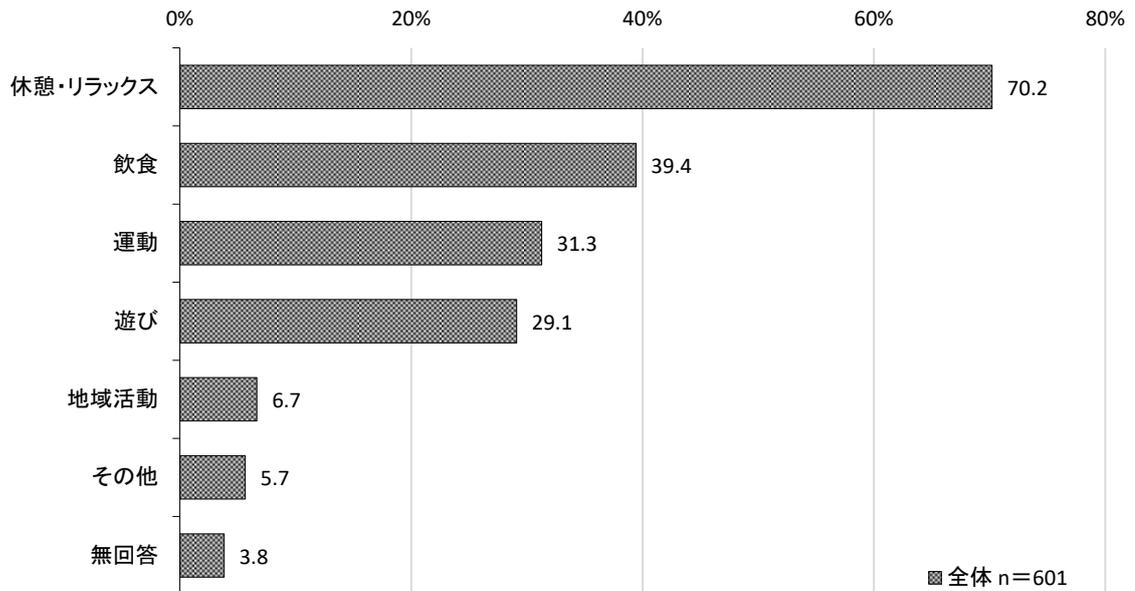


(3) 整備される公園でしてみたいこと

◇「休憩・リラックス」が約7割で最も高くなっている

問 29 問 28 で整備される予定の公園でしてみたいことはありますか。(複数選択可)

整備される公園でしてみたいことについては、「休憩・リラックス」が70.2%で最も高く、次いで「飲食」が39.4%、「運動」が31.3%となっている。

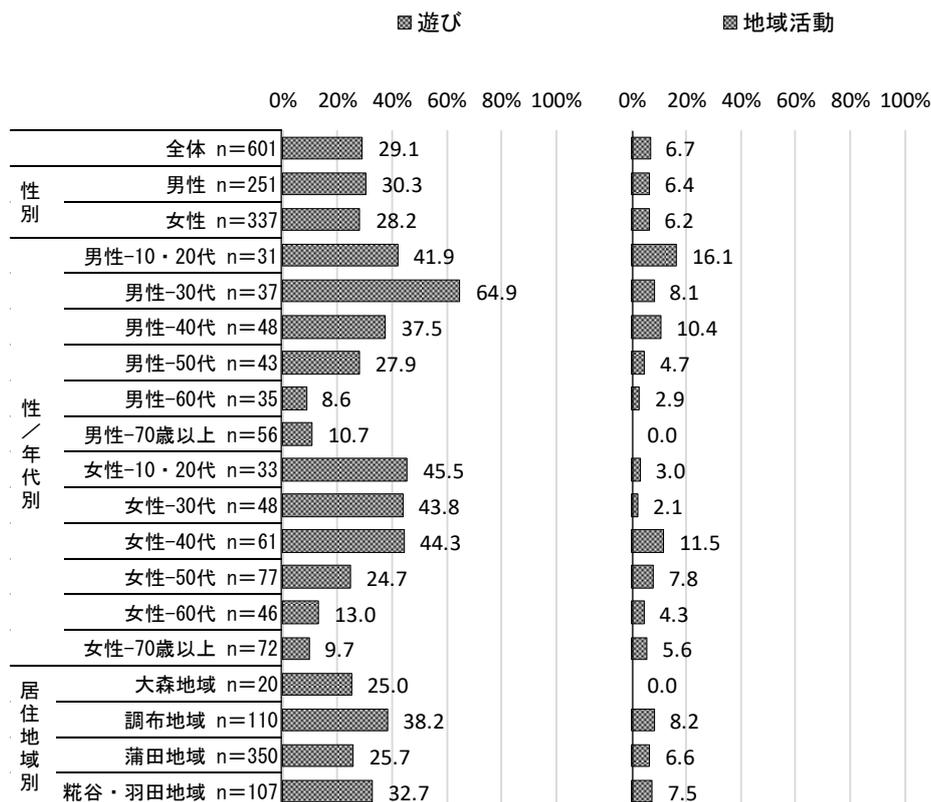
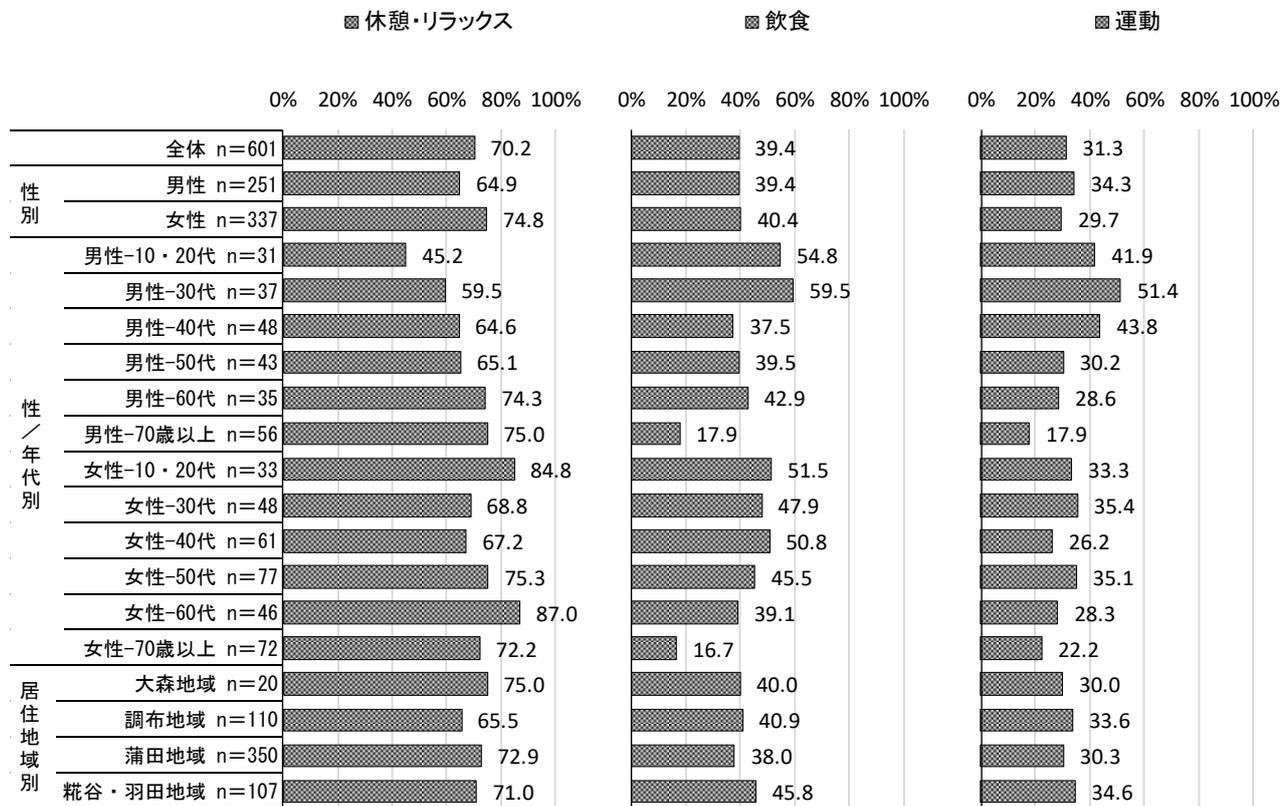


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高く、男性64.9%、女性74.8%と、女性が9.9ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「休憩・リラックス」は男性では70歳以上で7割半ば、女性では60代で8割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「休憩・リラックス」は蒲田地域、糎谷・羽田地域で7割前半と高くなっている。



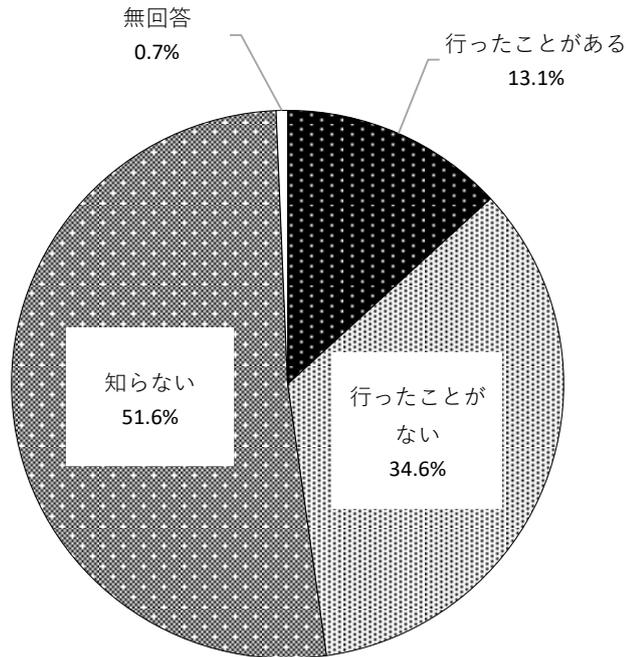
(4) 「ソラムナード羽田緑地」の利用有無

◇ 「行ったことがある」は1割前半となっている

問 30 羽田空港跡地の多摩川沿い（第2ゾーン）に「ソラムナード羽田緑地」（1,100m×15m程度）があります。スカシユリや飛行機のビュースポットが見所ですが、ここに行ったことはありますか。（1つのみ）

“ソラムナード羽田緑地”の利用状況については、「知らない」が51.6%で最も高く、次いで「行ったことがない」が34.6%、「行ったことがある」が13.1%となっている。

全体 n=601

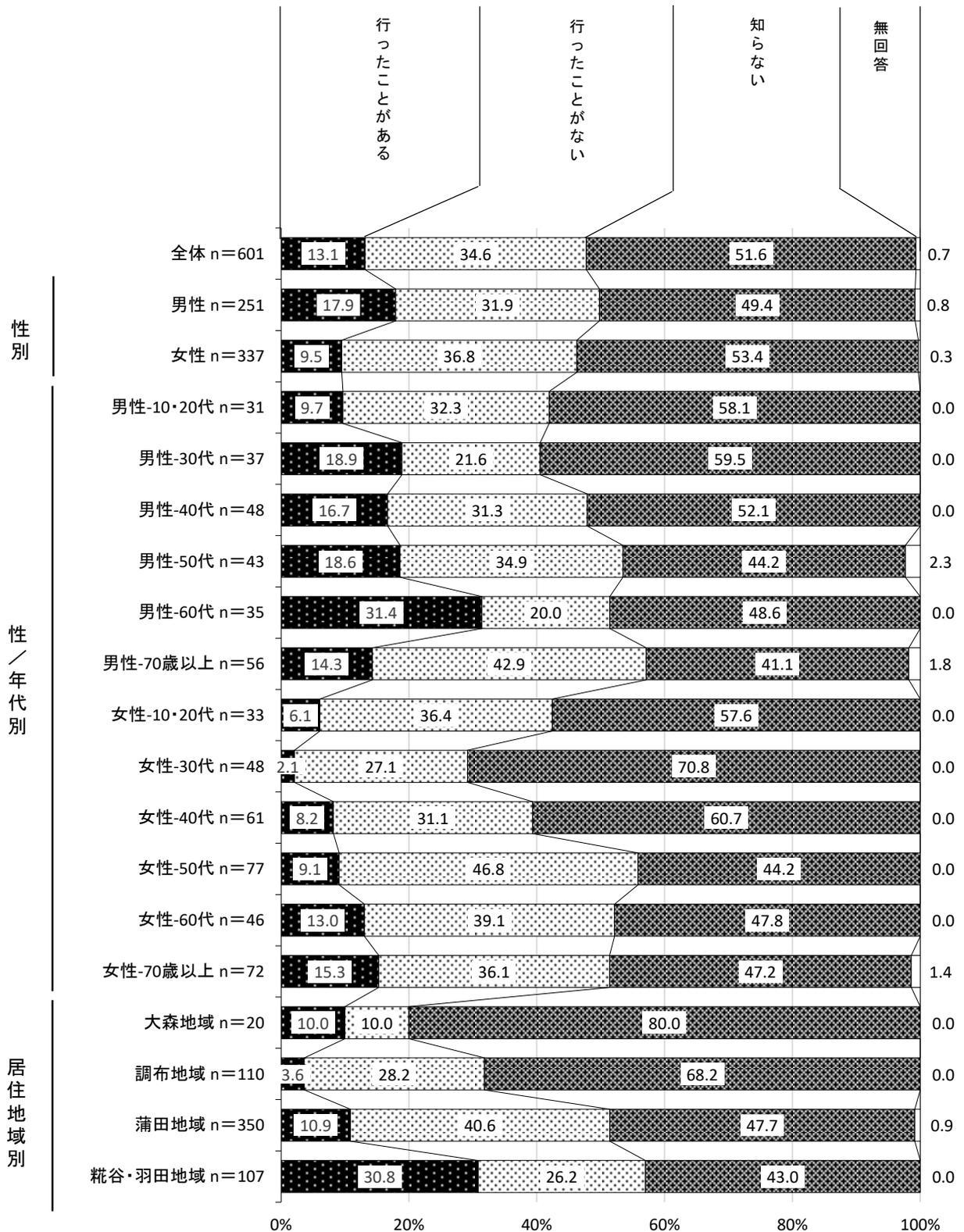


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「行ったことがある」は男性が17.9%、女性が9.5%と、男性が8.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「行ったことがある」は男性では60代で3割前半、女性では70歳以上で1割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「行ったことがある」は糀谷・羽田地域で3割前半と高くなっている。

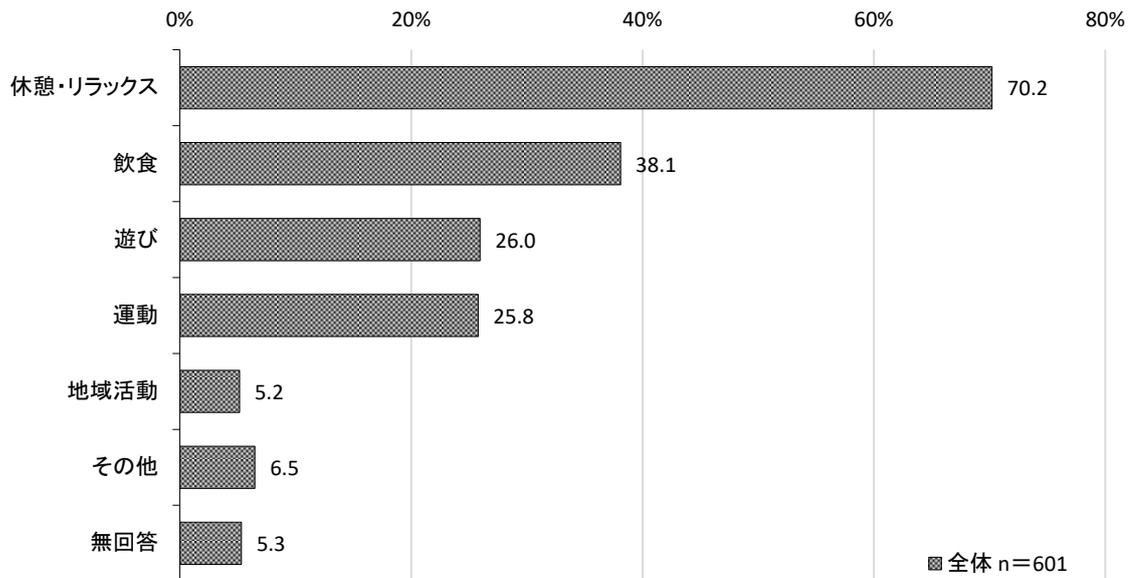


(5) 「ソラムナード羽田緑地」でしてみたいこと

◇「休憩・リラックス」が約7割で最も高くなっている

問 31 「ソラムナード羽田緑地」は、今年度さらに拡張します。ここでしてみたいことはありますか。(複数選択可)

“ソラムナード羽田緑地”でしてみたいことについては、「休憩・リラックス」が70.2%で最も高く、次いで「飲食」が38.1%、「遊び」が26.0%となっている。

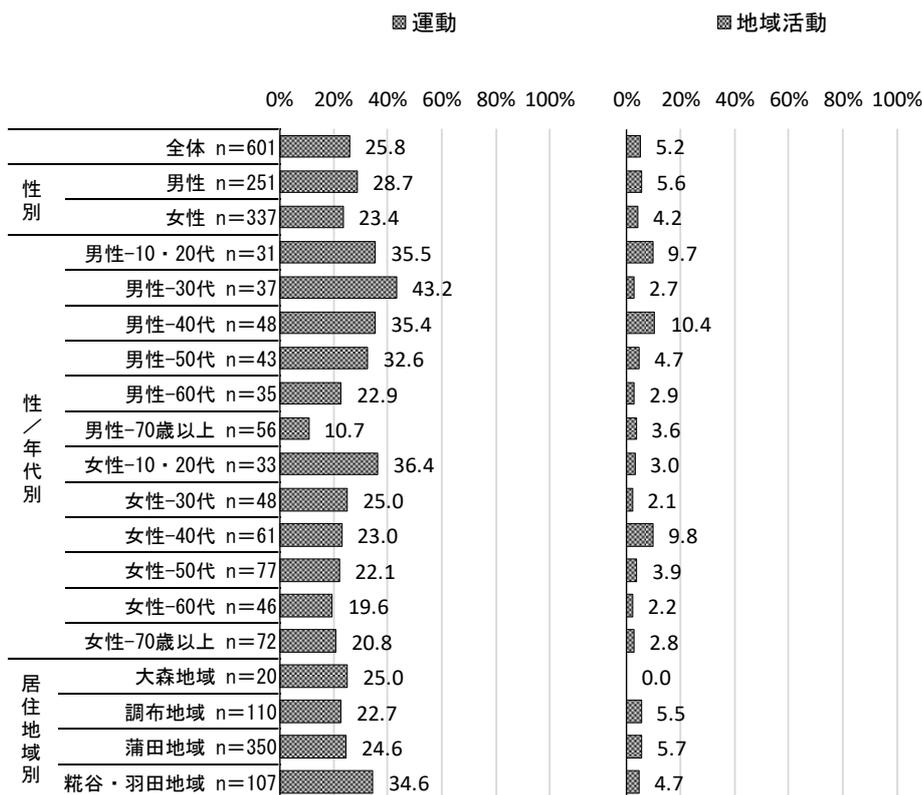
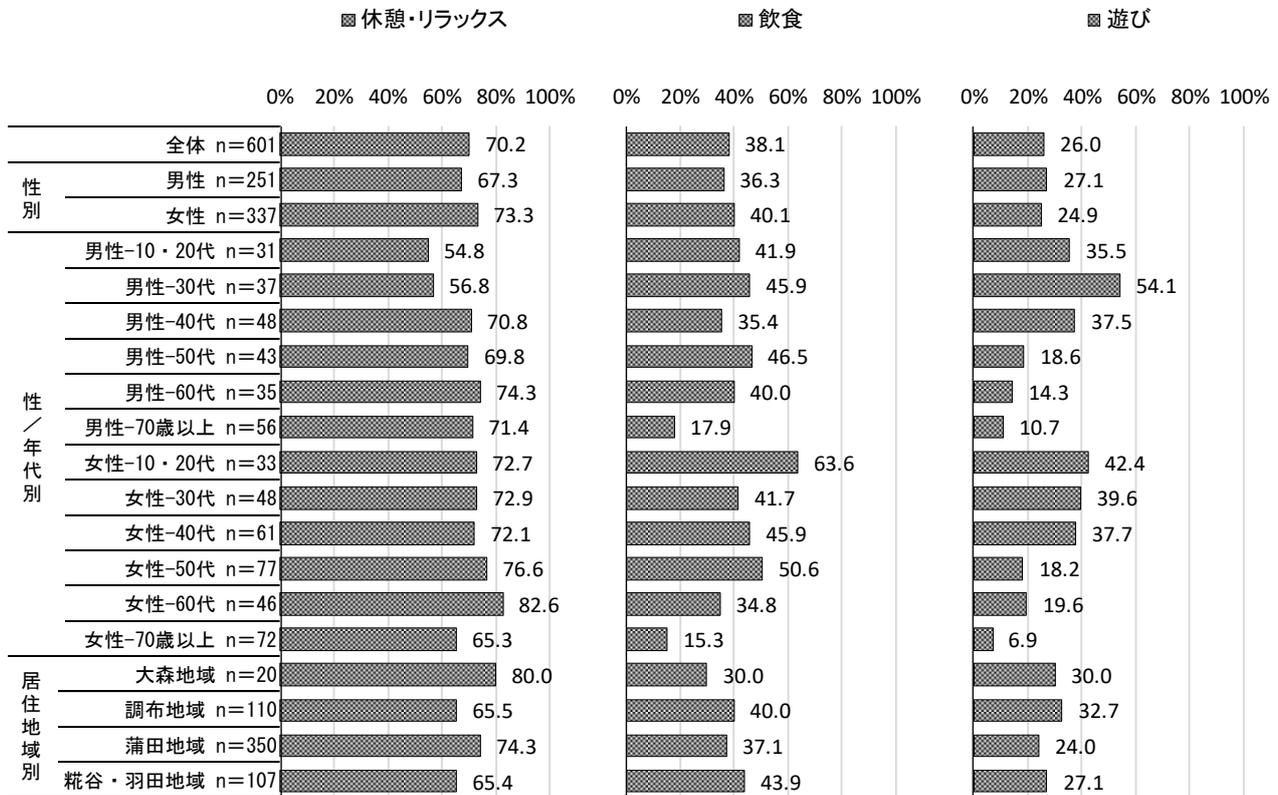


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「休憩・リラックス」が最も高く、男性67.3%、女性73.3%と、女性が6ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「休憩・リラックス」は男性では60代で7割前半、女性では60代で8割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「休憩・リラックス」は蒲田地域で7割前半と高くなっている。



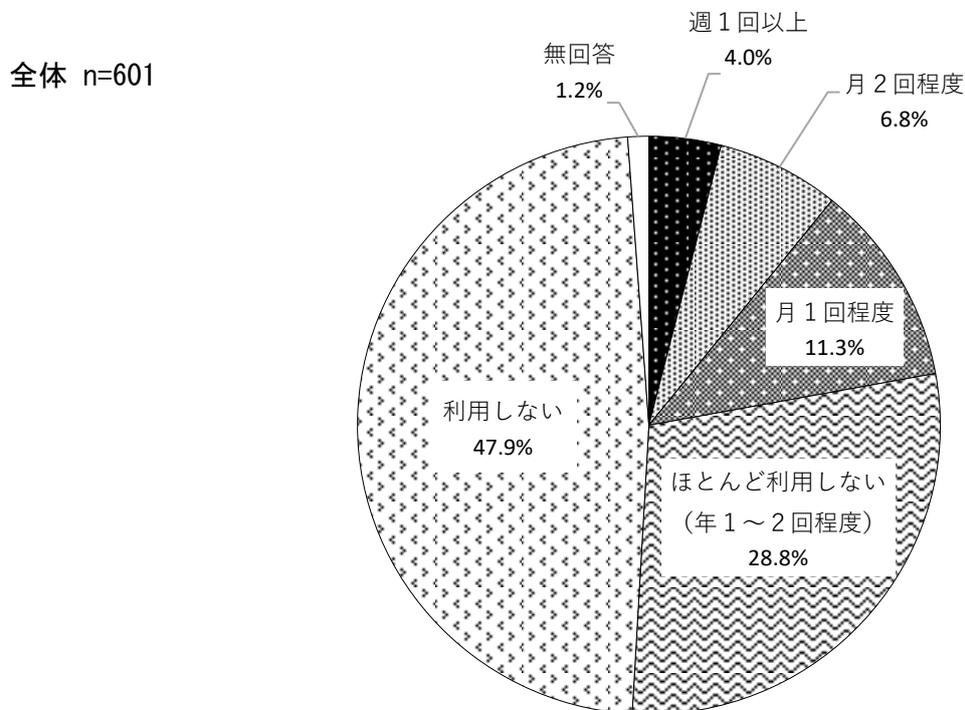
13 図書館について

(1) 図書館等の利用頻度

◇ 《利用している》（「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値）は2割前半となっている

問 32 大田区立図書館又は文化の森情報館（電子書籍貸出サービスを含む）をどのくらい利用していますか。（1つのみ）

図書館等の利用頻度については、「週1回以上」、「月2回程度」、「月1回程度」の合計値《利用している》が22.1%である一方で、「ほとんど利用しない（年1～2回程度）」、「利用しない」の合計値《利用しない》は76.7%と、「利用しない」が54.6ポイント上回っている。

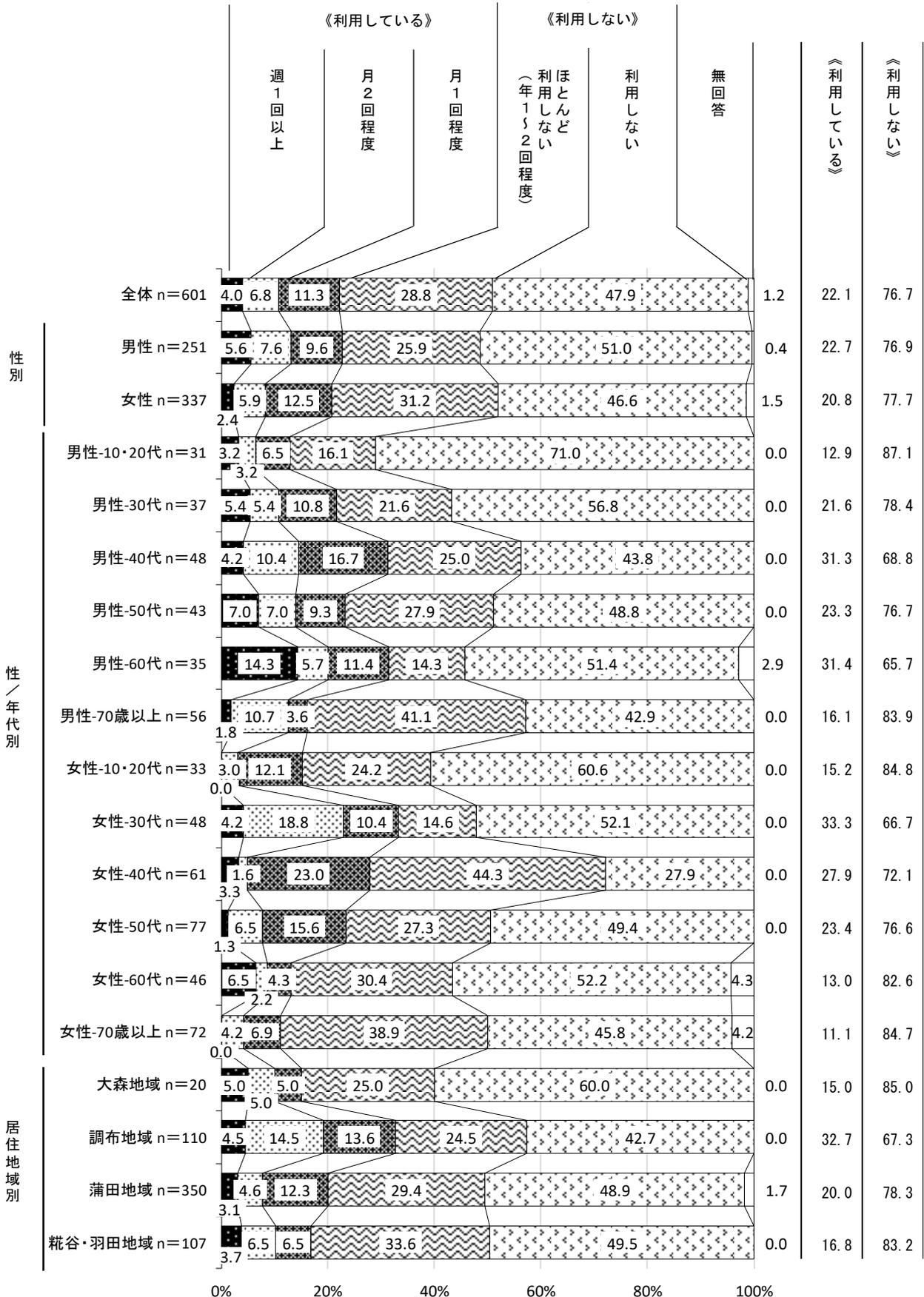


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、《利用している》は男性では40代、60代、女性では30代で3割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、《利用している》は調布地域で3割前半と高くなっている。



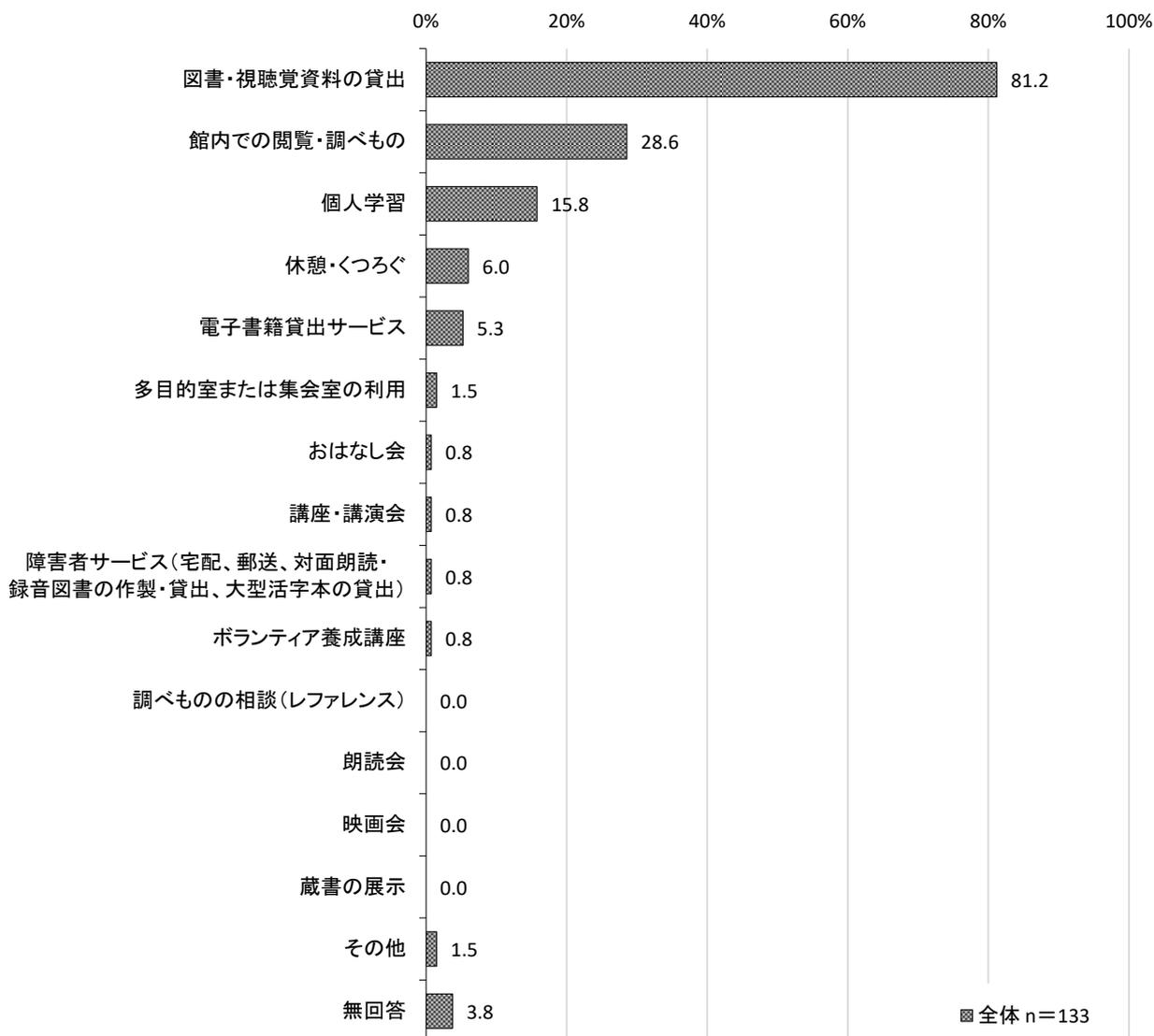
(2) 図書館で主に利用する機能・サービス

◇「図書・視聴覚資料の貸出」が8割前半で最も高くなっている

【問32で「1週1回以上」「2月2回程度」「3月1回程度」と回答した方に伺います。】

問32-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(複数選択可)

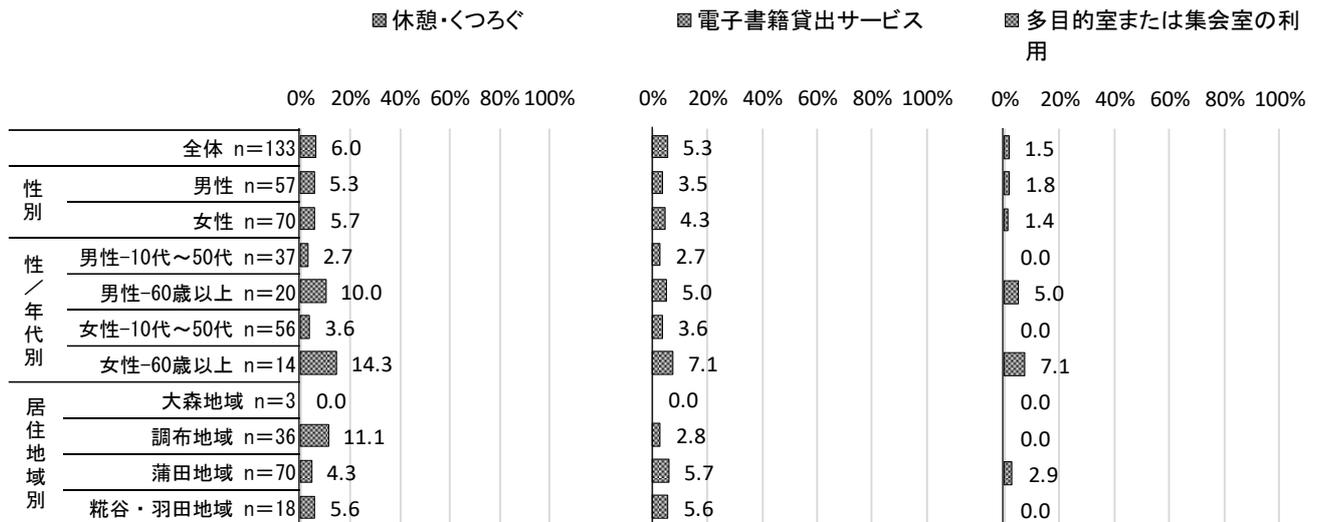
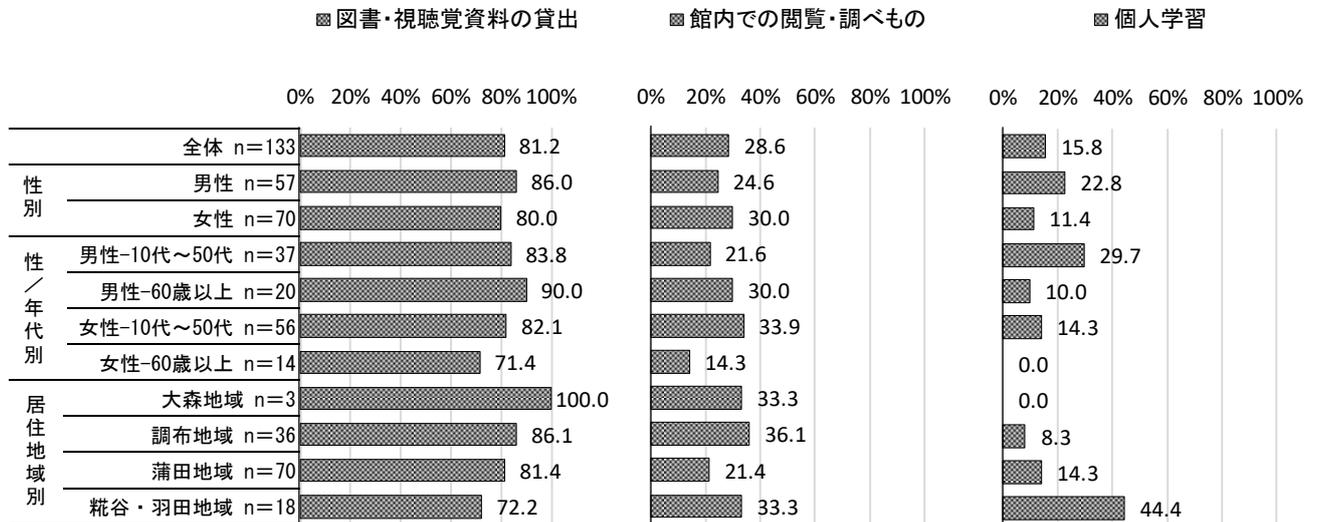
図書館で主に利用する機能・サービスについては、「図書・視聴覚資料の貸出」が81.2%で最も高く、次いで「館内での閲覧・調べもの」が28.6%、「個人学習」が15.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「図書・視聴覚資料の貸出」が最も高く、男性86.0%、女性80.0%と、男性が6ポイント上回っている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「図書・視聴覚資料の貸出」が最も高くなっている。



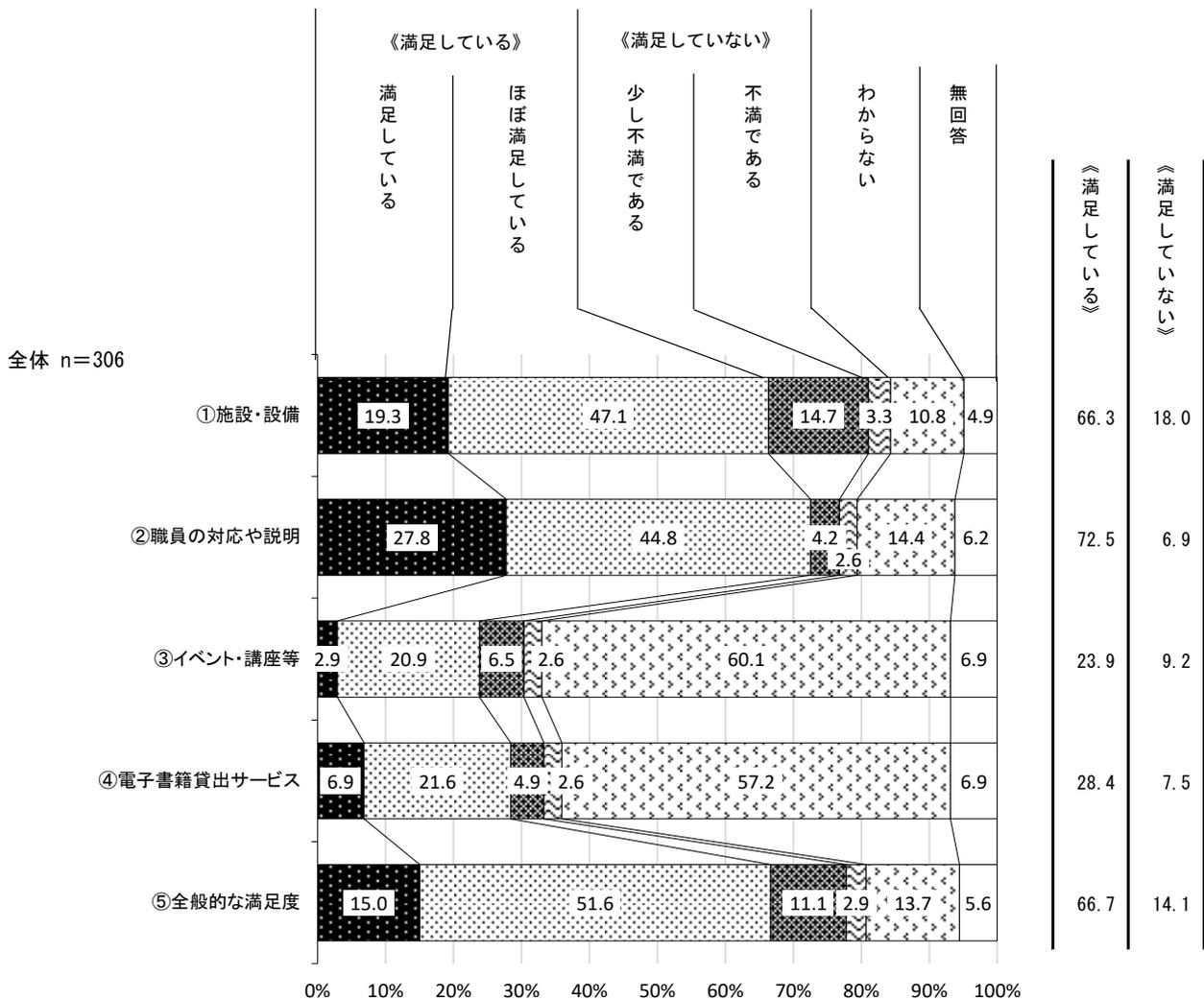
(3) 図書館の満足度

◇②職員の対応や説明の《満足している》(「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値)は7割前半で最も高くなっている

【問 32 で「1 週 1 回以上」「2 月 2 回程度」「3 月 1 回程度」「4 ほとんど利用しない (年 1～2 回程度) と回答した方に伺います。】

問 32-2 図書館について、どの程度満足していますか。1 から 5 のそれぞれに回答ください。
(それぞれ1つのみ)

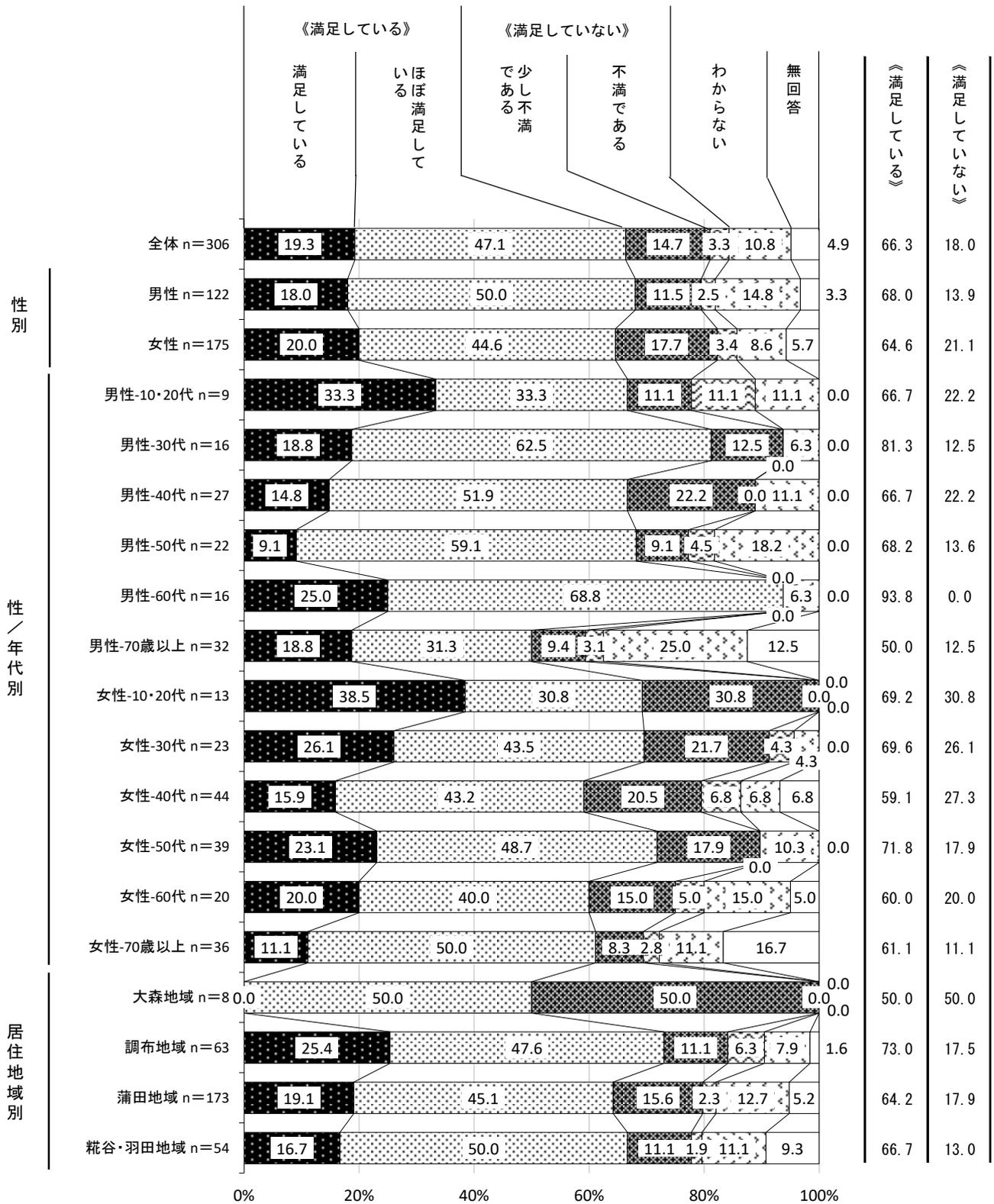
図書館の満足度については、②職員の対応や説明の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 72.5%と最も高く、次いで⑤全般的な満足度の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 66.7%、①施設・設備の「満足している」、「ほぼ満足している」の合計値《満足している》が 66.3%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別_①施設・設備

性別で見ると、《満足している》は男性68.0%、女性64.6%と、男性が3.4ポイント上回っている。

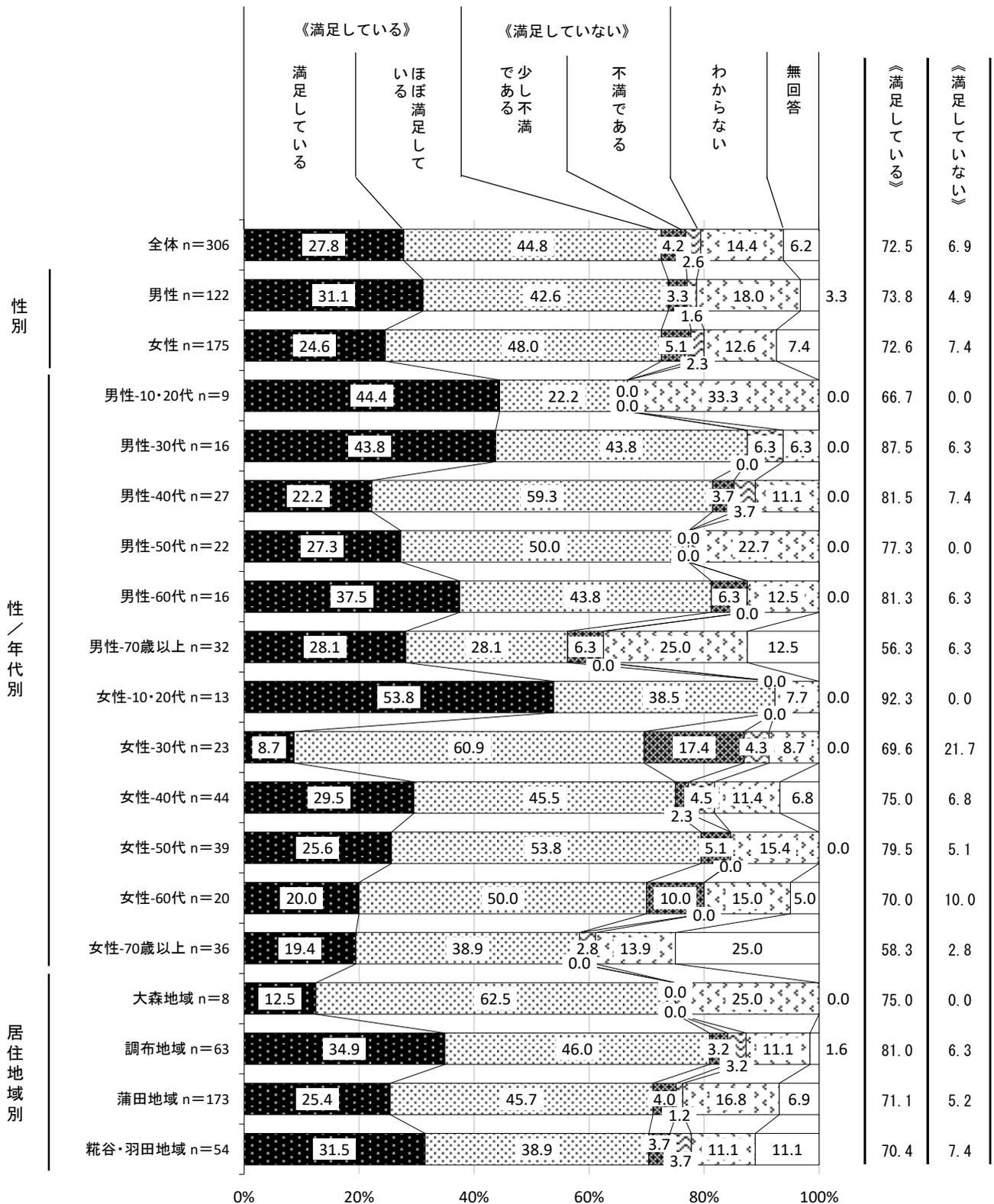
居住地域別で見ると、《満足している》は調布地域で7割前半、その中の「満足している」が2割半ばと高くなっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_②職員の対応や説明

性別で見ると、《満足している》に大きな差はみられないものの、「満足している」では男性が31.1%、女性が24.6%と、男性が6.5ポイント上回っている。

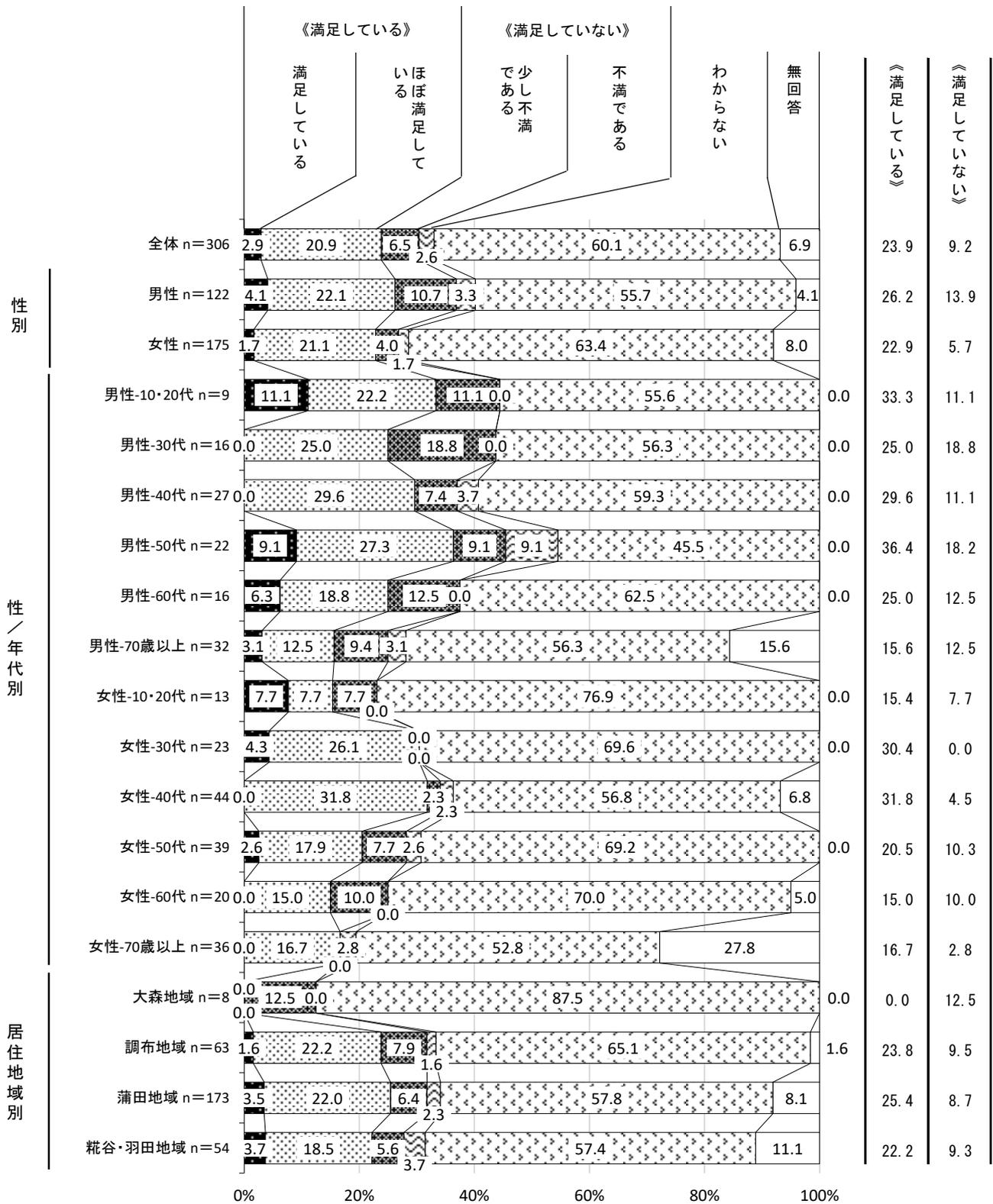
居住地域別で見ると、《満足している》は調布地域で8割前半と高くなっている。



■性別・性/年代別・居住地域別_③イベント・講座等

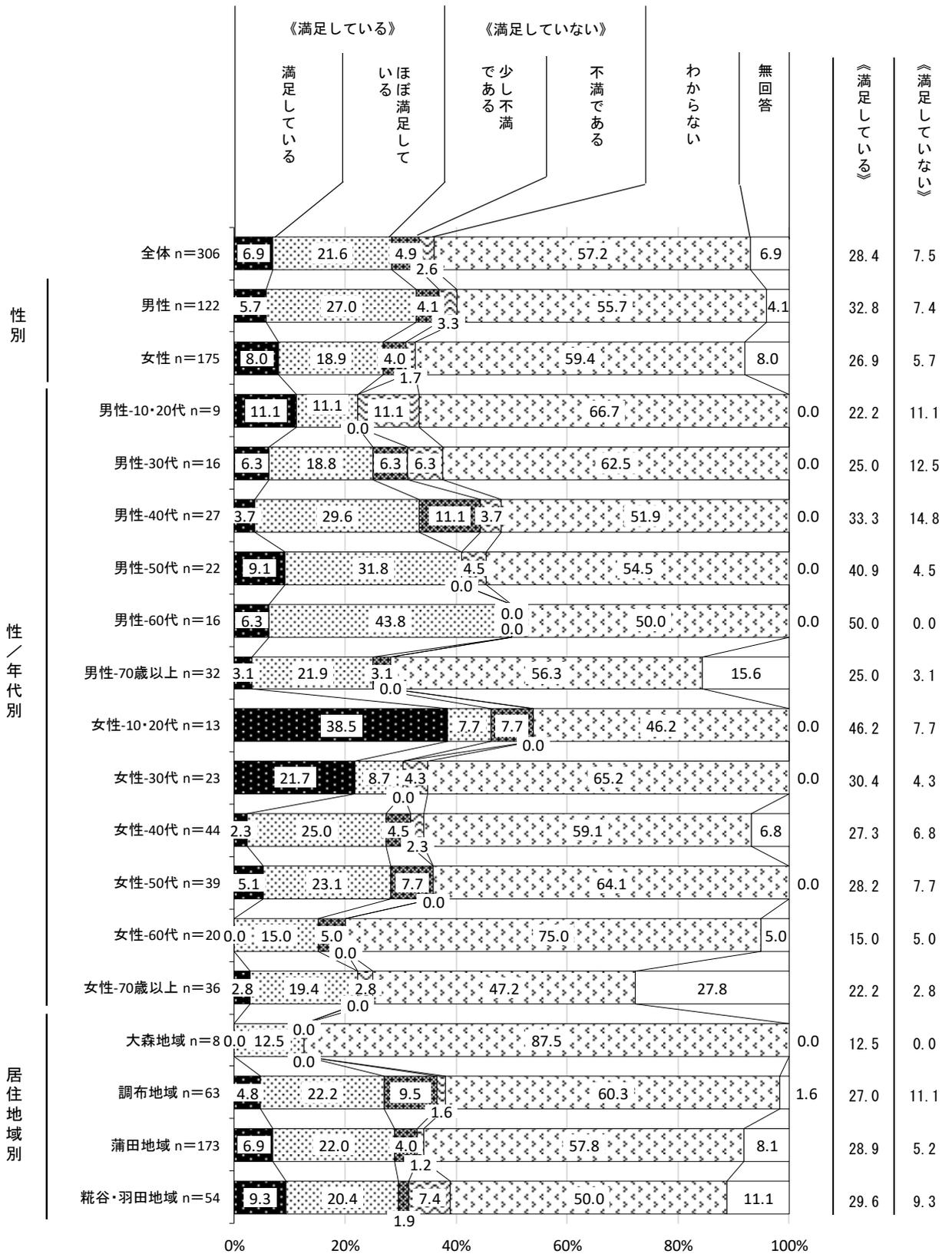
性別でみると、《満足している》に大きな差はみられないものの、《満足していない》では男性が13.9%、女性が5.7%と、男性が8.2ポイント上回っている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



■性別・性/年代別・居住地域別_④電子書籍貸出サービス

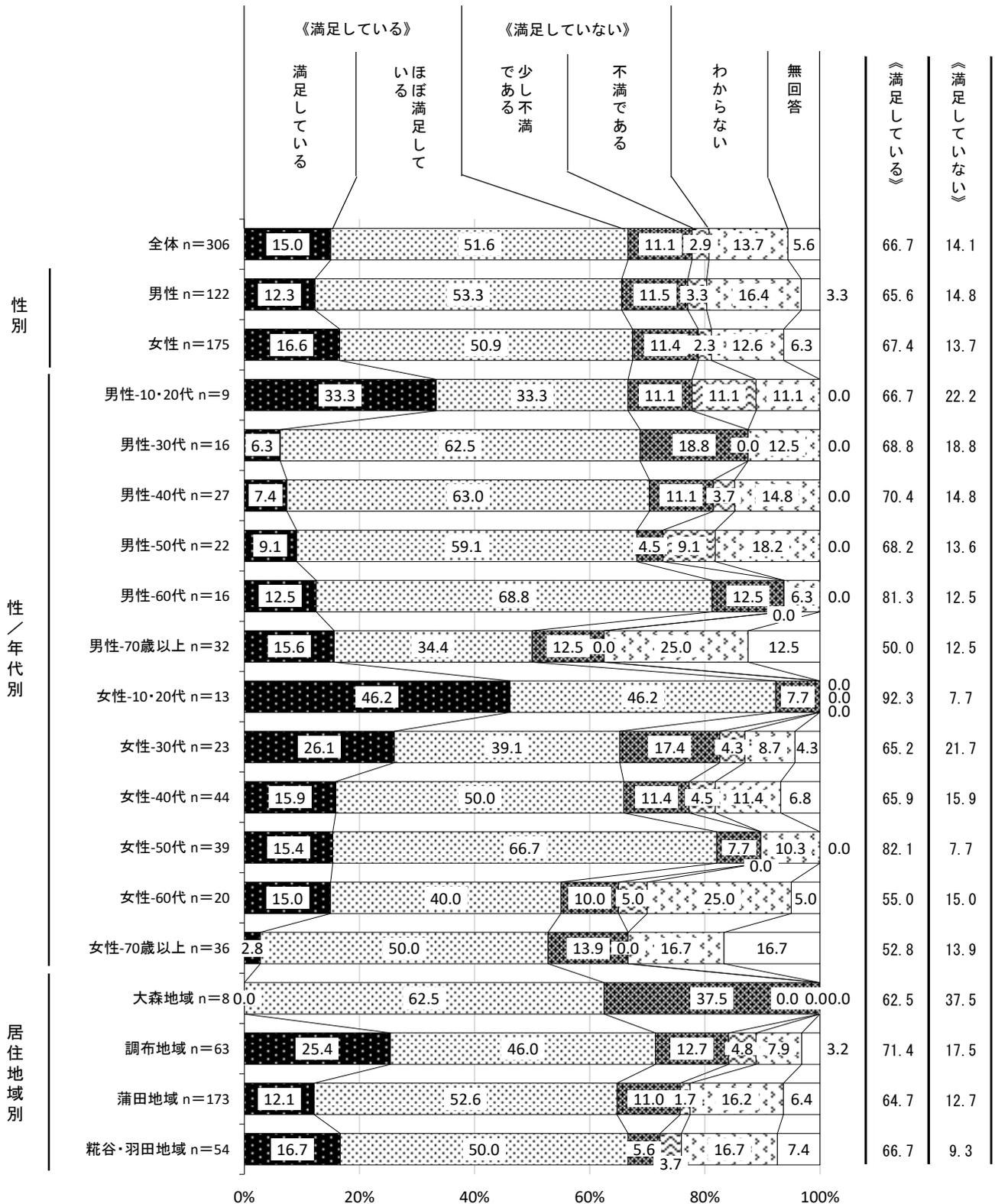
性別でみると、《満足している》は男性 32.8%、女性 26.9%と、男性が 5.9 ポイント上回っている。
居住地域別でみると、大きな差はみられない。



■性別・性/年代別・居住地域別_⑤全般的な満足度

性別で見ると、大きな差はみられない。

居住地域別で見ると、《満足している》は調布地域で7割前半、その中の「満足している」が2割半ばと最も高くなっている一方で、《満足していない》も1割後半と最も高くなっている。



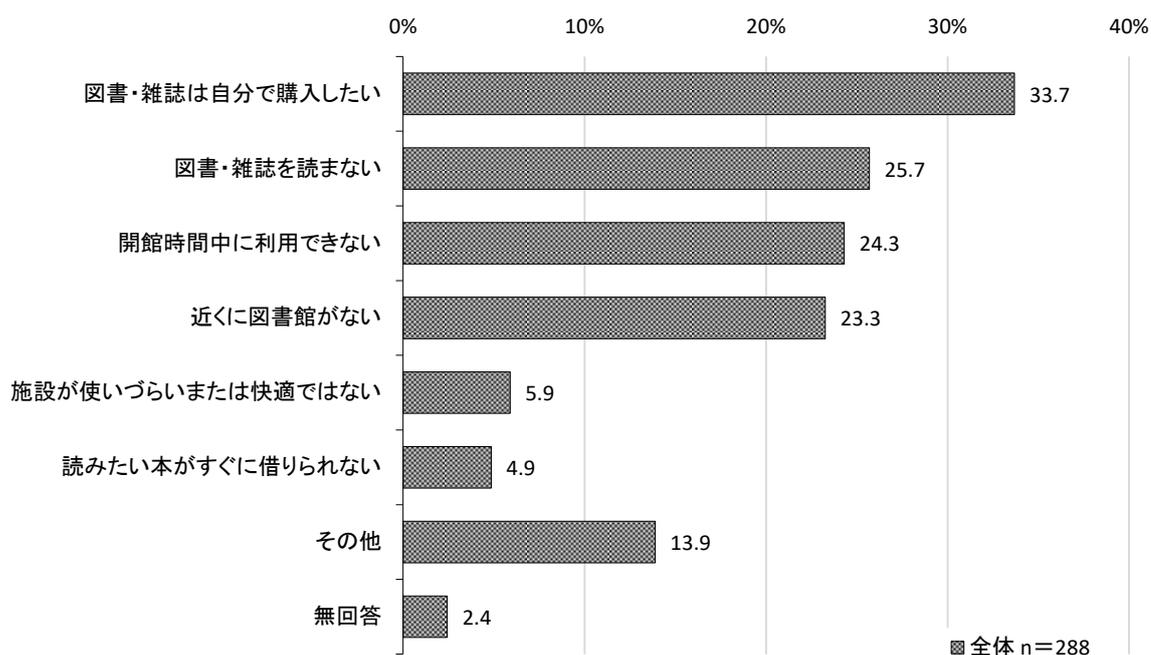
(4) 図書館を利用しない理由

◇「図書・雑誌は自分で購入したい」が3割前半で最も高くなっている

【問32で「5 利用しない」と回答した方に伺います。】

問32-3 図書館を利用しない理由は何ですか。(いくつでも)

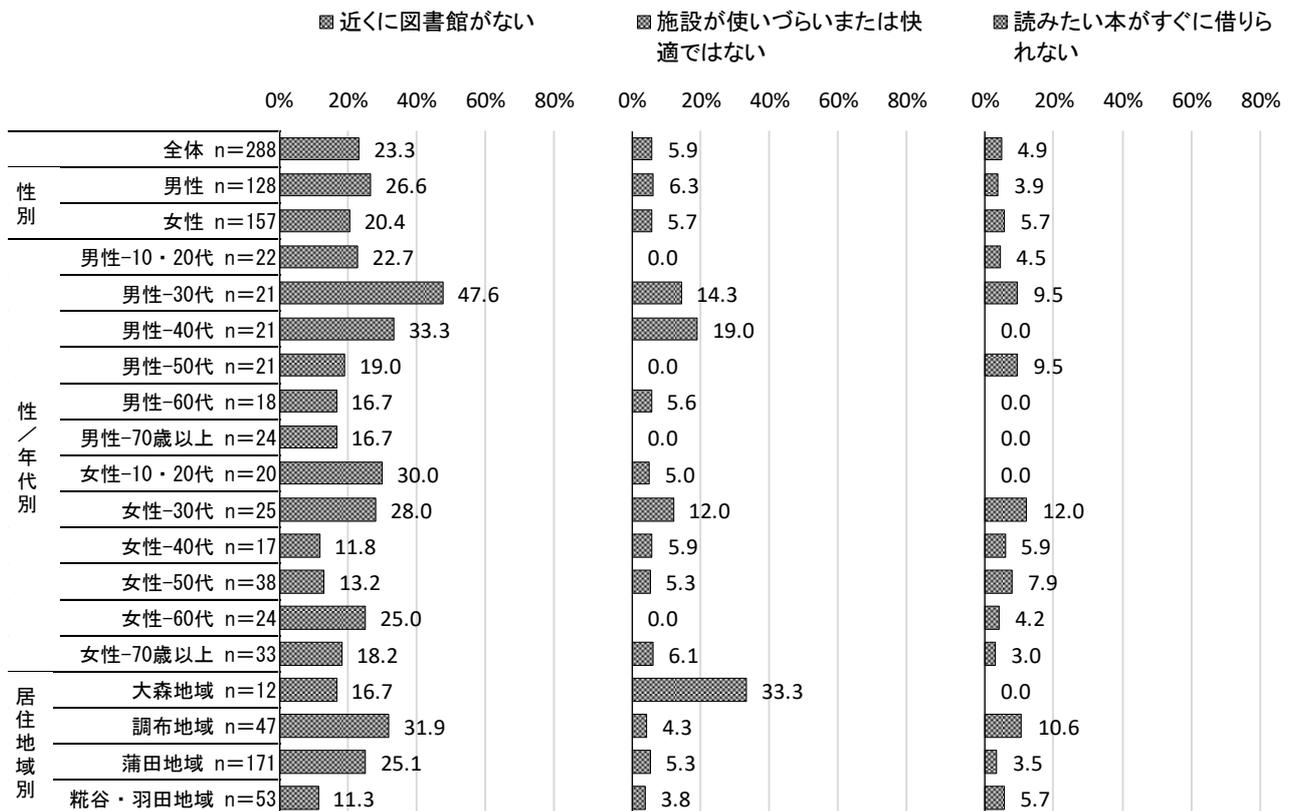
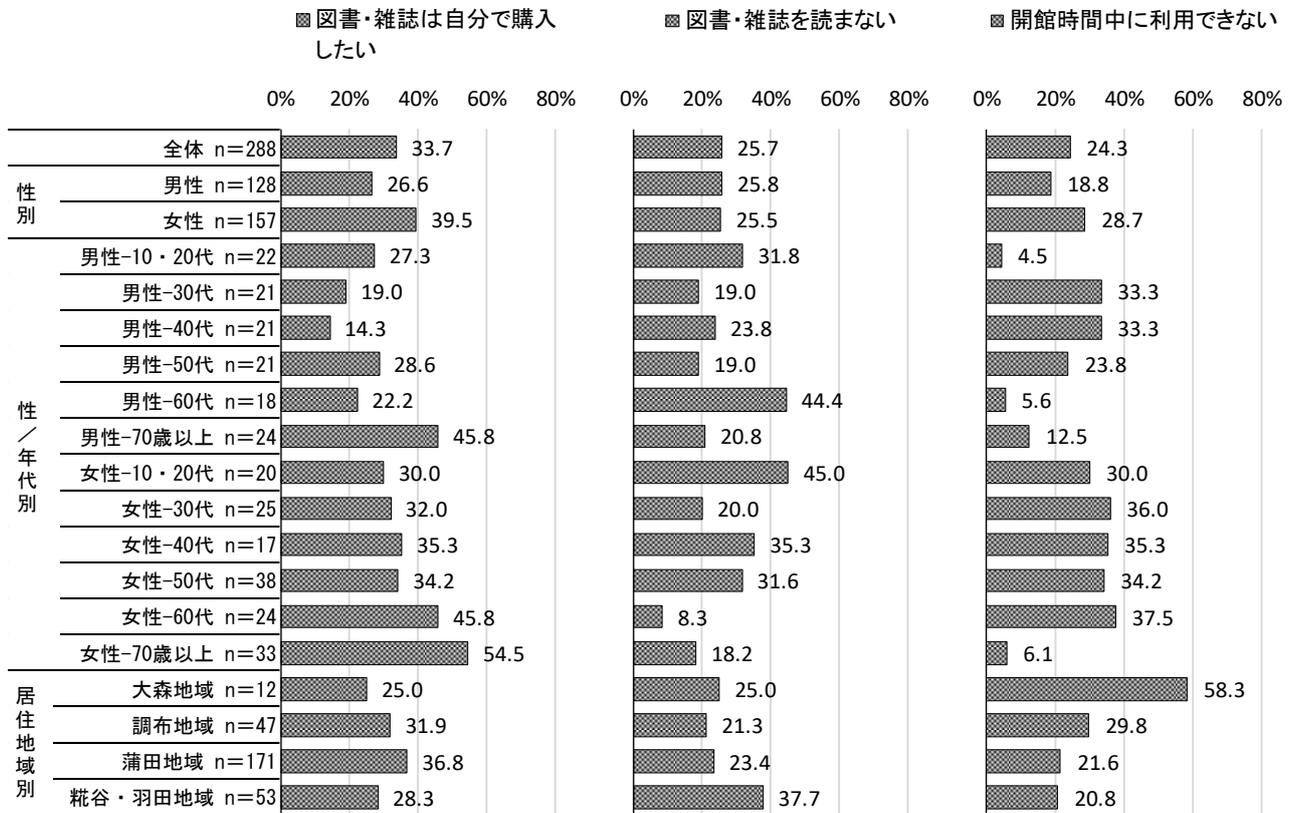
図書館を利用しない理由については、「図書・雑誌は自分で購入したい」が33.7%で最も高く、次いで「図書・雑誌を読まない」が25.7%、「開館時間中に利用できない」が24.3%となっている。



■性別・性/年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「図書・雑誌は自分で購入したい」が最も高くなっている。

居住地域別で見ると、調布地域では「図書・雑誌は自分で購入したい」、「近くに図書館がない」が、蒲田地域では「図書・雑誌は自分で購入したい」が、糞谷・羽田地域では「図書・雑誌を読まない」が最も高くなっている。

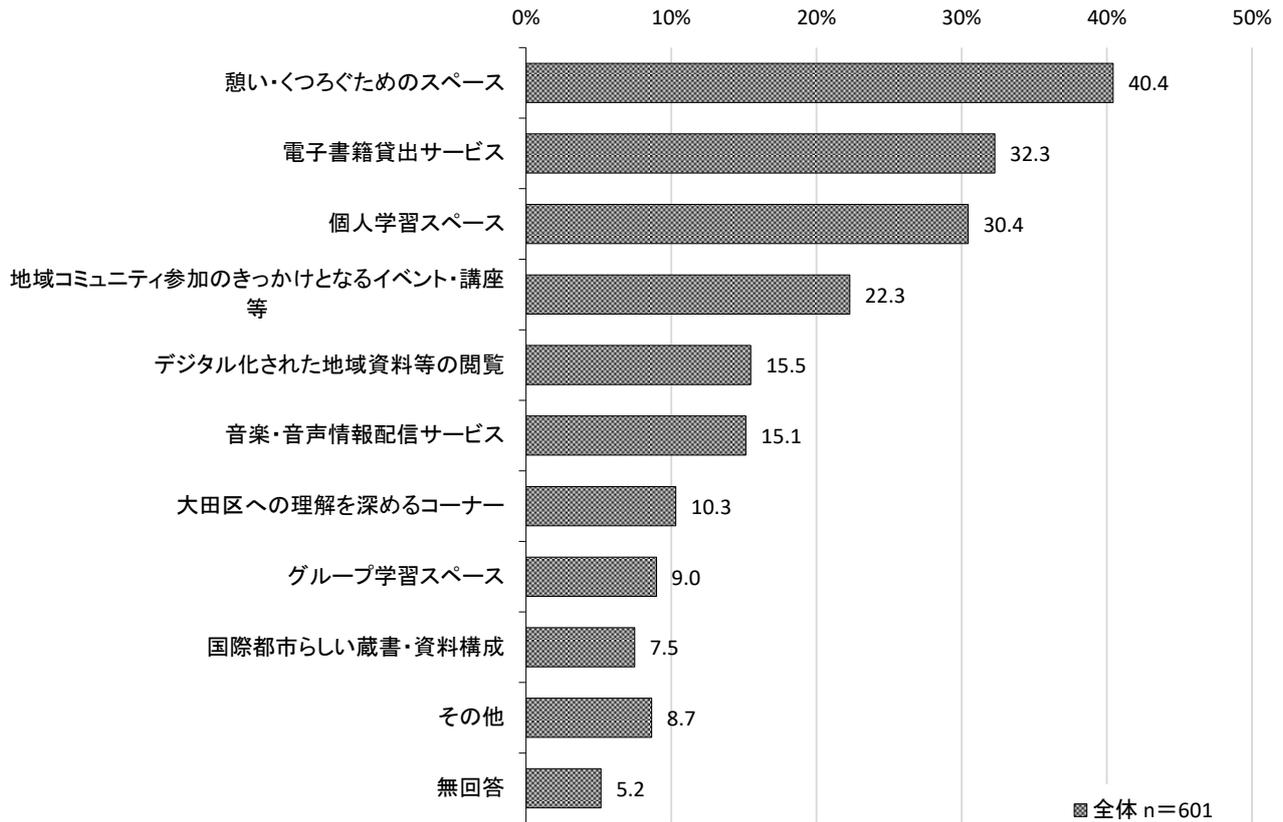


(5) 図書館に期待する機能・サービス

◇「憩い・くつろぐためのスペース」が約4割で最も高くなっている

**問 33 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。
(複数選択可)**

図書館に期待する機能・サービスについては、「憩い・くつろぐためのスペース」が40.4%で最も高く、次いで「電子書籍貸出サービス」が32.3%、「個人学習スペース」が30.4%となっている。

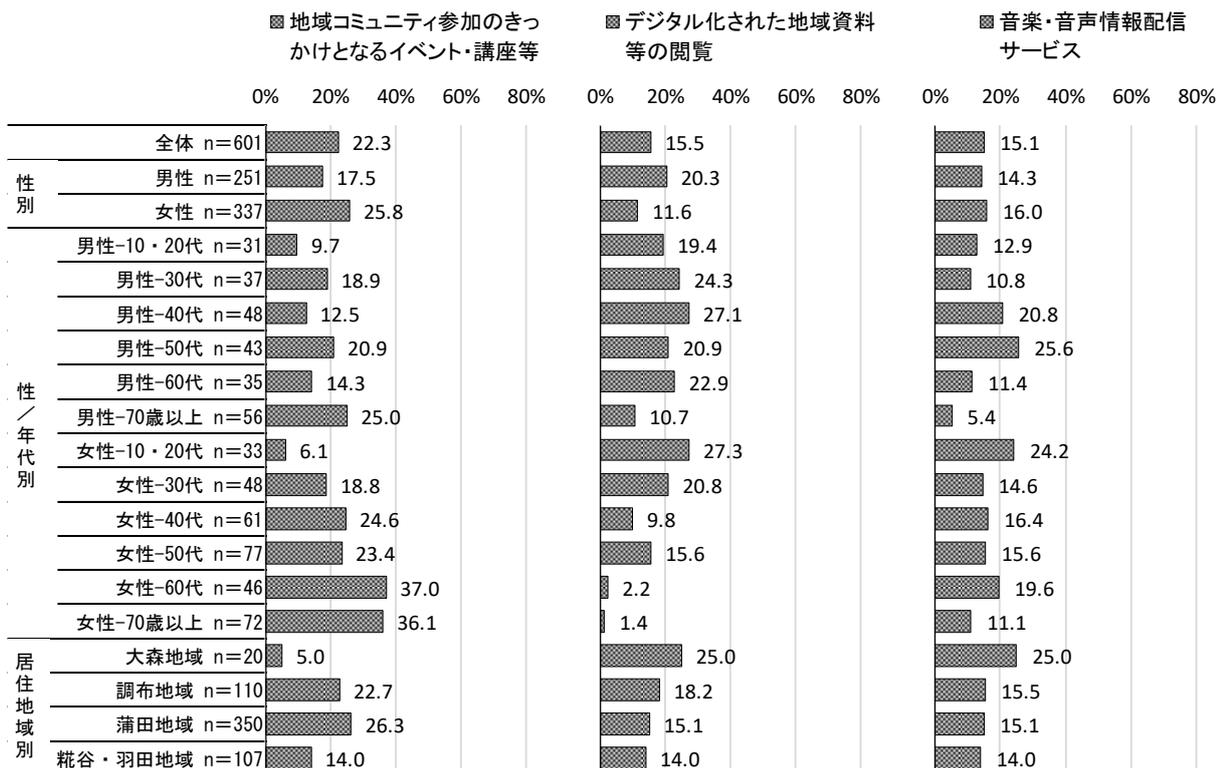
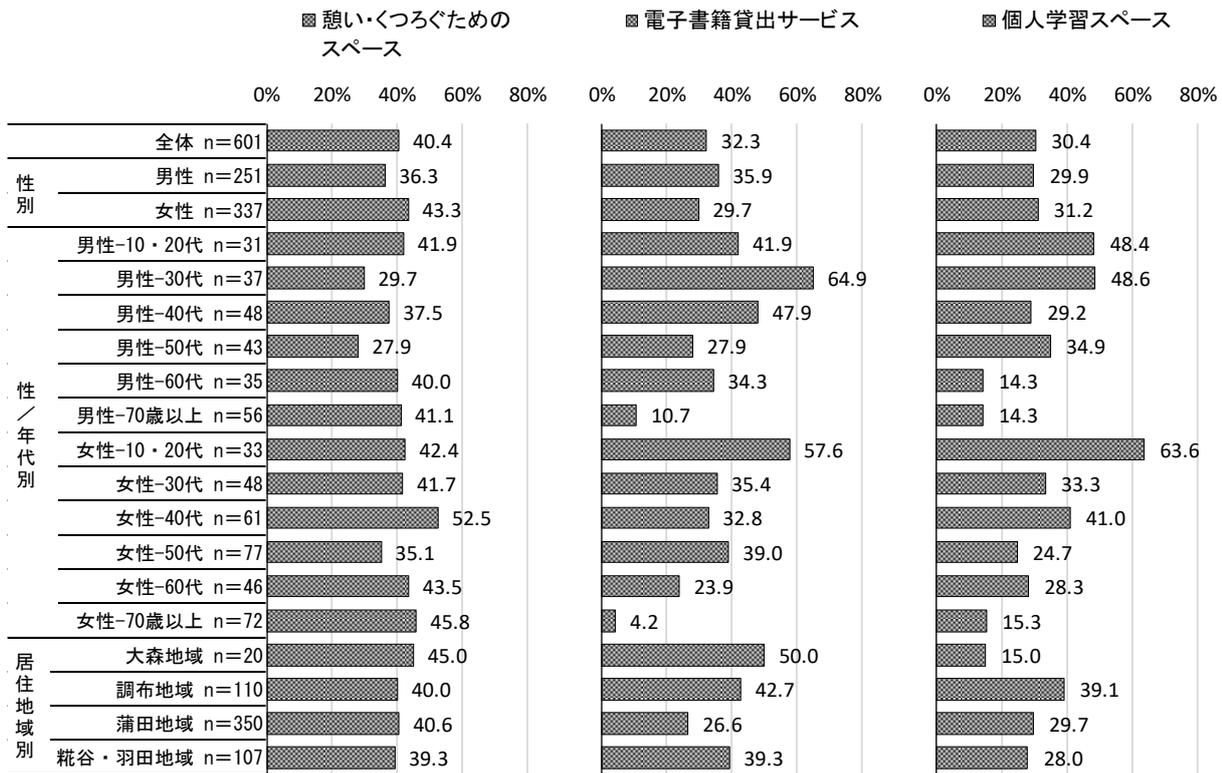


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「憩い・くつろぐためのスペース」が最も高く、男性が36.3%、女性43.3%と女性が7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「憩い・くつろぐためのスペース」は男性では10・20代、70歳以上で4割前半、女性では40代で5割前半と高くなっている。「電子書籍貸出サービス」は男性30代で6割前半、女性10・20代で5割後半、「個人学習スペース」は男性10・20代、30代で4割後半、女性10・20代で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「電子書籍貸出サービス」は調布地域で4割前半と最も高くなっている。



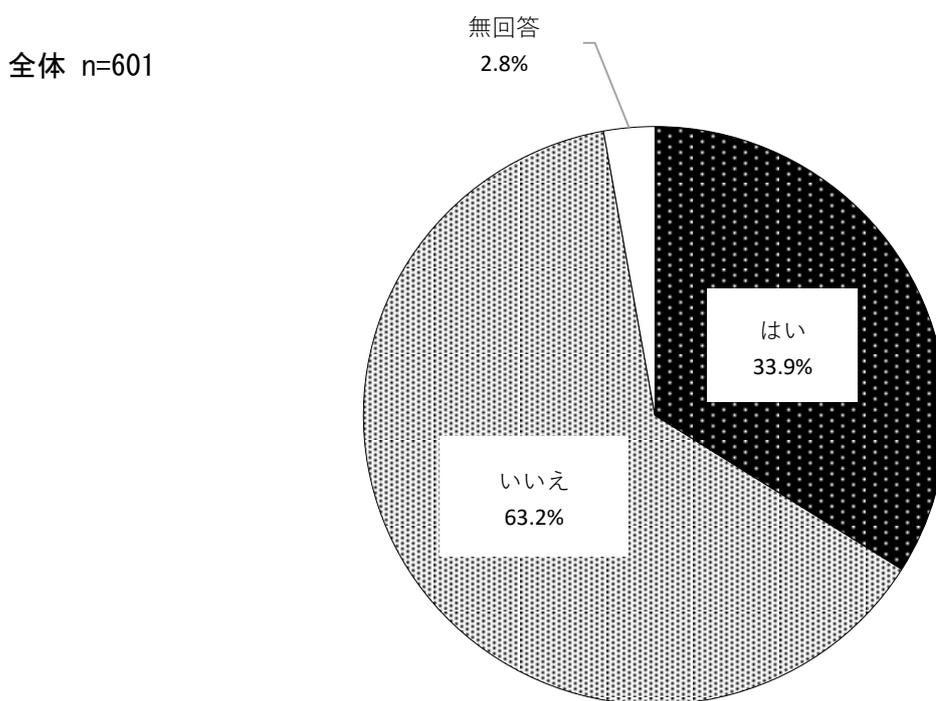
14 公園について

(1) 公園の利用頻度

◇ 「はい」は3割前半となっている

問 34 月に1回以上公園を利用していますか。(1つのみ)

公園の利用頻度については、「はい」が33.9%で、「いいえ」が63.2%と、「いいえ」が29.3ポイント上回っている。

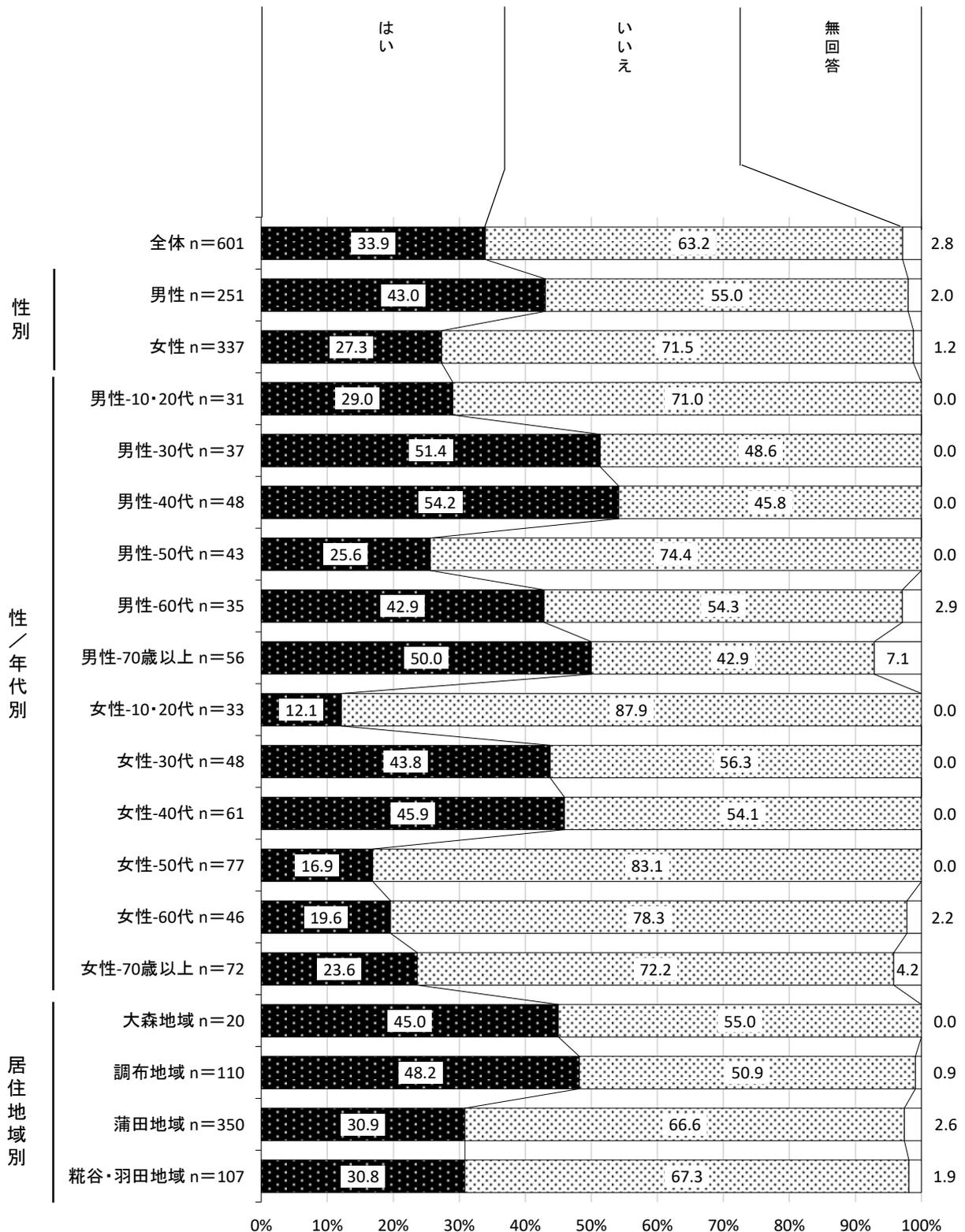


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「はい」は男性が43.0%、女性が27.3%と、男性が15.7ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「はい」は男性では30代、40代で5割前半、女性では40代で4割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「はい」は調布地域で4割後半と高くなっている。



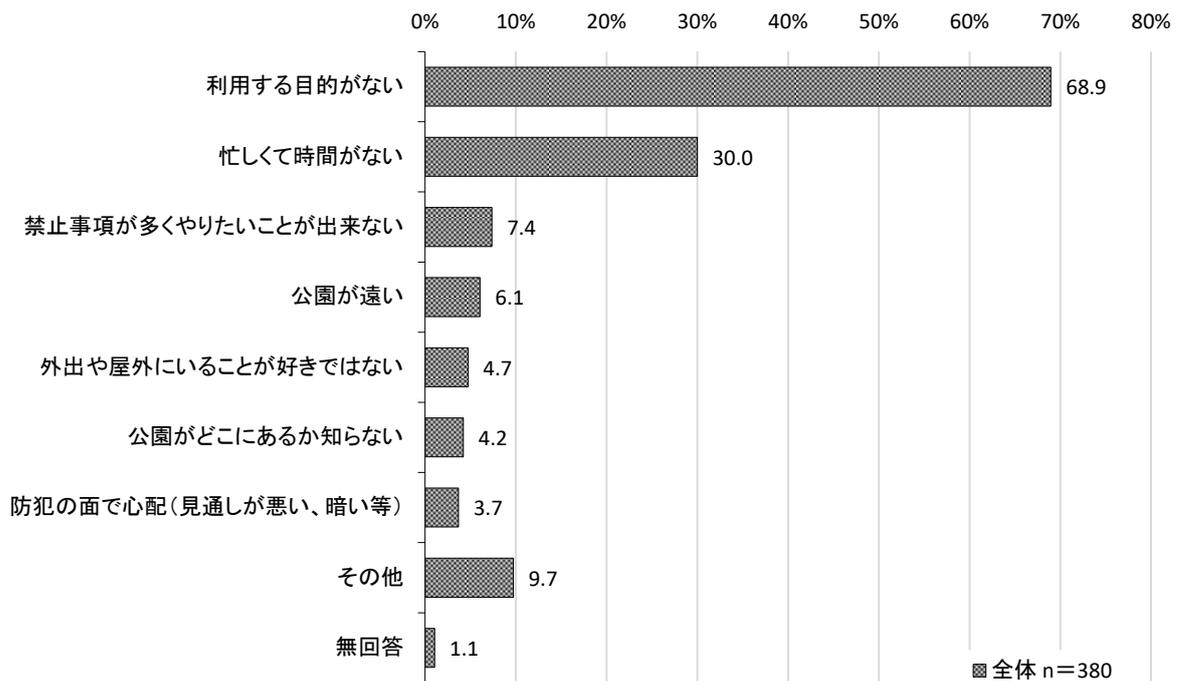
(2) 公園を利用していない理由

◇「利用する目的がない」が6割後半で最も高くなっている

【問 34 で「2 いいえ」と回答した方に伺います。】

問 34-1 公園を利用していない理由は何ですか。(3つまで)

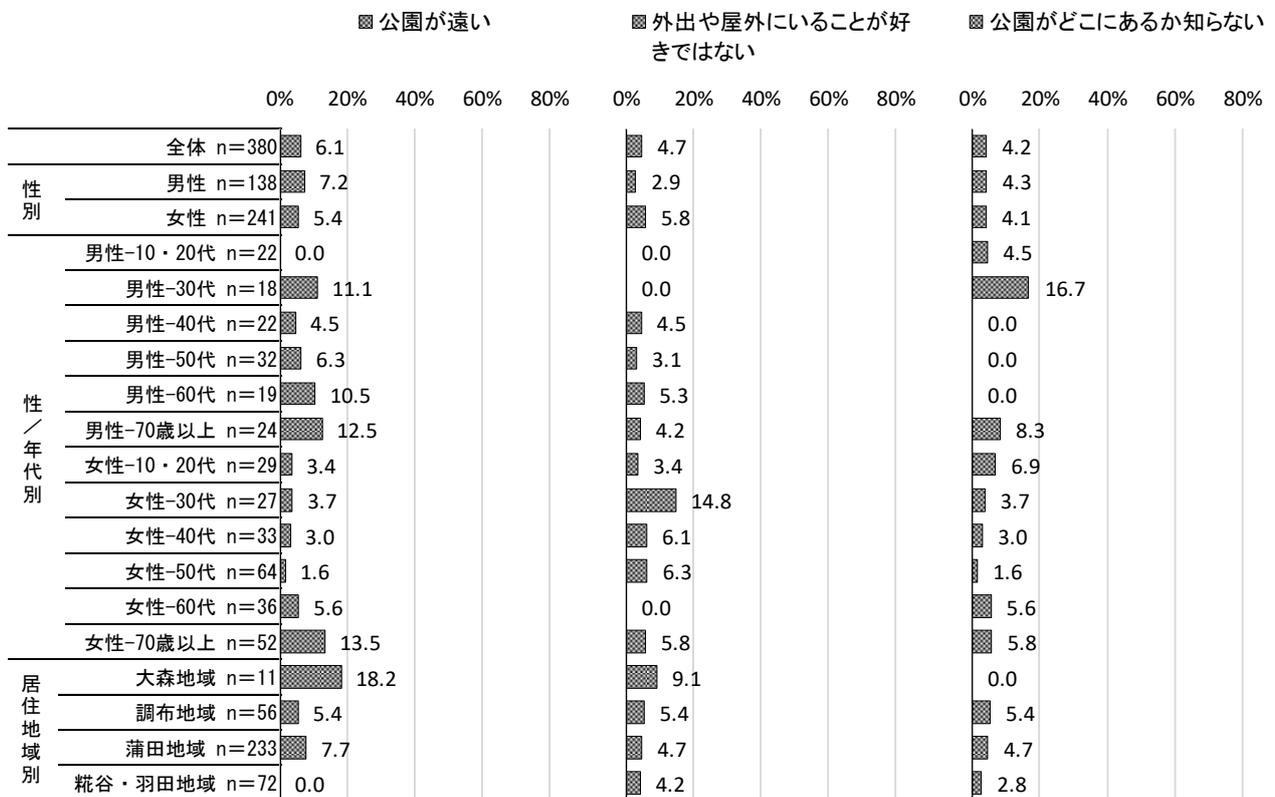
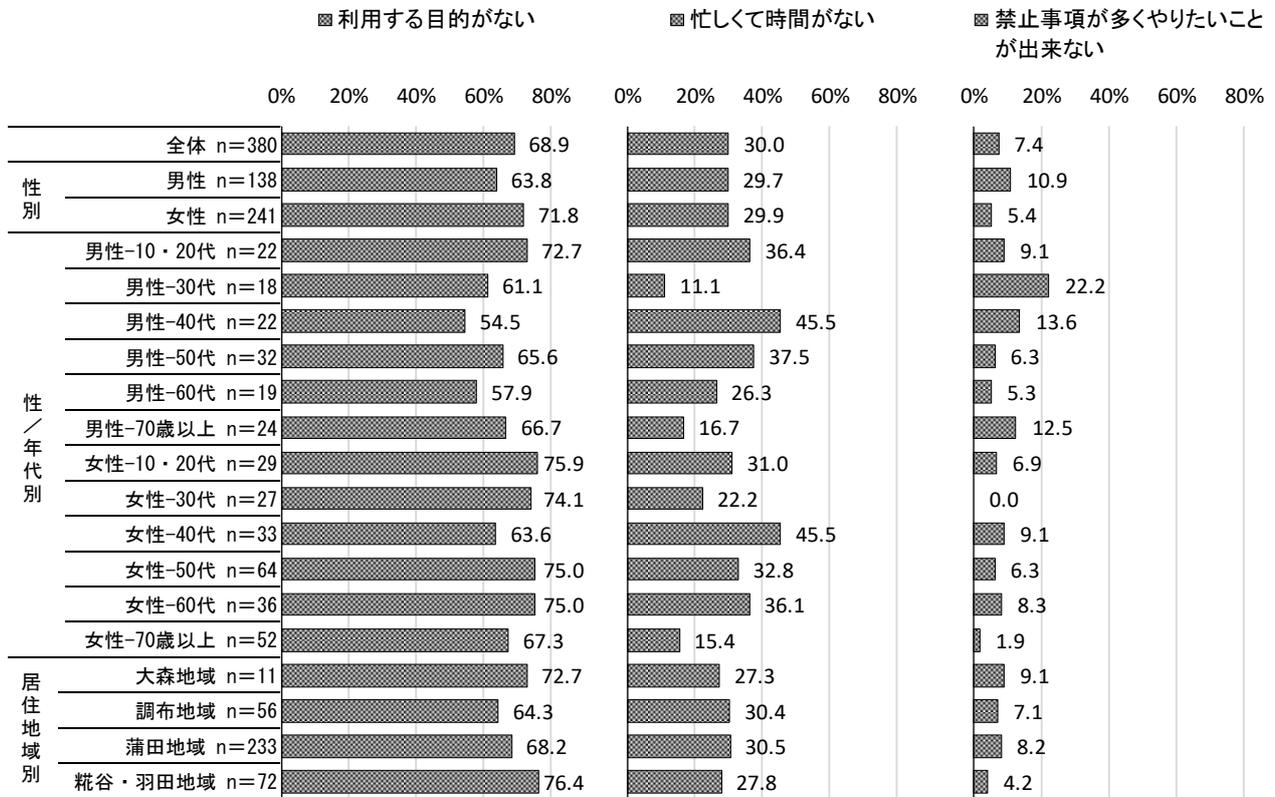
公園を利用していない理由については、「利用する目的がない」が68.9%で最も高く、次いで「忙しくて時間がない」が30.0%、「禁止事項が多くやりたいことが出来ない」が7.4%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「利用する目的がない」が最も高く、男性63.8%、女性が71.8%と、女性が8ポイント上回っている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「利用する目的がない」が最も高くなっている。



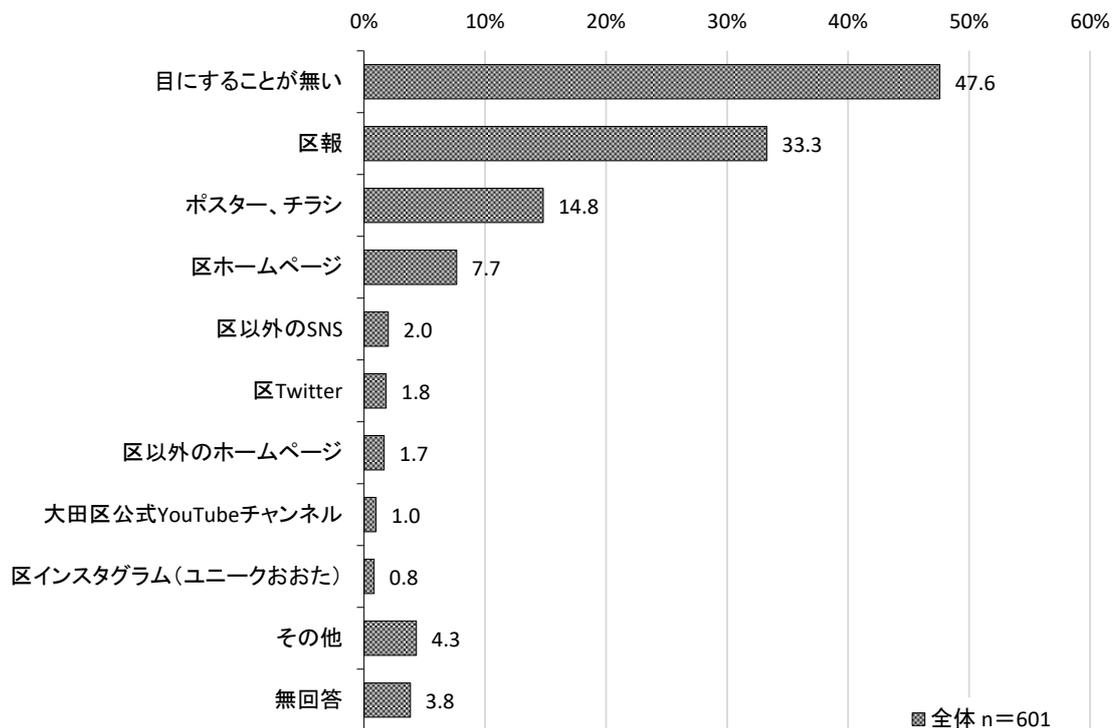
(3) 公園情報を取得する媒体

◇「区報」が3割前半で最も高くなっている

問 35 普段大田区の公園についての情報をどのような媒体で目にしますか。(複数選択可)

公園情報を取得する媒体については、「区報」が33.3%で最も高く、次いで「ポスター、チラシ」が14.8%、「区ホームページ」が7.7%となっている。

なお、「目にすることが無い」は47.6%となっている。

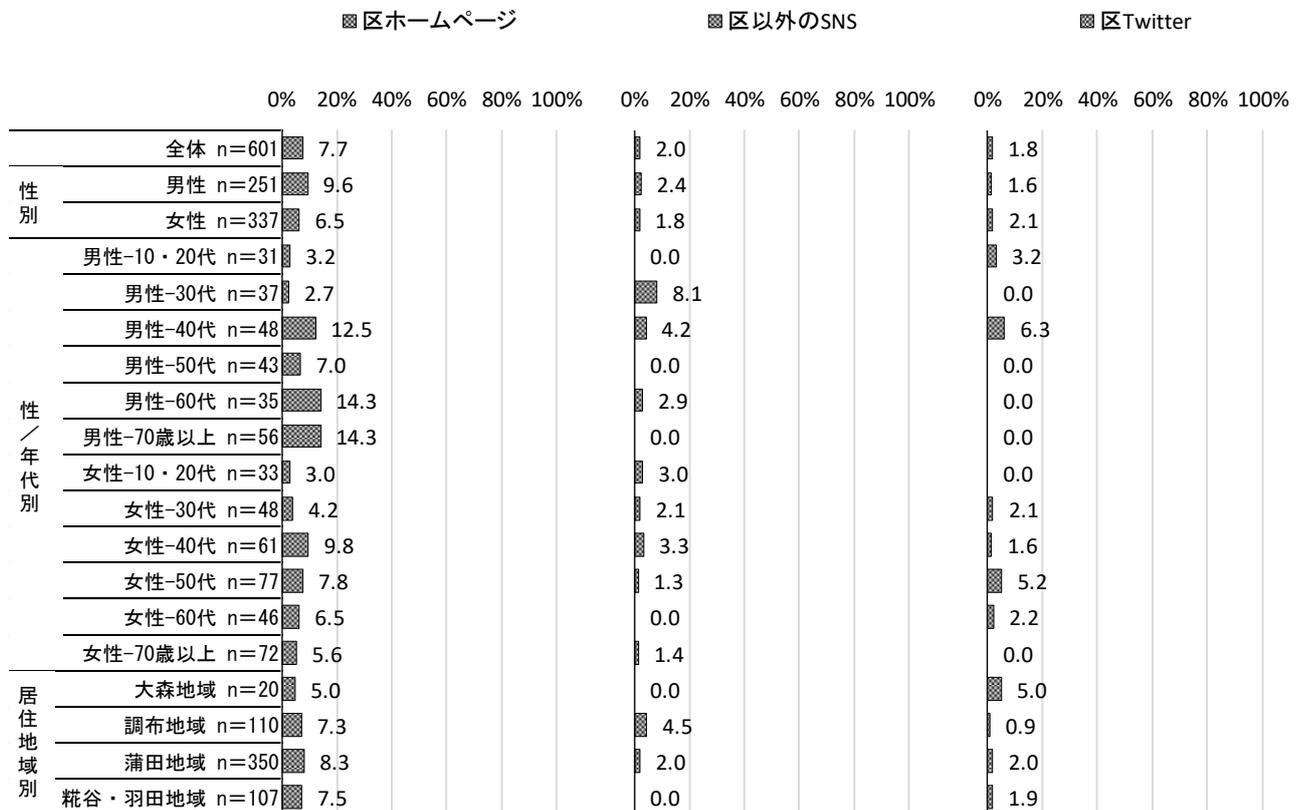
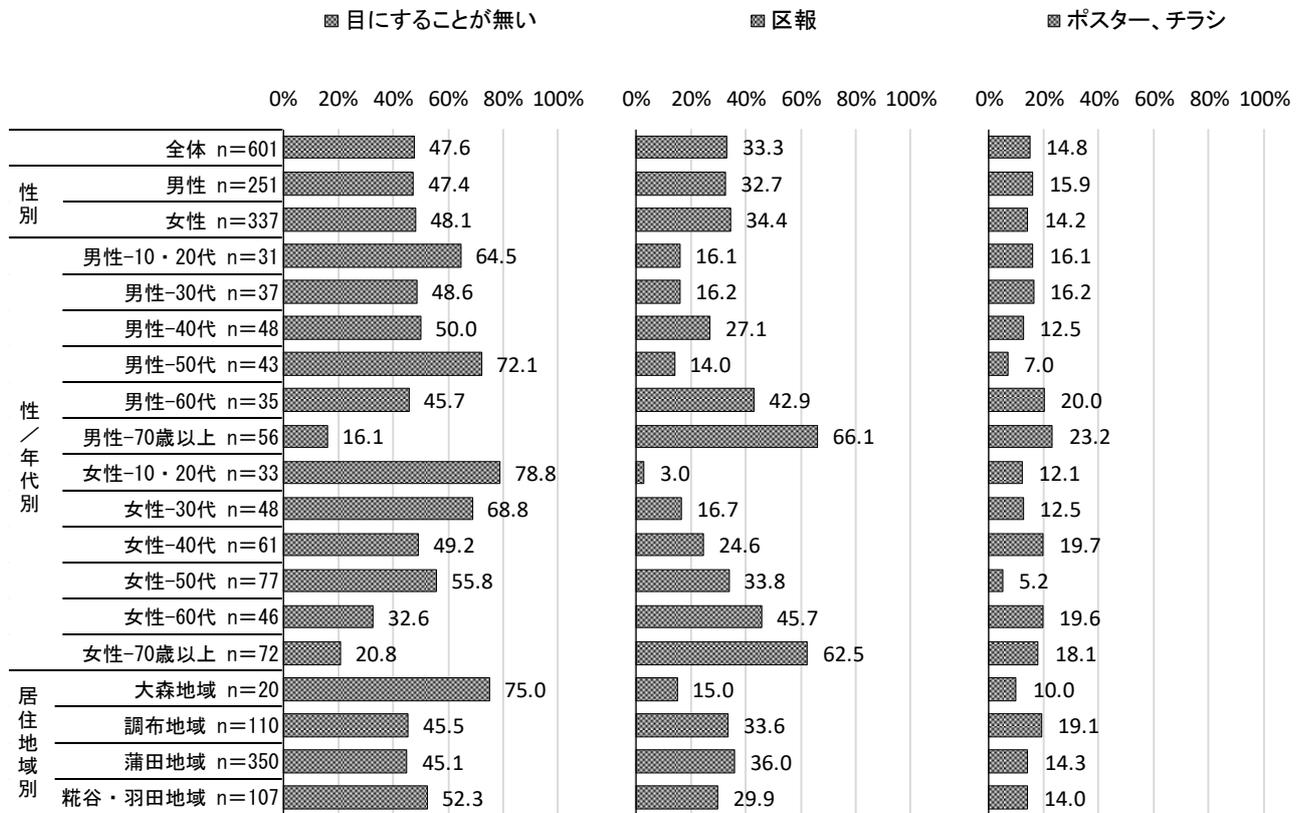


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性、女性ともに「区報」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「区報」は男性、女性ともに70歳以上で6割台と高くなっている。

居住地域別で見ると、大きな差はみられない。

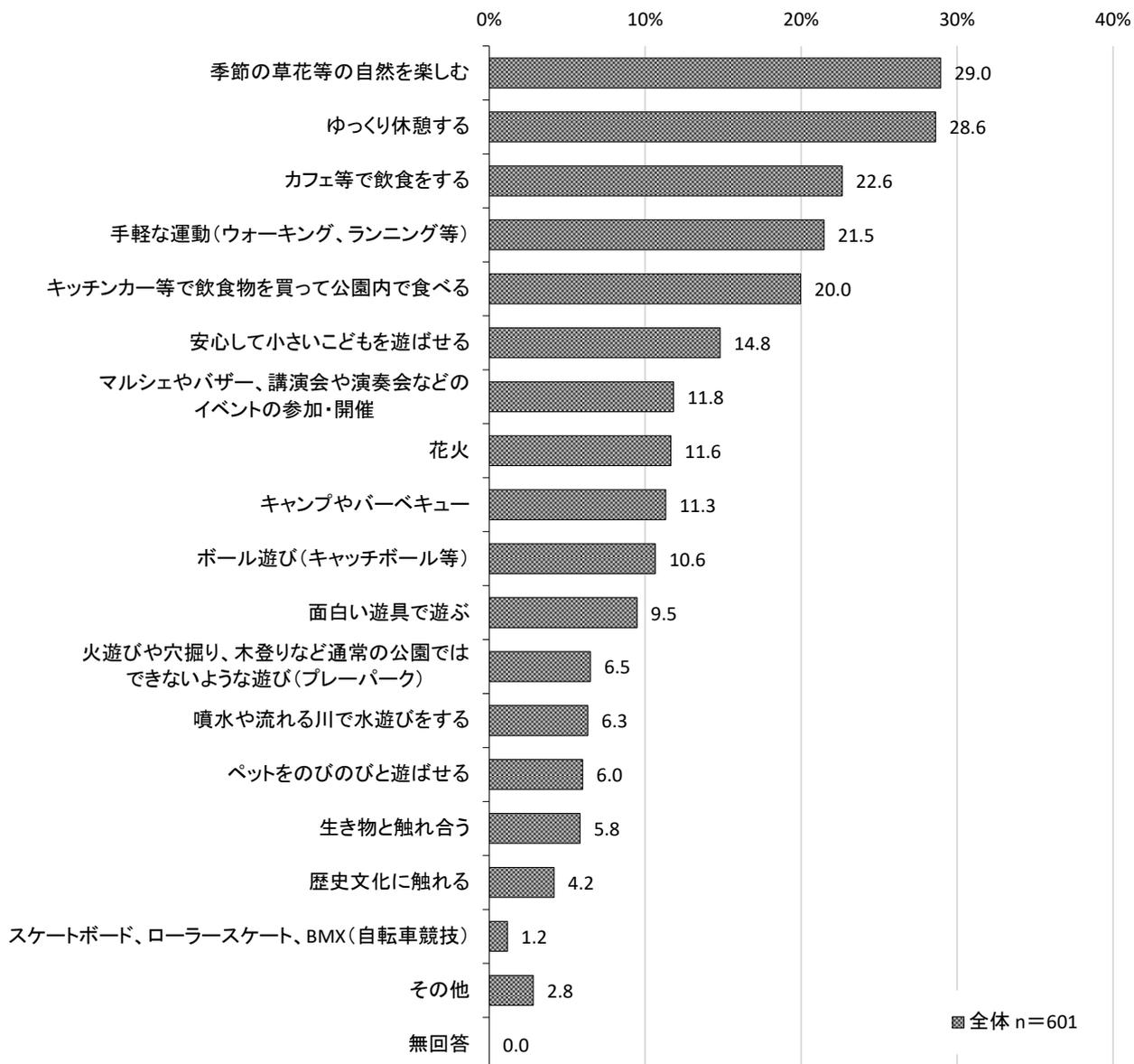


(4) 公園でしてみたいこと

◇「季節の草花等の自然を楽しむ」、「ゆっくり休憩する」が2割後半で最も高くなっている

問 36 大田区の公園でしてみたいことは何ですか。(3つまで)

公園でしてみたいことについては、「季節の草花等の自然を楽しむ」が29.0%で最も高く、次いで「ゆっくり休憩する」が28.6%、「カフェ等で飲食をする」が22.6%となっている。

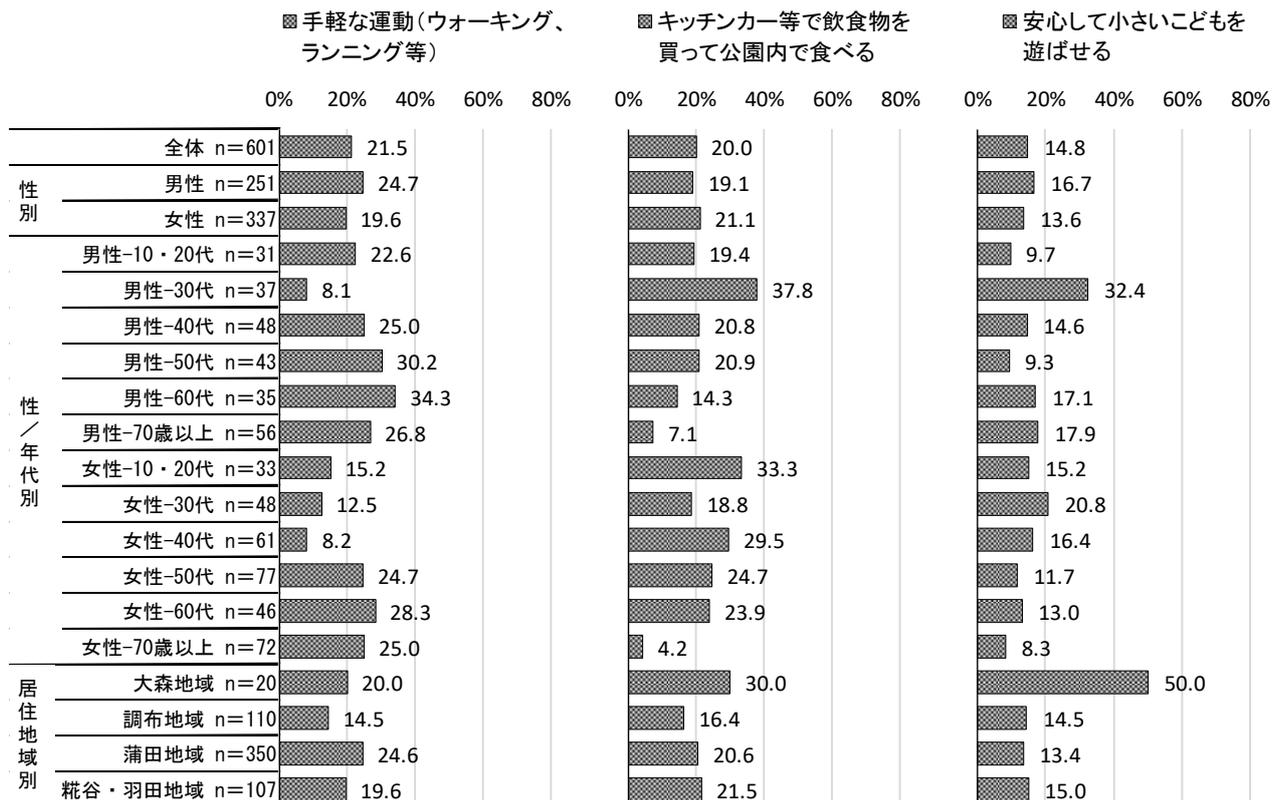
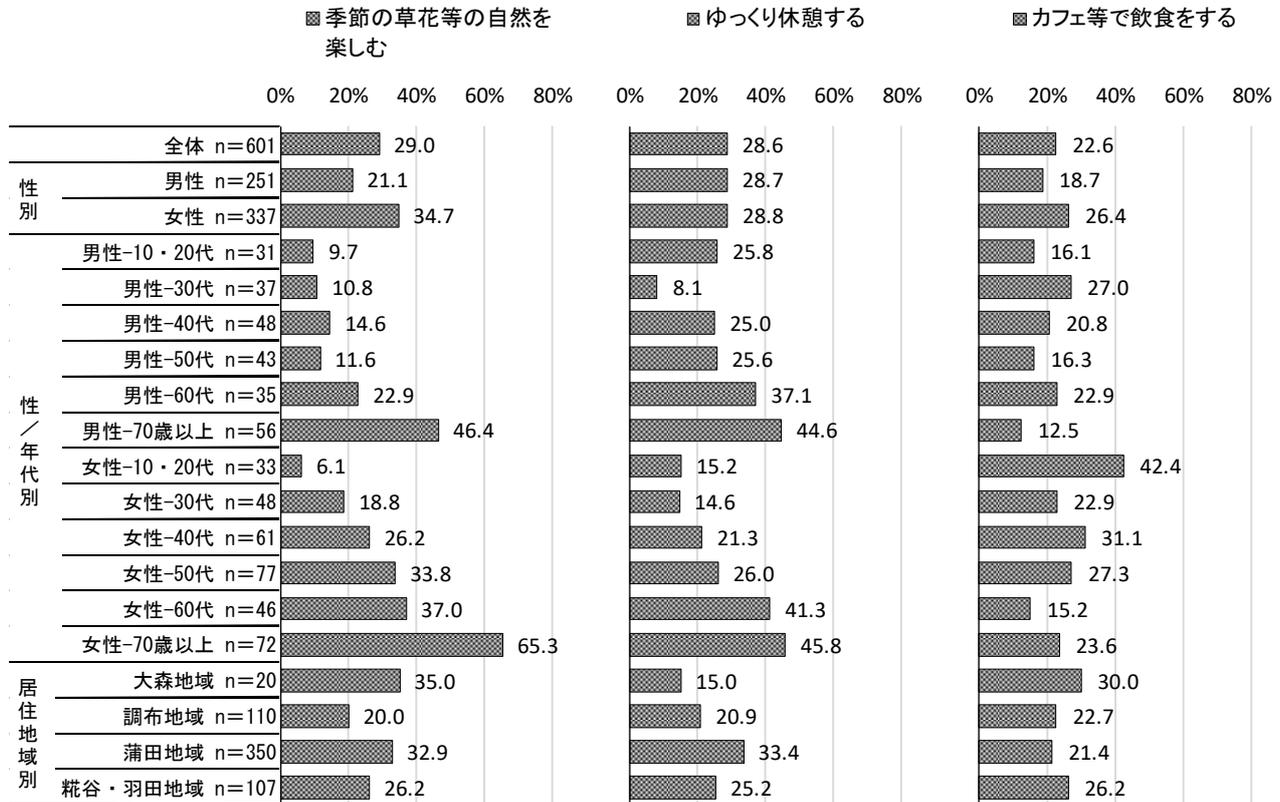


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別で見ると、男性では「ゆっくり休憩する」が、女性では「季節の草花等の自然を楽しむ」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「季節の草花等の自然を楽しむ」、「ゆっくり休憩する」は男性、女性ともに70歳以上で高くなっている。

居住地域別にみると、「季節の草花等の自然を楽しむ」、「ゆっくり休憩する」はともに蒲田地域で3割前半と高くなっている。



Ⅳ 未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方が対象

～ 家庭生活・自転車の利用についてなど ～

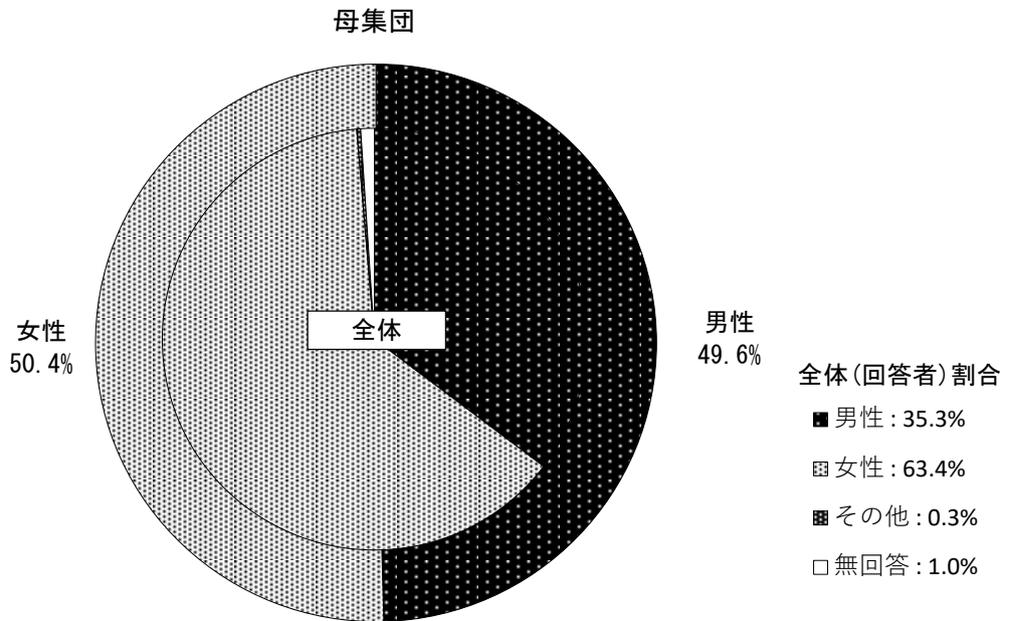
1 回答者の属性について

(1) 性別

母集団：大田区 12 歳以上の人口 (n=673,864) 令和 6 年 1 月 1 日現在

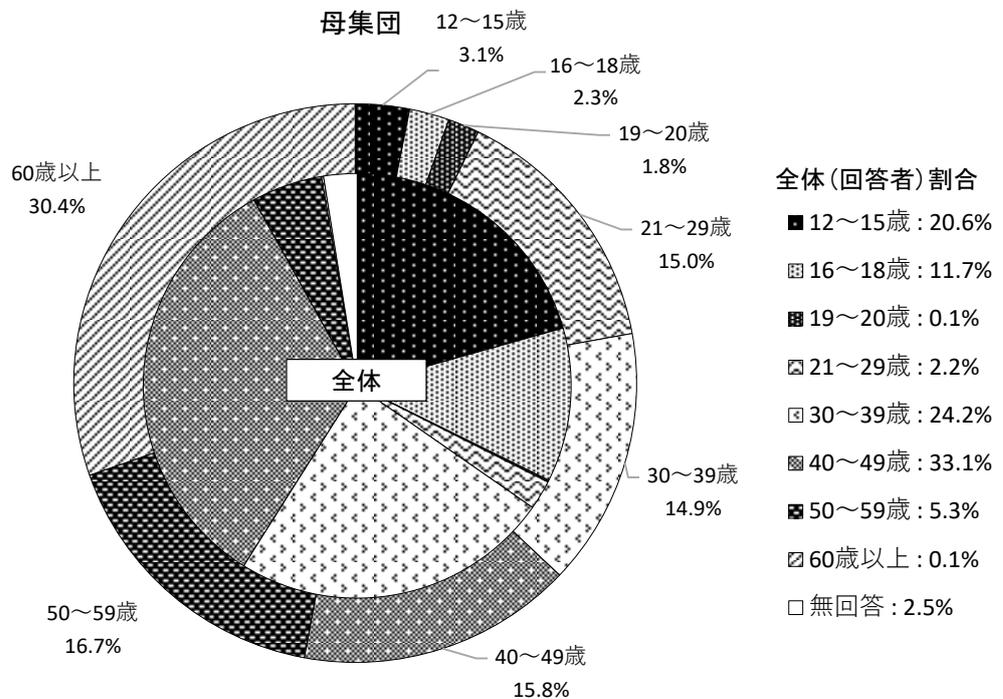
全 体：有効回収数 (n=674)

全体 n=674



(2) 年齢

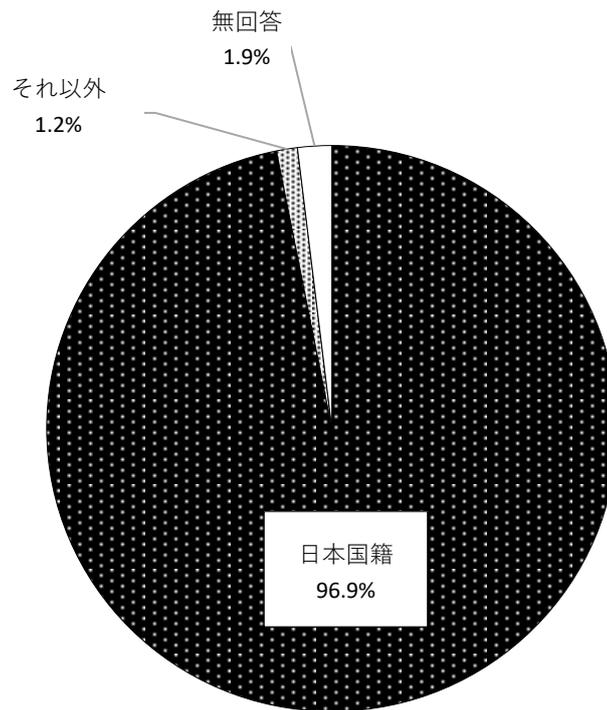
全体 n=674



【出典】大田区：年齢別人口報告表資料（日本人+外国人）令和 6 年 1 月 1 日現在

(3) 国籍

全体 n=674

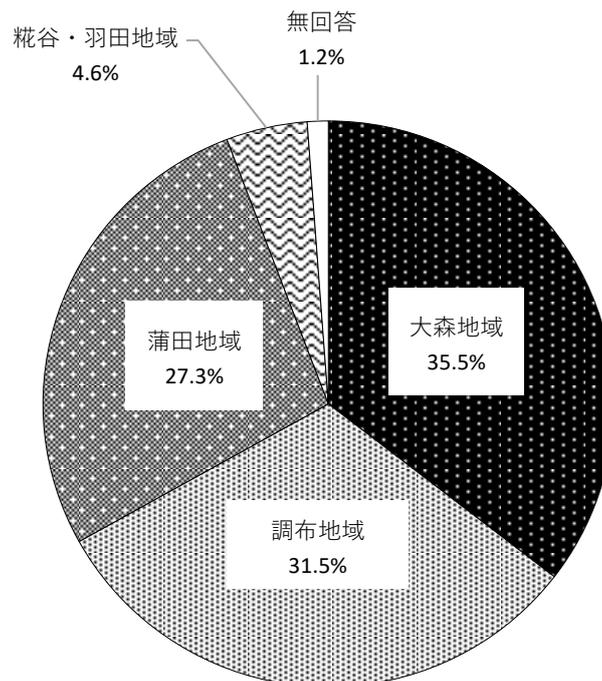


■ 日本国籍以外

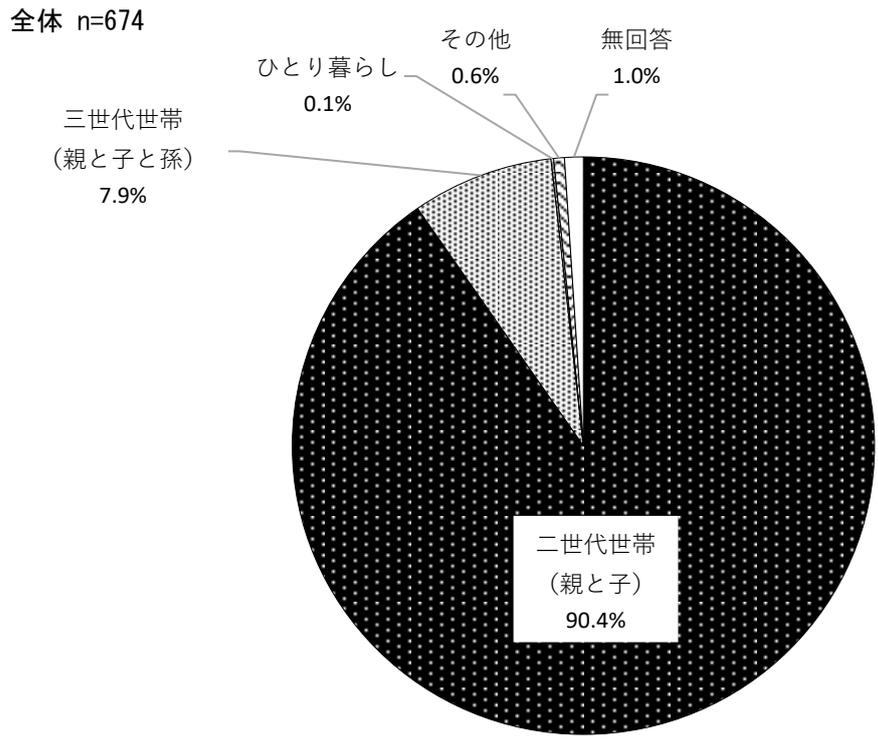
	中国	韓国	ウズベキスタン	ネパール	台湾	無回答
人数	3	1	1	1	1	1

(4) 居住地域

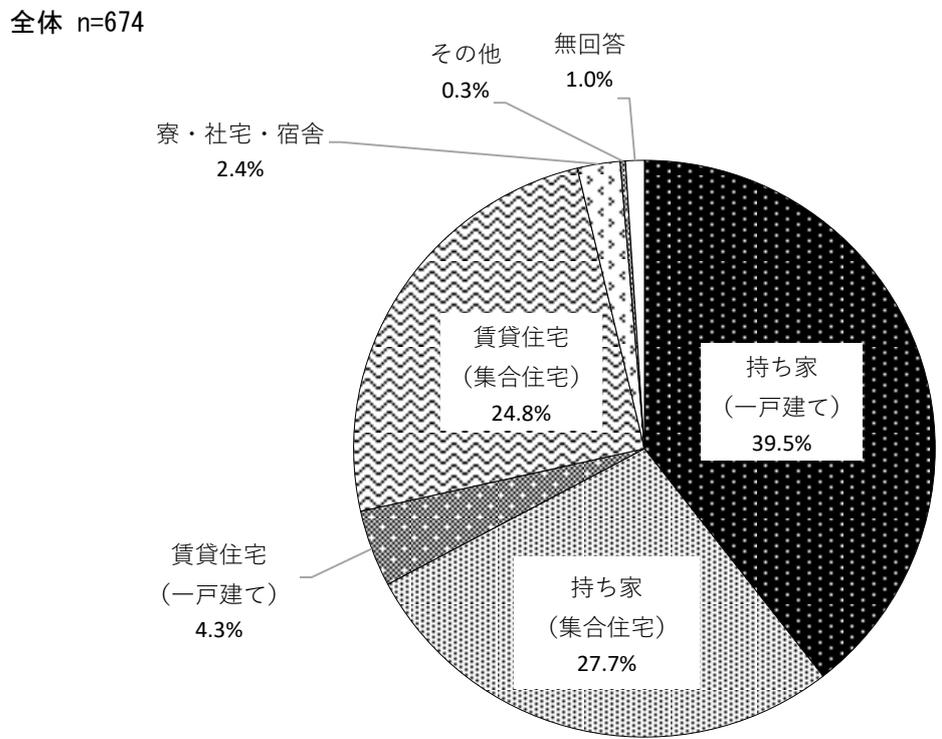
全体 n=674



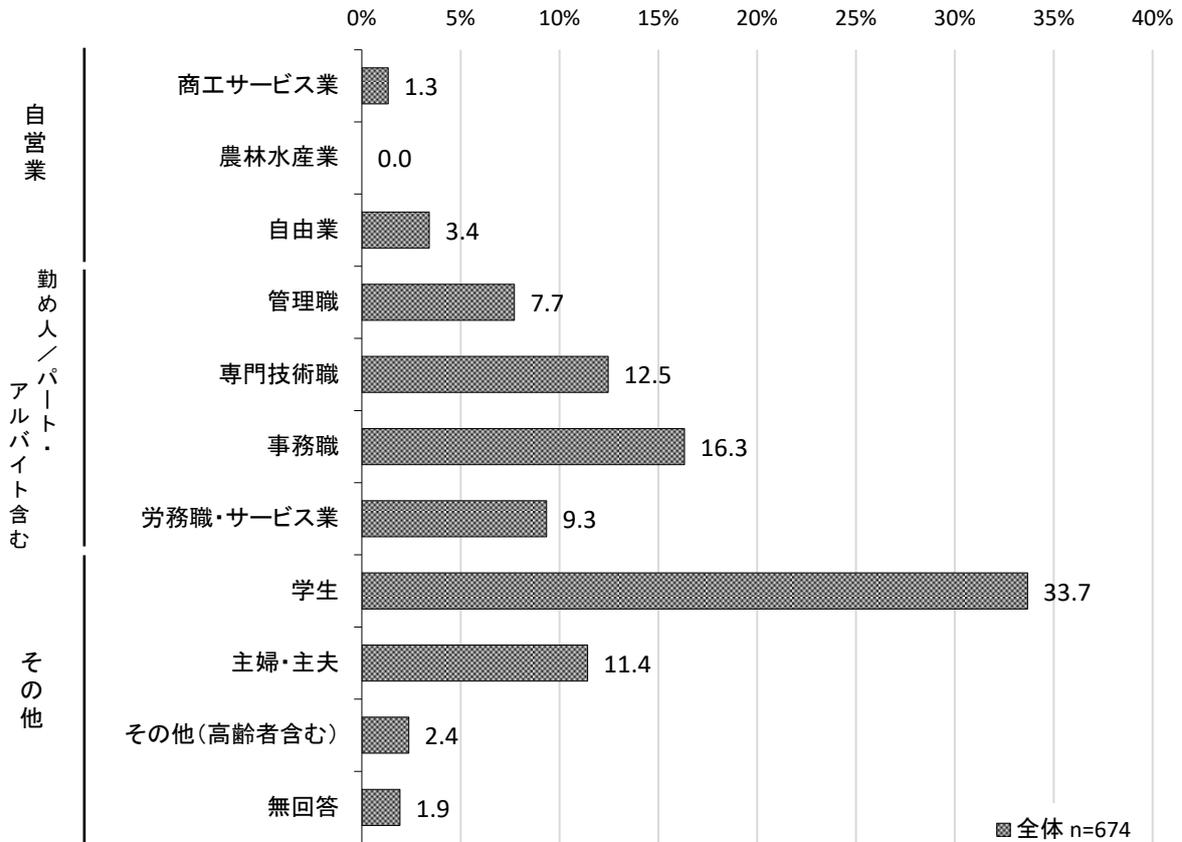
(5) 家族構成



(6) 住まいの種類

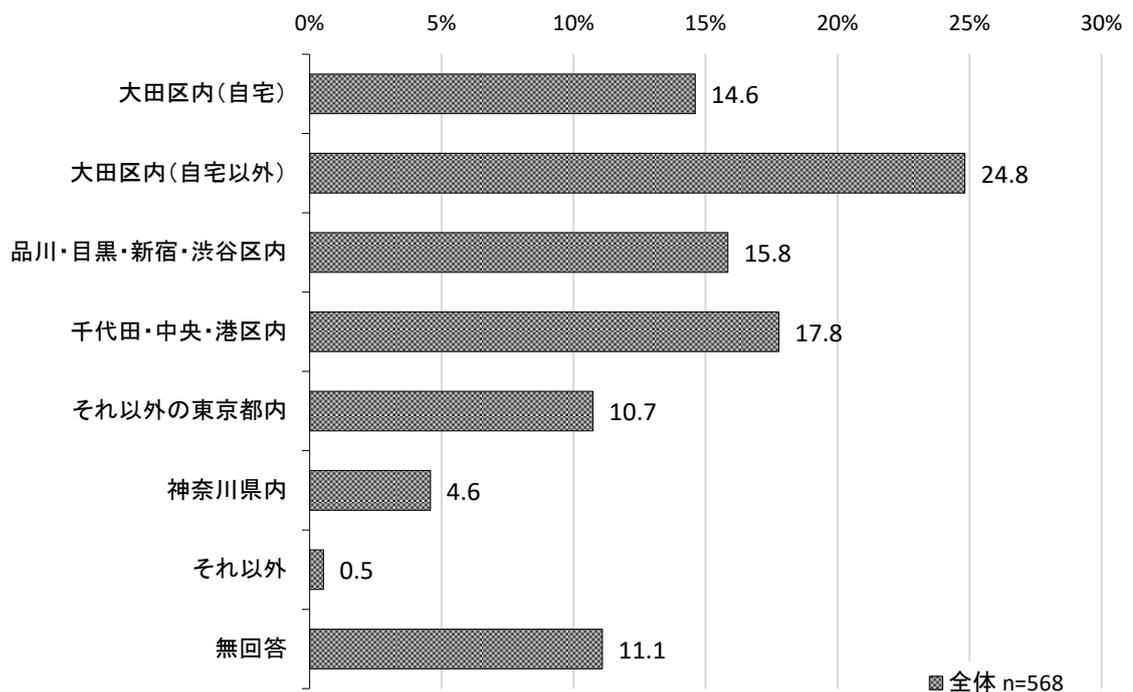


(7) 職業

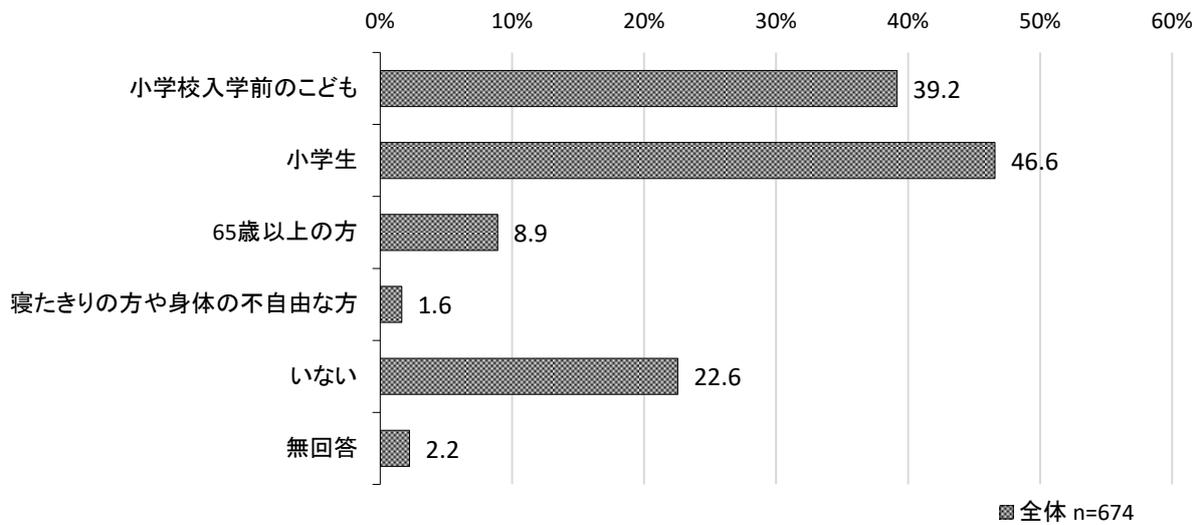


(8) 主な通勤・通学先

【(7) 職業で「自営業」「勤め人」「学生」と回答した方】

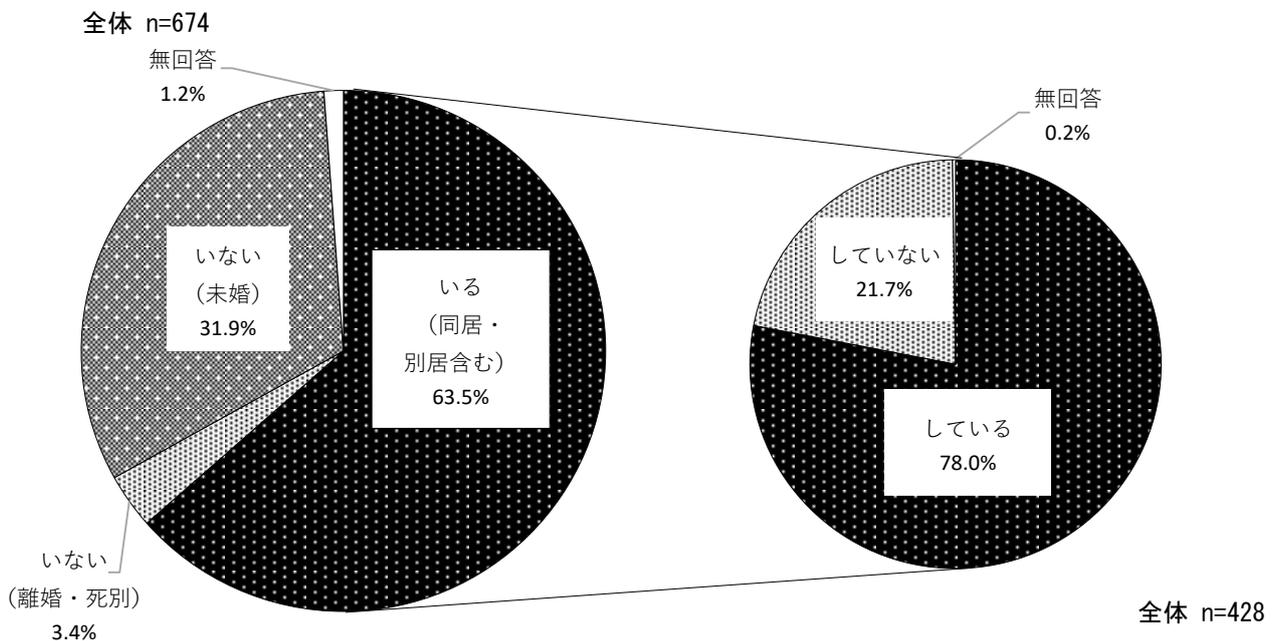


(9) 同居家族

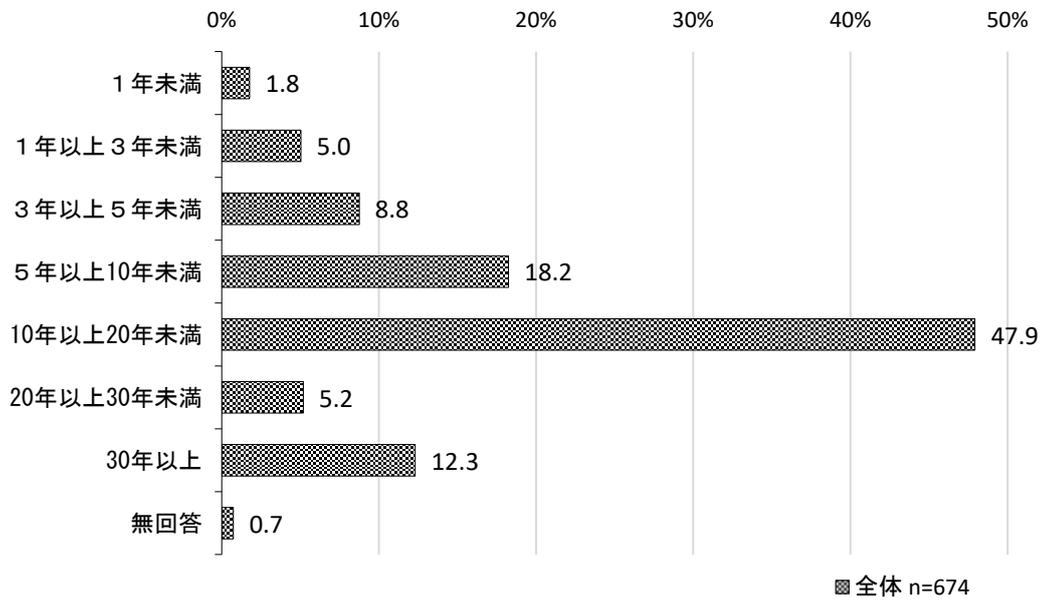


(10) 配偶者の有無及び (11) 共働きの状況

【(10) 配偶者の有無で「いる(同居・別居含む)」と回答した方】



(12) 居住年数



2 災害時の避難等について

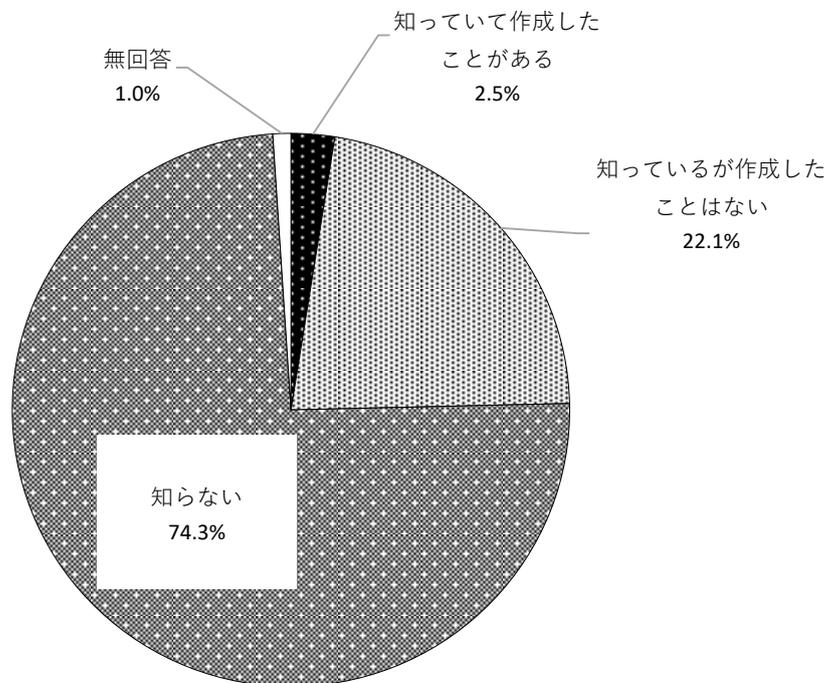
(1) 「マイ・タイムライン」の認知度

◇ 《知っている》（「知っているが作成したことがある」、「知っているが作成したことはない」の合計値）は2割前半となっている

問1 マイ・タイムラインを知っていますか。（1つのみ）

“マイ・タイムライン”の認知度については、「知っているが作成したことがある」、「知っているが作成したことはない」の合計値《知っている》が24.6%である一方で、「知らない」が74.3%と「知らない」が49.7ポイント上回っている。

全体 n=674

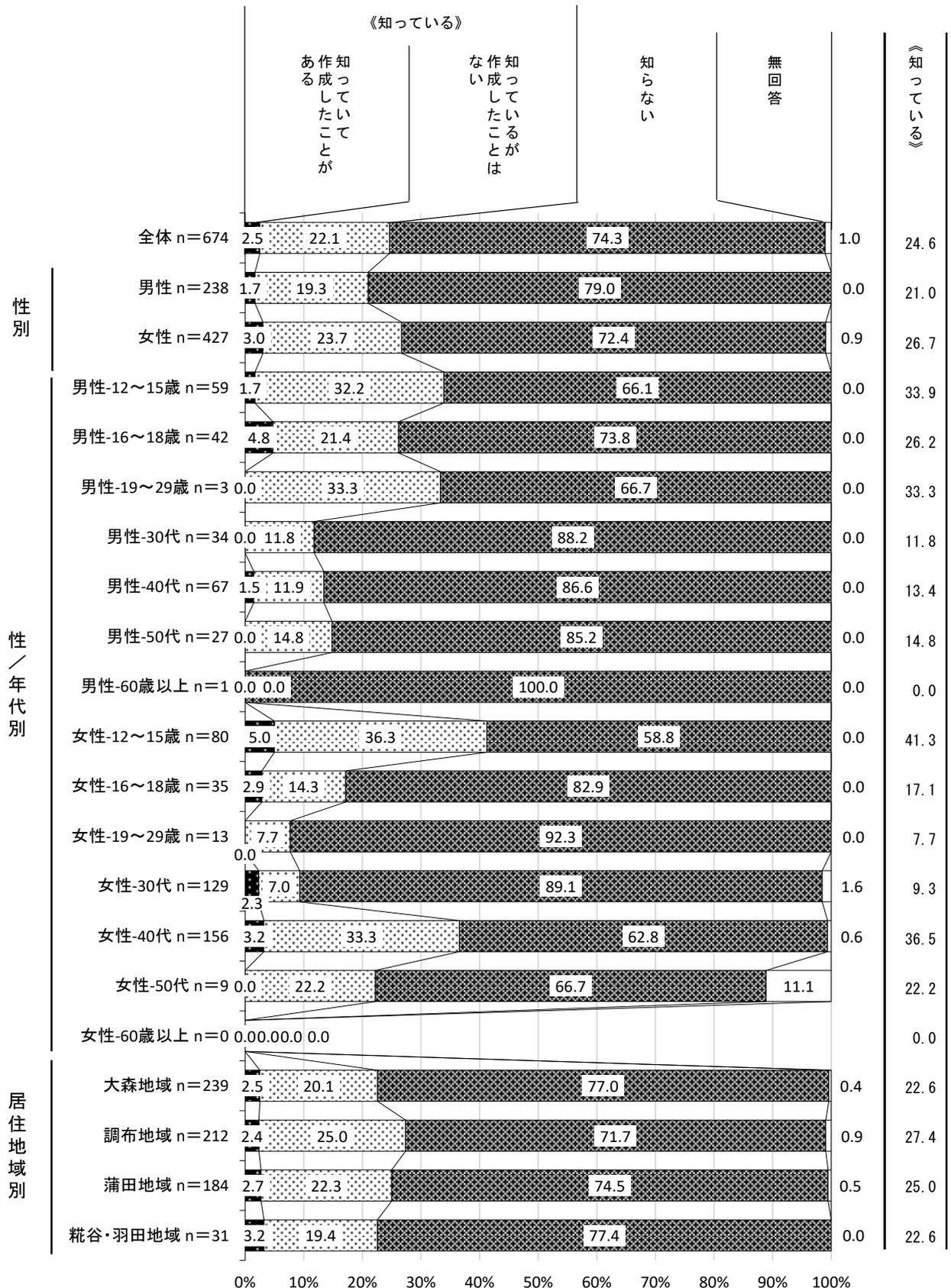


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、《知っている》は男性が 21.0%、女性が 26.7%と、女性が 5.7 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、《知っている》は男性では 12～15 歳で 3 割前半、女性では 12～15 歳で 4 割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、《知っている》は調布地域で 2 割後半と高くなっている。



(2) 「マイ・タイムライン」の作成方法

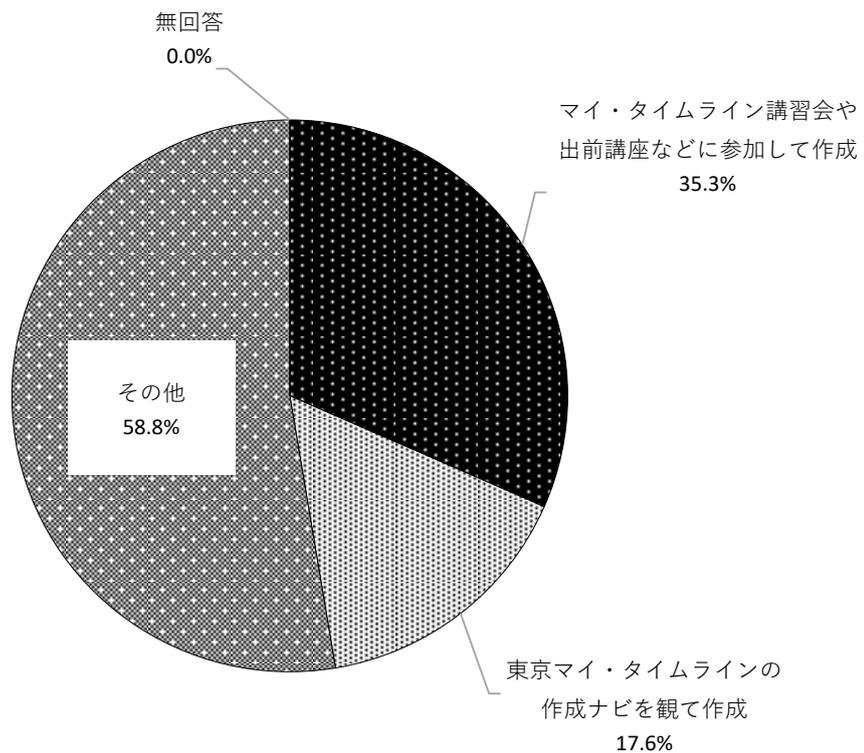
◇「マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成」が3割半ばとなっている

【問1で「1 知っていて作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問1-1 どのように作成しましたか。(複数選択可)

“マイ・タイムライン”の作成方法については、「マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成」が35.3%で最も高く、次いで「東京マイ・タイムラインの作成ナビを観て作成」が17.6%となっている。

全体 n=17



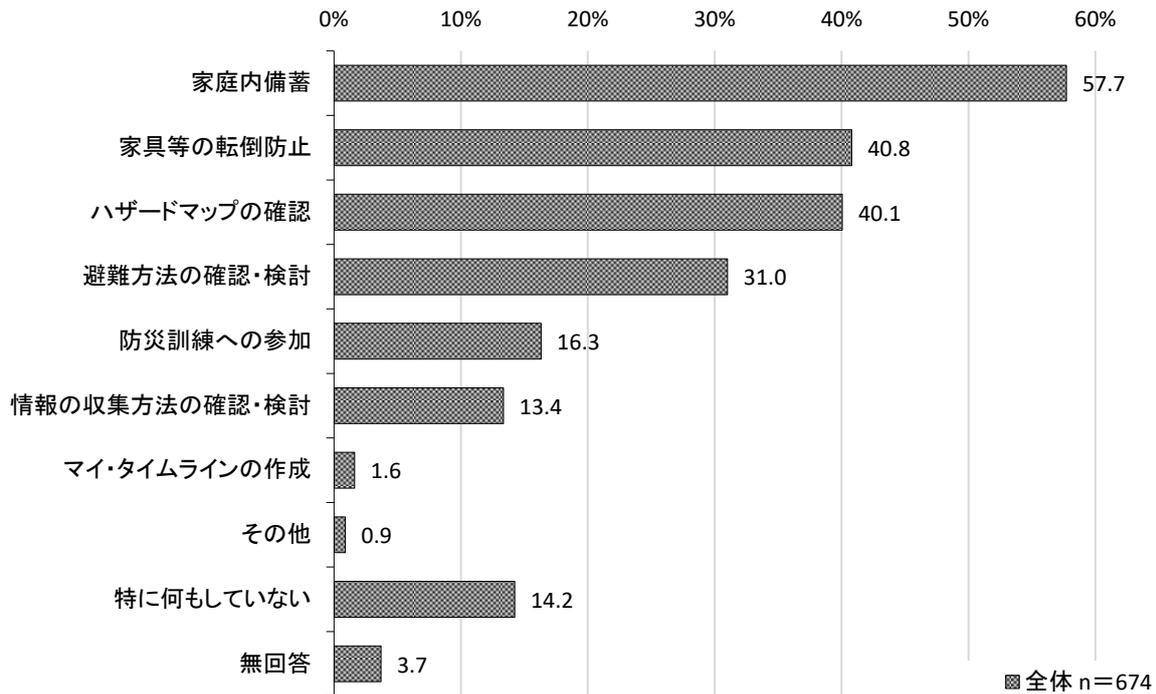
(3) 災害から身を守るための取り組み

◇「家庭内備蓄」が5割後半で最も高くなっている

問2 災害から身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(複数選択可)

災害から身を守るための取り組みについては、「家庭内備蓄」が57.7%で最も高く、次いで「家具等の転倒防止」が40.8%、「ハザードマップの確認」が40.1%となっている。

なお、「特に何もしていない」は14.2%となっている。

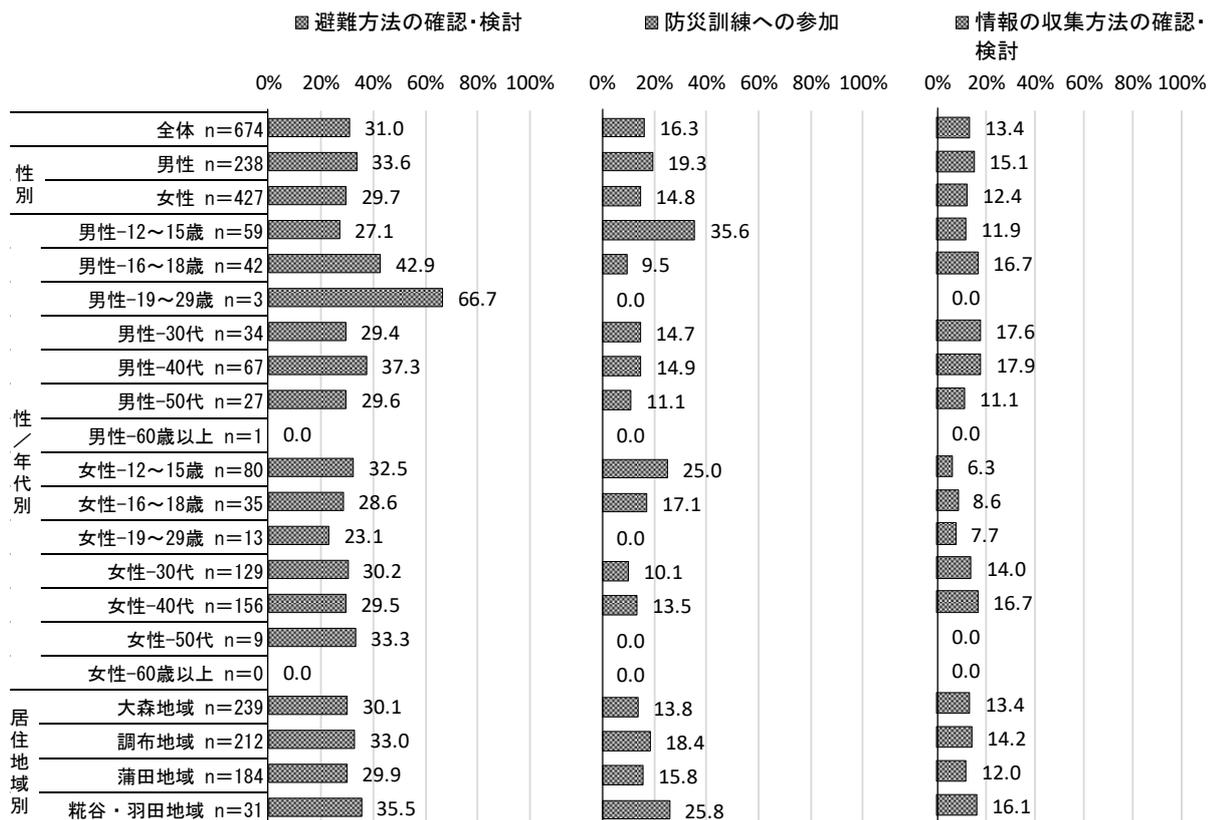
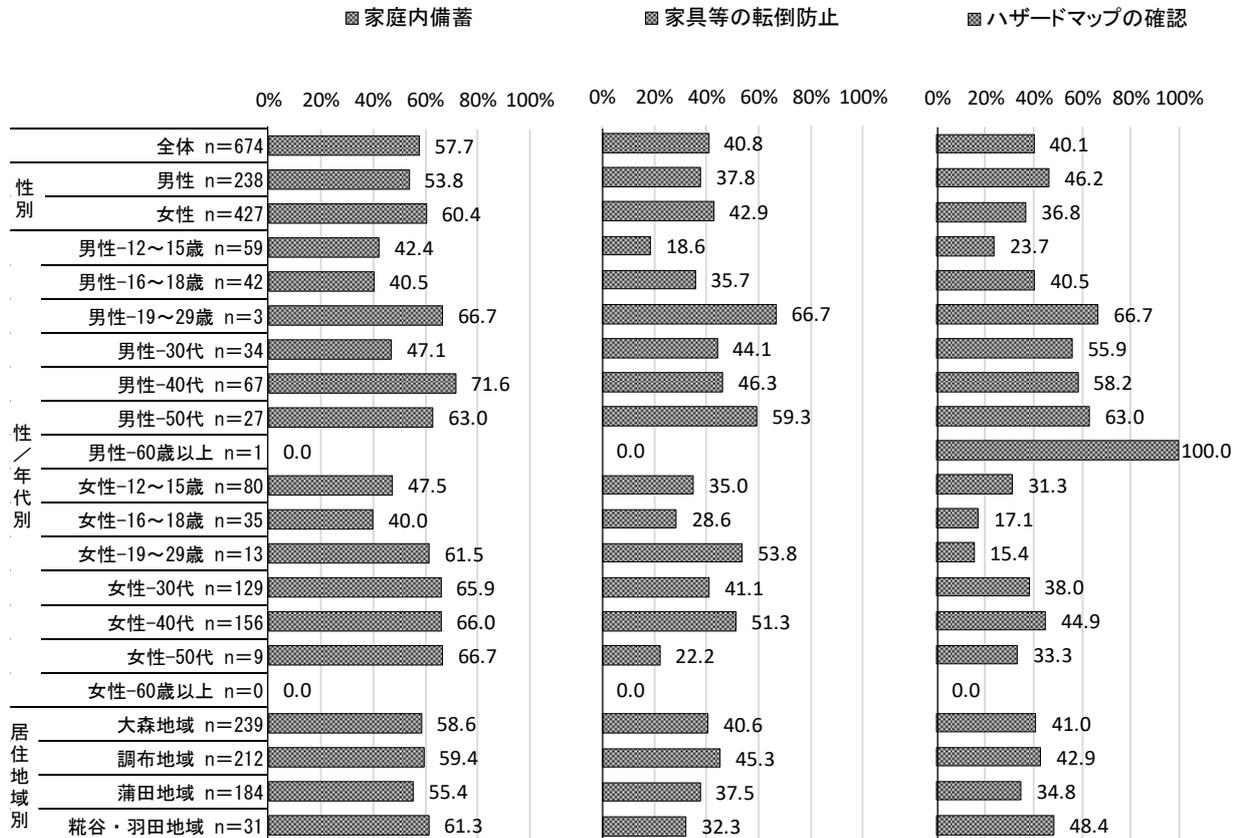


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「家庭内備蓄」が最も高く、男性が53.8%、女性が60.4%と、女性が6.6ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「家庭内備蓄」は男性では40代で7割前半、女性では30代、40代、50代で6割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「家庭内備蓄」が最も高くなっている。

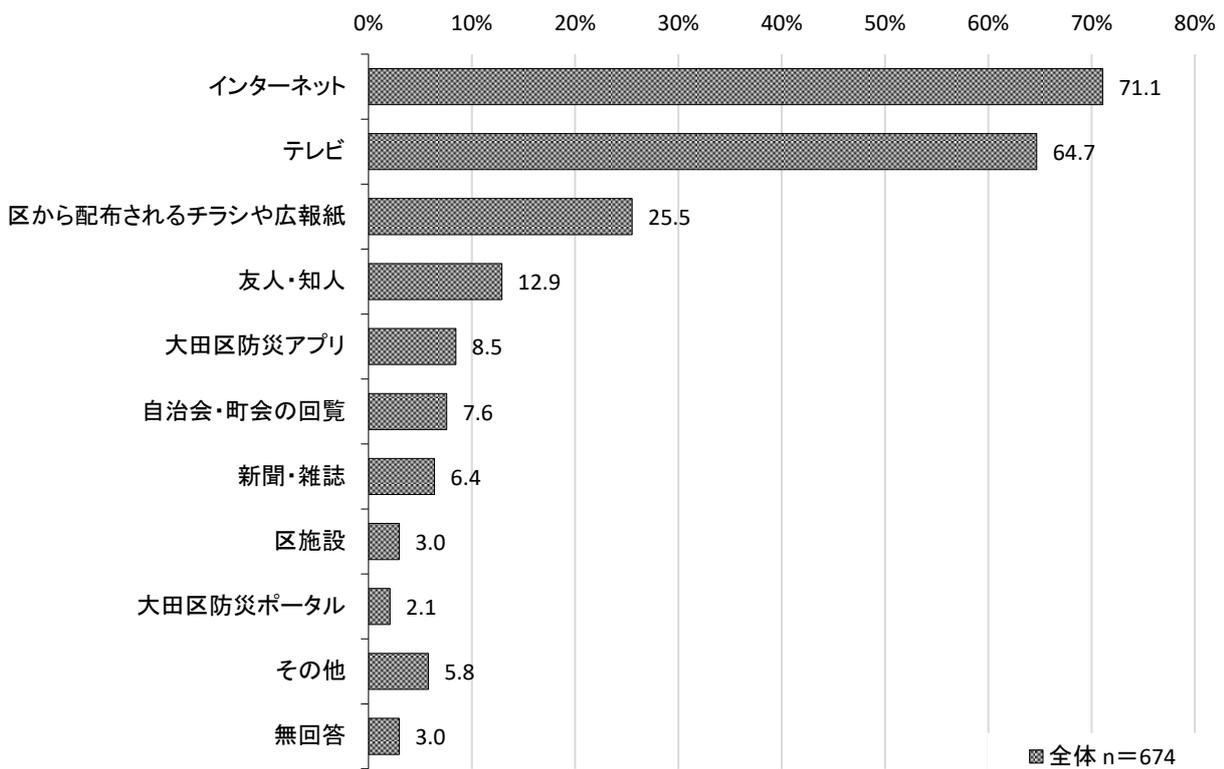


(4) 防災に関する情報の収集方法

◇「インターネット」が7割前半で最も高くなっている

問3 防災に関する情報をどのように収集していますか。(複数選択可)

防災に関する情報の収集方法については、「インターネット」が71.1%で最も高く、次いで「テレビ」が64.7%、「区から配布されるチラシや広報紙」が25.5%となっている。

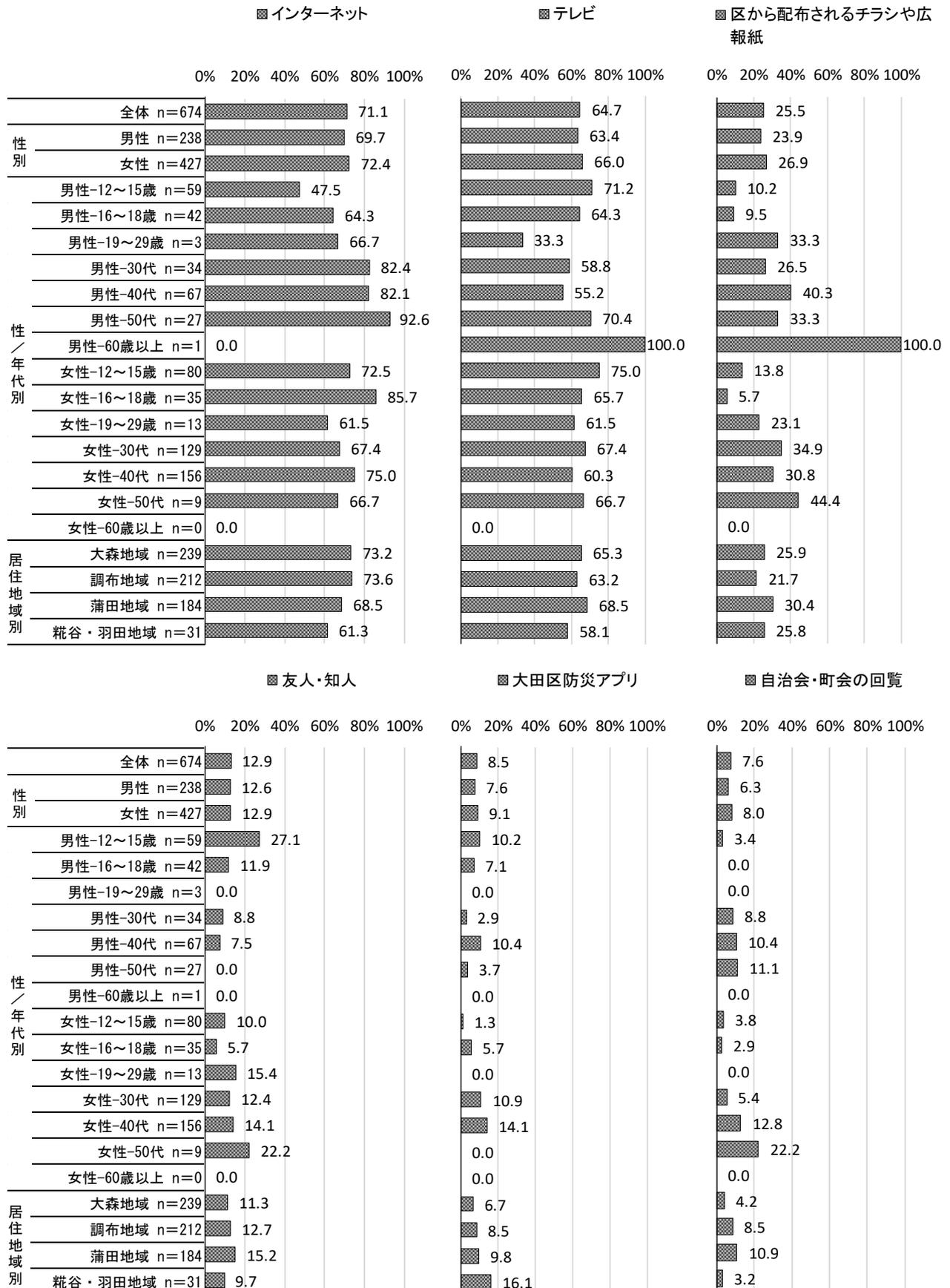


■性別・性／年代別・居住地域別（上位6項目）

性別でみると、男性、女性ともに「インターネット」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「インターネット」は男性では30代、40代で8割前半、50代で9割前半、女性では16～18歳で8割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。

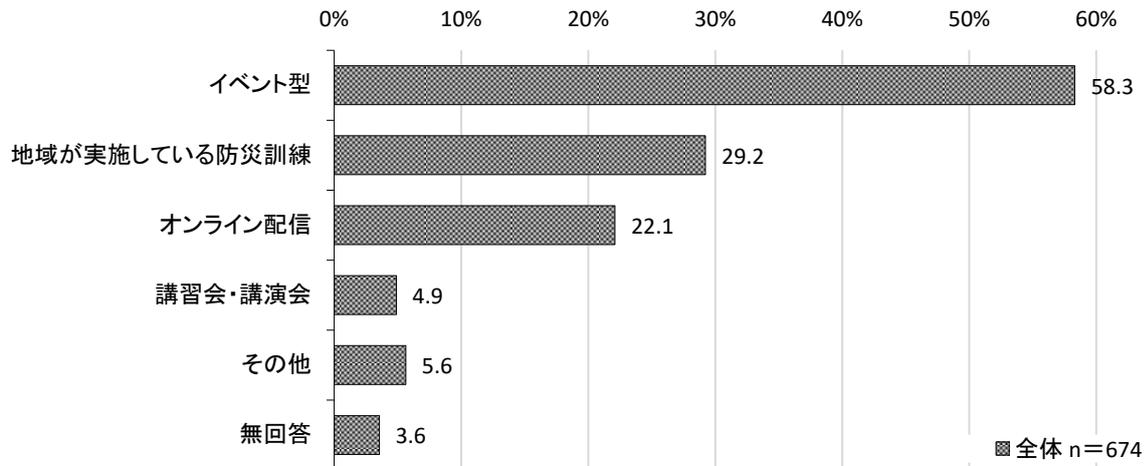


(5) 参加したいと思う防災訓練の形式

◇「イベント型」が5割後半で最も高くなっている

問4 どのような防災訓練等に参加したいですか。(複数選択可)

参加したいと思う防災訓練の形式については、「イベント型」が58.3%で最も高く、次いで「地域が実施している防災訓練」が29.2%、次いで「オンライン配信」が22.1%となっている。

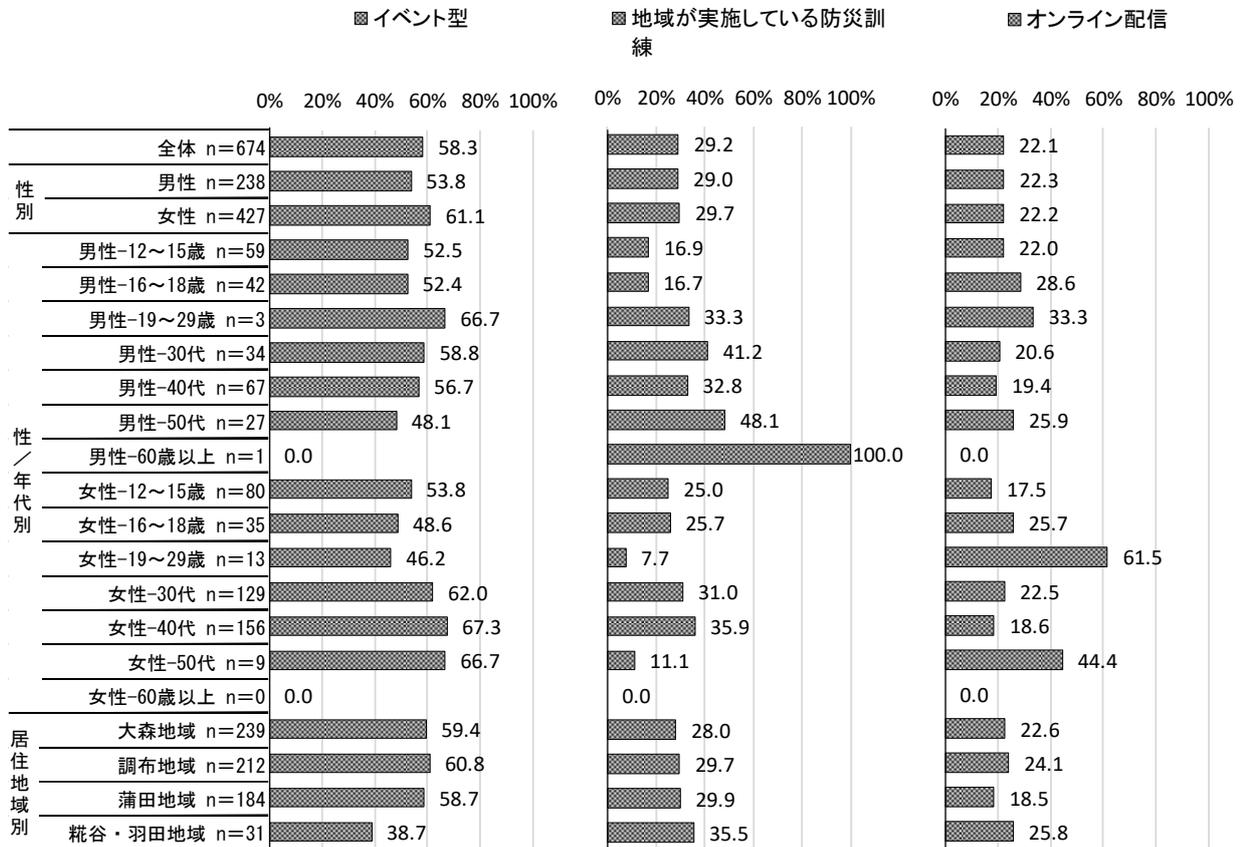


■性別・性／年代別・居住地域別

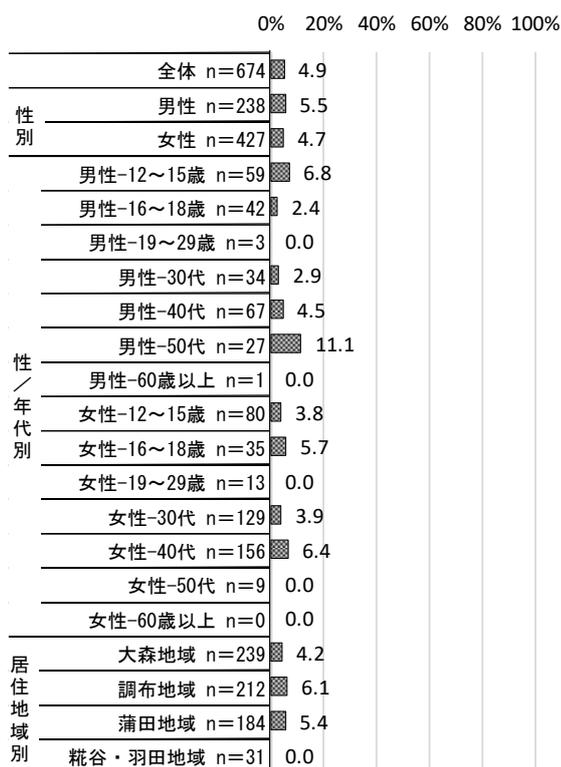
性別で見ると、男性、女性ともに「イベント型」が最も高く、男性が53.8%、女性が61.1%と、女性が7.3ポイント上回っている。

性／年代別で見ると、「イベント型」は男性では30代で5割後半、女性では40代で6割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「イベント型」が最も高くなっている。



■講習会・講演会



3 家庭生活について

※この項目（問5～問7）は、未就学児・小学生の保護者の方が回答してください。中学生・高校生の方は次の「3. 公園について」に進んでください。

（1）コロナ後の家事や育児の負担感

◇「負担感が変わった」は約2割となっている

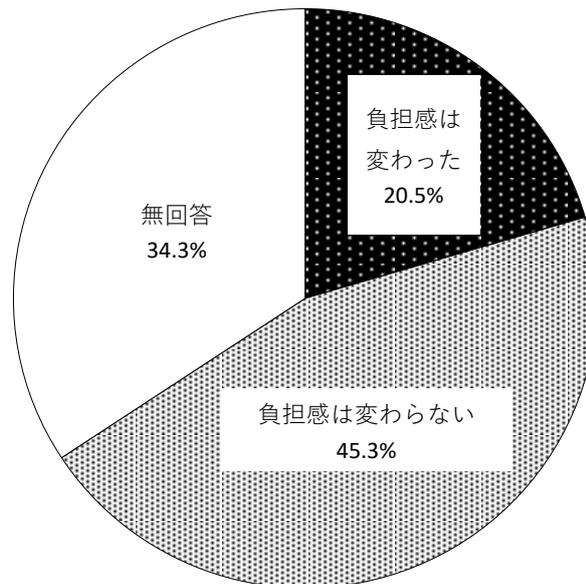
問5 コロナ禍と現在とで家事や育児の負担感は変わりましたか。また子育てで身近に相談できる人・機関はありますか。

※該当するものをそれぞれ選択してください。（それぞれ1つのみ）

[負担感について]

コロナ後の家事や育児の負担感については、「負担感が変わった」が20.5%、「負担感が変わらない」が45.3%と、「負担感が変わらない」が24.8ポイント上回っている。

全体 n=674

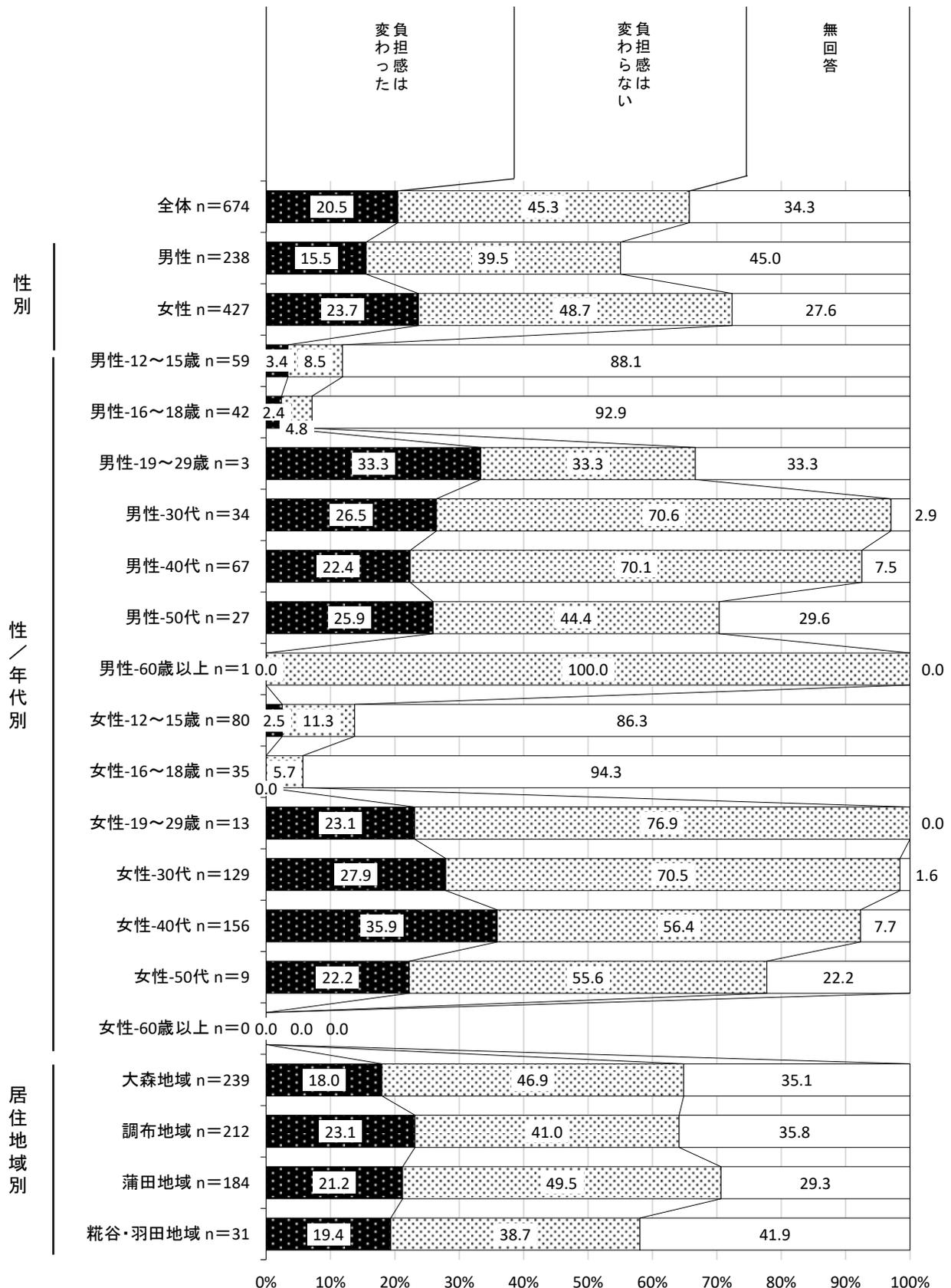


■性別・性／年代別・居住地域別_負担感について

性別でみると、「負担感が変わった」は男性が15.5%、女性が23.7%と、女性が8.2ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「負担感が変わった」は女性40代で3割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、「負担感が変わった」は調布地域で2割前半と高くなっている。



(2) 子育てに関する相談先の有無

◇「相談できる人（機関）がいる（ある）」は2割前半となっている

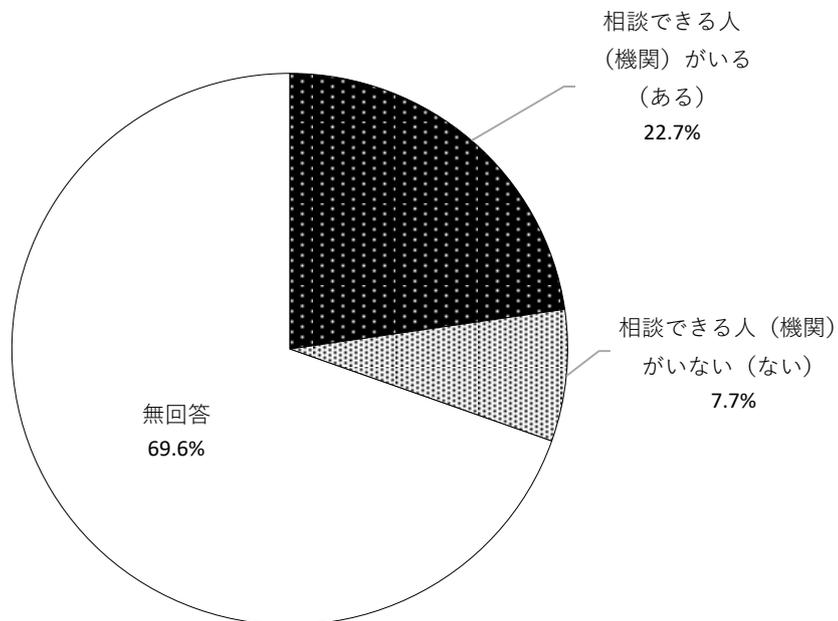
問5 コロナ禍と現在とで家事や育児の負担感は変わりましたか。また子育てで身近に相談できる人・機関はありますか。

※該当するものをそれぞれ選択してください。（それぞれ1つのみ）

[相談できる人・機関について]

子育てに関する相談先の有無については、「相談できる人（機関）がいる（ある）」が22.7%、「相談できる人（機関）がない（ない）」が7.7%と、「相談できる人（機関）がいる（ある）」が15ポイント上回っている。

全体 n=674

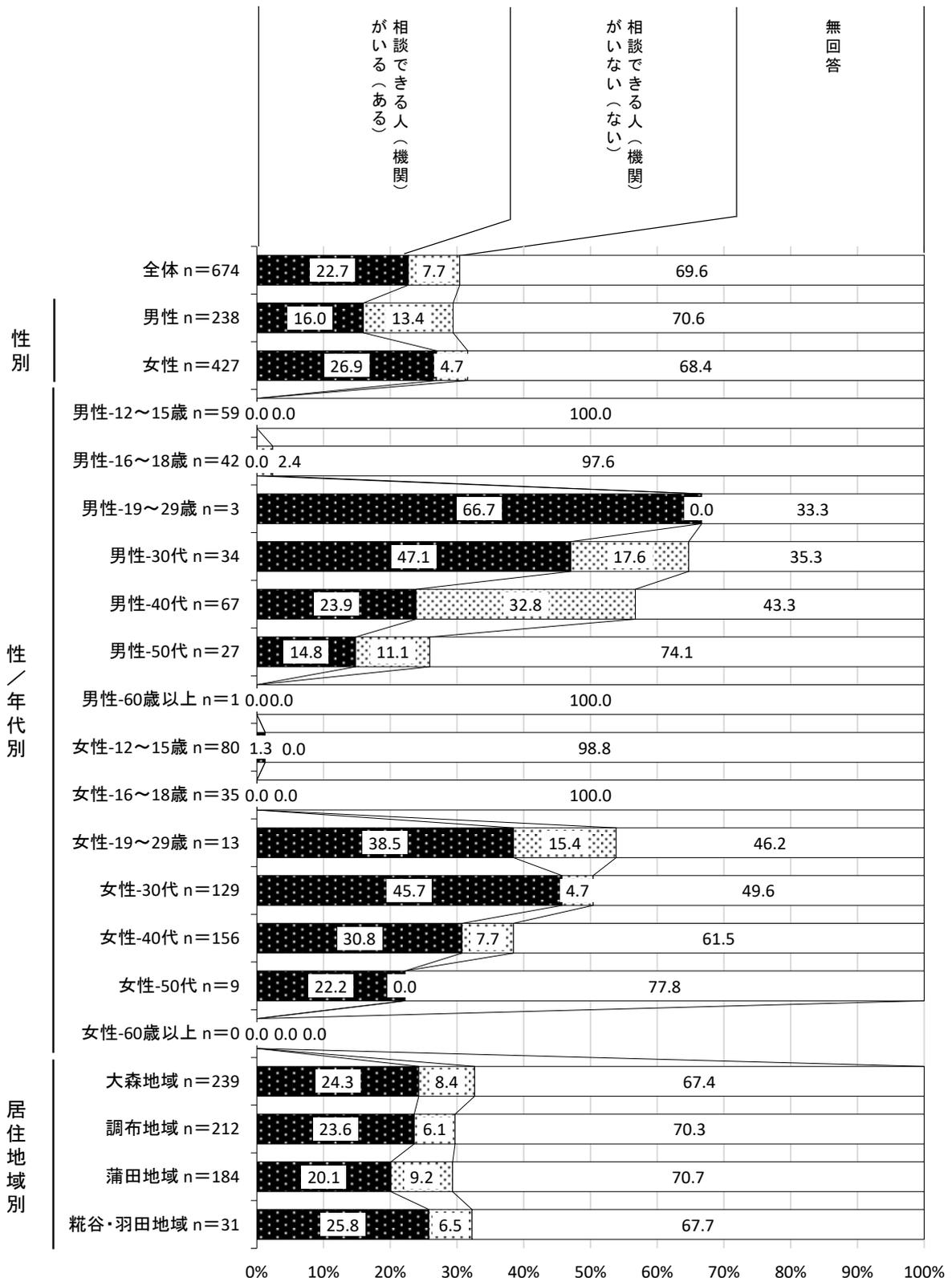


■性別・性／年代別・居住地域別_相談できる人・機関について

性別でみると、「相談できる人（機関）がいる（ある）」は男性が16.0%、女性が26.9%と、女性が10.9ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「相談できる人（機関）がいる（ある）」は男性では30代で4割後半、女性では30代で4割半ばと高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



(3) 「子ども家庭支援センター」の認知度

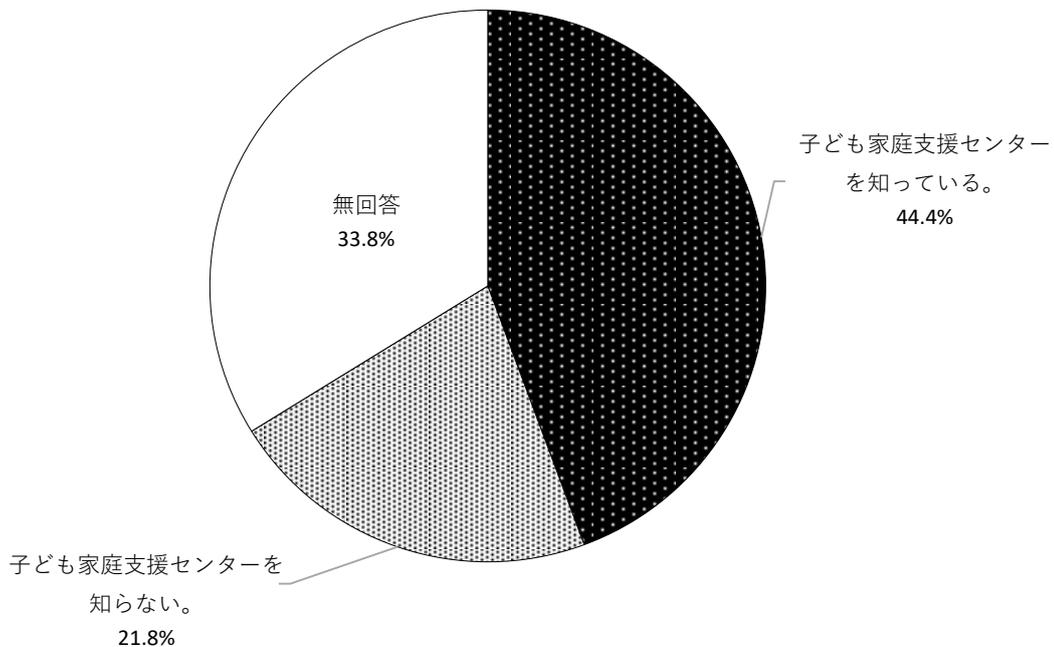
◇「子ども家庭支援センターを知っている。」は4割前半となっている

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターの認知度]

“子ども家庭支援センター”の認知度については、「子ども家庭支援センターを知っている。」が44.4%、「子ども家庭支援センターを知らない。」が21.8%と、「子ども家庭支援センターを知っている。」が22.6ポイント上回っている。

全体 n=674

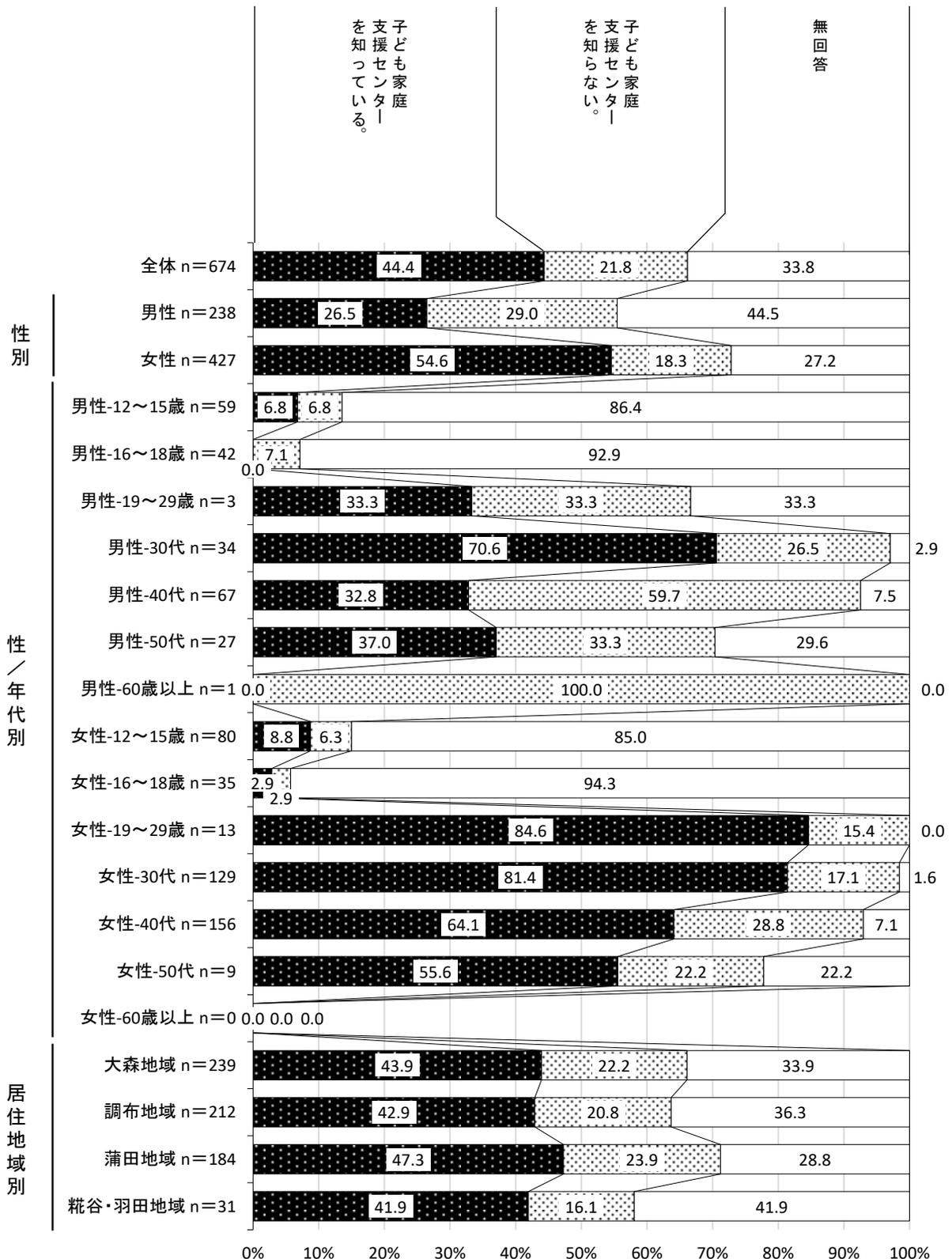


■性別・性／年代別・居住地域別_子ども家庭支援センターについて

性別でみると、「子ども家庭支援センターを知っている。」は男性が26.5%、女性が54.6%と、女性が28.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「子ども家庭支援センターを知っている。」は男性では30代で7割前半、女性では30代で8割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



(4) 「子ども家庭支援センター」の事業の利用状況について

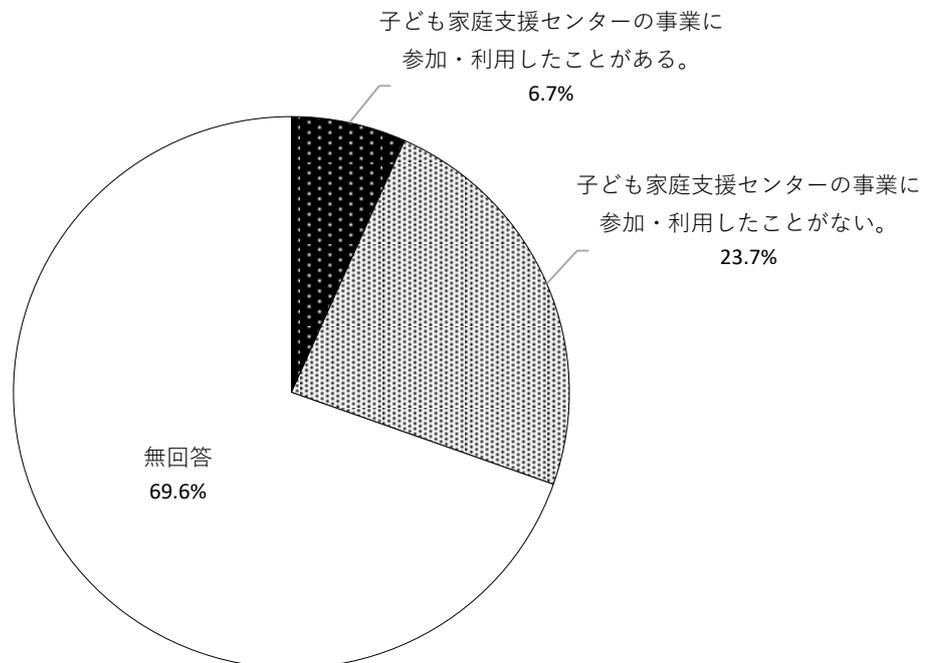
◇「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがある。」は1割未満となっている

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターの事業の利用状況について]

子ども家庭支援センターの事業の利用状況については、「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがある。」が6.7%である一方で、「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがない。」が23.7%と、「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがない。」が17ポイント上回っている。

全体 n=674

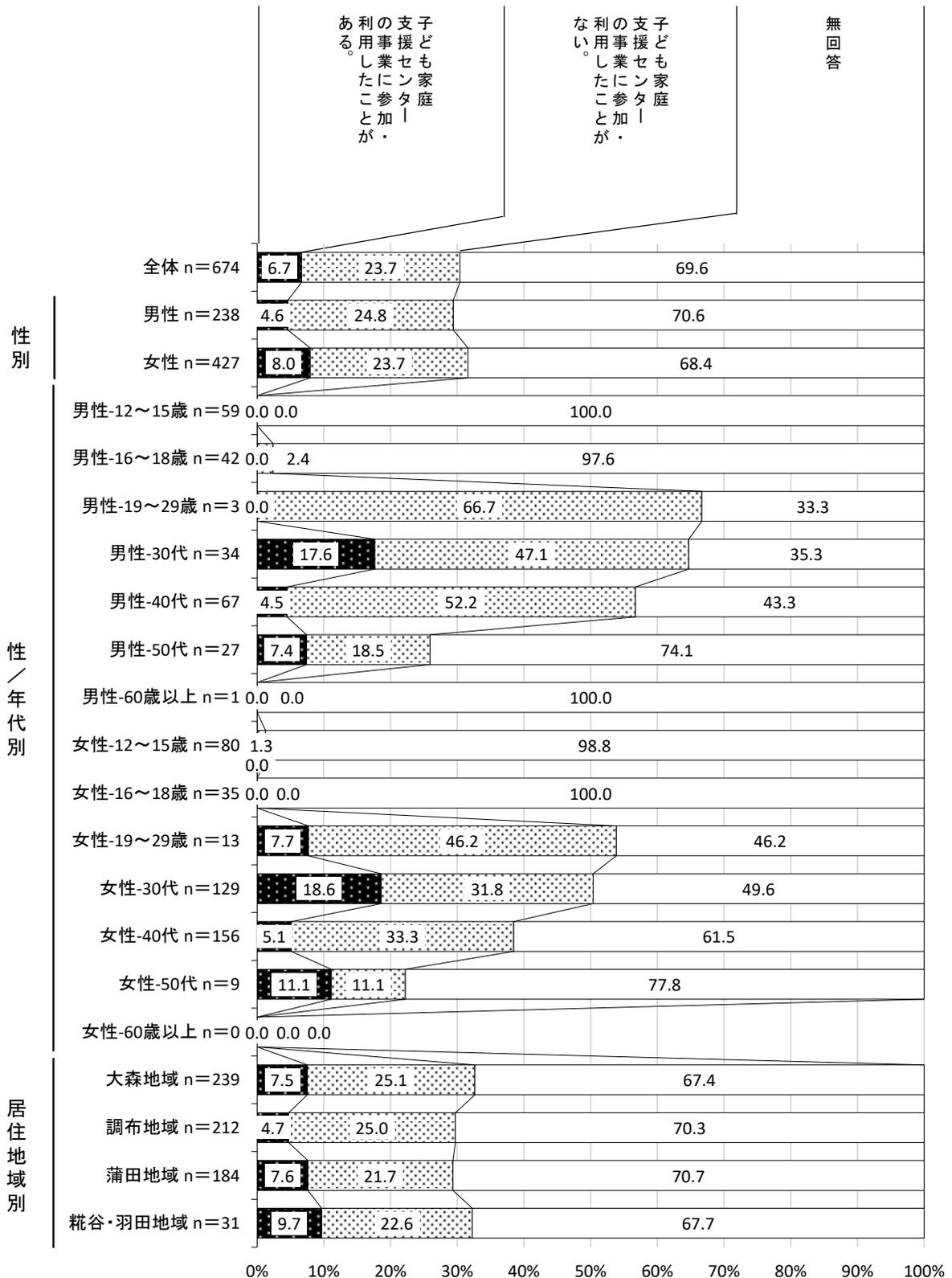


■性別・性／年代別・居住地域別_子ども家庭支援センターの事業の利用状況について

性別でみると、「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがある。」は男性 4.6%、女性 8.0%と、女性が3.4ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがある。」は男性、女性ともに30代で1割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがある。」は1割未満となっている。



(5) 「子ども家庭支援センター」でのこどもからの相談受付の認知度

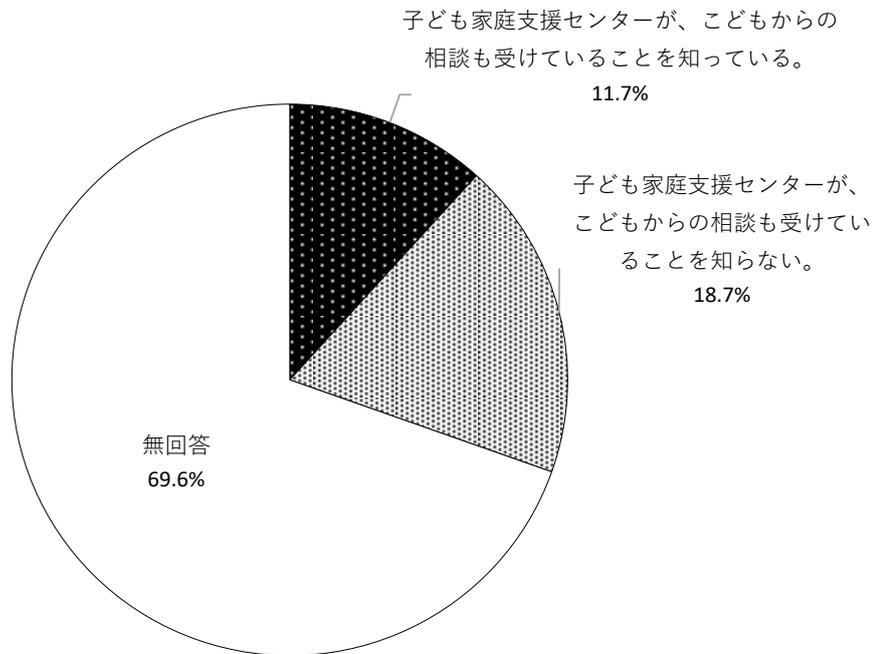
◇「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知っている。」は1割前半となっている

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターでのこどもからの相談受付の認知度]

子ども家庭支援センターでのこどもからの相談受付の認知度については、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知っている。」が11.7%である一方で、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知らない。」が18.7%と、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知らない。」が7ポイント上回っている。

全体 n=674

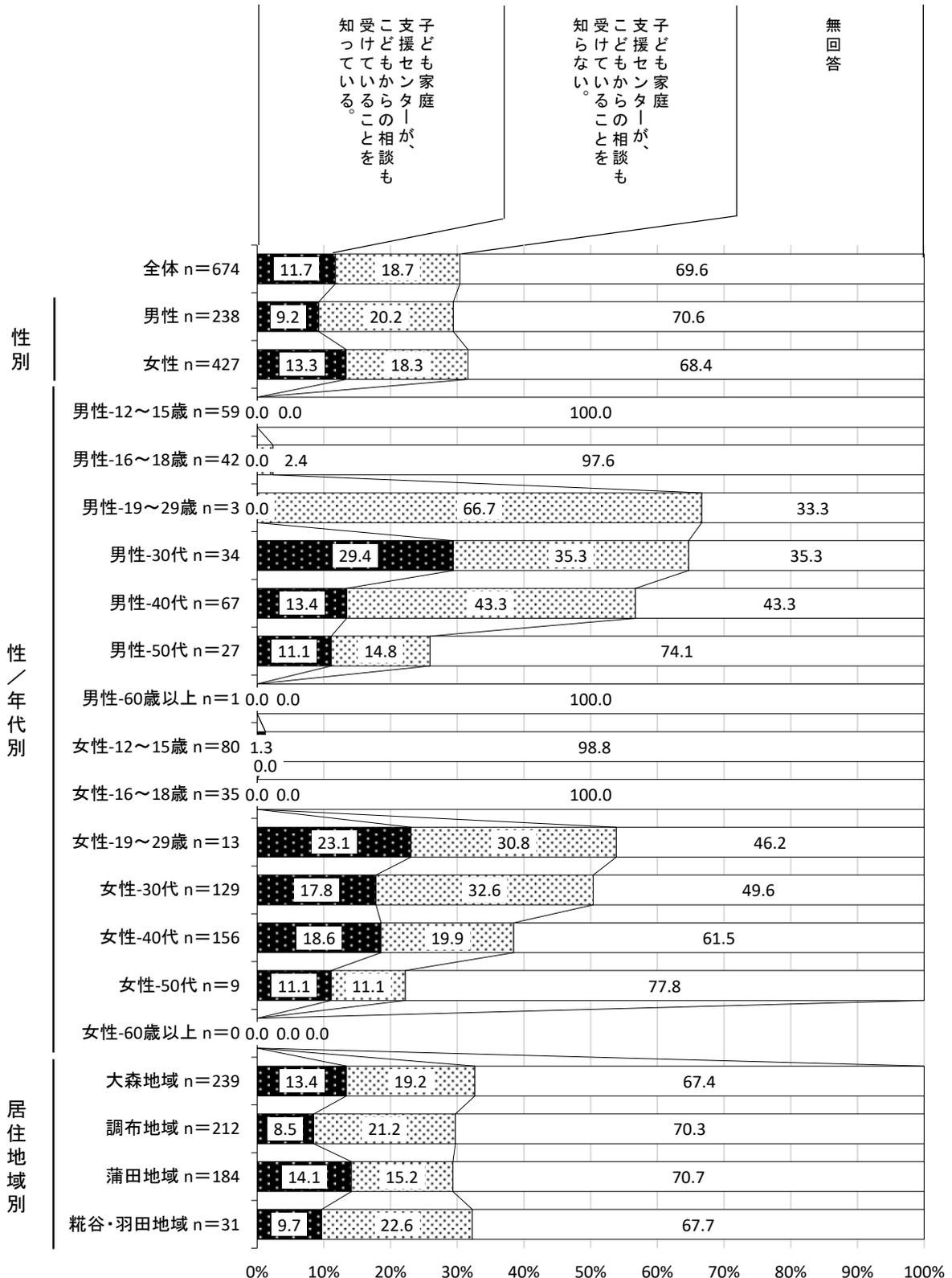


■性別・性／年代別・居住地域別_子ども家庭支援センターでのこどもからの相談受付の認知度

性別でみると、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知っている。」は男性が9.2%、女性が13.3%と、女性が4.1ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知っている。」は男性30代で2割後半と高くなっている。

居住地域別でみると、「子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知っている。」は大森地域、蒲田地域で1割前半と高くなっている。



(6) 「子ども家庭支援センター」への相談について①

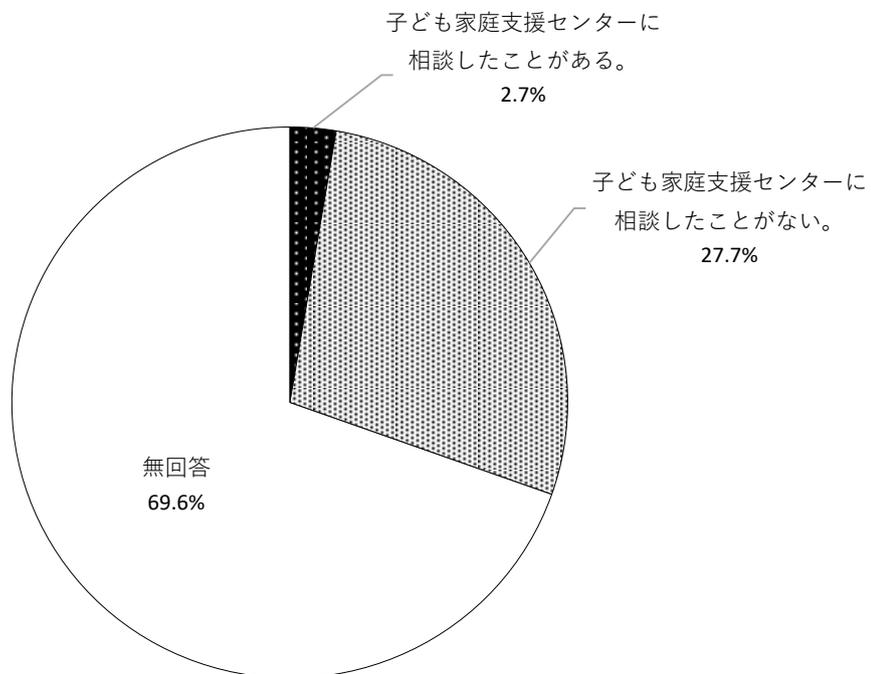
◇「子ども家庭支援センターに相談したことがある。」は1割未満となっている

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターへの相談について①]

子ども家庭支援センターへの相談については、「子ども家庭支援センターに相談したことがある。」が2.7%である一方で、「子ども家庭支援センターに相談したことがない。」が27.7%と、「子ども家庭支援センターに相談したことがない。」が25ポイント上回っている。

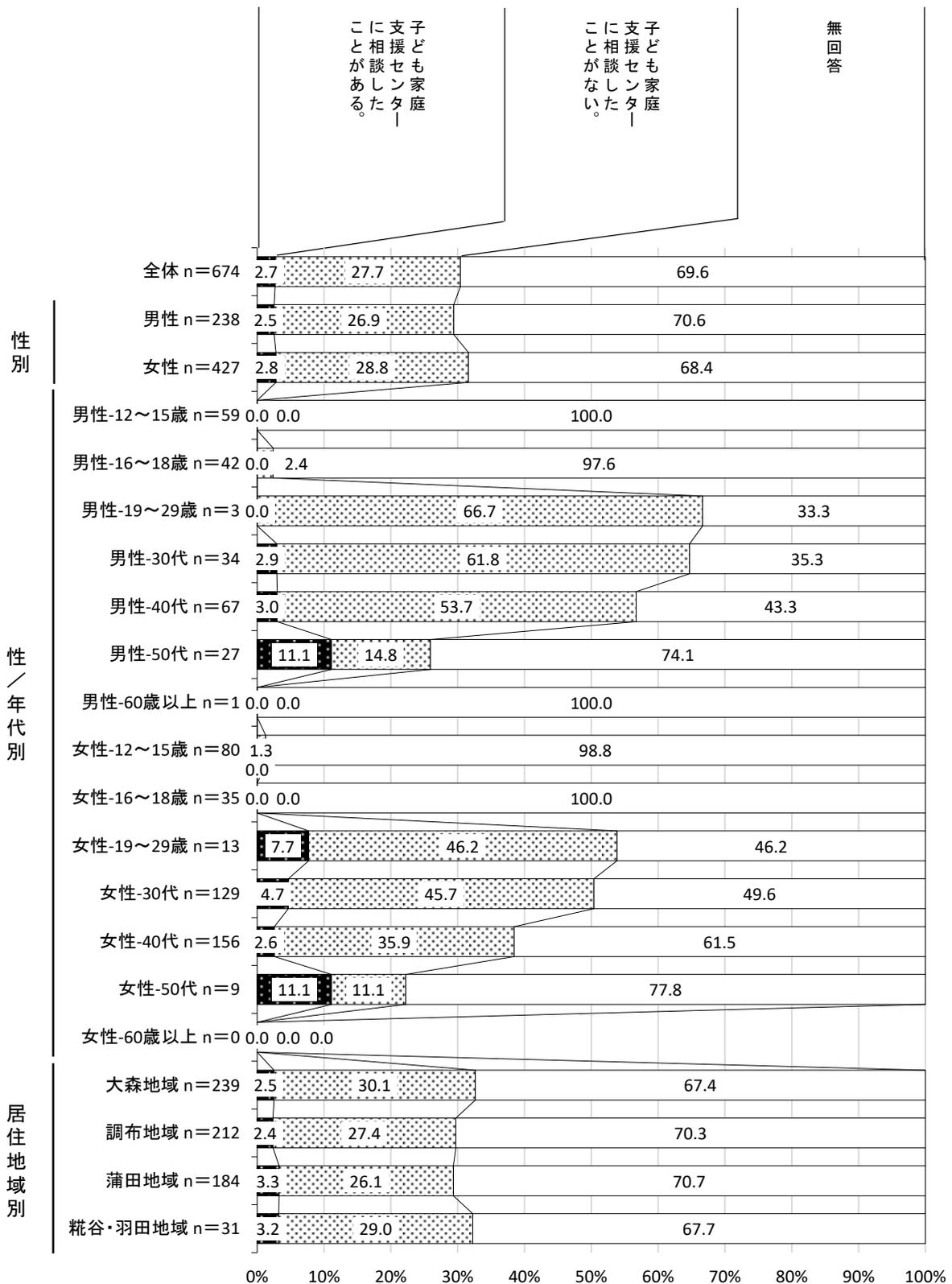
全体 n=674



■性別・性／年代別・居住地域別_子ども家庭支援センターへの相談について①

性別で見ると、大きな差はみられない。

居住地域別で見ると、すべての地域で「子ども家庭支援センターに相談したことがある。」は1割未満となっている。



(7) 「子ども家庭支援センター」への相談について②

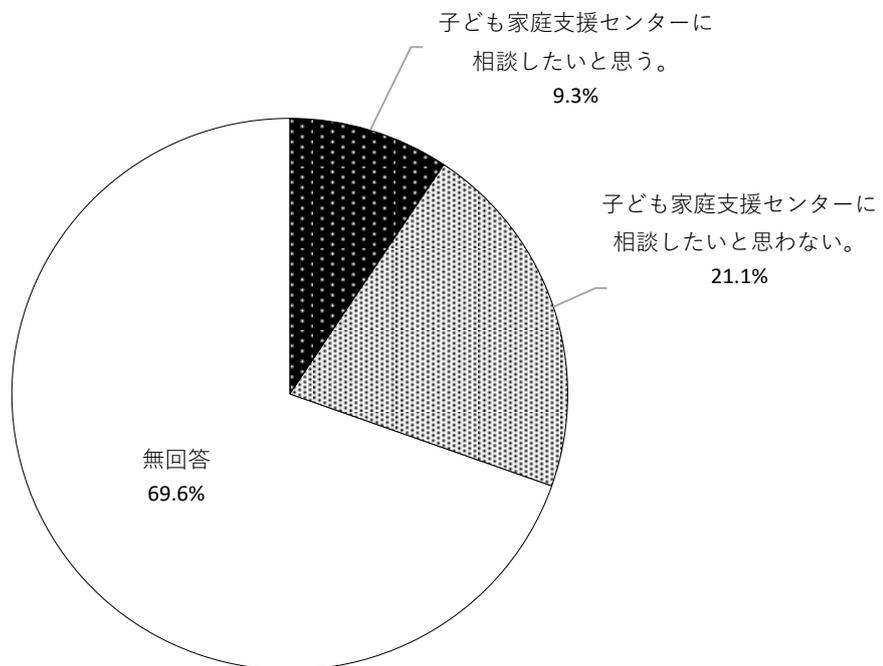
◇「子ども家庭支援センターに相談したいと思う。」は1割未満となっている

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。(それぞれ1つのみ)

[子ども家庭支援センターへの相談について②]

子ども家庭支援センターへの相談については、「子ども家庭支援センターに相談したいと思う。」が9.3%である一方で、「子ども家庭支援センターに相談したいと思わない。」が21.1%と、「子ども家庭支援センターに相談したいと思わない。」が11.8ポイント上回っている。

全体 n=674

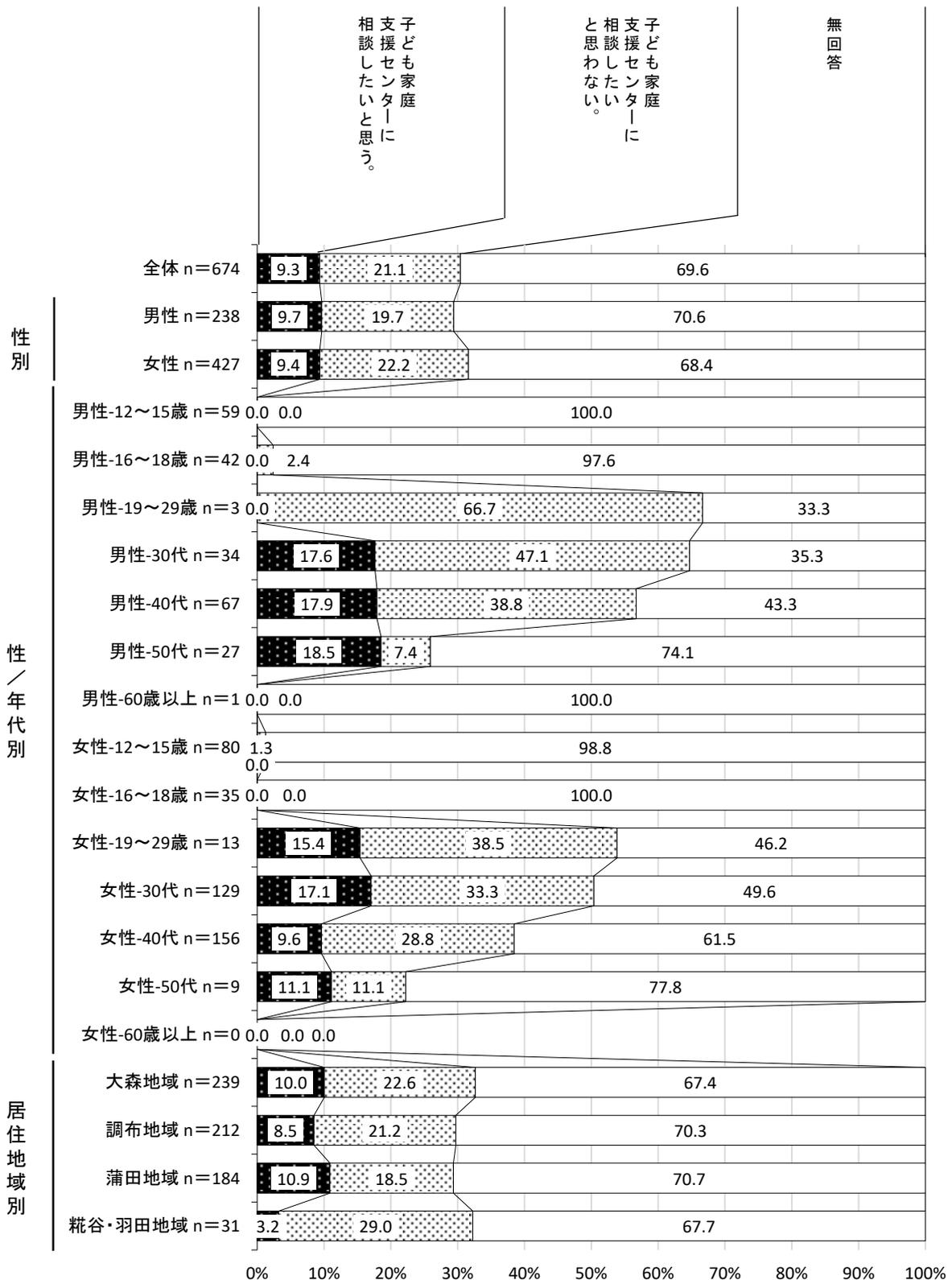


■性別・性／年代別・居住地域別_子ども家庭支援センターへの相談について②

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「子ども家庭支援センターに相談したいと思う。」は男性30代、40代、女性30代で1割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「子ども家庭支援センターに相談したいと思う。」は大森地域、蒲田地域で約1割と高くなっている。



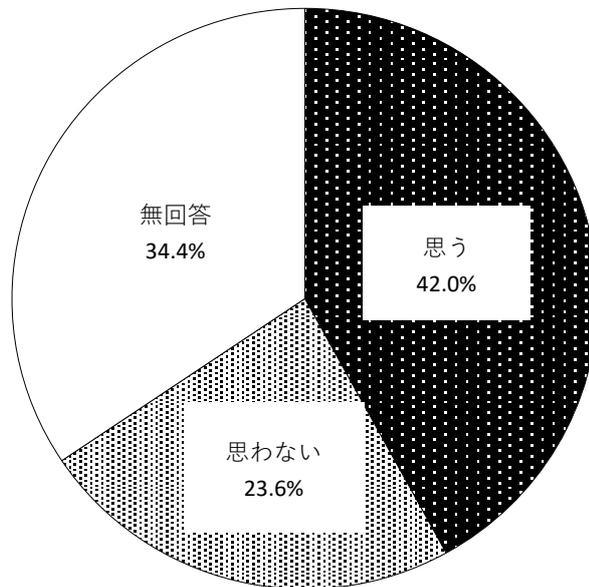
(8) 子育て家庭や親子に対する支援の意向

◇「思う」は4割前半となっている

問7 機会があれば子育てする家庭や親子を支援したいと思いますか。(1つのみ)

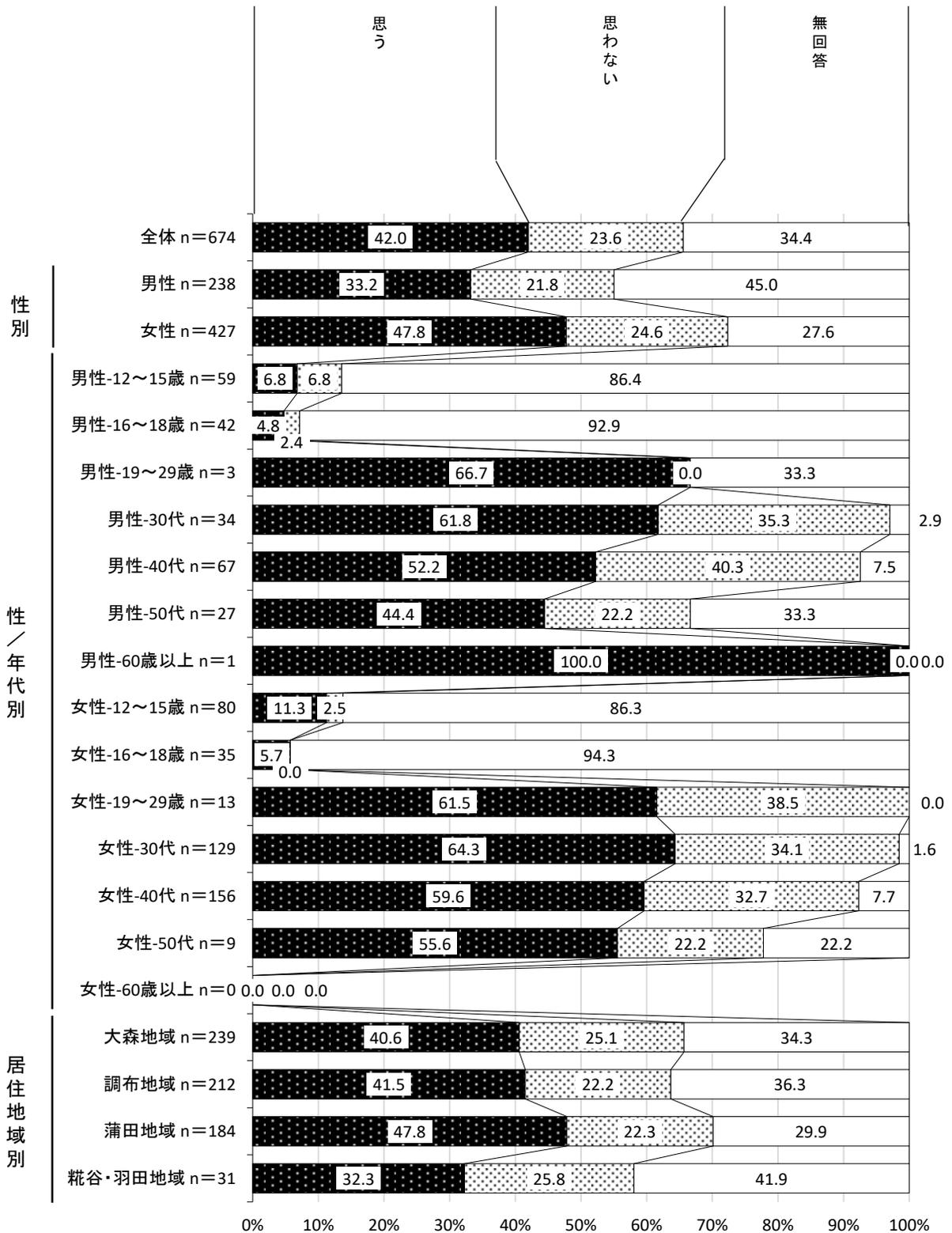
子育て家庭や親子に対する支援の意向については、「思う」が42.0%、「思わない」が23.6%と、「思う」が18.4ポイント上回っている。

全体 n=674



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「思う」は男性が33.2%、女性が47.8%と、女性が14.6ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、「思う」は男性、女性ともに30代で6割前半と高くなっている。
 居住地域別でみると、「思う」は蒲田地域で4割後半と高くなっている。



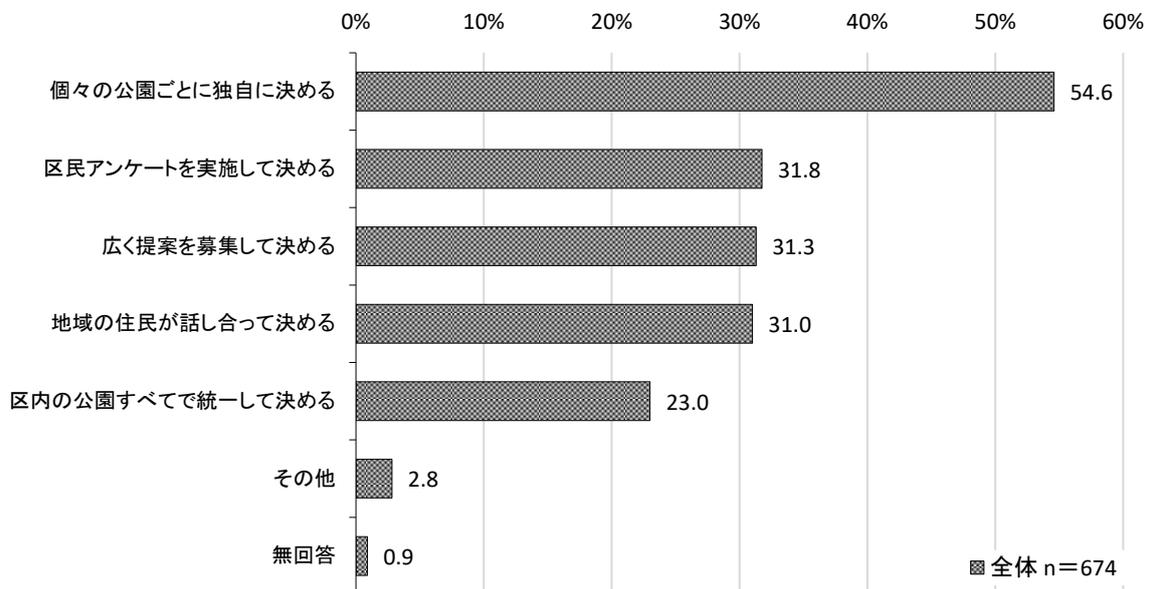
4 公園について

(1) 公園のルールについて賛同できるもの

◇「個々の公園ごとに独自に決める」が5割前半で最も高くなっている

問8 公園での禁止事項、ルールの決め方について賛同できるものを選択して下さい。(3つまで)

公園のルールについて賛同できるものについては、「個々の公園ごとに独自に決める」が54.6%、次いで「区民アンケートを実施して決める」が31.8%、「広く提案を募集して決める」が31.3%となっている。

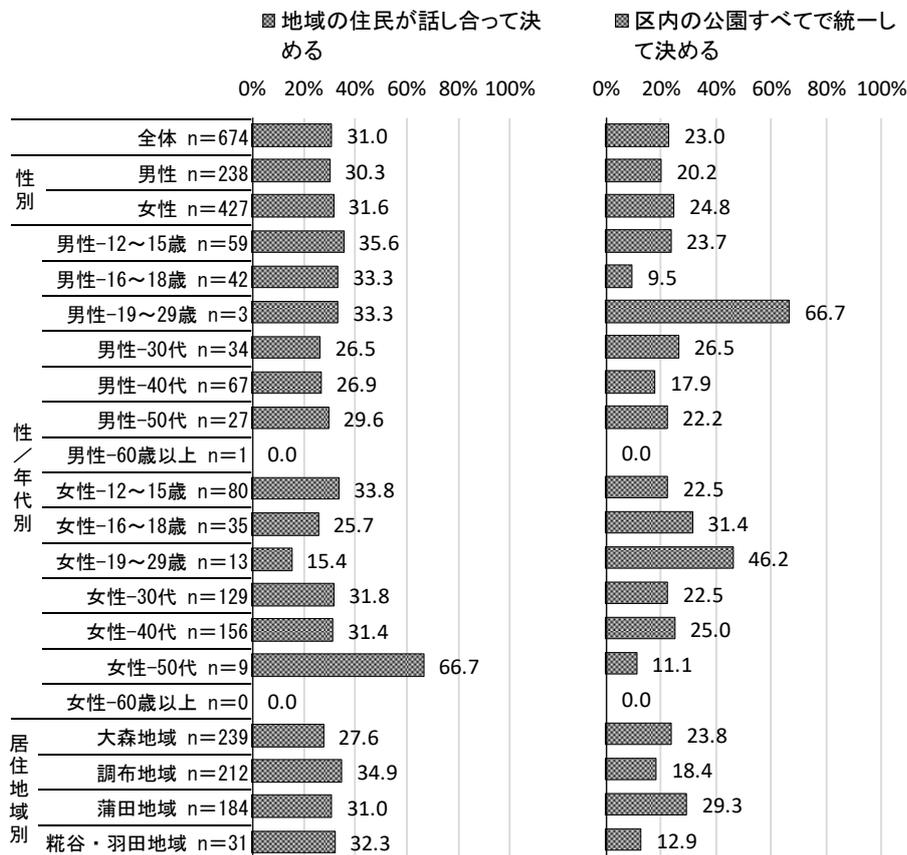
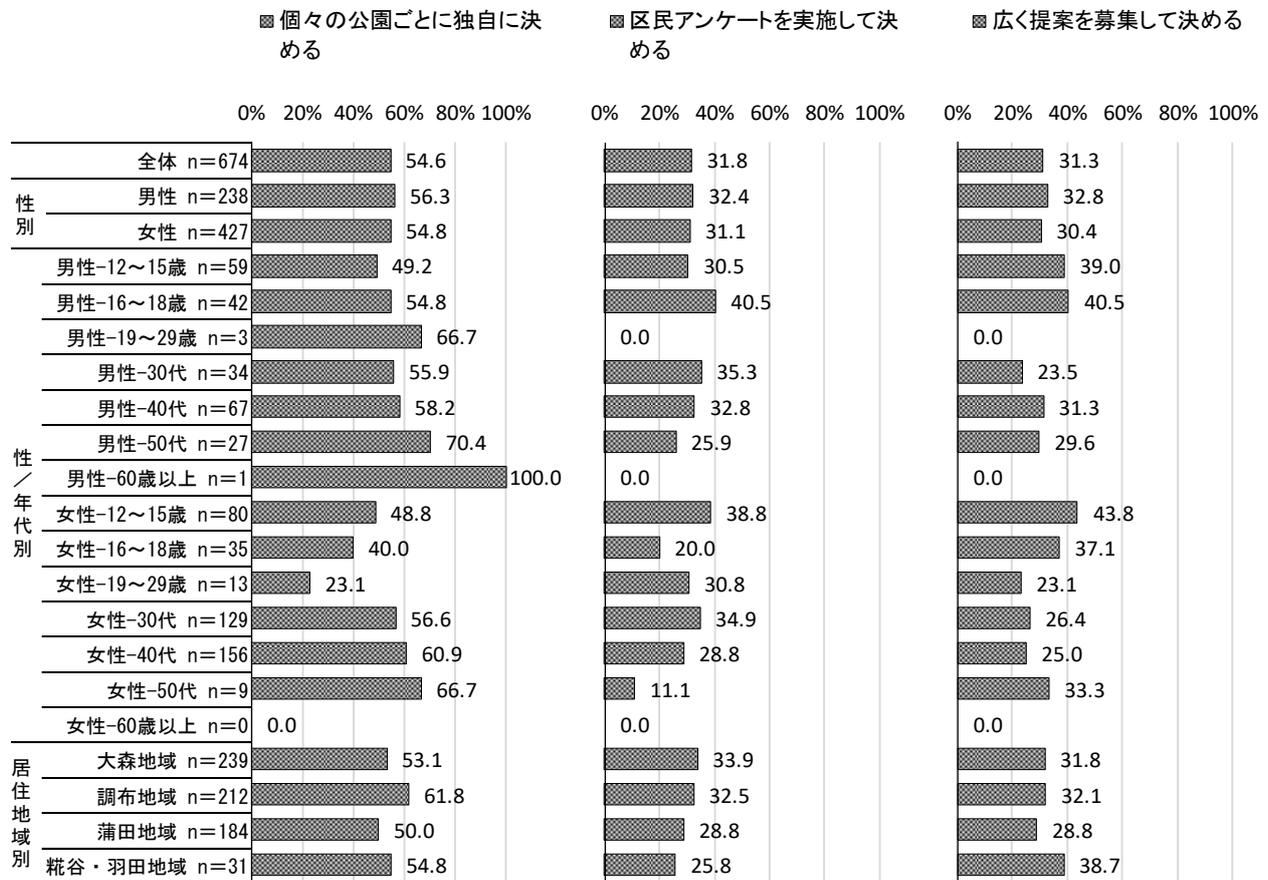


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「個々の公園ごとに独自に決める」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「個々の公園ごとに独自に決める」は女性40代で6割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「個々の公園ごとに独自に決める」は調布地域で6割前半と高くなっている。



5 自転車の利用について

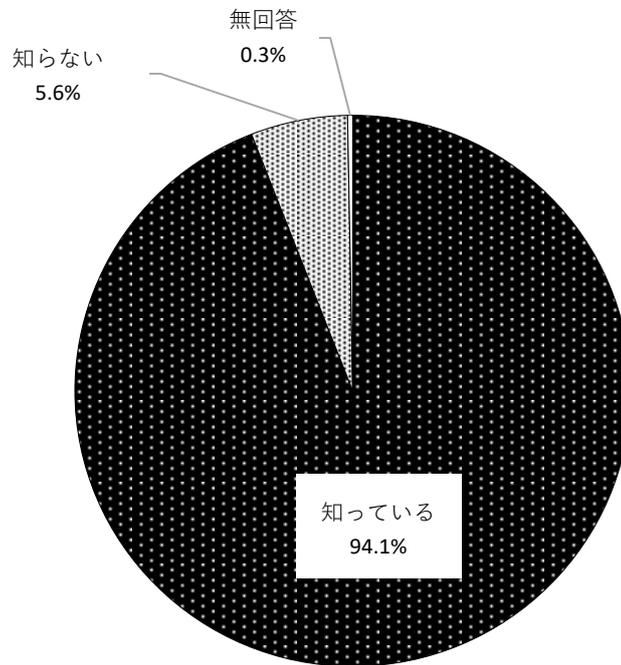
(1) 「ヘルメット着用の努力義務化」の認知度

◇ 「知っている」が9割前半となっている

問9 令和5年4月1日から、自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化されたことを知っていますか。(1つのみ)

“ヘルメット着用の努力義務化”の認知度については、「知っている」が94.1%、「知らない」が5.6%と、「知っている」が88.5ポイント上回っている。

全体 n=674

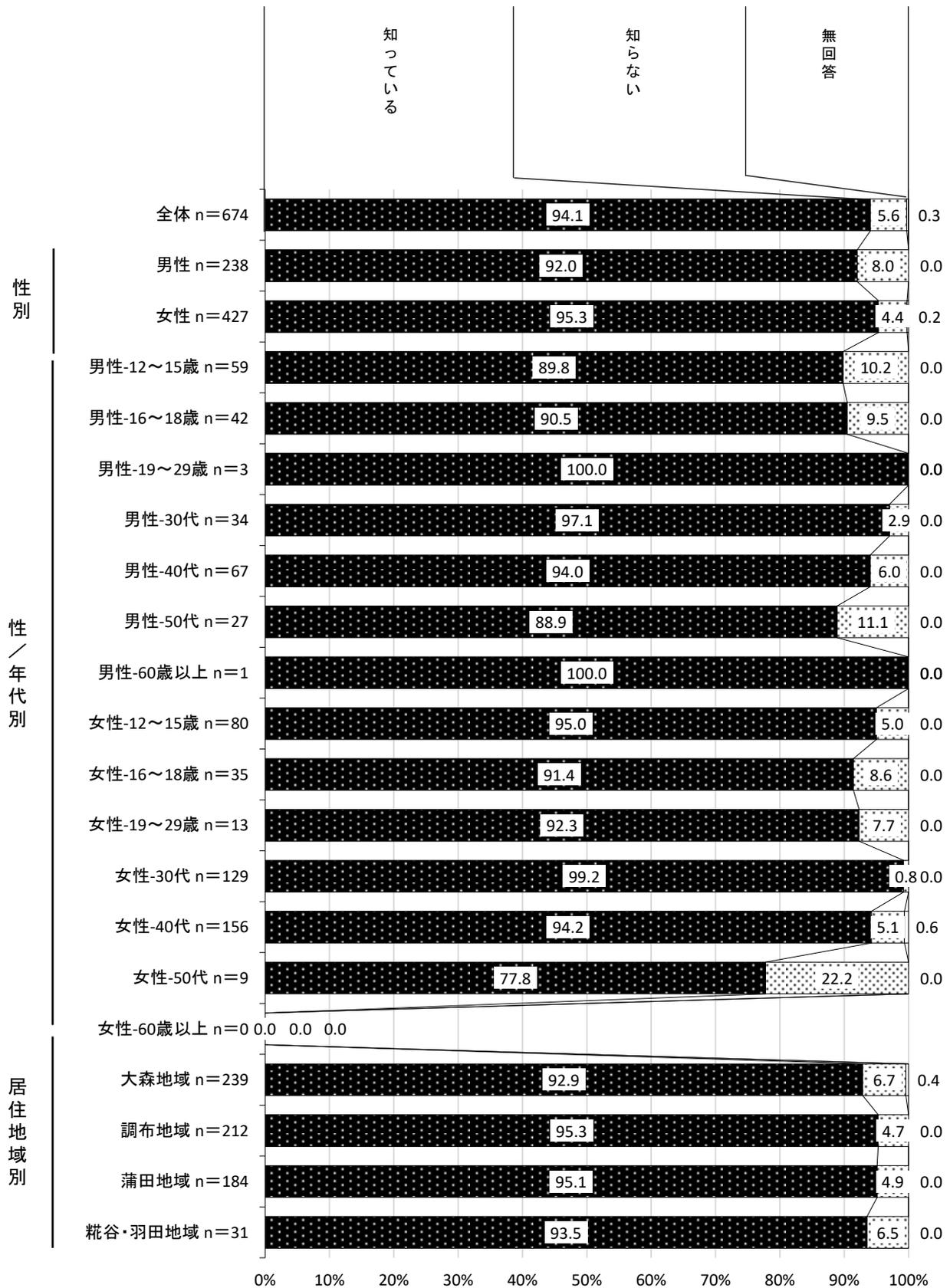


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「知っている」はほぼすべての年代で9割以上となっている。

居住地域別で見ると、「知っている」はすべての地域で9割以上となっている。



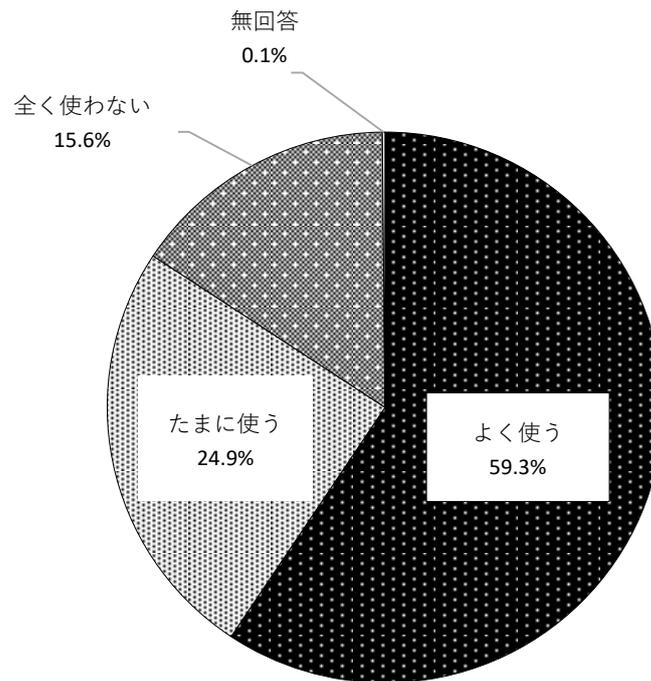
(2) 自転車の利用状況

◇「よく使う」が5割後半となっている

問 10 普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

自転車の利用状況については、「よく使う」が59.3%、次いで「たまに使う」が24.9%「全く使わない」が15.6%となっている。

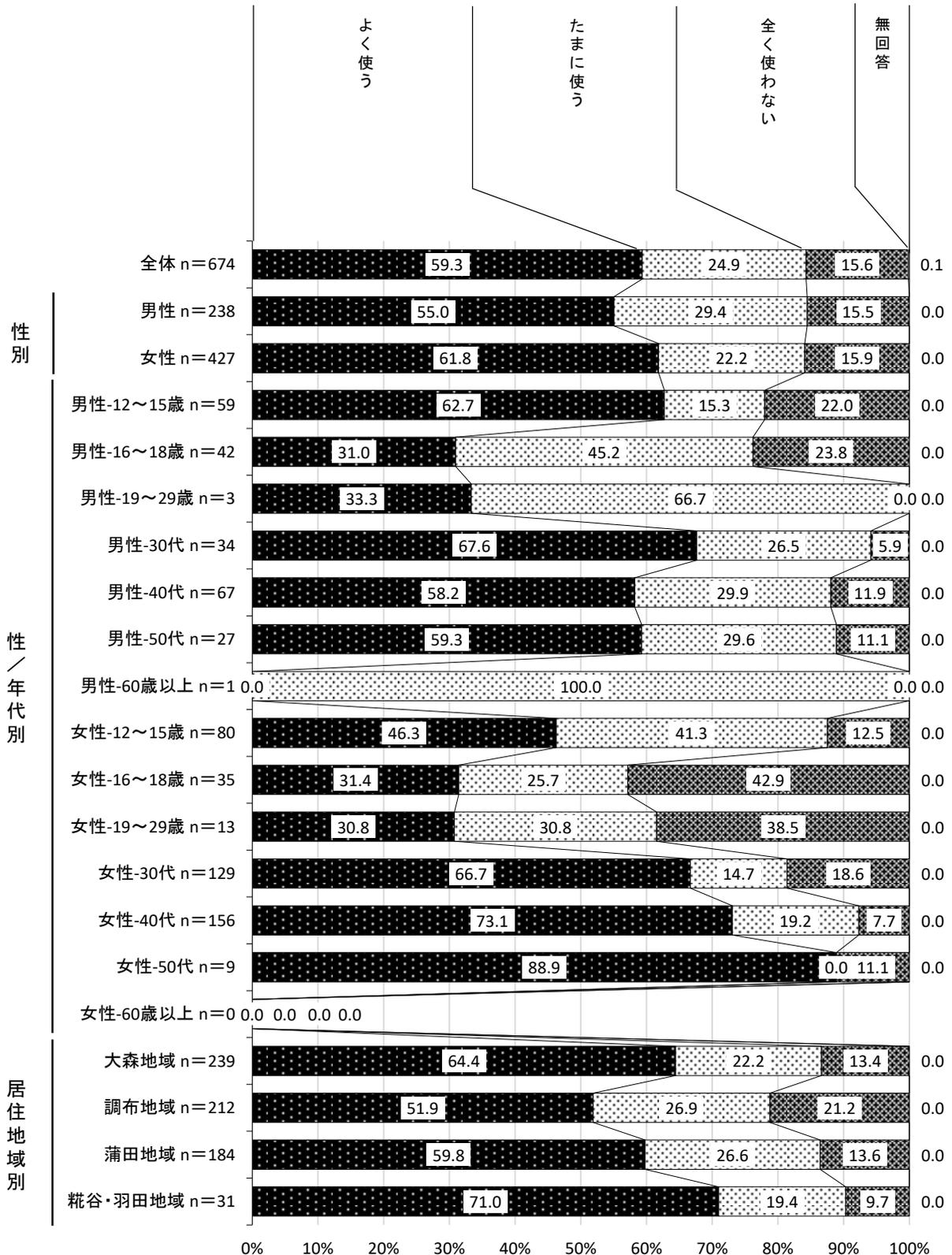
全体 n=674



■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、「よく使う」は男性が55.0%、女性が61.8%と、女性が6.8ポイント上回っている。
 性／年代別で見ると、「よく使う」は男性では30代で6割後半、女性では40代で7割前半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「よく使う」は糀谷・羽田地域で7割前半と高くなっている。



(3) ヘルメットの着用頻度

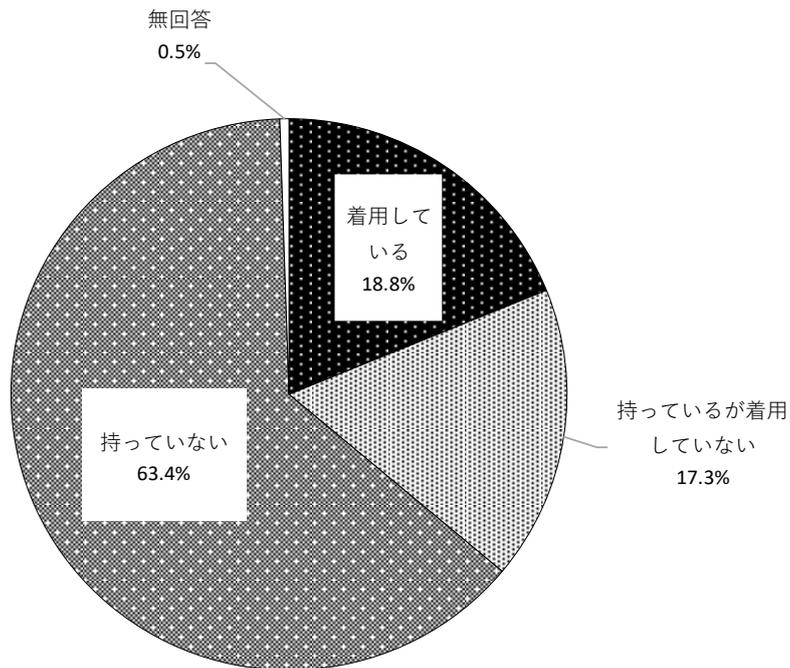
◇「着用している」は1割後半となっている

【問10で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問10-1 自転車に乗る時、ヘルメットを着用していますか。(1つのみ)

ヘルメットの着用頻度については、「持っていない」が63.4%で最も高く、次いで「着用している」が18.8%、「持っているが着用していない」が17.3%となっている。

全体 n=568

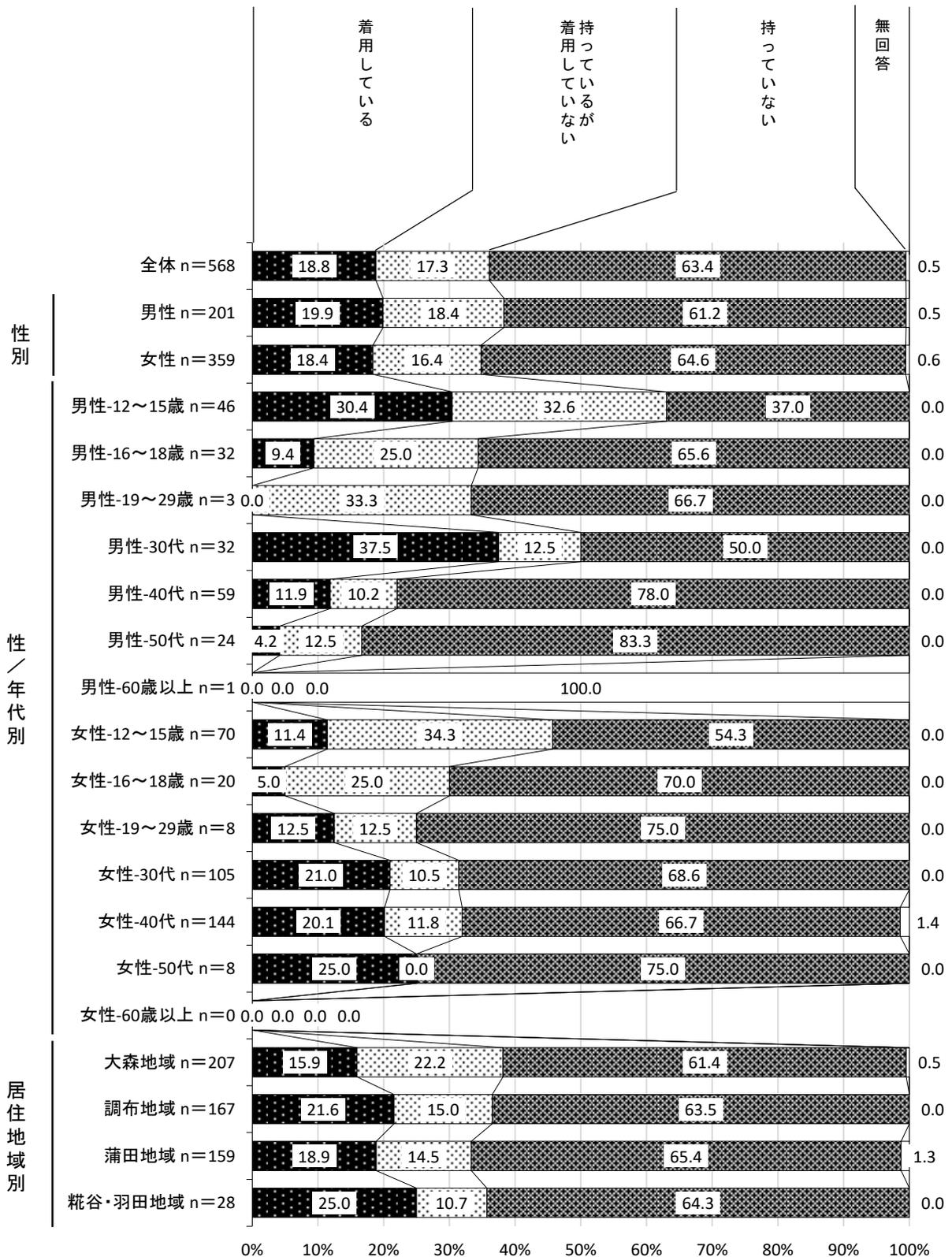


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「着用している」は男性30代で3割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、「着用している」は調布地域で2割前半と高くなっている。



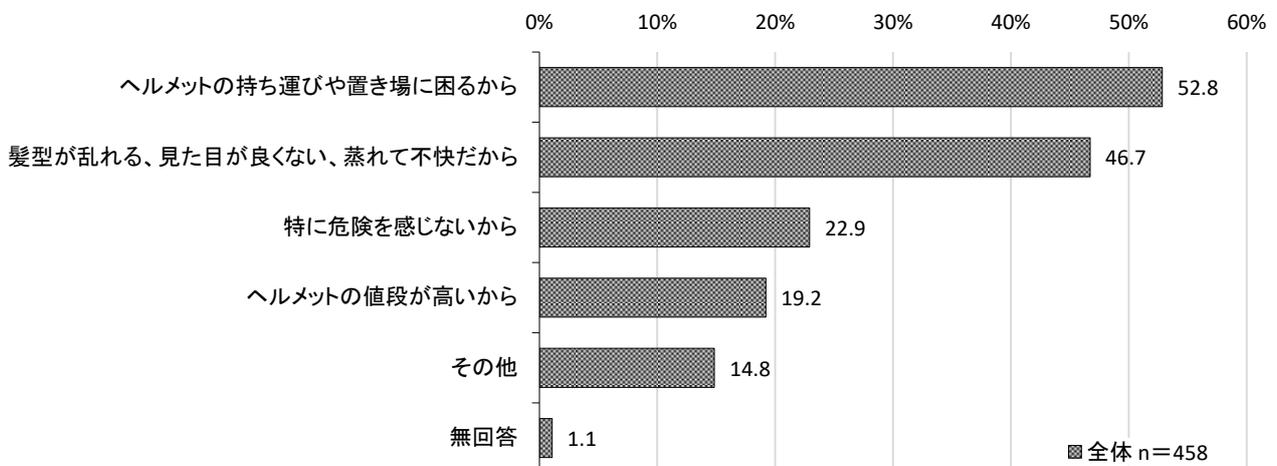
(4) ヘルメットをしない(持っていない)理由

◇「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」が5割前半で最も高くなっている

【問 10-1で「2 持っているが着用していない」「3 持っていない」と回答した方に伺います。】

問 10-2 ヘルメットを着用していない(持っていない)理由は何ですか。(複数選択可)

ヘルメットをしない(持っていない)理由については、「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」が52.8%で最も高く、次いで「髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから」が46.7%、「特に危険を感じないから」が22.9%となっている。

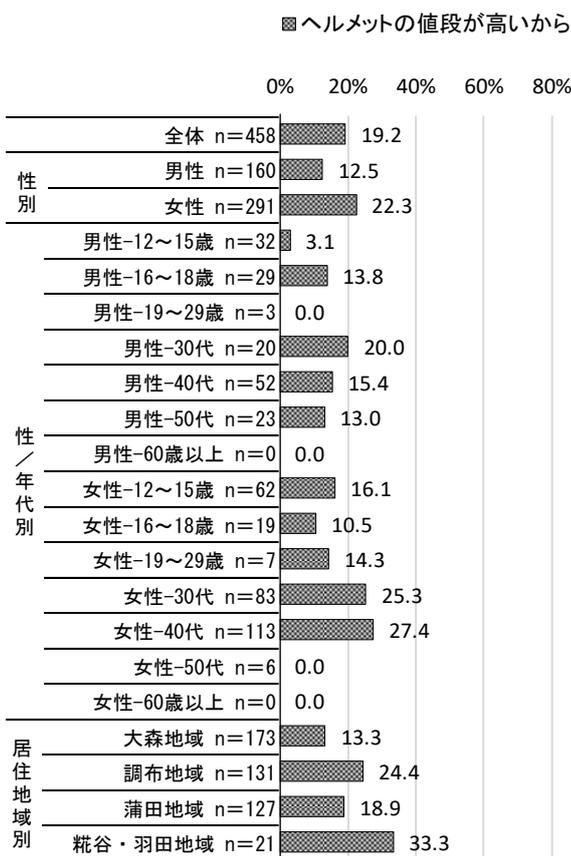
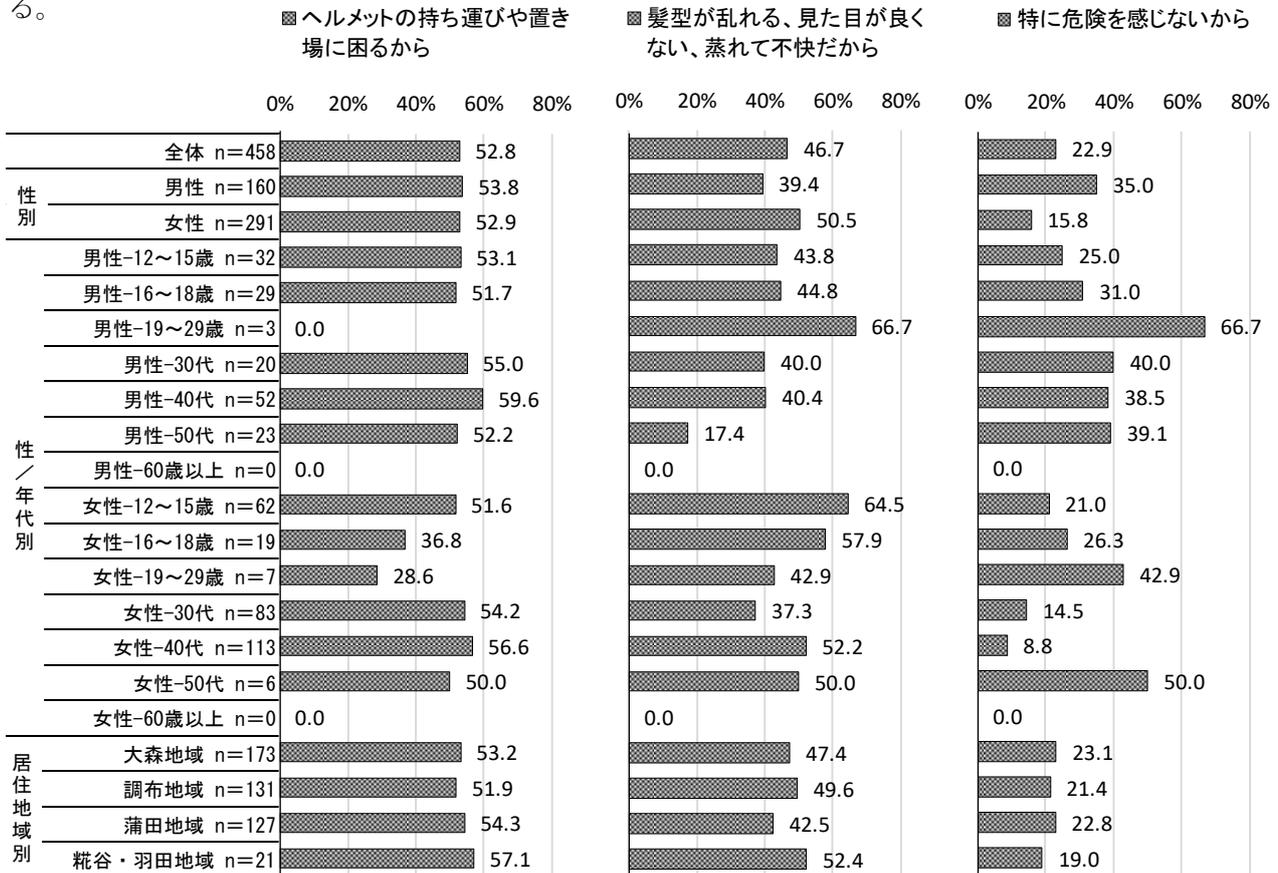


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから」は女性12～15歳代で6割前半と高くなっている。

居住地域別でみると、全ての地域で「ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから」が最も高くなっている。



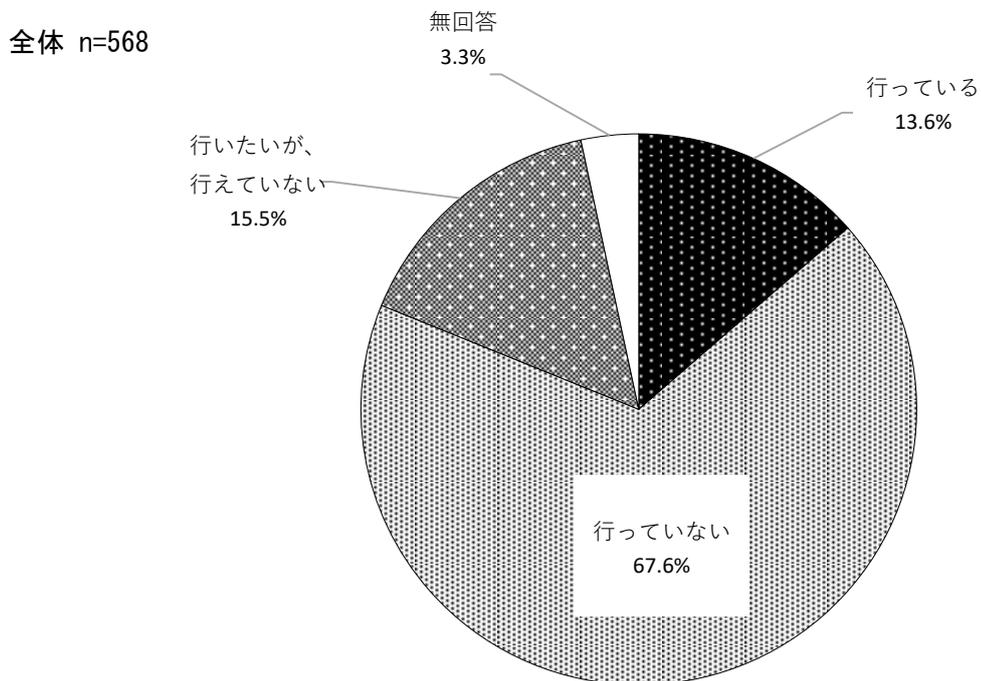
(5) サイクリングやサイクルスポーツの実施状況

◇「行っている」は1割前半となっている

【問 10で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

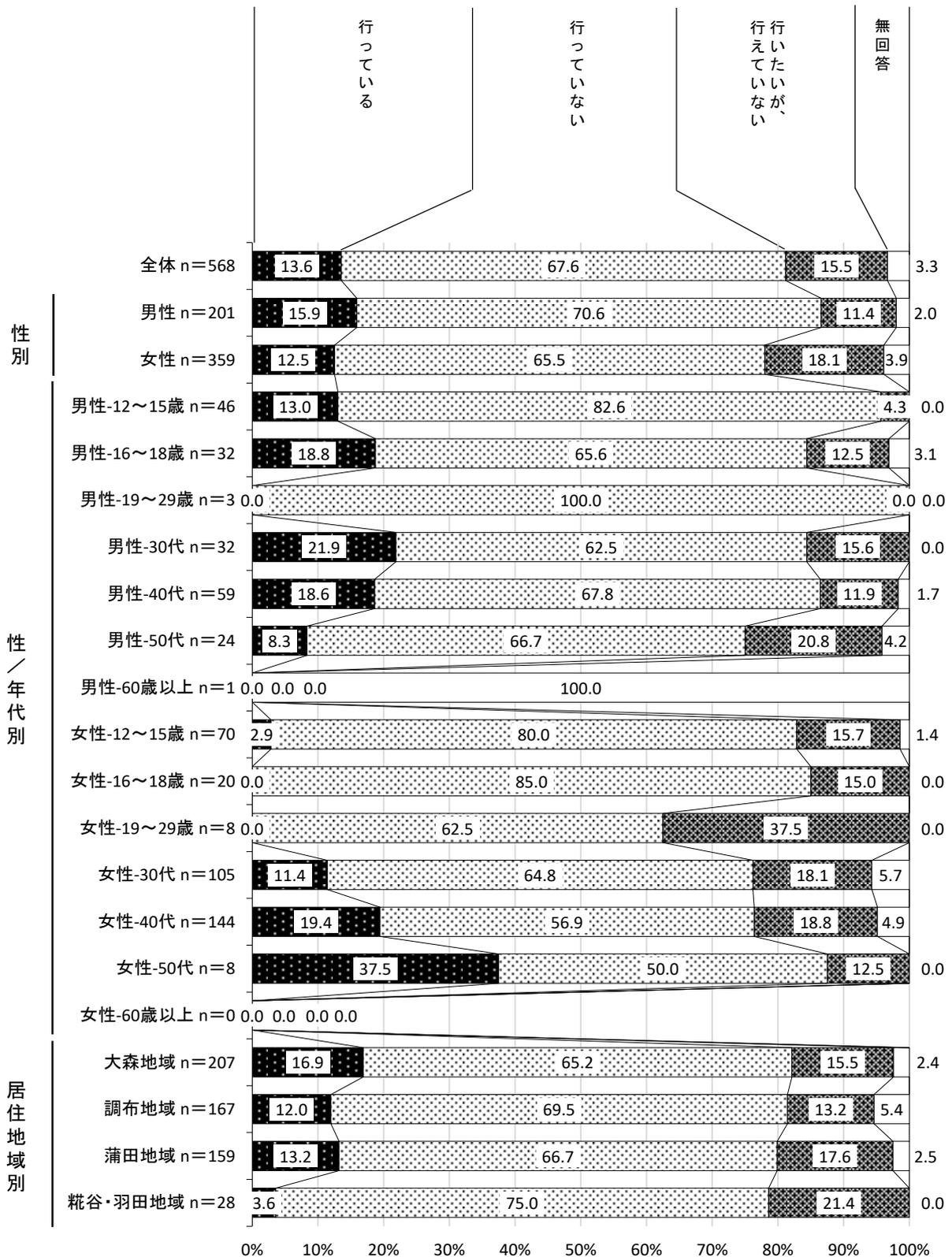
問 10-3 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。(1つのみ)

サイクリングやサイクルスポーツの実施状況については、「行っていない」が67.6%で最も高く、次いで「行いたい、行えていない」が15.5%、「行っている」が13.6%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、「行っている」は男性 15.9%、女性 12.5%と、男性が 3.4 ポイント上回っている。
 性／年代別でみると、「行っている」は男性 30 代で 2 割前半、女性 40 代で 1 割後半と高くなっている。
 居住地域別でみると、「行っている」は大森地域で 1 割後半と高くなっている。



(6) 守れていないと思う交通ルール

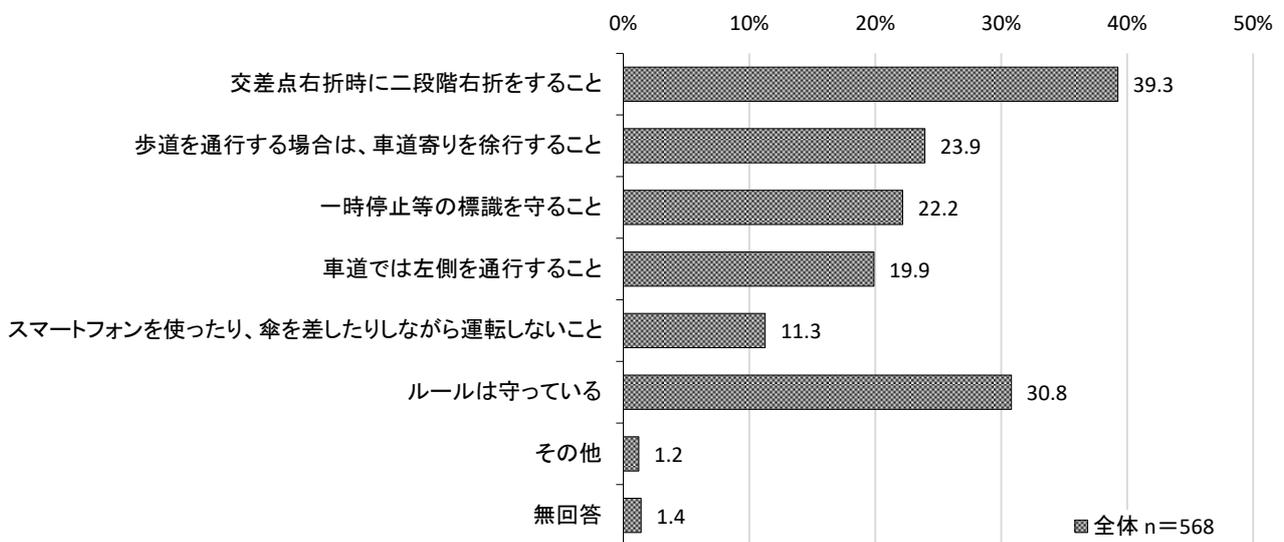
◇「交差点右折時に二段階右折をすること」が3割後半で最も高くなっている

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-4 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールは何ですか。(複数選択可)

守れていないと思う交通ルールについては、「交差点右折時に二段階右折をすること」が39.3%で最も高く、次いで「歩道を通行する場合は、車道寄りを徐行すること」が23.9%、「一時停止等の標識を守ること」が22.2%となっている。

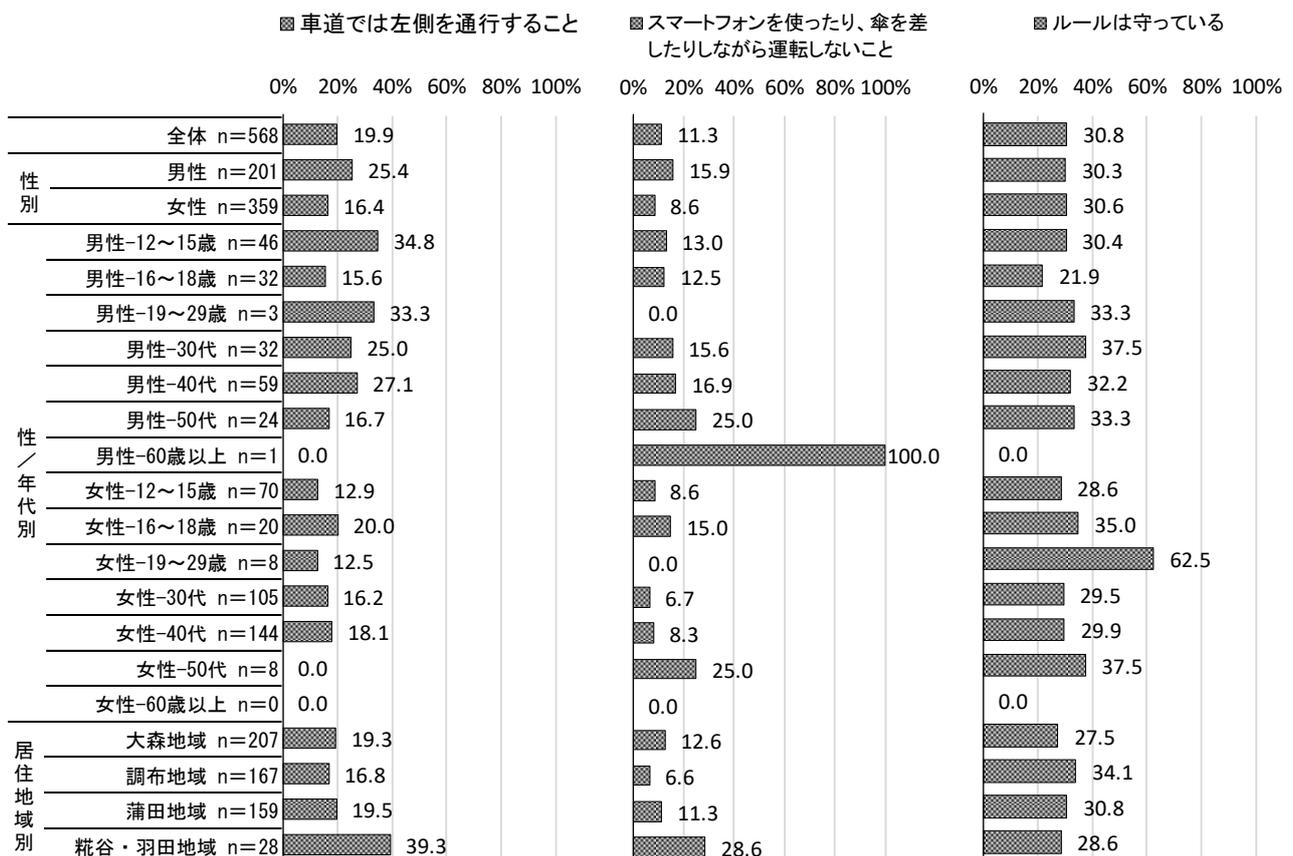
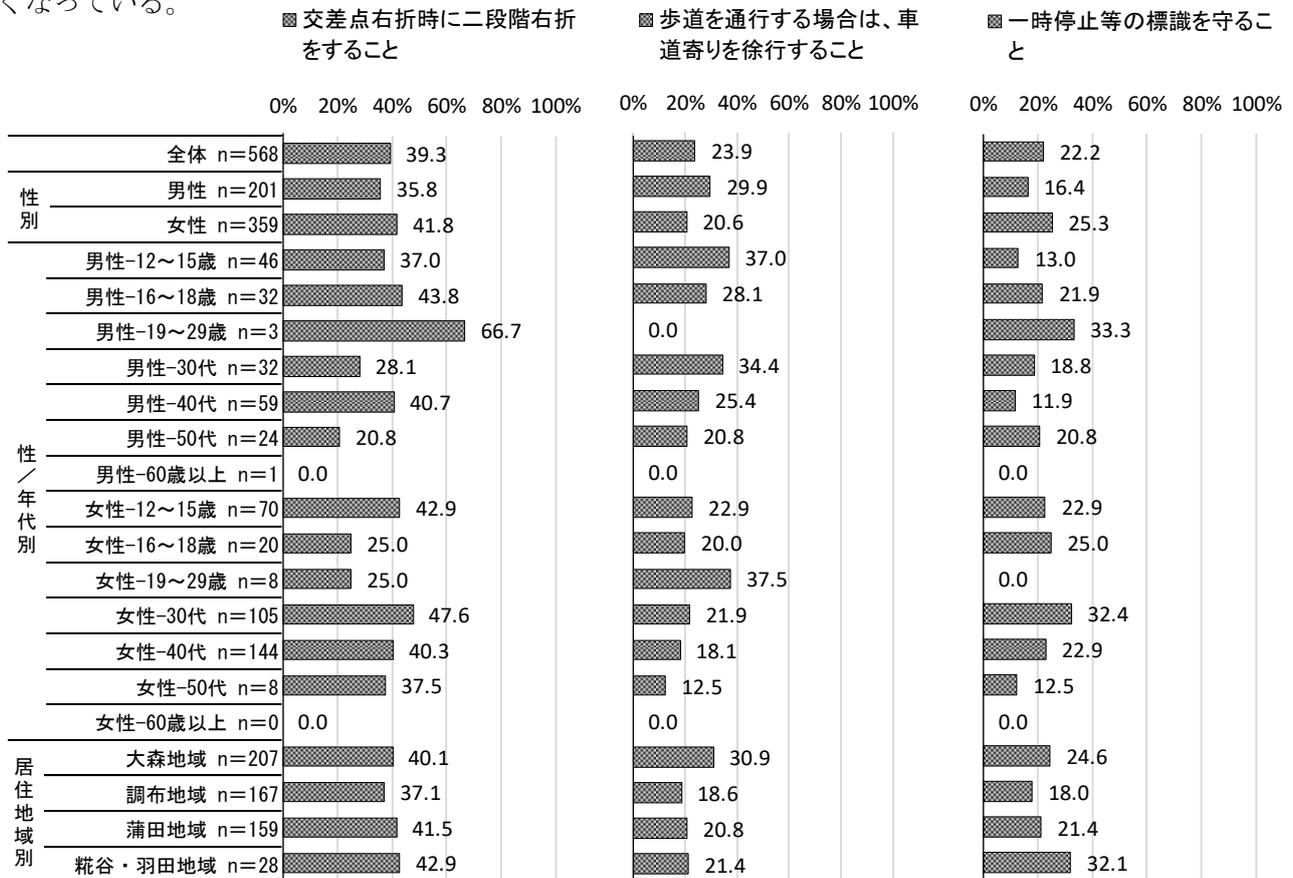
なお、「ルールは守っている」は30.8%となっている。



■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「交差点右折時に二段階右折をすること」が最も高く、男性 35.8%、女性 41.8%と、女性が6ポイント上回っている。

居住地域別でみると、「歩道を通行する場合は、車道寄りを徐行すること」は大森地域で3割前半と高くなっている。



(7) 自転車の施錠状況

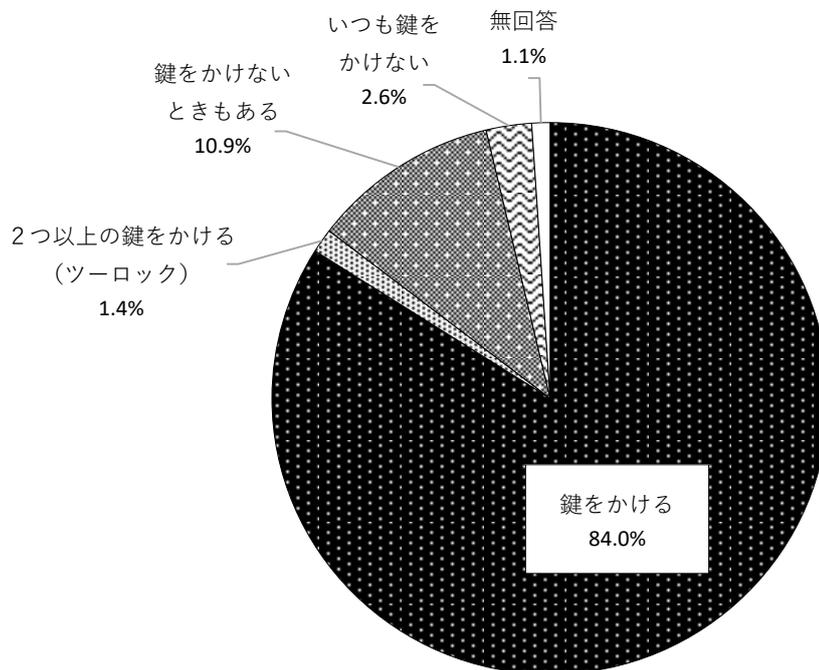
◇「鍵をかける」が8割前半となっている

【問 10で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-5 普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(1つのみ)

自転車の施錠状況については、「鍵をかける」が84.0%で最も高く、次いで「鍵をかけないときもある」が10.9%、「いつも鍵をかけない」が2.6%となっている。

全体 n=568

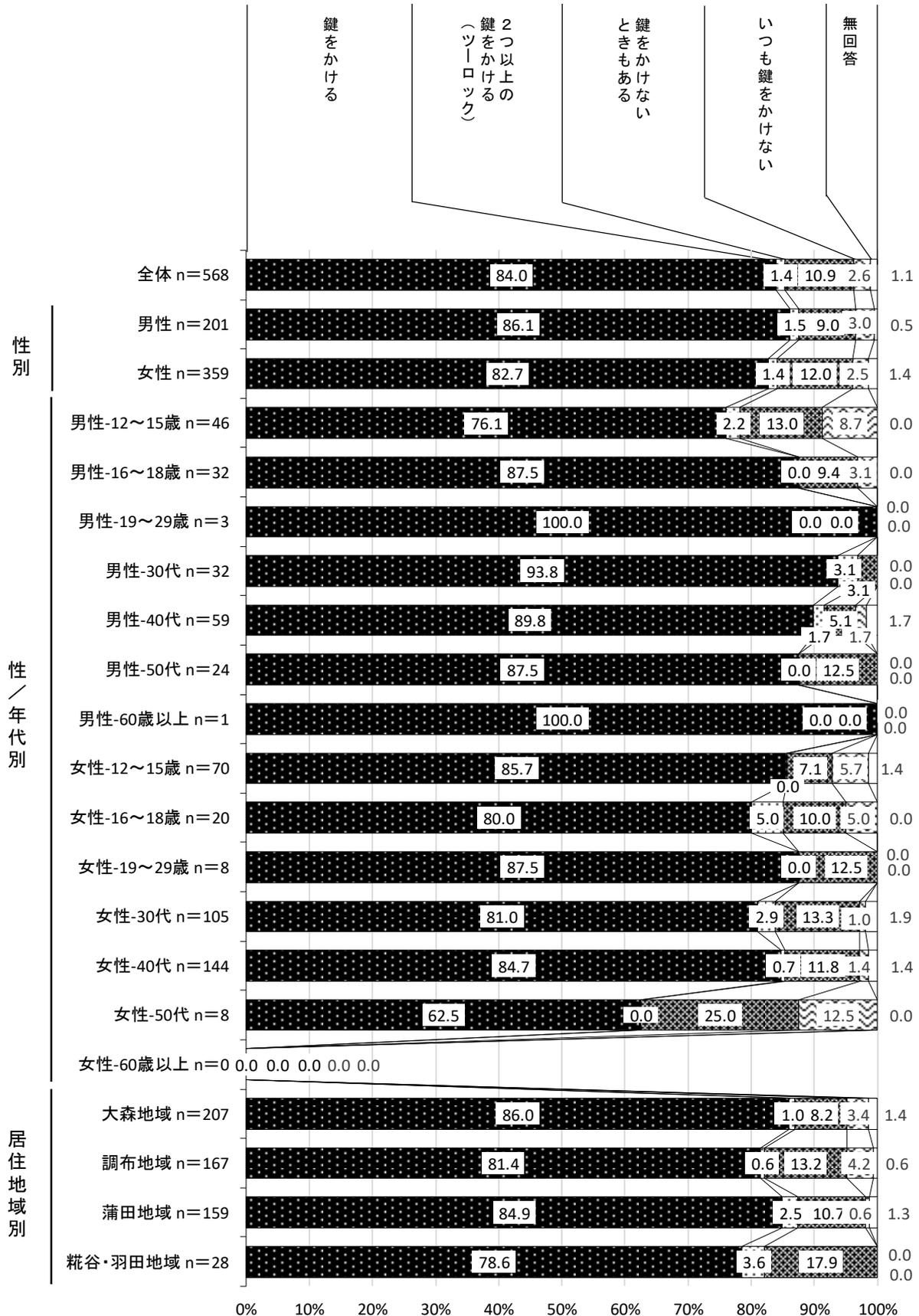


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「鍵をかける」は男性では30代で9割前半、女性では12歳～15歳で8割半ばと高くなっている。

居住地域別で見ると、「鍵をかける」はすべての地域で約8割から8割以上となっている。



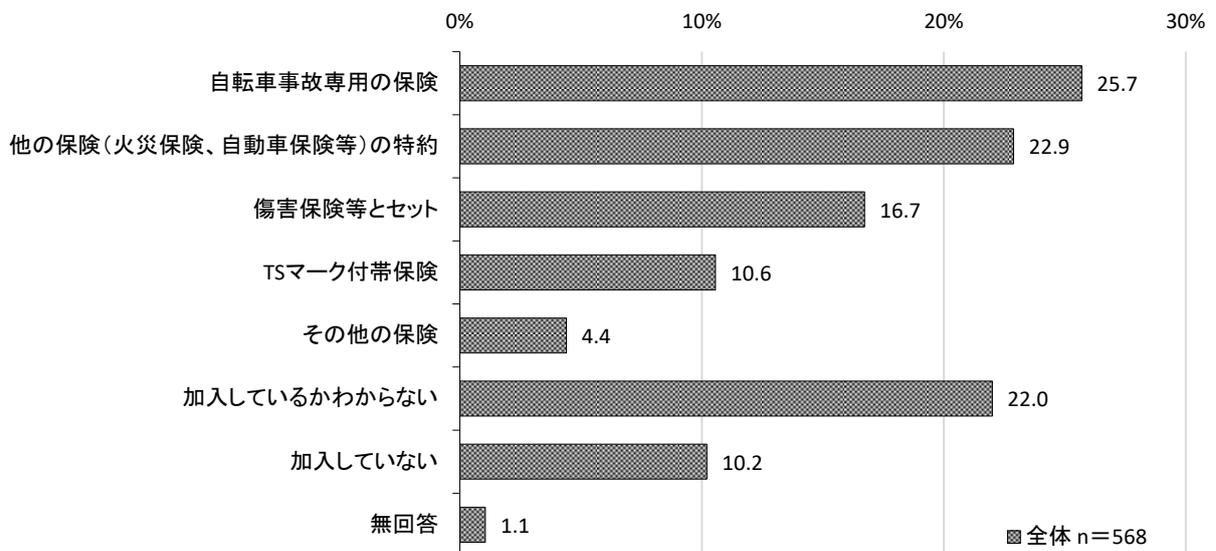
(8) 損害賠償保険への加入状況

◇「自転車事故専用の保険」が2割半ばで最も高くなっている

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-6 自転車利用中の対人賠償事故に備える保険に加入していますか。(1～5は複数選択可)

損害賠償保険への加入状況については、「自転車事故専用の保険」が25.7%で最も高く、次いで「他の保険(火災保険、自動車保険等)の特約」が22.9%、「傷害保険等とセット」が16.7%となっている。
 なお、「加入していない」は10.2%となっている。

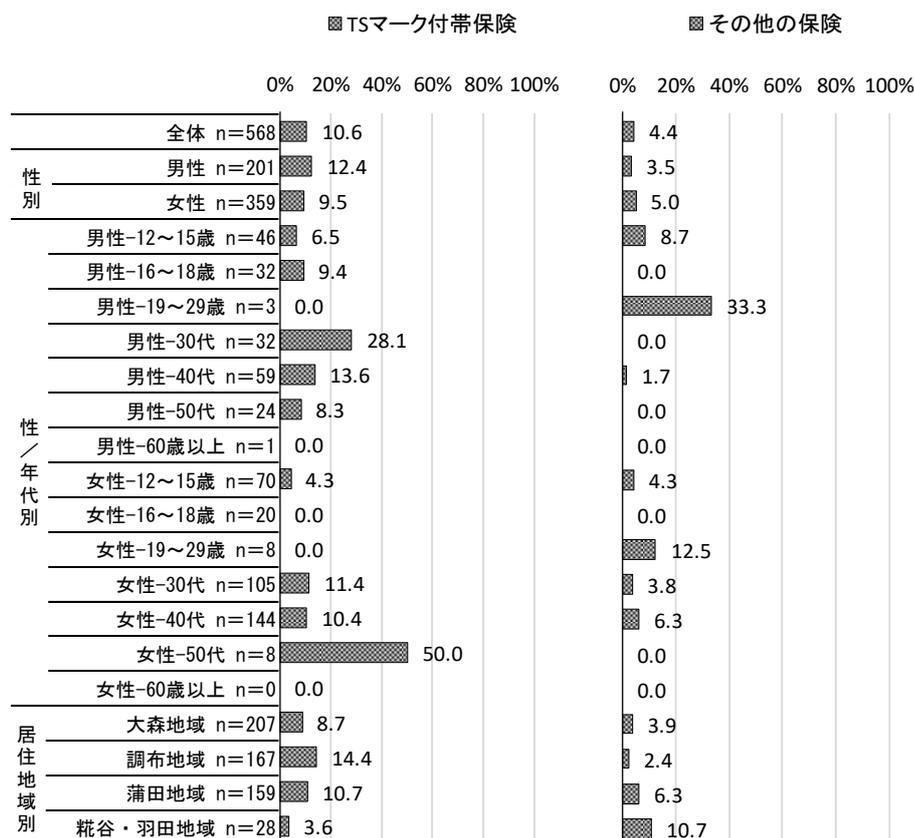
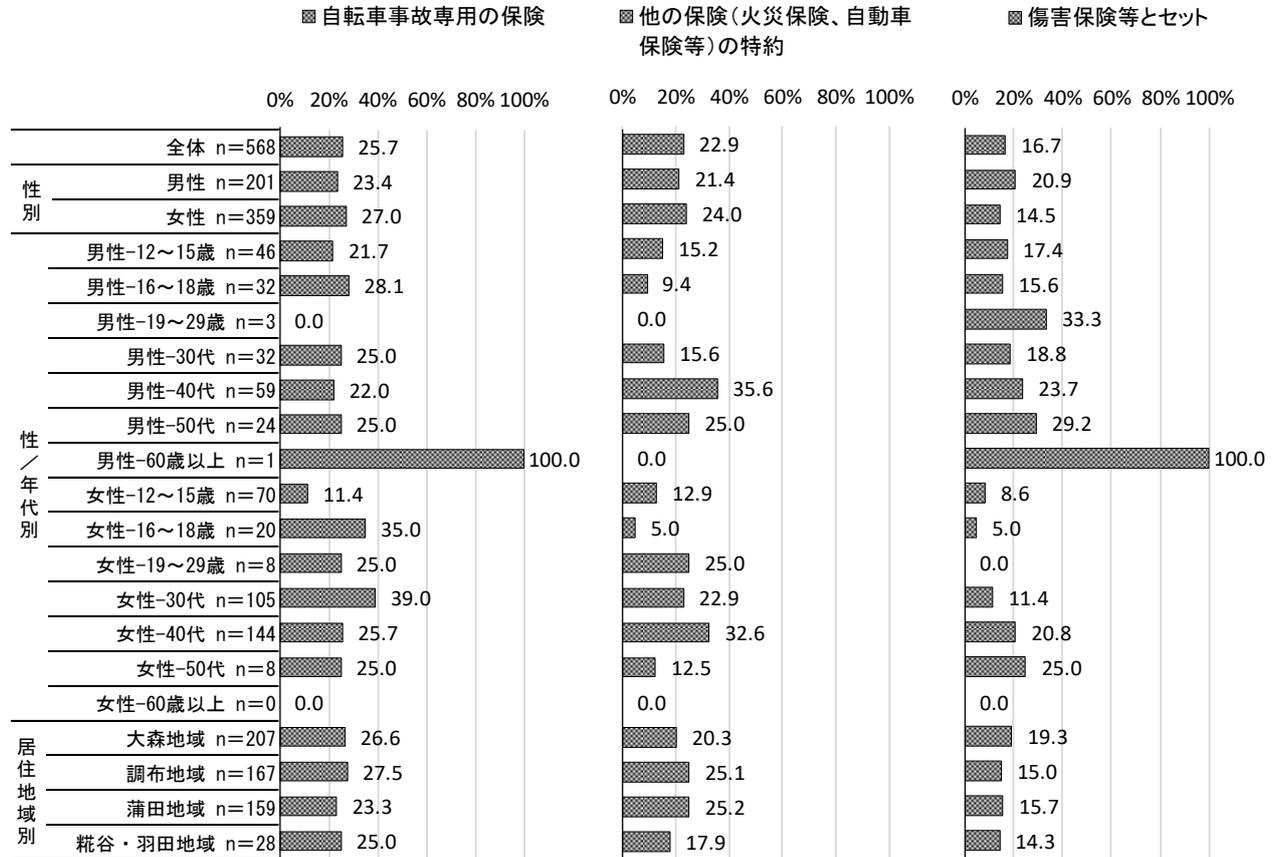


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「自転車事故専用の保険」が最も高くなっている。

性／年代別でみると、「自転車事故専用の保険」は女性30代で、「他の保険（火災保険、自動車保険等）の特約」は男性、女性ともに40代で、「TSマーク付帯保険」は男性30代で高くなっている。

居住地域別でみると、大きな差はみられない。



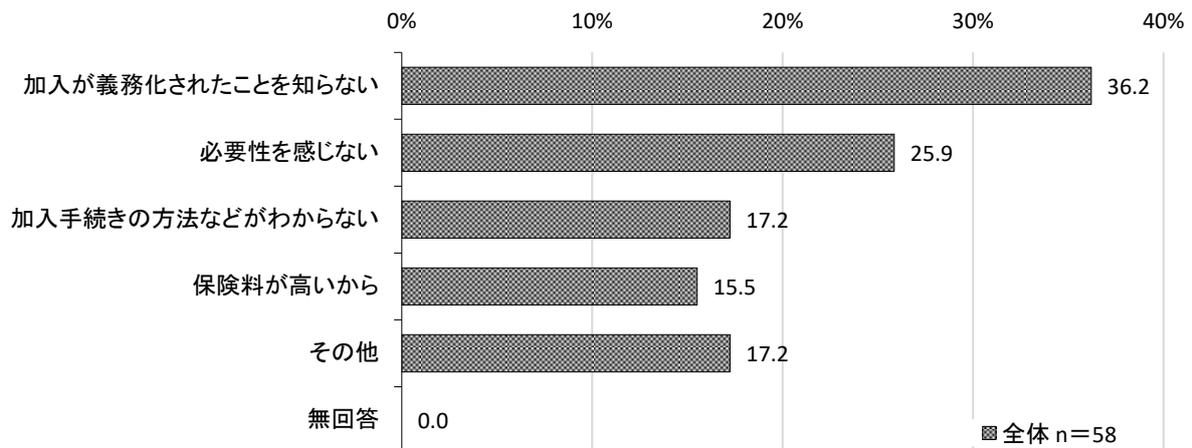
(9) 損害賠償保険に加入していない理由

◇「加入が義務化されたことを知らない」が3割後半で最も高くなっている

【問 10-6 で「7 加入していない」と回答した方に伺います。】

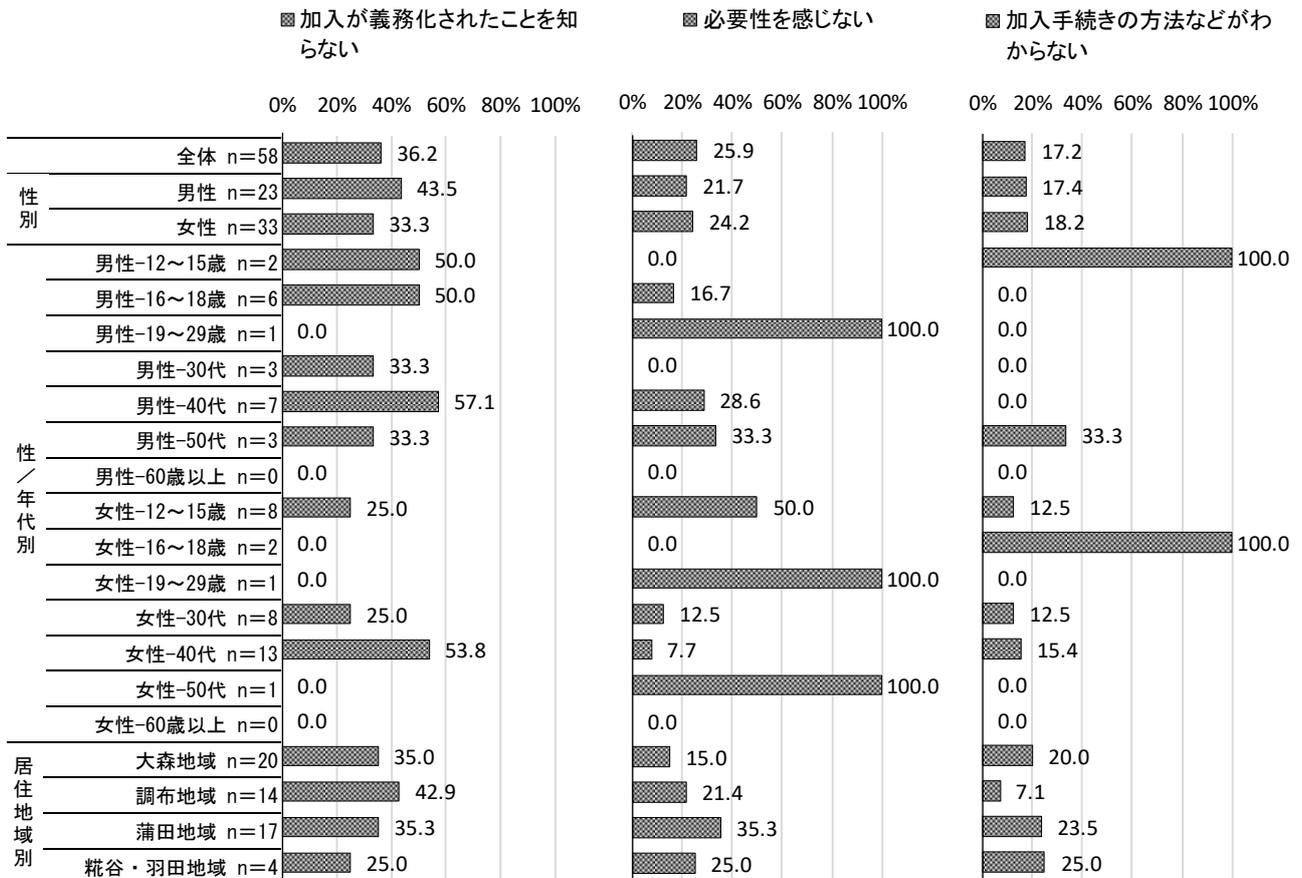
問 10-7 保険に加入していない理由は何ですか。(複数選択可)

損害賠償保険に加入していない理由については、「加入が義務化されたことを知らない」が36.2%で最も高く、次いで「必要性を感じない」が25.9%、「加入手続きの方法などがわからない」が17.2%となっている。

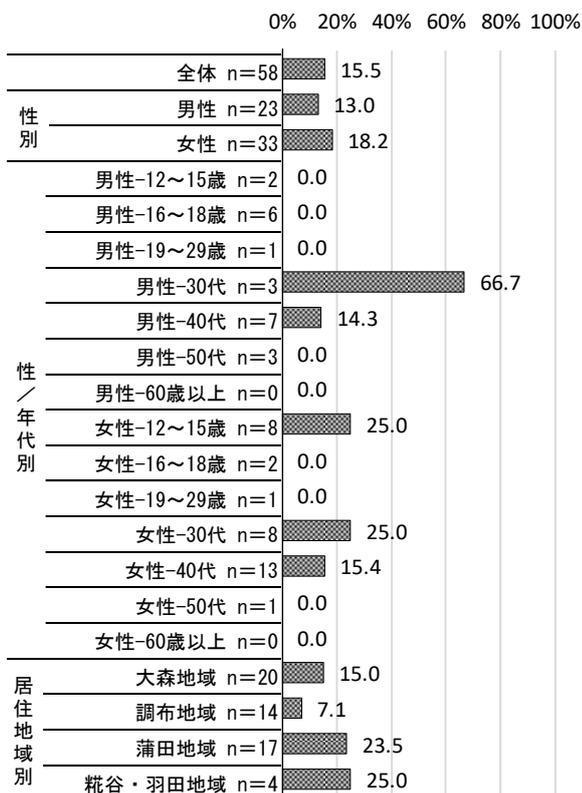


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「加入が義務化されたことを知らない」が最も高く、男性が43.5%、女性が33.3%と、男性が10.2ポイント上回っている。



■保険料が高いから



(10)「自転車ナビマーク・ナビライン」の認知度

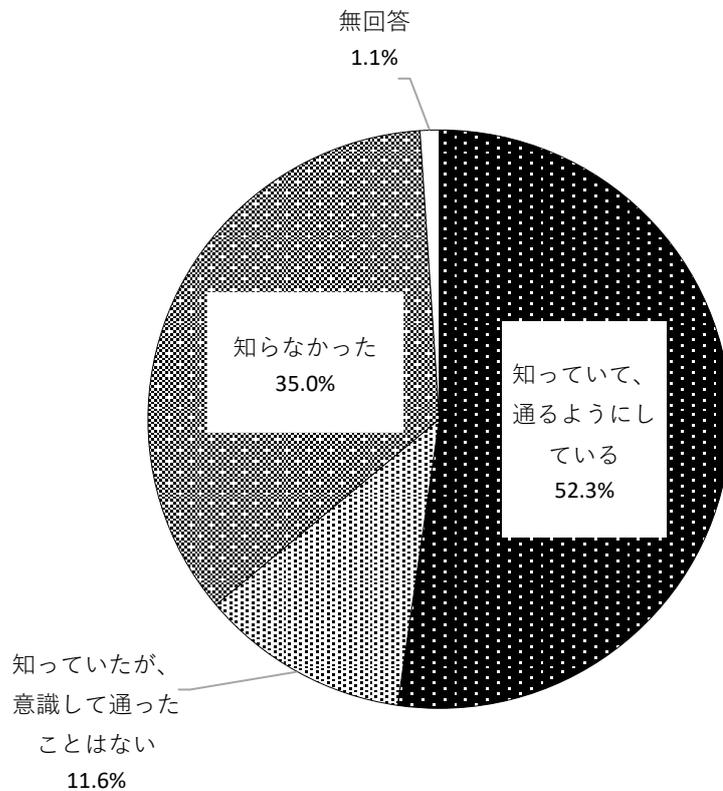
◇「知っていて、通るようにしている」が5割前半で最も高くなっている

【問 10で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-8 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン（矢羽根型路面表示）」を知っていますか。（1つのみ）

“自転車ナビマーク・ナビライン”の認知度については、「知っていて、通るようにしている」が52.3%で最も高く、次いで「知らなかった」が35.0%、「知っていたが意識して通ったことはない」が11.6%となっている。

全体 n=568

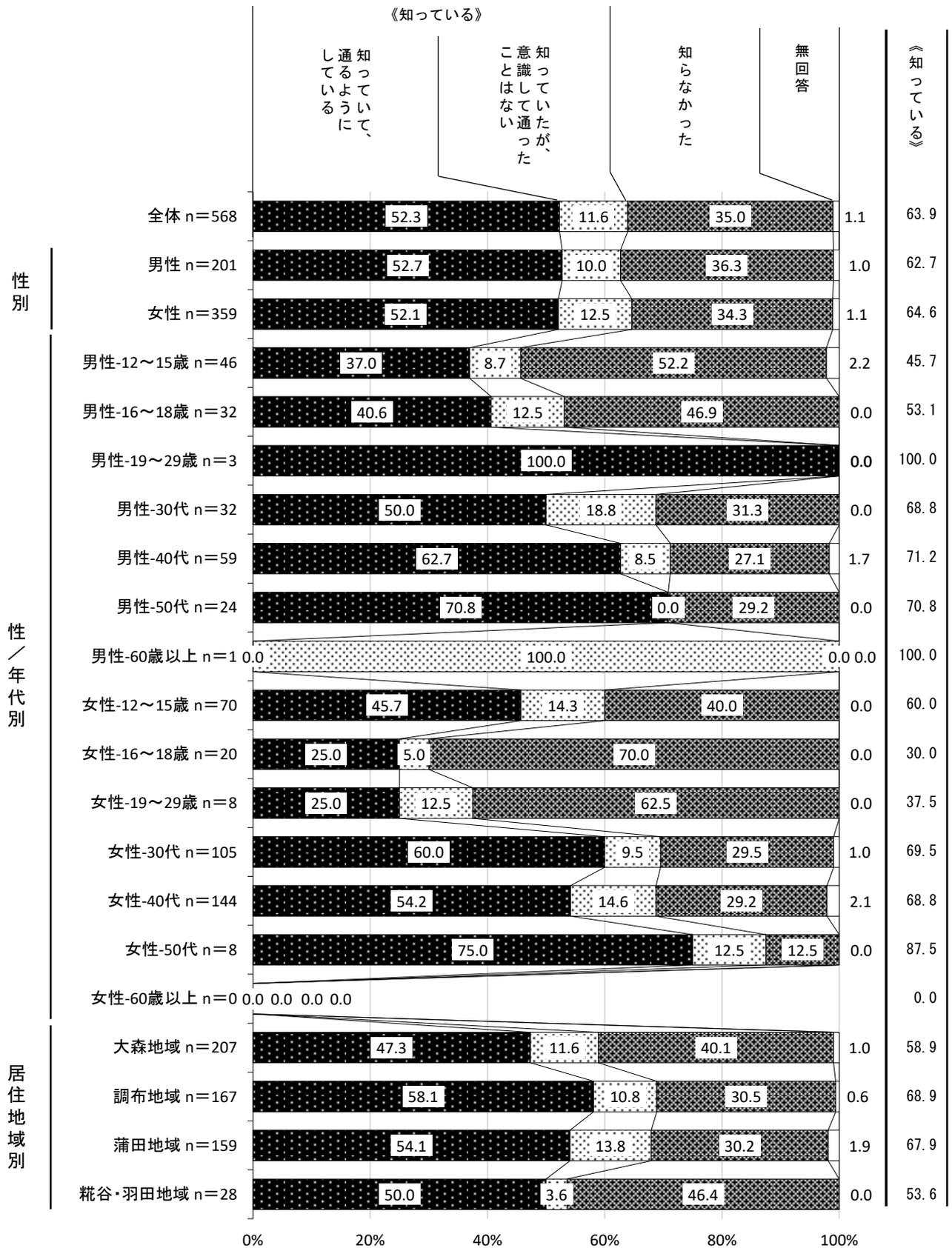


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「知っていて通るようにしている」は男性では40代で6割前半、女性では30代で6割と高くなっている。

居住地域別で見ると、「知っていて通るようにしている」は調布地域で5割後半と高くなっている。



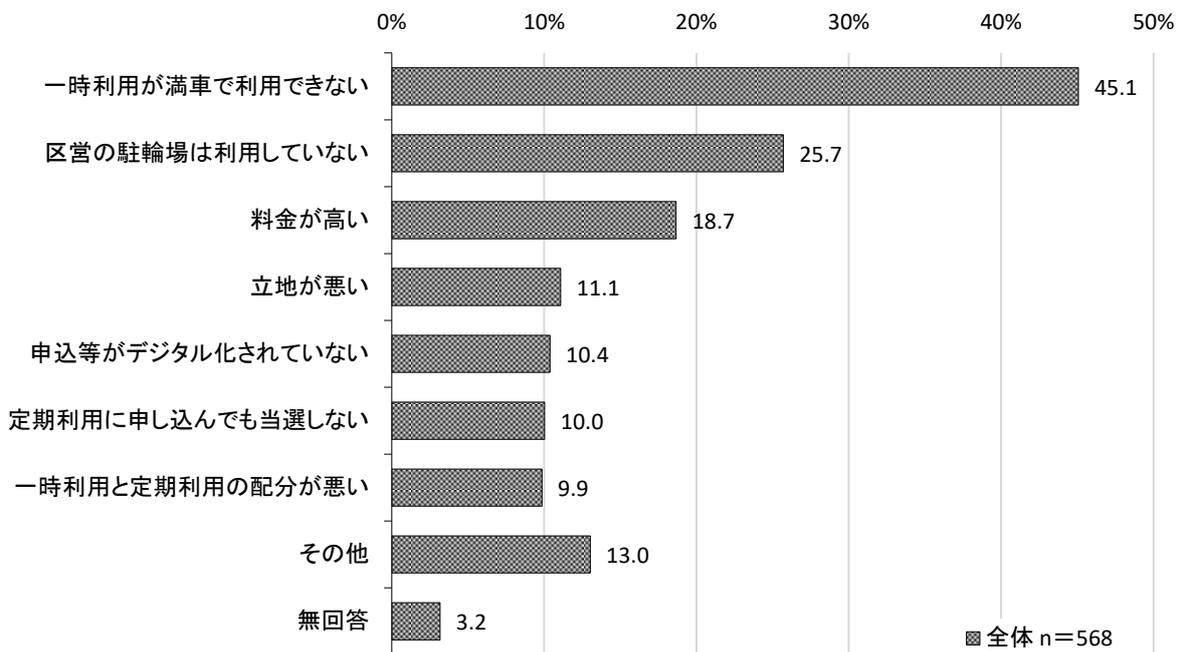
(11) 区営駐輪場で不便に感じていること

◇「一時利用が満車で利用できない」が4割半ばで最も高くなっている。

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-9 区営の自転車駐車を利用する際に不便に感じていることは何ですか。(複数選択可)

区営駐輪場で不便に感じていることについては、「一時利用が満車で利用できない」が45.1%で最も高く、次いで「区営の駐輪場は利用していない」が25.7%、「料金が高い」が18.7%となっている。

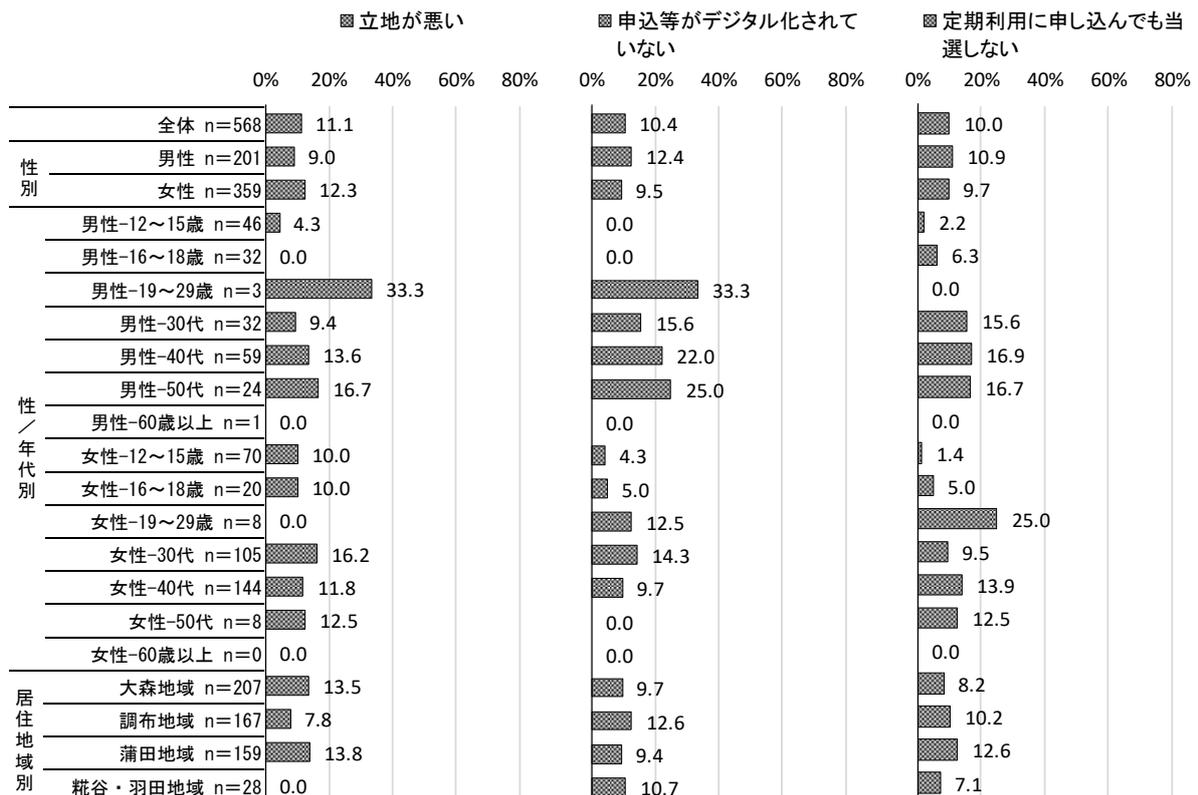
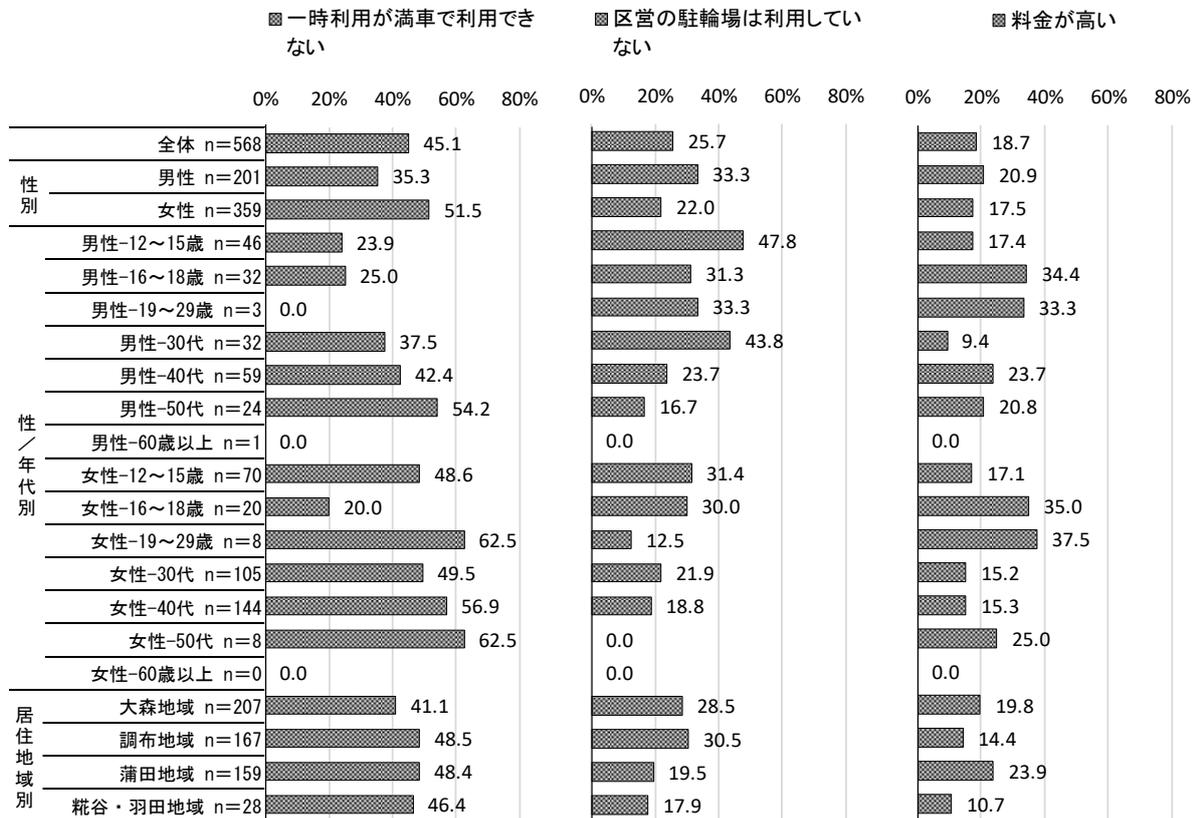


■性別・性／年代別・居住地域別

性別でみると、男性、女性ともに「一時利用が満車で利用できない」が最も高く、男性が 35.3%、女性が 51.5%と、女性が 16.2 ポイント上回っている。

性／年代別でみると、「一時利用が満車で利用できない」は女性 40 代で、「区営の駐輪場は利用していない」は男性 12～15 歳、30 代で、「料金がが高い」は男性 16～18 歳で高くなっている。

居住地域別でみると、すべての地域で「一時利用が満車で利用できない」が最も高く、「区営の駐輪場は利用していない」は調布地域で約 3 割と高くなっている。



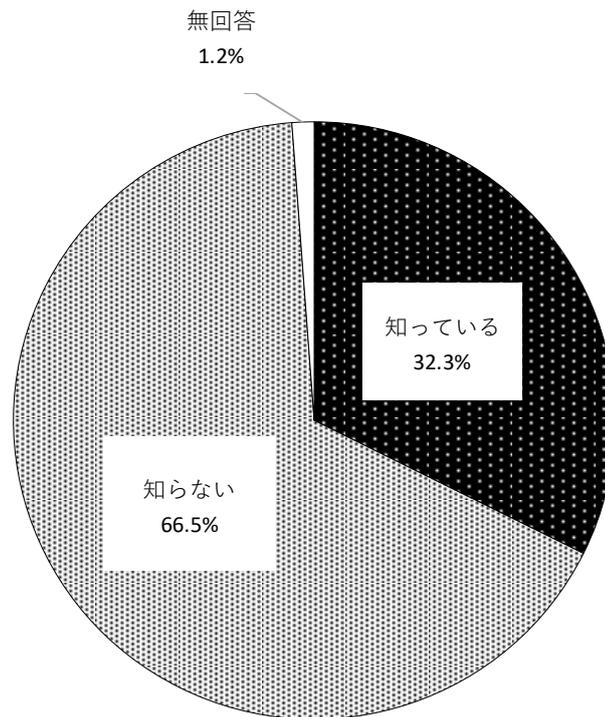
(12) 「コミュニティサイクル」の認知度

◇「知っている」は3割前半となっている

**問 11 大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。
(1つのみ)**

“コミュニティサイクル”の認知度については、「知っている」が32.3%、「知らない」が66.5%と、「知らない」が34.2ポイント上回っている。

全体 n=674

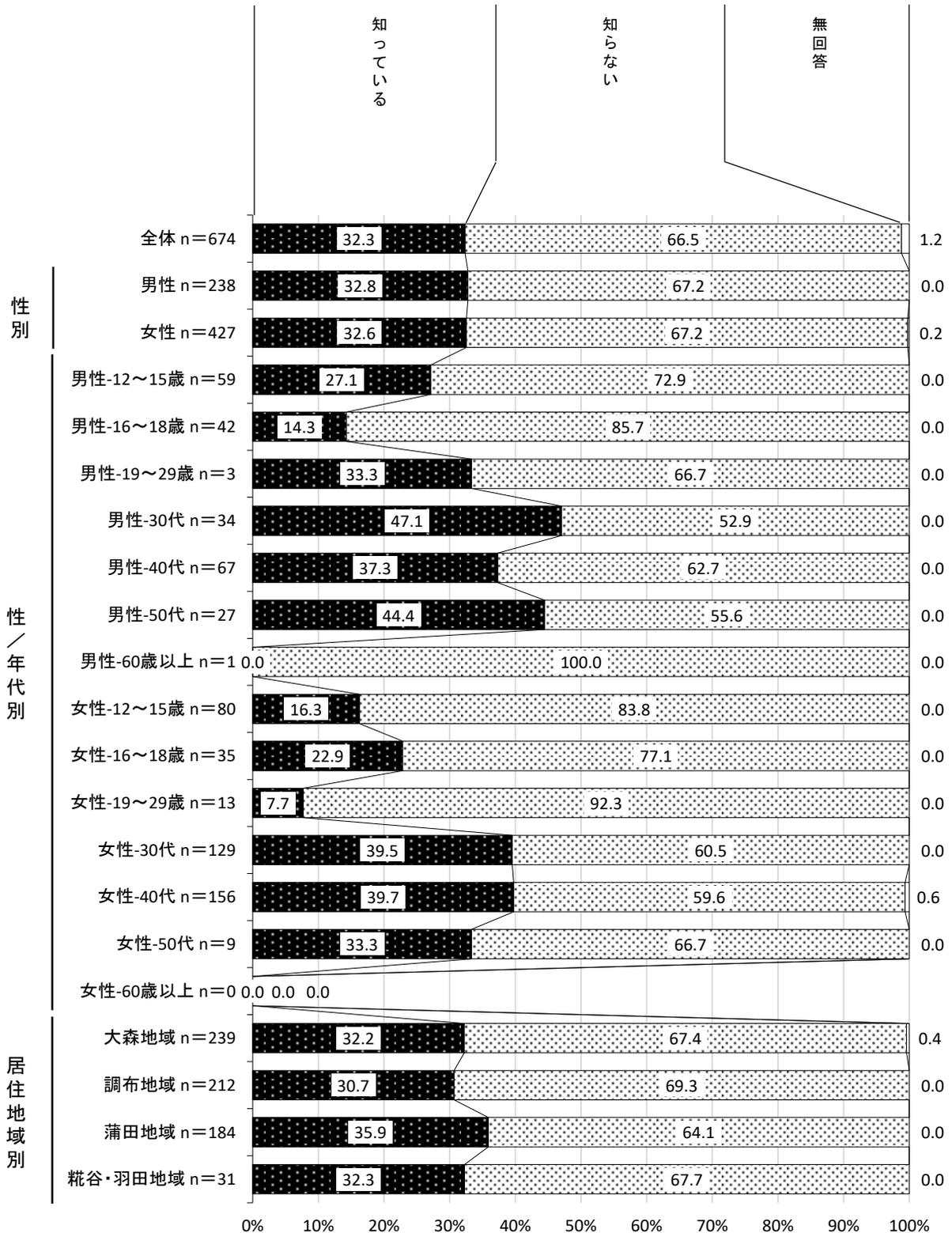


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、大きな差はみられない。

性／年代別で見ると、「知っている」は男性では30代で4割後半、女性では30代、40代で約4割と高くなっている。

居住地域別で見ると、大きな差はみられない。

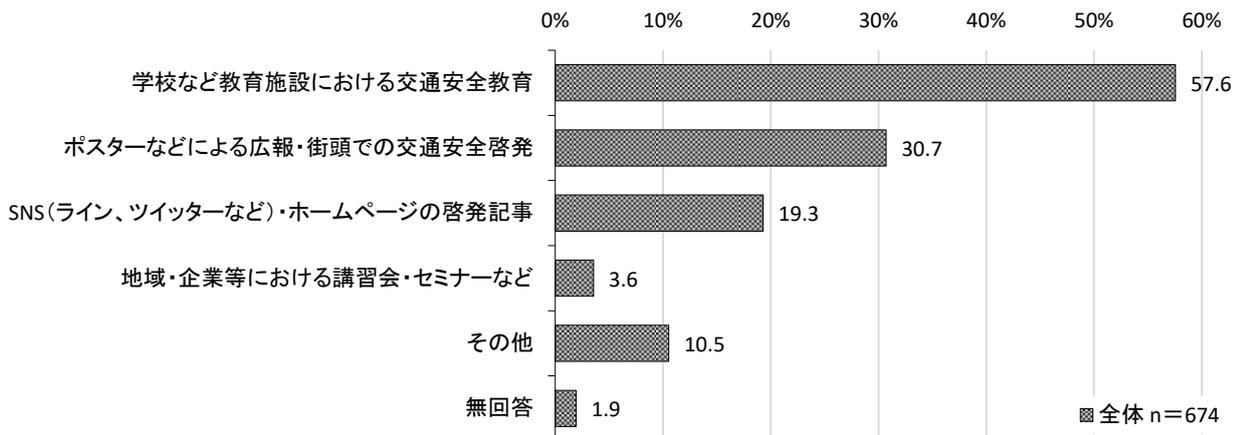


(13) 自転車の運転マナーを知る機会

◇「学校など教育施設における交通安全教育」が5割後半で最も高くなっている

問 12 自転車の運転マナーについてどこで知りましたか。(複数選択可)

自転車の運転マナーを知る機会については、「学校など教育施設における交通安全教育」が57.6%で最も高く、次いで「ポスターなどによる広報・街頭での交通安全啓発」が30.7%、「SNS（ライン、ツイッターなど）・ホームページの啓発記事」が19.3%となっている。

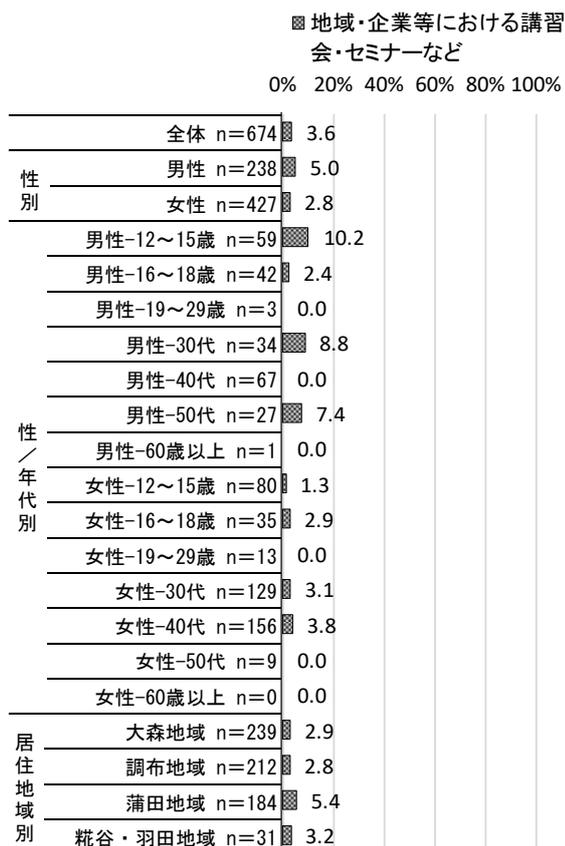
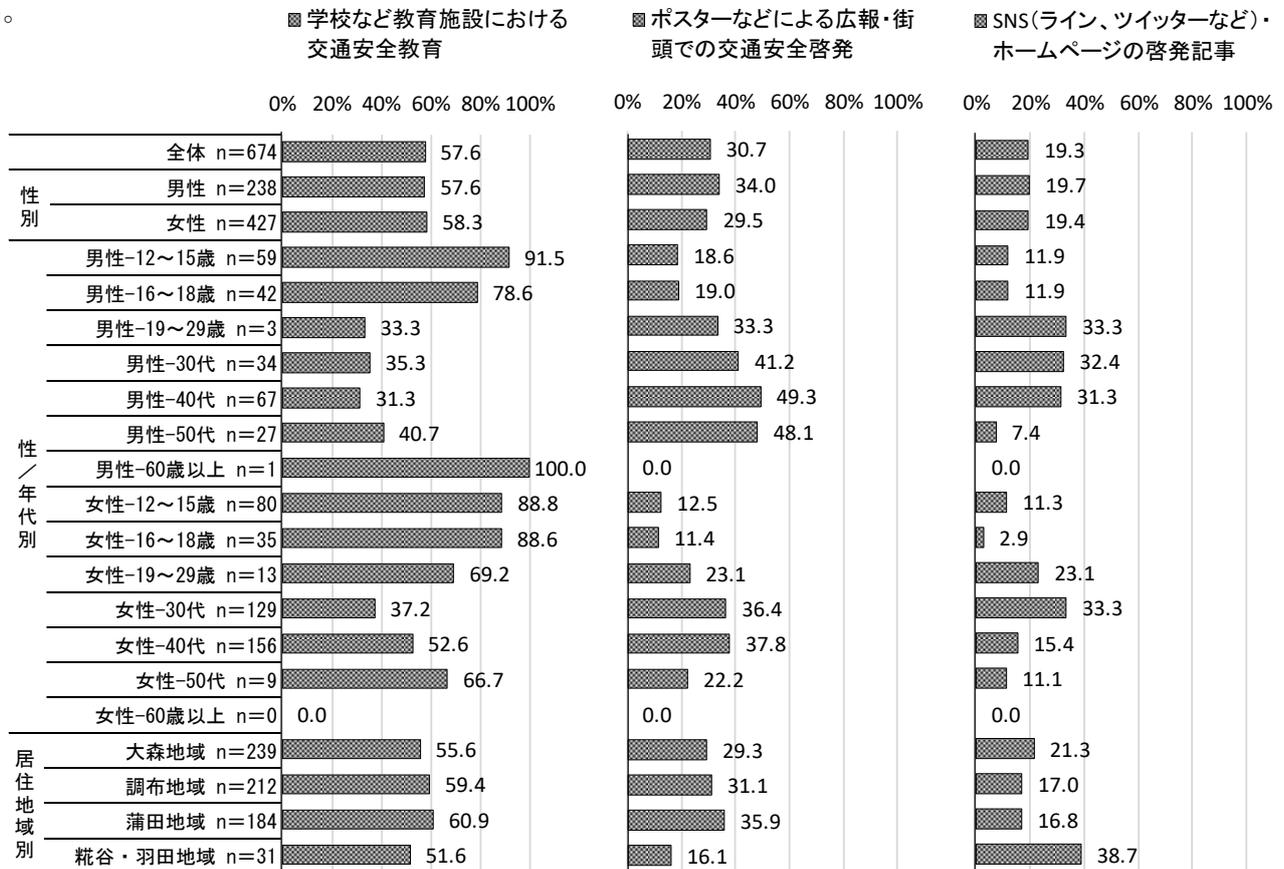


■性別・性／年代別・居住地域別

性別で見ると、男性、女性ともに「学校など教育施設における交通安全教育」が最も高くなっている。

性／年代別で見ると、「学校など教育施設における交通安全教育」は男性では12～15歳で9割前半、女性では12～15歳、16～18歳で8割後半と高くなっている。

居住地域別で見ると、すべての地域で「学校など教育施設における交通安全教育」が最も高くなっている。



V 資料編

～ 使用した調査票 ～

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査 (18歳以上の区民の方_暮らし・保健・環境の分野など) ～ ご協力のお願い ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年11月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。
2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えの番号に○をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**令和5年12月8日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。**

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444（直通）

受付時間 平日9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

下記の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

1. 各種認知度について

問1 区では、「大田区DV相談ダイヤル」を設置し、配偶者やパートナーからの暴力（ドメスティック・バイオレンス＝DV）に関する相談を受け付けていることを知っていますか。

（1つのみ）

- 1 利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

問2 「ワーク・ライフ・バランス」とは、「仕事と生活の調和」を意味する言葉ですが、この言葉を知っていましたか。（1つのみ）

- 1 内容まで知っている
- 2 内容は知らないが、言葉は聞いたことがある
- 3 知らない

問3 区では、男女共同参画社会の実現に向けた取組として様々な講座や展示などの事業を実施しています。これらを主に実施している施設である、男女平等推進センター「エセナおおた」を知っていますか。（1つのみ）

- 1 利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

問4 男女平等推進センター「エセナおおた」では、「女性のためのたんぽぽ相談」で女性の様々な悩みに関する相談を受け付けていることを知っていますか。（1つのみ）

- 1 利用したことがある
- 2 知っているが、利用したことはない
- 3 知らない

問5 「大田区立消費者生活センター」を知っていますか。（1つのみ）

- 1 相談したことがある
- 2 各種契約のトラブル、悪質商法、商品やサービスなどに関する相談ができる窓口であることを知っている
- 3 業務内容はわからないが、名前は知っている
- 4 知らない

問6 大田区青少年交流センター「ゆいっつ」を知っていますか。(1つのみ)

- 1 日帰りで利用したことがある
- 2 宿泊したことがある
- 3 名前は知っているが、利用したことはない
- 4 知らない

2. 生涯学習について**問7 最近1年間に生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)**

※生涯学習とは、区民一人一人が、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において取り組む学びのことをいいます。具体的には、読書、語学や資格の習得、趣味・教養、スポーツ、芸術・文化活動、生活・健康や仕事などに関する学習、サークル活動を指し、自治会・町会、NPO、PTA、子ども会、ボランティアなどの地域活動を通して得られる学びも含まれます。

- 1 ある ⇒ 問7-1へ(問7-2以降も回答してください)
- 2 ない ⇒ 問8へ(問9以降も回答してください)

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-1 最近1年間にどのような生涯学習を行いましたか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------------|-----------------------|
| 1 音楽、美術、文芸等、文化に関するもの | 9 子育てに関するもの |
| 2 スポーツ(武道、ダンス等を含む) | 10 教育に関するもの |
| 3 文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの | 11 福祉に関するもの |
| 4 住んでいる地域に関すること(地域学) | 12 防災・防犯に関するもの |
| 5 パソコン、スマートフォンの知識や技術 | 13 ものづくり、観光等、産業に関するもの |
| 6 Web会議・動画配信等の活用方法 | 14 国際理解・交流に関するもの |
| 7 仕事・働くために必要な知識や技能 | 15 人権や環境問題等社会問題に関するもの |
| 8 健康に関するもの | 16 その他〔 〕 |

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-2 生涯学習を行っている場所はどこですか。(複数選択可)

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1 区立図書館 | 8 区立小・中学校 |
| 2 区内の博物館・記念館 | 9 自治会・町会の会館、団体事務所、団体の会員宅 |
| 3 文化センター | 10 区内の高校・大学・専門学校 |
| 4 区民センター・集会所 | 11 民間施設(カルチャースクール等) |
| 5 区民活動(支援)施設 | 12 自宅 |
| 6 青少年交流センター | 13 区外施設〔 〕 |
| 7 区内のスポーツ施設・公園 | 14 その他〔 〕 |

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-3 オンラインで生涯学習を行ったことがありますか。(1つのみ)

1 ある	2 ない
------	------

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】

問7-4 生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験をどのように生かしていますか。
(複数選択可)

1 人生がより豊かになっている	5 地域や社会での活動に生かしている
2 家庭・日常の生活に生かしている	6 知人や仲間ができています
3 心身の健康を維持・増進している	7 その他〔 〕
4 仕事や学業に生かしている	8 生かしていない

問8 今後行いたい生涯学習の内容をお答えください。(複数選択可)

1 音楽、美術、文芸等、文化に関するもの	9 子育てに関するもの
2 スポーツ(武道、ダンス等を含む)	10 教育に関するもの
3 文学、歴史、語学、観察等、教養を高めるもの	11 福祉に関するもの
4 住んでいる地域に関すること(地域学)	12 防災・防犯に関するもの
5 パソコン、スマートフォンの知識や技術	13 ものづくり、観光等、産業に関するもの
6 Web会議・動画配信等の活用方法	14 国際理解・交流に関するもの
7 仕事・働くために必要な知識や技能	15 人権や環境問題等社会問題に関するもの
8 健康に関するもの	16 その他〔 〕

問9 現在の大田区の生涯学習について、以下の項目はどの程度あてはまりますか。あなたのお気持ちに最も近いものをお選びください。

※「1」～「5」のそれぞれに回答してください。(それぞれ1つのみ)

	あてはまる	どちらかといえばあてはまる	どちらともいえない	どちらかといえばあてはまらない	あてはまらない
1. いつでも学びたいときに学びたいことが学べる	1	2	3	4	5
2. 多世代交流につながる学びの機会が充実している	1	2	3	4	5
3. 学んだことを生かす機会が充実している	1	2	3	4	5
4. 学びに関する情報が分かりやすく提供されている	1	2	3	4	5
5. 学びや活動を充実させる施設が整っている	1	2	3	4	5

3. スポーツ・運動について

問 10 この1年間に実施したスポーツや運動をすべて選択してください。(複数選択可)

- 1 ウォーキング、散歩（散策、ペットの散歩、ぶらぶら歩き、一駅歩きなどを含む）
- 2 階段昇降（意識的な階段利用などを含む）
- 3 ランニング、ジョギング
- 4 体操（ラジオ体操、職場体操、空いている時間のストレッチ、エクササイズ、ヨガ、バレエ、ピラティス、縄跳び、エアロビクスなどを含む）
- 5 筋力トレーニング（腕立て伏せやスクワットなど）
- 6 室内運動器具（ウエイト、ランニングマシーン、バランスボールを使った運動）
- 7 軽い球技（キャッチボール、親子でのボール遊びや卓球など）
- 8 競技的球技（野球、サッカー、卓球、テニス、バレーボール、バドミントンなど）
- 9 サイクリング（BMX 含む）、モータースポーツ
- 10 水泳（水中歩行、アクアエクササイズも含む）
- 11 ボッチャ
- 12 ボウリング
- 13 ダンス、民踊
- 14 ゲートボール、グランドゴルフ
- 15 スポーツ吹矢、フライングディスクなどのニュースポーツ
- 16 ローラースケート、スケートボード
- 17 ゴルフ（練習場、シミュレーションゴルフ含む）
- 18 ハイキング、登山、ワンダーフォーゲル、オリエンテーリング
- 19 クライミング、ボルダリング
- 20 スキー、スノーボード
- 21 釣り
- 22 キャンプ、オートキャンプ
- 23 ヨット、ボート、（スキン）ダイビング、サーフィンなど
- 24 柔道、剣道、空手、弓道等武道
- 25 ボクシング等格闘技
- 26 その他競技スポーツ
- 27 その他体力や健康の維持向上、介護予防、ストレスの解消を目的としたスポーツ、身体活動



問 10-1 へ
(問 11 以降
も回答して
ください)

28 スポーツや身体活動は実施しなかった ⇒ 問 10-2 へ (問 11 以降も回答してください)

【問 10 で「28 スポーツや身体活動は実施しなかった」以外を回答した方に伺います。】

問 10-1 そのスポーツや運動を実施した頻度は週どのくらいですか。(1つのみ)

※年間合計日数でも可

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 週に3日以上 (年 151 日以上) | 5 3か月に1～2回 (年4～11 日) |
| 2 週に2日 (年 101～150 日) | 6 年に1～3回 |
| 3 週に1日 (年 51～100 日) | 7 わからない |
| 4 月に1～3回 (年 12～50 日) | |

【問 10 で「28 スポーツや身体活動は実施しなかった」と回答した方に伺います

問 10-2 スポーツや運動を始める（再開する）ためには何が必要だと思いますか。（複数選択可）

- 1 スポーツや運動をできる場所の情報（区報・ホームページ等）
- 2 身近にスポーツや運動ができる場所
- 3 早朝や夜間等好きな時間に利用できる施設
- 4 運動が苦手でも参加できる初心者向けスポーツ教室
- 5 年齢やレベルに合ったスポーツ教室
- 6 遊び感覚で多種目を体験できるスポーツ教室
- 7 家族や友人と一緒にスポーツや運動ができる場所
- 8 一緒にスポーツをする仲間づくりができる場所
- 9 身近にスポーツや運動を教えることができる人（指導者）
- 10 スポーツの無料体験やスポーツ施設利用料の減免等
- 11 美容・健康につながるスポーツイベントの実施
- 12 スポーツ以外の要素（文化・国際交流など）もあるイベントの実施
- 13 自宅で気軽に取り組める軽運動等の動画の紹介
- 14 スポーツを観戦する機会の提供
- 15 その他〔 〕
- 16 分からない
- 17 スポーツや運動をしようとは思わない

4. 文化・芸術について

問 11 この1年間に、次のような文化芸術活動を行いましたか。（複数選択可）

- 1 クラシック音楽（楽器の演奏、声楽、合唱など）
- 2 ポピュラー音楽（ポップス、ロック、ジャズ、演歌、民族音楽など）
- 3 日本の伝統的な音楽（民謡、雅楽など）
- 4 演劇（人形劇、ミュージカルなど）
- 5 舞踊（日本舞踊、バレエ、ダンスなど）
- 6 伝統芸能・郷土芸能（歌舞伎、文楽、能、狂言など）
- 7 演芸（落語・漫才など）
- 8 美術（絵画、イラスト、彫刻、工芸、陶芸、写真、デザイン、建築、服飾など）
- 9 文芸（詩、俳句、短歌、川柳、小説など）
- 10 映像制作やアニメーション、コンピュータグラフィックスの制作など
- 11 茶道、華道、書道など
- 12 ファッション、手芸など
- 13 囲碁、将棋など
- 14 その他〔 〕
- 15 この1年間に、文化芸術活動はしなかった

問 12 区の文化・芸術事業には、何が重要だと思いますか。(複数選択可)

- | | |
|----|---|
| 1 | 多様な（コンサート、演劇、伝統芸能など）芸術鑑賞イベント |
| 2 | 託児サービス付き公演など、年齢・世代に関わらず鑑賞できる環境 |
| 3 | 活動・発表・創作の場を区が提供すること |
| 4 | 文化芸術イベントのこれまで以上の発信 |
| 5 | 文化活動に関する相談・コーディネート |
| 6 | こどもが文化芸術に親しむ機会の充実 |
| 7 | 馬込文士村の作家・芸術家といった区に縁のある人物の作品の積極的な鑑賞機会の創出 |
| 8 | 地域の歴史やお祭りなどの伝統文化の継承・保存 |
| 9 | 体験型イベントやワークショップを通じた、世帯を超えた交流の促進 |
| 10 | 著名な芸術家を招いたイベント |
| 11 | 収蔵品のデジタルアーカイブ化、VRの活用、公演の動画配信など、気軽に文化に親しむことができるDXの推進 |
| 12 | その他〔 〕 |

問 13 文化活動（鑑賞のみも含む）を行うことで、こういった効果を期待しますか。この中から3つ以内でお答えください。(3つまで)

- | | |
|----|---------------------------|
| 1 | 教養が深まる |
| 2 | 生きがいづくり |
| 3 | 健康の増進（気分転換・ストレス解消など） |
| 4 | 自己肯定感の向上 |
| 5 | 仲間（友人）ができる |
| 6 | こどもの心豊かな成長 |
| 7 | 障害、性別、国籍などの多様な違いに対する尊重・理解 |
| 8 | 地域に対する愛着や誇りの醸成 |
| 9 | 地域社会・経済の活性化 |
| 10 | 国際交流の促進 |
| 11 | 観光客の増加 |
| 12 | その他〔 〕 |
| 13 | 特になし |

5. 地域活動について**問 14 近所の方への手助けとして、できると思うことを教えてください。(複数選択可)**

- | | | | |
|---|------------------|---|-----------------|
| 1 | 日々の見守りのための声かけ | 5 | 掃除の手伝い |
| 2 | 相談相手 | 6 | ごみ出しなどのちょっとした作業 |
| 3 | 短時間でのこどもの預かり | 7 | 郵便・宅配物の一時預かり |
| 4 | 外出（買い物や通院など）の手伝い | 8 | 手助けできることはない |

6. バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

問 15 大田区では、子どもたちを誰一人取り残さないよう、子どもや保護者が抱える問題を地域共通の課題として捉え、地域においてすべての子どもを温かく包み込む支援「社会的包摂」の考えを広めています。

「社会的包摂」という考え方を知っていますか。(1つのみ)

- | | | |
|-------------|-------------------------|-------------------------|
| 1 考え方を知っている | 2 考え方は知らないが、言葉を聞いたことがある | 3 考え方を知らないし、言葉を聞いたこともない |
|-------------|-------------------------|-------------------------|

問 16 「成年後見制度」を知っていますか。(1つのみ)

※認知症・知的障害・精神障害などによって判断能力が不十分な方の支援者を選び、法律的に支援する制度。

- | | | |
|-------------|------------|--------|
| 1 内容まで知っている | 2 聞いたことはある | 3 知らない |
|-------------|------------|--------|

問 17 障がいのある人もない人も、お互いに、その人らしさを認め合いながらともに生きる社会づくりを目指して、平成 28 年 4 月に、いわゆる「障害者差別解消法」が施行され、令和 6 年 4 月に改正法が施行されます。この法律を知っていますか。(1つのみ)

- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|-----------------------|--------|
| 1 内容まで知っていて、合理的配慮等を行った経験がある | 2 内容まで知っているが、合理的配慮等を行った経験はない | 3 聞いたことはあるが、内容までは知らない | 4 知らない |
|-----------------------------|------------------------------|-----------------------|--------|

問 18 「ヘルプカード(たすけてねカード)」を知っていますか。(1つのみ)

※障がいのある方などが災害時や日常の外出先での緊急時に手助けを求めるためのカード。
(大田区が作成)

- | | | |
|-----------|------------|--------|
| 1 よく知っている | 2 聞いたことはある | 3 知らない |
|-----------|------------|--------|

7. 喫煙について

問 19 たばこを吸いますか。(1つのみ)

- | | | | |
|-----------|--------------|-------------------------|--------|
| 1 毎日吸っている | 2 ときどき吸う日がある | 3 以前は吸っていたが、1か月以上吸っていない | 4 吸わない |
|-----------|--------------|-------------------------|--------|

問 20 受動喫煙防止のために大田区に望むことは何ですか。(複数選択可)

- | | |
|----|---|
| 1 | 飲食店に対する喫煙状況の店頭表示義務の徹底 |
| 2 | 施設の敷地内禁煙や屋内禁煙についての表示の普及 |
| 3 | 区報やホームページによる受動喫煙の健康影響についての情報提供 |
| 4 | 効果的な受動喫煙防止対策についての情報提供 |
| 5 | 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく施設管理者の義務についてのPR |
| 6 | 健康増進法や東京都受動喫煙防止条例に基づく指導、勧告、命令(罰則の適用を含む) |
| 7 | 屋内の喫煙室の設置等に関する相談 |
| 8 | 施設利用者に対する屋内の喫煙ルールのPR |
| 9 | 公衆喫煙所の設置 |
| 10 | 屋外の喫煙マナーのPR |
| 11 | 禁煙を希望する喫煙者の禁煙支援 |
| 12 | 道路等の屋外における喫煙ルールづくり |
| 13 | その他〔 |
| 14 | 特になし |

8. 健康づくりについて**問 21 大田区の「はねびよん健康ポイント」を知っていますか。(1つのみ)**

- | | | | |
|---|------------------|---|----------------|
| 1 | 知っており、アプリで参加している | 4 | 知らないが、参加に興味がある |
| 2 | 知っており、台紙で参加している | 5 | 知らないが、参加したくない |
| 3 | 知っているが、参加していない | | |

9. 医療について**問 22 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局はありますか。(複数選択可)**

- | | | | |
|---|-------------|---|------------|
| 1 | かかりつけ医はいる | 3 | かかりつけ薬局はある |
| 2 | かかりつけ歯科医はいる | 4 | いずれもない |

10. 食品ロス・フードドライブについて

問 23 生活の中で「食品ロス」を減らすために取り組んでいることはありますか。
(複数選択可)

- | | | |
|----|-----------------------------------|---|
| 1 | 買い物メモの持参やばら売りの活用など、食材を買いすぎないようにする | |
| 2 | 賞味期限だけでなく見た目や臭い等で食べられるか判断する | |
| 3 | 日頃から冷蔵庫の中などの食品の在庫を確認する | |
| 4 | 出された料理を残さず食べきる | |
| 5 | 食べきれなかったものを他の料理に作り替える | |
| 6 | 料理を作り過ぎない | |
| 7 | 野菜の皮や芯を料理に使うなど、食材を無駄なく使う | |
| 8 | 飲食店等で注文し過ぎない | |
| 9 | その他〔 | 〕 |
| 10 | 特にない | |

問 24 食品ロスとなった食品は何が多かったですか。(複数選択可)

- | | | | |
|---|-----------------------|---|---------------|
| 1 | 冷蔵庫の食品(牛乳、豆腐、マヨネーズなど) | 4 | 乾物(麺、飲み物、餅など) |
| 2 | 冷凍庫の食品(冷凍食品など) | 5 | 料理を作りすぎた |
| 3 | 野菜・果物(冷蔵庫の野菜室含む) | 6 | 食品を捨てたことはない |

問 25 大田区食べきり応援団を知っていますか。(1つのみ)

※「大田区食べきり応援団」とは、大田区に登録された、食品ロス削減に取り組む事業者のことです。

- | | |
|---|---------------------|
| 1 | 知っており、利用したこともある |
| 2 | 知っているが、あまり利用したことがない |
| 3 | 知らない |

問 26 食品ロスを削減するためには、店舗がどのような取組みをしていれば良いと思いますか。
(複数選択可)

- | | | |
|---|------------------------------|---|
| 1 | レストランでの小盛メニューの設定 | |
| 2 | レストランでのご飯など、希望に応じた量の提供 | |
| 3 | レストランでの、食べきれなかった食品の持ち帰り希望の対応 | |
| 4 | 小売店のばら売り、量り売り、少量パックによる販売 | |
| 5 | その他〔 | 〕 |

11. 地球環境について

問 27 地球温暖化防止のためには、温室効果ガス削減が有効となります。関心のある実践行動や、学んでみたいと思われる内容を教えてください。(複数選択可)

- | | | |
|----|-----------------------|---|
| 1 | 省エネ性能の高い住宅や太陽光発電設備の設置 | |
| 2 | 省エネ家電への切替え、またその選び方や知識 | |
| 3 | 自動車のEV化（メリット等） | |
| 4 | ごみ削減（食品ロス削減） | |
| 5 | ごみ削減（プラスチック製品削減） | |
| 6 | 節水など電力以外のエネルギー削減 | |
| 7 | 水素などの環境にやさしいエネルギー | |
| 8 | 関連する補助金・助成制度 | |
| 9 | 特にテーマを定めず、温室効果ガス削減の全般 | |
| 10 | その他〔 | 〕 |
| 11 | 特になし | |

問 28 大田区は 2050 年に向けて脱炭素社会、電力の省エネを進めていく必要があります。その際、どのようなメッセージだと、行動変容につながりますか。(複数選択可)

- | | |
|---|--|
| 1 | 脱炭素社会のため、電力を使わない省エネ家電へ切り替えましょう。 |
| 2 | あなたのこどもや孫の世代も安心できる社会にするため、CO ₂ の発生が少ない省エネ家電は有効です。 |
| 3 | 今の省エネエアコンは、OOW前後です。もし旧タイプのエアコン（OOW）を切り替えると、年間〇円の削減になります。 |
| 4 | 多くの区民の方が、省エネエアコンに切替えることで環境にもお財布にもやさしいと喜んでいきます。あなたも、時代に遅れないよう、省エネ家電に切り替えましょう。 |
| 5 | 環境のトップランナーは、環境にもお財布にもやさしい省エネ家電を使っています。あなたも早く切り替えて、先進な生活を楽しみましょう。 |

12. あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

1 18～19 歳	F 4へ (F 5以降も回答 してください)	7 65～69 歳	F 3へ (F 4以降も回答 してください)
2 20～29 歳		8 70～74 歳	
3 30～39 歳		9 75 歳以上	
4 40～49 歳			
5 50～59 歳			
6 60～64 歳			

【65 歳以上の方に伺います。】

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

1 受けていない	2 受けている(要支援含む)
----------	----------------

F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

1 日本国籍	2 それ以外〔国籍名： 〕
--------	---------------

F 5 あなたのお住まい(管轄特別出張所)を教えてください。(1つのみ)

1 大森東	4 馬込	7 嶺町	10 久が原	13 六郷	16 蒲田東
2 大森西	5 池上	8 田園調布	11 雪谷	14 矢口	17 糀谷
3 入新井	6 新井宿	9 鵜の木	12 千束	15 蒲田西	18 羽田

F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

1 ひとり暮らし	4 三世帯世帯(親と子と孫)
2 夫婦のみ	5 その他〔 〕
3 二世帯世帯(親と子)	

F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

1 持ち家(一戸建て)	4 賃貸住宅(集合住宅)
2 持ち家(集合住宅)	5 寮・社宅・宿舎
3 賃貸住宅(一戸建て)	6 その他〔 〕

F8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	1 商工サービス業 2 農林水産業 3 自由業 F8-1へ
勤め人/パート・アルバイト含む	4 管理職 5 専門技術職 6 事務職 7 労務職・サービス業 (F9以降も回答してください)
その他	8 学生 9 主婦・主夫 10 その他(高齢者含む) F9へ (F10以降も回答してください)

【F8で「1 商工サービス業」「2 農林水産業」「3 自由業」「4 管理職」「5 専門技術職」「6 事務職」「7 労務職・サービス業」「8 学生」と回答した方に伺います。】

F8-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

1 大田区内(自宅)	5 それ以外の東京都内
2 大田区内(自宅以外)	6 神奈川県内
3 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7 それ以外〔 〕
4 千代田・中央・港区内	

F9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(複数選択可)

1 小学校入学前の子ども	4 寝たきりの方や身体の不自由な方
2 小学生	5 いない
3 65歳以上の方	

F10 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)

1 いる(同居・別居含む) ⇒ F10-1へ(F11以降も回答してください)	
2 いない(離婚・死別)	F11へ(F12も回答してください)
3 いない(未婚)	

【F10で「いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)

1 している	2 していない
--------	---------

F11 こどもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 一番上のこどもが小学校入学前 | 4 一番上のこどもが学校卒業 |
| 2 一番上のこどもが小・中学生 | 5 こどもはいない |
| 3 一番上のこどもが高校・大学生 | |

F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 5 10年以上20年未満 |
| 2 1年以上3年未満 | 6 20年以上30年未満 |
| 3 3年以上5年未満 | 7 30年以上 |
| 4 5年以上10年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査 (18歳以上の区民の方_買い物・まちづくり・住まいの分野など) ～ ご協力のお願ひ ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの18歳以上の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年 11月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。
2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいても結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えの番号に○をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を()内にご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、**令和5年 12月8日(金)までにお近くの郵便ポストに投函してください。**

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444 (直通)

受付時間 平日9:00～17:00 (土・日・祝日を除く)

下記の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

1. 安全・安心について

問1 「大田区防災アプリ」をはじめとする区の防災への取組に関する情報は、普段どのような場所で目にできると、より万が一の際の備えを進めたくなると感じますか。(複数選択可)

1 区公式ホームページ	7 区役所・特別出張所等の窓口(チラシ配架等)
2 区公式 SNS (Twitter・LINE)	8 町会・自治会の掲示板・回覧板
3 YouTube	9 大型店舗(駅ビル・スーパー・ホームセンター等)
4 Instagram	10 商店街
5 区報	11 公共交通機関(駅・車内での広告等)
6 ケーブルテレビ	12 医療機関(かかりつけ医等)
	13 その他〔 〕

問2 マイ・タイムラインを知っていますか。(1つのみ)

1 知っていて作成したことがある	⇒ 問2-1へ(問3以降も回答してください)
2 知っているが作成したことはない	} 問3へ(問4以降も回答してください)
3 知らない	

【問2で「1 知っていて作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問2-1 どのように作成しましたか。(複数選択可)

1 マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成
2 東京マイ・タイムラインの作成ナビを観て作成
3 その他〔 〕

問3 災害から身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(複数選択可)

1 家具等の転倒防止	6 防災訓練への参加
2 感震ブレーカーの設置	7 家庭内備蓄
3 ハザードマップの確認	8 情報の収集方法の確認・検討
4 マイ・タイムラインの作成	9 その他〔 〕
5 避難方法の確認・検討	10 特に何もしていない

問4 ご自宅の水害リスクを知っていますか。(1つのみ)

1 リスクがあることを知っている	3 リスクがあるかどうか知らない
2 リスクがないことを知っている	

問5 どのような防災訓練等に参加したいですか。(複数選択可)

- | | |
|-----------------|-----------|
| 1 イベント型 | 4 講習会・講演会 |
| 2 地域が実施している防災訓練 | 5 その他〔 〕 |
| 3 オンライン配信 | |

問6 特殊詐欺の防止に効果がある「自動通話録音機」を知っていますか。(1つのみ)

- | |
|------------------------------|
| 1 知っていて、家の電話機に付けている |
| 2 知っているが、家の電話機には付けていない |
| 3 知らないが、特殊詐欺が防げるなら家の電話機に付けたい |
| 4 知らないし、興味もない |

2. 商店街について**問7 お住まいの近くにある個店で、「今後もずっと残ってほしい」と思うお店はありますか。(1つのみ)**

- | | | |
|--------|------------------------------------|-------------------------|
| 1 ある | } 問7-1へ
(問8以降も
回答して
ください) | 2 ない ⇒ 問8へ |
| (場所:) | | (問9以降も
回答して
ください) |
| (店名:) | | |
| (業種:) | | |

【問7で「1 ある」と回答した方に伺います。】**問7-1 「今後もずっと残ってほしい」と思う理由を選んでください。(複数選択可)**

- | | |
|---------------------------|------------------|
| 1 品物・サービスの質が良いから | 5 昔から利用しているお店だから |
| 2 他店には無い品物・サービスを取り扱っているから | 6 地域に愛されているお店だから |
| 3 他店に比べ低価格だから | 7 老舗のお店だから |
| 4 住居の近くに同業種がそのお店しかないから | 8 その他〔 〕 |

問8 商店街で必要だと思う施設等は何ですか。(複数選択可)

- | |
|--|
| 1 専門性を持った診療所や介護サービス施設 |
| 2 託児所や児童館などの子育て支援サービス施設 |
| 3 自治会・町会やNPO等の活動拠点施設 |
| 4 空き店舗等を活用した公益的機能(休憩所、情報拠点)を備えた施設 |
| 5 創業や起業家の活動拠点(希望者に格安で貸すチャレンジショップやオフィスなど) |
| 6 地方や区のアナテナショップ |
| 7 その他〔 〕 |
| 8 特にない |

問 9 商店街の情報をどこで見聞きますか。(複数選択可)

1 ポスター、チラシ	6 区の広報媒体（区報、HP等）
2 雑誌、新聞	7 知人、友人
3 商店会のホームページ	8 商店街の情報を見聞きしない
4 商店会のSNS（Twitter、Facebookなど）	9 その他〔 〕
5 商店会のフラッグ、のぼり旗	

3. キャッシュレスについて

問 10 普段の買い物でキャッシュレス（クレジットカード、電子マネー、プリペイドカードなど）による支払い方法を使っていますか。（1つのみ）

1 よく使う	} 問 10-1、問 10-2 へ (問 11 以降も回答 してください)	3 ほとんど使わない	} 問 10-3 へ (問 11 以降も回答 してください)
2 時々使う		4 まったく使わない	

【問 10 で「1 よく使う」「2 時々使う」と回答された方】

問 10-1 現在、活用しているキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

1 クレジットカード	4 デビットカード
2 電子マネー（交通系・流通系）	5 その他〔 〕
3 スマートフォンによるQRコード決済	

【問 10 で「1 よく使う」「2 時々使う」と回答された方】

問 10-2 今後、活用したいキャッシュレスの支払い手段は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

1 クレジットカード	4 デビットカード
2 電子マネー（交通系・流通系）	5 その他〔 〕
3 スマートフォンによるQRコード決済	

【問 10 で「3 ほとんど使わない」「4 まったく使わない」と回答された方】

問 10-3 キャッシュレスを使わない（あまり使わない）理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数選択可)

1 現金の方が買い物の支払額を把握しやすいから
2 キャッシュレス支払いに関心がないから
3 キャッシュレスの支払方法がよくわからないから
4 普段買い物するお店が現金のみの取扱だから
5 不正利用や個人情報流出が心配だから
6 その他〔 〕

4. 羽田空港跡地について

問 11 羽田空港跡地第1ゾーンに開業した羽田イノベーションシティについて知っていますか。
(1つのみ)

1 知っている	2 知らない
---------	--------

問 12 羽田イノベーションシティ・HICityの取組みのうち、期待するものはありますか。
(複数選択可)

1 自動運転やロボットなど近未来の取組み	6 羽田の歴史伝承
2 医工連携や企業間のビジネスマッチング	7 地域と連携した賑わいづくり
3 こどもへのものづくり体験やSTEAM教育	8 防災に関する普及活動
4 日本全国の製品の集積	9 脱炭素やSDGsなどの推進
5 伝統文化・音楽・芸術等の文化体験	10 その他〔 〕

5. バリアフリー・ユニバーサルデザインについて

問 13 「バリアフリー」「ユニバーサルデザイン」という言葉を知っていますか。(1つのみ)

(1)「バリアフリー」

高齢者や障がいのある方が生活を営む上での障壁(バリア)を取り除く考え方

(2)「ユニバーサルデザイン」

バリアフリーの考え方を一歩進め、年齢、性別、国籍(言語)、個人の能力に関わらず、あらかじめできるだけ多くの方が利用しやすいように生活環境を構築する考え方

	理解している 定義までよく	定義はなんとなく 理解している	聞いたことは あるが、定義が よくわからない	初めて聞いた 言葉である
(1)バリアフリー	1	2	3	4
(2)ユニバーサルデザイン	1	2	3	4

問 14 大田区役所(本庁舎、地域庁舎、特別出張所など)をはじめとした区立施設(公園含む)について、窓口のレイアウトや施設のバリアフリー、案内表示などが高齢者や障害者、外国人などに配慮されていると思いますか。(1つのみ)

1 十分配慮されている	4 全く配慮されていない
2 配慮されている	5 わからない、最近利用していない
3 あまり配慮されていない	

6. まちづくりについて

問 15 活力・国際性のある都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

＜活力・国際性のある都市づくりの例＞

- ・ 来街者が大田区内を巡って魅力を楽しめている
- ・ 日本を始め多くの国の多彩な文化を体験できている
- ・ 国籍、性別、年齢などに関わらず様々な人材が活躍している
- ・ 人が集まる交流・滞在空間が充実している
- ・ 区内の事業者が地域の産業を活発にして、魅力を発信している
- ・ 大田区内外への移動が便利である など

- | | |
|-------------|----------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 ややそう思う | 5 わからない |
| 3 あまりそう思わない | |

問 16 暮らしやすい都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

＜暮らしやすい都市づくりの例＞

- ・ 生活に必要な施設があり、幅広い年代の人が暮らしやすい
- ・ 良好なまちなみ・景色が整っている
- ・ 商店街に人が集まりにぎわっている
- ・ 住む場所と働く場所がバランス良くある
- ・ 区内を移動するための公共交通が充実している
- ・ 快適で歩きたくなる空間がある
- ・ 住民主体の都市づくりが進んでいる など

- | | |
|-------------|----------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 ややそう思う | 5 わからない |
| 3 あまりそう思わない | |

問 17 安全・安心な都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)

＜安全・安心な都市づくりの例＞

- ・ 災害時に危険性が高い建物の耐震性や密集度が改善されている
- ・ 災害時に救助や避難に役立つ道路や施設が整備されている
- ・ 風水害や土砂災害の対策がしっかりしている
- ・ 地域の防災・防犯活動が充実している
- ・ 災害時に公園や緑地、河川を活用できるようになっている など

- | | |
|-------------|----------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 ややそう思う | 5 わからない |
| 3 あまりそう思わない | |

問 18 環境に配慮した都市づくりが進んでいると思いますか。(1つのみ)**<環境に配慮した都市づくりの例>**

- ・豊かな水と緑が守られている
- ・公園や緑地など緑のオープンスペースが充実している
- ・身近な場所で水や緑にふれあい楽しめる
- ・自転車などによる有害廃棄ガスを出さない移動環境が整っている
- ・省エネ建築物や緑化などによる低炭素化がなされている など

- | | |
|-------------|----------|
| 1 そう思う | 4 そう思わない |
| 2 ややそう思う | 5 わからない |
| 3 あまりそう思わない | |

7. 公共交通機関について**問 19 自宅の近くにバス停や駅があるなど、公共交通機関が利用しやすい環境ですか。****(1つのみ)**

- | | |
|--------------|-------------|
| 1 とても利用しやすい | 3 あまり利用しにくい |
| 2 まあまあ利用しやすい | 4 不便である |

問 20 大田区内の公共交通網に満足していますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 とても満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 まあまあ満足している | 4 満足していない |

問 21 大田区内の公共交通対策の中で、早期に実現してほしいものはありますか。(複数選択可)

- | |
|--|
| 1 鉄道路線の充実 (JR 蒲田駅と京急蒲田駅をつなぐ鉄道路線の新設を含む) |
| 2 交通不便地域の改善 (コミュニティバスやデマンド交通等) |
| 3 踏切対策 |
| 4 公共交通機関のバリアフリー化 |
| 5 特にない |
| 6 その他 [] |

8. 耐震改修について

問 22 現在のお住まいや所有している建物の耐震改修を行いましたか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------|-----------------------------|
| 1 行った | } 問 23 へ (問 24 以降も回答してください) |
| 2 現在改修中又は今後改修する予定 | |
| 3 行っていない | |

【問 22 で「3 行っていない」と回答した方に伺います。】

問 22-1 耐震改修を行っていない理由は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|-------------------------------|
| 1 改修工事を行う費用がない | 5 所有者が複数いるため、合意を得るのが難しい |
| 2 方法、手段がわからない | 6 助成金申請の手続きが煩雑である |
| 3 工法や費用が適切かわからない | 7 建物は耐震性を備えており、改修は必要ないと判断している |
| 4 工事を行うと生活に支障が生じる | 8 その他〔 |

9. 空港臨海部について

問 23 遊ぶ場所、働く場所として空港臨海部に魅力を感じますか。(1つのみ)

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 感じる | 4 感じない |
| 2 やや感じる | 5 どちらともいえない |
| 3 あまり感じない | |

10. 鉄道駅周辺のまちづくりについて

問 24 区は「鉄道と魅力的なまちづくり宣言」に基づき、鉄道の整備と合わせて、それぞれの地域の特徴を活かした駅周辺のまちづくりを進めていく予定です。

地域の魅力向上や活性化のため、どのような取組の方針を望みますか。

※最も望む回答を1つ選択してください。(1つのみ)

- | |
|---|
| 1 ゆとりある歩行者空間や老朽化した建物の更新など、安全・安心で利便性の高いまちの形成 |
| 2 鉄道やバス、タクシーなどにより区内の移動がしやすいまちの形成 |
| 3 河川敷や公園、緑道などの整備を推進し、誰もが水辺や緑に親しめる空間の形成 |
| 4 地震・風水害時の拠点整備など、災害に強いまちづくりの推進 |
| 5 こどもを健やかに育む場の整備による子育て世代にとって住みやすいまちの形成 |
| 6 産業・商業・自然・歴史・文化など、地域が持つそれぞれの特性を活かしたまちの形成 |
| 7 その他〔 |

問 25 区では、新空港線の整備を好機と捉え、魅力あふれる蒲田駅周辺のまちづくりを進めています。蒲田駅周辺では、蒲田駅周辺地区グランドデザインに基づき、駅前広場に、にぎわいの拠点となるイベントスペースを確保することで、人的交流を活発化することを検討しております。この取組みによる、「地域の価値を高める空間の充実」や「文化・交流・にぎわいを生み出す活動の創出」に期待していますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|-----------|
| 1 期待している | 4 期待していない |
| 2 やや期待している | 5 わからない |
| 3 あまり期待していない | |

問 26 蒲田駅の駅前広場やその周辺の、にぎわい拠点に求める機能はありますか。(複数選択可)

- | | |
|--------------------------------|---|
| 1 イベントや観光案内など、にぎわいづくりができる空間・施設 | |
| 2 ゆったり過ごせる憩いの空間 | |
| 3 歩行者と車が分離された安心・安全な空間 | |
| 4 その他〔 | 〕 |

11. 羽田空港跡地について

問 27 空港の沖合移転に伴い発生した天空橋駅周辺の羽田空港跡地のまちづくり「羽田空港跡地第1ゾーン整備事業」が進められていることについて、どのように知りましたか。(複数選択可)

- | | |
|------------------------------------|---|
| 1 大田区ホームページ | |
| 2 「HANEDA INNOVATION CITY」公式ホームページ | |
| 3 大田区のイベント | |
| 4 SNS、インターネットのニュースやブログ等 | |
| 5 パンフレット・リーフレット等の刊行物 | |
| 6 テレビのニュース | |
| 7 新聞、雑誌の記事 | |
| 8 家族や友人、知人など | |
| 9 その他〔 | 〕 |
| 10 本事業を知らない | |

問 28 羽田空港跡地第1ゾーンに公園が整備される予定があります。その整備・運営について「羽田空港跡地第1ゾーン都市計画公園コンセプトブック」を策定しました。これらのことを知っていますか。(1つのみ)

- | |
|--|
| 1 公園が整備されることも、コンセプトブックを策定したことも知っている |
| 2 公園が整備されることは知っているが、コンセプトブックを策定したことは知らない |
| 3 両方とも知らない |

問 29 問 28 で整備される予定の公園でしてみたいことはありますか。(複数選択可)

1 運動	4 休憩・リラックス
2 遊び	5 地域活動
3 飲食	6 その他〔 〕

問 30 羽田空港跡地の多摩川沿い(第2ゾーン)に「ソラムナード羽田緑地」(1,100m×15m程度)があります。スカシユリや飛行機のビュースポットが見所ですが、ここに行ったことはありますか。(1つのみ)

1 行ったことがある	3 知らない
2 行ったことがない	

問 31 「ソラムナード羽田緑地」は、今年度さらに拡張します。ここでしてみたいことはありますか。(複数選択可)

1 運動	4 休憩・リラックス
2 遊び	5 地域活動
3 飲食	6 その他〔 〕

12. 図書館について

問 32 大田区立図書館又は文化の森情報館(電子書籍貸出サービスを含む)をどのくらい利用していますか。(1つのみ)

1 週1回以上	} 問 32-1、 問 32-2へ (問 33以降も回答 してください)	4 ほとんど利用しない(年1~2回程度) ⇒問 32-2へ(問 33以降も回答してください)
2 月2回程度		5 利用しない ⇒問 32-3へ(問 33以降も回答してください)
3 月1回程度		

【問 32で「1 週1回以上」「2 月2回程度」「3 月1回程度」と回答した方に伺います。】

問 32-1 図書館で主に利用している機能・サービスは何ですか。(複数選択可)

1 図書・視聴覚資料の貸出	9 映画会
2 館内での閲覧・調べもの	10 蔵書の展示
3 個人学習	11 障害者サービス(宅配、郵送、対面朗読・録音図書の作製・貸出、大型活字本の貸出)
4 電子書籍貸出サービス	12 ボランティア養成講座
5 調べものの相談(レファレンス)	13 休憩・くつろぐ
6 おはなし会	14 多目的室または集会室の利用
7 朗読会	15 その他〔 〕
8 講座・講演会	

【問 32 で「1 週 1 回以上」「2 月 2 回程度」「3 月 1 回程度」「4 ほとんど利用しない（年 1～2 回程度）と回答した方に伺います。】

問 32-2 図書館について、どの程度満足していますか。1 から 5 のそれぞれに回答ください。
（それぞれ 1 つのみ）

	満足している	ほぼ満足している	少し不満である	不満である	わからない
1. 施設・設備	1	2	3	4	5
2. 職員の対応や説明	1	2	3	4	5
3. イベント・講座等	1	2	3	4	5
4. 電子書籍貸出サービス	1	2	3	4	5
5. 全般的な満足度	1	2	3	4	5

【問 32 で「5 利用しない」と回答した方に伺います。】

問 32-3 図書館を利用しない理由は何ですか。（複数選択可）

1 図書・雑誌を読まない	5 開館時間中に利用できない
2 図書・雑誌は自分で購入したい	6 施設が使いづらいまたは快適ではない
3 読みたい本がすぐに借りられない	7 その他〔 〕
4 近くに図書館がない	

問 33 これからの図書館に期待する機能・サービスについて該当するものを選択してください。
（複数選択可）

1 電子書籍貸出サービス	7 地域コミュニティ参加のきっかけとなるイベント・講座等
2 デジタル化された地域資料等の閲覧	8 大田区への理解を深めるコーナー
3 音楽・音声情報配信サービス	9 国際都市らしい蔵書・資料構成
4 憩い・くつろぐためのスペース	10 その他〔 〕
5 グループ学習スペース	
6 個人学習スペース	

13. 公園について

問 34 月に1回以上公園を利用していますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------------------------------|--|
| 1 はい ⇒ 問 35 へ
(問 36 以降も回答してください) | 2 いいえ ⇒ 問 34-1 へ
(問 35 以降も回答してください) |
|-------------------------------------|--|

【問 34 で「2 いいえ」と回答した方に伺います。】

問 34-1 公園を利用していない理由は何ですか。(3つまで)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 忙しくて時間がない | 6 防犯の面で心配(見通しが悪い、暗い等) |
| 2 外出や屋外にすることが好きではない | 7 禁止事項が多くやりたいことが出来ない |
| 3 利用する目的がない | 8 その他〔 〕 |
| 4 公園がどこにあるか知らない | |
| 5 公園が遠い | |

問 35 普段大田区の公園についての情報をどのような媒体で目にしますか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 区報 | 6 大田区公式 YouTube チャンネル |
| 2 ポスター、チラシ | 7 区以外のホームページ |
| 3 区ホームページ | 8 区以外の SNS |
| 4 区 Twitter | 9 目にすることが無い |
| 5 区インスタグラム(ユニークおおた) | 10 その他〔 〕 |

問 36 大田区の公園でしてみたいことは何ですか。(3つまで)

- | |
|---|
| 1 キッチンカー等で飲食物を買って公園内で食べる |
| 2 カフェ等で飲食をする |
| 3 面白い遊具で遊ぶ |
| 4 火遊びや穴掘り、木登りなど通常の公園ではできないような遊び(プレーパーク) |
| 5 ボール遊び(キャッチボール等) |
| 6 花火 |
| 7 キャンプやバーベキュー |
| 8 噴水や流れる川で水遊びをする |
| 9 安心して小さいこどもを遊ばせる |
| 10 スケートボード、ローラースケート、BMX(自転車競技) |
| 11 手軽な運動(ウォーキング、ランニング等) |
| 12 マルシェやバザー、講演会や演奏会などのイベントの参加・開催 |
| 13 ペットをのびのびと遊ばせる |
| 14 季節の草花等の自然を楽しむ |
| 15 生き物と触れ合う |
| 16 歴史文化に触れる |
| 17 ゆっくり休憩する |
| 18 その他〔 〕 |

14. あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | | |
|-----------|---|-----------|---|
| 1 18～19 歳 | F 4へ
(F 5以降も回答
してください) | 7 65～69 歳 | F 3へ
(F 4以降も回答
してください) |
| 2 20～29 歳 | | 8 70～74 歳 | |
| 3 30～39 歳 | | 9 75 歳以上 | |
| 4 40～49 歳 | | | |
| 5 50～59 歳 | | | |
| 6 60～64 歳 | | | |

【65歳以上の方に伺います。】

F 3 あなたは、介護保険制度の要介護認定を受けていますか。(1つのみ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1 受けていない | 2 受けている(要支援含む) |
|----------|----------------|

F 4 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 日本国籍 | 2 それ以外〔国籍名： 〕 |
|--------|---------------|

F 5 あなたのお住まい(管轄特別出張所)を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 19 大森東 | 22 馬込 | 25 嶺町 | 28 久が原 | 31 六郷 | 34 蒲田東 |
| 20 大森西 | 23 池上 | 26 田園調布 | 29 雪谷 | 32 矢口 | 35 糎谷 |
| 21 入新井 | 24 新井宿 | 27 鶉の木 | 30 千束 | 33 蒲田西 | 36 羽田 |

F 6 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|----------------|
| 1 ひとり暮らし | 4 三世帯世帯(親と子と孫) |
| 2 夫婦のみ | 5 その他〔 〕 |
| 3 二世帯世帯(親と子) | |

F 7 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 持ち家(一戸建て) | 4 賃貸住宅(集合住宅) |
| 2 持ち家(集合住宅) | 5 寮・社宅・宿舍 |
| 3 賃貸住宅(一戸建て) | 6 その他〔 〕 |

F 8 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	1 商工サービス業 2 農林水産業 3 自由業
勤め人/パート・アルバイト含む	4 管理職 5 専門技術職 6 事務職 7 労務職・サービス業
その他	8 学生 9 主婦・主夫 10 その他(高齢者含む)

F 8-1へ
 (F 9以降も回答してください)

F 9へ
 (F 10以降も回答してください)

【F 8で「1 商工サービス業」「2 農林水産業」「3 自由業」「4 管理職」「5 専門技術職」「6 事務職」「7 労務職・サービス業」「8 学生」と回答した方に伺います。】

F 8-1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

1 大田区内(自宅)	5 それ以外の東京都内
2 大田区内(自宅以外)	6 神奈川県内
3 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7 それ以外〔 〕
4 千代田・中央・港区内	

F 9 同居家族/現在一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(複数選択可)

1 小学校入学前の子ども	4 寝たきりの方や身体の不自由な方
2 小学生	5 いない
3 65歳以上の方	

F 10 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)

1 いる(同居・別居含む)	⇒ F 10-1へ(F 11以降も回答してください)
2 いない(離婚・死別)	} F 11へ(F 12も回答してください)
3 いない(未婚)	

【F 10で「1 いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 10-1 共働きをしていますか。(1つのみ)

1 している	2 していない
--------	---------

F11 こどもはいらっしゃいますか（別居も含む）。（1つのみ）

- | | |
|------------------|----------------|
| 6 一番上のこどもが小学校入学前 | 9 一番上のこどもが学校卒業 |
| 7 一番上のこどもが小・中学生 | 10 こどもはいない |
| 8 一番上のこどもが高校・大学生 | |

F12 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。（1つのみ）

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 5 10年以上20年未満 |
| 2 1年以上3年未満 | 6 20年以上30年未満 |
| 3 3年以上5年未満 | 7 30年以上 |
| 4 5年以上10年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査

(未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の区民の方_家庭生活・自転車の利用についてなど)

～ ご協力のお願い ～

大田区では、区の将来像である「地域力が区民の暮らしを支え、未来へ躍動する国際都市 おおた」の実現を目指し、各種計画を推進しています。

本調査は、各種計画に掲げる施策の検証や、より効果的な施策立案に向けた区民意識の把握を目的とし、大田区にお住まいの未就学児と小学生の保護者、中学生・高校生の方から無作為に2,000名を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。

調査結果はすべて統計的な数値としてとりまとめますので、個人情報公表されることは一切ございません。つきましては、率直なご意見をお聞かせいただけますでしょうか。

お忙しいところ大変恐縮でございますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年 11月

大田区 企画経営部 企画課

ご記入にあたってのお願い

1. 回答は、郵送又は電子申請、いずれかの方法でお願いします。電子申請で回答する場合、別紙「電子申請での回答方法」をご覧ください。
※電子申請は、日本語のみの対応となります。
2. ご記入は、あて名のご本人がご記入ください。ただし、健康状態などにより、ご本人が記入できない場合は、調査票を破棄していただいて結構です。
3. 回答は、質問をよくお読みいただき、該当する答えの番号に○をつけてください。また、「その他」に回答した場合、その具体的な内容を（ ）内にご記入ください。
4. 質問によっては、回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きをよくお読みください。
5. 調査票記入後は、3つ折りにして、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
令和5年12月8日（金）までにお近くの郵便ポストに投函してください。

本調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

大田区 企画経営部 企画課

〒144-8621 東京都大田区蒲田五丁目13番14号

TEL 03-5744-1444（直通）

受付時間 平日9:00～17:00（土・日・祝日を除く）

下記の項目について、あてはまる回答の番号に○をつけてください。

1. 災害時の避難等について

問1 マイ・タイムラインを知っていますか。(1つのみ)

- | | | |
|-------------------|---|----------------------|
| 1 知っていて作成したことがある | ⇒ | 問1-1へ(問2以降も回答してください) |
| 2 知っているが作成したことはない | } | 問2へ(問3以降も回答してください) |
| 3 知らない | | |

【問1で「1 知っていて作成したことがある」と回答した方に伺います。】

問1-1 どのように作成しましたか。(複数選択可)

- | | |
|------------------------------|---|
| 1 マイ・タイムライン講習会や出前講座などに参加して作成 | } |
| 2 東京マイ・タイムラインの作成ナビを観て作成 | |
| 3 その他〔 | |

問2 災害から身を守るためにどのような取り組みをしていますか。(複数選択可)

- | | | |
|----------------|-----------------|---|
| 1 家具等の転倒防止 | 6 家庭内備蓄 | } |
| 2 ハザードマップの確認 | 7 情報の収集方法の確認・検討 | |
| 3 マイ・タイムラインの作成 | 8 その他〔 | |
| 4 避難方法の確認・検討 | 9 特に何もしていない | |
| 5 防災訓練への参加 | | |

問3 防災に関する情報をどのように収集していますか。(複数選択可)

- | | | |
|-------------------|-------------|---|
| 1 テレビ | 6 友人・知人 | } |
| 2 区から配布されるチラシや広報紙 | 7 自治会・町会の回覧 | |
| 3 インターネット | 8 大田区防災アプリ | |
| 4 新聞・雑誌 | 9 大田区防災ポータル | |
| 5 区施設 | 10 その他〔 | |
| | | |

問4 どのような防災訓練等に参加したいですか。(複数選択可)

- | | | |
|-----------------|-----------|---|
| 1 イベント型 | 4 講習会・講演会 | } |
| 2 地域が実施している防災訓練 | 5 その他〔 | |
| 3 オンライン配信 | | |

2. 家庭生活について

※この項目（問5～問7）は、未就学児・小学生の保護者の方が回答してください。中学生・高校生の方は次の「3. 公園について」に進んでください。

問5 コロナ禍と現在とで家事や育児の負担感は変わりましたか。また子育てで身近に相談できる人・機関はありますか。※該当するものをそれぞれ選択してください。（それぞれ1つのみ）

1 負担感は変わった	}
〔	
2 負担感は変わらない	}
3 相談できる人（機関）がいる（ある）	
〔	}
4 相談できる人（機関）がない（ない）	

問6 子ども家庭支援センターでは、子育ての相談や事業を実施しています。また、こどもからの相談も受けています。子ども家庭支援センターの事業や利用状況について、教えてください。 ※該当するものをそれぞれ選択してください。（それぞれ1つのみ）

1 子ども家庭支援センターを知っている。
2 子ども家庭支援センターを知らない。
3 子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがある。
4 子ども家庭支援センターの事業に参加・利用したことがない。
5 子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知っている。
6 子ども家庭支援センターが、こどもからの相談も受けていることを知らない。
7 子ども家庭支援センターに相談したことがある。
8 子ども家庭支援センターに相談したことがない。
9 子ども家庭支援センターに相談したいと思う。
10 子ども家庭支援センターに相談したいと思わない。

問7 機会があれば子育てする家庭や親子を支援したいと思いませんか。（1つのみ）

1 思う	}
2 思わない	
〔	}

3. 公園について

問 8 公園での禁止事項、ルールの決め方について賛同できるものを選択して下さい。(3つまで)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 区内の公園すべてで統一して決める | 5 広く提案を募集して決める |
| 2 個々の公園ごとに独自に決める | 6 その他〔 〕 |
| 3 区民アンケートを実施して決める | |
| 4 地域の住民が話し合っで決める | |

4. 自転車の利用について

問 9 令和5年4月1日から、自転車に乗る際のヘルメット着用が努力義務化されたことを知っていますか。(1つのみ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 10 普段から自転車を使いますか。(1つのみ)

- | | | |
|---------|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 1 よく使う | } 問 10-1～問 10-9へ
(問 11以降も回答してください) | 3 全く使わない ⇒ 問 11へ
(問 12以降も回答してください) |
| 2 たまに使う | | |

【問 10で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-1 自転車に乗る時、ヘルメットを着用していますか。(1つのみ)

- | | | |
|---|-----------------|----------------------------------|
| 1 着用している ⇒ 問 10-3へ
(問 10-4以降も回答してください) | 2 持っているが着用していない | } 問 10-2へ
(問 10-3以降も回答してください) |
| 3 持っていない | | |

【問 10-1で「2 持っているが着用していない」「3 持っていない」と回答した方に伺います。】

問 10-2 ヘルメットを着用していない(持っていない)理由は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|----------------------------|--|
| 1 特に危険を感じないから | |
| 2 ヘルメットの持ち運びや置き場に困るから | |
| 3 髪型が乱れる、見た目が良くない、蒸れて不快だから | |
| 4 ヘルメットの値段が高いから | |
| 5 その他〔 〕 | |

【問 10で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-3 休日などの余暇時間があるときにサイクリングやサイクルスポーツを行っていますか。(1つのみ)

- | | |
|----------|---------------|
| 1 行っている | 3 行いたい、行えていない |
| 2 行っていない | |

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-4 自転車に乗るときにご自身が守れていないと思う交通ルールは何ですか。(複数選択可)

- | |
|----------------------------------|
| 1 車道では左側を通行すること |
| 2 歩道を通行する場合は、車道寄りを徐行すること |
| 3 交差点右折時に二段階右折をすること |
| 4 一時停止等の標識を守ること |
| 5 スマートフォンを使ったり、傘を差したりしながら運転しないこと |
| 6 ルールは守っている |
| 7 その他〔 〕 |

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-5 普段自転車から降りた後、鍵をかけますか。(1つのみ)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1 鍵をかける | 3 鍵をかけないときもある |
| 2 2つ以上の鍵をかける(ツーロック) | 4 いつも鍵をかけない |

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-6 自転車利用中の対人賠償事故に備える保険に加入していますか。

(1～5は複数選択可)

- | | | | |
|------------------------|--|-----------|--|
| 1 自転車事故専用の保険 | 問 10-8 へ
(問 10-9 以降
も回答してくだ
さい) | 7 加入していない | ⇒ 問 10-7 へ
(問 10-8 以降
も回答してくだ
さい) |
| 2 TS マーク付帯保険 | | | |
| 3 傷害保険等とセット | | | |
| 4 他の保険(火災保険、自動車保険等)の特約 | | | |
| 5 その他の保険 | | | |
| 6 加入しているかわからない | | | |

【問 10-6 で「7 加入していない」と回答した方に伺います。】

問 10-7 保険に加入していない理由は何ですか。(複数選択可)

- | | |
|--------------------|------------|
| 1 加入手続きの方法などがわからない | 4 保険料が高いから |
| 2 加入が義務化されたことを知らない | 5 その他〔 〕 |
| 3 必要性を感じない | |

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-8 自転車の通行場所や進行方向を示す「自転車ナビマーク・ナビライン(矢羽根型路面表示)」を知っていますか。(1つのみ)

- | | |
|-----------------------|----------|
| 1 知っていて、通るようにしている | 3 知らなかった |
| 2 知っていたが、意識して通ったことはない | |

【問 10 で「1 よく使う」「2 たまに使う」と回答した方に伺います。】

問 10-9 区営の自転車駐車場を利用する際に不便に感じていることは何ですか。(複数選択可)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 立地が悪い | 6 一時利用が満車で利用できない |
| 2 料金が低い | 7 区営の駐輪場は利用していない |
| 3 申込等がデジタル化されていない | 8 その他〔 〕 |
| 4 一時利用と定期利用の配分が悪い | |
| 5 定期利用に申し込んでも当選しない | |

問 11 大田区内で「コミュニティサイクル」が運営されていることを知っていますか。(1つのみ)

- | | |
|---------|--------|
| 1 知っている | 2 知らない |
|---------|--------|

問 12 自転車の運転マナーについてどこで知りましたか。(複数選択可)

- | | |
|---------------------------------|--|
| 1 ポスターなどによる広報・街頭での交通安全啓発 | |
| 2 SNS (ライン、ツイッターなど)・ホームページの啓発記事 | |
| 3 地域・企業等における講習会・セミナーなど | |
| 4 学校など教育施設における交通安全教育 | |
| 5 その他〔 〕 | |

5. あなたご自身について

F 1 あなたの性別を教えてください。(1つのみ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

F 2 あなたの年齢を教えてください。(1つのみ)

- | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 1 12～15 歳 | 3 19～20 歳 | 5 30～39 歳 | 7 50～59 歳 |
| 2 16～18 歳 | 4 21～29 歳 | 6 40～49 歳 | 8 60 歳以上 |

F 3 あなたの国籍を教えてください。(1つのみ)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 日本国籍 | 2 それ以外〔国籍名： 〕 |
|--------|---------------|

F 4 あなたのお住まい(管轄特別出張所)を教えてください。(1つのみ)

- | | | | | | |
|-------|-------|--------|--------|--------|--------|
| 1 大森東 | 4 馬込 | 7 嶺町 | 10 久が原 | 13 六郷 | 16 蒲田東 |
| 2 大森西 | 5 池上 | 8 田園調布 | 11 雪谷 | 14 矢口 | 17 糀谷 |
| 3 入新井 | 6 新井宿 | 9 鵜の木 | 12 千束 | 15 蒲田西 | 18 羽田 |

F 5 あなたの家族構成は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

1 二世帯世帯（親と子）	3 ひとり暮らし
2 三世帯世帯（親と子と孫）	4 その他〔 〕

F 6 あなたのお住まいの種類は次のどれにあたりますか。(1つのみ)

1 持ち家（一戸建て）	4 賃貸住宅（集合住宅）
2 持ち家（集合住宅）	5 寮・社宅・宿舎
3 賃貸住宅（一戸建て）	6 その他〔 〕

F 7 あなたのご職業を教えてください。(1つのみ)

項目	選択肢
自営業	1 商工サービス業 2 農林水産業 3 自由業
勤め人／パート・アルバイト含む	4 管理職 5 専門技術職 6 事務職 7 労務職・サービス業
その他	8 学生 9 主婦・主夫 10 その他（高齢者含む）

F 7 - 1 へ
 (F 8 以降も回答してください)

F 8 へ
 (F 9 以降も回答してください)

【F 7で「1 商工サービス業」「2 農林水産業」「3 自由業」「4 管理職」「5 専門技術職」「6 事務職」「7 労務職・サービス業」「8 学生」と回答した方に伺います。】

F 7 - 1 あなたの主な通勤・通学先を教えてください。(1つのみ)

1 大田区内（自宅）	5 それ以外の東京都内
2 大田区内（自宅以外）	6 神奈川県内
3 品川・目黒・新宿・渋谷区内	7 その他〔 〕
4 千代田・中央・港区内	

F 8 同居家族／現と一緒に暮らしているご家族の中に、このような方がいらっしゃいますか。あなた自身も含めて、あてはまる方を教えてください。(複数選択可)

1 小学校入学前のこども	4 寝たきりの方や身体の不自由な方
2 小学生	5 いない
3 65歳以上の方	

F 9 配偶者の方はいらっしゃいますか。(1つのみ)

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 1 いる(同居・別居含む) | ⇒ F 9 - 1へ (F 10も回答してください) |
| 2 いない(離婚・死別) | } F 10へ |
| 3 いない(未婚) | |

【F 9で「1 いる(同居・別居含む)」と回答した方に伺います。】

F 9 - 1 共働きをしていますか。(1つのみ)

- | | |
|--------|---------|
| 1 している | 2 していない |
|--------|---------|

F 10 あなたは、大田区に住んで何年になりますか。(1つのみ)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 1年未満 | 5 10年以上20年未満 |
| 2 1年以上3年未満 | 6 20年以上30年未満 |
| 3 3年以上5年未満 | 7 30年以上 |
| 4 5年以上10年未満 | |

調査は以上で終了です。ご協力誠にありがとうございました。

令和5年度
区の施策検証等に向けた大田区区民意識調査
【報告書】

令和6年2月

発 行：大田区企画経営部企画課
〒144-8621
大田区蒲田五丁目13番14号
電 話：03-5744-1444（直通）
F A X：03-5744-1502